

YEAR BOOK OF JAPANESE ART

# 日本美術年鑑

平成 25 年版 (2012. 1—12)

独立行政法人国立文化財機構

## 東京文化財研究所

Independent Administrative Institution

NATIONAL RESEARCH INSTITUTE FOR CULTURAL PROPERTIES,  
TOKYO

13-43 UENO PARK, TAITO-KU, TOKYO



## 序

『日本美術年鑑』は、わが国美術界の1年間の動向について、基本となる資料を収集整理してまとめたものです。昭和11(1936)年に当研究所の前身である帝国美術院附属美術研究所によって第1冊が刊行されて以来、この出版事業は、昭和27(1952)年に美術研究所が東京国立文化財研究所になり、さらに平成13(2001)年4月、独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所と改められ、つづいて平成19(2007)年4月には独立行政法人国立博物館と統合し、新たに独立行政法人国立文化財機構が設置されるなど組織の改組、名称の変更が行なわれた中にも変わることなく受けつがれてきました。

平成25年版となる本書は、その第70冊目となり、平成24年(2012年1月～12月)における美術界の動向を、年史・展覧会・文献目録・物故者の4項目に分けて編集しています。

平成24年の美術界を振り返ってみますと、東日本大震災の発生から1年が経ち、未だ災禍による傷は癒えないものの、茨城の五浦六角堂の再建や福島警戒区域での文化財救援活動の開始、また被災地再興のための建築家によるプロジェクトが国際舞台でも評価されるなど、復興に向けて前進する姿勢には勇気づけられるものがあります。また日中国交正常化40周年をむかえ、中国を含めた近隣諸国との美術交流も例年に増して盛んに行われましたが、一方で領土問題をめぐる両国の関係悪化で企画されていた展覧会が中止に追い込まれるなど、美術界も政治とは無縁ではないことを痛感した1年でもありました。

本書では、こうした美術に関する出来事や動向についての諸情報を総覧することができます。平成24年の美術界をうかがうデータブックとしてご活用いただければ幸いです。

末筆となりましたが、この年鑑の編集にあたり、資料を提供して下さった多くの方々、国公立の美術館・博物館、大学等の研究教育機関、美術団体、画廊等の美術関係諸機関に対し、心からお礼申し上げます。

平成27年2月

独立行政法人国立文化財機構  
東京文化財研究所

所長 亀井伸雄



## 凡 例

- 1 本年鑑は、平成24(2012)年の1月から12月に至る美術界の主要な出来事を記載した。
- 2 本年鑑は、わが国美術界の全般について、主要な事件、展覧会、物故者、発表された文献などを記載した。
- 3 本年鑑であつかう美術の範囲は、一般に行われる狭義の解釈に従い、絵画、彫刻・空間表現、工芸、書、写真、漫画、デザインおよび建築に限っている。書、写真、漫画、建築はわれわれの注意をひく範囲にとどめた。
- 4 人名を記す場合は、すべて敬称を省略した。
- 5 「美術展覧会」の欄は、「企画展」、「作家展」、「団体展」の3つに分類し、展覧会名、作家名などの50音順に配列した。これは、美術に対する関心の多様化にともない、従来の時代や地域の区分をこえた展覧会が増加しつつある近年の状況に対応するために行ったものである。なお、「企画展」は、東洋古美術および近現代美術における企画性の高い展覧会を指す。「作家展」は、東洋古美術から現代までの作家を主題とした展覧会および少人数の作家による展覧会を指す。「団体展」とは、定期的に、連続して開催される公募を原則とする主要な展覧会を指す。
- 6 「美術展覧会」の欄は、原則として「美術文献目録」欄の「収録定期刊行物誌名」にあげられた定期刊行物に掲載された展覧会関連記事を中心とし、これに本研究所が所蔵する展覧会図録から得られる情報も参照して記載している。データは、展覧会名、会期、会場の順に略記し、当該年から翌年にかけて開催された場合は、原則として翌年の年記を略した。展覧会名は、概ね50音順で記載した。巡回展は、展覧会関連記事のある会期と会場を掲載し、そのほかの巡回先を( )内に列記した。同一展覧会でも展覧会関連記事があれば、言及された会期と会場を掲載している。展覧会が同時に複数会場で開催されている場合は、スラッシュで区切って列記した。
- 7 「美術展覧会図録所載文献」の欄は、展覧会図録に掲載された論文等をまとめた。詳細は、美術文献目録の始めに付した凡例(69頁)を参照されたい。
- 8 刊行物の名称は一部略称とした。略称については、76頁の一覧を参照されたい。
- 9 採録データの原典に付されているルビは、当該文字の直後に〔 〕を付して記した。ルビの平仮名、片仮名の別は原典に従った。
- 10 本年鑑は、塩谷純(企画情報部近・現代視覚芸術研究室長)を編集主任とし、田中淳(当研究所副所長、同部部長、同部文化財アーカイブズ研究室長)、山梨絵美子(同部副部長)、津田徹英(同部文化形成研究室長)、小林達朗(同部主任研究員)、皿井舞(同部主任研究員)、安永拓世(同部研究員)、河合大介(同部アソシエイトフェロー)が編集作業にあたった。また、定期刊行物、美術展覧会図録の管理登録については、企画情報部文化財アーカイブズ研究室の協力を得た。「物故者」記事の執筆に当たっては、菊池理予(当研究所無形文化遺産部)、橘川英規(当研究所企画情報部アソシエイトフェロー)、友田正彦(当研究所文化遺産国際協力センター)の協力を得るとともに、荒川正明(学習院大学、当研究所無形文化遺産部客員研究員)、増田玲(東京国立近代美術館)、三上豊(和光大学、当研究所企画情報部客員研究員)、山崎剛(金沢美術工芸大学、当研究所無形文化遺産部客員研究員)の4氏にご協力いただいた。

なお、本年鑑の編集にあたっては、伊波知秋、田所泰、西川真理子、久野華歩、前田詩織、松本侑子、宮田裕美子の7氏の献身的な編集補助を得た。記して謝意を表する。

## 目 次

序 .....	i
凡 例 .....	iii
目 次 .....	iv
平成24(2012)年美術界年史 .....	1
美術展覧会 .....	7
企 画 展 .....	7
作 家 展 .....	28
団 体 展 .....	63
美術文献目録 .....	69
凡 例 .....	69
収録定期刊行物誌名 .....	70
定期刊行物所載文献 .....	77
目 次 .....	77
美術展覧会図録所載文献 .....	353
企 画 展 .....	353
作 家 展 .....	381
団 体 展 .....	397
物 故 者 .....	401

# 平成 24 (2012) 年 美術界 年 史

## 1 月

- 朝日賞受賞者決定 2011年度朝日賞(主催:朝日新聞文化財団)の受賞者が決定した。美術関係では美術家の横尾忠則が「常に時代と共振する斬新なグラフィックデザイン・絵画の制作」により受賞した。
- 毎日芸術賞受賞者決定 芸術文化における優れた業績を顕彰する毎日芸術賞(主催:毎日新聞社)の第53回目の受賞者が発表され、美術関係では、建築家の坂茂(紙による新しい建築の探究と東日本大震災被災地での活用に対して)、画家の菊畑茂久馬(福岡市美術館・長崎県美術館での「菊畑茂久馬回顧展 戦後/絵画」に対して)、書家の石飛博光(「石飛博光書展 2011」に対して)が受賞した。
- 「特別展 北京故宮博物院200選」の開催 日中国交正常化40周年・東京国立博物館140周年を記念して、2日より東京国立博物館で「特別展 北京故宮博物院200選」が開催された(2月19日まで)。同展は北京故宮博物院のコレクションから200件を展示、なかでも北宋時代の張拙端による「清明上河図巻」は中国国外での初めての公開となり、注目を集めた。
- VOCA 賞受賞者決定 平面美術の若手作家を奨励するVOCA賞の受賞者が発表され、「絵が見る世界11\_03」を制作した鈴木星亜が受賞した。またVOCA奨励賞は桑久保徹と武居功一郎、佳作賞は大成哲と柏原由佳、大原美術館賞は柏原由佳にそれぞれ贈られることとなった。受賞作等を展示するVOCA展2012は3月15日から3月30日まで東京都の上野の森美術館で開催された。

## 2 月

- 台北故宮展の日本開催、2014年開催で合意 台北・國立故宮博物院の周功鑫院長が8日、東京国立博物館の島谷弘幸副館長と会談し、同博物院の美術品による展覧会を2014年に東京国立博物館で開催することで基本合意した。同院の美術品の大半は元々北京にあった

ため、日本展開催の場合、中国政府が差し押さえに動く可能性があったが、海外から借り受けた美術品の第三者による差し押さえを禁じる「海外美術品等公開促進法」が2011年9月に施行されたのを受けて、計画が本格的に始動したもの。5月には、東京での開催後に九州国立博物館でも開催することで基本合意した。

- 「村山知義の宇宙」展の開催 11日より神奈川県立近代美術館(葉山)で「すべての僕が沸騰する 村山知義の宇宙」展が開催された(3月25日まで)。大正末期から昭和初期にかけて造形作品やダンスパフォーマンス、舞台装置、建築設計、デザイン、さらに戯曲や小説、評論の執筆などを手がけ、「日本のダ・ヴィンチ」と称された村山知義の多義性を紹介する初めての大規模な個展となった。同展は京都国立近代美術館(4月7日~5月13日)、高松市美術館(5月26日~7月1日)、世田谷美術館(7月14日~9月2日)に巡回した。
- 第37回木村伊兵衛写真賞受賞者決定 写真家木村伊兵衛の業績を記念し、優れた新人写真家に贈られる木村伊兵衛写真賞(主催:朝日新聞社、朝日新聞出版)の第37回目の受賞者が18日、田附勝に決定した。受賞対象は写真集『東北』(リトルモア)で、東北の人々の風土に根ざした営みに真摯に向き合う姿勢が高く評価された。

## 3 月

- 芸術選奨文部科学大臣賞受賞者決定 文化庁は13日、2011年度の芸術選奨文部科学大臣賞と同新人賞の受賞者を発表した。芸術選奨文部科学大臣賞美術部門では、写真家の畠山直哉(「Natural Stories」展に対して)、建築家の坂茂(東日本大震災被災地で活用された「紙の建築」に対して)、評論等部門では美術史学者の鈴木杜幾子(著作『フランス革命の身体表象 ジェンダーからみた200年の遺産』に対して)、メディア芸術部門では東京藝術大学の佐藤雅彦(テレビ番組「0655」「2355」に対して)が受賞。同新人賞美術部門では、美術家・彫刻家の小谷元彦(「幽体の知覚」展に対して)、芸術振興部門ではせんだいメディアテーク主幹兼企画・活動支援室長の甲斐賢治(震災復興記録事業「3がつ11にちをわ

すれないためにセンター」の活動に対して)、評論等部門では視覚文化研究者の佐藤守弘(著作『トポグラフィの日本近代 江戸泥絵・横浜写真・芸術写真』に対して)、メディア芸術部門ではアニメーション監督の長井龍雪(「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」に対して)が受賞した。

○日本芸術院賞受賞者決定 日本芸術院(院長:三浦朱門)は16日、2011年度の芸術院賞受賞者を発表した。美術部門で池口史子(洋画、立軸会出品作「深まる秋」に対して)が恩賜賞・日本芸術院賞を、同部門で吉野毅(彫塑、二科展出品作「夏の終り'11」に対して)、宮田亮平(工芸、日展出品作「シュプリングン『翔』」に対して)、星弘道(書、日展出品作「李頌詩 贈張旭」)が日本芸術院賞を受賞した。

○「ボストン美術館 日本美術の至宝」展の開催 20日より東京国立博物館で「ボストン美術館 日本美術の至宝」展が開催された(6月10日まで)。同展ではボストン美術館が所蔵する日本の美術品を展示、在外二大絵巻といわれる「吉備大臣入唐絵巻」「平治物語絵巻」が全巻公開されたほか、同展に向けて当初の襖絵の姿に修復された曾我蕭白の「雲龍図」が日本での初公開となった。同展は名古屋ボストン美術館(6月23日～12月9日)、九州国立博物館(2013年1月1日～3月17日)、大阪市立美術館(2013年4月2日～6月16日)に巡回した。

○第31回土門拳賞受賞者決定 前年に優れた成果を挙げた写真家に贈られる土門拳賞(主催:毎日新聞社)の第31回受賞者が高梨豊に決定した。受賞対象は写真集『IN』(新宿書房)で、撮影対象に深く溶け込む姿勢と、瞬間の光景を通して、ありふれた日常から都市の姿を鋭敏に切り取る感性が高く評価された。

○「色彩の世界・伊藤若冲 日本花鳥画展1716-1800」の開催 日本から米国の首都ワシントンに3000本の桜が寄贈されてから100年目にあたるのを記念して、30日よりワシントン・ナショナル・ギャラリーで「色彩の世界・伊藤若冲 日本花鳥画展1716-1800」が開催された(4月29日まで)。若冲の代表作である「動植綵絵」全30幅(宮内庁三の丸尚蔵館蔵)と京都相国寺の「釈迦三尊像」が、国外で一室に展示される初めての機会となった。また同時期にアーサー・M. サックラー・ギャラリーで狩野一信の「五羅漢像」(増上寺蔵)葛飾北斎の「富嶽三十六景」の展覧も行なわれた。

## 4 月

○東京都美術館のリニューアルオープン 2010年春より大規模改修のため全面休館していた東京都美術館が1日にリニューアルオープンした。1975年に前川國男が

設計した建物は老朽化が進んだため大改修となり、エレベーターやエスカレーターの増設や、企画棟の天井高を高くするなど展示空間の改善を行なった。またリニューアルを機に、とくにアート・コミュニケーション機能を強化、東京藝術大学との共同事業である「とびらプロジェクト」を立ち上げ、同大学の専任スタッフによる鑑賞プログラムやワークショップを展開することとなった。

○平成24年度文化庁予算決定 平成24年度予算案が5日、成立した。文化庁予算は1074億4700万円(東日本大震災復興交付金18億円を含む)となり前年度より4.2%、43億2000万円の増額となった。Ⅰ. 豊かな文化芸術の創造と人材育成、Ⅱ. かけがえのない文化財の保存、活用及び継承等、Ⅲ. 我が国の多彩な文化芸術の発信と国際文化交流の推進、の3つを柱とし、とくに東日本大震災からの復興特別会計として、Ⅱで「被災文化財の復旧」に37億3900万円、「被災ミュージアム再興事業」に5億700万円が計上、またⅢで「近現代建築資料等の収集・保存」に1億5000万円が計上された。

○「松本竣介展」の開催 14日より岩手県立美術館で、生誕100年を記念して「松本竣介展」が開催された(5月27日まで)。詩情を湛えた作品で多くの人を魅了する洋画家の松本竣介については、これまで度々回顧展が催されたが、同展では従来の展覧会にもまして資料の紹介に力を注ぎ、制作の背景について具体的な情報を提供する内容となった。同展は神奈川県立近代美術館(葉山)(6月9日～7月22日)、宮城県美術館(8月4日～9月17日)、島根県立美術館(9月29日～11月11日)、世田谷美術館(11月23日～2013年1月14日)に巡回した。

○五浦六角堂の再建 東日本大震災の津波で流失した岡倉天心ゆかりの茨城大学五浦美術文化研究所六角堂(茨城県北茨城市)の再建工事が完了し、17日に完成式が行われた。再建にあたっては、茨城大学の三輪五十二特命教授の指揮のもと、英国から当時と同じ製法の窓ガラスを取り寄せるなど、1905年の創建当初の忠実な再現につとめた。総工費は約4300万円で、大半は寄付金で賄われた。

○国宝・重要文化財指定の答申 文化審議会は20日、山形県舟形町の西ノ前遺跡の出土品で、女性をかたどった優美な造形で知られる縄文時代中期の「土偶」と、南宋時代の中国で描かれ日本に伝来した普悦筆「絹本著色阿弥陀三尊像」(京都府・清浄華院蔵)の2件を国宝に、鎌倉時代の仏師快慶作の可能性が高い「木造執金剛神立像・木造深沙大將立像」(和歌山県・金剛峯寺蔵)など46件を重要文化財に指定するよう平野博文文化科学相に答申した。同時に金比羅参りの玄関口となるJR琴平駅本屋(香川県琴平町)など建造物166件と、長野県出身の考古学者・故藤森栄一が集めた「諏訪地



域考古資料」を登録有形文化財として登録するよう答申した。

- 「KORIN展」の開催 21日より根津美術館で特別展「KORIN展 国宝「燕子花図」とメトロポリタン美術館所蔵「八橋図」」が開催された(5月20日まで)。同展では、尾形光琳の代表作である同館所蔵の「燕子花図屏風」(国宝)とニューヨークのメトロポリタン美術館が所蔵する「八橋図屏風」が、1915(大正4)年の光琳没後二百年を記念する展覧会以来、一堂に展観された。なお同展は前年開催の予定だったが、東日本大震災の発生により延期されていたもの。
- 第5回東山魁夷記念日経日本画大賞決定 日本画家東山魁夷の業績を称え、次代を担う日本画家を表彰するために創設された東山魁夷記念日経日本画大賞の第5回受賞作に、鴻池朋子の「シラー谷の者 野の者」と濱田樹里の「流・転・生I」が選出された。また選考委員特別賞には浅見貴子の「松の木 muison-so」と三瀬夏之助の「山ツツジを探して」が選ばれた。同受賞作を含む入選作による展覧会は、5月19日から6月3日まで上野の森美術館で開催された。

## 5 月

- 読売あをによし賞受賞者決定 保存科学・修復の現場で優れた業績をあげた個人・団体を顕彰する読売あをによし賞(主催:読売新聞社、特別協力:文化財保存修復学会)の第6回目の受賞者として、本賞に手漉和紙づくりに欠かせない「簀桁」の製作を材料の加工から完成まで一貫して行なう国内唯一の職人である山本忠義、奨励賞に樹木医として桜の古木が作り出す景観を守ってきた黒坂登、特別賞に明治期の創設以来、数多くの仏像や工芸品の修理を手掛けてきた財団法人美術院が決定した。
- 国宝・重要文化財(建造物)指定の答申 文化審議会は18日、唐招提寺金堂(奈良市)の屋根を飾った“天平の甍”として知られる旧鷗尾2個と、華麗な装飾が特徴の歓喜院聖天堂(埼玉県熊谷市)の2件を国宝に、また全長141メートルの階段状の流水施設である牛伏川本流水路(長野県松本市)など7件を重要文化財に、日光東照宮に向かう街道沿いに発展した栃木県栃木市の嘉右衛門町など5地区を重要伝統的建造物群保存地区にするよう、平野博文文化科学相に答申した。

## 6 月

- 薬師寺東塔の解体修理 奈良市の薬師寺東塔(国宝)では約110年ぶりの解体修理が進められ、4日には相輪

上層部にある宝珠を取り外す法要が営まれて作業が本格化した。瓦、木部、基壇などを全て解体し、地下の発掘調査を行なった後、傷んだ部分を修繕しながら再び組み上げ、平成31年の春に修理が完了する予定である。

- 名勝・史跡指定の答申 文化審議会は15日、大浦天主堂境内(長崎市)や田島弥平旧宅(群馬県伊勢崎市)など7件を史跡に指定し、別府の湯けむり・温泉地景観(大分県別府市)など4件を重要文化的景観に新たに選定するよう平野博文文化科学相に答申した。
- 「マウリッツハイス美術館展」の開催 30日より東京都美術館で「マウリッツハイス美術館展 オランダ・フランドル絵画の至宝」が開催された(9月17日まで)。同展はオランダのマウリッツハイス美術館が4月から大規模な改修工事のため長期休館するのに伴い、同館が所蔵する17世紀オランダ・フランドル絵画のコレクションを紹介するもので、なかでも人気の高いフェルメールの「真珠の耳飾りの少女」は2000年に大阪市立美術館で展示されて以来の日本公開となった。同展は神戸市立博物館(9月29日～2013年1月6日)に巡回した。

## 7 月

- 第7回西洋美術振興財団賞受賞者決定 西洋美術の理解や研究発表などに貢献した展覧会に携わった個人・団体を顕彰する西洋美術振興財団賞の第7回目の受賞者が決定した。個人に贈られる学術賞は大島徹也・愛知県美術館学芸員(愛知県美術館と東京国立近代美術館で開催の「生誕100年 ジャクソン・ポロック」展に対して)、新見隆・武蔵野美術大学教授(パナソニック汐留ミュージアムで開催の「ウィーン工房1903-1932 モダニズムの装飾的精神」展に対して)が、団体に贈られる文化振興賞はDIC川村記念美術館を運営するDIC(旧、大日本インキ化学工業)が受賞した。
- 人間国宝認定の答申 文化審議会は20日、木工芸で薄板を環状に曲げる挽曲技法に高い技量を持つ灰外達夫、多様な技法で格調高く独創的な作品を生み出している竹工芸の藤沼昇を含む4名を新たに重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定するよう平野博文文化科学相に答申した。

## 8 月

- 福島県、警戒区域での文化財レスキュー開始 東京電力福島第一原発事故の警戒区域内に置き去りにされている文化財のレスキュー活動が1日に始まった。同作業は2012年5月に設置された福島県被災文化財等救援

本部が東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会(文化財レスキュー事業)の支援を受けて行なったもので、8月に梱包作業、9～11月には警戒区域外への搬出・収納作業を実施した。

- ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展での日本館、金獅子賞受賞** イタリアのヴェネツィアで開催された第13回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展の授賞式が29日行われ、国別参加部門で、東日本大震災復興における建築の役割をテーマにした日本館の展示「ここに、建築は、可能か」が最高賞の金獅子賞を受賞した。建築家の伊東豊雄らが被災地である岩手県陸前高田市に建築中の集会所「みんなの家」の設計プロセスを紹介したもの。

## 9 月

- 平等院鳳凰堂の修理** 京都府宇治市の平等院鳳凰堂(国宝)の56年ぶりとなる修理が3日に着工した。今回の修理では平成26年までに瓦を全面的に葺き替え、内部を除く壁面や柱を赤色に塗り直し、屋根上の鳳凰(複製品)と宝珠には金メッキを施す予定。
- 第24回世界文化賞受賞者発表** 世界の優れた芸術家を顕彰する高松宮殿下記念世界文化賞(主催:公益財団法人日本美術協会)の第24回受賞者が12日発表された。美術関係では、絵画部門で蔡國強(中国)、彫刻部門でチェッコ・ボナノッテ(イタリア)、建築部門でヘニング・ラーセン(デンマーク)が受賞した。
- 登録有形文化財登録の答申** 文化審議会(会長:宮田亮平)は21日、米国出身の建築家ヴォーリズの設計で1937(昭和12)年に建設された滋賀県豊郷町の旧豊郷小学校、仙台市の旧宣教師住宅であるデフォレスト館、現存する大正期のつり橋である岐阜県白川町の白川橋、熊本県人吉市の人吉温泉の老舗、芳野旅館など155件の建造物を新たに登録有形文化財にするよう平野博文文部科学相に答申した。
- 「国立デザイン美術館をつくる会」の設立** 日本におけるデザインの重要性を広く伝えるとともに、国立デザイン美術館設立に向けて機運を高めることを目的とした「国立デザイン美術館をつくる会」が、デザイナーの三宅一生と美術史家で国立西洋美術館長の青柳正規によって設立された。11月27日には東京ミッドタウンホールで第1回パブリック・シンポジウム「国立デザイン美術館をつくらう！」が開催された。

## 10 月

- 東京駅丸の内駅舎の復原** 辰野金吾と葛西萬司が設計

した東京都千代田区の東京駅丸の内駅舎(重要文化財)が、1914(大正3)年の竣工当初の形態に復原され、1日に全面開業した。同駅舎は1945(昭和20)年の空襲によりその多くが破壊、焼失し、復興工事により失われたドーム屋根に代わって木造八角形の屋根が載せられるなど、本来とは異なる姿のまま60年余が経過。2007(平成19)年より復原工事を開始し、外壁・南北両ドーム内外の意匠を再現、また新たに地下1・2階を増築して免震装置を設置した。

- 東京ステーションギャラリーのリニューアルオープン** 東京駅丸の内駅舎の復原工事に伴い、2006年より休館していた東京ステーションギャラリーが、駅舎の再開業に合わせ1日にリニューアルオープンした。丸の内北口にほぼ直結する位置に移転し、ホワイトウォールの3階と煉瓦壁による2階の展示室で構成。開館記念展として「始発電車を待ちながら 東京駅と鉄道をめぐる現代アート 9つの物語」(10月1日～2013年2月24日)を開催。
- 「維新の洋画家 川村清雄」展の開催** 8日より東京都江戸東京博物館で特別展「維新の洋画家 川村清雄」が開催された(12月2日まで)。海外で本格的な油彩画技法を学びながら江戸文化に根ざした日本的な洋画を制作した川村清雄の画業を検証する同展は、遺族から同博物館等へ寄贈された膨大な関係資料をもとに構成され、フランス、オルセー美術館が所蔵する「建国」といった在外の川村作品も交えた展覧となった。同展は静岡県立美術館(2013年2月9日～3月27日)に巡回した。
- 日中関係の悪化による美術展の中止** 9月の尖閣諸島国有化により日中関係が悪化する中、東京藝術大学大学美術館で10日より開催が予定されていた東京藝術大学・中央美術学院交流展「東京 北京 現代アート 紙非紙 2012」が、中国側からの作品運搬及び参加作家の訪日が困難となり、中止となった。また23日から北京の中国国家博物館で予定されていた日中の美術関係者による交流展「日中美術展」も開催が中止された。
- 第24回国華賞受賞者決定** 日本・東洋美術に関する優れた研究を対象とする第24回国華賞は、肥田路美・早稲田大学教授の著書『初唐仏教美術の研究』(中央公論美術出版、2011年12月)、塚本鷹充・東京国立博物館研究員の論文「皇帝の文物と北宋初期の開封」(『美術研究』404・406号、2011年8月・2012年3月)に贈られることが決定した。
- 重要文化財(建造物)指定の答申** 文化審議会(会長:宮田亮平)は19日、昭和初期に整備された旧佐渡鉱山採鉱施設(新潟県佐渡市)など建造物6件を重要文化財に指定し、江戸時代～昭和初期に建てられた町屋が残る富山県高岡市の金屋町地区など4地区を重要伝統的建造物群保存地区に選定するよう、田中真紀子文部科学相に答申した。

## 12 月

○文化勲章受章者、文化功労者決定 政府は30日、2012年度の文化勲章受章者6名と文化功労者15名を決定した。美術関係では、美術評論家の高階秀爾、日本画家の松尾敏男が文化勲章受章者に、画家・絵本作家の安野光雅、日本画家の中路融人、アニメ映画監督の宮崎駿が文化功労者に選ばれた。

## 11 月

○第34回サントリー学芸賞受賞者決定 第34回サントリー学芸賞(主催:サントリー文化財団)が13日に決定、美術関係では芸術・文化部門で水野千依『イメージの地層』(名古屋大学出版会)が受賞した。

○名勝・史跡指定の答申 文化審議会(会長:宮田亮平)は16日、安珍・清姫伝説の舞台になった道成寺境内(和歌山県日高川町・御坊市)など8件を史跡に、旧関山宝蔵院庭園(新潟県妙高市)など3件を名勝に指定するよう田中真紀子文部科学相に答申した。また瓢箪島(広島県尾道市、愛媛県今治市)など3件を登録記念物に、最上川の流通・往来および左沢町場の景観(山形県大江町)を重要文化的景観にするよう答申した。

○「TOKYO1955-1970:新しい前衛」展の開催 18日よりニューヨーク近代美術館で「TOKYO1955-1970:新しい前衛」展が開催された(2013年2月25日まで)。1960年代を中心とする東京で繰り広げられた前衛的な試みを、多様なメディアの作品を通して紹介する内容で、日本戦後美術史への関心と研究が米国を中心に近年高まりを見せる中での本格的な展覧となった。

○第24回倫雅美術奨励賞受賞者決定 優れた美術評論や美術史の研究を顕彰する倫雅美術奨励賞(主催:公益信託倫雅美術奨励基金)の第24回目の受賞者が発表され、美術史研究部門は蔵屋美香(東京国立近代美術館美術課長)で、「ぬぐ絵画—日本のヌード1880-1945」展の企画と図録論文が評価された。美術評論部門は成相肇(東京ステーションギャラリー学芸員)で、前任の府中市美術館が昨年度に開催した「石子順造の世界美術発・マンガ経由・キッシュ行」展の企画と図録論文が評価された。

○芸術院新会員決定 日本芸術院(院長:三浦朱門)は30日、芸術活動に顕著な功績があったとして新たに8名を同院新会員に選出したと発表、美術関係では日本画の山崎隆夫、洋画の池口史子、彫塑の神戸峰男、書の井茂圭洞が選ばれた。12月15日付で田中真紀子文部科学相により発令された。

○VOCA賞受賞者決定 平面美術の若手作家を奨励するVOCA賞の受賞者は「あの日の眠りは確かに熱を帯びていた」を制作した鈴木紗也香に10日決定した。VOCA奨励賞は柴田麻衣と平子雄一、佳作賞は大崎のぶゆきと吉田晋之介、大原美術館賞は佐藤翠にそれぞれ贈られることとなった。受賞作等を展示するVOCA展2013は2013年3月15日から3月30日まで東京都の上野の森美術館で開催された。

○登録有形文化財登録の答申 文化審議会(会長:宮田亮平)は14日、戦後日本の復興と高度経済成長の象徴として親しまれてきた東京タワー(東京都港区)や1933年に建てられたアールデコ風の住宅である旧岡田家住宅母家(北海道旭川市)、1811年完成の浄土真宗寺院である蓮慶寺本堂(愛知県阿久比町)、高さ44mで現役の灯台では国内最高の出雲日御碕灯台(島根県出雲市)など126件の建造物を登録有形文化財にするよう田中真紀子文部科学相に答申した。



# 美術展覧会

## 企画展

(ア)

ARCHIZINES OSAKA 9.1—9.17  
中之島デザインミュージアム  
de sign de

AXIS 160 ぼむ企画

Artist Group—風— 1回 10.20—  
10.28 東京都美術館  
新美術新聞 1298 (磯)

Art and Air ～空と飛行機をめぐる、  
芸術と科学の物語 7.21—9.17  
青森県立美術館  
芸術新潮 752 前橋重二

アートと音楽 新たな共感覚をもと  
めて 東京アートミーティング3  
回 10.27—2.3 東京都現代美術  
館

ギャラリー\* 333 名古屋覚

芸術新潮 758

東京 11.5 長谷川祐子

東京夕刊 12.5 三沢典丈

アートフェア東京2012 3.30—4.1  
東京国際フォーラム  
芸術新潮 748  
水墨画\* 279

アートプログラム青梅2012 存在を  
超えて 10.20—11.25 青梅市立  
美術館／青梅織物工業協同組合施  
設／吉川英治記念館  
水墨画\* 286

ART RADIO Show 8.20—8.26  
みどり荘  
東京 8.21 宮崎美紀子

アル・デコ 光のエレガンス ル  
ネ・ラリック、ドームを中心に  
7.7—9.23 パナソニック汐留ミ  
ュージアム

朝日夕刊 9.12 西岡一正

産経 9.6

東京 7.6 池田まゆみ／岩井美  
恵子

東京夕刊 9.3 美輪明宏／三沢  
典丈 聞き手

アル・ブリュット・いわて 6.12  
—9.2 岩手県立美術館

アル・ブリュット・ジャポネ展  
4.7—6.3 高浜市やきもの里か  
わら美術館(高知県立美術館、福  
岡市美術館、アル・サン・ピエ  
ール美術館(パリ))

REAR 28 森田靖久

アル・ブリュット・ジャポネ展  
6.12—9.2 岩手県立美術館(高知  
県立美術館、福岡市美術館、アル  
・サン・ピエール美術館(パリ))  
日経 7.18 宝玉正彦

愛教大の造形展 2.11—2.19 愛知  
県陶磁資料館

陶説 709 井上隆生

愛知県立芸術大学陶磁専攻鯉江教室  
卒業生展1回 3.13—3.18 愛知  
芸術文化センター

陶説 711 井上隆生

愛知の美術60年—戦後洋画から現  
代美術へ— 6.8—7.8 安城市民  
ギャラリー

会津・漆の芸術祭2012 地の記憶  
未来へ 10.6—11.23 会津若松  
市／喜多方市

朝日夕刊 11.7 増田愛子

読売 10.11 高野清見

AINU ART 風のかたりべ 12.4—  
1.20 松浦武二郎記念館(北海道  
立近代美術館)

蒼き海路を統べるもの—古墳時代前  
半の日向海岸部— 日向の古墳1  
4.27—7.8 宮崎県立西都原考古  
博物館

赤羽台古墳群に眠る人々 石と埴輪  
から探る東国古墳文化 10.27—  
12.9 北区飛鳥山博物館

赤松円心・則祐 10.13—12.2 兵  
庫県立歴史博物館

ア!教科書で見たゾ 7.4—11.4  
東洋文庫ミュージアム

朝日夕刊 9.19 横田麻生子

あさごアートコンペティション  
2012 10.27—12.2 あさご芸術

の森美術館

アジアをつなぐ 境界を生きる女た  
ち 1984—2012 9.1—10.21 福  
岡アジア美術館(沖縄県立博物館  
・美術館、栃木県立美術館、三重  
県立美術館)

芸術新潮 759

新美術新聞 1288 黒田雷児

新美術新聞 1290

新美術新聞 1291 黒田雷児

美術手帖 976 土屋誠一

読売 9.13 白石知子

足利尊氏 その生涯とゆかりの名宝  
10.13—11.25 栃木県立博物館

足利の富士山信仰—隠された立体富  
士曼荼羅— 9.8—10.28 足利市  
立美術館

新美術新聞 1291

足立の仏像—ほとけがつなぐ足立の  
歴史— 区制80周年記念 10.26  
—12.9 足立区立郷土博物館  
東京 10.21 土屋善文

熱海ゆかりの名宝 学校の先生と学  
芸員がつくった展覧会 7.14—  
9.3 MOA美術館  
新美術新聞 1286

蒐めて愉しむ鼻煙壺—沖正一郎コレ  
クション— 1.2—3.25 大倉集  
古館

朝日夕刊 2.29 岩本恵美

ad展 4.23—4.29 ギャラリーム  
サシ  
新美術新聞 1278

あなたに見せたい絵があります。  
ブリヂストン美術館開館60周年  
記念 3.31—6.24 ブリヂストン  
美術館

新美術新聞 1277 貝塚健

読売夕刊 5.12 ヨミウリ・ジュ  
ニア・プレス取材班

After the War 隆盛する戦後の欧米  
版画 8.4—9.23 町田市立国際  
版画美術館

日経 9.5 窪田直子

阿武山古墳と牽牛子塚—飛鳥を生き

た 貴人たち—開館1周年記念特別展 3.17—5.13 今城塚古代歴史館  
 あやべの横穴式石室 王者の証し 10.6—11.25 綾部市資料館  
 アラブ・エクスプレス展：アラブ美術の今を知る 6.16—10.28 森美術館  
 ギャラリー\* 326  
 ギャラリー\* 330 名古屋堂  
 芸術新潮 752  
 美術手帖 973 住友文彦  
 朝日夕刊 6.27 大西若人  
 東京夕刊 7.27 三沢典丈  
 日経 6.29  
 日経 8.9 平野啓一郎  
 毎日夕刊 7.5 三田晴夫  
 読売夕刊 7.4 井上晋治  
 アルケオメトリア 考古遺物と美術工芸品を科学の眼で透かし見る 3.3—6.17 東京大学総合研究博物館  
 毎日夕刊 4.5 伊藤和史  
 阿波の名所と観光 7.28—9.9 徳島市立徳島城博物館  
 阿波蜂須賀家の粋 館蔵名品展 9.15—10.21 徳島市立徳島城博物館  
 Ange de Noël 7 12.21—12.28  
 ギャラリー絵夢  
 新美術新聞 1299  
 UNKNOWNNS ART×CRITICISM 8.20—8.25 藍画廊  
 新美術新聞 1288  
 (イ)  
 EACH ONE vol.9 6.8—6.20 ギャラリー絵夢  
 新美術新聞 1281  
 生の螺旋 松原遺跡発掘速報 7.27—9.2 となみ散居村ミュージアム民具館  
 生きる形 4.20—9.1 東京大学総合研究博物館  
 産経 6.25 磨井慎吾  
 Arts&Life：生きるための家 次世代建築家による39の提案 東京都美術館リニューアル記念展 7.15—9.30 東京都美術館

新美術新聞 1288 真室佳武  
 朝日夕刊 9.12 大西若人  
 日経 9.13 平野啓一郎  
 読売 7.26  
 生きる場所 ボーダーレスの空へ  
 熊本市現代美術館開館10周年記念 9.29—12.9 熊本市現代美術館  
 美術屋・百兵衛 23  
 石空間展 7 8.8—8.14 高島屋(日本橋)  
 新美術新聞 1287  
 美術の窓 347 武田厚  
 石山寺縁起絵巻の全貌 ～重要文化財七巻一挙大公開～ 10.6—11.25 滋賀県立近代美術館  
 出雲—聖地の至宝—古事記1300年 出雲大社大遷宮 10.10—11.25 東京国立博物館  
 読売 10.18 早川保夫  
 出雲国の源流から 意宇の神仏の宝もの 11.17—1.14 島根県立八雲立つ風土記の丘資料館  
 伊豆を守護する仏たち ～忿怒の仏～ 10.28—12.9 上原仏教美術館  
 伊丹国際クラフト展2012 11.17—12.24 伊丹市立工芸センター  
 陶説 718 外館和子  
 イタリア・ポローニャ国際絵本原画展 2012 6.30—8.12 板橋区立美術館(西宮市大谷記念美術館、四日市市立博物館、石川県七尾美術館、長島美術館)  
 五浦と岡倉天心の遺産展 五浦六角堂再建記念 5.9—5.28 高島屋(日本橋)(高島屋(京都))  
 新美術新聞 1280  
 産経 5.10  
 読売 5.17  
 糸の先へ いのちを紡ぐ手、布に染まる世界 2.4—3.11 福岡県立美術館  
 ファウンテン 3 幕内政治  
 いのちのうた 生命讃歌 箱根・芦ノ湖・成川美術館所蔵品による 10.20—11.25 唐津市近代図書館  
 祈りの器 2.4—3.18 松山市考古館

いばらきデザインフェア2012 11.10—11.18 茨城県陶芸美術館県民ギャラリー(2k540 AKI-OKA ARTISAN)  
 陶説 719 外館和子  
 今岡紫雲英グループ展30回 11.29—12.2 東京芸術劇場  
 美術の窓 353 編集部  
 イメージの叫び パワー・オブ・創作木版画 5.19—7.1 府中市美術館  
 芸術新潮 751  
 版画芸術 156  
 朝日夕刊 6.6 増田愛子  
 色めく彫刻 よみがえる美意識 9.22—12.2 群馬県立館林美術館  
 朝日夕刊 11.14 大西若人  
 読売 10.18 井上晋治  
 岩崎彌之助のまなざし—古典籍と明治の美術— 静嘉堂文庫創設120周年・美術館開館20周年記念受け継がれる東洋の至宝 PartII 9.22—11.25 静嘉堂文庫美術館  
 いわて創作版画の系譜 近現代木版画展 4.21—8.26 萬鉄五郎記念美術館  
 新美術新聞 1287  
 版画芸術 156  
 朝日夕刊 6.6 増田愛子  
 印象派の行方 モネ・ルノワールと次世代の画家たち 1.21—7.8 ポーラ美術館  
 日経 6.21  
 インター・カレッジ・アニメーション・フェスティバル2012 9.27—9.30 国立新美術館(北海道安達学園大通公園ホール、京都国際マンガミュージアム、金沢21世紀美術館)  
 朝日 9.26 小原篤  
 隠喩としての宇宙 “The Cosmos as Metaphor” 7.20—9.1 タカ・イシイギャラリー京都  
 美術手帖 974 大島賛都  
 毎日夕刊 8.30 渡辺亮一  
 隠喩としての宇宙 “The Cosmos as Metaphor” 7.20—10.7 ホテルアンテルーム京都  
 美術手帖 974 大島賛都

毎日夕刊 8.30 渡辺亮一

## (ウ)

- 上野の森美術館大賞展30回 4.28—5.10 上野の森美術館(京都府京都文化博物館、彫刻の森美術館、福岡県立美術館)
- VOCA展2012 現代美術の展望 新しい平面の作家たち 3.15—3.30 上野の森美術館 朝日 3.21
- 浮世絵猫百景—国芳一門ネコづくし— 6.1—7.26 太田記念美術館 産経 6.13 渋谷和彦 東京 6.15 三沢典丈 毎日夕刊 7.18 高橋咲子
- ウキヨエ盆栽園 盆栽デ、明治ヲアソブ 3.24—5.15 大宮盆栽美術館
- 失われた街 3.11のための模型復元プロジェクト展 6.30—7.15 兵庫県立美術館ギャラリー 朝日夕刊 7.11 大西若人 読売 7.5
- うたかた 9.22—10.14 アートラボあいち REAR 29 吉田有里
- 美しきフォルム 川口の匠 vol.2 10.7—11.15 川口市立アートギャラリー・アトリア 新美術新聞 1292
- 美しさの新機軸〜日本画過去から未来へ〜 11.1—11.11 東京芸術大学正木記念館
- うつせみ 9.22—10.14 常懐荘 REAR 29 吉田有里
- うつわのちから 暮らしを彩るいれものたち 10.19—3.10 アサヒビール大山崎山荘美術館 陶説 718 小吹隆文
- 「うふっ。どうしちゃったの、これ!？」 魅、観、見、実、身、未!!! 障害者アート企画展 12.5—12.9 埼玉県立近代美術館
- 馬と人々の暮らし 6.16—7.29 一宮市博物館
- 湖(うみ)を見つめた王 継体大王と琵琶湖 4.21—6.17 滋賀県立安土城考古博物館

- 海を渡って来た植物 牧野富太郎の植物画コレクション 牧野富太郎生誕150年記念特別展 10.6—12.2 練馬区立牧野記念庭園記念館 読売 10.14
- 梅野隆の仕事展 7.28—9.23 東御市梅野記念絵画館 新美術新聞 1288
- 漆—その歴史と文化— 11.24—1.27 千葉市立郷土博物館
- 漆・うるわしの饗宴 世界の女性作家による漆表現の現在 9.14—10.1 山脇ギャラリー(京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、喜多方市美術館) 毎日夕刊 9.25 岸桂子
- ウルトラマン・アート! 時代と創造—ウルトラマン&ウルトラセブン 7.7—9.2 埼玉県立近代美術館(北海道立旭川美術館、岩手県会館、鹿児島市立美術館、福井市美術館、茨城県近代美術館、長崎美術館、高松市美術館) 朝日夕刊 6.30 石飛徳樹/増田愛子 読売 8.16 井上晋治
- 麗しき女性の美 松園・青邨・契月・麦僊・不矩 4.21—5.27 姫路市立美術館(島根県立美術館) 新美術新聞 1279
- 麗しのマイセン人形 小早川コレクション 11.23—5.6 岐阜県現代陶芸美術館
- 雲州松平家の大名行列 お殿様の道中と街道 10.6—12.2 松江歴史館
- (エ)
- エヴァンゲリオンと日本刀展 7.14—9.17 備前長船刀剣博物館(三河武士のやかた家康館/岡崎城)
- EVOLUTION16 10回 1.18—1.24 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、京都、名古屋))
- 描き継ぐ日本美—円山派の伝統と発展 9.15—11.11 宮内庁三の丸尚蔵館
- エコ&アートアワード2012作品展

- 3.4—3.22 コニカミノルタプラザ 産経 3.20
- 絵師100人展2 4.30—5.6 アキバスクエア 産経 5.1
- 越後妻有アートのトリエンナーレ 2012 大地の芸術祭5回 7.29—9.17 越後妻有地域(新潟県十日町市/津南町) AXIS 160 暮沢剛巳 建築雑誌 1637 渡辺斉 朝日 8.14 大西若人 朝日夕刊 8.15 大西若人 毎日夕刊 8.22 岸桂子 読売 8.9 井上晋治
- 越前 薪窯と土の美 7.21—9.2 福井県陶芸館 陶説 717 新井英之
- 越境する日本人—工芸家が夢みたアジア 1910s—1945 4.24—7.16 東京国立近代美術館工芸館 新美術新聞 1282 木田拓也 新美術新聞 1286 黒田雷児 陶説 711 木田拓也 朝日夕刊 5.30 増田愛子 毎日夕刊 5.8 岸桂子 読売 6.21 高野清見
- えどがわ、アートな日和。 9.22—12.16 しのぎ文化プラザ 東京 10.18 村松権主 展
- 絵解きってなあに? 語り継がれる仏教絵画 10.13—11.25 龍谷大学 龍谷ミュージアム
- 江戸の粋、印籠 フィンランド・クルスコレクション 12.19—3.10 九州国立博物館
- 江戸の大名菩提寺 10.27—12.16 港区立港郷土資料館
- 江戸の旅—たどる道、えがかれる風景 9.28—11.11 仙台市博物館
- 江戸の判じ絵 再びこれを判じてごろうじろ 9.15—11.4 たばこと塩の博物館 芸術新潮 755
- 江戸の風雅 旧きを知り新しきを創った絵師たち 9.15—11.4 群馬県立近代美術館
- 江戸への旅 年貢米と上乗人

10.13—11.25 大分県先哲史料館  
 絵に描いた座右の銘 8.20—9.14  
 クリエイションギャラリーG8  
 読売夕刊 9.1  
**N+N展2012 触れる—感覚のレ  
 スン—** 6.28—7.8 練馬区立美  
 術館  
 朝日 7.6 大室一也  
**恵比寿映像祭4回 映像のフィジ  
 カル** 2.10—2.26 東京都写真美  
 術館/恵比寿ガーデンプレイスセ  
 ンター広場ほか  
 読売 2.16  
**F氏の絵画コレクション 福沢一  
 から奈良美智世代** 7.28—8.26  
 豊橋市美術博物館  
**MOA岡田茂吉賞展18回** 6.8—7.9  
 MOA美術館  
 陶説 713 外館和子  
 東京夕刊 6.22 中村英樹  
**大エルミタージュ美術館展 世紀の  
 顔 西欧絵画の400年** 4.25—  
 7.16 国立新美術館(京都市美術  
 館)  
 新美術新聞 1281 本橋弥生  
 日経 7.5 平野啓一郎  
 読売 4.23  
 読売 4.23 千足伸行  
 読売夕刊 6.2 高野清見  
**大エルミタージュ美術館展 世紀の  
 顔 西欧絵画の400年** 7.28—  
 9.3 名古屋市美術館(京都市美術  
 館)  
 美術屋・百兵衛 22  
**絵をよむ言葉 美術批評家 坂崎坦  
 ・坂崎乙郎のあつめた絵画** 5.21  
 —7.7 早稲田大学會津八一記念  
 博物館  
 新美術新聞 1283  
**円空大賞展6回** 2.10—3.4 岐阜  
 県美術館  
 REAR 28 熊谷伊佐子  
 日経 2.14

(オ)

**鷗外のもう一つの顔—美術解剖学—**  
 6.1—6.10 ギャラリーシビック  
 東京 6.8 井上圭子  
**黄金の国々—甲斐の金山と越後・佐**

**渡の金銀山—** 10.6—12.3 山梨  
 県立博物館(新潟県立歴史博物館)  
**王朝文化の華 陽明文庫名宝 宮廷  
 貴族近衛家の一千年** 4.17—5.27  
 京都国立博物館  
 新美術新聞 1280  
**王と首長の神まつり—古墳時代の祭  
 祀と信仰—** 4.28—7.1 大阪府  
 立近つ飛鳥博物館  
**近江巡礼 祈りの至宝展 滋賀県立  
 琵琶湖文化館が守り伝える美**  
 1.12—2.11 静岡市美術館(仙台  
 市博物館、島根県立古代出雲博物  
 館)  
 水墨画\* 285  
**青梅アート・ジャム2012 アートが  
 この地に来ること 森から響く  
 祈りとくらし All Relationships**  
 5.19—7.1 青梅市立美術館/吉  
 川英治記念館/ゆずの里勝仙閣  
**青梅信用金庫コレクション 市制施  
 行60周年特別展** 3.3—3.25 青  
 梅市立美術館  
**大倉集古館名品展 豪快なる大倉財  
 閥の美術コレクション** 10.13—  
 11.25 山梨県立美術館  
 新美術新聞 1294  
**大阪の茶の湯と近代工芸—武者小路  
 千家の茶人・三代木津宗詮と大阪  
 の職方—** 10.24—12.3 大阪歴  
 史博物館  
 目の眼 435  
**大須観音展 古事記1300年** 12.1  
 —1.14 名古屋市博物館  
**大原美術館展** 5.19—7.8 北海道  
 立近代美術館  
**Open Your Eyes 生きる術としての  
 アート** 11.2—11.14 名古屋芸  
 術大学アート&デザインセンター  
 REAR 29 笠木日南子  
**オールドノリタケのなかの女性たち**  
 9.14—11.11 八王子市夢美術館  
 朝日夕刊 10.17 中村さやか  
**岡崎アート&ジャズ2012** 11.1—  
 12.2 岡崎市内  
 REAR 29 能勢陽子  
**おかね道中記—旅で使う貨幣—**  
 11.10—5.12 日本銀行金融研究  
 所貨幣博物館

**岡本太郎現代芸術賞展15回** 2.4—  
 4.8 川崎市岡本太郎美術館  
 読売夕刊 3.5 (井)  
**お札の不思議な模様 彩紋の世界**  
 12.26—3.3 お札と切手の博物館  
 朝日夕刊 12.26  
**織田信長と美濃・尾張** 9.13—10.  
 15 岐阜市歴史博物館  
 新美術新聞 1292  
**お伽草子 この国は物語にあふれて  
 いる** 9.19—11.4 サントリー美  
 術館  
 新美術新聞 1292  
 産経 10.14 黒沢綾子  
 日経 10.10 宝玉正彦  
**おふどうと名乗った家 豪商大木家  
 の350年** 1.27—3.5 山梨県立  
 博物館  
**おもしろびじゅつワンダーランド展**  
 8.8—9.2 サントリー美術館  
 毎日夕刊 8.28 岸桂子  
 読売夕刊 8.18 ヨミウリ・ジュ  
 ニア・プレス取材班  
**親子で旅する展覧会 作品たちのさ  
 さやきを心できき、そしてつづや  
 こう** 7.14—9.2 府中市美術館  
 ギャラリー\* 328  
**Olive 1982—2003 雑誌『オリーブ』  
 のクリエイティビティ** 2.25—  
 7.1 金沢21世紀美術館デザイン  
 ギャラリー  
**尾張氏 志段味古墳群をときあかす**  
 4.28—6.10 名古屋市博物館  
**おん祭と春日信仰の美術** 12.8—  
 1.20 奈良国立博物館

(カ)

**絵画銅鐸の世界** 10.6—12.2 辰馬  
 考古資料館  
**絵画をめぐる7つの迷宮 終わりの  
 ない探求** 11.17—12.24 損保  
 ジャパン東郷青児美術館  
 新美術新聞 1298  
**美術の窓** 351 中島啓子  
 読売夕刊 12.8 ヨミウリ・ジュ  
 ニア・プレス取材班  
**開廊50周年記念小品展その1—油  
 画・現代アート・版画** 10.29—  
 11.3 銀座スルガ台画廊



新美術新聞 1294  
開廊50周年記念小品展その2—日本画 11.26—12.1 銀座スルガ台画廊  
新美術新聞 1297  
香りの道具 夢幻境に遊ぶ雅 9.7—10.21 石川県輪島漆芸美術館  
加賀赤絵展 魅惑の赤、きらめく金彩 11.8—11.26 高島屋(日本橋)(高島屋(京都)、松坂屋美術館、小松市内各所(小松市立博物館/小松市立本陣記念美術館/小松市立錦窯展示館/絵本館ホール十九番館))  
芸術新潮 757  
新美術新聞 1296  
朝日夕刊 11.6 坂下雅子  
朝日夕刊 11.21 増田愛子  
毎日夕刊 11.21 岸桂子  
読売夕刊 11.10  
輝ける王妃エリザベート展 8.8—8.20 三越(日本橋)  
産経 7.22 黒沢綾子  
産経 8.6  
学芸員のまなざし Curators×Collection 6.9—8.26 兵庫陶芸美術館  
鶴林寺太子堂 聖徳太子と御法の花のみほとけ 4.14—6.3 兵庫県立歴史博物館  
火事装束 火事と喧嘩は江戸の華 4.28—6.3 一宮市博物館  
風が吹けば桶屋が儲かる MOT ANNUAL2012 10.27—2.3 東京都現代美術館  
美術手帖 977 沢山遼  
KATAGAMI Style 世界が恋した日本のデザイン 4.6—5.27 三菱一号館美術館(京都国立近代美術館)ジャポニスム研究 32 隠岐由紀子  
日本美術新聞 5  
美術手帖 965 島貫泰介  
目の眼 429  
朝日夕刊 4.11 西岡一正  
日経 3.18  
日経 6.17  
日経夕刊 4.5  
日経夕刊 4.16 窪田直子

読売 4.19 前田恭二  
KATAGAMI Style 世界が恋した日本のデザイン 8.28—10.14 三重県立美術館(京都国立近代美術館)REAR 29 鯨井秀伸  
日経 8.19  
日経 9.16  
楽器は語る 紀州藩主徳川治宝と君子の楽 7.10—9.2 国立歴史民俗博物館  
読売 7.25 早川保夫  
勝坂縄文展 12.15—2.7 神奈川県立歴史博物館(相模原市立博物館)金澤八景いま昔 初公開 楠山永雄コレクション 4.12—6.3 神奈川県立金沢文庫  
CAF ネビュラ展2012 11.7—11.18 埼玉県立近代美術館  
鎌倉期の宸筆と名筆—皇室の文庫〔ふみくら〕から 11.23—12.22 宮内庁三の丸尚蔵館  
毎日夕刊 12.20 桐山正寿  
読売 12.12  
鎌倉密教—将軍護持の寺と僧— 8.3—10.8 神奈川県立金沢文庫  
鎌倉めぐり「武家の古都 鎌倉」世界遺産登録推進 2.9—4.8 神奈川県立金沢文庫  
神々への祈り 神の若がりところの再生 4.28—6.17 東北歴史博物館  
「唐入り」の時代～秀吉の大陸出兵と大名たち 10.27—12.2 徳島市立徳島城博物館  
軽井沢の風展 日本の現代アート1950—現在〔いま〕 4.27—9.2 軽井沢ニューアートミュージアム美術館・百兵衛 22  
カルペ・ディエム 花として今日を生きる 6.30—9.23 豊田市美術館  
美術手帖 975 宮村周子  
REAR 29 松田愛  
毎日夕刊 9.20 岸桂子  
華麗なるインド—インドの細密画と染織の美— 畠中光享コレクション 11.3—12.26 新潟市新津美術館(三鷹市美術ギャラリー)  
読売 12.13

平成24年美術展覧会(企カ、キ)

画廊の系譜—浅川コレクションと1960～80年代日本の美術—  
11.10—12.24 足利市立美術館  
朝日夕刊 11.28 青天目恭子  
読売 12.15  
画廊の視展 5.26—6.10 みぞえ画廊  
新美術新聞 1280  
可愛いもの考古学 7.21—9.7 滋賀県立安土城考古博物館  
滋賀県立安土城考古博物館紀要21 阿刀弘史  
閑輝会展20回記念 12.26—1.6 愛知県美術館ギャラリー  
新美術新聞 1300  
ガンゴウ・ヴィレッジと1980年代・ミャンマーの実験美術 12.13—3.20 福岡アジア美術館  
新美術新聞 1301 黒田雷児  
ガンダーラ美術とシルクロードの絵画 3.17—5.20 泉屋博古館  
日経 4.20  
GUN 新潟に前衛〔アバンギャルド〕があった頃 11.3—1.14 新潟県立近代美術館  
ギャラリー\* 331  
美術手帖 979 塩田純一  
朝日夕刊 12.12 大西若人

(キ)

紀伊弥生文化の至宝 9.29—12.2 和歌山県立紀伊風土記の丘  
機械の眼—カメラとレンズ 9.22—11.18 東京都写真美術館  
亀城公園のひみつ お城から公園へ 11.3—12.16 土浦市立博物館  
北の土偶 縄文の祈りと心 3.6—5.13 北海道開拓記念館  
北原照久禁断の写真集『和印』出版記念展 1.27—2.7 TOKYO CULTUARY by BEAMS  
芸術新潮 747  
喫茶の世界—お茶と日本文化— 10.19—11.25 大分県立歴史博物館  
岐阜県ゆかりの人間国宝 美濃陶芸の系譜 8.4—12.24 岐阜県現代陶芸美術館  
陶説 715 井上隆生

気ままにアートめぐり—印象派、エ  
 コールド・パリと20世紀美術  
 10.26—12.24 プリヂストーン美術  
 館  
 美術手帖 975 吉田宏子

KIMONO at 百段階段 9.14—10.  
 21 目黒雅叙園  
 毎日夕刊 9.24

嬉遊会コレクション—江戸絵画を中  
 心に— 2.4—2.26 千葉市美術  
 館

京都から—新版画集出版記念展  
 12.18—12.23 ギャラリーヒルゲ  
 ート  
 版画芸術 158

京都守護職拜命150年と新島八重  
 9.14—11.4 若松城天守閣郷土博  
 物館

郷土ゆかりの画家たち 10.27—  
 12.2 田原市渥美郷土資料館

京の画塾細見 京都市美術館コレク  
 ション展第2期 8.25—11.25  
 京都市美術館  
 新美術新聞 1290

共鳴／主張する個性—現代洋画家  
 10人展— 7.27—9.23 諏訪市  
 美術館  
 新美術新聞 1288

行列にみる近世 武士と異国と祭礼  
 と 10.16—12.9 国立歴史民俗  
 博物館  
 朝日夕刊 11.26 小川雪

巨匠たちの英国水彩画展 マンチェ  
 スター大学ウィットワース美術館  
 所蔵 4.7—6.24 岡崎市美術館  
 博物館(新潟県立万代島美術館)  
 美術屋・百兵衛 21

巨匠たちの英国水彩画展 マンチェ  
 スター大学ウィットワース美術館  
 所蔵 7.14—9.24 島根県立石見  
 美術館(新潟県立万代島美術館)  
 新美術新聞 1287

巨匠たちの英国水彩画展 マンチェ  
 スター大学ウィットワース美術館  
 所蔵 10.20—12.9 Bunkamura  
 ザ・ミュージアム(新潟県立万代  
 島美術館)  
 朝日夕刊 10.12 木島俊介

清水六兵衛家 京の華やぎ 陶家の

蒐集と制作 I 1.12—3.24 愛知  
 県陶磁資料館  
 陶説 720 井上隆生

清盛とその時代—兵どもを支えた女  
 性たち— 6.2—10.21 海の見え  
 る杜美術館  
 新美術新聞 1285

清盛と日宋貿易 4.21—6.24 兵庫  
 県立考古博物館

清盛の生きた時代 10.6—11.25  
 神戸市埋蔵文化財センター

煌めくヴェネチアン・ビーズ—アド  
 リア海の雫— 4.20—11.25 箱  
 根ガラスの森美術館  
 新美術新聞 1279

記録は可能か。映像をめぐる冒険  
 vol.5 12.11—1.27 東京都写真  
 美術館

近現代のブックデザイン考I 書物  
 にとっての美 10.22—11.17 武  
 蔵野美術大学美術館

近世の文人たち—自筆資料にみるそ  
 の人となり— 5.13—6.10 天理  
 ギャラリー(天理大学附属天理図  
 書館)

金属造型の真髄 essence of metal  
 sculpture 12.12—12.18 高島屋  
 (日本橋)(高島屋(新宿、大阪))

近代から現代へ 日本画の巨匠たち  
 —名作でたどる日本美術院のあゆ  
 み— 8.21—9.23 福岡市美術館  
 新美術新聞 1288

近代日本画の名作 描かれた日本画  
 の美 10.13—11.25 豊橋市美術  
 博物館

近代日本画名品展 日本の美を愛し  
 た巨匠たち—横山大観から平山郁  
 夫まで— 1.25—2.6 三越(日本  
 橋)

近代日本美術協会夏季選抜作家展  
 7.8—7.14 東京交通会館  
 新美術新聞 1285

近代日本洋画の魅惑の女性像 モネ  
 ・印象派旗挙げの前後 7.7—  
 9.23 泉屋博古館分館  
 新美術新聞 1285 川口直宜

近代の京焼と京都ゆかりの絵画  
 4.14—6.17 泉屋博古館分館  
 新美術新聞 1280

金鈴塚古墳展 甦る東国古墳文化の  
 至宝 11.2—12.24 木更津市郷  
 土博物館金のすず

(ク)

空想動物の世界—聖なる古代の物語  
 — 7.7—8.19 MIHO MUSEUM  
 新美術新聞 1285

具体 ニッポンの前衛 18年の軌跡  
 7.4—9.10 国立新美術館  
 ギャラリー\* 327  
 新美術新聞 1287  
 美術手帖 973 加藤瑞穂  
 朝日夕刊 7.25 大西若人  
 東京夕刊 8.29 平井章一  
 日経夕刊 8.7 窪田直子  
 読売 8.23 高野清見

久米邦武と能楽展 岩倉具視の能楽  
 再興を支えた人物(プレーン)  
 6.2—7.22 久米美術館

グラフィカ・コレクション展 no.  
 20 11.5—11.24 ガレリアグラ  
 フィカ

GRAPHIC TRIAL 2012 おいしい印  
 刷 6.1—8.26 印刷博物館 P&P  
 ギャラリー(西日本工業大学小倉  
 キャンパス、仙台市情報・産業ブ  
 ラザネ! ットU)

朝日夕刊 7.18 中村さやか  
 毎日夕刊 6.18 永田晶子  
 くらべ馬 近代競馬150周年記念  
 4.28—6.10 馬の博物館

Christmas Art Gift展 12.11—12.  
 16 アートラボ・ノクト  
 新美術新聞 1299

群馬青年ビエンナーレ2012 7.7—  
 8.26 群馬県立近代美術館

(ケ)

溪山清遠—中国現代アート・伝統か  
 らの再出発 1.2—2.24 福岡ア  
 ジア美術館  
 水墨画\* 286

芸術家の肖像—写真で見る19世紀、  
 20世紀フランスの芸術家たち—  
 4.14—6.24 三鷹市美術ギャラリ  
 ー  
 新美術新聞 1278  
 朝日夕刊 5.2 杉森美絵

**芸術館コレクション展** 6.18—7.21  
 京都造形芸術大学 芸術館  
 瓜生通信 56 小木曾愛美  
**解脱上人貞慶 鎌倉仏教の本流 御遠忌800年記念特別展** 4.7—5.27  
 奈良国立博物館(神奈川県立金沢文庫)  
 新美術新聞 1277  
**蹴鞠** 10.3—12.3 天理大学附属天理参考館  
**源氏物語 遊興の世界** 9.15—12.2  
 逸翁美術館  
**雅展IV 元 禅僧と文人** 10.26—10.31 瀬津雅陶堂  
**現代絵画のいま** 10.27—12.24 兵庫県立美術館  
**現代茶陶展5回** 4.14—4.22 セラトピア土岐  
 陶説 712 井上隆生  
**現代の座標—工芸をめぐる11の思考—** 9.15—12.2 東京国立近代美術館工芸館  
 毎日夕刊 10.10 岸桂子  
**現代の造形—Life & ART—ふれる器 Feel Ceramics** 2.4—3.18 東広島市立美術館  
 陶説 711 外館和子  
**現代美術展 ART 田ノ島39** 8.4—8.12 田ノ島39番地  
 REAR 29 石崎尚  
**現代美術展 ART 田ノ島39 豊橋展** 8.5—8.31 ギャラリーサンセリテ  
 REAR 29 石崎尚  
**現代美術展 in とよはし** 1.17—2.19 豊橋市内  
 REAR 28 原舞子  
**現代美術日韓展18回** 8.6—8.11 ギャラリーくぼた  
**建築を彩るテキスタイル展—川島織物の美と技—** 9.6—11.24  
 LIXIL ギャラリー(LIXIL ギャラリー大阪)  
 産経 9.19 黒沢綾子  
 (コ)  
**高句麗壁画古墳報道写真展** 10.6—12.16 日本新聞博物館  
 読売 10.17

**工芸未来派** 4.28—8.31 金沢21世紀美術館  
 ギャラリー\* 325  
 芸術新潮 752 橋本麻里  
 新美術新聞 1281 秋元雄史  
**陶説** 713 井上隆生  
**美術手帖** 975 北澤憲昭  
**美術屋・百兵衛** 22  
**朝日夕刊** 8.1 増田愛子  
**毎日夕刊** 8.22 渡辺亮一  
**読売** 7.19 高野清見  
**高校生国際美術展13回** 6.28—7.8 国立新美術館  
**交差する視点とかたち vol.5** 9.8—9.23 札幌芸術の森美術館(紋別市立博物館、北海道立釧路芸術館)  
 新美術新聞 1290  
**神野御茶屋 殿様の別邸** 9.24—12.1 徴古館  
**国宝紅白梅図屏風 所蔵名品展[絵画・書跡] 開館30周年記念** 1.27—3.2 MOA美術館  
**朝日夕刊** 2.22 宮代栄一  
**公募団体ベストセレクション 美術2012** 5.4—5.27 東京都美術館  
 ギャラリー\* 325  
**主体美術** 92 返町勝治  
**東京夕刊** 5.11 勝田一人  
**毎日夕刊** 5.9 岸桂子  
**読売** 5.17 高野清見  
**高野山麓 祈りのかたち** 10.20—12.2 和歌山県立博物館  
**高麗青磁の精華 心にしみ入る翡色の輝き** 6.9—9.2 高麗美術館  
**陶説** 712  
**KORIN 国宝「燕子花図」とメトロポリタン美術館所蔵「八橋図」** 4.21—5.20 根津美術館  
 新美術新聞 1279  
**小江戸川越 江戸絵画 職人尽絵と三十六歌仙額** 11.6—12.16 川越市立美術館  
**水墨画\*** 284  
**呼吸する環礁(アトール): モルディブ・日本現代美術展** 5.24—6.3  
**スパイラルガーデン**  
**美術手帖** 971 高橋瑞木  
**国際水墨芸術大会** 10.23—10.28

平成24年美術展覧会(企ケ、コ)

東京銀座画廊・美術館  
**水墨画\*** 285 沈和年  
**極小の宇宙 手わざの粋—伊勢型紙の歴史と展開—** 8.28—10.14  
 三重県立美術館  
**古事記の歩んできた道 古事記撰録1300年** 6.16—7.16 奈良国立博物館  
**古代ガラス シルクロードを彩る人工の華** 1.5—3.5 天理大学附属天理参考館  
**後藤家文書 刀装金工の鑑定と記録** 10.1—10.27 東京芸術大学付属図書館  
**コドモのチカラ** 6.15—7.29 AT-ELIER MUJI  
 芸術新潮 752  
**こども博物館 動物たちのイメージ** 4.14—6.3 徳島市立德島城博物館  
**個の原点3回** 1.25—1.31 高島屋(大阪)(高島屋(日本橋、名古屋))  
**この素晴らしき世界 アジアの現代美術から見る世界の今** 3.24—5.13 広島市現代美術館  
 新美術新聞 1277  
**美術手帖** 969 木村絵理子  
**この世界とわたしのどこか 日本の新進作家 vol.11** 12.8—1.27  
 東京都写真美術館  
**美術手帖** 979 タカザワケンジ  
 東京 12.4 笠原美智子  
**個の地平6回** 8.22—8.28 高島屋(日本橋)(高島屋(京都、大阪、名古屋))  
 新美術新聞 1288  
**美術の窓** 348 編集部  
**古萩 江戸の美意識** 10.20—12.9 山口県立萩美術館・浦上記念館  
**小林一三の愛した近代日本画** 7.7—8.12 逸翁美術館  
**毎日夕刊** 7.30 渡辺亮一  
**古美術優品** 1.4—2.5 石川県立美術館  
**目の眼** 425  
**古筆手鑑 国宝『見努世友』と『藻塩草』** 2.25—3.25 出光美術館  
**朝日夕刊** 2.22 宮代栄一

湖北の親音—信仰文化の底流をさぐる— 9.7—10.14 長浜城歴史博物館  
 暦と怪異—不安な日々の平安貴族— 10.6—11.11 齋宮歴史博物館  
 コレクション名作展Iメナード美術館開館25周年記念 12.4—2.17 メナード美術館  
 新美術新聞 1298 村上久美  
 コレクター鈴木常司 美へのまなざし ポーラ美術館開館10周年記念 第I期ピカソとポーラ美術館の絵画 7.14—10.2 ポーラ美術館  
 新美術新聞 1288 荒屋鋪透  
 目の眼 434 編集部  
 朝日夕刊 8.22 増田愛子  
 コレクター鈴木常司 美へのまなざし ポーラ美術館開館10周年記念 第II期モネとポーラ美術館の絵画 10.5—2.26 ポーラ美術館  
 陶説 716 川島公之  
 読売 9.20 井上晋治

(サ)

サークル・オブ・アート 11.22—1.20 北海道立近代美術館  
 災害と文化財—歴史を語る文化財の保全— 4.28—6.3 和歌山県立博物館  
 歴史学研究 896 下村周太郎  
 埼玉ゆかりの芸術家〜近代・現代の埼玉の芸術家が創造する世界〜 4.14—9.2 サトエ記念21世紀美術館  
 新美術新聞 1280  
 再発見 日本の書画の美 9.29—11.11 田原市博物館(丹波市立植野記念美術館)  
 ザ・大阪ベストアート—府&市モダンアートコレクションから 9.15—11.25 大阪市立近代美術館(仮称)心斎橋展示室  
 新美術新聞 1294  
 坂田和実の40年 古道具、その行き先 10.3—11.25 渋谷区立松涛美術館  
 美術手帖 975 白坂ゆり

東京夕刊 11.16 藤田一人  
 日経夕刊 10.4  
 佐賀藩 長崎警備のはじまり 5.28—8.4 徴古館  
 櫻堂薬師1200年 11.3—12.16 瑞浪市陶磁資料館  
 挿絵が僕らにくれたもの—通俗文化の源流— 6.2—5.20 三鷹の森ジブリ美術館  
 東京 6.3 高橋知子  
 佐田岬半島と西日本の裂織 10.6—12.2 愛媛県歴史文化博物館  
 ザ・タワー〜都市と塔のものがたり〜 2.21—5.6 江戸東京博物館(大阪歴史博物館)  
 芸術新潮 748  
 新美術新聞 1273 岩城紀子  
 産経 4.19 海老沢類  
 読売 4.13 高野清見  
 サッポロ未来展11回 RENEWAL 3.19—3.24 札幌時計台ギャラリー(札幌市立小樽美術館)  
 美術の窓 344 磯部靖  
 座の会展1回 座2012 9.1—9.16 なみき画廊  
 水墨画\* 285  
 サムライたちの美学 新刀と刀装具にみる粋の心 2.4—3.25 静嘉堂文庫美術館  
 朝日夕刊 2.15 杉森美絵  
 3月11日の、あのね。 3.18—3.29 全労済ホール  
 東京 3.20 中山洋子  
 三国志の時代—2・3世紀の東アジア— 4.21—6.17 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館  
 3・11—東日本大震災の直後、建築家はどうか対応したか 3.2—3.18 東北大学都市・建築学専攻仮設校舎 KATAHIRA 10  
 産経 3.7 黒澤綾子  
 3.11とアーティスト:進行形の記録 10.13—12.9 水戸芸術館現代美術ギャラリー  
 美術手帖 976 沢山遼  
 朝日夕刊 10.24 大西若人  
 東京夕刊 11.5 三沢典丈  
 日経 11.14 宝玉正彦  
 毎日夕刊 11.28 岸桂子

読売 11.9 井上晋治  
 三都画家くらべ 京、大坂をみて江戸を知る 3.17—5.6 府中市美術館  
 芸術新潮 749  
 日経 4.11 宝玉正彦

(シ)

JIDA デザインミュージアムセレクション Vol. 13 3.16—3.20 芝浦工業大学  
 シェル美術賞 2012 12.12—12.24 国立新美術館  
 自画像★2012 —9人の美術家による新作自画像と小品展— 10.1—10.20 ギャラリー58  
 朝日夕刊 10.10  
 毎日夕刊 10.10 三田晴夫  
 四季の所蔵作品展 朱夏の章 6.1—8.29 北野美術館  
 新美術新聞 1282  
 四季の美 7.17—10.31 トーキョウアートショールーム  
 新美術新聞 1288  
 四国へんろの旅 絵図・案内記と道標 2.21—4.8 愛媛県歴史文化博物館  
 紙上の技法学 筑波大学蔵石井コレクション 1.7—2.19 武蔵野市立吉祥寺美術館  
 自然と幻想の博物誌 あつめること、みること、そうぞうすること 7.14—8.19 豊橋市美術博物館  
 REAR 29 山脇一夫  
 自然の鉛筆 技法と表現 7.14—9.17 東京都写真美術館  
 日経 8.8 窪田直子  
 時代的美 五島美術館・大東急記念文庫の精華 第2部 鎌倉・室町編 11.23—12.24 五島美術館  
 水墨画\* 284 砂澤祐子  
 産経 11.25 黒澤綾子  
 時代を駆けるデザイン 亀倉雄策賞の作家たち 4.27—6.3 新潟県立近代美術館  
 漆芸 軌跡と未来 東京藝術大学創立125周年記念事業 10.5—10.21 東京芸術大学大学美術館  
 新美術新聞 1293

- 漆芸の未来を拓く—生新の時2012— 5.12—6.24 石川県輪島漆芸美術館
- 実の会2回 美と存在 3.7—3.13 高島屋(日本橋)
- 芝 増上寺—秀忠とお江の寺— 3.27—5.27 江戸東京博物館  
読売 5.2
- WAITING FOR THE FIRST TRAIN  
始発電車を待ちながら 東京駅復元工事完成記念 10.1—2.24 東京ステーションギャラリー  
朝日夕刊 12.12 西岡一正  
産経 10.10 黒沢綾子  
東京夕刊 10.22 三沢典丈  
日経 10.3 窪田直子  
毎日夕刊 10.2 岸桂子  
読売 11.1 井上晋治
- 重要文化財指定記念—島内地下式横穴墓群出土品1029点— 7.6—9.2 えびの市歴史民俗資料館
- JAALA 国際交流展18回 2012 8.12—8.19 東京都美術館  
ギャラリー\* 330 ワシオ・トシヒコ
- 釈尊と親鸞 親鸞編 2.4—3.25 龍谷大学 龍谷ミュージアム
- 写実の可能性と大いなる挑戦 11.21—5.19 ホキ美術館  
新美術新聞 1302  
美術屋・百兵衛 24
- 写真の現在4 そのときの光、そのさきの風 6.1—7.29 東京国立近代美術館  
朝日夕刊 7.11 西岡一正  
毎日夕刊 6.19 手塚さや香  
読売 7.20 井上晋治
- 十一屋コレクションの名品 野口柿邨をめぐる文人たち 12.15—2.11 山梨県立美術館
- 19世紀ヨーロッパ・アカデミー派 絵画展—美しいものの伝統— 3.23—4.21 ギャラリー美術波  
新美術新聞 1278
- 収蔵作品展拡大版 青年期から—若き日の思索 3.3—5.6 佐久市立近代美術館  
新美術新聞 1276
- 収蔵作品にみる彫刻—立体造形の足し算 12.8—2.24 佐久市立近代美術館  
新美術新聞 1300
- 10年代の終戦 8.15—9.1 eitoeiko  
美術手帖 975 エイドリアン・ファベル/近藤亮介 訳
- 首里城に魂を! 国内唯一の赤い城〔ぐすく〕20年のストーリー 7.6—1.14 首里城公園管理センター
- 尚意競艶—宋時代の書— 10.2—11.25 台東区立書道博物館/東京国立博物館  
毎日夕刊 10.18 桐山正寿  
読売 11.8
- 奨学生美術展21回 9.25—11.4 佐藤美術館  
ギャラリー\* 331 名古屋覚
- 將軍家献上の鍋島・平戸・唐津—精巧なるやきもの— 10.6—11.25 佐賀県立九州陶磁文化館
- 少女たちの昭和展 9.11—2014.3.31 昭和のくらし博物館  
産経 10.12
- 正倉院展64回 10.27—11.12 奈良国立博物館  
新美術新聞 1291  
読売 8.11  
読売 9.27  
読売 10.31 関根俊一
- 肖像画の魅力—歴史[とき]を見つめた眼差し 2.11—3.20 茨城県立歴史館  
朝日夕刊 2.29 宮代栄一
- 象徴派 夢幻美の使徒たち—世紀末美術の巨匠たち 11.3—12.16 姫路市立美術館(岐阜県美術館、新潟県立近代美術館)  
新美術新聞 1295 山田真規子
- 象の内・外 2012 9.13—9.19 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1290
- 蕭白ショック!! 曾我蕭白と京の画家たち 4.10—5.20 千葉市美術館(三重県立美術館)  
新美術新聞 1277  
産経 4.29 洪沢和彦  
毎日夕刊 4.24 岸桂子  
読売 5.4 前田恭二
- 縄文人展 芸術と科学の融合 4.24—7.1 国立科学博物館  
美術手帖 971 諏訪敦
- 縄文土器 前期—八ヶ岳山麓の名作 9.15—11.4 長野県立歴史館
- 縄文土器 後期—千曲川流域、土器—万年の旅 11.10—12.16 長野県立歴史館
- 縄文の世界像—八ヶ岳山麓の恵み— 10.25—12.24 大阪市立弥生文化博物館  
毎日夕刊 12.12 渡辺亮一
- 昭和の名作住宅に暮らす—一次世代に引き継ぐためにできること— 9.21—10.21 ガレリア・アピタレー  
日経夕刊 10.1 窪田直子
- 書画まつり19回 11.10—11.25 ギャラリー鉄斎堂  
新美術新聞 1297
- 職人のわざ[技]とカタ[型]—商品の誕生— 10.6—11.18 埼玉県立歴史と民俗の博物館
- 助手展2012 武蔵野美術大学助手研究発表 11.26—12.22 武蔵野美術大学美術館
- 女性美 The Beauties He Loved 1.5—4.15 松岡美術館  
目の眼 426 黒川裕子
- [書・築]展 LOCUS DESIGN FORUM 日中韓共同プロジェクト 11.7—11.18 ヒルサイドフォーラム  
美術手帖 977 竹見洋一郎  
毎日夕刊 11.8 手塚さや香
- 書のアート展27回 4.18—4.23 東京都美術館  
産経 4.20
- 女流吉象展 7.30—8.5 ギャラリーームサン  
新美術新聞 1287
- 女流陶芸46回 11.21—11.27 京都市美術館  
陶説 718 森孝一
- 新エコールドパリ浮世・絵展1回 東京本部創立記念 1.27—1.29 CARATO71  
美術の窓 341 編集部
- 新・輝け! 埼玉作家展2回 11.7

平成24年美術展覧会(企シ〜ソ)

- 11.21 埼玉画廊  
新美術新聞 1296
- 宸翰 天皇の書—御手が織りなす至  
高の美— 10.13—11.25 京都国  
立博物館  
読売 11.7 早川保夫
- 震災からよみがえった東北の文化財  
展 2.2—3.31 都立中央図書館  
毎日 3.7 柳澤一男
- 神社名宝展—参り・祈り・奉る—  
皇學館大學創立130周年記念・再  
興50周年記念 4.29—5.26 皇  
学館大学佐川記念神道博物館
- 新宿クリエイターズ・フェスタ2012  
〜アートと過ごす夏時間〜 8.24  
—9.2 新宿区  
産経 8.30
- 新宿区立小学校—受け継がれた学び  
舎の宝— 2.18—4.15 新宿歴史  
博物館  
東京 2.20
- 信じられるデザイン展 3.30—6.17  
東京ミッドタウン・デザインハブ  
東京 4.6 井上幸一
- 新世紀の顔・貌・KAO —30人の自  
画像— 最終章 1.16—1.26 高  
輪画廊(ひろた画廊、アートスペ  
ース東山、神田日勝記念美術館)
- ShinPA!!!!!! 東京芸術大学デザイ  
ン科描画系 2.18—5.15 おぶせ  
ミュージアム・中島千波館  
ギャラリー\* 323
- 神秘のデザイン—中国青銅芸術の粋  
— 1.7—2.26 泉屋博古館分館  
ギャラリー\* 321
- 新耀展10回記念 6.17—6.23 東  
京交通会館  
美術の窓 347 編集部
- 親鸞 真宗開頭 宗祖親鸞聖人七百  
五十回御遠忌記念 10.10—11.28  
大谷大学博物館
- 神話のことは ブラジル現代写真展  
10.27—12.23 資生堂ギャラリー
- (ス)
- 水彩画の現在[いま]〜日本水彩画会  
創立100周年を迎えて〜開館30周  
年記念特別展 10.5—2.3 信州  
新町美術館

- 水彩画の魅力 7.7—9.30 大川美  
術館  
新美術新聞 1288
- 水滴の世界展 2.18—3.25 とちぎ  
蔵の街美術館  
目の眼 426
- スーホの白い馬と草原の民 10.6—  
12.2 馬の博物館
- 数寄屋大工—美を創造する匠—  
8.20—9.29 ギャラリーA4(竹  
中大工道具館、トヨタテクノミ  
ュージアム産業技術記念館)
- 須田悦弘による江戸の美 10.30—  
12.16 千葉市美術館  
美術手帖 979 関直子  
読売夕刊 12.3 (清)
- ストラスブル美術館展 5.26—  
7.16 茨城県近代美術館(福井県  
立美術館、横須賀美術館、愛媛県  
美術館、静岡市美術館)  
新美術新聞 1283
- 墨絵展2012 今日の墨表現 34回  
9.18—9.28 好文画廊  
水墨画\* 285
- 隅田川新名所物語 10.27—11.7  
隅田公園  
芸術新潮 757
- 墨と紙が生み出す美の世界展 10.  
13—12.9 徳島県立近代美術館  
水墨画\* 283 森芳功
- スリップウェアと西洋工芸 1.7—  
3.25 日本民芸館  
目の眼 427
- (セ)
- 清雅なる仏画 白描画像が生み出す  
美の世界 10.7—11.11 大和文  
華館  
新美術新聞 1293
- せいしんの美術展 3.15—3.16 学  
術総合センター  
産経 4.13
- 聖なる銀 アジアの装身具展 6.7  
—8.25 LIXIL ギャラリー1 (LI-  
XIL ギャラリー(大阪))  
読売 7.4
- 聖夜を想い・初空を仰ぐ 12.5—  
12.20 埼玉画廊  
新美術新聞 1299

- 世界絵画大賞展8回 8.22—8.30  
東京都美術館  
美術の窓 349 磯部靖
- 世界の終わりのものがたり〜もはや  
逃れられない73の問い 3.10—  
6.11 日本科学未来館  
産経 5.21 磨井慎吾
- 世界の学生の環境ポスタープロジェ  
クト 環境問題に向けた5大陸  
・20大学の学生のまなざし 7.9  
—8.18 武蔵野美術大学美術館
- 世界ポスタートリエンナーレトヤマ  
10回 2012 6.9—9.3 富山県立  
近代美術館  
朝日夕刊 8.15 増田愛子
- 世情 大阪城天守閣収蔵風俗図屏風  
にみる 3.24—5.6 大阪城天守  
閣
- 瀬戸市新世紀工芸館 第8期研修  
生修了作品展・第9期研修生作  
品展 2.18—3.25 瀬戸市新世紀  
工芸館  
陶説 710 井上隆生
- ZEN展10回 8.22—8.30 東京都  
美術館  
新美術新聞 1291 (主)
- 専攻科陶芸展1回 10.2—10.8  
岐阜県現代陶芸美術館プロジェ  
クトルーム  
陶説 717 井上隆生
- 戦国一乗谷の庭園 —伝統と革新の  
庭園デザイン— 8.4—9.17 福  
井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館
- 戦国大名尼子氏の興亡 10.26—  
12.24 島根県立古代出雲歴史博  
物館
- せんだいデザインリーグ 卒業設計  
日本一決定戦2012 10.21—10.  
27 AXIS ギャラリー(DSIGN+  
ART SPACE K3 nord、せんだい  
メディアテーク)  
読売 10.25
- 千墨会水墨画展17回 国立台湾藝  
術大学作品展 6.19—6.24 神奈  
川県民ホール  
水墨画\* 281
- (ソ)
- 草原の王朝 契丹 美しき3人の

プリンセス 7.12—9.17 東京芸術大学大学美術館(九州国立博物館、静岡県立美術館、大阪市立美術館)  
新美術新聞 1285  
毎日 7.11 三枝奏一  
毎日 7.11 原田一敏 談

創作版画の宝石箱—コレクター 長谷川勝三郎の絵 7.7—9.30 鹿沼市立川上澄生美術館  
版画芸術 156

空からの眺め—大江戸八百八町 5.1—5.27 太田記念美術館  
水墨画\* 278  
読売 4.13 前田恭二

それでも生きる!考古学からみる災害のあと 10.12—12.2 地底の森ミュージアム  
朝日夕刊 11.26 小川雪

ソニエリュミエール 物質・移動・時間 4.28—11.4 金沢21世紀美術館

尊厳の芸術 11.3—12.9 東京芸術大学大学美術館(こむこむ館、せんだいメディアテーク、浦添市美術館、広島県立美術館)  
美術手帖 977 榎木野衣  
朝日 11.21 増田愛子  
日経 11.21 窪田直子

存在の美 まなざし・微笑み・憂い 開館1周年記念 11.19—5.20 ホキ美術館  
産経 2.22 中山忠夫

(夕)

大出雲展 古事記1300年・出雲大社大遷宮 7.28—9.9 京都国立博物館(東京国立博物館)  
ギャラリー\* 327

大浮世絵展 北斎、広重、そして春画 9.13—12.24 軽井沢ニューアートミュージアム  
芸術新潮 757

大英博物館古代エジプト展 7.7—9.17 森アーツセンターギャラリー(福岡市美術館)  
朝日 6.21 増田愛子 構成  
朝日 7.3 増田愛子  
朝日 7.22 兼高かおる

大桜島公募展 10.12—11.4 鹿児島市立美術館  
新美術新聞 1294

大正から始まった日本のKawaii(カワイイ)展 ファンシーグッズを中心に 4.5—7.1 弥生美術館  
産経 6.20 渋谷和彦

大聖寺伊万里展 11.8—11.18 イリス  
目の眼 435

大正の記憶 絵葉書の時代 4.5—6.9 学習院大学史料館  
朝日夕刊 5.9 蒔苗沙都子  
読売 5.9

タイポグラフィ教育1 文字造形を主体とした大町尚友の教育の軌跡 9.10—10.20 武蔵野美術大学美術館

日本のこころ 大本山相国寺・金閣・銀閣名宝展 10.12—11.25 富山県水墨美術館

大名と藩—天下泰平の立役者たち— 3.20—5.6 埼玉県立歴史と民俗の博物館  
朝日夕刊 4.4 横田麻生子

太陽展49回 5.22—6.6 日動画廊  
平清盛 1.2—2.5 江戸東京博物館

対話する時間 世田谷美術館コレクションによる現代美術展 9.15—11.11 世田谷美術館  
朝日夕刊 10.10 神谷実里

高田本山の宝物と文化財展—信仰とその証— 3.4—4.16 パラミタミュージアム

たくみのたくらみ きせる・たばこ盆・たばこ入れにみる職人の手技 11.17—1.14 たばこと塩の博物館

武豊アニメーションフィルムフェスティバル2012(TAFF'12) 12.18—12.18 武豊町民会館  
REAR 27 越後谷卓司

多治見工業高校専攻科修了制作展 49回 2.17—2.19 多治見市文化会館  
陶説 710 井上隆生

多治見市陶磁器意匠研究所卒業制作展 平成23年度 2.17—2.19 セラミックパーク MINO

陶説 710 井上隆生

タッチアート!2—美術に触れるはじめの一步— 8.11—9.30 川越市立美術館  
新美術新聞 1288

タツノコプロテン 50周年記念 8.8—8.20 松屋(銀座)(阪神(梅田)、みやざきアートセンター、鶴屋(熊本)、スペースワールド)  
産経 8.15  
産経 8.17 織田淳嗣

館林ジャンクション 中央関東の現代美術 4.28—7.1 群馬県立館林美術館  
新美術新聞 1281  
東京夕刊 6.6 三沢典丈

七夕の美術 日本の近世・近代の美術工芸にみる 6.23—8.19 静岡市美術館  
新美術新聞 1283 吉田恵理  
水墨画\* 279  
毎日夕刊 7.2 岸桂子  
読売 7.5 井上晋治

谷川岳高山植物図鑑 原画展 9.4—9.17 東京芸術大学大学美術館陳列館

旅する仮面 7.14—9.2 沖縄県立博物館・美術館  
新美術新聞 1285

多摩美術大学絵画学科 版画専攻卒業制作展 3.5—3.10 文房堂ギャラリー  
版画芸術 155 石川健次

多摩美術大学大学院美術研究科 絵画専攻版画修了制作展 3.7—3.12 BankART Studio NYK  
版画芸術 155 石川健次

多摩美術大学美術館コレクション展 4.4—5.13 多摩美術大学美術館  
新美術新聞 1279

旦那が愛した乙女たち—遠藤家美人画コレクション— 10.8—10.14 神田の家  
東京 10.6 丹治早智子

(子)

地下の正倉院 平城宮第一次大極殿院のすべて 10.20—12.2 奈良文化財研究所平城宮跡資料館

竹工芸の継承・革新〜早川尚古齋・  
田邊竹雲齋・飯塚琅玕齋・生野祥  
雲齋を中心に〜 9.12—10.8 大  
分芸術会館  
新美術新聞 1290

地平展14回 6.10—6.19 東京都  
美術館  
新美術新聞 1285 (裕)

チャオ! 縄文 先史飛ノ台と古代イ  
タリア 縄文国際コンテンポラリ  
ーアート in ふなばし2012 7.15  
—9.9 船橋市飛ノ台史跡公園博  
物館

茶人井伊直綱と幕末のやきもの  
10.26—11.27 彦根城博物館

茶の湯の現代 用と形 公募展1  
回 4.14—6.24 菊池寛実記念智  
美術館  
毎日夕刊 6.12 岸桂子

Challenge Art in Japan 2012 韓国  
人留学生による現代アート展  
11.6—11.17 韓国文化院

中学生まるびいアートスクール 魔  
法の書道展 9.29—1.14 金沢21  
世紀美術館

中国 王朝の至宝 10.10—12.24  
東京国立博物館(神戸市立博物館、  
名古屋市博物館、九州国立博物館)  
芸術新潮 756  
新美術新聞 1296 松本信之  
産経 10.3  
毎日 10.1 三枝泰一  
毎日 11.23 王毅 談  
毎日夕刊 10.22 稲畑耕一郎

中国近代絵画と日本 1.7—2.26  
京都国立博物館  
水墨画\* 274  
読売 1.19 木村未来

中国山水画の20世紀 中国美術館  
名品選 7.31—8.26 東京国立博  
物館  
芸術新潮 754  
毎日 7.14  
毎日夕刊 8.21 岸桂子

幻のコレクション 中国陶磁名品展  
—イセコレクションの至宝—  
4.22—5.13 石川県立美術館  
芸術新潮 749  
中国陶磁名品展 東京富士美術館所

蔵 9.8—11.25 兵庫陶芸美術館  
中国福建博物院展〜長崎文化の源流  
をたずねて〜 10.6—11.30 長  
崎歴史文化博物館

抽象と形態 何処までも顕れないも  
の 1.14—4.15 川村記念美術館  
ギャラリー\* 323 名古屋覚  
日経 1.24  
日経夕刊 2.2  
毎日夕刊 2.8 三田晴夫

中世人の花会と茶会 6.2—7.16  
根津美術館  
毎日夕刊 6.21 岸桂子

中世の安房と鎌倉一海で結ばれた信  
仰の道—“渚の駅”たてやまオー  
ブン記念特別企画 3.3—4.22  
館山市立博物館

超群島—ライト・オブ・サイレンス  
6.9—7.8 青森県立美術館  
美術手帖 973 榎木野衣  
朝日夕刊 7.4 大西若人

朝鮮木のもの100選 2.4—3.25  
高麗美術館  
目の眼 426

珍獣? 霊獣? ゾウが来た! 4.21—  
6.10 長崎歴史文化博物館  
ギャラリー\* 325  
芸術新潮 750  
新美術新聞 1278

珍品ものがたり 7.21—9.2 宮内  
庁三の丸尚蔵館  
芸術新潮 753  
朝日夕刊 8.27 小川雪

(ツ)

つくるのが生きること 東日本大  
震災復興支援プロジェクト展  
3.11—3.25 アーツ千代田3331  
東京夕刊 2.21 三沢典丈  
日経 3.1  
読売夕刊 3.19 (清)

ツタンカーメン展 黄金の秘宝と少  
年王の真実 エジプト考古学博物  
館所蔵 3.17—6.3 大阪天保山  
特設ギャラリー  
産経 1.19

ツタンカーメン展 黄金の秘宝と少  
年王の真実 エジプト考古学博物  
館所蔵 8.4—1.20 上野の森美

術館  
産経 8.5  
産経 11.11 黒沢綾子  
日経 10.8

(テ)

出会い ルーヴル美術館からのメッ  
セージ 4.27—6.3 岩手県立美  
術館(宮城県美術館)  
新美術新聞 1279 大野正勝  
東京 2.8 (典)

毎日 5.9 岸桂子  
毎日夕刊 5.8 岸桂子  
読売 5.3 高野清見

出会い ルーヴル美術館からのメッ  
セージ 7.28—9.17 福島県立美  
術館(宮城県美術館)  
東京夕刊 8.16 森村陽子  
東京夕刊 9.11 野村悦芳

帝室博物館総長 森鷗外 生誕150  
周年 7.18—9.9 東京国立博物  
館  
朝日 8.1 小川雪

手紙に見る実篤への思い—岸田劉生  
・長与善郎・千家元麿— 4.28—  
6.3 調布市武者小路実篤記念館  
DESIGN TIDE TOKYO 10.31—11.  
4 東京ミッドタウン・ホール  
産経 10.31

手塚治虫を装丁する 10.15—11.10  
東京電機大学電大ギャラリー  
東京 10.22

鉄道絵葉書の世界 7.4—8.12 天  
理大学附属天理参考館

テマヒマ展 東北の食と住 4.27—  
8.26 21\_21 DESIGN SIGHT  
芸術新潮 752 佐藤卓、深澤直  
人 インタビュー  
美術手帖 973 中山真理  
朝日夕刊 5.23 大西若人  
日経 5.2 窪田直子  
読売夕刊 6.9 ヨミウリ・ジュ  
ニア・プレス取材班

出羽国成立1300年 10.13—12.9  
山形県立博物館

天才画家の10代 12.22—3.3 お  
かざき世界子ども美術博物館  
新美術新聞 1301  
天地を巡る日月星宿—七夕・乞巧奠



と夏の大祓— 7.7—8.13 城陽市歴史民俗資料館

(ト)

- 陶展 土一声の住まう処〔ところ〕  
10.6—12.2 山之内町立志賀高原  
ロマン美術館  
陶説 719 外館和子
- 十果会34回 7.4—7.10 高島屋  
(日本橋)(高島屋(大阪、京都、名古屋))  
新美術新聞 1284
- 桃花の会5回 6.13—6.19 高島屋  
(日本橋)(高島屋(京都、名古屋、横浜、大阪))
- 東京駅一よみがえる赤レンガ駅舎—  
5.19—6.17 東京都立中央図書館  
東京 5.30 井上幸一
- 東京駅発 6.11—6.17 ギャラリー  
八重洲・東京  
新美術新聞 1281
- 東京藝術大学卒業・修了作品展60  
回 1.29—2.3 東京芸術大学/  
東京芸術大学大学美術館  
美術の窓 344 編集部 座談
- 東京藝大出身の陶芸家たち 菊池コ  
レクションから 7.7—9.23 菊  
池寛実記念智美術館  
新美術新聞 1285  
陶説 714 外館和子
- 東京五美術大学連合卒業・修了制作  
展35回 多摩美術大学・女子美  
術大学・東京造形大学・日本大学  
芸術学部・武蔵野美術大学 2.23  
—3.4 国立新美術館  
ギャラリー\* 324 名古屋覚  
美術の窓 344 編集部 座談
- 東京・自由美術展1回 5.23—5.  
30 東京都美術館
- 東京デザイナーズウィーク2012  
10.30—11.5 明治神宮外苑絵画  
館前  
毎日夕刊 10.25 永田晶子
- TOKYO PHOTO 2012 9.28—10.1  
東京ミッドタウンホール  
日経 9.13
- 東工大で益子焼 知る・ふれる・つ  
かう 10.18—10.28 東京工業大  
学博物館

- 朝日夕刊 10.15 小川雪
- 当世具足 大名とその家臣団の備え  
2.4—3.25 板橋区立郷土資料館
- 東美アートフェア2012 10.5—10.  
7 東京美術倶楽部  
新美術新聞 1291
- どうぶつ集まれ—ぞうさんの描いた  
絵と表された動物たち 4.28—  
6.24 徳島県立近代美術館  
新美術新聞 1281
- 東方水墨画協会展4回 8.24—8.  
29 朝日ギャラリー  
水墨画\* 283
- 東北学院大学文化財レスキュー展  
in 鮎川 8.12—8.14 石巻市牡  
鹿公民館(せんだいメディアテ  
ク)
- 東北画は可能か? 1.11—1.29 ニ  
ュートロン東京  
ギャラリー\* 322 小金沢智  
東京夕刊 1.23 三沢典丈
- 東北芸術工科大学卒業・修了展 東  
京展 3.3—3.8 東北芸術工科大  
学外苑キャンパス  
陶説 710 外館和子
- 東北をつなぐ みちのくの恵み  
6.9—9.2 もうひとつの美術館  
新美術新聞 1286
- 東洋絵画の精華 1 珠玉の日本絵  
画コレクション 4.14—5.20 静  
嘉堂文庫美術館
- 東洋絵画の精華 2 至高の中国絵  
画コレクション 5.23—6.24 静  
嘉堂文庫美術館
- 東洋陶磁の美 悠久の光彩 大阪市  
立東洋陶磁美術館コレクション  
1.28—4.1 サントリー美術館  
朝日 1.27 新谷祐一  
日経 3.2
- 東洋の白いやきもの—純なる世界—  
8.4—10.21 出光美術館  
新美術新聞 1290 金沢陽  
読売 10.4
- 東洋の美 栗原コレクション受贈記  
念 4.7—5.20 ふくやま書道美  
術館  
新美術新聞 1277
- 東洋のやきもの—日本・朝鮮・中国  
—/南部靖之氏寄贈 古硯と古墨

平成24年美術展覧会(企テ、ト)

- 4.1—6.30 関西大学博物館
- 東洋美術学校卒業制作展63回 2.  
22—3.4 国立新美術館
- 東嶺園慈 禅画と墨蹟 龍澤寺・齡  
仙寺と近江の禅寺所蔵作品 10.1  
—12.15 花園大学歴史博物館  
(ZEN MUSEUM)
- 遠き道展—伝統からの飛翔 日本画  
のゆくえ— 1.2—2.26 茨城県  
天心記念五浦美術館  
茨城県近代美術館だより 91 稲  
葉睦子
- トーキョーワンダーウォール公募  
2012入選作品展 5.26—6.17  
東京都現代美術館  
東京 5.30
- 土器から陶器へ—民芸の源流に迫る  
— 古事記編纂1300年企画 7.  
14—9.23 島根県立八雲立つ風土  
記の丘資料館
- DOKIDOKI 陶芸の魅力×アートの  
ドキドキ 3.3—7.6 滋賀県立陶  
芸の森陶芸館(兵庫陶芸美術館、  
岐阜県現代陶芸美術館)  
陶説 710
- 時のカタチ 間のカタチ Seiko De-  
sign Project 2012 12.6—12.12  
和光ホール  
芸術新潮 758
- 刻の記憶 龍野アートプロジェクト  
2012 11.16—11.25 龍野市
- 時は旅をする JOURNEY ACROSS  
THE TIME 2.22—2.28 高島屋  
(横浜)  
美術の窓 342 編集部
- 土偶・コスモス 9.1—12.9 MIHO  
MUSEUM  
ギャラリー\* 329  
新美術新聞 1292  
陶説 719 井上隆生  
産経 7.4
- 土偶まんだら 7.14—8.19 岩手県  
立博物館
- 徳川昭武のヨーロッパ体験 9.29—  
11.25 松戸市戸定歴史館  
朝日夕刊 10.15 小川雪
- 徳川家康の肖像〔すがた〕 江戸時代  
の人々の家康観 10.6—11.25  
江戸東京博物館

朝日夕刊 10.15 小川雪  
 毎日夕刊 10.17  
 読売 10.25 前田恭二  
**徳川本の世界—多様性とその魅力**  
 9.11—11.4 東京国立博物館  
**館長庵野秀明 特撮博物館 ミニチュア**  
**で見る昭和平成の技** 7.10—10.8 東京都現代美術館  
 芸術新潮 753  
 美術手帖 973 パルコキノシタ  
 朝日夕刊 6.30 石飛徳樹/増田愛子  
 朝日夕刊 7.25 横田麻生子  
 産経 5.20  
 読売 6.29 近藤孝  
**徳島歴史玉手箱 新収蔵品** 6.9—7.22 徳島市立德島城博物館  
**鳥坂寺再興** 7.14—9.9 柏原市立歴史資料館(大阪府立中央図書館)  
**都市から郊外へ—1930年代の東京**  
 2.11—4.8 世田谷文学館  
 朝日夕刊 3.28 大西若人  
**図書館収蔵資料展 國學院大学創立130周年記念** 10.10—10.16 丸善(丸の内)  
**都市を描く—京都と江戸—第I部「洛中洛外図屏風と風俗画」人間文化研究機構連携展示** 3.27—5.6 国立歴史民俗博物館  
 歴博 173 大塚活美  
 毎日夕刊 4.23 栗原俊雄  
 読売 4.1  
**都市を描く—京都と江戸—第II部「江戸名所と風俗画」人間文化研究機構連携展示** 3.28—5.6 国文学研究資料館  
**栃木に生きる—風土・ひと・芸術—**  
 4.21—6.17 栃木県立美術館  
**徳利と盃** 1.14—4.8 石洞美術館  
 目の眼 425  
**国宝飛青磁花生と国宝油滴天目茶碗—伝世の名品—** 10.27—12.25 大阪市立東洋陶磁美術館  
 美術手帖 977 清水穰  
**都美セレクション グループ展公募1回 月火水木土日……想いを繋ぐ** 8.12—8.18 東京都美術館  
**都美セレクション グループ展公募1回 工房集作品展『生きるため**

**の表現』** 9.9—9.16 東京都美術館  
 新美術新聞 1290  
**都美セレクション グループ展公募1回 とある雑食美術愛好家T氏コレクションより** 10.13—10.19 東京都美術館  
**都美セレクション グループ展公募1回 群龍割拠 猫とドラゴン展** 10.21—10.28 東京都美術館  
**都美セレクション グループ展公募1回 未知のまなざし** 11.26—12.2 東京都美術館  
**都美セレクション グループ展公募1回 「版17 特別展—越境する版画表現」オールドジヒ・クルハーネクと現代日本版画** 12.5—12.11 東京都美術館  
 新美術新聞 1298  
**都美セレクション グループ展公募1回 ここから見える景色は最高** 12.13—12.20 東京都美術館  
 新美術新聞 1299  
**ドビュッシー、音楽と美術 印象派と象徴派のあいだで** 7.14—10.14 プリヂストン美術館  
 芸術新潮 754 鈴木淳史  
 新美術新聞 1285 新畑泰秀  
 産経 8.26 黒沢綾子  
 日経 6.30  
 日経 7.5  
 日経 7.8 窪田直子  
 日経 8.19  
 日経 9.16  
 日経 10.11 平野啓一郎  
**DOMANI・明日展14回** 1.14—2.12 国立新美術館  
 新美術新聞 1269 福永治  
 東京夕刊 2.3 三沢典丈  
**とよかわの美術家たち 豊川の美術史** 9.18—10.28 豊川市桜ヶ丘ミュージアム  
**TRANS ARTS TOKYO 神田コミュニティアートセンタープロジェクト** 10.21—11.25 旧東京電機大学校舎11号館ほか  
 産経 11.7 渋沢和彦  
 東京夕刊 11.13 三沢典丈  
 読売夕刊 11.12 (并)

**鳥居龍蔵の見た台湾 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館開館1周年記念企画展** 1.28—3.11 徳島県鳥居龍蔵記念博物館  
**ドローイングとは何か2回 公募入選者展** 1.30—2.11 ギャラリー一志門  
**ドローイング・レッスンズ** 9.20—10.19 ギャラリー・オーブ  
 瓜生通信 57 イム・イエヒョン  
**Toiles des Trois 女流三人展** 4.12—4.18 ギャラリー絵夢  
 新美術新聞 1277

(ナ)

**内国勸業博覧会—明治美術の幕開け**  
 4.21—7.8 宮内庁三の丸尚蔵館  
**長崎街道 世界とつながった道**  
 10.30—12.27 九州歴史資料館  
**ナカダイ伊香保工場 モノ：ファクトリー×ハラミュージアムアーク**  
 8.11—8.15 ハラミュージアムアーク回廊  
 産経 8.29 渋沢和彦  
**長野県工芸展32回** 9.18—9.22 長野市生涯学習センター  
 陶説 716 外館和子  
**那須の縄文社会が変わるころ 縄文時代中期から後期へ** 9.22—11.25 栃木県立なす風土記の丘資料館  
**懐かしうつくし貝細工** 10.7—11.25 大田区立郷土博物館  
**鯨絵とボードレール展 コレクター気谷誠の世界** 6.23—9.9 神奈川県立近代美術館(鎌倉)  
 版画芸術 156  
 朝日夕刊 8.22 増田愛子  
**寧楽と越—大伴家持のみた万葉の越—** 10.4—12.6 富山県埋蔵文化財センター  
**「奈良町」の考古学 発掘された近世・近代の奈良** 11.1—12.28 奈良市埋蔵文化財調査センター  
**南都大安寺と観音さま 祈りと救いの美** 8.30—10.10 パラミタミュージアム  
**南蛮美術の光と影 泰西王侯騎馬図屏風の謎 開館50周年記念「美を**

結ぶ。美をひらく。』IV 4.21—  
6.3 神戸市立博物館(サントリー  
美術館)  
日経 3.18  
南北墨画会有志展 7.8—7.14 東  
京交通会館  
水墨画\* 282

(二)

にいがたの近代建築 明治・大正・  
昭和戦前期の建物 4.21—6.10  
新潟市歴史博物館  
肉筆浮世絵名作展 10.5—11.14  
MOA 美術館  
芸術新潮 755  
新美術新聞 1292  
NIJIRO 展—3・11 いのちと絆  
6.26—7.1 鳩居堂画廊  
毎日夕刊 6.28 桐山正寿  
21世紀展12回 伝統からの創造  
4.23—4.27 東京美術倶楽部(京  
都美術倶楽部、金沢美術倶楽部、  
富山美術倶楽部、大阪美術倶楽部、  
名古屋美術倶楽部)  
新美術新聞 1278  
美術の窓 344 編集部  
21世紀関西女性絵画展 11.28—  
12.2 兵庫県立美術館ギャラリー  
新美術新聞 1297  
21世紀空間思考展 7.25—8.7 三  
越(日本橋)  
新美術新聞 1286  
美術の窓 347 編集部  
20世紀フランス美術の栄光展 9.  
13—11.25 笠間日動美術館  
芸術新潮 755  
二条城展 江戸東京博物館開館20  
周年記念 7.28—9.23 江戸東京  
博物館  
芸術新潮 754  
新美術新聞 1289  
産経 9.13  
読売 7.23  
読売夕刊 8.22 早川保夫  
二条城二の丸御殿と名古屋城本丸御  
殿 将軍の愛した障壁画 10.13  
—11.25 名古屋城天守閣  
二世五姓田芳柳の世界—近代日本洋  
画の先駆け— 3.17—5.6 古河

歴史博物館  
日欧のサムライたち—オーストリア  
と日本の武器武具展— 3.24—  
5.6 大阪歴史博物館  
日動展43回 10.23—11.7 日動画  
廊  
日活映画の100年 日本映画の100  
年 8.14—12.23 東京国立近代  
美術館フィルムセンター  
産経 9.24 堀晃和  
日韓選抜現代美術作家展 第一回日  
本・韓国文化交流(日本開催)  
7.30—8.9 オリエアート・ギャ  
ラリー  
ギャラリー\* 328  
日経日本画大賞展 東山魁夷記念5  
回 5.19—6.3 上野の森美術館  
新美術新聞 1281  
日経 5.19 宝玉正彦  
日経夕刊 5.10  
日光水墨画会作品展19回 9.7—  
9.9 栃木市栃木文化会館  
水墨画\* 283  
日中交流書画展 12.11—12.16 千  
葉市美術館市民ギャラリー  
書道界 278 種谷萬城  
水墨画\* 287  
日中水墨画研究会作品展 4.3—4.8  
日中友好会館  
水墨画\* 279  
日中美術展—東洋美術の未来を探る  
—日本画と工筆画 日中国交正常  
化40周年記念 9.5—9.17 東京  
美術倶楽部(中国国家博物館(北  
京))  
ギャラリー\* 328  
新美術新聞 1281  
新美術新聞 1289 浅木正勝  
水墨画\* 284  
美術の窓 348 編集部  
日経 9.12 宝玉正彦  
日朝交流の軌跡 対馬宗家文書8  
万点の調査を終えて 重要文化財  
新指定記念 7.4—9.9 九州国立  
博物館  
NIPPON DESIGN TRAVEL—47都  
道府県のデザイン旅行 4.26—  
5.28 d47 MUSEUM  
産経 5.21 黒沢綾子

日本美術のことはじめ—まじないか  
ら解体新書まで— 5.9—7.1 九  
州国立博物館  
日本・オブジェ 1920—70年代 断  
章 11.17—1.20 うらわ美術館  
日本絵画—組み合わせの美 4.14—  
6.3 滋賀県立近代美術館  
日本美術新聞 4  
Nihonga・京 7.11—7.17 三越  
(日本橋)  
新美術新聞 1285  
日本画の巨匠たち 名作でたどる日  
本美術院のあゆみ 近代から現代  
へ 8.21—9.23 福岡市美術館  
日本近代美術の名品展—森鷗外と米  
原雲海を中心に— 東京藝大美術  
館所蔵 10.6—11.26 島根県立  
石見美術館  
美術の窓 349 左近充直美  
「日本国」の誕生 古事記が出来たこ  
ろ 10.6—11.25 奈良県立橿原  
考古学研究所付属博物館  
日本水墨画協会展26回 1.30—2.4  
東京交通会館  
水墨画\* 277  
日本赤十字社所蔵アート展 東郷青  
児、梅原龍三郎からピカソまで  
復興への想いをひとつにして  
1.7—2.19 損保ジャパン東郷青  
児美術館  
産経 1.22 黒澤綾子  
日本陶磁協会賞受賞作家展53回  
1.27—2.2 和光ホール  
陶説 709 唐澤昌宏  
日本の映画ポスター芸術 1.7—  
3.31 東京国立近代美術館フィ  
ルムセンター(京都国立近代美術館)  
芸術新潮 747  
産経 2.26 堀晃和  
日本のガラス展'12 9.29—4.10  
黄金崎クリスタルパーク・ガラス  
ミュージアム(石川県能登島ガラ  
スミュージアム、パラミタミュ  
ージアム)  
新美術新聞 1294 佐久間詔代  
日本の陶磁—六古窯を中心に—  
11.16—12.24 MOA 美術館  
新美術新聞 1298  
日本の70年代 1968—1982 9.15

平成24年美術展覧会(企ニ〜ハ)

- 11.11 埼玉県立近代美術館(広島市現代美術館)  
朝日夕刊 10.31 西岡一正  
東京夕刊 10.12 石川翠  
毎日夕刊 10.24 岸桂子
- 日本のわざと美 重要無形文化財とそれを支える人々 10.20—11.25 徳島県立博物館
- 日本橋 描かれたランドマークの400年 江戸東京博物館開館20周年記念 5.26—7.16 江戸東京博物館  
新美術新聞 1280 我妻直美  
朝日夕刊 5.24 柴田亨興
- 日本ファッションの未来性 7.28—10.8 東京都現代美術館  
朝日夕刊 8.16 高橋牧子  
産経 9.12 黒沢綾子  
毎日夕刊 8.21 永田晶子  
読売夕刊 8.29 野倉早奈恵
- 日本・フランス現代美術世界展13回 8.8—8.19 国立新美術館  
美術の窓 349 磯部靖
- 日本油彩画二〇〇年—西欧への挑戦 黒田清輝、佐伯祐三、岸田劉生が求めた日本の絵画— 五〇〇万人が感動したコレクション 6.9—7.22 静岡県立美術館  
新美術新聞 1282  
美術の窓 354 泰井良  
朝日夕刊 6.13 大西若人  
毎日 7.11 岸桂子  
読売 7.12 井上晋治
- 日本六十余州図の世界 池田家文庫 絵図 11.10—11.25 岡山シティミュージアム
- 人間国宝の美と技 2.20—2.26 ホテル・オークラ東京別館  
毎日夕刊 2.20 岸桂子

(又)

- ぬめぬパナパナのぬめぬ2012 5.31—6.4 ラ・ケヤキ  
目の眼 431

(ネ)

- (猫)が気になる 9.8—10.21 北海道立三岸好太郎美術館  
根付 高円宮コレクション 11.1—

- 12.25 東京国立博物館  
読売 11.8
- ねむの木のこどもたちとまり子美術展 10.26—12.25 伊藤忠青山アートスクエア  
美術手帖 975 永峰美佳/宮城まり子

(ノ)

- 信長×信玄 戦国のうねりの中で 10.6—11.11 滋賀県立安土城考古博物館

(ハ)

- Heart Art in TOKYO 2012 エイズチャリティー美術展15回 1.26—2.6 国立新美術館
- パール 海の宝石 7.28—10.14 兵庫県立美術館
- ハイサイ壺屋焼〜ヤチムン大発見!〜 7.21—8.31 那覇市立壺屋焼物博物館
- X4[バイフォー] Final Session 3.21—3.27 ヒルトピアアートスクエア  
美術の窓 344 高山淳
- 白隠展 HAKUIN 禅画に込めたメッセージ 12.22—2.24 Bunkamura ザ・ミュージアム  
水墨画\* 285 芳澤勝弘
- 博物図譜とデジタルアーカイブ5 9.3—10.6 武蔵野美術大学美術館
- 幕末維新一近代世田谷の夜明け— 11.3—12.2 世田谷区立郷土資料館
- はじまりは国芳 江戸スピリットのゆくえ 11.3—1.14 横浜美術館  
水墨画\* 283  
版画芸術 158 内山淳子  
日経 11.18  
日経 11.28 宝玉正彦  
日経夕刊 10.22 窪田直子  
毎日夕刊 12.19 岸桂子
- 芭蕉 広がる世界、深まる心 9.29—11.11 名古屋市博物館
- 芭蕉の肖像〜描かれた俳聖〜 6.28—12.18 芭蕉記念館  
産経 9.6

- 長谷川等伯と雪舟流 1.20—2.19 岡山県立美術館  
毎日夕刊 2.6 岸桂子
- 畠山重忠—横浜・二俣川に散った武蔵武士— 10.13—11.25 横浜市歴史博物館
- 発掘：戦時下に描かれた絵画 9.8—10.13 原爆の図丸木美術館  
東京 9.19 中里宏
- 花開くコリア・アニメーション 2012 5.12—5.13 愛知芸術文化センター  
REAR 28 尾辻里音
- 花開く都城文化 11.1—12.2 奈良文化財研究所飛鳥資料館
- 華やぐ色彩 ポーラミュージアム アネックス展2012 3.31—4.22 ポーラミュージアム アネックスギャラリー\* 324  
産経 4.18 渋沢和彦
- パラミタ陶芸大賞展7回 6.2—7.11 パラミタミュージアム  
陶説 713 井上隆生
- パラレルワールド冒険譚 9.29—11.4 札幌芸術の森
- パリへ渡った「石橋コレクション」1962年、春 1.7—3.18 プリヂェストン美術館  
ギャラリー\* 322  
新美術新聞 1270 田所夏子  
日経 2.1 窪田直子
- はるひ絵画トリエンナーレ 5.3—6.10 清須市はるひ美術館  
新美術新聞 1279
- 版画家群像 大正・昭和のベスト・セレクション 6.23—7.29 町田市立国際版画美術館  
版画芸術 156
- 版画でしょ? 境界を広げる4人のアーティスト 5.25—7.20 カナダ大使館 高円宮記念ギャラリー—
- 版画的冒険 ミレー、ドガ、そしてムンクへ 4.14—6.17 町田市立国際版画美術館
- 版の時間/Age of Prints 12.1—12.16 女子美術アートミュージアム  
版画芸術 158 栗本寛子

## (ヒ)

- ビーズインアフリカ 国立民族学博物館コレクション 8.4—10.21  
 神奈川県立近代美術館(葉山)  
 芸術新潮 754  
 新美術新聞 1287  
 朝日夕刊 9.26  
 日経 8.22 窪田直子
- 東日本の古墳と渡来文化 海を越える人とモノ 10.6—11.25 松戸市立博物館
- 光あれ!—光と闇の表現者たち 7.21—9.17 栃木県立美術館  
 新美術新聞 1287  
 毎日夕刊 8.6 三田晴夫
- ヒカリエガク 7.28—11.16 SKIP  
 シティ彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム  
 朝日夕刊 8.29 西岡一正
- 光と影の芸術—写真の表現と技法—  
 [平成24年度東京都写真美術館コレクション展] 5.12—11.18 東京都写真美術館
- 光と風景 フランス絵画200年 ミレー、コロー、そしてモネ、ルノワールへ 4.12—5.27 香川県立ミュージアム
- 光のアート展—光と遊ぶ超体感型ミュージアム— 7.14—9.2 千葉県立美術館  
 朝日夕刊 8.29 西岡一正
- 光の肖像展 in Tokyo 7.2—7.20  
 永井画廊  
 新美術新聞 1284
- 光の造形—操作された写真 5.12—7.8 東京都写真美術館
- 「光の鳥」FUKUSHIMA ART プロジェクト 3.1—3.25 ちひろ美術館(東京)  
 東京夕刊 3.7 (典)
- BEGIN 3人展 10.22—10.27 シロタ画廊  
 新美術新聞 1294
- 美術にぶるっ! ベストセレクション 日本近代美術の100年 10.16—1.14 東京国立近代美術館  
 ギャラリー\* 330  
 美術手帖 977 岡崎乾二郎
- 美術屋・百兵衛 23  
 朝日夕刊 10.24 西岡一正  
 産経 12.12 渋谷和彦  
 東京夕刊 10.26 中村英樹  
 日経 12.26 窪田直子  
 日経夕刊 10.13  
 毎日夕刊 11.7 岸桂子
- 美術にぶるっ! 第II部 実験場 1950s 10.16—1.14 東京国立近代美術館
- 美術の中のこどもたち 7.28—9.17 平塚市美術館  
 朝日夕刊 8.29 中村さやか
- 美大アートワークス2012 金沢美術工芸大学教員作品2012 10.25—11.4 金沢21世紀美術館
- 飛騨・美濃の信仰と造形—古代・中世の遺産— 9.21—10.28 岐阜県博物館
- ひっくりかえる展—Turning Around— 4.1—7.29 ワタリウム美術館  
 ギャラリー\* 326  
 芸術新潮 751  
 美術手帖 967 ダリル・ウィー  
 朝日夕刊 4.18 西岡一正  
 日経 5.17 平野啓一郎  
 毎日夕刊 5.16 三田晴夫  
 読売 6.28 高野清見
- 秀吉の城 10.6—11.25 大阪城天守閣
- ひな人形の世界 2.4—4.8 徳島市立徳島城博物館
- 美の宴 東洋の古美術、印象派と古地図が織りなす珠玉の世界 10.14—12.2 和泉市久保惣記念美術館
- 美の再発見 アサヒビール大山崎山荘美術館の名品より 8.1—10.14 アサヒビール大山崎山荘美術館  
 日経 9.16
- 美の予感—2012 陶・New Generation 9.5—9.11 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、京都、名古屋、横浜、新宿))  
 陶説 715 唐澤昌宏
- 美のワンダーランド 十五人の京絵師 7.10—9.2 九州国立博物館  
 新美術新聞 1287 畑靖紀
- 響きあう女性美術家の世界 葦崎大村美術館所蔵 4.28—6.10 茅ヶ崎市美術館  
 新美術新聞 1281
- 姫路皮革物語—歴史と文化— 9.8—10.14 姫路市書写の里・美術工芸館
- 150年目の鷗外—観潮楼からはじまる 11.1—1.20 文京区立森鷗外記念館  
 日経 12.15 宮川匡司
- 百椿図 椿をめぐる文雅の世界 1.7—2.12 根津美術館
- 百花繚乱 女性の情景 生きていく私 9.15—10.21 横須賀美術館  
 新美術新聞 1290
- Beauty—Flowers in Contemporary Photography 4.7—6.24 東京アートミュージアム  
 ギャラリー\* 324  
 朝日夕刊 6.20 西岡一正
- 病院を変えるデザイン たびキャラと世界中からの贈り物 12.15—12.16 Okarina B  
 東京夕刊 11.30 小林由比
- 渺渺展 6.12—6.17 東京銀座画廊美術館  
 新美術新聞 1282
- 比羅夫がゆく 飛鳥時代の武器・武器・いくさ 4.14—6.3 奈良文化財研究所飛鳥資料館
- ヒロシマ・オー ヒロシマフクシマ 2.26—3.6 旧日本銀行広島支店
- 琵琶湖をめぐる近江路の神と仏 名宝 9.8—11.25 三井記念美術館  
 滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要 29 上野良信  
 新美術新聞 1291
- 紅型 琉球王朝のいろとかたち 沖縄復帰40周年記念 6.13—7.22 サントリー美術館(沖縄県立博物館・美術館、大阪市立美術館、松坂屋美術館)  
 新美術新聞 1284  
 日経 6.20 宝玉正彦  
 毎日夕刊 7.4 永田晶子  
 読売 6.12
- 備後と安芸の刀と鐔—鎌倉から現代まで— 9.15—10.21 広島城

(フ)

- ファッション対決!!エジプト展!  
開館3周年特別企画・古代エジプト VS 渋谷センター街の戦い!!  
7.14—11.18 古代エジプト美術館  
朝日夕刊 10.3 青天目恭子
- フィンランドのくらしとデザイン  
ムーミンが住む森の生活 4.7—6.3  
青森県立美術館(静岡市美術館、長崎県美術館、兵庫県立美術館)  
読売 4.4
- フィンランドのくらしとデザイン  
ムーミンが住む森の生活 6.10—8.26  
宇都宮美術館(静岡市美術館、長崎県美術館、兵庫県立美術館)  
AXIS 159 暮沢剛巳  
朝日夕刊 6.27 岩本恵美  
日経 7.25 窪田直子
- 風土展34回 9.17—9.23 東京セントラル美術館  
美術の窓 350 高山淳
- フェアリー・テイル—妖精たちの物語— 1.7—2.19 三鷹市美術ギャラリー
- フェスティバル FUKUSHIMA!  
2012 8.15—8.26 福島市内  
日経夕刊 8.9
- 福岡市美術展46回 3.13—3.25  
福岡市美術館
- 福島現代美術ビエンナーレ2012  
SORA 8.11—9.23 福島空港ほか  
ギャラリー\* 328  
朝日夕刊 9.5 西岡一正  
東京夕刊 9.5 三沢典文  
読売 8.16 井上晋治
- 武家の古都・鎌倉 世界遺産登録推進三館連携特別展 10.6—12.2  
神奈川県立歴史博物館/神奈川県立金沢文庫/鎌倉国宝館
- ふしぎ!たのしい!ゲンダイトーゲイ 親子でめぐるやきもの図鑑  
7.21—9.23 茨城県陶芸美術館  
朝日夕刊 8.1 増田愛子
- 富士光彩 12.1—2.24 フジヤマミ

- ミュージアム  
新美術新聞 1302
- 富士市にまつわる物語絵 10.6—12.24 富士市立博物館
- 仏教の来た道 シルクロード探検の旅 4.28—7.16 龍谷大学 龍谷ミュージアム
- 仏教美術の名作 開館30周年記念所蔵名品展 9.7—10.3 MOA美術館  
新美術新聞 1289
- ブラティスラヴァ世界絵本原画展  
広がる絵本のかたち 7.14—9.2  
うらわ美術館(高浜市やきもの里かわら美術館、足利市立美術館)  
新美術新聞 1287
- FLOWERSCAPES フラワースケープ—画家たちと旅する花の世界  
4.28—7.22 川村記念美術館  
朝日夕刊 6.20 西岡一正  
日経 5.30 窪田直子
- Prints Tokyo 2012 10.5—10.19  
東京都美術館
- PRINT Resonance 世界的美術学校の版画集展 9.3—10.6 武蔵野美術大学美術館
- フルーリ展2回 11.15—12.2 成城さくらさくギャラリー  
新美術新聞 1297
- つるが文化財選集 ふるさとの文化財入門 6.21—7.16 敦賀市立博物館
- ふるさと美術展 7.14—7.22 アートギャラリー古屋敷  
新美術新聞 1285
- Friend【フレンド】展 8.30—9.5  
ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1288
- 文化財の保存・修復の半世紀 元興寺文化財研究所創立45周年 10.27—11.18 元興寺総合収蔵庫
- 文化人・芸能人の多才な美術展 2012 5.20—5.27 ヒカリエホール(豊橋市美術博物館、霞が関ビルディングプラザホール、岡山シティミュージアム)  
東京 5.17 山岸利行/藤浪繁雄
- 文化庁メディア芸術祭受賞作品展 15回 2.22—3.4 国立新美術館

- ギャラリー\* 324 名古屋覚  
産経 2.29 溝上健良
- 文人画名品展 12.22—1.27 愛媛県美術館  
水墨画\* 285

(へ)

- 平家物語画帖 9.8—10.21 根津美術館  
新美術新聞 1290
- 北京故宮博物院200選 日中国交正常化40周年 東京国立博物館140周年 1.2—2.19 東京国立博物館  
新美術新聞 1268 松本伸之  
朝日夕刊 2.8 宮代栄一  
読売 1.19 前田恭二
- 別府現代美術フェスティバル2012  
混浴温泉世界 10.6—12.2 大分県別府市内各所  
美術の窓 350 芹沢高志
- ペリーの顔・貌・カオ—「黒船」の使者の虚像と実像— 7.7—8.26  
神奈川県立歴史博物館  
朝日夕刊 7.30 小川雪
- ベルサイユのばら展 40周年記念  
9.13—9.24 松屋(銀座)(福岡県立美術館、岡山天満屋、阪急うめだギャラリー、さっぽろ東急百貨店、そごう美術館)  
朝日夕刊 9.11 藤本由香里
- ベルリン国立美術館展 学べるヨーロッパ美術の400年 6.13—9.17  
国立西洋美術館  
新美術新聞 1283 高梨光正  
読売 6.12
- ベルリン国立美術館展 学べるヨーロッパ美術の400年 10.9—12.2  
九州国立博物館  
新美術新聞 1295

(ホ)

- 豊穣と祈り—縄文女神たちの宴と古墳時代人の想い— 6.30—9.17  
山形県立博物館
- 法隆寺展 聖徳太子1390年御遠忌記念 3.3—3.20 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪))  
日経夕刊 2.27 岡松卓也

- 墨画7人展6回 2.20—2.25 地球堂ギャラリー  
水墨画\* 278
- 法華経の世界 12.7—2.11 神奈川県立金沢文庫
- ポコラート全国公募展 vol.3 12.14—1.20 アーツ千代田3331  
東京 12.25 井上幸一
- ポジション2012 この場所から見る世界 6.2—7.16 名古屋市美術館  
REAR 29 田中由紀子
- 戊辰戦争—慶応四年 下野の戦場— 4.28—6.10 栃木県立博物館
- ボストン美術館 日本美術の至宝 3.20—6.10 東京国立博物館(九州国立博物館、大阪市立美術館)  
ギャラリー\* 323  
芸術新潮 749  
水墨画\* 276 救仁郷秀明  
日本美術新聞 4  
産経 4.29 渋沢和彦  
日経 4.25 宝玉正彦  
毎日夕刊 4.24 岸桂子
- ボストン美術館 日本美術の至宝 6.23—12.9 名古屋市ボストン美術館(九州国立博物館、大阪市立美術館)  
新美術新聞 1284 井上瞳
- 墨華 現代女流水墨画展 7.7—8.26 福光美術館  
水墨画\* 283 川端豊次
- 北海道ロビー絵画展 9.7—9.12 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1289
- 「本の美」装幀と挿絵 10.27—12.2 調布市武者小路実篤記念館  
新美術新聞 1296

## (マ)

- マウリッツハイス美術館展 オランダ・フランドル絵画の至宝 6.30—9.17 東京都美術館(神戸市立博物館)  
新美術新聞 1286  
朝日 3.22 平野菜穂子  
朝日 5.31 朽木ゆり子  
朝日 6.17 西岡一正  
朝日 6.25

- 朝日 7.16 姜尚中  
朝日 7.31 原田マハ/高橋秀喜 聞き手  
朝日 8.8 有吉玉青、山田五郎、茂木健一郎 談  
朝日夕刊 7.18 大西若人
- 馬騷水墨画会・作家展1回2012 11.15—11.30 東京中国文化センター  
水墨画\* 286
- 正岡子規と美術 2.11—4.15 横須賀美術館  
朝日夕刊 3.28 中村さやか
- 政宗見参!—仙台藩伊達家と宇和島藩伊達家— 9.7—10.8 宇和島市立伊達博物館
- 魔術/美術—幻視の技術と内なる異界— 4.13—6.24 愛知県美術館  
REAR 28 木村絵理子  
読売 6.14 高野清見
- 再[またた]び!にゃんとも猫だらけ 1.3—3.31 平木浮世絵美術館  
朝日夕刊 1.25 横田麻生子
- 町田発 輝くアーティストたち—版画工房・アトリエの一般開放利用者による作品展— 町田市立国際版画美術館 開館25周年記念 4.12—4.22 町田市立国際版画美術館  
産経 4.13
- 町の記憶 PROJECT 南千住10000枚の記憶展 10.20—10.28 南千住の商店街及び施設7会場  
東京 10.24 井上圭子
- 松江藩士の江戸時代 雨森・黒澤両家の伝来史料から 12.22—2.11 松江歴史館  
新美術新聞 1284
- 祭 MATSURI—遊楽・祭礼・名所 日本之美・発見 VII 6.16—7.22 出光美術館  
新美術新聞 1284
- マリリン・モンロー 歿後50年記念 7.28—8.5 青木画廊  
ギャラリー\* 329 ワシオ・トシヒコ
- 丸亀京極家—名門大名の江戸時代— 11.3—12.2 香川県立ミュージアム

## (ミ)

- みえるもの/みえないもの 1.7—3.25 豊田市美術館  
REAR 28 真武真喜子
- 湖の船が結ぶ絆—天智天皇、信長の大船—そして うみのこ— 7.14—9.2 滋賀県立安土城考古博物館
- 水と神と仏の近江 写真パネル展「琵琶湖をめぐる近江路の神と仏名宝展」関連事業 9.8—9.23 日本橋三井タワー
- 水と神と仏の近江 写真パネル展「滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展」関連事業 12.23—2.11 静岡市美術館(仙台市博物館、島根県立古代出雲歴史博物館)
- 水と土の芸術祭2012 開港都市にいがた 7.14—12.24 新潟市全域  
芸術新潮 754  
朝日夕刊 8.15 増田愛子
- 魅せられて、インド。—日本のアーティスト/コレクターの眼 1.21—3.11 福岡アジア美術館  
新美術新聞 1269 黒田雷児
- みちのくめぐり 10.6—12.2 東北歴史博物館
- 三井版 日本美術デザイン大辞展 美術の遊びとところV 6.30—8.26 三井記念美術館  
水墨画\* 280  
毎日夕刊 8.7 岸桂子
- mite!ね・しまね 2.11—3.26 島根県立石見美術館  
新美術新聞 1271 廣田理紗
- 南九州とヤマト王権—日向・大隅の古墳— 9.29—12.2 大阪府立近つ飛鳥博物館
- ミノ・セラミックス・ナウ 2012 MINO 陶芸の気鋭 9.1—11.11 岐阜県現代陶芸美術館  
陶説 716 井上隆生
- MIHO GRANDAMA II 母なる方へ 3.10—8.19 MIHO MUSEUM
- 宮崎の土人形 佐土原人形の世界 10.6—12.2 宮崎県総合博物館
- 魅惑の白 天神萬古の世界 10.27

—11.25 朝日町歴史博物館  
魅惑の日本の客船ポスター 10.6—  
11.25 横浜みなと博物館  
民藝展—用の美とこころ— 8.29—  
9.10 高島屋(日本橋)(高島屋(横  
浜、大阪、京都))  
日経 9.4

民俗の宝庫(三遠南信)の発見と発信  
—柳田国男・折口信夫らによる調  
査研究のあゆみ 9.15—10.28  
飯田市美術博物館

みんなが見たい優品展 パート9  
—中村不折コレクションから—  
1.24—3.25 台東区立書道博物館  
朝日夕刊 2.8 宮代栄一

(ム)

2011年度 武蔵野美術大学大学院  
日本画コース 修了制作展 3.10  
—3.21 佐藤美術館  
産経 3.14

ムサビのデザインII デザイナー  
カイブ50s—70s 5.14—8.18  
武蔵野美術大学美術館・図書館  
夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化 9.1—  
9.28 神奈川県立歴史博物館

(メ)

明治・大正時代の日本陶磁—産業と  
工芸美術— 7.14—8.26 滋賀県  
立陶芸の森陶芸館(はつかいち美  
術ギャラリー、瀬戸市美術館)  
読売 8.2 木村未来

明治・大正時代の日本陶磁—産業と  
工芸美術— 10.20—12.9 茨城  
県陶芸美術館(はつかいち美術ギ  
ャラリー、瀬戸市美術館)  
朝日夕刊 11.21 増田愛子

メグロアドレス—都会に生きる作家  
2.7—4.1 目黒区美術館  
ギャラリー\* 323 小金沢智

メトロポリタン美術館展 大地、海、  
空—4000年の美への旅 東京都  
美術館リニューアル記念 10.6—  
1.4 東京都美術館  
新美術新聞 1292 中原淳行  
読売 9.27 杉本博司  
読売夕刊 10.9 高野清見  
読売夕刊 10.29

読売夕刊 11.10 ヨミウリ・ジ  
ュニア・プレス取材班

めばえ2012 京都造形芸術大学 学  
科優秀選抜展 6.20—7.7 ギャ  
ラリー・オーブ

瓜生通信 56 内田高平

(モ)

毛利家の至宝 大名文化の精粋  
4.14—5.27 サントリー美術館  
水墨画\* 277 石田佳也

モダンデザインの精華 4.14—6.10  
松本市美術館

もっと知りたい武者小路実篤 7.21  
—9.2 調布市武者小路実篤記念  
館  
新美術新聞 1287

物語る身体 身体表現と日本近代美  
術 館蔵品展 5.12—6.17 板橋  
区立美術館  
朝日夕刊 6.6 中村さやか  
読売夕刊 5.26

もの派の作家たちとその周辺 8.30  
—11.25 楽翠亭美術館  
ギャラリー\* 329

紅葉山御養蚕所と正倉院裂復元のそ  
の後 皇后陛下喜寿記念 3.3—  
4.8 宮内庁三の丸尚蔵館

森と湖の国フィンランド・デザイン  
時代を超える生活の中の美 11.  
21—1.20 サントリー美術館(大  
阪市立東洋陶磁美術館、北海道立  
近代美術館)

朝日 11.20 西岡一正

モンゴル BIG5展—天を駆ける魂の  
色—ENCORE 12.8—12.15  
Hide Fukasaku Gallery  
新美術新聞 1301 水間敏隆

(ヤ)

やきものの現在 土から成るかたち  
—part IX 2.5—3.20 ギャラ  
リーヴォイス

陶説 709 井上隆生

やきものの現在 土から成るかたち  
—part X 6.16—8.5 ギャラ  
リーヴォイス

陶説 714 井上隆生

REAR 28 大長智広

野菜の宴—牧野富太郎と江戸明治の  
植物画— 7.7—9.17 練馬区立  
牧野記念庭園記念館  
新美術新聞 1288

八瀬童子—天皇と里人— 12.5—  
1.14 京都文化博物館  
日経 12.16

柳宗悦と丹波の古陶 3.10—5.27  
兵庫陶芸美術館

山口県美術展覧会66回 10.4—10.  
21 山口県立美術館  
陶説 717 外館和子

やまとの地宝—遺物が語る奈良の歴  
史— 中国陝西歴史博物館「日本  
考古展」帰国記念 2.4—3.20 奈  
良県立美術館

弥生青銅器に魅せられた人々—その  
製作技術と祭祀の世界— 開館5  
周年記念 3.16—5.16 島根県立  
古代出雲歴史博物館

(ユ)

悠久の美—唐物茶碗から青銅器まで  
— 4.3—6.10 出光美術館  
朝日夕刊 5.28 小川雪

遊墨会展29回 12.5—12.9 北と  
びあ  
水墨画\* 287

幽霊・妖怪画大全集 美と恐怖とユ  
ーモア 6.30—9.2 福岡市博物  
館(大阪歴史博物館、そごう美術  
館、山梨県立博物館、名古屋市博  
物館)

水墨画\* 279

読売 8.2 白石知子

雪と氷 『雪華図説』から近現代の美  
術まで 7.21—9.2 群馬県立館  
林美術館  
読売 8.2 高野清見

ゆく河の流れ 美術と旅と物語

10.27—12.24 栃木県立美術館

夢の実現するところ 郵便配達夫シ  
ュヴァルの理想宮 完成100年記  
念展 12.1—2.23 ギャラリー宮  
脇  
新美術新聞 1301

(ヨ)

ヨーロッパ絵画に見る 永遠[とわ]



- の女性美 3.17—5.27 ニューオー  
ータ美術館  
朝日夕刊 4.18 神谷実里
- 国立西洋美術館所蔵 ヨーロッパの  
近代美術 10.5—11.25 井原市  
立田中美術館(島根県立石見美術  
館)
- 横浜民輔コレクション 中国陶磁名  
品展—東京国立博物館所蔵—  
4.24—9.2 九州国立博物館  
陶説 712
- 横浜港と生糸貿易 2.11—4.8 横  
浜みなと博物館
- 吉沢コレクションの近代日本画 2  
部 日本画の大正 6.9—7.22  
佐野市立吉沢記念美術館  
水墨画\* 279
- 四人展—それぞれの人物像— 9.17  
—9.22 銀座スルガ台画廊  
新美術新聞 1290
- 甦る 江戸〜明治の和菓子の世界  
11.1—11.30 虎屋ギャラリー  
芸術新潮 755
- よみがえる飛鳥の技、万葉美の競演  
9.29—11.27 奈良県立万葉文化  
館  
新美術新聞 1291 澤田尚久
- 甦る五浦一受け継がれし天心のここ  
ろ— 3.2—4.2 茨城県天心記念  
五浦美術館  
新美術新聞 1274 野内治
- よみがえる古代の煌き 副葬品にみ  
る今城塚古墳の時代 10.6—12.2  
今城塚古代歴史館
- 頼朝と重源 東大寺再興を支えた鎌  
倉と奈良の絆 7.21—9.17 奈良  
国立博物館
- 四大浮世絵師展 3.17—5.6 尾道  
市立美術館  
新美術新聞 1277
- 460人展 5.2—5.6 名古屋市民ギ  
ャラリー  
REAR 28 金井直

## (ラ)

- RADICAL SHOW 2012 京都造形芸  
術大学エマージングアーティスト  
展 9.5—10.2 8/CUBE  
瓜生通信 57 浅見旬

- ラビアンローズ—薔薇色の人生—  
4.11—4.17 高島屋(日本橋)(高  
島屋(横浜))  
新美術新聞 1277

## (リ)

- リアル・ジャパネスク 世界の中の  
日本現代美術 7.10—9.30 国立  
国際美術館  
新美術新聞 1288  
新美術新聞 1292 光田ゆり  
REAR 29 山本和弘
- 立体力 仏像から人形、フィギュア  
まで 6.2—7.8 札幌芸術の森美  
術館  
毎日夕刊 7.2 岸桂子
- リヒテンシュタイン 華麗なる侯爵  
家の秘宝 10.3—12.23 国立新  
美術館(高知県立美術館、京都市  
美術館)  
目の眼 435  
朝日 9.18 大西若人  
朝日 9.25 大西若人  
朝日夕刊 11.15 森洋子  
産経 11.26 黒沢綾子
- 琉球の紅型 沖縄復帰40年記念  
9.7—11.24 日本民芸館  
毎日夕刊 9.24 岸桂子
- RYUGU IS OVER!!—竜宮美術旅館  
は終わります 2.17—3.18 竜宮  
美術旅館  
ファウンテン 2 宮津大輔
- 龍泉窯青磁展 日本人の愛した中国  
陶磁 1.21—3.31 愛知県陶磁資  
料館(山口県立萩美術館・浦上記  
念館)
- 稜の会4回 8.29—9.4 高島屋  
(日本橋)(高島屋(名古屋))  
新美術新聞 1289
- 涼のしつらい、夏きもの一透きとお  
る魅力— 6.29—9.5 須坂クラ  
シック美術館  
新美術新聞 1287
- Relation 継がれるもの—語りえぬ  
もの 5.14—6.23 武蔵野美術大  
学美術館  
新美術新聞 1281 田中正之
- 琳派芸術II 10.27—12.16 出光美  
術館

- 産経 10.28  
産経 11.18 渋谷和彦

## (ル)

- ルス(呂宋)とよばれたやきもの—近  
世瀬戸の新たな試み— 2.11—  
4.22 瀬戸蔵ミュージアム内蔵特  
別展示室  
芸術新潮 748 青柳恵介
- 瑠璃浄土—薬師如来へのいのり—  
2.28—3.25 大分県立歴史博物館

## (レ)

- 歴史の天使 アイ・ラブ・アート  
12 写真展 8.4—11.11 ワタリ  
ウム美術館  
芸術新潮 754  
朝日夕刊 9.12 西岡一正

## (ロ)

- ろじへん〜すべての路地はアートに  
通ず〜art-Link 上野—谷中2012  
9.22—10.14 上野、根津、谷中、  
千駄木各所  
東京 10.6 竹上順子
- Lost & Found Family Photos Swept  
by 3.11 East Japan Tsunami  
1.11—2.11 AKAACA  
芸術新潮 747  
産経 2.1 篠原知存  
産経 2.8 鷺尾和彦

## (ワ)

- 若狭を撮る 井田家所蔵古写真のま  
なざし 9.22—11.25 福井県立  
若狭歴史民俗資料館
- 早稲田をめぐる画家たちの物語  
9.24—11.10 早稲田大学會津八  
一記念博物館
- わたしの句読点2 食いろいろ 東  
京イラストレーターズ・ソサエテ  
ィのメンバーが描く 5.19—7.1  
たばこと塩の博物館  
美術手帖 967 杉瀬由希
- What's an Icon of Style? 時代を彩  
るファッション 3.17—5.27 名  
古屋ボストン美術館  
新美術新聞 1275 宮永郁恵
- われらの地平線—いま・新たなる二

展覧からの発信— 9.5—9.11  
 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1289 南郷宏  
 美術の窓 348 編集部  
**我ら明清親衛隊 大江戸に潜む中国  
 ファン達の群像** 12.1—1.6 板  
 橋区立美術館  
**わんの形** 4.15—5.27 ギャラリー  
 ヴォイス  
 陶説 712 井上隆生  
**ONE PIECE 展 原画×映像×体感  
 のワンピース** 3.20—6.17 森ア  
 ーツセンター  
 読売夕刊 4.28 ヨミウリ・ジュ  
 ニア・プレス取材班

作家展

(ア)

**アンドレ・S・ソリドー写真展(エ  
 リオット・アーウィット別人格写  
 真展)** 11.6—12.2 ギャラリー  
 コスモス  
 朝日夕刊 11.14 増田愛子  
**藍ふさ恵展** 9.1—9.8 ギャラリー  
 枝香庵  
 新美術新聞 1289  
**饅頭 ふたたび虹のかなたに** 2.4  
 —5.6 東京都現代美術館(新潟市  
 美術館、広島市現代美術館)  
 ギャラリー\* 322  
 新美術新聞 1273  
 朝日夕刊 3.14 西岡一正  
 日経 2.15 小川敦生  
 読売 4.12 井上晋治  
**相笠昌義 昆虫コレクションとデッ  
 サン展** 7.25—8.6 高島屋(新  
 宿)  
 新美術新聞 1287  
**相澤愚呑人 水墨・墨彩画作品展**  
 9.19—9.25 ヒルトピアアーツス  
 クエア  
 新美術新聞 1290  
**相澤豊治 日本美術院入選作品展**  
 11.27—12.2 平塚市美術館市民  
 アートギャラリー  
 新美術新聞 1297  
**相澤なみ子個展 スペイン紀行(風  
 と光)** 9.17—9.23 ハヤシ画廊

新美術新聞 1290  
**会田誠 天才でごめんなさい** 11.  
 17—3.31 森美術館  
 ギャラリー\* 331  
 芸術新潮 759  
 新美術新聞 1301 光田ゆり  
 東京夕刊 12.14 児島やよい  
 日経夕刊 11.12 富田律之  
**相場るい児展一月に泳ぐ** 3.17—  
 3.31 ギャラリー顕美子  
 陶説 711 井上隆生  
**青木野枝** 3.1—4.1 gallery 21  
 yo-j  
 東京夕刊 3.9 中村英樹  
 毎日 3.19 岸桂子  
**青木野枝 ふりそそぐものたち**  
 10.13—12.24 豊田市美術館  
 芸術新潮 756 西江雅之  
 新美術新聞 1294 北谷正雄  
 REAR 29 北谷正雄  
 REAR 29 角田美奈子  
 朝日夕刊 11.7 大西若人  
 東京夕刊 11.1 宮川まどか  
 毎日夕刊 11.7 三田晴夫  
 読売 12.6 井上晋治  
**青木野枝 ふりそそぐものたち**  
 10.20—12.16 名古屋市美術館  
 芸術新潮 756 西江雅之  
 新美術新聞 1294 北谷正雄  
 REAR 29 北谷正雄  
 REAR 29 角田美奈子  
 朝日夕刊 11.7 大西若人  
 東京夕刊 11.1 宮川まどか  
 毎日夕刊 11.7 三田晴夫  
 読売 12.6 井上晋治  
**青山悟展「The Man—Machine (Re-  
 prise)」featuring 平石博一** 8.29  
 —9.29 ミヅマアートギャラリー  
 美術手帖 976 飯田高譽  
**青山杉雨の眼と書 書の巨星と中国  
 書画コレクション** 7.18—9.9  
 東京国立博物館  
 書道界 274 一色白泉  
 新美術新聞 1286 富田淳  
 新美術新聞 1288 樽本樹郎/高  
 木聖雨  
 水墨画\* 280  
 読売 8.9 菅原教夫  
**赤木曠児郎展 パリ素描原画500点**

**記念** 9.12—9.18 大丸(京都)  
 (大丸(大阪))  
 新美術新聞 1290  
**安芸真奈展** 7.9—7.21 養清堂画  
 廊  
 版画芸術 156  
**秋田雄峰展16回—墨彩画20年目の  
 スタート** 4.10—4.15 セントラ  
 ル・アートギャラリー  
 新美術新聞 1277  
**秋野不矩 挿絵展 水上勉著 山の  
 暮れに** 7.1—7.31 ギャラリー  
 鉄斎堂  
 新美術新聞 1285  
**秋山祐徳太子 “ラッキーア”** 7.7—  
 8.5 アイショウミウラアーツ  
 新美術新聞 1287  
**朝井閑右衛門** 11.3—12.25 横須  
 賀美術館(田辺市立美術館)  
 産経 12.9 沢沢和彦  
 読売夕刊 12.8  
**浅井真理子「聞こえない声は、空に  
 溶け拡散する」** 5.15—6.3 愛知  
 県立芸術大学サテライトギャラリ  
 ー  
 REAR 29 野中祐美子  
**水墨画最前線2012—朝倉隆文 及  
 川聡子 大塚怜美—** 8.1—8.13  
 高島屋(日本橋)  
 水墨画\* 283  
**吉本直子・久保健史・浅田暢夫 現  
 代郷土作家** 9.13—10.21 姫路  
 市立美術館  
 新美術新聞 1289  
**絵画、それを愛と呼ぶことにしよう  
 vol.4 浅見貴子** 8.4—9.15 ギ  
 ャラリーαM  
 芸術新潮 754  
 水墨画\* 283  
 東京夕刊 8.31 古谷利裕  
 毎日夕刊 8.28 岸桂子  
 読売夕刊 9.1 (井)  
**浅見千鶴展** 6.25—6.30 銀座スル  
 ガ画廊  
 新美術新聞 1283  
**朝海陽子展「Chords」** 6.9—7.14  
 無人島プロダクション  
 美術手帖 973 服部浩之  
**フランツ・アッカーマン展 Head-**

ing East 10.26—11.24 小山登  
美夫ギャラリー京都  
美術手帖 977 飯田志保子

阿刀一心 京舞妓油彩展 5.28—  
6.2 文藝春秋画廊  
新美術新聞 1281

阿部大介展「呼吸」 11.1—12.17  
masayoshi suzuki gallery  
REAR 29 三井知行

阿部大介展 11.10—11.24 AIN  
SOPH DISPATCH  
REAR 29 三井知行

阿部典英のすべて 4.7—5.6 北海  
道立近代美術館  
新美術新聞 1278

洋画家尼谷良と日本画家本間秀岳  
8.24—9.23 天童市美術館

天野裕夫 奇想天外彫刻展 5.14—  
5.26 椿近代画廊  
新美術新聞 1280

綾部好男 くらやみ祭画景展 いに  
しえを明日に伝える 4.20—5.6  
ふるさと府中歴史館  
東京 5.1 高橋知子

あらいとしこ展7回 風景と花、  
いとしきもの。 9.23—9.29 ギ  
ャラリー琥珀  
新美術新聞 1290

ARAKAWA + GINS Reversible Des-  
tinity to be continued[荒川修作]  
6.16—7.14 ギャラリー・アート  
アンリミテッド  
読売夕刊 7.7

荒木経惟 花の写真を 3.1—3.20  
盛岡市民文化ホール(久慈市文化  
会館アンバーホール、石巻市エス  
タ特設ギャラリー)  
産経 3.1 松原英夫

荒木経惟 花の写真を 4.28—6.17  
いわき市立美術館(久慈市文化  
会館アンバーホール、石巻市エス  
タ特設ギャラリー)  
日経 6.14

荒木経惟写真集展 アラーキー  
3.11—7.29 IZU PHOTO MUSE-  
UM  
芸術新潮 749  
朝日夕刊 5.23 大西若人  
読売 5.24 井上晋治

荒木経惟「過去・未来 写狂老人日記  
1979年—2040年」 5.25—6.23  
タカ・イシイギャラリー  
芸術新潮 751  
読売 5.24 井上晋治

荒木経惟 センチメンタルな空  
8.24—10.7 RAT HOLE GALLE-  
RY  
美術手帖 975 榎木野衣

荒木飛呂彦原画展 ジョジョ展  
7.28—8.14 せんだいメディアテ  
ーク  
毎日夕刊 7.11 内藤麻里子

荒木飛呂彦原画展 ジョジョ展  
10.6—11.4 森アーツセンターギ  
ャラリー  
美術手帖 975

荒木由香里個展 Category 12.8—  
12.22 AIN SOPH DISPATCH  
ギャラリー\* 332

荒谷直之介と水彩画 佐倉・房総ゆ  
かりの作家たち 3.9—4.8 佐倉  
市立美術館

荒谷直之介展 人へのまなざし  
8.4—9.23 佐倉市立美術館  
新美術新聞 1288  
東京夕刊 9.14 藤田一人

有賀明文日本画展 9.12—9.18 三  
越(名古屋)  
新美術新聞 1290

有田泰而 First Born 11.22—12.28  
Gallery916  
芸術新潮 756 タカザワケンジ

DUALISM展[アルトゥーロ・コリ  
ア・アルタミラノ] 5.30—6.5  
三越(日本橋)  
新美術新聞 1280

天空へのメッセージ[アーリア・ア  
ルフアルシ] 5.7—5.11 在日オ  
マーン大使館  
産経 5.2

「マクリヒロゲル、粟津潔の世界」没  
後3年 6.26—7.22 ヒルサイ  
ドフォーラム  
美術手帖 973 ダリル・ウィー

安千龍個展 4.23—4.28 新井画廊  
新美術新聞 1278

安藤麻依子展 2.4—2.19 ギャラ  
リー教寄

陶説 709 井上隆生

安藤正子—おへその庭 ハラドキュ  
メンツ9 7.12—8.19 原美術館  
芸術新潮 753  
美術手帖 974 中村史子  
REAR 29 熊谷伊佐子  
朝日夕刊 8.1 大西若人  
東京夕刊 8.3 児島やよい  
毎日夕刊 8.7 岸桂子  
読売夕刊 8.6 (井)

安藤陽子展 11.16—12.20 NODA  
CONTEMPORARY  
ギャラリー\* 331

安野光雅の絵本展 2.25—3.25 板  
橋区立美術館(長崎歴史文化博物  
館、刈谷市美術館、そごう美術館、  
福岡県立美術館、秋田県立近代美  
術館)  
朝日夕刊 3.7 神谷実里  
産経 2.26

## (イ)

イ・チャンウォン MAM PROJECT  
017 6.16—10.28 森美術館  
朝日夕刊 6.27 大西若人  
毎日夕刊 7.24 岸桂子

イ・ブル展：私からあなたへ、私た  
ちだけに 2.4—5.27 森美術館  
芸術新潮 748  
美術手帖 965 秋元康、松任谷  
正隆 対談/山内康宏 構成  
朝日夕刊 2.8 大西若人  
東京夕刊 2.17 岡部あおみ  
日経 3.8 平野啓一郎  
日経 5.1  
読売 4.19 井上晋治

野に叫ぶ 飯野農夫也と奥久慈版画  
会 戦後復興と地方からの文化発  
信 5.3—5.29 大子・街かど美  
術館

猪飼節子 11.5—11.17 椿近代画  
廊  
新美術新聞 1295

DUALISM展[猪飼祐一] 5.30—6.  
5 三越(日本橋)  
新美術新聞 1280

復興への息吹き 大地の祈り 五十  
嵐二郎・小泉智英 二人展 4.24  
—5.13 須賀川市立博物館

平成24年美術展覧会(作イ)

新美術新聞 1278 増賀睦朗  
 五十嵐吉彦・水彩スケッチ画展  
 11.25—12.1 ギャラリームサン  
 新美術新聞 1297  
 生田宏司展 10.20—10.28 鹿嶋神  
 社参集殿  
 版画芸術 157  
 井口通太郎展 10.15—10.20 櫛画  
 廊  
 ギャラリー\* 330  
 新美術新聞 1293  
 池島康輔展 因縁 3.23—4.14 成  
 山画廊  
 芸術新潮 750  
 池田龍雄 濱口富治 武内光仁 3  
 人の世界 第13回白木谷国際現  
 代美術館4周年記念特別企画  
 5.3—7.24 白木谷国際現代美術  
 館  
 ギャラリー\* 326  
 福島から広がる視線1 池田龍雄展  
 5.26—7.7 原爆の図丸木美術館  
 新美術新聞 1282  
 新美術新聞 1285 光田ゆり  
 読売夕刊 6.3  
 池田龍雄展「漂着 *épave absolue*  
 2012」 9.15—10.13 画廊香月  
 ギャラリー\* 329  
 池田満寿夫の版画 没後15年 6.7  
 —7.8 長野県信濃美術館  
 ギャラリー\* 326  
 池田満寿夫と空想旅行へ! 7.7—  
 12.18 池田満寿夫美術館  
 新美術新聞 1286  
 池田満寿夫ライブラリー 12.22—  
 7.23 池田満寿夫美術館  
 新美術新聞 1304  
 池田光弘 location/dislocation 9.1  
 —10.19 SHUGOARTS  
 読売夕刊 9.24 (清)  
 池田実穂 木版画展—いきものたち  
 のしらべ II— 9.26—10.1 ア  
 ートデアート・ビュ  
 版画芸術 157  
 池田宗弘が見た 信濃国善光寺道  
 6.11—6.23 ギャラリーせいほう  
 新美術新聞 1282  
 The 遊子展〜墨戯の世界〜七回忌  
 記念[池田遊子] 10.3—10.28

天門美術館  
 目の眼 434  
 思索する彫刻家—遊子展[池田遊子]  
 10.21—10.30 SHINYA Japanese  
 & Design  
 目の眼 434  
 池西剛(陶)展 黒の新境地 12.2—  
 12.15 蔵丘画廊  
 新美術新聞 1299  
 Family 四人展[石井武夫/石井晴  
 子] 4.25—4.30 画廊宮坂  
 新美術新聞 1278  
 石井武夫—tipsiness— 5.8—5.13  
 ギャラリー宇  
 新美術新聞 1279  
 石井武夫展 10.26—11.25 夢の庭  
 画廊  
 新美術新聞 1295  
 美術の窓 350 小森佳代子  
 作家特集展示 石井壬子夫—生誕  
 100年を迎えて— 10.5—12.16  
 大川美術館  
 新美術新聞 1297  
 石内都 絹の夢 10.7—1.6 丸亀  
 市猪熊弦一郎現代美術館  
 芸術新潮 757  
 石垣定哉 9.4—9.18 日動画廊(名  
 古屋日動画廊)  
 新美術新聞 1289  
 石川珂旦 美の世界 4.24—5.6  
 岩崎博物館  
 新美術新聞 1278  
 石川珂旦 美の世界 6.20—6.26  
 高島屋(玉川)  
 新美術新聞 1283  
 石川珂旦 美の世界 11.1—11.6  
 松屋(銀座)  
 新美術新聞 1295  
 清水康友企画 星彩展[石川有希]  
 3.29—4.4 ギャラリー絵夢  
 新美術新聞 1276  
 石川順恵展 新作展 7.9—8.4 南  
 天子画廊  
 ギャラリー\* 328 三田晴夫  
 朝日夕刊 8.1 大西若人  
 石澤久夫作品展 7.2—7.14 21世  
 紀堂「あそびの窓」  
 新美術新聞 1284  
 それぞれのリアリズム[石田淳一]

6.29—9.2 アートギャラリー呼  
 友館  
 新美術新聞 1283  
 石田尚志 3.31—4.28 タカ・イン  
 イギャラリー  
 芸術新潮 750  
 石田亘・征希・知史 パート・ド・  
 ヴェール作品展—やわらかな光・  
 永遠に— 9.29—10.9 和光ホー  
 ル  
 新美術新聞 1291  
 石塚桜子展 マイ・ルーツ 11.13  
 —12.16 佐藤美術館  
 ギャラリー\* 334 ワシオ・トシ  
 ヒコ  
 日経夕刊 12.6  
 いしばしめぐみ展—Fairyland—  
 1.10—1.21 ギャラリーせいほう  
 ギャラリー\* 321  
 石原進日本画展 古希記念〜画業  
 50年の歩み〜 3.30—6.17 ア  
 ートギャラリー呼友館  
 新美術新聞 1278  
 石本正新作展 京への想い 6.5—  
 9.30 浜田市立石本正美術館  
 新美術新聞 1284  
 石本正 我が青春 10.6—12.2 浜  
 田市立石本正美術館  
 新美術新聞 1295  
 石本藤雄展 布と陶—冬— 12.12  
 —1.14 スパイラルガーデン  
 読売夕刊 11.7  
 石元泰博写真展—桂離宮 1953,  
 1954— 4.7—6.10 神奈川県立  
 近代美術館(鎌倉)  
 美術手帖 971 ダリル・ウィー  
 朝日夕刊 5.9 西岡一正  
 毎日夕刊 5.28 岸桂子  
 写真家 石元泰博—時代を超える静  
 かなまなざし— 8.4—8.30 今  
 治市河野美術館(文化フォーラム  
 春日井・ギャラリー、佐世保市博  
 物館島瀬美術センター)  
 東京夕刊 8.22  
 泉田之也 陶展 5.5—5.20 ギャ  
 ラリー芽楽  
 陶説 713 井上隆生  
 泉谷淑夫展 —美しい驚き— 3.21  
 —3.27 高島屋(横浜)

- 美術の窓 342 小池伊欧里  
 伊勢崎晃一朗陶展 10.3—10.9 三越(名古屋)  
 陶説 717 井上隆生  
 伊勢崎淳・陶 大地の聲を聴く 2.29—3.6 三越(日本橋)  
 陶説 710 外館和子  
 伊勢崎満 回顧展 岡山県立美術館「岡山の美術展」特別陳列 12.14—1.27 岡山県立美術館  
 陶説 720 外館和子  
 井芹赫子展 cacuco Exhibition 5.28—6.3 ギャラリー杉野  
 新美術新聞 1281  
 磯野迪子展 LOOKING AT WINDOWS 9.3—9.27 LIXIL ギャラリー  
 磯部廣二 彫刻展 2.13—2.18 ギャラリー杉野  
 読売 2.11  
 井田照一展—土に挑む— 2.21—7.1 岐阜県現代陶芸美術館  
 陶説 711 井上隆生  
 REAR 28 青木正弘  
 井田照一 版の思考・間の思索 京都市美術館コレクション展第1期 4.7—6.17 京都市美術館  
 新美術新聞 1280  
 新美術新聞 1282 尾崎真人  
 REAR 28 青木正弘  
 井田照一の版画 5.22—6.24 京都国立近代美術館  
 REAR 28 青木正弘  
 板垣翠 『珍味』 11.6—11.18 ギャラリーしのざき  
 水墨画\* 286  
 伊丹潤展 手の痕跡 4.17—6.23 TOTO ギャラリー・間  
 毎日夕刊 5.8 永田晶子  
 読売 6.21  
 市川裕司 4.20—7.1 ギャラリーイ&カフェ山猫軒  
 ギャラリー\* 328 小金沢智  
 一木平蔵展 6.21—7.3 紀伊國屋画廊  
 新美術新聞 1283  
 ヒラケゴマ 追悼・一原有徳 5.19—7.1 武蔵野市立吉祥寺美術館  
 落石計画 5期 銅版画試論—つくること、ゆだねること—[井出創太郎] 8.7—8.11 旧落石無線送信所(現・池田良ニスタジオ)  
 伊東深水 南方風俗スケッチ展 没後40年 市川市収蔵作品より 6.11—7.22 芳澤ガーデンギャラリー  
 新美術新聞 1284  
 伊藤純代 Her Memory TWS—Emerging 184 7.7—7.29 トーキョーワンダーサイト本郷  
 芸術新潮 753  
 東洋+西洋=伊東忠太—よみがえった西本願寺「伝道院」— 6.9—7.8 大阪くらしの今昔館  
 毎日夕刊 4.19 手塚さや香  
 伊藤秀人展—磁器の表現— 4.10—4.21 シルバーシエル  
 陶説 711 花里麻理  
 伊藤誠展 5.21—6.9 ガレリアファイナルテ  
 REAR 28 鈴木俊晴  
 伊藤航展 画廊からの発言 新世代への視点2012 7.23—8.4 ギャラリー58  
 読売夕刊 7.3 (井)  
 糸崎公朗作品展 盆栽×写真VOL.2 10.5—11.28 大宮盆栽美術館  
 稲員頼子展 1.28—2.19 北九州市立美術館  
 稲田峻 日本画展 2.11—3.11 尼信博物館  
 ギャラリー\* 322  
 稲富淳輔展「ツキノ イリエ」 7.11—7.29 ニュートロン東京  
 ギャラリー\* 327  
 井上勝江展 9.11—9.19 京王プラザホテルロビーギャラリー  
 新美術新聞 1290  
 美術の窓 348 大矢頼音  
 井上利哉個展 GENJI・E(LOVE) 11.26—12.1 銀座井上画廊  
 新美術新聞 1297  
 井上雅之「初形より—山」 4.9—4.28 ギャラリー東京ユマニテ  
 ギャラリー\* 325 三田晴夫  
 陶説 714 小吹隆文  
 井上萬二白磁展—名陶無雑—時計塔 80年記念 6.15—6.24 和光ホール  
 新美術新聞 1281  
 井上安治—夭折の風景画家— 3.16—3.20 ぎやらりい思文閣  
 清親と安治—光線画の時代 9.8—10.8 山口県立萩美術館・浦上記念館  
 読売 9.2 白石知子  
 井上有一—日々絶筆 書の前衛アート— 9.13—12.24 軽井沢ニューアートミュージアム  
 猪熊佳子日本画展—煌めきの森へ— 5.9—5.15 高島屋(京都)(高島屋(大阪、日本橋、米子))  
 伊庭靖子 Paintings 6.1—7.14 MISA SHIN GALLERY  
 美術手帖 971 清水穰  
 毎日夕刊 6.26 岸桂子  
 今井政之展 文化功労者 時計塔 80年記念 3.13—3.21 和光ホール  
 美術の窓 342 高山淳  
 毎日夕刊 3.14 岸桂子  
 今井政之展 文化功労者 10.3—10.9 高島屋(京都)  
 新美術新聞 1292  
 今井政之展 文化功労者 10.31—11.6 高島屋(横浜)  
 美術の窓 350 高山淳  
 十四代今泉今右衛門・深見陶冶展—2011年度日本陶磁協会賞・金賞受賞記念— 10.3—10.11 壺中居  
 陶説 716 唐澤昌宏  
 十三代・十四代今泉今右衛門 色鍋島の粹 10.6—1.6 菊池寛実記念智美術館  
 新美術新聞 1296  
 目の眼 436  
 毎日夕刊 11.21 岸桂子  
 鉄釉 今泉毅展 6.29—7.3 しぶや黒田陶苑  
 陶説 714 唐澤昌宏  
 今川教子—音— 9.27—10.6 純画廊  
 ギャラリー\* 330  
 今田陽子磁器展「爽清」 7.12—7.21 西福

陶説 714 外館和子  
 今津景 SHINIHG REPLACE 7.4  
 —8.3 第一生命南ギャラリー  
 ギャラリー\* 328 名古屋覚  
 伊村俊見展 10.6—10.14 スペー  
 ス大原  
 陶説 717 井上隆生  
 入江一子展 シルクロード色彩自在  
 1.25—1.31 三越(日本橋)(三越  
 (名古屋))  
 新美術新聞 1269 本江邦夫  
 美術の窓 341 磯部靖  
 入江観展 6.27—7.3 三越(日本  
 橋)  
 新美術新聞 1283  
 shiseido art egg vol.6[入江早耶]  
 3.2—3.25 資生堂ギャラリー  
 毎日夕刊 1.17 岸桂子  
 岩井昌代個展35回 4.26—5.8 ヒ  
 ルトピア・アートスクエア  
 新美術新聞 1278  
 岩城芳子展 Just Another Diamond  
 Day 10.6—11.10 小山登美夫  
 ギャラリー  
 芸術新潮 756  
 絢爛豪華 岩佐又兵衛絵巻 開館  
 30周年記念所蔵名品展 3.3—  
 6.5 MOA美術館  
 産経 3.18 黒沢綾子  
 日経 3.14 宝玉正彦  
 岩崎貴宏「Metaphrase Scenery」  
 8.25—9.29 アラタニウラノ  
 芸術新潮 755  
 ちひろ 27歳の旅立ち ドキュメン  
 タリー映画公開記念展[いわさき  
 ちひろ] 5.23—8.26 ちひろ美  
 術館(東京)  
 毎日 6.23 山崎征克  
 追悼 岩崎巴人 2.10—3.20 富山  
 県水墨美術館  
 新美術新聞 1272 鈴木博喬  
 水墨画\* 275  
 岩立寛回顧展 四季彩々 10.12—  
 10.17 O美術館  
 新美術新聞 1293  
 岩波昭彦展～SCENE II～ 12.7—  
 12.15 永善堂画廊  
 新美術新聞 1298  
 岩渕華林 5.21—6.4 ギャラリー

椿  
 水墨画\* 281  
 岩本和子展 11.5—11.10 銀座ス  
 ルガ台画廊  
 新美術新聞 1295  
 (ウ)  
 植木金矢展 伝説の劇画師 1.3—  
 4.1 弥生美術館  
 朝日夕刊 1.18 岩本恵美  
 植木蒼悦展 没後30年 孤高にし  
 て洒脱…(河童三昧)の境地。  
 11.17—1.20 北海道立函館美術  
 館  
 植木寛子ヴェネチアンガラス展 フ  
 アッションとアートの出会い  
 10.2—10.9 伊勢丹(新宿)  
 新美術新聞 1292  
 上島鳳山と大阪の日本画 1.14—  
 3.18 笠岡市立竹喬美術館  
 水墨画\* 275  
 植田いつ子舞台衣裳展 5.29—8.5  
 早稲田大学演劇博物館  
 読売 5.26  
 植田正治の写真世界 終生モダニズ  
 ムを貫いた写真家 6.1—8.31  
 FUJIFILM SQUARE 写真歴史博  
 物館  
 ギャラリー\* 326  
 新美術新聞 1283  
 写真展 八雲立つ出雲 植田正治、  
 上田正昭が歩いた神々のふるさと  
 神話博しまね特別展 7.21—10.8  
 島根県立古代出雲歴史博物館  
 六代上田直方茶陶展 襲名記念  
 2.8—2.14 高島屋(京都)(高島屋  
 (日本橋))  
 陶説 710 鈎真一  
 Materia[上田義彦] 2.11—4.10  
 Gallery916  
 芸術新潮 748  
 キギ展 植原亮輔と渡邊良重 5.8  
 —5.30 ギンザ・グラフィック・  
 ギャラリー  
 毎日夕刊 5.15 永田晶子  
 Chiyu Uemae 卒寿を超えて「上前  
 智祐の自画像」 11.3—2.17 BB  
 プラザ美術館  
 版画芸術 158

上村淳之展—作家の眼 6.30—8.19  
 京都市美術館  
 新美術新聞 1284 吉中充代  
 毎日夕刊 8.9 渡辺亮一  
 上村淳之展 傘寿記念 9.12—10.1  
 高島屋(日本橋)(高島屋(横浜、京  
 都))  
 新美術新聞 1291  
 上村松園 大正期の芸術 伝統と革  
 新 迷える時代 5.22—7.8 松  
 伯美術館  
 新美術新聞 1283  
 上村松園と鑄木清方 7.21—9.2  
 平塚市美術館  
 水墨画\* 280  
 上村松篁展 生誕110年記念  
 10.13—11.25 茨城県天心記念五  
 浦美術館(田辺市立美術館)  
 朝日夕刊 10.31 青天目恭子  
 魚谷洋展 5.16—6.15 在日スイス  
 大使館  
 東京 5.3  
 鶴飼義文展「3×3」 10.19—11.2  
 村越画廊  
 新美術新聞 1293  
 牛島義弘回顧展 10.8—10.14 至  
 峰堂画廊(銀座)  
 新美術新聞 1292  
 臼井良平展「PET(Portrait of Encou  
 ntered Things)」 1.28—3.11  
 無人島プロダクション  
 読売夕刊 2.13 (清)  
 内海聖史—一方円の器 10.5—10.21  
 アートフロントギャラリー  
 ギャラリー\* 332 小金沢智  
 内田綱一 —white wall— 2.27—  
 3.10 SILVER SHELL  
 芸術新潮 748  
 奇想天外—鉢合わせ—鯉江良二×内  
 田綱一×小田康平 7.9—7.20  
 山本美術  
 陶説 714 梅田稔  
 内田初音展—わたしのあしあと—  
 11.30—12.15 ギャラリー新居東  
 京  
 ギャラリー\* 332  
 梅崎このみ布絵展 布と遊ぶ 10.1  
 —10.27 池田20世紀美術館画廊  
 レジェ

- 新美術新聞 1292  
 梅沢和木個展「大地と水と無主物コ  
 ア」 3.2—4.21 CASHI  
 美術手帖 966 石岡良治  
 梅本孝征 與語小津恵 10.20—  
 1.27 瀬戸市新世紀工芸館  
 陶説 720 井上隆生  
 占部史人ワークショップ 時間旅行  
 —ブリキの車にのって 2.17—  
 2.19 水戸芸術館現代美術ギャラリー  
 REAR 28 石田喜美  
 占部史人個展「浮寝の旅」 3.3—4.8  
 水戸のキワマリ荘  
 REAR 28 石田喜美

## (エ)

- 17代永樂善五郎展 『寿ぎの譜』  
 4.6—4.21 ギャラリー桜の木(銀  
 座)  
 新美術新聞 1276  
 サイモン・エヴェリントン essence  
 3.27—4.8 楓ギャラリー  
 陶説 711 小吹隆文  
 江川純太 さつき見た新しい世界を  
 忘れて、また見る瞬間の 3.31—  
 4.28 eitoeiko  
 新美術新聞 1276  
 大絵金 極彩の闇 絵師・金蔵生誕  
 200年記念 10.28—12.16 高知  
 県立美術館  
 水墨画\* 283  
 毎日夕刊 11.28 岸桂子  
 読売 11.29 井上晋治  
 江口週一漂流と原形—彫刻/デッサ  
 ン 9.22—12.24 神奈川県立近  
 代美術館(鎌倉)  
 江口康隆 文学的な余りに文学的な  
 8.4—9.29 Gallery HAM  
 ギャラリー\* 328  
 マンガ@紫雲荘 紫雲荘のマンガ家  
 たちの作品展—トキワ荘から紫雲  
 荘へ—[枝作] 2.1—2.29 豊島  
 区民センター  
 東京 2.1 柏崎智子  
 海老原暎展 5.21—5.26 ガレリア  
 グラフィカ bis  
 ギャラリー\* 325  
 江村正光展 9.30—10.14 ギャラ

- リーユニコン  
 新美術新聞 1291  
 エル・グレコ展 10.16—12.24 国  
 立国際美術館(東京都美術館)  
 ギャラリー\* 330  
 芸術新潮 757 横尾忠則  
 美術屋・百兵衛 23  
 読売 11.1 木村未来  
 マックス・エルンスト—フィギュア  
 ×スケープ 4.7—6.24 横浜美  
 術館(宇都宮美術館)  
 新美術新聞 1278  
 朝日夕刊 6.6  
 産経 4.15  
 読売 4.26 前田恭二  
 マックス・エルンスト—フィギュア  
 ×スケープ 7.13—9.9 愛知県  
 美術館(宇都宮美術館)  
 アルカディア 54 村松知明  
 Aloha Amigo! フェデリコ・エレ  
 ロ×関口和之 5.3—3.17 金沢  
 21世紀美術館  
 遠藤利克「空洞説—円環⇄壺」 1.7  
 —2.11 秋山画廊  
 ギャラリー\* 322 三田晴夫  
 毎日夕刊 1.17 岸桂子  
 読売夕刊 1.23 (井)  
 遠藤良太郎「絵/画」 11.1—12.8  
 ベイスギャラリー  
 読売夕刊 11.26 (井)

## (オ)

- ジャクリーヌ・オイエ銅版画展 銅  
 の鏡—映し出された魂 6.15—  
 7.15 ギャラリー宮脇  
 版画芸術 156 セバスチャン・  
 ディズラン/塩谷真由美 訳  
 及川聡子—薄氷/水焰— 3.26—  
 4.7 ギャラリーせいほう  
 水墨画\* 280  
 水墨画最前線2012—朝倉隆文 及  
 川聡子 大塚怜美— 8.1—8.13  
 高島屋(日本橋)  
 水墨画\* 283  
 iwate コンテンポラリーアート 写  
 真家及川修次 故郷へのオマージュ  
 「岩手風土記」 4.21—6.24 萬  
 鉄五郎記念美術館  
 及川正道 イラストレーションの世

- 界 ヨコスカー—TOKYO—ぴあ  
 9.29—12.16 横須賀美術館  
 朝日夕刊 10.17 西岡一正  
 大内田茂士・大内田敬 二人展 受  
 け継がれる画家のまなざし 4.10  
 —5.13 田川市美術館  
 新美術新聞 1276  
 大江志織展 4.10—4.17 GINZA  
 yy ギャラリー  
 陶説 712 外館和子  
 大岡澄雄 故郷への想い 1.5—2.5  
 田原市博物館  
 大河原愛個展「此処に在る不在」  
 2.15—2.28 高島屋(大阪)  
 ギャラリー\* 322  
 大河原典子日本画展—花さそう—  
 2.14—2.20 そごう(横浜)  
 水墨画\* 277  
 大久保澄子展—実りへの想い—版画  
 ・ミクストメディア・オブジェ  
 11.3—11.25 沼津市庄司美術館  
 新美術新聞 1295  
 美術の窓 350 編集部  
 大小島真木 森の中で 8.7—8.26  
 西武渋谷オルタナティブスペース  
 ギャラリー\* 330 小金沢智  
 人間国宝大坂弘道展 正倉院から蘇  
 った珠玉の木工藝 11.29—2.11  
 練馬区立美術館  
 大杉弘子—書界「ほさい」 8.2—  
 8.21 アートフロントギャラリー  
 水墨画\* 282  
 「ダイアグラム教育」展 武蔵野美術  
 大学のデザイン教育アーカイブ  
 太田徹也の教育の軌跡—明日を予  
 測する情報のカタチとデザイン  
 5.14—6.23 武蔵野美術大学美術  
 館  
 アートディレクター太田英茂の仕事  
 9.22—11.4 長野県信濃美術館  
 大谷早苗展 10.2—10.8 ギャラリ  
 ーURANO  
 新美術新聞 1292  
 大津英敏展—フランス・オランダ紀  
 行— 11.7—11.13 三越(日本  
 橋)(三越(大阪、福岡))  
 新美術新聞 1295 宝木範義  
 美術の窓 350 小森佳代子  
 ある百笑一家のふんとう記 LIFE 1

日本 南阿蘇[大津耕太] 9.22—10.21 汐花  
東京 9.29 竹上順子  
大塚怜美 個展「現代風俗女性像」  
3.23—3.29 ポスターハリスギャラリー  
水墨画\* 280  
水墨画最前線2012—朝倉隆文 及川聡子 大塚怜美— 8.1—8.13  
高島屋(日本橋)  
水墨画\* 283  
還暦記念大月光動能面展 11.13—11.18 鳩居堂画廊  
新美術新聞 1296  
大辻清司フォトアーカイブ 写真家と同時代芸術の軌跡 1940—1980  
5.14—6.23 武蔵野美術大学美術館  
大友克洋 GENGA 展 4.9—5.30  
アーツ千代田3331  
朝日 4.11 岩本哲生  
毎日夕刊 5.7 内藤麻里子  
読売 4.24 佐藤憲一  
大伴昌司の大図解展 奇っ怪紳士! 怪獣博士! 7.6—9.30 弥生美術館  
朝日夕刊 8.25 増田愛子  
大成哲個展 Tets×Glass 3.17—4.10 Bギャラリー  
新美術新聞 1276  
大西博回顧展—幻景— 3.20—4.8  
東京芸術大学大学美術館陳列館  
芸術新潮 749  
齋藤久子×大場吉美 ふたりの造形  
6.13—6.24 金沢21世紀美術館  
美術の窓 345 編集部  
モジもじ文字[大原次郎] 7.28—9.9 武蔵野市立吉祥寺美術館  
大樋年雄「対話の個展」 4.11—4.17  
高島屋(日本橋)  
新美術新聞 1277  
Summer Show[大船真言] 8.30—10.3 ギャラリー小柳  
水墨画\* 284  
大巻伸嗣 存在の証明 4.8—10.8  
彫刻の森美術館  
朝日夕刊 7.4 伊東絵美  
朝日夕刊 8.15 西岡一正  
東京夕刊 9.21 児島やよい

毎日夕刊 7.31 岸桂子  
読売 9.13 井上晋治  
大宮エリー 思いを伝えるということ展 2.3—2.27 パルコミュージアム(パルコ(札幌)、フォイルギャラリー、せんだいメディアテーク)  
産経 2.8 黒澤綾子  
大森愛展 画廊からの発言 新世代への視点2012 7.23—8.4 ギャラリー川船  
ギャラリー\* 327  
大森暁生個展—torso— 11.20—11.29 画廊  
ギャラリー\* 331  
大森啓絵画展 積木の情景 8.8—8.14 大和(富山)  
新美術新聞 1287  
大森健司陶展—draw an arc— 3.3—3.18 ギャラリー芽楽  
陶説 710 井上隆生  
大森良三・京展 6.12—6.17 川村記念美術館ギャラリー  
新美術新聞 1282  
大藪雅孝—気韻生動—画業50周年 5.23—5.28 山陽百貨店(天満屋(広島)、香川県立ミュージアム、軽井沢ニューアートミュージアム、大丸(博多))  
大和田主税展 10.29—11.3 文藝春秋画廊  
新美術新聞 1294  
岡信孝の世界 9.12—12.11 成川美術館  
新美術新聞 1295  
岡靖知個展 9.28—10.6 飯田美術ギャラリー\* 329  
小笠原森展—陶 時の堆積— 6.8—7.2 LIXIL ガレリアセラミカ  
新美術新聞 1282  
岡田三郎助—まぼろしの名画“裸婦”—特別公開 7.13—9.2 佐賀県立美術館  
読売 8.23  
岡田修二展 10.15—10.27 ギャラリー—東京ユマニテ  
読売夕刊 10.22  
岡田忠明 ONOKORO 6.1—6.9  
ぎやらりいサムホーム

新美術新聞 1281  
岡田宏昭喜寿記念展 11.30—12.5  
エル・おおさか  
新美術新聞 1297  
岡田又三郎素描展 6.4—6.9 カフェバー&アーツスペースリバース  
新美術新聞 1281  
岡田美佳刺繍画展 愛しき風景—心♡に春を— 4.3—4.16 伊東屋銀座本店ギャラリー  
新美術新聞 1276  
岡田裕子「No Dress Code」 7.11—8.11 ミヅマアートギャラリー  
毎日夕刊 7.24 岸桂子  
岡野元勝絵画展「八幡野港の朝」 伊豆高原アートフェスティバル20周年記念 5.1—5.30 城ヶ崎文化資料館(伊豆高原おもしろ博物館)  
朝日夕刊 5.16 大西若人  
岡本敦生×平戸貢児 vol.2 10.20—11.18 メタル・アート・ミュージアム光の谷  
ギャラリー\* 332 三田晴夫  
switch —岡本光市 遊びのデザイン— 4.27—6.3 ポーラミュージアム アネックス  
産経 5.31  
岡本太郎 迷宮を行く 4.28—7.8  
川崎市岡本太郎美術館  
新美術新聞 1283  
記憶の島 岡本太郎と宮本常一が撮った日本 7.21—10.8 川崎市岡本太郎美術館  
朝日夕刊 9.5 西岡一正  
日経 8.1 宝玉正彦  
岡本真枝展 8.20—8.25 画廊宮坂  
新美術新聞 1288  
小川芋銭展—震災後の眼で、いま— 3.17—5.20 茨城県近代美術館  
新美術新聞 1274 今瀬佐和  
水墨画\* 276  
水墨画\* 278  
朝日夕刊 3.28 西岡一正  
東京夕刊 3.3 三沢典丈  
日経 3.28 宝玉正彦  
読売夕刊 4.2 高野清見  
小川待子展—一月の向こう側— 10.10—10.29 高島屋(日本橋)



陶説 718 花里麻理  
 小川洋子個展 9.20—9.26 ギャラ  
 リー絵夢  
 ギャラリー\* 329  
 新美術新聞 1291  
 荻太郎展 6.10—8.5 蕪崎大村美  
 術館  
 新美術新聞 1283  
 ケン・オキイシ(Goodbye to) 2.  
 18—3.31 Take Ninagawa  
 美術手帖 966 熊倉晴子  
 小木曾誠展—巡— 3.28—4.11 日  
 動画廊(福岡日動画廊)  
 新美術新聞 1276  
 沖津信也油絵展 油絵で描く「奥の  
 細道」 6.25—6.30 文藝春秋画  
 廊  
 新美術新聞 1282  
 奥田元宋と戦後の日展日本画 奥田  
 元宋生誕100年記念 4.7—5.13  
 奥田元宋・小由女美術館  
 新美術新聞 1277  
 高山辰雄・奥田元宋 文展から日展  
 へ 12.1—1.27 山種美術館  
 日経 11.18  
 日経夕刊 12.6  
 奥田小由女展 風のうつしみ 4.21  
 —6.17 北九州市立小倉城庭園  
 ギャラリー\* 325  
 新美術新聞 1278  
 奥田良悦展—蟻の世態— 6.11—  
 6.16 ギャラリー惣  
 新美術新聞 1282  
 奥谷博展—日本— HINOMOTO II  
 4.4—4.10 高島屋(日本橋)(高島  
 屋(京都、横浜、名古屋、大阪))  
 新美術新聞 1276 大谷省吾  
 美術の窓 343 武田厚  
 奥村徹展 12.4—12.9 ギャラリー  
 彩  
 新美術新聞 1298  
 奥村美佳展 4.24—6.24 スペース  
 ・ニオ  
 新美術新聞 1281  
 奥村美佳展 10.22—11.2 ギャラ  
 リー和田  
 美術の窓 350  
 人間国宝 奥山峰石 新収蔵品展～  
 日本が誇る匠の技～ 9.8—10.20

北区飛鳥山博物館  
 産経 10.12  
 奥山幸子個展 9.10—9.15 光画廊  
 新美術新聞 1290  
 小栗寿賀子 かぜのなか 7.7—  
 7.15 スペース大原  
 陶説 714 井上隆生  
 尾崎愛明展 豊饒の海または津波  
 9.18—9.30 GALLERY KINGYO  
 新美術新聞 1291  
 尾崎慎石彫展 7.12—7.18 丸栄  
 新美術新聞 1285  
 尾崎嶺展～忘れえぬ風景～神下雄吉  
 展 7.5—7.14 東邦アート  
 新美術新聞 1284  
 小澤清人個展 9.1—9.30 カフェ  
 ギャラリーあつぷるはうす  
 新美術新聞 1288  
 小沢剛 あなたが誰かを好きなよう  
 に、誰もが誰かを好き 7.14—  
 8.15 豊田市美術館(福島県立美  
 術館)  
 小沢真弓油絵展 11.15—11.21 東  
 急(渋谷)  
 新美術新聞 1296  
 押江千衣子[みづえ]展 9.16—10.  
 21 美濃加茂市民ミュージアム  
 REAR 29 奥村一郎  
 織田廣喜追悼展 9.15—12.23 東  
 京アートミュージアム  
 ギャラリー\* 329  
 画廊選抜展 越智波留香 畔 2.20  
 —2.25 MUSÉE F  
 水墨画\* 278  
 ジャン＝ミシェル オトニエル：マ  
 イ ウェイ 1.7—3.11 原美術  
 館  
 産経 2.12 黒沢綾子  
 読売 2.2 井上晋治  
 乙丸哲延水彩画展 フランス、イタ  
 リアを中心に 7.2—7.8 ギャラ  
 リー喜久田  
 新美術新聞 1284  
 小野耕石展 9.18—9.29 養清堂画  
 廊  
 新美術新聞 1291  
 小野佐世男—モガ・オン・パレード  
 10.20—1.14 川崎市岡本太郎美  
 術館

芸術新潮 756  
 新美術新聞 1298  
 朝日夕刊 11.28 西岡一正  
 毎日夕刊 10.25 内藤麻里子  
 小野月世 水彩展 9.7—9.17 ギ  
 ャラリー一枚の繪  
 新美術新聞 1289  
 夭折の画家小野元衛 1919—1947  
 9.22—12.24 神奈川県立近代美  
 術館(鎌倉)  
 芸術新潮 756  
 読売 11.8 高野清美  
 オノサト・トシノブ 生誕100年  
 10.5—12.16 大川美術館  
 新美術新聞 1297  
 折笠勝之油絵展 11.7—11.13 小  
 田急(新宿)  
 新美術新聞 1295  
 心のふるさと 折本美禰子絵画展  
 27回 10.11—10.17 京王百貨  
 店(聖蹟桜ヶ丘)  
 新美術新聞 1293

## (カ)

ミリアム・カーン 私のユダヤ人、  
 原子爆弾、そしてさまざまな作品  
 3.24—5.12 ワコウ・ワークス・  
 オブ・アート  
 美術手帖 969 片岡真実  
 垣内カツアキ 海と山展 3.20—  
 7.8 伊那アルプス美術館  
 新美術新聞 1278  
 角谷英明 作陶展 8.1—8.7 高島  
 屋(名古屋)  
 陶説 715 井上隆生  
 隠崎隆一展 Una Mistura 5.12—  
 5.26 中長小西  
 芸術新潮 751  
 陶説 712 唐澤昌宏  
 掛井五郎 鞍掛純一の空間 4.7—  
 4.22 プラザ・ギャラリー  
 新美術新聞 1277  
 笠井誠一展 5.30—6.5 三越(日本  
 橋)(三越(高松、札幌、大阪、福  
 岡))  
 新美術新聞 1280 小川潔  
 笠井誠一展 開館40周年記念 10.6  
 —11.4 網走市立美術館  
 美術の窓 350 小道谷朝生

- 風間サチコ 没落 THIRD FIRE  
12.8—1.19 無人島プロダクション  
芸術新潮 758
- 柏健展 11.11—11.25 ギャラリー  
ユニコン  
新美術新聞 1295
- 〈私〉の解体へ：柏原えつとむの場合  
7.7—9.30 国立国際美術館  
新美術新聞 1292 光田ゆり  
美術手帖 974 坂上しのぶ
- kaz Exhibition 3.2—3.13 もみの  
木画廊  
ギャラリー\* 324 小金沢智
- イサム片岡展 5.1—5.6 ギャラリー  
一遊(赤羽)  
新美術新聞 1279
- 愛情展[香月泰男] 7.14—11.26  
香月泰男美術館  
ギャラリー\* 328
- 北斎 ホノルル美術館所蔵 葛飾北  
斎生誕250周年記念 2.1—3.25  
京都文化博物館(いわき市立美術  
館)  
美術屋・百兵衛 20
- 北斎 ホノルル美術館所蔵 葛飾北  
斎生誕250周年記念 4.14—6.17  
三井記念美術館(いわき市立美術  
館)  
産経 4.13  
産経 4.15  
産経 5.3 渋沢和彦
- 北斎—風景・美人・奇想— 10.30  
—12.9 大阪市立美術館
- 白土の焼結へ—勝野眞言の世界—  
11.7—11.18 六本木画廊  
新美術新聞 1296
- カト哲二「むきだし」 6.25—6.30  
銀座井上画廊  
美術の窓 346 編集部
- 加藤久仁生展 2.10—3.25 八王子  
市夢美術館(伊丹市立美術館、長  
島美術館、十和田市現代美術館)  
朝日夕刊 2.22 塩見圭  
産経 2.29 堀晃和
- 加藤久仁生展 4.21—6.3 刈谷市  
美術館(伊丹市立美術館、長島美  
術館、十和田市現代美術館)  
REAR 28 越後谷卓司
- 加藤巧 4 days 11.30—12.3 gal-  
lery feel art 0  
陶説 719 井上隆生
- 磁器の表現—青・赤・白— 加藤委  
山田晶 和田的 9.1—9.10  
和光ホール  
陶説 715 唐澤昌宏
- 加藤唐三郎 作陶展 1.2—1.9 丸  
栄(名古屋)  
陶説 708 井上隆生
- 加藤広貴個展—月のはこ— 5.31—  
6.6 ギャラリー—絵夢  
ギャラリー\* 326  
新美術新聞 1280
- 加藤邦元 日本画展 6.25—7.8  
ギャラリー—八重洲・東京  
新美術新聞 1283
- 加藤正嘉展 10.13—11.11 なうふ  
現代  
REAR 29 可児光生
- 加藤光代個展 7.10—7.15 清月堂  
画廊  
新美術新聞 1285
- 加藤力之輔展 11.13—11.25 印象  
社ギャラリー  
新美術新聞 1296
- 金井訓志展 5.13—5.27 ギャラリ  
ーユニコン  
新美術新聞 1279
- 金井訓志展 10.6—10.27 ギャラ  
リー椿  
新美術新聞 1293
- 金井和歌子 6.9—6.14 ギャラリ  
ー島田 deux  
陶説 713 小吹隆文
- 悠久の宙 金森良泰展 2.1—2.7  
高島屋(日本橋)
- 金森良泰の世界—大和望郷— 8.9  
—9.25 奈良県立万葉文化館  
新美術新聞 1287 南城守
- 日本の印象派 金山平三 移りゆく  
時間の中で描く日本の風景 4.7  
—5.20 兵庫県立美術館(ひろし  
ま美術館)  
読売 4.19 木村未来
- 鷗亭の眼・鷗亭のこころ 書と陶と  
画と—響き合う美の世界—[金子  
鷗亭] 4.7—5.24 北海道立函館  
美術館
- 兼子真—「テレポート—Teleport—」  
9.10—9.15 画廊宮坂  
ギャラリー\* 329
- 備前 金重晃介展 4.4—4.10 松  
坂屋(名古屋)  
陶説 711 井上隆生
- 金重有邦 生まれくるもの 1.21—  
3.31 菊池寛実記念智美術館  
陶説 711 外館和子  
目の眼 426  
毎日夕刊 3.12 岸桂子
- 1本で複数の木/Protean wood[狩  
野哲郎] 4.7—5.12 YUKA  
TSURUNO GALLERY  
ファウンテン 3 宮津大輔
- 加納光於展 8.27—12.14 Fuji  
Xerox Art Space
- 狩野裕子展 4.5—4.10 紀伊國屋  
画廊  
新美術新聞 1276
- 収蔵品展 清方と舞台[鎌木清方]  
2.7—4.15 鎌木清方記念美術館  
朝日夕刊 3.21 杉森美絵
- 上村松園と鎌木清方 7.21—9.2  
平塚市美術館  
水墨画\* 280
- 鎌田克慈展 乾漆 5.23—5.31 サ  
ボア・ヴィーブル  
芸術新潮 751
- shiseido art egg vol.6[鎌田友介]  
2.3—2.26 資生堂ギャラリー  
毎日夕刊 1.17 岸桂子
- 上條陽子展…2012試行 9.20—9.  
29 ぎゃらりいサムホール(深川  
市アートホール東洲館、網走市立  
美術館)  
新美術新聞 1291
- 亀井幸一 陶芸展 5.30—6.5 松  
坂屋(名古屋)  
陶説 713 井上隆生
- 亀井洋一郎—Gent-Addition— 5.7  
—5.19 SILVER SHELL  
陶説 712 花里麻理
- 亀山知英展 4.2—4.7 養清堂画廊  
新美術新聞 1277
- 加守田章二展「灰釉作品」 5.19—  
5.24 銀座黒田陶苑  
陶説 714 花里麻理
- 加守田章二展「遠野作品」 6.23—

7.5 銀座黒田陶苑  
陶説 714 花里麻理

萱原里紗写真展「Appearance」 11.3—12.1 SATOSHI KOYAMA GALLERY  
産経 11.7

苅谷昌江「野蛮な宴」 4.21—5.26 GALLERY TERRA TOKYO  
新美術新聞 1282 光田ゆり

川合玉堂と東京画壇の画家たち 5.26—7.16 野間記念館  
水墨画\* 278

Rinko Kawauchi 川内倫子 照度  
あめつち 影を見る 5.12—7.16 東京都写真美術館  
芸術新潮 751 鈴木理策  
朝日夕刊 6.6 大西若人  
産経 7.5  
東京夕刊 5.25 児島やよい  
日経 6.14 平野啓一郎  
毎日夕刊 5.22 手塚さや香  
読売 6.14 前田恭二

川上澄生と棟方志功 日本版ルソーとゴッホの対決 10.6—1.14 川上澄生美術館

川口軌外の歩み 生誕120年記念 11.10—1.14 和歌山県立近代美術館

河口龍夫 光あれ! 3.11後の世界から 4.3—4.22 いわき市立美術館  
新美術新聞 1277  
朝日夕刊 4.11

河口利衣展 6.4—6.10 ギャラリーURANO  
版画芸術 156

川崎鈴彦展—月日は旅・沖縄から松島へ— 9.12—9.18 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、京都、名古屋))  
新美術新聞 1290 川口直宜

川崎鈴彦 平成のおくのほそ道 11.3—12.16 市川市東山魁夷記念館  
新美術新聞 1296

川崎普照 彫刻展—ブロンズと木彫— 3.21—3.27 三越(日本橋)  
新美術新聞 1275

川島清 路傍ノート3 11.5—12.

1 ギャラリー東京ユマニテ

河嶋淳司展 5.22—5.28 そごう(横浜)  
新美術新聞 1280

川島眞佐展 12.13—12.19 上尾市民ホール  
新美術新聞 1299

川瀬忍展 しろ糸 11.22—12.1 中長小西  
芸術新潮 755  
陶説 719 唐澤昌宏

川瀬表完(漆)・堀尾泰彦(陶)二人展 10.10—10.16 高島屋(日本橋)

川瀬磨士日本画展 12.5—12.11 三越(日本橋)(三越(名古屋))  
新美術新聞 1298

河鍋曉斎 生誕180年記念 權舟三郎コレクション 3.31—4.20 古美術 長野

川畑絵個展 Un Profil 9.24—10.4 十一月画廊  
新美術新聞 1291

川端健太郎 陶 11.24—12.2 楽空間祇をん小西  
陶説 719 梅田稔

龍子の歩んだ四国遍路[川端龍子] 2.4—3.4 大田区立龍子記念館  
朝日 2.19 斉藤勝寿

川淵直樹陶展 8.15—8.21 高島屋(京都)  
陶説 715 梅田稔

川邊りえこ KOTOTAMA 7.13—8.4 MEGUMI OGITA GALLERY  
芸術新潮 753  
水墨画\* 284

川俣正 Expand BankART 11.9—1.14 BankART Studio NYK  
芸術新潮 757  
美術手帖 979 福住康  
朝日夕刊 12.26 大西若人  
東京夕刊 12.28 中村英樹  
毎日夕刊 12.5 三田晴夫

川村清雄 維新の洋画家 10.8—12.2 江戸東京博物館(静岡県立美術館)  
ギャラリー\* 330  
新美術新聞 1293 落合則子  
朝日夕刊 10.31 大西若人  
産経 10.5

日経 10.24 窪田直子  
読売夕刊 10.22 落合則子  
読売夕刊 11.6

もうひとつの川村清雄展—加島虎吉と青木藤作・二つのコレクション— 10.20—12.16 目黒区美術館  
ギャラリー\* 330  
芸術新潮 757  
朝日夕刊 10.31 大西若人  
日経 10.24 窪田直子

川村麻純展 Mirror Portraits 8.1—8.10 LIXIL ギャラリー2  
ギャラリー\* 329 小金沢智

神戸文子展 2.28—3.6 上野の森美術館

神戸峰男彫刻展—パリ:ユネスコ展 帰朝報告展— 11.20—1.20 加藤栄三・東一記念美術館  
新美術新聞 1297

## (キ)

岸宏士展—パリの詩 6.21—6.29 京王プラザホテルロビーギャラリー  
新美術新聞 1283

それぞれのリアリズム[木田詩子] 6.29—9.2 アートギャラリー呼友館  
新美術新聞 1283

木田安彦 祈りの道 6.28—10.9 池田20世紀美術館  
新美術新聞 1285

田中一光と木田安彦 9.21—11.18 木田安彦美術館  
版画芸術 157

北井一夫 いつか見た風景 11.24—1.27 東京都写真美術館  
朝日夕刊 12.19 西岡一正

北川民次展 4.11—4.20 さいとう画廊  
ギャラリー\* 324

北川鉄人個展 4.11—4.18 富山県民会館美術館  
新美術新聞 1277

北口夢石と陶芸教室作品展 8回 11.13—11.18 奈良市音声館  
新美術新聞 1296

北島敬三 ISOLATED PLACES 4.6—5.13 RAT HOLE GALLERY

読売夕刊 5.7 (前)  
**BEAT TAKESHI KITANO 絵描き小僧展**[北野武] 4.13—9.2 東京オペラシティアートギャラリー  
 朝日 5.9 大西若人  
 産経 4.12  
 産経 4.22 堀晃和  
 読売夕刊 5.23 市原尚士  
**人間国宝 北村武資「織」を極める**  
 2.7—4.15 東京国立近代美術館  
 工芸館  
 東京夕刊 3.16 藤田一人  
**北村倫子展** 5.26—5.31 Gallery 風  
 新美術新聞 1280  
**北山善夫「生きること 死ぬることの図」** 3.17—4.15 MEM  
 毎日夕刊 4.3 岸桂子  
**木津文哉展** 7.4—7.10 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1284  
**吉川霊華 近代にうまれた線の探求者** 6.12—7.29 東京国立近代美術館  
 新美術新聞 1283  
 水墨画\* 279 鶴見香織  
 日本美術新聞 5  
 朝日夕刊 7.18 増田愛子  
 日経 6.27 窪田直子  
 毎日夕刊 7.1 岸桂子  
**城戸保 森と畑** 7.10—10.6 See Saw gallery+café  
 美術手帖 973 清水穰  
**鬼頭健吾 carousel** 6.23—8.4 ケンジタキギャラリー(名古屋)  
 美術手帖 973 能勢陽子  
**絵画、それを愛と呼ぶことにしよう vol.6 衣川明子** 10.27—11.24  
 ギャラリーαM  
 芸術新潮 757  
**絹谷香菜子展** 11.5—11.17 靖山画廊  
 新美術新聞 1295  
**絹谷幸二—豊饒なるイメージ—古事記編纂1300年記念特別展**  
 10.20—12.16 奈良県立美術館  
 新美術新聞 1294 南城守  
 美術の窓 350 武田厚  
**Reflection 絹谷幸太彫刻展** 10.17

—10.23 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1293  
**祈りの心 木下晋** 4.21—6.10 平塚市美術館(砺波市美術館、足利市立美術館)  
 新美術新聞 1278 土方明司  
 朝日夕刊 5.16 大西若人  
 東京夕刊 5.18 中村英樹  
 毎日夕刊 5.15 岸桂子  
 読売夕刊 5.28 (井)  
**DUALISM 展[儀保克幸]** 5.30—6.5 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1280  
**金憲鎬 イロノヨウナ カタチノヨウナ** 6.30—7.15 gallery feel art 0  
 陶説 714 井上隆生  
**木村太陽「New Works」** 8.31—9.21 nca—日動コンテンポラリーアート  
 ギャラリー\* 330 三田晴夫  
 朝日夕刊 9.19 大西若人  
**アートアクアリウム展&ナイトアクアリウム 2012—江戸・金魚の涼** ~[木村英智] 8.17—9.24 日本橋三井ホール  
 東京 9.6 井上幸一  
**カジ・ギャスディン展** 9.17—9.26 みゆき画廊  
 ギャラリー\* 329 三田晴夫  
**マンガ@紫雲荘 紫雲荘のマンガ家たちの作品展—トキワ荘から紫雲荘へ—**[桐木憲一] 2.1—2.29 豊島区民センター  
 東京 2.1 柏崎智子  
**リアム・ギリック Agreements, McNamara and Lead Times** 3.9—4.7 TARO NASU  
 美術手帖 966 星野太  
**木脇秀子 夢をもとめて** 10.17—10.23 宮崎山形屋  
 美術の窓 349 高山淳  
**金醒石展** 6.18—6.23 地球堂ギャラリー  
 新美術新聞 1282  
**笑う魚 金城次郎 生誕100年** 1.6—2.29 那覇市立壺屋焼物博物館

## (ク)

石に描かれた鳥たち ジョン・グールドの鳥類図譜 11.5—3.24 玉川大学教育博物館  
**—花のいのち、壺のこころ—九鬼三郎 油彩画展** 4.18—4.24 大丸(心齋橋)  
 新美術新聞 1277  
**草間彌生 永遠の永遠の永遠** 1.7—4.8 国立国際美術館(大分市美術館、高知県立美術館、静岡県立美術館)  
 芸術新潮 748  
 新美術新聞 1271 安来正博  
 美術屋・百兵衛 20  
 朝日夕刊 4.1 建昌哲/森本俊司 聞き手  
 読売 2.16 木村未来  
**草間彌生 永遠の永遠の永遠** 4.14—5.20 埼玉県立近代美術館(大分市美術館、高知県立美術館、静岡県立美術館)  
 朝日夕刊 4.25 大西若人  
 産経 5.2 渋沢和彦  
 毎日夕刊 4.23 岸桂子  
**草間彌生 永遠の永遠の永遠** 7.14—11.4 松本市美術館(大分市美術館、高知県立美術館、静岡県立美術館)  
 新美術新聞 1291 渋田見彰  
**草間彌生 永遠の永遠の永遠** 11.14—12.24 新潟市美術館(大分市美術館、高知県立美術館、静岡県立美術館)  
 朝日夕刊 12.12 建昌哲  
**草間彌生 新作絵画** 10.26—12.7 オオタファインアーツ  
 ギャラリー\* 332 名古屋覚  
**ジョンペッド・クスウィダナント On Asphalt** 11.24—12.23 NANZUKA  
 美術手帖 979 ダリル・ウィー/近藤亮介 訳  
**孤高の文人画家 楠瓊州の世界 生誕二百年記念** 4.16—6.30 敦井美術館  
 水墨画\* 278  
**shi・da[guse ars]** 8.12—8.22

書肆サイコロ  
芸術新潮 754

国吉康雄 アメリカ美術を変えた日  
本人 4.28—7.8 横須賀美術館

久野和洋展 10.17—10.23 高島屋  
(日本橋)(高島屋(名古屋、大阪、  
京都、横浜))  
新美術新聞 1294  
美術の窓 349 武田厚

吉本直子・久保健史・浅田暢夫 現  
代郷土作家展 9.13—10.21 姫  
路市立美術館  
新美術新聞 1289

久保木桂子展 9.4—9.9 印象社ギ  
ャラリー  
水墨画\* 284

An image[窪田美樹] 7.12—7.29  
hgrp GALLERY TOKYO  
芸術新潮 753

熊谷榎個展—スペインの旅から—  
10.5—10.14 熊谷守一美術館  
東京 10.6 柏崎智子

熊谷守一 小さな画面に無限の世界  
1.2—2.12 北九州市立美術館分  
館(瀬戸内市立美術館、伊丹市立  
工芸センター)  
ギャラリー\* 321

スイスの絵本作家 クライドルフの  
世界[エルンスト・クライドルフ]  
6.19—7.29 Bunkamura ザ・ミ  
ュージアム(郡山市立美術館、富  
山県立近代美術館、そごう美術館)  
読売夕刊 6.23

掛井五郎 鞍掛純一の空間 4.7—  
4.22 プラザ・ギャラリー  
新美術新聞 1277

倉田三郎が描いた風景 倉田三郎生  
誕110年記念展 10.30—12.9  
たましん歴史・美術館  
新美術新聞 1296

倉地比沙支個展—NO CONFIDEN-  
CE MAN— 10.5—10.14 万画  
廊  
新美術新聞 1293

操上和美一時のポートレイト ノス  
タルジックな存在になりかけた時  
間。 9.29—12.2 東京都写真美  
術館  
朝日夕刊 11.7 神谷実里

栗林隆 WATER > | < WASSER  
4.21—9.2 十和田市現代美術館  
/中心商店街ほか  
美術手帖 971 工藤健志

栗原一郎展 12.5—12.11 高島屋  
(名古屋)  
新美術新聞 1298

クリムト 黄金の騎士をめぐる物語  
生誕150年[グスタフ・クリムト]  
12.21—2.11 愛知県美術館(長崎  
県立美術館、宇都宮美術館)  
ギャラリー\* 332  
美術屋・百兵衛 24

黒川英夫新作展 5.7—5.12 文藝  
春秋画廊  
新美術新聞 1279

黒木国昭 ガラス作品展 8.1—8.7  
高島屋(日本橋)  
新美術新聞 1287

清水康友企画 星彩展[黒木律子]  
3.29—4.4 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1276

近代日本洋画の巨匠 黒田清輝  
4.14—5.27 富山県立近代美術館

Venanzo Crocetti ヴェナンツォ・  
クロチェッティ 11.3—12.16  
いわき市立美術館(彫刻の森美術  
館)  
新美術新聞 1298

鎌形蕙斎の世界—絵本と版本—  
9.29—10.13 実践女子大学香雪  
記念資料館展示室  
読売 10.4 井上晋治

桑久保徹展 11.28—12.17 8/ART  
GALLERY/Tomio Koyama Gallery  
毎日夕刊 12.5 岸桂子

ひかり・くかん・じっけんしつ  
[クワクポリョウタ] 8.14—9.2  
NTT インターコミュニケーション・セン  
ター  
朝日夕刊 8.29 西岡一正

桑田三舟 躍動する線と空間の美  
9.15—10.28 ふくやま書道美術  
館

桑山忠明 HAYAMA 11.3—1.14  
神奈川県立近代美術館(葉山)  
朝日夕刊 12.5 大西若人

## (ケ)

溪斎英泉 5.29—7.8 千葉市美術  
館  
芸術新潮 752  
新美術新聞 1283

駄美術20年史 現代美術二等兵活  
動20周年記念 12.1—12.22 @  
btf  
朝日夕刊 12.5 大西若人

## (コ)

鯉江良二 天草：白への往還 4.21  
—5.13 ギャラリー器館  
美術手帖 967 清水穰

奇想天外—鉢合わせ—鯉江良二×内  
田鋼一×小田康平 7.9—7.20  
山木美術  
陶説 714 梅田稔

油彩三人展[小池弘恵] 3.6—3.11  
東京銀座画廊美術館  
美術の窓 344 高山淳

小泉癸巳男 昭和震災復興記念 大  
東京百図絵展 信州新町美術館  
30周年記念企画展 3.30—5.27  
信州新町美術館

復興への息吹き 大地の祈り 五十  
嵐二郎・小泉智英 二人展 4.24  
—5.13 須賀川市立博物館  
新美術新聞 1278 増賀睦朗

尾崎嶺展～忘れえぬ風景～神下雄吉  
展 7.5—7.14 東邦アート  
新美術新聞 1284

光嶋裕介ドローイング集出版記念  
「幻想都市風景」 5.12—6.2 森  
岡書店  
芸術新潮 751

陶・神山易久一刻一展 4.4—4.10  
高島屋(京都)  
陶説 713 釣真一

Two Times ふたつの時間 アント  
ニー・ゴームリー彫刻プロジェク  
ト in 葉山 8.18—3.3 神奈川県  
立近代美術館(葉山)  
東京夕刊 9.28 中村英樹  
毎日夕刊 11.14 岸桂子

ジャック・ゴールドスタイン 1.25  
—3.25 RAT HOLE GALLERY  
美術手帖 967 大森俊克

シャガールのタピスリー展 二つの才能が織り成すシンフォニー[イヴェット・コキール=フランス] 12.11—1.27 渋谷区立松涛美術館(福井市美術館、松坂屋美術館) 芸術新潮 758  
朝日夕刊 12.19 中村さやか  
ここから 何処かへ[國府理] 7.28—9.9 京都芸術センター REAR 29 石田大祐  
木暮照子作品展 6.23—7.16 古代蓮会館 新美術新聞 1284  
小坂茂展 11.13—11.18 兜屋画廊 新美術新聞 1297  
小島弘 木彫展 8.27—9.8 ギャラリーせいほう 新美術新聞 1288  
MU[無]—ベドロコスタ&ルイシャフェス 12.7—3.10 原美術館 芸術新潮 758 美術手帖 980 北澤ひろみ  
児玉浩和展 絵の中で暮らすII 10.1—10.6 ギャラリーオカベ 水墨画\* 285  
ゴッホ展 7.29—10.28 ハウステンボス美術館(京都市美術館、宮城県美術館、広島県立美術館) ギャラリー\* 327 新美術新聞 1287 安田恭子 読売 8.23 白石知子  
後藤昭夫回顧展 1960年代を中心として 4.10—5.27 関市立篠田桃紅美術空間 REAR 28 高橋綾子  
後藤純男展 1.2—1.25 そごう美術館 ギャラリー\* 321 新美術新聞 1268 行定俊文  
後藤靖香展「暗号模索」 3.23—4.23 第一生命南ギャラリー 芸術新潮 749 毎日夕刊 4.3 岸桂子 読売夕刊 4.9 (清)  
小灘一紀絵画展 神々の微笑 9.5—9.11 高島屋(大阪)(高島屋(日本橋)、境港市民館) 新美術新聞 1289 美術の窓 348 小灘一紀

絵画、それを愛と呼ぶことにしよう vol.5 小西紀行 9.21—10.20 ギャラリーαM 芸術新潮 755  
ひそやかな眼差し 小林且典 8.28—11.25 静岡市美術館  
清親と安治—光線画の時代[小林清親] 9.8—10.8 山口県立萩美術館・浦上記念館 読売 9.2 白石知子  
小林耕平 あなたの口は掃除機であり、ノズルを手で持つことで並べ替え、電源に接続し、吸い込むことで語る。 11.17—12.15 山本現代 東京夕刊 12.7 古谷利裕  
小林冴子展 今日までの日、今日の灯 9.10—9.22 十一月画廊 新美術新聞 1290  
小林正人 LOVE もっとひどい絵を! 美しい絵 愛を口にする以上 2012, spring 3.17—4.28 SHUGOARTS 美術手帖 969 松井みどり 読売夕刊 4.2 (井)  
ART TODAY2012 弁明の絵画と小林正人 10.6—11.25 セゾン現代美術館  
小林美佐子展—乖離する身体— 7.23—8.4 シロタ画廊 新美術新聞 1286  
小林美佐子展 10.6—10.20 アートギャラリーミュージズ 版画芸術 157  
小林理恵 木版画展「横浜夕景」 11.27—12.5 サブウェイギャラリーM 新美術新聞 1298  
小堀二郎 美の生命の永遠 生誕100年 7.28—8.27 茅野市美術館 ギャラリー\* 327  
駒井哲郎1920—1976 福原コレクション 4.28—7.1 世田谷美術館 新美術新聞 1281 日経 5.23 宝玉正彦  
五味謙二展 3.17—4.1 ギャラリー一敷奇 陶説 711 井上隆生

小村雪岱 大正・昭和のグラフィックデザイン 10.6—11.25 ニューオータニ美術館 日経 11.22  
古茂田守介ふたたび、蘇った絵画 7.14—9.2 目黒区美術館 新美術新聞 1288  
塗師 小森邦衛 7.18—7.24 三越(日本橋) 新美術新聞 1286  
小柳吉次 植物画展—野菜の『目のつけどころ』を描く— 5.21—5.27 ギャラリー佳風 新美術新聞 1280  
小山敬三と高橋節郎 文化勲章受章二人展 7.14—8.26 安曇野高橋節郎記念美術館 新美術新聞 1286 三澤新弥  
小山研一展 3.27—4.4 ギャラリーにしかわ 陶説 711 鈎真一  
小山航平—無花果の花— 6.8—6.30 Gallery Suchi ギャラリー\* 326  
コロ—fromミロへ 開館記念展[カミーユ・コロ] 3.31—4.14 NUKAGA GALLERY  
今和次郎 採集講義 1.14—3.25 パナソニック汐留ミュージアム 朝日夕刊 1.25 日経 1.14 館野真治 読売 2.23 生井英考  
近藤亜樹「食べる地球」 7.7—8.4 SHUGOARTS 美術手帖 974 天野一夫  
近藤佐智子油彩展 6.12—6.15 松本市美術館 新美術新聞 1282  
近藤幸夫 自然への畏敬 7.6—7.14 画廊岳・ギャラリーコロソ 新美術新聞 1284  
今野朋子展 2.4—2.19 ギャラリー一敷奇 陶説 709 井上隆生  
(サ)  
斉藤玄之助展 7.11—7.17 ヒルトピアアートスクエア 新美術新聞 1285

- 齋藤國靖 (仮説)としての絵画  
10.22—11.17 武蔵野美術大学美術館
- 斉藤蕙子 油絵展 12.6—12.12  
東急(渋谷)  
新美術新聞 1298
- 齋藤将作品展～のすたるゆーもあ～  
4.10—4.16 そごう(横浜)  
新美術新聞 1276
- 斉藤真一と瞽女 6.23—9.2 上越市立総合博物館  
新美術新聞 1285
- 斉藤典彦 山水を憶う 7.18—7.30  
高島屋(日本橋)  
水墨画\* 282
- 齋藤久子×大場吉美 ふたりの造形  
6.13—6.24 金沢21世紀美術館  
美術の窓 345 編集部
- 斉藤秀雄個展 5.27—6.2 東京交通会館  
新美術新聞 1280
- 齋藤博之油絵展—静かなる刻—  
5.10—5.19 いつき美術画廊  
ギャラリー\* 325
- 齋藤洋由起 ENERGY ART EXHIBITION —EXPLOSION— 7.16—7.21 画廊るたん  
新美術新聞 1285
- 齋藤光晴—水彩画展 4.10—4.15  
ギャラリー—遊(赤羽)  
新美術新聞 1276
- 齋藤芽生 野火賊、夜光族 11.26—12.22 ギャラリー・アートアンリミテッド  
芸術新潮 758  
朝日夕刊 12.5
- 齋藤義重 1980年代以降を中心に  
9.8—10.21 千葉市美術館
- サイトウ良展 11.19—11.24 ギャラリーGK  
新美術新聞 1296
- 佐伯守美陶芸展 11.21—11.27 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 1297
- 佐伯祐三とパリ ポスターのある街角 4.28—7.16 大阪市立近代美術館(仮称)心齋橋展示室(島根県立美術館、静岡県立美術館、宇都宮美術館、山梨県立美術館)
- 美術屋・百兵衛 21
- 十三世坂高麗左衛門展 襲名記念  
6.20—6.26 高島屋(日本橋)(高島屋(京都、大阪、横浜)、大丸(福岡天神)、一畑百貨店(松江、出雲)、彩陶庵)  
陶説 713 唐澤昌宏
- 酒井重良 表現と素材の位相 4.15—4.19 上野の森美術館  
新美術新聞 1277
- 酒井博司展 10.7—11.18 ギャラリーヴォイス  
陶説 717 井上隆生
- さかいひろみ展 ジョーカーとちいさなともだち 11.7—11.13 ぎやらりい西利  
新美術新聞 1296
- 阪井田武志展 芸術から「私」を新しくするために 10.1—10.30 大黒屋  
ギャラリー\* 330
- 榊莫山展 詩書画が紡ぐ風雅の世界 受贈記念 4.7—5.20 三重県立美術館
- 榊原紫峰とその仲間たち 生誕125年 8.31—11.30 足立美術館  
水墨画\* 282
- 坂口恭平 新政府展 11.17—2.3 ワタリウム美術館  
美術手帖 976 河合純枝
- 油彩三人展[坂口富貴子] 3.6—3.11 東京銀座画廊美術館  
美術の窓 344 高山淳
- 坂田英三 Année Sabbatique 11.3—11.25 L gallery  
REAR 29 中西園子
- 坂西清子の絵画展 5.28—5.30 相模大野ギャラリー  
新美術新聞 1280
- 坂本夏子展 Still Life 10.11—11.10 ケンジタキギャラリー(東京)  
REAR 29 塩津青夏
- さきやあきら展 12.5—12.11 三越(日本橋)  
新美術新聞 1298
- 作間敏宏展 治癒 8.20—9.1 巷房  
読売夕刊 8.27 (井)
- 櫻田久美油絵展 6.27—7.8 さわ
- やかちば県民プラザギャラリー  
新美術新聞 1284
- 佐光亜紀子洋画展—愛と希望の夢—  
10.16—10.21 名古屋電気文化会館  
新美術新聞 1293  
美術の窓 349 小森佳代子
- 笹井青依 Quercus 6.5—8.11 アンダーギャラリー  
ギャラリー\* 326  
ギャラリー\* 327 名古屋覚
- 笹川春艸水墨画展 心のふるさとを描く 6.2—6.10 アートサロン遊心堂  
新美術新聞 1281
- 佐々木経二日本画展 8.15—8.21 阪急(梅田)  
新美術新聞 1288
- 佐々木忍—白磁十二支大名行列—  
3.6—4.2 LIXIL ギャラリー  
芸術新潮 749
- 佐々木忠和洋画展—海・そして遺跡の眩き— 6.1—6.4 加賀市美術館
- 佐々木文代 ドット 4.5—4.19 KOUGEI  
新美術新聞 1281  
陶説 712 外館和子
- 佐々木宗實 4.16—4.21 光画廊  
新美術新聞 1277
- 佐竹龍蔵 GEISAI#16 片桐孝憲章受章 5.24—5.29 Hidari Zingaro  
ギャラリー\* 327 小金沢智
- ジャン・マリー・ザッキ来日展 8.1—8.19 ギャラリー桜の木(軽井沢)  
新美術新聞 1287
- COSMIC TRAVELERS—TOWARD THE UNKNOWN[佐藤充] 1.21—5.6 エスパス ルイ・ヴィトン東京  
美術手帖 965 能勢陽子  
読売夕刊 2.2 (井)
- 佐藤イチダイ talking about. . . 10.6—11.17 アルマスギャラリー  
ギャラリー\* 331 小金沢智
- 佐藤溪 旅立ちのとき 2.3—3.31 湯布院美術館

平成24年美術展覧会(作サ、シ)

美術手帖 966 榎木野衣  
**モノミナヒカル 佐藤慶次郎の振動するオブジェ** 11.1—1.14 多摩美術大学美術館  
 新美術新聞 1297  
**佐藤辰作 外房の風3** 6.19—7.21 城西国際大学水田美術館  
 新美術新聞 1283  
**佐藤善勇個展—ヨーロッパ・小樽風景を中心に—** 10.11—10.16 紀伊國屋画廊  
 新美術新聞 1293  
**佐藤泰生「マルセル」原画展** 3.13—3.26 日動画廊(東京)(日動画廊(名古屋、福岡))  
 美術の窓 342 武田厚  
 毎日夕刊 3.22 桐山正寿  
**佐藤武造展 没後40年** 10.13—11.4 ギャラリー82  
 新美術新聞 1293  
**彫刻家佐藤忠良展「人間」を探求しつづけた表現者の歩み 生誕100年** 11.23—2.24 宮城県美術館(佐川美術館、北海道立旭川美術館)  
 新美術新聞 1298 三上満良  
**「ブラックジャックによろしく」原画展[佐藤秀峰]** 9.20—10.2 pixiv Zingaro  
 東京夕刊 9.26 岩岡千景  
**2012年 佐藤満展** 4.28—5.6 清月堂画廊  
 新美術新聞 1278  
**佐藤洋子展—大気の中で—** 7.4—7.30 日仏会馆エントランスホール  
 新美術新聞 1286  
**佐藤龍生展** 4.6—4.14 ぎやらりい朋  
 新美術新聞 1276  
**佐藤龍人展3回** 5.19—5.26 上野の森美術館  
 新美術新聞 1280  
**佐野未知展** 6.4—6.9 シロタ画廊  
 新美術新聞 1281  
**トマス・サラセーノ クラウド・シティ** 5.26—8.31 メゾンエルメス  
 芸術新潮 752  
 朝日夕刊 8.1 大西若人

読売夕刊 8.13 (清)  
**沢宏毅 湖北の画人 没後30年** 10.18—11.18 長浜城歴史博物館  
**Lineament Hiraki Sawa[さわひらき]** 4.7—6.17 資生堂ギャラリー—  
 芸術新潮 750  
 東京夕刊 4.2 岡部あおみ  
**さわひらき「追伸」** 4.10—5.26 オオタフインアーツ  
 毎日夕刊 5.1 岸桂子  
**さわひらき Whirl** 10.23—11.24 神奈川県民ホールギャラリー  
 新美術新聞 1294  
 読売夕刊 11.19 (清)  
**澤村みちる個展～画業50年の刻～** 8.9—8.14 松坂屋(銀座)  
 新美術新聞 1287  
**三條弘敬と5人の画家たち展** 5.10—5.27 成城さくらさくギャラリー  
 新美術新聞 1279  
**AWAKENING[サミ・サンパッキラ]** 6.9—9.9 エスパス ルイ・ヴィトン東京  
 読売夕刊 8.2 (井)  
**三瓶喜好 油彩展** 5.14—5.20 ギャラリー八重洲・東京  
 新美術新聞 1279  
 (シ)  
**椎名純子 大地の棲家 人はなぜこのように棲むのか** 11.26—12.22 武蔵野美術大学美術館  
**沈崇道個展『毛沢東肖像画』** 9.8—9.29 東京画廊  
 毎日夕刊 9.11 岸桂子  
**塩田千春—存在のあり方** 3.8—4.21 ケンジタキギャラリー(東京)  
 ギャラリー\* 323  
 東京夕刊 3.23 中村英樹  
**塩田千春 私たちの行方** 3.18—7.1 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館  
 ギャラリー\* 323  
 美術手帖 967 岡部あおみ  
 産経 4.2 黒田綾子  
 毎日夕刊 4.26 手塚さや香

**塩出英雄展 生誕100年** 12.21—1.27 岡山県立美術館  
 新美術新聞 1299  
**COSMIC TRAVELERS—TOWARD THE UNKNOWN[塩保朋子]** 1.21—5.6 エスパス ルイ・ヴィトン東京  
 美術手帖 965 能勢陽子  
 読売夕刊 2.2 (井)  
**志賀理江子 螺旋海岸** 11.7—1.14 せんだいメディアテーク  
 ギャラリー\* 334 小金沢智  
 芸術新潮 757  
 朝日夕刊 11.14 西岡一正  
 毎日 12.12 手塚さや香  
**Melancholy[重野克明]** 6.12—6.30 MEGUMI OGITA GALLERY  
 芸術新潮 752  
 水墨画\* 282  
**重松あゆみ作陶展** 8.29—9.11 西武(池袋)  
 陶説 715 外館和子  
**Yoko Shigemori Exhibition [重森陽子]** 2.17—2.26 SHINYA  
 陶説 709 梅田稔  
**紫舟+チームラボ「世界はこんなにもやさしく、うつくしい」** 6.5—6.30 ミヅマアートギャラリー  
 芸術新潮 752  
**設楽知昭 毎日、尻尾を食べていた** 5.12—6.8 STANDING PINE—cube  
 REAR 28 梅津庸一  
**七瀬堂天路—奕々たるその神彩—** 4.7—6.17 相国寺承天閣美術館  
 新美術新聞 1276  
**篠沢潤子展** 10.22—10.28 Oギャラリー—  
 新美術新聞 1294  
**篠田太郎「ホモ・サピエンス・サピエンス」** 10.3—11.2 タカ・イシイギャラリー  
 美術手帖 976 島中実  
**篠山紀信 写真力** 6.30—9.17 熊本市現代美術館(奥田元宋・小由女美術館、高梁市成羽美術館、新潟県万代島美術館、グランフロント大阪、札幌芸術の森、ミュゼふくおかカメラ館、富岡市立美術博



- 物館・福沢一郎記念美術館)  
新美術新聞 1287  
美術手帖 976 榎木野衣  
朝日夕刊 7.18 安斎耕一
- 篠山紀信 写真力** 10.3—12.24  
東京オペラシティアートギャラリー  
(奥田元宋・小由女美術館、高  
梁市成羽美術館、新潟県万代島美  
術館、グランフロント大阪、札幌  
芸術の森、ミュゼふくおかカメラ  
館、富岡市立美術博物館・福沢一  
郎記念美術館)  
朝日 10.12 大西若人  
朝日夕刊 10.17 西岡一正  
日経 12.13 平野啓一郎  
読売 9.25  
読売 10.31 篠山紀信 談
- 柴川敏之展 2000年後の化石絵巻**  
7.2—7.29 秋吉台国際芸術村ガ  
ャラリー  
新美術新聞 1285
- 柴田健治 暗黒** 10.13—11.10 タ  
グチファインアート  
読売夕刊 10.29 (井)
- ZESHIN 柴田是真の漆工・漆絵・  
絵画** 11.1—12.16 根津美術館  
読売 11.29
- 柴田敏雄—WONDERS—** 4.6—4.  
28 YOSHIKI INOUE GALLERY  
ギャラリー\* 324
- 与えられた形象 辰野登恵子／柴田  
敏雄** 8.8—10.22 国立新美術館  
美術手帖 975 光田由里  
朝日夕刊 9.5 大西若人  
産経 8.29  
東京夕刊 10.5 古谷利裕  
日経 8.29 宝玉正彦  
毎日夕刊 9.12 三田晴夫  
読売 9.27 井上晋治
- 柴田昌一版画 ヒロシマ資料より**  
10.15—10.20 ギャラリー志門  
渋谷栄一—陶 モノクローム モノ  
ローグー 9.6—10.4 LIXIL ガ  
ャラリー
- 島崎清海 卒寿記念 リト手彩展**  
2.28—3.4 うらわ美術館  
新美術新聞 1280
- 島田章三と島田鮎子 ふたりで歩ん  
だ50年** 12.4—2.17 メナード  
美術館  
美術の窓 352 武田厚
- 島津豪亮油絵展—スペインの詩情を  
描く** 6.28—7.4 東急(渋谷)  
新美術新聞 1284
- 島野憲二 心の花絵画展** 6.9—  
6.15 江戸屋ギャラリー  
新美術新聞 1282
- ジミー大西作品 挑戦と革新** 9.5  
—9.11 三越(銀座)  
産経 9.6  
読売 9.6
- 清水晃・吉野辰海 漆黒の彼方／犬  
の行方** 2.11—3.25 埼玉県立近  
代美術館  
新美術新聞 1272 平野到  
朝日夕刊 3.14 大西若人  
毎日夕刊 3.6 岸桂子  
読売夕刊 2.27 (井)
- 志水児王 Elements** 3.16—4.28  
MISA SHIN GALLERY  
美術手帖 967 畠中実
- 清水新也油絵展** 5.2—5.8 西武  
(池袋)  
新美術新聞 1279
- 清水操展** 4.25—5.1 高島屋(日本  
橋)(高島屋(岐阜、米子))  
新美術新聞 1279
- 清水由朗—風の道—** 5.23—5.29  
高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、横  
浜、名古屋、京都))  
新美術新聞 1280
- 志村節子** 5.9—5.15 高島屋(日本  
橋)  
新美術新聞 1279
- 150年を遡る幻の古写真「下岡蓮杖  
の世界」** 7.31—9.2 JCI フォ  
トサロン  
朝日 8.19 佐藤善一
- マルセル・ジモン彫刻展** 11.5—  
12.7 武蔵野美術大学図書館
- ベン・シャーン クロスメディア・  
アーティスト—写真、絵画、グラ  
フィック・アート—** 6.3—7.16  
福島県立美術館(神奈川県立近代  
美術館(葉山)、名古屋市美術館、  
岡山県立美術館)  
読売 7.5 高野清見
- ベン・シャーン 線の魔術師**  
11.17—1.14 埼玉県立近代美術  
館  
朝日夕刊 12.5 横田麻生子  
**マルク・シャガール 愛をめぐる追  
想** 7.13—8.26 岡山県立美術館  
(岐阜県美術館)  
**マルク・シャガール展 油彩・版画  
・タピスリー** 9.8—10.14 松坂  
屋(名古屋)  
日経 9.16
- シャガールのタピスリー展 二つの  
才能が織りなすシンフォニー** 12.  
11—1.27 渋谷区立松涛美術館  
(福井市美術館)  
芸術新潮 758  
朝日夕刊 12.19 中村さやか
- MU[無]—ペドロロスタ&ルイシャ  
フェス** 12.7—3.10 原美術館  
芸術新潮 758  
美術手帖 980 北澤ひろみ
- シャルダン—静寂の巨匠—** 9.8—  
1.6 三菱一号館美術館  
新美術新聞 1290  
朝日夕刊 10.1 西岡一正  
日経 9.19 窪田直子
- クワン・シャンチ 作品全集** 2.25  
—3.31 YUKA TSURUNO GAL-  
LERY  
美術手帖 966 ダリル・ウィー  
／BT 訳
- ゲルダ・シュタイナー&ヨルク・レ  
ンツリンガー—力が生まれるとこ  
ろ** 2.11—5.6 水戸芸術館現代  
美術ギャラリー  
芸術新潮 748  
美術手帖 967 北出智恵子  
朝日夕刊 4.4 大西若人  
東京夕刊 4.2 岡部あおみ  
毎日 3.13 三田晴夫  
読売 4.26 高野清見
- 首藤義明展** 10.8—10.14 神田画  
廊  
新美術新聞 1292
- YASUO JOH[城康夫] あるがまま  
の彼方に** 10.17—10.23 高島屋  
(大阪)(高島屋(岐阜、米子、日本  
橋、京都))  
新美術新聞 1293
- 白井忠俊—千年螺旋—** 1.7—1.28

LIXIL ギャラリー2  
 東京夕刊 1.2 中村英樹  
**番洋・白石眞弓 ふたり展** 3.11—  
 3.19 京王プラザホテルロビーギ  
 ャラリー  
 美術の窓 342 磯部靖  
**白鳥映雪生誕百年展** 9.7—10.21  
 市立小諸高原美術館・白鳥映雪館  
 新美術新聞 1290 星野保彦  
**白藤さえ子 個展** 3.19—3.24 ギ  
 ャラリー銀座アルトン  
 ギャラリー\* 323  
**しりあがり寿★ワールド ゆるとび  
 あ** 6.23—7.8 横浜市民ギャラ  
 リーあざみ野  
 芸術新潮 752  
**寺尾勝広・新木友行・湯元光男 ア  
 トリエインカーブ3人展** 9.14—  
 9.23 東京オペラシティアートギ  
 ャラリー  
 芸術新潮 755  
 朝日夕刊 9.19 大西若人  
 東京夕刊 9.12 (森)  
**新宮さやか展** 8.11—8.26 ギャラ  
 リー器館  
 陶説 715 小吹隆文  
**日本再興[信香]** 11.7—11.11 三  
 重県立美術館県民ギャラリー  
 新美術新聞 1295  
**新宅光男 喜寿記念 新作油彩・水  
 彩個展** 9.5—9.11 大丸(下関)  
 新美術新聞 1289  
**Beautiful Life 新藤杏子個展** 5.19  
 —6.9 YUKI-SIS  
 ギャラリー\* 325  
**神農蔵展—膨胎** 10.17—10.23 高  
 島屋(名古屋) (高島屋(京都))  
 陶説 718 井上隆生

(ス)

**ス・ドホ in between** 8.4—10.21  
 広島市現代美術館  
 美術屋・百兵衛 22  
 読売 10.4 高野清見  
**DO HO SUH PERFECT HOME[ス  
 ・ドホ]** 11.23—3.17 金沢21世  
 紀美術館  
 芸術新潮 759  
 読売 10.4 高野清見

**菅木志雄 新作** 12.1—1.30 大黒  
 屋  
 ギャラリー\* 332  
**菅原洸人 小品展** 3.27—4.1 ギ  
 ャラリーダイヤモンド  
 新美術新聞 1276  
**菅原さちよ展 時の岸边** 10.10—  
 10.16 高島屋(日本橋)  
 水墨画\* 286  
**菅原二郎展** 4.28—6.10 現代彫刻  
 美術館  
 新美術新聞 1281  
**杉浦大和展 画廊からの発言 新世  
 代への視点2012** 7.17—8.4 な  
 びす画廊  
 東京夕刊 7.13 古谷利裕  
 読売夕刊 7.3 (井)  
**杉江淳平と回顧展 常滑陶芸作家協  
 会作品展** 4.3—5.6 とこなめ陶  
 の森資料館  
 陶説 712 井上隆生  
**中日祝祭文化の風情 傅益瑤・杉谷  
 隆志・仲裕行** 10.22—11.9 東  
 京中国文化センター  
 水墨画\* 285  
**杉戸洋 the orange tree** 4.21—6.9  
 ケンジタキギャラリー(名古屋)  
 REAR 28 千葉真智子  
**杉本貞光陶展 喜寿記念** 6.27—  
 7.3 高島屋(日本橋)  
**杉本博司 ハダカから被服へ** 3.31  
 —7.1 原美術館  
 AXIS 158 暮沢剛巳  
 ギャラリー\* 325 名古屋覚  
 新美術新聞 1279  
 朝日夕刊 5.9 大西若人  
 東京夕刊 4.6 児島やよい  
 毎日夕刊 4.11 三田晴夫  
 読売夕刊 5.9 高橋直彦  
**ヘンリー杉本とその時代** 10.20—  
 11.25 和歌山市立博物館  
**杉山吉伸作品展** 11.14—11.20 三  
 越(日本橋)  
 新美術新聞 1296  
 美術の窓 350 高山淳  
**色彩の詩人 マークエステル絵画展  
 —古事記1300年記念—[マークエ  
 ステル・スキャルシャフィキ]**  
 6.20—6.26 大丸(東京)

新美術新聞 1283  
**鈴木淳夫展** 1.23—2.11 ウエスト  
 ベスギャラリーコヅカ  
 ギャラリー\* 321  
**鈴木淳夫展** 7.20—8.2 Marie Gal-  
 lery  
 ギャラリー\* 321  
**鈴木淳 なにもない、ということも  
 ない 21世紀の作家—福岡10回**  
 1.5—3.25 福岡市美術館  
 美術手帖 964 西谷郁  
**鈴木公人日本画展** 9.18—9.23 ギ  
 ャラリー82  
 新美術新聞 1290  
**ゲンバツイラナイ[スズキコージ]**  
 9.22—10.21 汐花  
 東京 9.29 竹上順子  
**鈴木五郎展 五利部** 10.27—11.17  
 ギャラリー顕美子  
 陶説 718 井上隆生  
**鈴木竹柏展—気・韻—** 2.29—3.6  
 高島屋(横浜)(高島屋(日本橋、大  
 阪、京都、名古屋))  
 新美術新聞 1272 大矢頼音  
 美術の窓 342 一井健二  
**鈴木千寿展：組香絵の世界** 11.1—  
 11.8 銀座洋協ホール  
 芸術新潮 755  
**鈴木カ イタリアの詩** 10.11—1.8  
 池田20世紀美術館  
 新美術新聞 1298  
 美術の窓 349 高山淳  
 美術の窓 353 高山淳  
**鈴木徹 作陶展** 5.9—5.19 松坂  
 屋(名古屋)  
 陶説 713 井上隆生  
**鈴木武右衛門** 11.5—11.17 ギャ  
 ラリーせいほう  
 美術の窓 350 高山淳  
**鈴木缶羊墨画展** 9.25—9.30 鳩居  
 堂画廊  
 新美術新聞 1291  
**鈴木康広 本 の 消息** 5.11—7.1  
 NADiff a/p/a/r/t  
 読売夕刊 6.25 (井)  
**鈴木由衣 ゴーザ壺** 10.6—10.27  
 STANDING PINE  
 REAR 29 秋庭史典  
**須田貴世子** 10.20—11.3 Gallery

SU  
芸術新潮 756

須田国太郎展—光と影の生命[いのち]—没後50年に顧みる 4.7—5.27 神奈川県立近代美術館(葉山)(石川県立美術館、鳥取県立博物館、島根県立美術館)  
朝日夕刊 5.16

須田国太郎展—光と影の生命[いのち]—没後50年に顧みる 7.21—8.26 茨城県近代美術館(石川県立美術館、鳥取県立博物館、島根県立美術館)  
新美術新聞 1287

須田国太郎展—光と影の生命[いのち]—没後50年に顧みる 12.1—2.3 京都市美術館(石川県立美術館、鳥取県立博物館、島根県立美術館)  
日経 12.16

須田国太郎—珠玉の上原コレクション—生誕120年記念 12.5—3.13 上原近代美術館  
ギャラリー\* 333

須田悦弘展 10.30—12.16 千葉市美術館  
朝日夕刊 11.14 西岡一正  
東京夕刊 11.9 児島やよい  
日経 11.7 窪田直子  
毎日夕刊 11.14 岸桂子  
読売夕刊 12.3 (清)

スタジオ・アッソーロ展—KATA-RIBE— 9.22—11.4 川崎市市民ミュージアム  
朝日夕刊 10.17 大西若人  
読売 10.11 井上晋治

スタジオ・ムンバイ展 PRAXIS 7.22—9.22 TOTO ギャラリー・間  
朝日夕刊 9.12 大西若人

須藤圭太「ようこそ、注文の多い食器店へ」 10.2—10.7 Antenna Media  
陶説 717 小吹隆文

須藤美保展 11.28—12.4 ヒルトピアアートスクエア  
新美術新聞 1297

角護・遙かなる宇宙 11.23—12.2 川端画廊

美術の窓 351 編集部

澄川喜一彫刻展 東京スカイツリー×そりのあるかたち 4.26—5.7 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、名古屋))  
美術の窓 344 武田厚  
朝日 4.27 黒川和久  
毎日夕刊 5.2 岸桂子  
読売 5.1

澄川喜一展—マスクからそりのあるかたちへ— 6.15—7.5 山口県立美術館  
新美術新聞 1282

澄川喜一彫刻展 そりのあるかたち 10.6—12.24 島根県立石見美術館(あさご芸術の森美術館)  
美術の窓 350 椋木賢治

W. ユージン・スミス作品展 ヒューマンイズムに生きた写真家 3.1—5.31 FUJIFILM SQUARE 写真歴史博物館  
新美術新聞 1276

陶山俊一 木版画展 5.17—5.22 ギャラリータマミジウム  
新美術新聞 1279

shiseido art egg vol.6[three] 1.6—1.29 資生堂ギャラリー  
毎日夕刊 1.17 岸桂子

three is magic number 5 2.14—3.10 MEGUMI OGITA GALLERY  
芸術新潮 748

美術手帖 965 島貫泰介

## (セ)

清宮質文 Seimiya Naobumi 哀しみのむこうに 9.9—10.28 小さな夢美術館  
新美術新聞 1289

Aloha Amigo! フェデリコ・エロ×関口和之 5.3—3.17 金沢21世紀美術館

関口正浩 project N 49 4.13—9.2 東京オペラシティアートギャラリー  
毎日夕刊 7.17 岸桂子

ニヨロの森 関野宏子の世界 7.14—9.23 横須賀美術館

セザンヌ パリとプロヴァンス[ポール・セザンヌ] 3.28—6.11

国立新美術館  
東京夕刊 4.13 古谷利裕  
日経 1.22  
日経 2.19  
日経 4.15  
日経 4.26 富田律之  
日経夕刊 3.1

瀬下妙子個展 10.28—11.3 ギャラリーームサシ  
新美術新聞 1294

解剖と変容 アール・ブリュットの極北へ チェコの鬼オルボシュ・プルニーとアンナ・ゼマーンコヴァー 2.4—3.25 兵庫県立美術館(広島市現代美術館)  
ギャラリー\* 322  
芸術新潮 748

宗廣コレクション 芹沢銈介展 手仕事を受でる ある染織家の渾身の蒐集 2.11—3.25 岡崎市美術博物館  
ギャラリー\* 322

芹沢銈介 宗廣コレクション 4.7—6.3 京都文化博物館  
新美術新聞 1280

千正博一展 4.3—4.13 GINZA ギャラリー・アーチストスペース  
ギャラリー\* 326 ワシオ・トシヒコ  
新美術新聞 1276

(ソ)

曾令富父娘三人画展[曾勤/曾黎] 12.4—12.9 鳩居堂画廊  
新美術新聞 1298

副島孝治展 11.17—1.14 東御市梅野記念絵画館  
新美術新聞 1297

未だ明ケズ夢ニ泛ブ[園家誠二] 6.21—7.4 アートギャラリー 閑々居  
芸術新潮 752

(タ)

大雲道人展 画業50周年記念 9.15—10.1 バレア若狭ギャラリー  
新美術新聞 1290

醍醐イサム個展 2.24—2.29 ギャラリーれがろ

- 水墨画\* 277  
**醍醐イサム個展 流空流光** 12.10—12.22 K's Gallery  
 新美術新聞 1299  
**大楽華雪の世界 書業60年** 11.3—11.11 東京セントラル美術館  
 毎日 11.3 桐山正寿  
 毎日夕刊 11.8 桐山正寿  
**多賀新 線描の魔術師** 11.3—12.16 市川市芳澤ガーデンギャラリー  
 新美術新聞 1296  
 版画芸術 158  
**高井史子展 画廊からの発言 新世代への視線2012** 7.24—8.5 gallery 21 yo-j  
 読売夕刊 7.3 (井)  
**高笠幹個展7回** 4.19—5.1 たましんギャラリー  
 新美術新聞 1277  
**卒寿記念 なつかしい日々情景 高木栄子 紙わらべ展** 8.22—9.3 松屋(銀座)(大丸ミュージアム KYOTO)  
 朝日夕刊 8.21 津村節子  
 東京夕刊 8.29 森村陽子  
**高木久美 トータル・エンクロージャー：徘徊少女と浮遊の園** 2.10—2.26 十和田市現代美術館  
 ギャラリー\* 322  
**COSMIC TRAVELERS—TOWARD THE UNKNOWN[高木正勝]** 1.21—5.6 エスパス ルイ・ヴィトン東京  
 美術手帖 965 能勢陽子  
 読売夕刊 2.2 (井)  
**高北幸矢インスタレーション《落花の夢》** 10.13—12.16 古川美術館分館爲三郎記念館  
 REAR 29 村田真宏  
**高倉観崖展** 1.11—4.15 大分市美術館  
 水墨画\* 276  
**高砂淳二写真展 そら色の夢**  
 11.29—12.14 コニカミノルタプラザ  
 東京 11.25 蒲敏哉  
**高島圭史日本画展～ひかりのいろ～** 11.14—11.20 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1296  
**高島賢治展2** 9.17—9.22 ギャラリーミハラヤ  
 新美術新聞 1290  
**高杉學個展12回** 12.2—12.8 ギャラリー白百合  
 新美術新聞 1298  
**高田啓介 油彩展** 5.12—5.18 上野の森美術館  
 新美術新聞 1279  
 美術の窓 344 小池伊欧里  
**高田保雄展** 4.16—4.21 文藝春秋画廊  
 新美術新聞 1277  
**高田保雄展** 8.22—9.12 永井画廊  
 新美術新聞 1288  
**吉左衛門X 暗闇の音 静寂の光[高谷史郎]** 9.29—4.7 佐川美術館  
 芸術新潮 755  
 美術屋・百兵衛 24  
**鷹野隆大 モノクロ写真** 1.17—2.29 Yumiko Chuba Associates viewing room shinjuku  
 美術手帖 966 清水穰  
**鷹野隆大 写真展「立ち上がれキクオ」** 8.24—9.28 ツァイト・フォト・サロン  
 ギャラリー\* 328  
**高橋恭子個展** 10.22—10.27 光画廊  
 新美術新聞 1294  
**小山敬三と高橋節郎 文化勲章受章二人展** 7.14—8.26 安曇野高橋節郎記念美術館  
 新美術新聞 1286 三澤新弥  
**高橋浩規・日本画展** 12.6—12.12 東武(船橋)  
 新美術新聞 1298  
**高橋宏幸回顧展 with チロヌップの子どもたち** 4.19—4.30 佐藤美術館  
 読売夕刊 4.14  
**高橋由一 近代洋画の開拓者** 4.28—6.24 東京芸術大学大学美術館(京都国立近代美術館、山形美術館)  
 新美術新聞 1279 古田亮  
 朝日夕刊 6.6 大西若人  
 産経 5.2 洪沢和彦  
 日経 5.16 窪田直子  
 毎日夕刊 5.28 岸桂子  
 読売 4.21  
 読売夕刊 5.26 ヨミウリ・ジュニア・プレス取材班  
**高橋由一** 10.27—12.24 栃木県立美術館  
**大正ロマンの画家 高島華宵の世界** 11.24—1.27 高知県立文学館  
 大正イマジユリィ 8 高島澄江  
**落石計画 5期 銅版画試論一つくこと、ゆだねること—[高浜利也]** 8.7—8.11 旧落石無線送信所(現・池田良二スタジオ)  
**高部多恵子 版画 and 陶器展** 11.1—11.7 ギャラリーコンセプト21  
 新美術新聞 1294  
**高見澤文雄 新作展** 12.3—12.22 Hino Gallery  
 ギャラリー\* 333 三田晴夫  
**高嶺格のクールジャパン** 12.22—2.17 水戸芸術館現代美術ギャラリー  
 ギャラリー\* 334 名古屋覚  
 芸術新潮 759  
 美術手帖 980 ダリル・ウィー / 近藤亮介 訳  
**高山辰雄生誕100年記念特別展** 6.2—6.30 角川本社ビル  
 新美術新聞 1281  
 朝日夕刊 6.13 大西若人  
**高山辰雄・奥田元宋 文展から日展へ** 12.1—1.27 山種美術館  
 日経 11.18  
 日経夕刊 12.6  
**高山辰雄展 生誕100年記念** 12.20—2.3 大分市美術館 / 大分県立芸術会館  
 新美術新聞 1299 小杉小二郎  
**高山辰雄 文藝春秋表紙絵 限りなき時の中に** 12.20—2.3 大分県立芸術会館  
**高山登 ねずみとり+地下動物園+** 3.11—1968年から2012年へー  
 10.27—12.22 鎌倉画廊  
 ギャラリー\* 331  
**滝沢具幸一地のうた—** 4.27—6.10 飯田市美術博物館

- 新美術新聞 1281  
**瀧本光國 彫るもの、彫ること** 1.21—2.25 東京画廊BTAP  
 読売夕刊 2.6 (井)  
**田口雅巳カイコテン アノ世とコノ世と湘南と** 1.7—3.4 茅ヶ崎市美術館  
 東京夕刊 1.27 藤田一人  
**武市齊孝 水墨画・墨彩画・日本画展** 4.11—4.22 浦添市美術館  
 新美術新聞 1277  
**竹内公太 公然の秘密** 3.17—4.1 XYZ collective  
 朝日 3.28 大西若人  
**竹内真吾 陶芸展** 8.22—8.28 松坂屋(名古屋)  
 陶説 716 井上隆生  
**横山大観 VS 竹内栖鳳** 3.1—5.31 足立美術館  
 水墨画\* 276  
**竹内栖鳳—京都画壇の画家たち** 9.29—11.25 山種美術館  
 新美術新聞 1295  
 水墨画\* 283  
 日経 9.16  
 日経夕刊 10.4  
 読売 10.11  
**池田龍雄 濱口富治 武内光仁 3人の世界 第13回白木谷国際現代美術館4周年記念特別企画** 5.3—7.24 白木谷国際現代美術館  
 ギャラリー\* 326  
**竹川宣彰 2001—2012** 6.2—7.14 オオタファインアーツ  
 読売夕刊 7.2 (井)  
**武田史子 銅板画展—伝え継ぐ場所—** 11.15—11.30 東京會館ギャラリー  
 ギャラリー\* 331  
**武田美智子絵画展 LIFE・光にむかって** 11.8—11.20 たましんギャラリー  
 新美術新聞 1295  
**武田陽介個展 キャンセル** 9.22—11.4 3331 Gallery  
 美術手帖 975 清水穰  
**竹原祥司展** 4.17—4.27 銀座柳画廊  
 新美術新聞 1277  
**竹久夢二と静岡ゆかりの美術** 1.7—3.25 静岡市美術館  
**竹村健 木版画・刻画展14回** 11.28—12.4 松坂屋(静岡)  
 新美術新聞 1297  
**竹村 Binの世界** 10.3—3.31 ダイヤモンドハヶ岳美術館ソサエティ  
 新美術新聞 1292  
**武本はる根油彩展** 10.31—11.6 松坂屋(静岡)  
 新美術新聞 1294  
**田澤茂油彩展** 10.22—10.28 画廊楽I  
 新美術新聞 1294  
**田嶋悦子個展 Flowers** 3.31—4.21 イムラアートギャラリー京都  
 陶説 711 梅田稔  
**多田さやか 春と修羅** 5.11—5.16 新宿眼科画廊  
 ギャラリー\* 326  
**多田夏雄展** 6.4—6.16 ギャラリー—福山  
 新美術新聞 1282  
**「玉姫写真館」山谷の男の肖像[多田裕美子]** 6.19—7.8 カフェバー鈴楼  
 東京 6.26 榎本哲也  
**館勝生展** 10.12—11.4 Yoshimi Arts  
 ギャラリー\* 330  
**橋京身展—きざし—** 11.13—11.18 銀座幸伸ギャラリー  
 水墨画\* 287  
**アートフェア東京2012 ギャラリーAYA[橋天敬]** 3.30—4.1 東京国際フォーラム  
 芸術新潮 748  
**与えられた形象 辰野登恵子/柴田敏雄** 8.8—10.22 国立新美術館  
 美術手帖 975 光田由里  
 朝日夕刊 9.5 大西若人  
 産経 8.29  
 東京夕刊 10.5 古谷利裕  
 日経 8.29 宝玉正彦  
 毎日夕刊 9.12 三田晴夫  
 読売 9.27 井上晋治  
**墨×墨[田鶴濱洋一郎]** 4.2—4.7 ギャラリー—繪  
 新美術新聞 1276  
 水墨画\* 279  
**建畠大夢 没後70年** 12.4—2.24 和歌山県立近代美術館  
**田名網敬—個展 新作アニメーションとドローイング** 7.7—8.5 NANZUKA  
 読売夕刊 7.23 (井)  
**田中敦子—アート・オブ・コネクティング** 2.4—5.6 東京都現代美術館  
 ギャラリー\* 322  
 新美術新聞 1273  
 美術手帖 966 岡部あおみ  
 産経 4.26  
 東京夕刊 3.2 岡部あおみ  
 日経 2.15 小川敦生  
 読売 2.23 高野清見  
**DNP グラフィックデザイン・アーカイブ収蔵作品展 IV 田中一光ポスター1980—2002 没後10周年記念企画** 1.13—2.25 ギンザ・グラフィック・ギャラリー  
 朝日夕刊 2.1 大西若人  
**田中一光と木田安彦展** 9.19—11.22 木田安彦美術館  
 版画芸術 157  
**田中一光とデザインの前後左右** 9.21—1.20 21\_21 DESIGN SIGHT  
 美術手帖 980 原研哉  
 朝日 10.12 大西若人  
 産経 10.28 黒沢綾子  
**田中一村展 琉球弧で開花した美の世界 本土復帰40周年記念** 3.30—5.6 沖縄県立博物館・美術館  
 新美術新聞 1276  
**田中恭吉展 生誕120年記念** 9.1—10.14 和歌山県立近代美術館  
 大正イマジュリイ 8 井上芳子  
 版画芸術 157  
**田中圭介 傾景** 10.6—11.2 山本現代  
 芸術新潮 756  
**田中太賀志** 10.9—10.14 丹沢美術館  
**田中秀穂 VANISHING&EMERGING** 9.3—10.6 武蔵野美術大学美術

館  
**田中靖夫展 吸取り紙** 4.17—4.28  
 Gallery 福果  
 芸術新潮 750  
**田中良太「今日のなまえ」** 4.20—  
 5.20 ゲルオルタナ  
 ギャラリー\* 324  
**棚田康司「たちのぼる。」** 9.16—  
 11.25 練馬区立美術館(伊丹市立  
 美術館)  
 AXIS 161 暮沢剛巳  
 新美術新聞 1294  
 美術手帖 976 O JUN  
 朝日夕刊 11.14 西岡一正  
 東京夕刊 10.19 三沢典丈  
 日経 9.16  
 日経 11.18  
 日経夕刊 10.4  
 読売 10.18 井上晋治  
**谷内薫個展** 5.8—5.13 ギャラリー  
 一恵風  
 陶説 712 小吹隆文  
**谷垣博子絵画展** 10.10—10.16 伊  
 勢丹(浦和)  
 新美術新聞 1293  
**谷川泰宏 日本歳時記 創造へのま  
 なざし** 12.5—12.11 高島屋(日  
 本橋)(高島屋(大阪、横浜、名古屋、  
 京都、新宿))  
**谷口仙太郎 ～わたしの旅～** 3.2  
 —3.16 RELJINSHA GALLERY  
 TOKYO  
 ギャラリー\* 323  
**種房ひさ子小品展** 6.11—6.17 ギ  
 ャラリー・コパンダール  
 新美術新聞 1282  
**田淵俊夫展 いのちの煌めき** 4.7  
 —5.20 名古屋市美術館(富山県  
 水墨美術館)  
 新美術新聞 1277 神谷浩  
 美術の窓 343 編集部  
 読売 5.3 井上晋治  
**田淵俊夫展 いのちの煌めき** 6.5  
 —7.20 渋谷区立松涛美術館(富  
 山県水墨美術館)  
 水墨画\* 281  
 朝日夕刊 6.13 大西若人  
 毎日夕刊 6.26 岸桂子  
**田淵俊夫展 いのちの煌めき** 10.6

—11.25 福島県立美術館(富山県  
 水墨美術館)  
 日経 10.31 宝玉正彦  
**田淵俊夫展 技のひみつ** 4.7—  
 6.17 メナード美術館  
 読売 5.3 井上晋治  
**玉置保夫展** 3.7—3.13 高島屋(名  
 古屋)  
 陶説 710 井上隆生  
**玉虫良次油絵展** 2.22—2.28 三越  
 (日本橋)  
 ギャラリー\* 324 ワシオ・トシ  
 ヒコ  
**Light of Dreams 田村彰英 夢の光**  
 7.21—9.23 東京都写真美術館  
 朝日夕刊 8.22 西岡一正  
 読売 9.6  
**田村公個展** 10.8—10.13 画廊る  
 たん  
 新美術新聞 1292  
**田村憲一 日本画展** 7.16—7.28  
 十一月画廊  
 新美術新聞 1286  
**丹羽シゲユキ展 —Sweet DREA-  
 MS—** 5.12—5.27 EN 陶 REZ  
 陶説 712 梅田稔

(チ)

**チ・トウ 疑問の状態 ジレンマへ  
 と向かう7つのパフォーマンス**  
 7.19—7.28 アートラボ・アキバ  
 美術手帖 974 ダリル・ウィー  
**崔恩景展一風の中へ** 12.10—  
 12.22 東邦アート  
 新美術新聞 1299  
**チェン・ジャン・ホン展** 5.26—  
 7.1 ギャラリーためなが大阪  
 新美術新聞 1280  
**Chim ↑ Pom 展** 9.22—10.14 パ  
 ルコムミュージアム  
 朝日夕刊 10.3 大西若人

(ツ)

**司修『ギルガメッシュ王の物語』(ぶ  
 ねうま舎刊)原画展** 4.10—4.15  
 ギャラリーヒルゲート  
 新美術新聞 1277  
**津金日人夢作陶展—青瓷—** 11.8—  
 11.14 東急(渋谷)

陶説 718 唐澤昌宏  
**塚原琢哉写真展「続・銀の日記」**  
 12.17—12.26 ストライプハウス  
 ギャラリー  
 ギャラリー\* 332  
**月岡芳年 没後120年記念** 10.2—  
 11.25 太田記念美術館  
 版画芸術 157  
 産経 10.21 渋谷和彦  
 日経夕刊 10.22 窪田直子  
 毎日夕刊 10.22 岸桂子  
**継岡リツ展—Scherzo—** 10.22—  
 10.27 ぎやらりいサムホール  
 新美術新聞 1294  
**月形明比古の特選絵画陶芸展** 7.5  
 —7.10 十字屋(山形)  
 新美術新聞 1284  
**津田直写真展: Storm Last Night  
 /Earth Rain House** 8.20—9.25  
 キヤノンギャラリーS  
 毎日夕刊 9.18 手塚さや香  
**土田ヒロミ写真展 BERLIN** 5.9—  
 5.22 銀座ニコソサロン(大阪ニ  
 コソサロン)  
 毎日夕刊 5.15 手塚さや香  
**土屋公雄展** 9.16—10.21 福井県  
 立美術館  
 REAR 29 野田訓生  
**人間国宝三人 岐阜、染と織の匠た  
 ち 山田真、宗廣力三、土屋順紀**  
 9.21—11.4 岐阜県博物館  
**土屋禮一展—なつかしさを求めて—**  
 4.28—6.3 大垣市スイトピアセ  
 ンターアートギャラリー  
 新美術新聞 1278 野地耕一郎  
**土屋禮一展—行雲流水—** 5.16—  
 5.22 高島屋(日本橋)(高島屋(京  
 都、大阪、横浜、岐阜、名古屋))  
 新美術新聞 1278 野地耕一郎  
 美術の窓 344 高山淳  
**堤敏朗 油彩自選展** 9.15—9.19  
 守口文化アーツセンター(アスパ  
 アカデミーホール)  
 美術の窓 348 小森佳代子  
**堤晴子絵画展** 10.12—10.14 大府  
 市勤労文化会館  
 新美術新聞 1293  
**津守愛香展** 9.25—9.30 ギャラリ  
 一恵風

陶説 718 柴辻政彦  
釣谷みよ子日本画展 12.12—12.18  
ギャラリーダダ  
新美術新聞 1299  
鶴丸滯子展「はな、はな、はな」  
10.24—10.28 海浜館  
新美術新聞 1294

(テ)

出口直日 陶芸展 10.4—11.4 瑞  
浪芸術館  
陶説 719 井上隆生  
豊島区ゆかりのマンガ家 Vol. 1 —  
手塚治虫の世界— 4.2—7.30  
椎名町駅ギャラリー  
産経 4.1  
トーマス・デマンド展—紙でできた  
世界(リアル)。 5.19—7.8 東  
京都現代美術館  
美術の窓 344  
朝日夕刊 6.2 大西若人  
産経 5.27  
毎日夕刊 7.2 手塚さや香  
読売 6.14 前田恭二  
読売夕刊 6.9 ヨミウリ・ジュ  
ニア・プレス取材班  
寺池静人作陶展 7.25—7.31 三越  
(日本橋)  
新美術新聞 1286  
寺尾勝広・新木友行・湯元光男 ア  
トリエインカーブ3人展 9.14  
—9.23 東京オペラシティアート  
ギャラリー  
芸術新潮 755  
朝日夕刊 9.19 大西若人  
東京夕刊 9.12 (森)  
寺久保文宣 新作油彩画展—明日へ  
の挑戦 9.16—9.23 埼玉画廊  
新美術新聞 1291  
寺坂公雄展 2.22—2.28 三越(日  
本橋)  
美術の窓 341 高山淳  
寺島紫明の素描—画家のまなざし—  
9.1—9.30 明石市立文化博物館  
新美術新聞 1289  
寺島貞志 青春のリアリズム展  
12.1—2.3 萬鉄五郎記念美術館  
ギャラリー\* 332  
瀬戸 寺島裕二陶展 珠玉の筥

12.11—12.22 橋本美術  
陶説 719 井上隆生  
寺田政明 生誕100年 10.6—11.  
11 北九州市立美術館分館(豊島  
区立熊谷守一美術館)  
それぞれのリアリズム[寺林武洋]  
6.29—9.2 アートギャラリー呼  
友館  
新美術新聞 1283  
KASAMA 新時代の7人—寺本守と  
KASAMAの新鋭達 3.3—3.20  
KOGEI 現代工芸アートフェア  
・ギャラリー  
陶説 711 外館和子  
ポール・デルヴォー—夢をめぐる旅  
— 9.12—11.11 府中市美術  
館(下関市立美術館、埼玉県立近代  
美術館、岡崎市美術博物館、浜松  
市美術館、秋田市立千秋美術館)  
日経 10.7 窪田直子

照山ひさこ個展 5.21—5.26 銀座  
スルガ台画廊  
新美術新聞 1280  
ミヒヤエル・テンゲス「絵画」 8.25  
—9.29 タグチファイナート  
芸術新潮 755  
天明屋尚「韻」展 10.10—11.10 ミ  
ズマアートギャラリー  
芸術新潮 756

(ト)

マリー・ローランサンと東郷青児  
4.28—6.24 山梨県立美術館  
東松照明の写真 11.10—12.16 砺  
波市美術館  
美術手帖 979 清水穰  
弘田雅代・遠山治代 二人展  
10.22—11.27 ギャラリー白百合  
新美術新聞 1294  
徳沢守俊展 古希 福岡三越開店  
15周年記念特別企画 10.30—  
11.5 三越(福岡)  
陶説 718 福島健治  
トザキケイコ展「いつかひとつだっ  
たもの」 8.27—9.8 十一月画廊  
新美術新聞 1289  
戸嶋靖昌 恩師と友人たち—画家は  
ひとりでは生まれぬ— 6.25—  
7.7 清澄画廊

平成24年美術展覧会(作ツ〜ナ)

戸田浩二皿展 2.8—2.14 松屋(銀  
座)  
陶説 709 花里麻理  
“Living Water”—生ける水—トロン  
トアートエキスポ2012個展開催  
帰国展[戸田みどり] 9.17—9.22  
銀座井上画廊  
新美術新聞 1289  
戸塚直樹水彩画展 11.3—11.9 ギ  
ャラリー遊(日本橋)  
新美術新聞 1298  
鉄斎—水墨神韻—[富岡鉄斎] 4.3  
—6.10 鉄斎美術館  
ヒロトミザワろう画展—イタリア・  
マテラにて— 6.7—6.16 四  
季彩舎  
ギャラリー\* 326  
富田菜摘展—ユートピア— 9.24—  
10.20 中京大学アートギャラリ  
ーC・スクエア  
REAR 29 青木健  
富山妙子作品展&講演会「記憶の糸  
を紡ぐ 震災・戦争・女」 5.8—  
5.15 慶応義塾大学日吉キャンパ  
ス 来往舎ギャラリー  
東京 5.8 佐藤直子  
戸谷成雄新作展—連句のIV 11.10  
—12.22 ケンジタキギャラリー  
(名古屋)  
REAR 29 天野一夫  
モジモジ文字[鳥海修] 7.28—9.9  
武蔵野市立吉祥寺美術館  
シヨナ・トレスコット Drawn into  
the Light 9.11—12.8 ANDO  
GALLERY  
新美術新聞 1290

(ナ)

内藤礼 地上はどんなところだった  
か 10.13—11.22 ギャラリー小  
柳  
東京夕刊 11.2 岡部あおみ  
中日祝祭文化の風情 傅益瑤・杉谷  
隆志・仲裕行 10.22—11.9 東  
京中国文化センター  
水墨画\* 285  
中井勝郎展 Mixed Media による〈天  
空への鼓動〉 3.16—3.28 ギャ  
ラリー絵夢

- ギャラリー\* 323  
**中井川由季展—あいまいな接合—**  
 9.10—9.15 ギャラリー志門  
 芸術新潮 755  
 陶説 716 井上隆生  
**中尾郁夫陶展 愉・喫茶去** 2.25—  
 3.10 ギャラリー顕美子  
 陶説 710 井上隆生  
**EXHIBITION NOW 長尾和典** 5.24  
 —6.7 閑々居  
 水墨画\* 281  
**オルゴール 長尾玲子展** 9.13—  
 9.24 ギャラリー ア・ピアント  
**中上清 新作展** 5.14—6.2 Hino  
 Gallery  
 ギャラリー\* 325  
 ギャラリー\* 326  
 読売夕刊 5.21 (井)  
**長倉洋海写真展「子どもたちの元気  
 便—震災からの出発」** 3.4—3.22  
 コニカミノルタプラザ  
 産経 3.7  
**中畔千嘉個展** 12.17—12.29 ギャ  
 ラリー福山  
 新美術新聞 1299  
**長沢明展** 5.28—6.9 ガレリア・  
 グラフィカ  
 読売夕刊 6.4 (清)  
**中ザワヒデキ個展「不可視関数の方  
 式と方法(Systems and methods  
 in hidden functions)」** 9.10—  
 12.10 ザ・コンテナー  
 ギャラリー\* 332  
 美術手帖 977 ダリル・ウィー  
 /近藤亮介 訳  
**中ザワヒデキ展 脳で見るアート**  
 12.8—2.17 武蔵野市立吉祥寺美  
 術館  
 ギャラリー\* 332  
**長沢秀之展 PAINTING on Painting**  
 10.6—11.3 ギャラリーモモ(両  
 国)  
 読売夕刊 10.15 (井)  
**中島和長展** 10.29—11.4 銀座ギ  
 ャラリーあづま  
 新美術新聞 1294  
**中島清登展8回** 10.30—11.5 彩  
 波画廊  
 新美術新聞 1295  
**中島佳子展 一地の符—** 4.3—4.8  
 ギャラリー彩  
 美術の窓 343 高山淳  
**中島千波展—宮尾本「平家物語」の挿  
 画と花々の宴—** 9.15—11.11  
 ウッドワン美術館  
 新美術新聞 1292  
**中島千波 人物図鑑** 11.15—12.2  
 東京芸術大学大学美術館  
 ギャラリー\* 331  
 毎日夕刊 11.26 岸桂子  
**横浜美術館所蔵作品による中島千波  
 ・清之親子展 会館20周年記念  
 [中島清之]** 10.12—12.11 おぶ  
 せミュージアム・中島千波館  
 ギャラリー\* 331  
 新美術新聞 1294  
**永島千裕展** 8.25—9.14 たけだ美  
 術  
 ギャラリー\* 329  
**中嶋虎威日本画展** 4.9—4.14 画  
 廊宮坂  
 新美術新聞 1276  
**中島晴美展** 9.2—9.8 八郷・平田  
 邸内目黒陶芸館別館  
 陶説 716 井上隆生  
**中島英樹1992—2012展** 5.19—8.  
 31 大和プレスビューイングルー  
 ム  
 美術手帖 975 猪飼尚司  
**中條秋男油彩展** 11.6—11.11 村  
 岡屋本店ぎゃらりー彩(ギャラリ  
 ーコンセプト21)  
 新美術新聞 1295  
**仲條正義展 忘れちゃってEASY  
 思い出してCRAZY** 6.23—8.12  
 資生堂ギャラリー  
 芸術新潮 752  
 新美術新聞 1283  
 毎日夕刊 8.6 永田晶子  
 読売夕刊 7.9 (井)  
**中田一於陶芸展—釉裏銀彩の華—**  
 2.17—2.23 和光ホール  
 陶説 710 唐澤昌宏  
**中田勝康写真 旧徳島城表御殿庭園  
 の魅力を探る** 4.20—4.30 徳島  
 市立徳島城博物館  
**中田博士陶芸展** 1.11—1.17 松坂  
 屋(名古屋)  
 陶説 708 井上隆生  
**中田博士作陶展 真珠光彩** 7.4—  
 7.10 高島屋(横浜)  
 陶説 714 唐澤昌宏  
**中田真央展—melancholic—** 7.9—  
 7.21 ガレリアグラフィカ bis  
 ギャラリー\* 327  
**中谷ミチコ—impression—** 5.26—  
 6.16 マキファインアーツ  
 産経 6.11 岸桂子  
**中津川浩章—絵画は記憶に似ている**  
 1.30—2.11 ギャラリーイ K  
 毎日夕刊 2.6 岸桂子  
**中西繁 デッサン展** 8.1—8.10  
 ギャラリー喜久田  
 新美術新聞 1287  
**水絵への情熱 中西利雄と蒼原会の  
 画家たち** 10.27—12.2 茨城県  
 つくば美術館  
 新美術新聞 1296  
**土方巽+中西夏之「背面」** 5.14—  
 6.15 慶應義塾大学アート・スペ  
 ース  
 ギャラリー\* 327 三田晴夫  
**中西夏之新作展** 6.14—7.8 gal-  
 lery 21 yo-j  
 ギャラリー\* 327 三田晴夫  
**中西夏之 韻 洗濯バサミは攪拌行  
 動を主張する 擦れ違い/遠のく  
 紫 近づく白斑** 10.13—1.14  
 川村記念美術館  
 新美術新聞 1294 赤松祐樹  
 朝日夕刊 11.21 大西若人  
 毎日夕刊 12.12 岸桂子  
**中西洋人「木の器」** 3.23—3.30  
 DEE'S HALL  
 芸術新潮 749  
**長野順子銅版画展** 4.16—4.28 T  
 -BOX  
 新美術新聞 1278  
**中野浩樹—奏—** 7.5—7.17 コー  
 トギャラリー国立  
 新美術新聞 1285  
**中林忠良展—もう一つの彩月—作品  
 集刊行記念** 10.10—10.20 日動  
 画廊(福岡日動画廊)  
 新美術新聞 1293  
**中平卓馬 サーキュレーション—日  
 付、場所、行為** 7.4—7.22 BLD



GALLERY  
朝日夕刊 7.11 大西若人  
中藤益子 芸術の世界展 10.9—  
10.14 SPACE ろさんじ  
新美術新聞 1292  
永峯華月水墨画展 8.5—8.11 東  
京交通会館  
新美術新聞 1287  
料理して妻を待つ 中村研一と日常  
のモチーフ 3.27—5.20 中村  
研一記念小金井市立はげの森美術  
館  
朝日夕刊 4.11 蒔苗沙都子  
産経 4.18  
中村元風 陶芸展 7.18—7.24 松  
坂屋(名古屋)  
陶説 715 井上隆生  
中村梧郎写真展「枯葉剤とベトナム」  
11.6—11.18 川崎市立美術館  
東京 10.7 中里宏  
中村左洲 鯛の画家「三重の画人」企  
画展 9.8—10.21 桑名市美術館  
水墨画\* 282  
中村隆遺作展—cell and relation—  
9.12—9.23 川口市立アートギャ  
ラリー・アトリア  
新美術新聞 1291  
中村直人 彫刻の時代 10.6—11.  
18 佐久市立近代美術館(小杉放  
菴記念日光美術館)  
新美術新聞 1293  
中村正義 日本画壇の風雲児 新た  
なる全貌 2.19—4.1 練馬区立  
美術館(名古屋市美術館)  
朝日夕刊 3.21 西岡一正  
産経 2.19 渋沢和彦  
東京 2.6  
東京夕刊 2.21 中村倫子  
東京夕刊 3.2 池内紀  
毎日夕刊 3.27 岸桂子  
中村正義の《顔》 9.15—10.14 川  
崎市市民ミュージアム  
中谷幸雄展 古希記念 9.3—9.9  
あーとスペース夢玄  
新美術新聞 1289  
報道写真とデザインの父 名取洋之  
助—日本工房と名取学校 4.27—  
6.26 日比谷図書文化館  
日経 6.6 宝玉正彦

毎日夕刊 5.29 手塚さや香  
並木恒延漆芸展—光 彩なす—  
10.31—11.6 三越(日本橋)  
新美術新聞 1295  
『更生保護』表紙絵による並木秀俊作  
品展 9.3—9.16 ナカジマア  
ト  
新美術新聞 1289  
奈良美智 君や僕にちょっと似てい  
る 7.14—9.23 横浜美術館(青  
森県立美術館、熊本市現代美術館)  
芸術新潮 753 奈良美智/町田  
康  
新美術新聞 1287  
朝日 8.14 西岡一正  
東京夕刊 8.17 児島やよい  
読売 7.26 高野清見  
難波田史男の15年 1.14—3.25  
東京オペラシティアートギャラリー  
—  
芸術新潮 747  
産経 1.29 渋沢和彦  
日経 1.25 宝玉正彦

## (ニ)

鳩川誠一展 愛と情熱の画家 9.8  
—10.21 茂原市立美術館・郷土  
資料館  
新美術新聞 1289  
鳩川誠一展 東洋と西洋の融合した  
独特な美の世界 11.14—11.27  
すみだリバーサイドホールギャラ  
リー  
新美術新聞 1297  
西功一作陶展 1.18—1.24 三越  
(名古屋)  
陶説 709 井上隆生  
西尾康之展 EXOTICISM 4.14—  
5.12 山本現代  
美術手帖 969 児島やよい  
読売夕刊 4.23 (井)  
西田俊英 日本画展 翼の海  
11.29—12.5 福屋(広島)  
美術の窓 351 編集部  
輝く街、染まる街 西田真人が描い  
た神戸風景 受贈記念 7.14—  
9.17 神戸ゆかりの美術館  
美術の窓 347 田中梨枝子  
西谷勝輝油彩展 12.12—12.18 ギ

ャラリーブラック  
新美術新聞 1298  
西成田洋子展：記憶の領域 2012  
9.17—9.29 コバヤシ画廊  
新美術新聞 1291  
西村富彌 —誰が朝鳥の声を聴いた  
か— 4.9—4.20 NICHE GAL-  
LERY  
ギャラリー\* 327 ワシオ・トシ  
ヒコ  
新美術新聞 1276  
西村紀子展 11.23—11.29 常陽藝  
文センター  
新美術新聞 1297  
彫刻を聞き、土を語らせる 西村陽  
平展 西村陽平が会った子ども  
たち展 4.7—5.27 愛知県陶磁  
資料館  
陶説 712 井上隆生  
REAR 28 鈴木敏春  
西村陽平展20回 10.8—10.13 ギ  
ャラリー飛鳥  
ギャラリー\* 330  
仁平仙之助作品展 4.29—5.5 東  
京交通会館  
新美術新聞 1278  
丹羽章油絵展—米寿記念— 10.25  
—10.30 横浜馬車道アートギャ  
ラリー  
美術の窓 350 高山淳

## (ヌ)

塗師祥一郎展—富士を画く— 6.10  
—6.16 そごう(川口)  
新美術新聞 1282

## (ネ)

墨に遊ぶ 根岸嘉一郎水墨画展 3  
回 5.2—5.8 松坂屋(上野)  
新美術新聞 1279  
根岸英個展25回 4.14—4.22 ギ  
ャラリー・ぐみの舎  
新美術新聞 1277  
根岸芳郎展 10.16—10.27 人形町  
エキジビットスペース・ヴィジョ  
ンズ  
エルネスト・ネト Madness is part  
of Life 9.29—1.6 エスパス  
ルイ・ヴィトン東京

芸術新潮 756  
 美術手帖 977 青木淳  
 根本忠緒展 10.8—10.13 ギャラリー志門  
 新美術新聞 1292  
 Misunderstanding Focus[Nerhol]  
 4.10—5.13 limArt  
 芸術新潮 750

(ノ)

能島征二彫刻展 爽風の輝き 9.12—9.18 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1290  
 野ロー将一Synthetic Garden 7.13—7.29 アートフロントギャラリー  
 新美術新聞 1285  
 野口久光—シネマ・グラフィックス 9.8—10.28 尾道市立美術館(うらわ美術館、西宮市大谷記念美術館)  
 新美術新聞 1291  
 野沢春子 油絵展 3.28—4.3 ヒルトピアアートスクエア  
 新美術新聞 1276  
 SLASH/07 —できるだけ遠くをみろ— KAYOKOYUKI 企画[野沢裕]  
 4.7—4.29 nap gallery  
 ギャラリー\* 325 小金沢智  
 野田朗子 硝子展—光と影— 8.22—8.29 ギャラリー枝香庵  
 ギャラリー\* 328  
 野田保展 6.18—6.23 アートスペース羅針盤  
 新美術新聞 1282  
 野田哲也展 12.3—12.15 ギャラリーゴトウ  
 ギャラリー\* 332  
 野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿 1.18—4.2 国立新美術館  
 ギャラリー\* 321  
 ギャラリー\* 324 名古屋覚  
 新美術新聞 1269 福永治  
 朝日夕刊 2.22 大西若人  
 日経 2.8 宝玉正彦  
 毎日夕刊 2.28 岸桂子  
 読売夕刊 3.12 (井)  
 野並允温個展70回—一家の風景画とヒマラヤの山— 9.25—11.23

横倉山自然の森博物館  
 新美術新聞 1291  
 blue construction 野又稷展 佐賀街アーカイブ COLLECTION plus, 3 1.19—4.29 アーツ千代田3331  
 朝日夕刊 4.4  
 野見山暁治の墨絵展 5.10—5.23 ナカジマアート  
 水墨画\* 281  
 朝日夕刊 5.16 大西若人  
 読売夕刊 5.14 (井)  
 野見山由美子展 6.29—7.28 夢の庭画廊  
 新美術新聞 1284  
 野村亜紀子個展 10.24—10.28 ギャラリーTKC  
 新美術新聞 1294  
 野村定宏展 4.3—4.8 アートライフ・みつはし  
 新美術新聞 1276

(ハ)

バーン=ジョーンズ展[エドワード・コーリー・バーン=ジョーンズ] 6.23—8.19 三菱一号館美術館(兵庫県立美術館、郡山市立美術館)  
 新美術新聞 1285  
 朝日夕刊 6.27 西岡一正  
 東京 6.4 河村錠一郎  
 東京 6.22 高橋明也／加藤明子  
 東京夕刊 6.29 三沢典丈  
 袴田京太郎 Hotei and Grapes 6.9—7.1 アイショウミウラアーツ  
 毎日夕刊 6.26 岸桂子  
 アンコールのヴィーナス—BAKU 斉藤の視線— 9.8—10.21 女子美アートミュージアム  
 新美術新聞 1291  
 橋詰正英作陶展 10.24—11.6 高島屋(日本橋)  
 新美術新聞 1294  
 橋本倫 孤水池 6.4—6.16 なびす画廊  
 読売夕刊 6.11 (清)  
 日本画近代化への道 橋本雅邦と門人たち～大観、観山、春草、玉堂ほか～開館40周年記念企画展

1.21—3.4 駿府博物館  
 水墨画\* 275  
 セイ・ハシモト新作絵画展—パリ、多くの細道— 10.24—10.30 伊勢丹(新宿)  
 新美術新聞 1294  
 iwate コンテンポラリーアート 橋本尚恣 日常—通過点・到達点— 9.1—11.11 萬鉄五郎記念美術館  
 橋本昌彦陶芸展—塩釉— 8.22—8.27 三越(日本橋)  
 陶説 715 外館和子  
 橋本雅也 殻のない種 7.7—7.25 ロンドンギャラリー  
 芸術新潮 753  
 朝日夕刊 7.18 大西若人  
 産経 7.19 黒沢綾子  
 橋本明治・橋本弘安—親子二人展— 5.3—7.16 浜田市世界こども美術館  
 新美術新聞 1282  
 長谷川尙展 —イタリアの陽光— 5.11—5.23 日動画廊(名古屋)  
 美術の窓 344 高山淳  
 長谷川宏美絵画展—光と風の情景— 8.1—8.7 大和(香林坊)  
 新美術新聞 1287  
 長谷川誠 白い森の足跡 4.28—6.10 岩手町立石神の丘美術館  
 長谷部貞子日本画展 7.5—7.11 ギャラリーエスパス  
 新美術新聞 1284  
 羽田英彦の軌跡展 西宮市民文化賞受賞記念 5.1—5.6 西宮市立市民ギャラリー  
 新美術新聞 1278  
 服部篤浩展 8.27—9.1 ガレリア・グラフィカ bis  
 新美術新聞 1288  
 服部峻昇展—漆芸の燦[きらめき]— 4.7—4.16 和光ホール  
 新美術新聞 1276  
 花塚愛展 1.7—1.22 ギャラリー器館  
 陶説 709 小吹隆文  
 花田和治の色と形 2.3—3.11 北海道立近代美術館  
 羽子田長門日本画展 12.16—12.22 ギャラリー青羅

新美術新聞 1299  
 浜川初江絵画展 8.16—9.14 Sa-  
 cas Art Spot  
 新美術新聞 1288  
 池田龍雄 濱口富治 武内光仁 3  
 人の世界 第13回白木谷国際現  
 代美術館4周年記念特別企画  
 5.3—7.24 白木谷国際現代美術  
 館  
 ギャラリー\* 326  
 濱田樹里展 9.10—9.15 コバヤシ  
 画廊  
 芸術新潮 755  
 新美術新聞 1290  
 浜田昇児日本画展 11.28—12.4  
 大丸(心齋橋)  
 新美術新聞 1297  
 濱田晋作・友緒 陶藝展 8.8—  
 8.14 松坂屋(名古屋)  
 陶説 715 井上隆生  
 浜田泰介の世界 平成のふすま絵師  
 8.4—9.17 畦地梅太郎記念美術  
 館  
 新美術新聞 1289  
 浜田泰介の世界 椿神社障壁画完成  
 記念 11.20—11.26 三越(松山)  
 新美術新聞 1297  
 コレクションViewpoint MADE IN  
 LONDON—英国ポップ・アートの  
 巨匠 R. ハミルトンの版画—  
 [リチャード・ハミルトン] 8.2  
 —9.30 川村記念美術館  
 朝日夕刊 8.22 神谷実里  
 早川栄子展 vol.7 —私の宝石箱—  
 6.16—6.23 ギャラリー枝香庵  
 新美術新聞 1282  
 早川義孝展 青い風 6.24—8.5  
 三浦美術館  
 新美術新聞 1285  
 美術の窓 346  
 早川雅信展 9.17—9.23 ギャラリ  
 ー八重洲・東京  
 新美術新聞 1290  
 きらり、ふわり—想いをのせて—  
 [林剛人丸] 4.22—5.27 川口市  
 立アートギャラリー・アトリア  
 林茂樹 Entertainment Ceramics  
 vol.3 10.20—10.28 スペース  
 大原

陶説 718 井上隆生  
 林正太郎作品展 岐阜県重要無形文  
 化財 9.28—11.4 美農焼伝統産  
 業会館  
 陶説 718 井上隆生  
 林田博子展 11.12—11.17 銀座井  
 上画廊  
 新美術新聞 1296  
 美術の窓 350 高山淳/林田博  
 子  
 速水史朗展—瓦・漆— 10.22—  
 11.2 ギャラリーせいほう  
 美術の窓 350 小森佳代子  
 原憲司—黄瀬戸・志野— 3.17—  
 3.22 黒田陶苑  
 陶説 711 唐澤昌宏  
 原大介 10.15—10.27 椿近代画廊  
 新美術新聞 1293  
 原弘と東京国立近代美術館 デザイ  
 ンワークを通して見えてくるもの  
 2.3—5.6 東京国立近代美術館  
 朝日夕刊 4.25 西岡一正  
 毎日夕刊 4.17 岸桂子  
 原裕治展—かたちとしての奔流と止  
 水— 8.21—9.30 碧南市藤井達  
 吉現代美術館  
 REAR 29 土生和彦  
 原陽子展 11.6—11.16 ギャラリ  
 ー砂翁  
 版画芸術 157  
 原良介—絵画への小径— 9.8—  
 11.4 茅ヶ崎市美術館  
 芸術新潮 755  
 COSMIC TRAVELERS—TOWARD  
 THE UNKNOWN[原口典之] 1.  
 21—5.6 エスパス ルイ・ヴィ  
 トン東京  
 美術手帖 965 能勢陽子  
 読売夕刊 2.2 (井)  
 原口典之 Ship 60's & Work on Pa-  
 per 6.2—7.29 鎌倉画廊  
 ギャラリー\* 326  
 原田圭個展 4.2—4.7 銀座スルガ  
 台画廊  
 新美術新聞 1276  
 パルコキノシタ 幽霊でもいいから  
 6.8—6.20 新宿眼科画廊  
 美術手帖 971 榎木野衣  
 マーク・パルスフォード Ayahua-

平成24年美術展覧会(作ハ、ヒ)

sca 7.2—7.7 ギャラリーコッ  
 カ(名古屋)  
 REAR 28 水野勝仁  
 パルビエ×ラブルール展 鹿島茂コ  
 レクション2[ジョルジュ・パル  
 ビエ] 4.8—6.3 練馬区立美術  
 館  
 新美術新聞 1278  
 読売 5.24 高野清見  
 春山文典 金属造形のカタチ 6.29  
 —8.21 おぶせミュージアム・中  
 島千波館  
 新美術新聞 1286  
 番洋・白石真弓 ふたり展 3.11—  
 3.19 京王プラザホテルロビーギ  
 ャラリー  
 美術の窓 342 磯部靖

(ヒ)

稗田一穂 春秋日月 10.31—11.6  
 高島屋(日本橋)(高島屋(京都、大  
 阪、名古屋、横浜))  
 新美術新聞 1295  
 輝く生命の色/緑の交響曲[東山魁  
 夷] 6.1—7.16 香川県立東山魁  
 夷せとうち美術館  
 新美術新聞 1283  
 無限の色彩/魁夷モノトーンの世界  
 6.1—7.16 香川県立東山魁夷せ  
 とうち美術館  
 新美術新聞 1283  
 東山魁夷展 7.20—9.9 北海道立  
 近代美術館(宮城県美術館)  
 新美術新聞 1288  
 旅の環—東山魁夷と巡り合う風景—  
 9.15—11.4 香川県立東山魁夷せ  
 とうち美術館  
 新美術新聞 1293  
 東山魁夷展 9.22—11.11 宮城県  
 美術館(北海道立近代美術館)  
 日経 9.16  
 日経 10.21  
 日経夕刊 9.6  
 カミーユ・ピサロと印象派—永遠の  
 近代 3.24—5.27 宇都宮美術館  
 (兵庫県立美術館)  
 新美術新聞 1276  
 朝日夕刊 5.9 大西若人  
 日経 4.18 窪田直子

土方巽+中西夏之「背面」 5.14—  
6.15 慶應義塾大学アート・スペ  
ース  
ギャラリー\* 327 三田晴夫  
一ツ山チエ 大地に、生きる一展  
5.2—5.29 LIXIL ギャラリー  
芸術新潮 751  
日野田崇展 11.5—11.22 ガレリ  
ア・フィナルテ  
陶説 718 井上隆生  
平井智 マジヨリカの華 在イタリ  
ア40周年記念 5.2—5.8 天満  
屋(岡山)  
陶説 712 唐澤昌宏  
平出隆 《FOOTNOTE PHOTOS》—  
葉書でドナルド・エヴァンズに  
5.2—5.6 スパイラルガーデン  
東京夕刊 4.26 (間)  
平川典俊 木漏れ日の向こうに  
4.14—6.10 群馬県立近代美術館  
美術手帖 969 能勢陽子  
朝日夕刊 5.3 大西若人  
東京夕刊 4.27 三沢典丈  
毎日夕刊 6.5 岸桂子  
読売 5.31 高野清見  
平櫛田中とかつしか 5.26—6.17  
葛飾区郷土と天文の博物館  
新美術新聞 1280  
東京 5.26  
平櫛田中展 9.9—10.21 小平市平  
櫛田中彫刻美術館(ふくやま美術  
館、三重県立美術館)  
新美術新聞 1290  
朝日夕刊 10.1 大西若人  
東京 9.8  
毎日夕刊 10.17 岸桂子  
読売 10.18 井上晋治  
平田英子展 9.27—10.6 アトリエ  
スズキ  
新美術新聞 1292  
平塚良一展 10.15—10.27 ギャラ  
リー榎  
ギャラリー\* 331 三田晴夫  
岡本敦生×平戸貢児 vol.2 10.20  
—11.18 メタル・アート・ミュ  
ージアム光の谷  
ギャラリー\* 332 三田晴夫  
平野薫 Re-Dress 6.29—7.28  
SCAI THE BATHHOUSE

美術手帖 973 児島やよい  
朝日夕刊 7.18 大西若人  
モジモジ文字[平野甲賀] 7.28—  
9.9 武蔵野市立吉祥寺美術館  
平野五岳展 没後120年 6.19—  
7.8 大分県立芸術会館  
水墨画\* 279  
平野千里木彫 絢爛極彩主義 10.3  
—10.9 高島屋(日本橋)  
平野正樹 habanneros : cuba, 1992  
—1995 2.7—2.19 ギャラリー  
コスモス  
東京 2.16 野呂法夫  
平野雅子展 5.28—6.2 光画廊  
新美術新聞 1280  
平松礼二展—日本の美を求めて—  
箱根・芦ノ湖成川美術館所蔵  
10.4—12.2 新見美術館  
師の教えと平山郁夫 3.20—5.21  
平山郁夫美術館  
新美術新聞 1276  
平山郁夫 シルクロードの軌跡—人  
類の遺産にかけた画家の人生—  
4.3—5.27 九州国立博物館  
新美術新聞 1276  
東風西声 九州国立博物館紀要  
8 基信祐爾  
平山郁夫 大唐西域画への道 7.28  
—9.23 秋田県立近代美術館(北  
海道立函館美術館、北海道立釧路  
芸術館、酒田市美術館、金沢21世  
紀美術館、大分県立芸術会館、高  
崎市タワー美術館、富山県水墨美  
術館、新潟市美術館、三越(日本  
橋)、沖縄県立博物館・美術館、  
佐川美術館)  
新美術新聞 1288  
弘田雅代・遠山治代 二人展  
10.22—11.27 ギャラリー白百合  
新美術新聞 1294  
広田稔展 50冊のスケッチブック  
6.20—6.26 高島屋(日本橋)(高  
島屋(大阪、京都、名古屋、新宿、  
横浜))  
新美術新聞 1282  
東京夕刊 6.19 三沢典丈  
日和崎尊夫展 没後20年 7.23—  
8.4 シロタ画廊  
版画芸術 156

(フ)

中日祝祭文化の風情 傅益瑤・杉谷  
隆志・仲裕行 10.22—11.9 東  
京中国文化センター  
水墨画\* 285  
手の痕跡 国立西洋美術館所蔵作品  
を中心としたロダンとブールデル  
の彫刻と素描[アントワヌ・ブ  
ールデル] 11.3—1.27 国立西  
洋美術館  
新美術新聞 1298 大屋美那  
笹田亜希展 INOKASHIRA—神田川  
12.7—12.15 村越画廊  
新美術新聞 1298  
ホセ・ルイス・フェリニヤス 終  
焉をめぐって 5.15—5.31 小出  
由紀子事務所  
芸術新潮 751  
深井隆彫刻 気配 11.7—11.13  
高島屋(日本橋)(高島屋(大阪))  
深澤義人展 11.12—11.18 ギャラ  
リー八重洲・東京  
新美術新聞 1296  
深沢軍治展 12.10—12.22 始弘画  
廊  
新美術新聞 1299  
深見まさ子個展 10.2—10.7 Gal-  
lery 美庵  
新美術新聞 1292  
福井爽人展 7.4—11.7 北海道立  
旭川美術館  
新美術新聞 1288 及川昌樹  
福島善三作陶展 9.4—9.10 岩田  
屋三越美術画廊  
陶説 716 福島健治  
福島隆壽 自選展 3.13—3.18 倉  
敷市立美術館  
美術の窓 342 編集部  
マンガ@紫雲荘 紫雲荘のマンガ家  
たちの作品展—トキワ荘から紫雲  
荘へ—[福田健太郎] 2.1—2.29  
豊島区民センター  
東京 2.1 柏崎智子  
福田繁雄大回顧展 ユーモアのすず  
め 9.11—11.11 岩手県立美術  
館(三重県立美術館、川崎市市民  
ミュージアム、いわき市立美術館、  
広島県立美術館、高崎市美術館、

札幌芸術の森美術館)  
 美術手帖 974

福田平八郎と日本画モダン 生誕  
 120年 5.26—7.22 山種美術館  
 水墨画\* 279  
 産経 6.17 渋谷和彦  
 日経 7.2 宝玉正彦  
 日経夕刊 6.7

福田玲子展—もういちど— 9.6—  
 9.11 紀伊國屋画廊  
 新美術新聞 1289  
 美術の窓 348 高山淳/福田玲  
 子

芸術家Mの舞台裏 福永一夫が撮  
 った『森村泰昌』 4.14—5.24 B  
 GALLERY(ビームス阿倍野、ビ  
 ムスウエスト)  
 読売夕刊 5.12

福田龍哉 Arch/Pillar 9.10—9.21  
 ギャラリー東京ユマニテ

藤浩志の美術展 セントラルかえる  
 ステーション〜なぜこんなにおも  
 ちゃが集まるのか?〜 7.15—  
 9.9 アーツ千代田3331  
 産経 8.29 渋谷和彦  
 読売夕刊 9.3 (井)

藤井たてき個展 5.21—5.27 ギャ  
 ラリウムサン  
 新美術新聞 1280

藤井勉展—生命と大地— 4.14—  
 5.6 美郷町学友館  
 新美術新聞 1279

藤井勉 愛する郷土・東北の自然を  
 描く 9.29—3.24 サトエ記念21  
 世紀美術館  
 新美術新聞 1301 江口健

昭和モダン 藤島武二と新制作初期  
 会員たち 1.28—3.20 川崎市立  
 美術館

藤田潤 ガラス新作展 Stream of  
 Colors 5.16—5.22 高島屋(横  
 浜)(高島屋(高崎))  
 新美術新聞 1279

藤田嗣治と愛書都市パリー—花ひらく  
 挿絵本の世界— 7.31—9.9 渋  
 谷区立松涛美術館(北海道立近代  
 美術館)  
 日経 8.15 宝玉正彦  
 読売 8.3

藤野千鶴子展 10.29—11.3 札幌  
 時計台ギャラリー  
 美術の窓 350 高山淳

藤信知子展 花への挑戦状 3.6—  
 3.11 ギャラリー恵風  
 陶説 710 小吹隆文

藤牧義夫 生誕100年 1.21—3.25  
 神奈川県立近代美術館(鎌倉)(群  
 馬県立館林美術館)  
 日経 2.29 窪田直子

藤森兼明洋画展 5.16—5.21 大和  
 (富山)  
 新美術新聞 1279 若松基  
 きらり、ふわり—想いをのせて—  
 [藤原洋次郎] 4.22—5.27 川口  
 市立アートギャラリー・アトリア

アーグネス・フス陶展 9.15—9.29  
 ギャラリー顕美子  
 陶説 717 井上隆生

舟越桂2012 開館25周年記念 9.15  
 —11.25 メナード美術館  
 REAR 29 村上久美  
 朝日夕刊 10.1 高橋昌宏  
 毎日夕刊 10.17 岸桂子  
 読売 10.18 井上晋治

舟越直木展 7.25—8.7 ギャラリ  
 ーせいほう  
 新美術新聞 1286

船田玉樹 生誕100年 7.15—9.9  
 練馬区立美術館(広島県立美術館)  
 芸術新潮 753  
 新美術新聞 1286  
 水墨画\* 280  
 産経 8.12 渋谷和彦  
 毎日夕刊 8.28 岸桂子

舟田潤子展 10.26—11.11 アート  
 ゾーン神楽岡  
 版画芸術 157

舟橋全二 HOOK 4.16—4.25 SPA-  
 CE YUI  
 毎日夕刊 4.24 高橋咲子

国際アンデルセン賞受賞画家 アン  
 ソニー・ブラウン展—ゴリラが好  
 きだ— 8.29—11.11 ちひろ美  
 術館(東京)  
 朝日夕刊 9.12 杉森美絵

古市明美個展 6.12—6.17 熊本県  
 立美術館分館  
 新美術新聞 1281

平成24年美術展覧会(作フ〜ホ)

古川あいか壮行展—家族の円環—  
 9.14—9.22 DOKA Contempora-  
 ry Arts  
 新美術新聞 1291

古川あいか壮行展—夫婦のとぐる—  
 10.2—10.7 HIGURE 17—15cas  
 新美術新聞 1291

同時代の眼I ハミッシュ・フルト  
 ン 五つの旅 3.1—4.20 慶應  
 義塾大学アート・スペース  
 朝日夕刊 3.14 蒔苗沙都子

解剖と変容 アール・ブリュットの  
 極北へ チェコの鬼オルボシュ・  
 ブルニーとアンナ・ゼマーンコヴ  
 アー 2.4—3.25 兵庫県立美術  
 館(広島市現代美術館)  
 ギャラリー\* 322  
 芸術新潮 748

アンドッシュ・ブローデル 楽茶碗  
 展 10.30—11.10 橋本美術  
 陶説 718 井上隆生

(へ)

フェリーチェ・ベアトの東洋 J・ポ  
 ール・ゲティ美術館コレクション  
 3.6—5.6 東京都写真美術館  
 産経 4.16 堀晃和  
 東京 3.5  
 読売夕刊 3.24 ヨミウリ・ジュ  
 ニア・プレス取材班

AWAKENING[ハンナレーナ・ヘイ  
 スカ] 6.9—9.9 エスパス ル  
 イ・ヴィトン東京  
 読売夕刊 8.2 (井)

(ホ)

ホー・ツニーエン(何子彦) MAM  
 PROJECT 016 2.4—5.27 森  
 美術館  
 美術手帖 965 ダリル・ウィー  
 /BT 訳

法貴信也 1.20—2.25 タカ・イン  
 イギャラリー京都  
 美術手帖 964 清水穰

星展展 地平線の彼方II 7.6—7.  
 17 マキイマサルファインアーツ  
 水墨画\* 282

星澤美喜子 染織作品展 3.28—  
 4.3 西武(池袋)

新美術新聞 1276  
**Eikoh Hosoe Photo Exhibition 細江英公写真展** 1.6—5.13 BLDギャラリー  
 日経 2.9 平野啓一郎  
**細川護熙展 陶板・漆・板画など** 3.24—4.1 ぎやらりい思文閣  
**フェリクス・ホフマン絵本原画展 父から子への贈りもの** 7.20—8.26 教文館ウエンライトホール 東京 7.31 小林由比  
**松江藩士の息子画家になる。孫写真家になる。—ニューヨーク、野口英世の親友堀市郎とその父樺山—** 3.20—5.6 松江歴史館  
**堀研展** 9.7—11.5 八千代の丘美術館  
 新美術新聞 1290  
**堀文子 命の不思議** 4.14—5.27 長野県信濃美術館  
**水から生まれる絵 堀井英男の版画と水彩** 11.3—1.20 茨城県近代美術館(八王子市夢美術館)  
**川瀬表完(漆)・堀尾泰彦(陶)二人展** 10.10—10.16 高島屋(日本橋)  
**堀木エリ子展—和紙から生まれる祈り—** 5.10—5.20 スパイラルガーデン  
 産経 5.1 喜多由浩  
**幻のモダニスト 写真家堀野正雄の世界** 3.6—5.6 東京都写真美術館  
 朝日夕刊 3.14 西岡一正  
 日経 4.4 窪田直子  
**ジャクソン・ポロック 生誕100年** 2.10—5.6 東京国立近代美術館(愛知県美術館)  
 AXIS 157 暮沢剛巳  
 新美術新聞 1270 中林和雄  
 美術屋・百兵衛 20  
 朝日夕刊 3.21 大西若人  
 産経 3.25 渋谷和彦  
 東京夕刊 2.24 古谷利裕  
 日経 4.12 平野啓一郎  
 読売 2.9 大島徹也  
 読売 3.15 藤枝晃雄  
 読売夕刊 3.19 石井竜也、真野響子 対談  
 読売夕刊 3.19 中林和雄

読売夕刊 4.14 ヨミウリ・ジュニア・プレス班  
**本郷寛彫刻展 こころとかたち** 9.12—9.18 高島屋(日本橋)  
 美術の窓 348 高山淳  
**本城直季写真展 diorama** 6.5—8.5 写大ギャラリー  
 朝日夕刊 6.2 大西若人  
**本田榮子展** 11.12—11.17 巷房  
 版画芸術 157  
**本田義夫展** 1.28—2.19 北九州市立美術館  
**洋画家尼谷良と日本画家本間秀岳** 8.24—9.23 天童市美術館

(マ)

**自然線人工線 眞板雅文** 2.5—3.20 美濃加茂市民ミュージアム  
 REAR 28 浅野泰子  
**前田昭博 白瓷譜2012** 7.4—7.10 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1284  
 毎日夕刊 7.5 桐山正寿  
**間島秀徳展「KINESIS—時空の基軸」** 7.5—7.11 キッドアイラックアートホール  
**升たか展** 10.27—11.18 gallery サラ  
 陶説 717 梅田稔  
**絵画、それを愛と呼ぶことにしよう vol.7 増田佳江** 12.1—1.12 ギャラリーαM  
 芸術新潮 758  
**増田常德展 不在の表象** 9.13—9.25 紀伊國屋画廊  
 新美術新聞 1290  
**増田誠 パリー—人生の哀歎** 7.14—9.23 山梨県立美術館  
 新美術新聞 1286  
 東京夕刊 7.2 藤田一人  
**秋げしき 増丸義和作品展** 11.21—11.25 紅椿それいゆ  
 新美術新聞 1297  
**増村益城 人間国宝 漆を極める** 11.17—12.27 千葉県立美術館  
**榎本佳子個展** 4.14—5.13 Gallery Jin  
 読売夕刊 4.21  
**増山修 個展** 2.9—2.14 MAG

南森町アートギャラリー  
 ギャラリー\* 322  
**増山修 個展** 2.20—3.2 木ノ葉画廊  
 ギャラリー\* 322  
**AM倉敷 vol.9 松井えり菜 サンライズえり菜〜大原美術館をおもち箱〜** 1.1—4.8 大原美術館  
 毎日夕刊 3.26 岸桂子  
**松井秋華個展 希望への時** 8.5—8.11 東京交通会館  
 新美術新聞 1287  
**松井妙子染色画展** 5.16—5.22 松坂屋(静岡)  
 新美術新聞 1279  
**松江泰治展 世界・表層・時間** 8.5—12.25 IZU PHOTO MUSEUM  
 朝日夕刊 8.22 西岡一正  
**松岡亮 終るといふ事を知っている** 11.12—12.31 Block House  
 ギャラリー\* 333 小金沢智  
**Animals[ライオン・マギンレー]** 8.31—10.1 8/ART GALLERY/Tomio Koyama Gallery  
 芸術新潮 755  
**Reach Out, I'm Right Here[ライオン・マギンレー]** 9.1—9.29 小山登美夫ギャラリー  
 芸術新潮 755  
**松崎綾子展** 11.5—11.17 十一月画廊  
 新美術新聞 1295  
**松崎健 陶芸展** 12.5—12.11 阪急(梅田)  
 新美術新聞 1298  
**松田隆作 吉川正道展** 7.8—9.23 瀬戸市新世紀工芸館  
 陶説 714 井上隆生  
**松谷武判展 '50年代から今日まで** 7.2—7.14 椿近代画廊  
 ギャラリー\* 327  
 新美術新聞 1284  
**松村公嗣展—四季のきらめき—** 6.10—8.5 奈良県立万葉文化館  
 新美術新聞 1283  
**松村浩之展** 7.5—7.10 紀伊國屋画廊  
 新美術新聞 1284

松村浩之油絵展 12.12—12.18 三越(日本橋)  
新美術新聞 1299

松本竣介 生誕100年 4.14—5.27  
岩手県立美術館(宮城県美術館、島根県立美術館)  
新美術新聞 1279 大野正勝  
毎日夕刊 5.17 岸桂子  
読売 5.3 高野清見

松本竣介 生誕100年 6.9—7.22  
神奈川県立近代美術館(葉山)(宮城県美術館、島根県立美術館)  
朝日夕刊 7.4 増田愛子  
産経 7.8 渋谷和彦  
東京 7.6 児島やよい  
日経 7.6 窪田直子

松本竣介 生誕100年 11.23—1.14  
世田谷美術館(宮城県美術館、島根県立美術館)  
新美術新聞 1299  
朝日夕刊 12.26 牧野祥

白屋夢 松本俊夫の世界 9.8—11.17  
町立久万美術館

松本勝展 11.7—11.13 高島屋(横浜)  
新美術新聞 1296

松本陽子新作品展 1.10—2.4 Hino Gallery  
ギャラリー\* 321

SLASH/07 一できるだけ遠くをみる— KAYOKOYUKI 企画[真部知胤]  
4.7—4.29 nap gallery  
ギャラリー\* 325 小金沢智

間部時雄の世界展 6.9—7.22 東御市梅野記念絵画館  
新美術新聞 1283

MAYA MAXX 展 神、佛たち 7.7—8.19  
何必館京都現代美術館  
新美術新聞 1287

丸木俊 人間を描く 生誕100年 2.11—5.19  
原爆の図丸木美術館  
読売 5.1

丸木俊 生誕100年記念 10.6—11.25  
一宮市三岸節子記念美術館

丸田隆則油絵展 11.28—2.8 八十二銀行昭和通営業部ロビー  
新美術新聞 1301

水彩画家 丸山晚霞 日本水彩画会

創立100周年記念 9.9—10.28  
丸山晚霞記念館

丸山雅秋新作品展 10.22—11.2  
ギャラリー川船  
新美術新聞 1294

ジーン・マン展 言葉の彼方 12.4—12.21  
小出由紀子事務所  
芸術新潮 758

万代進展 =北の大地・1962年の記憶=  
11.12—11.17 シロタ画廊  
新美術新聞 1296

マン・レイの京都2012年 12.4—12.16  
ギャラリーマロニエ(京都)

(ミ)

ヘレン・ファン・ミーネ Dogs and Girls  
2.10—3.31 ギャラリー小柳  
芸術新潮 748  
美術手帖 965 林央子

三浦篤正展 11.12—11.24 ウェストベスギャラリーコヅカ(名古屋)  
REAR 29 日沖隆

三浦景生展3回 5.4—5.16  
ギャラリー田澤(河原町)  
新美術新聞 1279

三浦裕子展 5.21—5.27 銀座ギャラリーあづま  
新美術新聞 1280  
美術の窓 345 ワシオ・トシヒコ

三上景子展 7.13—7.21 乙画廊  
版画芸術 156

三上誠 我が友 10.6—11.11  
浜田市立石正美術館  
新美術新聞 1295

三岸黄太郎展 ふたりのミギシコウ  
タロウと節子と 5.12—6.24  
一宮市三岸節子記念美術館(北海道立三好太郎美術館)  
美術屋・百兵衛 21

三岸節子 花展 4.11—4.28 高輪画廊  
新美術新聞 1278

三嶋りつ恵 ドルチェヴィータ  
5.14—5.27 ぎやらりい思文閣

ミズテツオ展 50枚のフラッグ

平成24年美術展覧会(作マ、ミ)

7.23—8.25 四季彩舎  
ギャラリー\* 328

みずこしふみ個展—todos días camaleões—  
8.6—8.11 gallery Kanon  
ギャラリー\* 328

水野竜生展 vol.8 BEAUTIFUL SUNRISE  
—太陽がいっぱい— 10.6—10.20  
ギャラリー桜の木(銀座)  
新美術新聞 1292

三瀬夏之介展 空虚五度—open fifth—  
5.30—6.11 高島屋(新宿)(高島屋(日本橋))  
新美術新聞 1281  
東京夕刊 6.8 藤田一人

見附正康+和田均展 11.30—12.24  
市之倉さかづき美術館・ギャラリー一宙  
陶説 719 井上隆生

水戸岡鋭治の鉄道デザイン 駅弁から新幹線まで  
7.7—9.30 水戸芸術館  
朝日夕刊 8.15 岩本恵美  
毎日夕刊 8.6 永田晶子  
読売 7.12 井上晋治

港信夫展 はじまりはレンブラント  
11.21—11.27 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 1297

ミナペルホネン+百草「つくりの回生II」  
4.21—5.6 ギャルリももぐさ  
芸術新潮 750

南野馨展 9.10—9.15 ギャラリー白  
陶説 716 小吹隆生

峯田義郎展 11.19—12.1 ギャラリーせいほう  
美術の窓 350 小森佳代子

三原捷宏 近作展 11.15—11.21  
福屋(広島)  
美術の窓 352 道面雅量

三原研の拓器 心を映すやきもの  
9.22—11.28 兵庫陶芸美術館  
陶説 717 井上隆生

三原研展 鼓動 10.31—11.6  
高島屋(京都)(高島屋(大阪))  
陶説 718 梅田稔

宮迫千鶴 ワクワク描いた人生の午

後 3.31—6.26 池田20世紀美術館  
 宮下善爾彩陶展—時空のいろどり—  
 3.28—4.3 高島屋(京都)  
 陶説 710 梅田稔  
 宮田為義展 7.2—7.30 紅椿それ  
 いゆ  
 新美術新聞 1284  
 宮永愛子 なかそら 10.13—12.24  
 国立国際美術館  
 芸術新潮 757  
 美術手帖 979 朝吹真理子  
 清水康友企画 星彩展[宮西寛人]  
 3.29—4.4 ギャラリー絵夢  
 新美術新聞 1276  
 宮原麗子 むつ美 二人展 9.5—  
 9.10 茅野市美術館市民ギャラリー  
 美術の窓 348 ワシオ・トシヒ  
 コ  
 同時代の二人—向井潤吉と宮本三郎  
 4.3—7.29 世田谷美術館分館宮  
 本三郎記念美術館  
 朝日夕刊 6.13 杉森美絵  
 宮本三郎のデッサン教室 12.11—  
 3.20 世田谷美術館分館宮本三郎  
 記念美術館  
 新美術新聞 1302  
 宮脇愛子 50s~70s 6.25—7.7  
 ギャラリーせいほう/ときの忘れ  
 もの  
 新美術新聞 1284  
 毎日夕刊 7.3 岸桂子  
 越前 三好建太郎作陶展 1.18—  
 1.24 高島屋(京都)  
 陶説 708 梅田稔  
 コローからミロへ 開館記念展[ジ  
 ョアン・ミロ] 3.31—4.14  
 NUKAGA GALLERY  
 三輪美津子「色と重力 Color and  
 Gravity」 7.19—9.23 1223現代  
 絵画  
 東京夕刊 8.1 中村英樹  
 三輪良平回顧展 9.9—12.16 近江  
 商人博物館

(ム)

同時代の二人—向井潤吉と宮本三郎  
 4.3—7.29 世田谷美術館分館宮

本三郎記念美術館  
 朝日夕刊 6.13 杉森美絵  
 向原常美の世界 4.10—4.15 青梅  
 市立美術館(澤乃井ガーデンギャ  
 ラリー)  
 新美術新聞 1277  
 水墨画\* 279  
 毎日 3.15 横井信洋  
 向吉悠睦 木彫展 12.12—12.18  
 三越(日本橋)(三越(大阪))  
 新美術新聞 1299  
 この道より—特集・武者小路実篤—  
 8.1—8.13 ぎやらりい思文閣  
 棟方志功の装幀本 3.20—5.6 熊  
 本国際民芸館  
 目の眼 428  
 東北の工芸と棟方志功 4.3—6.10  
 日本民芸館(豊田市民芸館)  
 目の眼 428  
 日経 5.9 宝玉正彦  
 川上澄生と棟方志功 日本版ルソー  
 とゴッホの対決 10.6—1.14 川  
 上澄生美術館  
 宗國仙嬌 墨彩と素描~Vol. 2  
 11.30—12.11 マキイマサルファ  
 インアーツ  
 水墨画\* 287  
 人間国宝三人 岐阜、染と織の匠た  
 ち 山田貢、宗廣力三、土屋順紀  
 9.21—11.4 岐阜県博物館  
 村井進吾 黒体2011 1.10—1.28  
 ギャラリー東京ユマニテ  
 毎日夕刊 1.17 岸桂子  
 村上綾展 Momentary Landscapes  
 3.25—4.22 ギャラリーM  
 ギャラリー\* 324  
 REAR 28 宮永郁恵  
 村上華岳展 開館30周年記念  
 4.28—6.10 何必館京都現代美術  
 館  
 新美術新聞 1280  
 目の眼 429 梶川芳友  
 村上肥出夫展 6.13—8.31 兜屋画  
 廊  
 新美術新聞 1282  
 遊 村上豊 5.19—5.28 和光ホー  
 ル  
 東京夕刊 4.25  
 村木千里展 9.24—9.29 ギャラリー

ームサン  
 新美術新聞 1291  
 村田林蔵水彩画展 9.11—9.28 孔  
 雀画廊  
 新美術新聞 1290  
 すべての僕が沸騰する 村山知義の  
 宇宙 2.11—3.25 神奈川県立近  
 代美術館(葉山)(京都国立近代美  
 術館、高松市美術館)  
 美術手帖 967 足立元  
 朝日夕刊 2.29 大西若人  
 日経 2.29 窪田直子  
 毎日 3.13 岸桂子  
 読売 3.8 高野清見  
 すべての僕が沸騰する 村山知義の  
 宇宙 7.14—9.2 世田谷美術館  
 (京都国立近代美術館、高松市美  
 術館)  
 新美術新聞 1286  
 文承根 MOON SEUNG-KEUN —  
 終わりなき反復— 6.8—6.28  
 中長小西

(モ)

毛利悠子 サーカス ブルームパー  
 グ・パヴィリオン・プロジェクト  
 第6弾 5.19—6.17 東京都現  
 代美術館  
 美術手帖 971 五所純子  
 iwate コンテンポラリーアート 舞  
 良雅子—素材から見えるもの—  
 11.23—2.24 萬鉄五郎記念美術  
 館  
 世界の切り取り方—縦長か横長か、  
 それが問題だ— コレクション×  
 フォーマットの画家 母袋俊也  
 12.1—1.27 青梅市立美術館  
 東京 12.25  
 本橋成一写真展 屠場[とば] 6.6  
 —6.19 ニコンサロン(銀座)(ニ  
 コンサロン(大阪))  
 東京 6.8  
 毎日夕刊 6.14 手塚さや香  
 本橋成一写真展 屠場[とば] 11.  
 23—1.19 原爆の因丸木美術館  
 (ニコンサロン(大阪))  
 朝日夕刊 12.19 西岡一正  
 ゲンパツイラナイ[本橋成一] 9.22  
 —10.21 汐花



東京 9.29 竹上順子  
**本宮健史 伝達の扉～実在と夢の往還～** 4.3—4.21 GALLERY エクリュの森  
 ギャラリー\* 324  
**マシュー・モナハン “哀れみの襲来”** 11.16—12.22 カイカイキキギャラリー  
 芸術新潮 757  
**萩井基充展** 9.1—9.28 NORTON GALLERY  
 新美術新聞 1289  
**守章『終日中継局』** 11.11—12.11 代官山 AIT ルーム  
 日経夕刊 11.27 富田律之  
**森正陶展 歓喜する造形・50年の軌跡** 7.14—8.26 パラミタミュージアム  
 陶説 714 井上隆生  
**森正陶展 あらたな造形を求めて** 10.2—10.13 橋本美術  
 陶説 717 井上隆生  
**森務個展** 8.26—9.1 東京交通会館  
 新美術新聞 1288  
**Mion Mori Exhibition Chocolate Cake[守美音]** 4.16—4.21 永井画廊  
 産経 4.18 渡沢和彦  
**森井荷十コレクション22** 1.8—2.14 練馬区立美術館  
 朝日夕刊 2.1 西岡一正  
**森岡完介版画展—熊野シリーズ—** 4.11—4.20 ギャラリー彩  
 REAR 28 村田真宏  
**Family 四人展[森田卓司/森田茉莉]** 4.25—4.30 画廊宮坂  
 新美術新聞 1278  
**森田洋美新作油彩画展** 7.9—7.20 77gallery  
 新美術新聞 1284  
**森野真弓展 WATER MARK XIX** 12.13—12.25 紀伊国屋画廊  
 版画芸術 158  
**森村泰昌モリエナーレ まねぶ美術史** 4.7—6.10 静岡市美術館(岩手県立美術館、北九州市美術館分館、高岡市美術館、高松市美術館)

ギャラリー\* 324  
 美術手帖 965 杉瀬由希  
**芸術家Mの舞台裏 福永一夫が撮った『森村泰昌』** 4.14—5.24 B GALLERY(ビームス阿倍野、ビームスウエスト)  
 読売夕刊 5.12  
**森村玲展** 10.12—10.21 ザ・トルマンコレクション  
 版画芸術 157  
**森本清彦 異視界展 異色風刺&象世界!** 10.18—10.28 LIVE ART GALLERY すとれんじふるうつ  
 東京 10.2 加藤木信夫  
**森本純 日本画展** 10.11—10.20 春風洞画廊  
 新美術新聞 1293  
**守屋多々志の世界 生誕100年記念展** 9.15—10.21 大垣市サイトピアセンターアートギャラリー/大垣市守屋多々志美術館  
 新美術新聞 1291 古田麻美  
**森脇正人 日本画展 静かなる鼓動** 5.30—6.5 松坂屋(名古屋)  
 新美術新聞 1281  
 美術の窓 345 編集部  
 (ヤ)  
**八木正夫展** 7.16—7.22 ギャラリー一八重洲・東京  
 新美術新聞 1285  
**八木マリヨ「The Planet Earth & earth —地球惑星にすれば…」** 11.3—12.9 ポーラミュージアム アネックス  
 新美術新聞 1297  
**矢島操×いしいしんじ「巡る春 明日のトビラ」** 3.24—4.4 うつわやあ花音  
 陶説 712 釣真一  
**安田佐智種 AERIAL** 1.13—2.29 ベイスギャラリー  
 朝日夕刊 1.18 大西若人  
**安村崇「1/1」** 5.13—6.10 MISA-KO & ROSEN  
 美術手帖 971 北澤ひろみ  
 毎日夕刊 6.5 岸桂子  
**弥富節子展** 12.12—12.18 高島屋

平成24年美術展覧会(作モ、ヤ)

(日本橋)  
 新美術新聞 1299  
 美術の窓 351 編集部  
**柳川貴司彫刻展** 5.28—6.9 ギャラリー志門  
**柳幸典 Study for American Art** 5.26—6.30 ミヤケファインアート  
 読売夕刊 6.18 (井)  
**悠久の大地 柳沢正人展～古代文明と大自然のドラマを描く～** 6.13—9.11 成川美術館  
 新美術新聞 1283  
**柳沢正人展** 10.13—11.11 佐久市立近代美術館  
 新美術新聞 1294  
**柳原睦夫—開く形— 喜寿記念** 4.18—4.24 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、京都、名古屋))  
 毎日夕刊 4.17 岸桂子  
**籾内佐斗司 彫刻展** 5.2—5.8 三越(日本橋)(三越(福岡、仙台))  
 新美術新聞 1279  
**山内滋夫展** 9.26—10.2 高島屋(日本橋)(高島屋(名古屋、大阪))  
 ギャラリー\* 329  
 新美術新聞 1292  
**やまうちまさる展** 10.20—11.3 なるせ美術座  
 版画芸術 157  
**山内瑠璃子作陶展** 11.12—11.18 新井画廊  
 新美術新聞 1296  
**「行きつ戻りつ つくり つくられること」 佐野陽一・久村卓・山極満博** 1.12—2.12 NADiff a/p/a/r/t  
 芸術新潮 747  
**山口晃展 望郷 TOKIORE(I) MIX** 2.11—5.13 メゾンエルメス  
 美術手帖 969 ダリル・ウィー  
 美術の窓 343  
 朝日夕刊 5.2 大西若人  
 産経 3.28 篠原知存  
 読売夕刊 4.16 (清)  
**山口華楊** 9.15—10.21 笠岡市立竹喬美術館(京都国立近代美術館)  
**山口長男の世界** 11.8—12.24 鹿児島市立美術館

ギャラリー\* 331  
**山口正継油絵展** 12.23—12.29 東京交通会館  
 新美術新聞 1299  
**油彩三人展[山口美佐子]** 3.6—3.11 東京銀座画廊美術館  
 美術の窓 344 高山淳  
**ひかり・くうかん・じっけんしつ**  
 [山口レイコ] 8.14—9.2 NTT  
 インターコミュニケーション・センター  
 朝日夕刊 8.29 西岡一正  
**山崎幹雄 水彩画展** 4.9—4.12  
 栃木県総合文化センター  
 新美術新聞 1277  
**山下清展 生誕90周年記念** 12.27—1.14 三越(日本橋)  
 読売 12.26 山下浩  
**山下了是 退任記念 染織作品展**  
 報 11.20—12.2 東京芸術大学  
 大学美術館陳列館  
**山城知佳子 MAM PROJECT 018**  
 11.17—3.31 森アーツセンター  
 ギャラリー  
 美術手帖 977 土屋誠一  
**磁器の表現—青・赤・白— 加藤委**  
**山田晶 和田的** 9.1—9.10  
 和光ホール  
 陶説 715 唐澤昌宏  
**山田純嗣展「絵画をめぐる 死んで**  
**いるのか、生きているのか」**  
 11.5—12.8 不忍画廊  
 水墨画\* 287  
 美術手帖 977 藤原えみり  
**三代山田常山—人間国宝、その陶芸**  
**と心** 1.7—2.19 出光美術館  
 陶説 709 外館和子  
 朝日夕刊 2.1  
 日経 1.18 小川敦生  
**山田展也個展** 11.19—11.24 銀座  
 スルガ台画廊  
 美術の窓 350 編集部  
**人間国宝三人 岐阜、染と織の匠たち**  
**山田貢、宗廣力三、土屋順紀**  
 9.21—11.4 岐阜県博物館  
**山田夕香個展 ～PARISの空の下**  
**で～** 3.6—3.12 プランタン銀座  
 ギャラリー\* 323

**山高登 木版展—鉄道のある風景—**  
 4.12—4.21 瞬生画廊  
 ギャラリー\* 324  
**山寺重子展** 9.28—10.7 Gallery  
 ジ・アース  
 新美術新聞 1292  
**山中現展** 9.10—9.22 シロタ画廊  
 版画芸術 157  
**山根須磨子展—ミクスト・メディア**  
**による—** 9.4—9.9 アートギャ  
 ラリー博宝堂  
 新美術新聞 1289  
**山野千里展 ジングル短編** 12.1—12.22  
 アートコートギャラリー  
 陶説 719 小吹隆文  
**山村博男 油彩展** 10.24—10.30  
 松坂屋(名古屋)  
 美術の窓 349 瀧梯三  
**iwate コンテンポラリーアート ラ**  
**ンドスケープアート 大地の語り**  
**部 山本英二—地形は語る TO-**  
**WAの城郭** 6.30—8.26 萬鉄五  
 郎記念美術館  
**山本一恵展** 8.15—8.21 高島屋  
 (横浜)  
 新美術新聞 1288  
**山本圭輔 Brown Sculptures** 11.17—12.15  
 小山登美夫ギャラリー  
 芸術新潮 757  
**山本隆博 むりもの** 10.25—10.30  
 ギャラリー日日  
 東京 10.26 野呂法夫  
**山本糾 光・水・電気** 1.7—4.8  
 豊田市美術館  
 ギャラリー\* 321  
 REAR 28 山本和弘  
 朝日夕刊 2.15 西岡一正  
**アートフェア東京2012 日動画廊**  
**[山本大貴]** 3.30—4.1 東京国  
 際フォーラム  
 芸術新潮 748  
**山本文彦展** 11.28—12.4 三越(日  
 本橋)  
 新美術新聞 1298  
 美術の窓 351 高山淳  
**備前 山本雄一作陶展 喜寿記念**  
 8.22—8.28 三越(名古屋) (三  
 越(日本橋))

陶説 716 井上隆生

(ユ)

**劉賢展 画廊からの発言 新世代への**  
**視点2012[ユ・ヒョン]** 7.23—8.4  
 ギャラリーK  
 新美術新聞 1286  
 水墨画\* 282  
**湯川隆展 2006—2012** 4.16—4.28  
 ギャラリーせいほう  
 新美術新聞 1277  
**行近壯之助展—引カ—** 9.24—10.4  
 羽黒洞  
 ギャラリー\* 331 ワシオ・トシ  
 ヒコ  
**柚木沙弥郎 村山亜土作『夜の絵』と**  
**ともに** 4.7—6.10 神奈川県立  
 近代美術館(鎌倉別館)  
 芸術新潮 750  
 朝日夕刊 5.16 中村さやか  
 毎日夕刊 5.29 岸桂子  
**夢眠ねむ コズミックメロンソーダ**  
**マジッククラブ展** 12.8—12.15  
 BT gallery  
 美術手帖 980 石井芳征  
**寺尾勝彦・新木友行・湯元光男 ア**  
**トリエンカーブ3人展** 9.14—9.23  
 東京オペラシティアート  
 ギャラリー  
 芸術新潮 755  
 朝日夕刊 9.19 大西若人  
 東京夕刊 9.12 (森)  
**湯山俊久油絵展** 7.25—7.31 三越  
 (日本橋)  
 新美術新聞 1286  
**AWAKENING[ペッカ・ユルハ]**  
 6.9—9.9 エスパス ルイ・ヴィ  
 トン東京  
 読売夕刊 8.2 (井)  
**弓手研平 油絵展～不器用な個性～**  
 10.29—11.4 至峰堂画廊(大阪)  
 (至峰堂画廊(銀座))  
 新美術新聞 1294  
 美術の窓 350 編集部  
 (ヨ)

**姚小全展** 4.18—4.26 タチカワプ  
 ラインド銀座スペース オッテ  
 水墨画\* 280

明治時代の錦絵一周延が描いた江戸  
—[楊洲周延] 2.11—4.15 福生  
市郷土資料室  
東京 2.19

楊洲周延展 明治美人風俗 没後百  
年 9.1—10.28 平木浮世絵美術  
館  
版画芸術 157

横尾忠則 初のブックデザイン展  
11.1—11.27 ギンザ・グラフィ  
ック・ギャラリー  
芸術新潮 757  
東京夕刊 11.19 横尾忠則 談  
／岩岡千景 構成

横尾忠則 反反復復反復 開館記念  
展1 11.3—2.17 横尾忠則現代  
美術館  
毎日夕刊 12.5 岸桂子

私の女人源氏と帯アート展[横前裕  
子] 8.1—8.8 ギャラリー杜  
新美術新聞 1287

横山大観 VS 竹内栖鳳 3.1—5.31  
足立美術館  
水墨画\* 276

横山大観展 開館15周年記念  
9.16—10.14 宇都宮美術館  
水墨画\* 282  
産経 9.16 洪沢和彦

横山隆雄木版画展—朱と緑に魅せら  
れて— 8.29—9.2 はつかいち  
美術ギャラリー  
新美術新聞 1288

吉岡まさみ展「秘密の記憶」 5.7—  
5.12 steps gallery／ギャラリー  
58  
ギャラリー\* 325

吉川民仁展「背景としてあるもの」  
1.28—3.18 鎌倉画廊  
ギャラリー\* 322  
ギャラリー\* 323

吉川正道展 4.11—4.17 高島屋  
(名古屋)  
陶説 712 井上隆生

松田隆作 吉川正道展 7.8—9.23  
瀬戸市新世紀工芸館  
陶説 714 井上隆生

吉崎道治個展 12.5—12.14 せん  
たあ画廊  
新美術新聞 1298

吉田敦彦展 6.25—6.30 シロタ画  
廊  
新美術新聞 1283

吉田淳治展 絵画風景 11.26—  
12.8 始弘画廊  
新美術新聞 1298

吉田多最日本画展 11.1—11.30  
沼津御用邸記念公園西附属邸  
新美術新聞 1295

吉田美統陶芸展 傘寿 時計塔80  
周年記念 10.13—10.22 和光ホ  
ール  
新美術新聞 1292

吉田康弘油彩展 Version IV 北の気  
流と… 12.3—12.9 ギャラリー  
ミハラヤ  
新美術新聞 1298

ハレノ日ノ幸セイロー吉田幸央・吉  
田るみこ 1.11—1.24 KOGEI  
現代工芸アートフェア・ギャラリ  
ー  
陶説 709 外館和子

吉田喜彦展 12.13—12.19 丸栄  
(名古屋)  
陶説 719 井上隆生

吉野純展 私のロマネスク 10.10  
—10.20 ギャラリームサン  
新美術新聞 1292

清水晃・吉野辰海 漆黒の彼方／犬  
の行方 2.11—3.25 埼玉県立近  
代美術館  
新美術新聞 1272 平野到  
朝日夕刊 3.14 大西若人  
毎日夕刊 3.6 岸桂子  
毎日夕刊 9.12 三田晴夫  
読売夕刊 2.27 (井)

好宮佐知子展 十二ヶ月 10.5—  
10.14 Kaede Gallery+full moon  
ギャラリー\* 330

吉村周子絵画展 7.19—7.31 たま  
しんギャラリー  
新美術新聞 1286

吉村年代展 7.25—7.31 高島屋  
(日本橋)  
新美術新聞 1286

吉本直子・久保健史・浅田暢夫 現  
代郷土作家 9.13—10.21 姫路  
市立美術館  
新美術新聞 1289

依田洋一朗展 記憶のドラマ 40歳  
の画家が描くニューヨーク40年  
の追憶 8.25—10.21 三鷹市美  
術ギャラリー  
新美術新聞 1289  
読売夕刊 10.1 (井)

依田洋一朗 “Breakfast is Important”  
9.3—10.13 南天子画廊  
読売夕刊 10.1 (井)

はやくゴミになりたい[淀川テクニ  
ック] 6.16—7.8 ARTZONE  
瓜生通信 56 李生美

寄神宗美展～陶～Twins 9.18—  
9.30 ギャラリーマロニエ  
陶説 716 梅田稔

寄藤文平の夏の一研究 9.3—9.29  
ギンザ・グラフィック・ギャラリ  
ー  
芸術新潮 755

## (ラ)

ダム・ダン・ライ Color Explosion  
—色彩爆発— 6.30—11.4 札幌  
芸術の森美術館

Storyteller—識る単位—[ロッセ・ラ  
イオン] 11.3—12.16 国際芸術  
センター青森  
ギャラリー\* 332

ロッセ・ライオン個展「Drift」 11.  
24—12.22 青山 | 目黒  
ギャラリー\* 332

ロッセ・ライオン 20books 11.27  
—12.23 NADiff window Gallery  
ギャラリー\* 332

吉左衛門 X 暗闇の音 静寂の光[樂  
吉左衛門] 9.29—4.7 佐川美術  
館  
芸術新潮 755  
美術屋・百兵衛 24

十五代 樂吉左衛門展「フランスで  
の作陶」—Loubignacの丘で—  
12.26—1.8 三越(日本橋)  
新美術新聞 1299  
陶説 720 唐澤昌宏

楽山正幸展 スペイン・ポルトガル  
と… 11.4—11.10 ギャラリー  
ムサン  
新美術新聞 1295

ラッセン展[クリスチャン・リース

平成24年美術展覧会(作ラ〜フ)

・ラッセン] 8.1—8.25 CASHI  
ギャラリー\* 329 名古屋覚  
美術手帖 974 千葉雅也  
バルビエ×ラブルール展 鹿島茂コ  
レクション2 [ジャン=エミール  
・ラブルール] 4.8—6.3 練馬  
区立美術館  
新美術新聞 1278  
読売 5.24 高野清見

(リ)

リー・ミンウェイ [李明維] 澄・徹  
8.28—10.21 資生堂ギャラリー  
美術手帖 975 岡部あおみ  
朝日夕刊 9.19 西岡一正  
東京夕刊 9.7 岡部あおみ  
毎日夕刊 9.18 岸桂子

バーナード・リーチ 作陶100年記  
念 6.19—8.26 日本民藝館  
目の眼 431

朝日夕刊 7.11 神谷実里  
バーナード・リーチ 生誕125年  
東と西の出会い 8.29—9.10 高  
島屋(日本橋)(高島屋(横浜、大阪、  
京都))  
朝日 8.25 乾由明  
産経 8.3

New Strip Paintings and 8 Glass  
Panels [ゲルハルト・リヒター]  
12.8—1.26 ワコウ・ワークス・  
オブ・アート  
芸術新潮 758

デヴィット・リンチ展 6.27—7.23  
8/ART GALLERY/Tomio Koyama  
Gallery  
芸術新潮 753

デヴィット・リンチ展〜暴力と静寂  
に棲むカオス 11.10—12.2 ラ  
フォーレミュージアム原宿  
美術手帖 975 岡澤浩太郎

(ル)

ジョルジュ・ルオー 名画の謎  
4.7—6.24 パナソニック汐留ミ  
ュージアム  
朝日夕刊 4.25 山田絵理佳  
アンリ・ル・シダネル展 薔薇と光  
の画家—フランス ジェルプロワ  
の風— 4.14—7.1 損保ジャパ

ン東郷青児美術館  
朝日夕刊 5.3 神谷実里  
ルドゥーテの『バラ図譜』展 [ピエー  
ル・ジョセフ・ルドゥーテ] 6.6  
—6.25 上野の森美術館  
新美術新聞 1282  
産経 6.7

ルドンとその周辺 夢見る世紀末  
グラン・ブーケ収蔵記念 [オディ  
ロン・ルドン] 1.17—3.4 三菱  
一号館美術館  
東京 1.16 安井裕雄  
東京夕刊 1.31 中林忠良  
東京夕刊 2.1 喜多崎親  
日経 2.22 宝玉正彦

(レ)

レーピン ロシア近代絵画の頂点  
国立トレチャコフ美術館所蔵 [イ  
リヤ・レーピン] 8.4—10.8  
Bunkamura ザ・ミュージアム(浜  
松市美術館、姫路市立美術館、神  
奈川県立近代美術館(葉山))  
新美術新聞 1290  
産経 9.9 黒沢綾子  
東京夕刊 8.24 宮下規久朗  
日経 9.26 宝玉正彦  
読売 9.27 高野清見

レオ・レオニ 絵本のしごと 12.6  
—12.27 美術館「えき」KYOTO  
(Bunkamura ザ・ミュージアム、  
北九州市立美術館分館、刈谷市美  
術館、宇都宮美術館)

ゲルダ・シュタイナー&ヨルク・レ  
ンツリンガー—力が生まれるとこ  
ろ 2.11—5.6 水戸芸術館現代  
美術ギャラリー  
芸術新潮 748  
美術手帖 967 北出智恵子  
朝日夕刊 4.4 大西若人  
東京夕刊 4.2 岡部あおみ  
毎日 3.13 三田晴夫  
読売 4.26 高野清見

(ロ)

ディーター・ロート 4.16—7.13  
Fuji Xerox Art Space  
マリー・ローランサンと東郷青児  
4.28—6.24 山梨県立美術館

手の痕跡 国立西洋美術館所蔵作品  
を中心としたロダンとブールデル  
の彫刻と素描 [オーギュスト・ロ  
ダン] 11.3—1.27 国立西洋美  
術館

新美術新聞 1298 大屋美那  
ユベール・ロベール—時間の庭—  
3.6—5.20 国立西洋美術館(福岡  
市美術館、静岡県立美術館)  
芸術新潮 749  
東京 3.5  
日経 3.21 小川敦生  
読売 4.19 井上晋治

(ワ)

磁器の表現—青・赤・白— 加藤委  
山田晶 和田的 9.1—9.10  
和光ホール

陶説 715 唐澤昌宏  
見附正康+和田均展 11.30—12.24  
市之倉さかづき美術館・ギャラリ  
ー宙  
陶説 719 井上隆生

和田雄之助彫刻展 6.19—7.1 ギ  
ャラリー遊(赤羽)  
新美術新聞 1282

和田義郎 油絵展 5.9—5.15 松  
坂屋(上野)  
新美術新聞 1279

渡辺おさむ OHARA—DECO 4.10  
—6.17 大原美術館  
産経 4.18 渋谷和彦

渡辺おさむ お菓子の美術館 清須  
市誕生7周年 7.7—9.30 清須  
市はるひ美術館  
ギャラリー\* 327  
REAR 29 柳沢秀行

渡辺玄一作品展 5.21—5.26 永井  
画廊  
新美術新聞 1280

COSMIC TRAVELERS—TOWARD  
THE UNKNOWN [渡辺豪] 1.21  
—5.6 エスパス ルイ・ヴィト  
ン東京

美術手帖 965 能勢陽子  
読売夕刊 2.2 (井)  
渡邊晃一個展「龍脈」 3.7—3.25  
Zen Foto Gallery  
ギャラリー\* 323

渡邊光彩 装芸画展 6.19—6.24  
石川国際交流サロン  
新美術新聞 1282

渡邊順子展 11.19—11.24 ギャラリー椿  
新美術新聞 1297

渡辺豊重 ドローイング展 6.25—7.7  
ギャラリー福山  
新美術新聞 1283

渡邊万莉菜展 Wooddrawing marina から NARAMIX に。 6.25—6.30  
ギャラリー銀座  
産経 6.21

渡辺三絵子 花の水彩画展 4.18—4.24  
小田急(新宿)  
新美術新聞 1277

渡辺好明遺作展 光ではかられた時 12.7—12.24  
東京芸術大学大学美術館  
東京 12.8 竹上順子  
読売夕刊 12.17 (清)

キギ展 植原亮輔と渡邊良重 5.8—5.30  
ギンザ・グラフィック・ギャラリー  
毎日夕刊 5.15 永田晶子

渡部慶二郎展 9.25—10.7 ギャラリーマロニエ  
新美術新聞 1290

渡部雄吉写真展 Criminal Investigation 6.26—7.8  
TAP Gallery  
芸術新潮 752

**団体展**  
(ア行)

アート未来展17回 6.27—7.9  
国立新美術館  
新美術新聞 1287 (主)  
美術の窓 349 磯部靖

アジア創造美術展2012 1.25—2.6  
国立新美術館  
新美術新聞 1272 (主)

亜現展48回[亜細亜美術交友会] 5.23—5.30  
東京都美術館  
新美術新聞 1284 (主)  
美術の窓 346 高山淳

一期展47回 10.3—10.15  
国立新美術館  
美術の窓 351 高山淳/磯部靖

一陽展58回 10.3—10.15  
国立新美術館  
美術の窓 351 高山淳/磯部靖

一水会展74回 9.19—10.3  
東京都美術館(大阪市立美術館、金沢21世紀美術館、愛知県美術館ギャラリー)

新美術新聞 1294 (裕)  
美術の窓 350 高山淳

一線美術会展63回 10.21—10.28  
東京都美術館(奈良県文化会館、愛知県美術館ギャラリー)

新美術新聞 1298 (磯)  
美術の窓 351 磯部靖

一創会展34回 10.13—10.19  
東京都美術館  
新美術新聞 1297 (窪)

旺玄展78回 5.23—5.30  
東京都美術館(愛知県美術館、秋田県立美術館、大阪市立美術館)  
新美術新聞 1284 (智)

(カ行)

近代水墨展29回 10.12—10.19  
東京都美術館  
美術の窓 351 磯部靖

近美展39回[近代日本美術協会] 10.29—11.6  
東京都美術館  
新美術新聞 1299 (松)  
美術の窓 352 磯部靖

近代美術協会展49回 8.21—8.30  
東京都美術館  
新美術新聞 1291 (裕)  
美術の窓 349 高山淳/小池伊欧里

群炎展51回 11.25—12.2  
東京都美術館  
新美術新聞 1301 (窪)

現水展51回 10.21—10.28  
東京都美術館  
美術の窓 351 磯部靖

現創展38回 11.26—12.2  
東京都美術館  
新美術新聞 1301 (窪)  
美術の窓 352 磯部靖

現代童画展38回 11.8—11.15  
東京都美術館  
新美術新聞 1300 (磯)  
美術の窓 352 磯部靖/高山淳

現代パステル協会展24回 8.2—8.10  
東京都美術館(尼崎総合文化センター)  
新美術新聞 1290 (智)  
美術の窓 349 磯部靖

現展68回[現代美術家協会] 5.30—6.11  
国立新美術館(大阪市立美術館、愛知県美術館ギャラリー)

新美術新聞 1285 (主)  
美術の窓 347 高山淳/小池伊欧里

元陽展43回 10.30—11.6  
東京都美術館(広島県立美術館、大阪市立美術館)  
新美術新聞 1299 (松)  
美術の窓 352 磯部靖

行動展67回 9.19—10.1  
国立新美術館(大阪市立美術館、京都市美術館、福岡市美術館)  
新美術新聞 1293 (智)  
美術の窓 350 高山淳

光風会展98回 4.18—4.30  
国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、広島県立美術館、京都市美術館、富山県民会館美術館)  
新美術新聞 1277  
美術の窓 345 高山淳

光陽展60回 4.8—4.15  
東京都美術館(広島県立美術館、京都市美術館)  
新美術新聞 1280 (裕)  
美術の窓 345 高山淳

国画展43回 10.12—10.19  
東京都美術館  
美術の窓 351 磯部靖

国展86回 5.2—5.14  
国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)  
新美術新聞 1282 (元)  
美術の窓 346 高山淳/磯部靖

ima展38回[国際現代美術家協会] 12.13—12.20  
東京都美術館  
新美術新聞 1303 (和)

国際書画展34回 1.25—2.6  
国立新美術館(兵庫県立美術館、愛知県美術館ギャラリー)

国際墨絵展24回 4.25—4.30  
東京都美術館

新美術新聞 1282 (洋)  
**日美絵画展13回**[国際文化カレッジ] 8.9—8.18 国立新美術館  
**総合水墨画展17回**[国際文化カレッジ] 8.9—8.18 国立新美術館  
 水墨画\* 283  
**国際墨画会展12回** 6.13—6.25 国立新美術館  
 新美術新聞 1286 (元)  
**勲展41回** 12.12—12.20 東京都美術館  
 美術の窓 353 高山淳

(サ行)

**朔日会81回** 6.21—6.27 東京都美術館(茨城県近代美術館、新宿世界堂本店)  
 美術の窓 347 高山淳  
**日仏現代国際美術展16回**[サロン・ブラン美術協会] 4.1—4.6 東京都美術館  
 新美術新聞 1279 (主)  
 美術の窓 345 高山淳  
**三軌展64回** 5.16—5.28 国立新美術館  
 新美術新聞 1284 (洋)  
 美術の窓 346 高山淳/磯部靖  
**示現会展65回** 4.4—4.16 国立新美術館(兵庫県立美術館王子分館、福岡市美術館、熊本県立美術館分館、北九州市立美術館分館、和歌山市民会館、あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)、福井カルチャーセンター、愛知県美術館ギャラリー、岐阜県立美術館、山形美術館、京都市美術館、石川県立美術館、長岡市美術センター)  
 新美術新聞 1280 (智)  
 美術の窓 345 高山淳  
**写実画壇展40回** 4.1—4.7 上野の森美術館  
 新美術新聞 1276  
 新美術新聞 1279 (元)  
 美術の窓 343 ワシオ・トシヒコ/土方明司  
 美術の窓 346 磯部靖  
**秀彩展5回** 11.16—11.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1302 (和)

**自由美術展76回** 10.3—10.15 国立新美術館(京都市美術館、大阪市立美術館、愛知県美術館ギャラリー、福岡県立美術館、広島県立美術館)  
 美術の窓 351 高山淳/磯部靖  
**主体展48回** 9.1—9.16 東京都美術館(愛知県美術館、京都市美術館)  
 主体美術 93 吉田正/中城義裕/裕城智子/毛利惇子/岡本裕介  
 新美術新聞 1293 (洋)  
 美術の窓 350 高山淳/磯部靖  
**朱葉会展91回** 6.29—7.6 東京都美術館  
 新美術新聞 1287 (裕)  
 美術の窓 349 高山淳  
**純展42回**[純具象美術協会] 9.26—10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1295 (洋)  
 美術の窓 350 高山淳/磯部靖  
**春陽展89回** 4.18—4.30 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)  
 新美術新聞 1282 (主)  
 美術の窓 345 高山淳/小池伊欧里  
**女流画家協会展66回** 6.29—7.6 東京都美術館  
 新美術新聞 1287 (智)  
 美術の窓 349 高山淳  
**新槐樹社展56回** 2.8—2.20 国立新美術館(大阪市立美術館、京都市美術館)  
 新美術新聞 1274 (裕)  
 美術の窓 343 高山淳  
**新協展55回** 10.5—10.11 東京都美術館  
 新美術新聞 1296 (裕)  
 美術の窓 351 高山淳/磯部靖  
**極美展18回**[新極美術協会] 9.26—10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1296 (主)  
**新芸術展37回** 11.16—11.24 東京都美術館(京都市美術館)  
 新美術新聞 1300 (和)  
 美術の窓 352 磯部靖  
**新興展62回** 5.23—5.30 東京都美術館(京都市美術館)

新美術新聞 1284 (元)  
 美術の窓 346 高山淳  
**新構造展84回** 9.19—9.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1293 (主)  
 美術の窓 350 高山淳  
**新作家展19回** 9.1—9.7 東京都美術館  
 新美術新聞 1293 (元)  
 美術の窓 350 高山淳  
**新樹会日本画展10回** 6.13—6.19 三越(日本橋)(三越(名古屋))  
 新美術新聞 1282 夏日進  
**新象展55回** 6.1—6.9 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館、京都市美術館)  
 新美術新聞 1284 (智)  
 美術の窓 347 高山淳  
**新世紀展57回** 5.2—5.10 東京都美術館(岡山県天神文化プラザ、大阪市立美術館、北九州市立美術館、兵庫県立美術館、愛知県美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1283 (元)  
 美術の窓 346 高山淳  
**新制作展76回** 9.19—10.1 国立新美術館(京都市美術館、愛知県芸術文化センター、広島県立美術館)  
 新美術新聞 1293 (元)  
 美術の窓 350 高山淳/小森佳代子  
**新美展43回** 4.24—4.30 東京都美術館  
 新美術新聞 1282 (智)  
 美術の窓 346 小池伊欧里  
**国際公募・新展9回** 6.11—6.19 東京都美術館  
 新美術新聞 1285 (主)  
**新院展44回** 9.25—10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1295 (智)  
 美術の窓 350 磯部靖  
**新日美展36回** 10.4—10.11 東京都美術館(京都文化博物館)  
 新美術新聞 1296 (裕)  
 美術の窓 351 磯部靖  
**新美術協会展59回** 6.1—6.9 東京都美術館(大阪市立美術館)

新美術新聞 1284 (裕)  
 美術の窓 347 高山淳  
**新平成美術展10回** 11.8—11.15  
 東京都美術館  
 新美術新聞 1300 (窪)  
 美術の窓 352 磯部靖  
**新洋画会展34回** 5.12—5.20 東京都美術館  
 新美術新聞 1283 (圭)  
 美術の窓 346 高山淳  
**水彩人展14回** 9.25—10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1294 (洋)  
 美術の窓 350 高山淳  
**水彩連盟展71回** 4.4—4.16 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1280 (洋)  
 美術の窓 345 高山淳/磯部靖  
**青枢展39回** 10.21—10.28 東京都美術館  
 新美術新聞 1299 (和)  
 美術の窓 351 磯部靖  
**雪舟国際美術協会展19回** 12.12—12.23 国立新美術館  
**全国水墨画展19回** 8.8—8.20 国立新美術館  
**全日本水墨画秀作展39回** 3.7—3.18 国立新美術館  
**全日本アートサロン絵画大賞展21回** 2.9—2.20 国立新美術館(大阪市立美術館)  
**全日肖展59回** 6.29—7.6 東京都美術館  
 新美術新聞 1287 (元)  
 美術の窓 349 高山淳  
**全展50回[全日本美術協会]** 8.21—8.30 東京都美術館  
 新美術新聞 1290 (洋)  
 美術の窓 349 高山淳  
**春季創画展38回** 2.24—3.1 高島屋(日本橋)  
 新美術新聞 1276 (裕)  
**創画展39回** 10.21—10.28 東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1299 (袴)  
 美術の窓 351 高山淳  
**蒼騎展52回** 6.27—7.9 国立新美

術館  
 新美術新聞 1287 (裕)  
 美術の窓 349 高山淳/磯部靖  
**創型展60回** 6.1—6.9 東京都美術館  
 美術の窓 347 高山淳  
**創元展71回** 4.4—4.16 国立新美術館(岡山県天神山文化プラザ、福岡市美術館、兵庫県立美術館、高松市美術館、大阪市立美術館、クリエート浜松、山梨県立美術館)  
 新美術新聞 1280 (裕)  
 美術の窓 345 高山淳  
**創彩展32回** 10.30—11.6 東京都美術館  
 新美術新聞 1299 (和)  
**創展46回[創作画人協会]** 9.25—10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1295 (元)  
 美術の窓 350 磯部靖  
**双樹展42回** 9.17—9.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1293 (元)  
 美術の窓 350 磯部靖  
**蒼樹展37回** 10.21—10.28 東京都美術館  
 新美術新聞 1298 (和)  
 美術の窓 351 磯部靖  
**創造展65回** 6.11—6.19 東京都美術館  
 新美術新聞 1285 (智)  
 (タ行)  
**第一美術展83回** 5.30—6.11 国立新美術館(京都市美術館、愛知県美術館、安曇野市豊科近代美術館)  
 新美術新聞 1285 (裕)  
 美術の窓 347 高山淳/磯部靖  
**大潮展74回** 11.26—12.2 東京都美術館  
 美術の窓 352 磯部靖  
**大調和展51回** 6.1—6.9 東京都美術館(広島県立美術館、松本市美術館)  
 新美術新聞 1284 (智)  
 美術の窓 347 高山淳/磯部靖  
**太平洋展108回** 5.16—5.28 国立新美術館(福岡市美術館、愛知県

美術館、千葉県立美術館、横浜市民ギャラリー、大阪市立美術館)  
 新美術新聞 1284 (智)  
 美術の窓 346 高山淳/小池伊欧里  
**大洋展34回** 9.25—10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1296 (裕)  
 美術の窓 350 磯部靖  
**太陽美術展38回** 11.16—11.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1301 (袴)  
 美術の窓 352 磯部靖/高山淳  
**たぶろう展47回** 6.13—6.25 国立新美術館  
 新美術新聞 1286 (智)  
 美術の窓 347 小池伊欧里  
**中美展64回** 10.13—10.19 東京都美術館  
 新美術新聞 1297 (和)  
 美術の窓 351 高山淳/磯部靖  
**等迎展44回** 2.8—2.20 国立新美術館  
 新美術新聞 1274 (圭)  
 美術の窓 343 磯部靖  
**東京展38回** 9.9—9.16 東京都美術館  
 新美術新聞 1293 (圭)  
**都展48回[東京都民美術展運営会]** 11.17—11.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1301 (磯)  
 美術の窓 352 磯部靖  
**陶芸財団展2012** 6.27—7.8 国立新美術館  
 新美術新聞 1286 (裕)  
**東光展78回** 4.25—5.10 東京都美術館(大阪市立美術館、天神山文化プラザ、鹿児島市立美術館、広島県立美術館、熊本県立美術館、北九州市立美術館)  
 新美術新聞 1283 (智)  
 美術の窓 346 高山淳  
**東方展46回** 2.29—3.8 大田区民ホール(愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館)  
 美術の窓 344 高山淳/磯部靖  
**独立美術協会80回記念展 輝け—独立美術** 5.9—5.14 三越(日本橋)

新美術新聞 1279  
**独立展80回** 10.17—10.29 国立新美術館(大阪市立美術館、京都市美術館、愛知県美術館、北海道近代美術館、福岡市美術館)  
 新美術新聞 1293 宝木範義  
 新美術新聞 1297 (袴)  
 美術の窓 351 高山淳/磯部靖  
 朝日夕刊 10.24 大西若人  
**土日会展37回** 12.12—12.24 国立新美術館  
 新美術新聞 1301 (磯)  
 美術の窓 353 高山淳  
 (ナ行)  
**南画院展65回** 6.29—7.6 東京都美術館  
 新美術新聞 1287 (洋)  
**春季二科展2012年** 4.17—4.23 東京都美術館  
 新美術新聞 1281 (智)  
**二科会写真部展60回** 9.5—9.17 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館、京都市美術館、広島県立美術館、鹿児島県歴史資料センター、福岡市美術館)  
**二科展97回** 9.5—9.17 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館、京都市美術館、広島県立美術館、鹿児島県歴史資料センター、福岡市美術館)  
 新美術新聞 1292 (裕)  
 美術の窓 350 高山淳  
 東京 9.7 中山岳  
**二紀展66回** 10.17—10.29 国立新美術館(愛知県美術館、京都市美術館、広島県立美術館、福岡市美術館、宮崎県立美術館、長崎県美術館、佐賀県立美術館、金沢21世紀美術館)  
 新美術新聞 1297 (松)  
 美術の窓 351 高山淳  
**二元展51回** 6.11—6.19 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)  
 新美術新聞 1285 (元)  
 美術の窓 347 高山淳  
**21美術展7回** 10.12—10.19 東

京都美術館  
 美術の窓 351 磯部靖  
**日洋展26回** 5.30—6.11 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館、福岡市美術館、広島県立美術館県民ギャラリー、せんだいメディアテーク)  
 新美術新聞 1285 (元)  
 美術の窓 347 高山淳/磯部靖  
**日輝展37回** 11.7—11.15 東京都美術館  
 新美術新聞 1300 (袴)  
**日工会展22回** 6.11—6.19 東京都美術館  
 新美術新聞 1286 (裕)  
**日春展47回** 3.28—4.2 松屋(銀座)(大丸(心斎橋、福岡天神)、松坂屋美術館)  
 新美術新聞 1278 (圭)  
**日展44回** 11.2—12.9 国立新美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館、福岡市美術館、富山県民会館美術館、青森県武道館)  
 新美術新聞 1298 (袴)  
 新美術新聞 1298 (松)  
 新美術新聞 1298 (和)  
 美術の窓 352 高山淳  
 東京夕刊 11.3 三沢典丈  
**日本画院展72回** 5.12—5.20 東京都美術館  
 新美術新聞 1283 (洋)  
 美術の窓 346 高山淳  
**日府展59回[日本画府]** 5.22—5.30 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1284 (裕)  
 美術の窓 346 高山淳  
**JAG展35回[日本芸術家協会]**  
 11.16—11.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1301 (和)  
 美術の窓 352 磯部靖  
**日本現代工芸美術展51回** 4.18—4.23 東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー、金沢21世紀美術館、神奈川県民ホール、身延町なかとみ現代工芸美術館)  
 新美術新聞 1280 (裕)

美術の窓 345 高山淳  
**東日本伝統工芸展52回[日本工芸会]** 4.18—4.23 三越(日本橋)(川徳百貨店(盛岡))  
 陶説 712 外館和子  
**東海伝統工芸展43回[日本工芸会]**  
 5.10—5.15 丸栄(名古屋)  
 陶説 712 井上隆生  
**日本伝統工芸展59回[日本工芸会]**  
 9.19—10.1 三越(日本橋)(三越(名古屋栄、大阪、仙台、福岡、松山)、高島屋(京都)、石川県立美術館、岡山県立美術館、島根県立美術館、香川県立ミュージアム、広島県立美術館)  
 陶説 717 外館和子  
 朝日夕刊 9.18  
**彩美展17回[日本彩美会]** 5.12—5.20 東京都美術館  
 新美術新聞 1283 (裕)  
**日本自由画壇展38回** 6.13—6.25 国立新美術館  
 新美術新聞 1286 (洋)  
 美術の窓 347 高山淳/磯部靖  
**日本新工芸展34回** 5.16—5.27 国立新美術館(松阪屋(名古屋)、京都市美術館、北九州市立美術館市民ギャラリー)  
 新美術新聞 1284 (裕)  
 美術の窓 346 高山淳  
**日本水彩展100回** 6.1—6.9 東京都美術館(せんだいメディアテーク、愛知県美術館、福屋(広島)、京都市美術館)  
 新美術新聞 1284 (裕)  
 美術の窓 347 高山淳  
**日本水墨院展27回** 6.27—7.8 国立新美術館  
 新美術新聞 1287 (洋)  
 美術の窓 349 高山淳  
**日本水墨画展45回** 4.18—4.23 東京都美術館  
**清興展34回[日本清興美術協会]**  
 11.16—11.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1300 (袴)  
 美術の窓 352 磯部靖  
**国際美術大賞展38回[日本選抜美術家協会]** 11.7—11.15 東京都美術館



新美術新聞 1302 (窪)  
**国際扇面展33回**[日本扇面芸術協会] 4.18—4.23 東京都美術館  
 新美術新聞 1280 (圭)  
**日中水墨画合同展29回**[日本中国水墨交流協会] 2.8—2.20 国立新美術館  
 水墨画\* 277  
**日彫展42回**[日本彫刻会] 4.19—4.30 東京都美術館(富山県民会館美術館、愛知県美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1282 (智)  
 美術の窓 345 高山淳  
**日本南画院展52回** 3.22—3.30 国立新美術館(京都市美術館、大阪市立美術館)  
 新美術新聞 1278 (洋)  
 美術の窓 344 高山淳  
**板院展62回**[日本板画院] 6.11—6.19 東京都美術館  
 新美術新聞 1282  
 美術の窓 347 高山淳  
**日本版画会展53回** 11.17—11.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1301 (松)  
 美術の窓 352 磯部靖  
**版画展80回**[日本版画協会] 10.5—10.19 東京都美術館(土別市博物館、島田市博物館、庄司博物館)  
 新美術新聞 1296 (洋)  
 美術の窓 351 高山淳/小池伊欧里  
**春の院展67回**[日本美術院] 3.28—4.9 三越(日本橋)(松坂屋美術館、アトリオン、三越(大阪、福岡、松山、新潟、札幌)、高島屋(京都)、天童市美術館、倉敷市立美術館、一畑百貨店(松江))  
 新美術新聞 1278 (裕)  
**院展97回**[日本美術院] 9.1—9.16 東京都美術館(京都市美術館、大丸(心齋橋)、足立美術館、石川県立美術館、松坂屋美術館、そごう美術館、天満屋(岡山)、福屋(広島)、クリエート浜松、茨城県天心記念五浦美術館、北九州市立美術館分館、今井美術館)  
 新美術新聞 1292 (智)

美術の窓 350 高山淳  
**日本アンデパンダン展65回**[日本美術会] 3.22—4.2 国立新美術館(京都市美術館、広島県立美術館)  
 新美術新聞 1278 (元)  
**日本表現派展56回** 10.13—10.19 東京都美術館(愛知県立美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1297 (和)  
 美術の窓 351 高山淳  
**日象展39回**[日本表象美術協会] 6.27—7.9 国立新美術館  
 新美術新聞 1287 (圭)  
 美術の窓 349 高山淳  
**日本文人画府展41回** 10.20—10.28 東京都美術館  
 美術の窓 351 磯部靖  
**日本遊印アート協会展21回** 4.1—4.6 東京都美術館  
 新美術新聞 1279 (裕)  
**日本和紙絵画展27回** 11.26—12.2 東京都美術館  
 新美術新聞 1301 (松)

## (ハ行)

**白亜展34回** 3.6—3.11 大阪市立美術館  
 美術の窓 344 小池伊欧里  
**白亜展35回** 11.7—11.15 東京都美術館  
 新美術新聞 1299 (磯)  
 美術の窓 352 磯部靖  
**白士会展48回** 8.22—8.30 東京都美術館  
 新美術新聞 1291 (元)  
 美術の窓 349 高山淳  
**白日会展88回** 3.22—4.2 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、近鉄アート館(大阪)、兵庫県豊岡市伊藤清永美術館)  
 新美術新聞 1278 (智)  
 美術の窓 344 高山淳  
**白日会選抜展「英英紅緑」** 12.19—12.25 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1299  
**汎美展2012** 3.7—3.20 国立新美術館  
**美術文化展72回** 5.12—5.20 東京都美術館(京都市美術館、愛知

県美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1283 (圭)  
 美術の窓 346 高山淳  
**風子会展36回** 11.7—11.15 東京都美術館  
 新美術新聞 1300 (袴)  
**平泉展24回** 1.25—2.6 国立新美術館  
 新美術新聞 1272 (圭)

## (マ行)

**モダンアート展62回** 4.1—4.15 東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1280 (元)  
 美術の窓 345 高山淳

## (ヤ行)

**遙玄展39回**[遙玄水墨画協会] 12.13—12.20 東京都美術館  
 新美術新聞 1303 (磯)  
 美術の窓 353 高山淳

## (ラ行)

**立軌展64回** 2.8—2.20 国立新美術館  
 新美術新聞 1274 (智)  
 美術の窓 343 高山淳  
**立軌展65回** 10.13—10.28 東京都美術館  
 新美術新聞 1297 (袴)  
 美術の窓 351 高山淳  
**流形展62回** 9.25—10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1296 (裕)  
 美術の窓 350 磯部靖  
**連展39回** 10.31—11.6 東京都美術館  
 新美術新聞 1299 (和)  
**ローマン派美術協会展** 11.16—11.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1300 (松)



# 美術文献目録

## 凡 例

- ここに採録した文献は、平成24(2012)年中にわが国において発行された定期行物および諸新聞、主要美術展覧会図録に掲載されたものである。ただし雑誌により年外が含まれることもある。
- 「美術文献目録」の欄は、平成12年版より従来の「定期行物所載文献」とは別に、「美術展覧会図録所載文献」の一項を設けている。これは、近年、美術展覧会図録の内容の充実がめざましく、図録所載の論文等も、研究成果として価値の高いものになっている状況に対応して行ったものである。
- 「定期行物所載文献」の欄は、「近現代美術」、「古美術」に分類し、両分類に関わる記事については、「総説」、「その他」中の各項目に統合して記載した。
- 「定期行物所載文献」の欄は、近現代美術に関する文献の採録は、概ね明治以降の美術を対象とし、海外の美術に関しては西洋美術を主たる対象とした。
- 「定期行物所載文献」の各項目の配列は、内容別に分類し、同一分類内では掲載誌名順に記した。なお、主題記載については、見出し易くするため多少変更していることがある。
- 「美術展覧会図録所載文献」の欄は、「企画展」、「作家展」、「団体展」の3つに分類した。美術展覧会の分類は、巻頭の凡例に準じることとした。記載は、展覧会名、最初の会場名、文献名、執筆者名の順とし、展覧会名の50音順に配列した。なお、「作家展」中の二人展、三人展等、複数の作家による展覧会図録の場合、展覧会名、会場については複数作家各々について50音順で検索できるよう、複数回にわたりデータを採録している。その際、50音順で最初に現れるデータ部分に同展図録所載文献データを記し、その後に見えるデータにおいては、展覧会名、会場名のみに限った。
- 「美術展覧会図録所載文献」の欄において、展覧会名と図録名が異なる場合、見出しに展覧会名を記載し、その後ろに( )で図録名を補った。
- 号数は主として通巻番号を採用した。なお、757～759は、757号、758号、759号にわたることを示し、14・15は、14号と15号の合併号を示す。9.1、3、6は、平成24年9月1日、3日、6日の新聞を示す。
- 題目の記載されていない文献については、便宜上編集部が仮題を付した。その題目は\$記号を両端に付して示した。便宜上編集部が補った内容は末尾に[ ]で示した。
- 欧文の分綴については、スペースの都合上、分綴法に従っていない場合がある。

## 収録定期刊行物誌名

Archives (国立公文書館)	安曇野ちひろ美術館 美術館だより	上原近代美術館だより	大阪文化財研究(大阪文化財センター)
アート・ドキュメンテーション研究	足立区立郷土博物館紀要	浮世絵芸術(国際浮世絵学会)	大阪歴史博物館研究紀要
アート・ドキュメンテーション通信	跡見学園女子大学文学部紀要	浮世絵研究 太田記念美術館紀要	大田区立郷土博物館紀要
ART TRACE PRESS	アプローチ(季刊)	View(熊本県立美術館)	大津市歴史博物館研究紀要
アートペーパー(名古屋市美術館)	アマリリス(静岡県立美術館)	浦添市文化部紀要 よのつち	大妻女子大学紀要
ART LIBRARY(日本彫刻会)	アルカディア(岡崎市美術博物館)	瓜生通信(京都造形芸術大学)	大津歴博だより
ARTRAMBLE(兵庫県立美術館)	アルフォンス・ミュシャ・ミュージアム・ニュース	Ouroboros(東京大学総合研究博物館)	大手前大学論集
ARTLET(慶応義塾大学アート・センター)	あるむぜお(府中市郷土の森博物館)	AAC(愛知芸術文化センター)	おおてみち(滋賀県立安土城考古博物館)
EYES(東京都写真美術館)	飯田市美術博物館研究紀要	永青文庫	大原幽学記念館報告
あいだ	石川県立美術館だより	エスプラナード(福岡市美術館)	大美和(大神神社)
愛知県史研究	石川県立歴史博物館紀要	江戸東京博物館 NEWS	岡崎市史研究
愛知県美術館研究紀要	石川れきはく	愛媛県美術館年報・研究紀要	岡山県立美術館紀要
愛知県埋蔵文化財センター研究紀要	出雲弥生の森博物館研究紀要	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	岡山県立美術館ニュース
愛知県立芸術大学紀要	イタリア学会誌	えむえむ 熊田司個人誌	岡山市埋蔵文化財センター研究紀要
葵(徳川美術館)	一寸	黄檗文華	岡山市立オリエント美術館研究紀要
青森県立郷土館研究紀要	五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所)	大分県立歴史博物館研究紀要	岡山大学文学部紀要
青山史学(青山学院大学史学研究室)	出光美術館館報	おおいた歴博	沖縄県立芸術大学紀要
秋田県埋蔵文化財センター研究紀要	出光美術館研究紀要	大阪大谷大学博物館報告書	沖縄県立博物館・美術館美術館研究紀要
秋田公立美術工芸短期大学紀要	いとくら(国際仏教学大学院大学)	大阪教育大学紀要	お札と切手の博物館ニュース
秋田美術(秋田県立近代美術館)	茨城県近代美術館だより	大阪城天守閣紀要	小樽市総合博物館紀要
AXIS	茨城県立歴史館報	大阪市立美術館紀要	尾道大学芸術文化学部紀要
アクリラート(別冊)	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要	大阪成蹊大学芸術学部紀要	オリエンテ(古代オリエント博物館)
Asiagi(九州国立博物館)	岩手県立博物館研究報告	大阪大学大学院文学研究科紀要	オリエント(日本オリエント学会)
アジア遊学	岩手県立博物館だより	大阪府教育委員会文化財調査事務所年報	海港市研究(神戸大学大学院人文学研究科海港市研究センター)
葦火(大阪市文化財協会)	岩手県立博物館年報	大阪府立近つ飛鳥博物館館報	海事博物館研究年報
明日の東洋学(東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター)	Wave II 新潟美術通信		香川県文化財年報

香川県埋蔵文化財センター研究紀要	Cultivate(文化環境研究所)	きよらさ(浦添市美術館)	皇学館大学神道研究所所報
香川県立ミュージアムニュース	川崎市岡本太郎美術館研究紀要	近代(神戸大学)	皇学館論叢
学習院大学史料館紀要	川崎市市民ミュージアム紀要	近代画説(明治美術学会)	考古学雑誌
学習院大学人文科学論集	元興寺文化財研究所研究報告	金鈴塚古墳研究	神戸市立小磯記念美術館だより
学習院大学哲学会会報	関西大学哲学	熊本県立美術館研究紀要	神戸市立博物館だより
学習院大学文学部研究年報	関西大学東西学術研究所紀要	久米美術館館報	高麗美術館館報
学叢(京都国立博物館)	関西大学年史紀要	クロノス(京都橘女子大学女性歴史文化研究所)	公立埋文協会報(全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会)
学鏡	関西大学博物館紀要	群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要	郡山市立美術館研究紀要
鹿児島国際大学考古学ミュージアム調査研究報告	神田日勝記念美術館だより	群馬県立近代美術館研究紀要	小金井市立はげの森美術館年報
鹿児島大学総合研究博物館news letter	カンフォロ(愛媛県美術館)	群馬県立女子大学紀要	国学院雑誌
崑山会報	橄欖(瀧口修造研究会)	群馬県立歴史博物館紀要	国学院大学紀要
鹿島美術財団年報・別冊	北九州市立自然史・歴史博物館研究報告	群馬の森美術館ニュース(群馬県立近代美術館)	国語国文(京都大学文学部国語学国文学研究室)
柏原市立歴史資料館館報	岐阜市歴史博物館博物館だより	慶応義塾大学アート・センター年報	国語と国文学(東京大学国語国文学会)
春日(春日大社)	ギャラリー(月刊)	芸術学(三田芸術学会)	国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇
ガス燈(大川美術館)	九州産業大学芸術学会研究報告	芸術学研究(筑波大学大学院人間総合科学研究科)	国立国際美術館ニュース
かたりべ(豊島区立郷土資料館)	九州歴史資料館研究論集	芸術学研究(明治学院大学芸術学会)	国立国会図書館月報
神奈川近代美術館年報	京都国立近代美術館研究論集	芸術研究(広島芸術学研究會)	国立新美術館ニュース
神奈川県立博物館研究報告	京都国立博物館だより	芸術新潮	国立西洋美術館研究紀要
神奈川県立歴史博物館だより	京都嵯峨芸術大学紀要	芸術文化研究(大阪芸術大学大学院芸術文化研究科)	国立西洋美術館報
かながわの考古学(かながわ考古学財団)	京都産業大学日本文化研究所紀要	芸叢(筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術学研究室)	国立能楽堂調査研究
金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編	京都市美術館ニュース	芸大通信(東京芸術大学)	国立民族学博物館調査報告
金沢大学考古学紀要	京都市美術館年報	華嚴	古代オリエント博物館紀要
金沢大学フレスコ壁画研究センターニューズレター	京都市立芸術大学芸術資料館年報	研究紀要金沢城研究(石川県金沢城調査研究所)	古代文化(古代学協会)
金沢大学文化資源学研究	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	言語文化	古代文化研究(島根県古代文化センター)
金沢大学歴史言語文化学系論集	京都精華大学紀要	現代の眼(東京国立近代美術館)	国華
金沢美術工芸大学紀要	京都大学総合博物館ニュースレター	建築雑誌(日本建築学会)	国華清話会会報
金沢文庫研究	京都美学美術史学(京都美学美術史学研究會)	建築史学(建築史学会)	五風十雨(姫路市書写の里・美術工芸館)
鎌倉(鎌倉文化研究会)	京都府立総合資料館だより	現童通信	古文化研究(黒川古文化研究所)
鎌倉遺文研究	共立女子大学文芸学部紀要	KENBI LETTER(高知県立美術館)	古文書研究(日本古文書学会)
カリスト(東京芸術大学美術学部美学研究室)			

美術文献目録

- |   |                                     |                            |                          |
|---|-------------------------------------|----------------------------|--------------------------|
| コリアナ(韓国国際文化協会)                          | 滋賀県立安土城考古博物館紀要                      | 書芸術研究(筑波大学人間総合科学研究科書研究室)   | 西洋美術研究                   |
| Corridart(横須賀美術館)                       | 滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要                      | 女子美(女子美術大学)                | 世界遺産年報                   |
| 齋宮歴史博物館研究紀要                             | 静岡県立美術館紀要                           | 女子美術大学研究紀要                 | 世田谷美術館紀要                 |
| 齋宮歴史博物館だより                              | 静岡文化芸術大学研究紀要                        | 書道界                        | 世田谷美術館だより                |
| 埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要                       | 史迹と美術                               | 書道学論集(大東文化大学大学院書道学専攻院生会)   | ゼフュロス(国立西洋美術館)           |
| 埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要                         | 自然と文化                               | 書道文化(四国大学書道文化学会)           | セラミック九州(佐賀県立九州陶磁文化館)     |
| 埼玉県立歴史と民俗の博物館だより                        | 思想                                  | 書陵部紀要                      | 泉屋博物館紀要                  |
| さいたま市大宮盆栽美術館年報・紀要                       | 実践国文学                               | 資料と研究(山梨県立文学館)             | 泉石(古河歴史博物館)              |
| 埼玉史談(埼玉郷土文化会)                           | 実践女子学園香雪記念資料館館報                     | 史林(京都大学文学部内史学研究会)          | ZENBI(全国美術館会議)           |
| 採蓮 千葉市美術館研究紀要                           | 実践女子大学美学美術史学                        | 絲綢之路(シルクロード)(文化財保護振興財団)    | 全文連文化財通信(全国国宝重要文化財所有者連盟) |
| 堺市博物館研究報告                               | 実践女子大学文芸資料研究所年報                     | シルクロード研究(創価大学シルクロード研究センター) | 阡陵(関西大学博物館)              |
| 佐賀県立博物館・美術館調査研究書                        | 島根県立石見美術館研究紀要                       | 塵界(兵庫県立歴史博物館)              | 崇城大学芸術学部研究紀要             |
| SAZAE 通信(長谷川町子美術館)                      | 島根県立石見美術館ニューズレター                    | 真朱(徳島県埋蔵文化財センター)           | ソカロ(埼玉県立近代美術館)           |
| 札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要                    | 島根県立古代出雲歴史博物館 NEWS                  | 新美術新聞                      | 大学院諸究(群馬県立女子大学大学院文学研究科)  |
| The Newsletter I. J. S(法政大学国際日本学研究所)    | 市民と博物館(日上市郷土博物館)                    | 人文(京都大学)                   | 大正イマジュリィ                 |
| ザ・ルーフ(郡山市立美術館)                          | 芸術文化雑誌 紫明                           | 人文学報(京都大学人文科学研究所)          | 大正大学総合仏教研究所年報            |
| 三康文化研究所所報                               | 下関市立美術館研究紀要                         | 人文社会科学論叢(宮城学院女子大学)         | 太陽(別冊)                   |
| サントリー美術館研究紀要                            | ジャポニスム研究                            | 人文論究(関西学院大学人文学会)           | 高槻市文化財年報                 |
| サントリー美術館ニュース                            | 修士論文・修了作品 研究集録(大東文化大学大学院文学研究科書道学専攻) | 瑞鳳殿だより 経ヶ峯の四季              | 高梨学術奨励基金年報               |
| 三の丸尚蔵館年報・紀要                             | 住総研研究論文集                            | 水墨画(月刊)                    | たばこと塩の博物館年報              |
| しいのき(中野区立歴史民俗資料館)                       | 聚美                                  | 椋山女学園大学研究論集                | 玉川大学教育博物館紀要              |
| jaic 会報(日本美術情報センター)                     | 自由美術(自由美術協会)                        | 椋山女学園大学文化情報学部紀要            | たまのよこやま(東京都埋蔵文化財センター)    |
| 史淵(九州大学大学院人文科学研究院)                      | 主体美術(主体美術協会)                        | 朱雀(京都府京都文化博物館)             | たまび(多摩美術大学)              |
| 史苑(立教大学史学会)                             | 首里城公園管理センター調査研究・普及啓発事業年報            | 駿台史学                       | 多摩美術研究                   |
| Shiodome Museum REVUE(パナソニック電工沙留ミュージアム) | 純心人文研究(長崎純心大学)                      | 生活文化研究所年報                  | 多摩美術大学研究紀要               |
| 史学雑誌                                    | 正倉院紀要                               | 成城美学美術史                    | 淡交                       |
| 滋賀県文化財保護協会紀要                            | 聖徳(法隆寺)                             | 成城文芸                       | 千葉県文書館                   |
|   | 続日本紀研究                              | 清泉女子大学紀要                   | 千葉県立中央博物館研究報告            |
|   |                                     |                            | 千葉県美術館ニュース C'n           |
|   |                                     |                            | 地方史研究                    |
|   |                                     |                            | 中国近現代文化研究                |

中尊寺仏教文化研究所論集	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信	とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター研究紀要	日仏美術学会会報
朝鮮学報(朝鮮学会)	東京都江戸東京博物館紀要	とっぷらいと(福岡県立美術館)	日光山輪王寺
調布の文化財	東京都現代美術館年報・研究紀要	富山市箕牛人記念美術館館報	日展ニュース
潮流(下関市立美術館)	東京都写真美術館紀要	豊田市美術館紀要	日本海域研究
筑波大学芸術研究報告	刀剣美術	敦煌写本研究年報	日本研究(国際日本文化研究センター)
筑波大学先史学・考古学研究	同志社大学博物館学年報	長崎県美術館研究紀要	日本建築学会計画系論文集
土浦市立博物館紀要	陶説	長崎歴史文化博物館研究紀要	日本史研究
壺屋焼物博物館紀要	東風西声 九州国立博物館紀要	長崎れきぶん(長崎歴史文化博物館)	日本女子大学紀要 人間社会学部
津山弥生の里	東方学	長野県信濃美術館紀要	日本女子大学大学院人間社会研究科紀要
敦賀市立博物館研究紀要	東方学報京都(京都大学人文科学研究所)	長野県立歴史館研究紀要	日本女子大学大学院文学研究科紀要
デアルテ(九州芸術学会)	同朋大学仏教文化研究所紀要	長野県立歴史館たより	日本大学芸術学部紀要
哲学会誌(学習院大学哲学会)	東北アジア研究センター叢書	長浜城歴史博物館 博物館だより	日本美術新聞(日本美術新聞社(京都))
帝塚山学院大学研究論集	東北学院大学博物館年報	流山市史研究	日本文化史研究(帝塚山大学奈良学総合文化研究所)
帝塚山大学考古学研究所研究報告	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター紀要	名古屋博物館だより	日本歴史
帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター年報	名古屋造形大学紀要	人間文化(滋賀県立大学人間文化学部)
天開園画(山口県立美術館)	東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館年報	名古屋大学文学部研究論集	練馬区立美術館ニュース
天台学報	東北歴史博物館研究紀要	七隈史学(福岡大学人文学部歴史学科)	年報非文字資料研究(神奈川大学非文字資料研究センター)
天理参考館報	東洋学報	奈良学研究(帝塚山短期大学)	野田市郷土博物館市民会館年報・紀要
東海大学紀要教養学部	東洋陶磁	奈良教育大学紀要	野村美術館研究紀要
東海大学国際文化学部紀要	東洋陶磁学会会報	奈良国立博物館だより	博物館だより(富士市立博物館)
東京学芸大学紀要	東洋文化研究所紀要	奈良市埋蔵文化財調査年報	馬事文化財団年報
東京家政大学研究紀要	東洋文庫書報	奈良美術研究	PATIO(高岡市美術館)
東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室年報	どおむ(富山県立近代美術館)	奈良文化財研究所紀要	版画芸術
東京芸術大学大学美術館年報	遠山記念館だより	南都仏教	阪急文化
東京芸術大学美術学部紀要	徳島県立近代美術館研究紀要	新潟県立近代美術館研究紀要	阪急文化研究年報
東京芸術大学美術学部論叢	徳島県立博物館研究報告	新潟県立歴史博物館研究紀要	bandaly(明治学院大学大学院文学研究科芸術学専攻)
東京国立近代美術館研究紀要	徳島文理大学比較文化研究所年報	西アジア考古学	飯能文化財時報
東京国立博物館紀要	徳島文理大学文学論叢	西宮市大谷記念美術館 NEWS	美愛眞(調布市武者小路実篤記念館)
東京国立博物館ニュース	栃木県立博物館研究紀要	日伊文化研究	美学

美術文献目録

- 美学芸術学(同志社大学美学芸術学研究室) 兵庫県立美術館研究紀要 文化継承学論集(明治大学大学院文学研究科) 瑞垣(神社司庁)
- 美学美術史研究論集(名古屋大学大学院文学研究科美学美術史研究室) HILL WIND(三重県立美術館) 文化財(月刊) 見世物
- 比較文化論叢(札幌大学文学部) 美連協ニュース(美術館連絡協議会) 文化財(月刊) 三田国文
- 美学論究(関西学院大学文学部美学研究室) 広島県立美術館研究紀要 文化財学報(奈良大学文学部文化財学科) 三井美術文化史論集(三井記念美術館)
- 東アジア石刻研究(明治大学東アジア石刻文物研究所) 広島県立歴史博物館研究紀要 文化財レポート(京都文化財団) 密教図像
- 東アジア文化交渉研究(関西大学文化交渉学教育研究拠点) 広島県立歴史博物館ニュース 文化史学 美濃加茂市民ミュージアム紀要
- 彦根城博物館だより ファウンテン コンテンポラリー・アート・マガジン 文化資源学 MIHO MUSEUM 研究紀要
- 美術運動史研究会ニュース フィロカリア(大阪大学大学院文学研究科芸術学・芸術史講座) 文化情報学(同志社大学文化情報学会) 宮崎県総合博物館研究紀要
- 美術京都(中信美術奨励基金) フェリス女学院大学文学部紀要 News letter 噴火湾文化 宮崎県立西都原考古博物館研究紀要
- 美術研究(東京文化財研究所) 福井県立若狭歴史民俗資料館館報 文京ふるさと歴史館年報 宮崎大学教育文化学部紀要
- 美術史 福岡市博物館研究紀要 文星紀要 MUSEUM(東京国立博物館)
- 美術史学(東北大学) ふくやま美術館・ふくやま書道美術館研究紀要 蓬左(名古屋市蓬左文庫) MUSEUM STUDY(明治大学学芸員養成課程紀要)
- 美術史研究(早稲田大学美術史学会) 藤女子大学紀要 鳳翔学叢(平等院) ミュージアム調査研究報告(香川県立ミュージアム)
- 美術史論集(神戸大学美術史研究会) 府中市美術館研究紀要 法政考古学 法政史学 ミュージアム発見伝(館山市立博物館)
- 美術史論叢(東京大学大学院人文社会系研究科・文学部美術史研究室) 府中市美術館だより 法政史学 北斎研究 ミュージアム・レター(学習院大学史料館)
- 美術手帖 ouchiゅ〜(静岡県教育委員会) 埋蔵文化財ニュース(奈良文化財研究所埋蔵文化財センター) 北海道開拓記念館研究紀要 MUSEOLOGY(実践女子大学美学美術史学科研究室博物館学課程)
- 美術の窓 仏教芸術 埋蔵文化財ニュース(奈良文化財研究所埋蔵文化財センター) 北海道開拓記念館だより MUSEOLOGIST(明治大学学芸員養成課程年報)
- 美術フォーラム21 仏教史学研究 まいぶん津(津市埋蔵文化財センター) 本郷(吉川弘文館) 視る(京都国立近代美術館)
- 美術屋・百兵衛 仏教大学教育学部論集 埋文にいがた(新潟県埋蔵文化調査事業団) 待兼山論叢(大阪大学大学院文学研究科) 美をつくし(大阪市立美術館)
- 美のたより(大和文華館) 仏教大学総合研究所紀要 マキエ(ポーラ文化研究所) 待兼山論叢(大阪大学大学院文学研究科) みんぱく(国立民族学博物館)
- 姫路市立美術館研究紀要 仏教大学文学部論集 町田市立博物館年報/紀要 武蔵野(武蔵野文化協会)
- 姫路市立美術館だより 仏教大学歴史学部論集 松江歴史館研究紀要 武蔵野美術大学研究紀要
- 姫路美術工芸館紀要 プリヂェストン美術館・石橋美術館館報 松本市美術館紀要 エクラン 宗吉かわらの里展示館年報
- 非文字資料研究(神奈川大学21世紀COEプログラム) ふる里なんぶ(南部町歴史研究会) 万葉古代学研究所年報 明治大学博物館研究報告
- 百万塔(紙の博物館) 文化学年報(同志社大学文化学会) 三重県埋蔵文化財センター研究紀要 明治村だより
- 兵庫県立考古博物館研究紀要 文学(隔月刊) 明星大学研究紀要



目の眼	ヨーロッパ文化研究(成城大学大学院文学研究科)	歴史学研究(東北芸術工科大学歴史遺産学科)	早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要
森の通信(宮崎県総合博物館)	横浜市歴史博物館紀要	歴史地理教育	早稲田大学大学院文学研究科紀要
八尾市文化財紀要	横浜市歴史博物館調査研究報告	歴史と地理	早稲田大学図書館紀要
八雲立つ風土記の丘(島根県立八雲立つ風土記の丘)	横浜美術館研究紀要	歴史評論(歴史科学協議会)	和洋女子大学紀要
野洲市歴史民俗博物館研究紀要	横浜美術大学 教育・研究紀要	歴博(国立歴史民俗博物館)	朝日
山形県立博物館研究報告	横山大観記念館館報	歴博だより(愛媛県歴史文化博物館)	朝日夕刊
山形大学歴史・地理・人類学論集	REAR	連盟ニュース(日本美術家連盟)	産経
山口県文書館研究紀要	立教大学日本学研究所年報	鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要	東京
大和文華(大和文華館)	立正史学	礪山美術館報	東京夕刊
山梨県立博物館研究紀要	立正大学文学部研究紀要	六所家総合調査だより	日経
游美(茨城県近代美術館友の会)	龍谷史壇(龍谷大学史学会)	和歌山県文化財センター年報	日経夕刊
雪椿通信(新潟県立近代美術館)	龍谷大学仏教文化研究所紀要	和歌山県立近代美術館ニュース	毎日
ユリイカ	黎明(鹿児島県歴史資料センター黎明館)	和歌山県立博物館研究紀要	毎日夕刊
			読売
			読売夕刊

## 美術文献目録

※尚、以下に記す刊行物の表記は略称を用い、末尾に\*を付した。

愛知県埋蔵文化財センター研究紀要  
アルフォンス・ミュシャ・ミュージアム・ニュース  
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要  
浮世絵研究 太田記念美術館紀要  
浦添市文化部紀要 よのつち  
大阪府教育委員会文化財調査事務所年報  
沖縄県立博物館・美術館 美術館研究紀要  
鹿児島国際大学考古学ミュージアム調査研究報告  
鹿児島大学総合研究博物館 news letter  
金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編  
金沢大学フレスコ壁画研究センターニューズレター  
北九州市立自然史・歴史博物館研究報告  
ギャラリー(月刊)  
群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要  
国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇  
埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要  
さいたま市大宮盆栽美術館年報・紀要  
採蓮 千葉市美術館研究紀要  
札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要  
首里城公園管理センター調査研究・普及啓発事業年報  
水墨画(月刊)  
帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要  
東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室年報  
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信  
東風西声 九州国立博物館紀要  
東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター紀要  
東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター年報  
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館年報  
とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター研究紀要  
長浜城歴史博物館 博物館だより  
日本女子大学大学院人間社会研究科紀要  
野田市郷土博物館市民会館年報・紀要  
ふくやま美術館・ふくやま書道美術館研究紀要  
仏教大学宗教文化ミュージアム研究紀要  
ブリヂストン美術館・石橋美術館館報  
文学(隔月刊)  
文化財(月刊)  
News letter 噴火湾文化  
鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要  
早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要

愛知県埋文センター紀要\*  
ミュシャ・ミュージアム・ニュース\*  
岩手埋文センター紀要\*  
浮世絵研究\*  
よのつち\*  
大阪府教委文化財調査事務所年報\*  
沖縄県立博物館美術館 美術館紀要\*  
鹿国大考古学ミュージアム報告\*  
鹿児島大学総合研究博物館ニュース\*  
金沢学院大学紀要\*  
フレスコ壁画研究センターニュース\*  
北九州自然史歴史博報告\*  
ギャラリー\*  
群馬埋文調査団研究紀要\*  
国文学研究資料館紀要(ア)\*  
埼玉県埋文調査団紀要\*  
さいたま市大宮盆栽美術館年報紀要\*  
採蓮\*  
札幌大谷大学紀要\*  
首里城公園管理センター年報\*  
水墨画\*  
帝塚山大学院紀要\*  
東京芸大保存修復彫刻年報\*  
東大画像史料解析センター通信\*  
東風西声\*  
東北芸工大保存修復センター紀要\*  
東北芸工大保存修復センター年報\*  
芹沢銈介美術工芸館年報\*  
とちぎ埋文センター紀要\*  
長浜城歴博だより\*  
日本女子大学大学院紀要(人)\*  
野田市郷土博物館市民会館年報紀要\*  
ふくやま美術館・書道美術館紀要\*  
仏教大学宗教文化ミュージアム紀要\*  
ブリヂストン・石橋美術館報\*  
文学\*  
文化財\*  
噴火湾文化\*  
鹿園雑集\*  
早大會津八一記念博紀要\*

# 目 次

## 〔定期刊行物所載文献〕

総 説	78	石 器	151
美 学	78	木 竹 工	151
概 論	79	ガ ラ ス 工	152
日本美術史	85	その他の工芸・民具	152
海外美術史(アジア)	87	建 築	152
海外美術史(その他)	88	都市・集落	152
保存修復	92	宮殿・官衙	154
情報処理	99	宗教建造物	154
文化財行政	100	城 郭	157
美術教育	105	住 宅・館	157
古 美 術	108	茶 室	158
絵 画	108	その他の建造物	158
画像	125	庭 園	158
文様	126	墳 墓	158
地図・絵図	126	建築部材など	159
彫 塑	126	建築に付随するその他	159
原始彫刻	131	近現代美術	161
面	132	絵 画	161
書 蹟	132	漫画・アニメーション	164
古文書・古記録	135	版 画	166
金石文など	137	写真・映像	167
工 芸	139	彫刻・空間表現	168
宗教工芸	139	工 芸	169
武具・馬具類	140	デザイン	172
茶 道 具	140	建 築	173
装身具・化粧具	141	その他のジャンル	176
文 房 具	141	作 家	177
陶 磁	141	日 本	177
土 器	145	海 外	282
瓦	146	そ の 他	315
金 工	147	美術関係者	315
鏡	147	書 評	322
青 銅 器	147	時 評	328
刀剣・刀装	148	美術館・博物館・画廊	332
染織・服飾	149	海 外 展	350
漆 工	150		
石 工	151		

## 定期刊行物所載文献

総 説			説							
美 学										
					ベンヤミンのシュルレアリスム—物たちの「シュルレアリスム的な顔つき」—	山口 裕之	"	"		
ベネデット・クロッチェの美学思想における倫理の位置づけについて	國司 航佑	イタリア学会誌	62		ゴットフリート・ベンとアルフレート・ポイムラー—「占星術的」芸術観とナチズム—	石田 圭子	実践女子大学美学美術史学	26		
東野芳明の「反芸術」概念の展開	伊村 靖子	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	56		趣味判断と共通感覚	榎本 庸男	人文論究	62-1		
インデックス論の再考—パース、エーコ、クラウスの交叉点として—	加藤 隆文	京都美学美術史学	11		「醜の美学」—ボードレールの《Les Petites Vieilles》	平野 真理	"	"		
目と手が育む精神	中村 英樹	思想			哲学と文学の新たな仲違い：プラトンの詩人論を解釈するコリンウッド	津上 英輔	成城美学美術史	17・18		
第1章 〈皮膜〉の両義性			1059		茶の湯と中国文化 茶道の美	関根 宗中	淡 交	820		
第2章 無数の手の痕跡へ			1061		ハーバート・リードにおけるアナキズムの美学(下)	大森 淳史	帝塚山学院大学研究論集	47		
第3章 目に潜む意外な力			1064		指示と強度	大崎 晴地	東京芸術大学美術学部論叢	8		
抵抗する「フィギュール」—思想史のなかのシュルレアリスム—	鈴木 雅雄	思想	1062		仮面と物質性：仮面論の再考に向けて	佐々木重洋	名古屋大学文学部研究論集	174		
理論の見る夢—オートマティスムの歴史—	中田健太郎	"	"		生と美学—フーコーの主体論をめぐる—	武田 宙也	美学	240		
アンチ・シュルレアリスム	齊藤 哲也	"	"		ヴィーナスとルシファー—ベンヤミンの仮象概念についての一考察—	村上 真樹	"	"		
体験／実験 —役割の遊戯[ロール・プレイング・ゲーム]と言語遊戯—	ジャクリーヌ・シェニウーニジャンドロン 鈴木 雅雄 訳	"	"		「感性(sensibilité)」をめぐるバルクソンの思想とその成立の経緯—なるものと多なるものとの関係を軸に—	村上 龍	"	"		
眼は野生の状態で存在する	ドミニック・コンブ 國分 俊宏 訳	"	"		サルトル『聖ジュネ』における不道徳作品の「善用」	森 功次	"	"		
エゴ文学、オートフィクション、ヘテログラフィ	フィリップ・フォレスト 國分 俊宏 訳	"	"		現実意図主義の瑕疵	河合 大介	"	241		
狂気的愛、狂女への愛、狂気のなかの愛—ブルトン、デュラス、ラカン—	立木 康介	"	"		無意識的記憶から機械圏へ—ドゥルーズにおけるブルースト—	渡辺 洋平	"	"		
					第六十三回美学会全国大会報告 発表要旨		"	"		

エージェンシーとインデックスの芸術論	加藤 隆文			20世紀後半の日本のパブリックアートについて—1960年代以降の野外彫刻設置事業に見るパブリックアートのメカニズム—	竹田 直樹	ART LIBRARY	13
アドルノ美学における形象の問題	高安 啓介						
シュスターマンにおける美的経験—「特別な美的経験」と「平凡な美的経験」の意味するもの—	李 惠珍			触覚の美術 「美術の中のかたち」展を振り返って	出原 均	ART RAMBLE	37
例会・研究発表会要旨		〃	〃	3・11以降の芸術 3・11以降の学問	近藤 誠一	ARTLET	38
心理と論理の間—美学の超越論的位置づけ	大石 昌史			大地震のあとで 現地に見る表現者達の活動	細谷 修平	あいだ	189
「阿部次郎の美学」再構築—ユーモアの弁証法の基盤の上—	岡林 洋			ハマで「ガリ版」にハマって 「新・港村」の一隅から 『HAM-Art!』奮闘記	稲村 初子 松浦 準 小山田知子 矢吹 昇一 新城 順子	〃	〃
カントの『判断力批判』におけるポリフォニー標識	松尾 大			エクスペリメンタ・デザイン2011レポート 「ユースレス」に込めた意図 新旧の溝を浮き彫りにしたディスカッション	中島 恭子	A X I S	155
アンリ・マルティネの美学—絵画におけるリズム	川瀬 智之						
美のことごと 1	中野 中	美術屋・百兵衛	23	from the World		〃	157
個人研究 プラトンにおけるアイステシス論の創出—『パイドン』を中心として—	関村 誠	広島市立大学芸術学部紀要	17	アキッレ・カステイリオーニ財団誕生	多木 陽介		
否定の美学の試み	村田 誠一	文化学年報	61	より深い交流を目指した12年目 「TETSUSON 2012」	今村 玲子		
「東北」日本の美学のルーツ—被災美学者阿部次郎の『三太郎の日記』ほか—	岡林 洋	〃	〃	産学共同の正しいやり方 プロジェクト24 「多摩美術大学とネスレ」	〃	〃	〃
「近代」における「晴朗さ」の獲得—ヘーゲルの芸術哲学における「フモール」概念についての一考察—	高藤 大樹	〃	〃	特集 ワークショップ進化論 クリエイターをつなぐ非営利のメディアラボ オランダの「バルタン・ラボラトリーズ」	中島 恭子	〃	158
破局論3 無の肖像	飯島 洋一	ユリイカ	612	日本のアートの評価基準	杉本 昌裕	跡見学園女子大学文学部紀要	47
<b>概 論</b>				Report	編 集 部	Wave II	
レビュー 「選別の欲望の強度(或いは私は如何にしてVOCAを信ずるに至ったか)」	永瀬 恭一	ART TRACE PRESS	2	レポート新潟市美術館問題 連載1 『ふるさと燦々育まれた作家たち展〜旧BSN新潟美術館所蔵品を中心に〜』展の疑問を解明する			3
明日を呼ぶ私の記憶	中村 英樹	アートペーパー					
解体に潜む生成の芽 3			88				
過ぎ去って気がつく 1〜3			89〜91	「水と土の芸術祭2012」の中間の検証			6

平成24年定期刊行物所載文献(総/概論)

めぐる卒展、めぐる 想い 2011年度 京 都造形芸術大学 卒 業制作展・論文発表 会		瓜生通信	55	東日本大震災「民 宿屋上へ乗り上げ た観光船はまゆり」 2 示せ! 行政の 隣人愛、モニュメ ント化構想正式ス タート			328
扇[あふぎ]	熊田 司	えむえむ	3				
ビデオゲームは芸術 か?	松永 伸司	カリスタ	19	特集 この秋開催さ れる全国のアートイ ベント		〃	330
特集 文化による復興		Cultivate	39				
自然と共生する精 神文化の再構築を	齊藤 恵理			イエイツの夢幻能 『鷹の泉』における能 の本質的要素につい て一心の深層で展開 する想像的芸術を可 能にするもの	佐野 仁志	京都嵯峨 芸術大学 紀要	37
文化による復興は 可能か?	赤坂 憲雄 高橋 信裕 インタビュー アー						
月刊ギャラリー創刊 25周年記念 小川英 晴のアート縦横		ギャラリ ー*		展覧会・会議報告 「敦煌意象—中国岩 彩画展—」および「敦 煌芸術の伝承と当代 岩彩画創作国際学術 検討会」報告	日本画研究 室・保存修 復研究室	京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要	56
No. 16 回顧と展 望—後編— 未曾 有の大災害を見据 えて新たな時代に 挑む	小川 英晴、 三田 晴夫、 ワシオ・ト シヒコ、 名古屋 覚、 小金沢 智 談		321	論考 二つの問い— 芸術作品とは何か/ 「メディア・アート」 とは何か	上崎 千	慶応義塾 大学アー ト・セン ター年報	19
No. 17 現代のア ートに、はたして 「人の心を撃つ」だ けの力があるのだ ろうか(前編)	角川 春樹、 小川 英晴 談		322	World News		芸術新潮	
No. 18 五感を通 して生まれたすべ ての芸術作品の根 はひとつ(後編)	〃		323	Liverpool 「不思議 の国のアリス」展 なぜ芸術家たちは ルイス・キャロル の世界をヴィジュ アル化したがるの か	前橋 重二		745
No. 21 表現に賭 け、その一瞬を生 きる(前編)	竹中 直人、 小川 英晴 談		326	Baltimore 「彫刻を 触れる楽しみ ル ネサンス小像の魅 力を調査する」展 どのヌード像が気 持ちいい? さわ ってナンボの「触 覚美学」探求展	〃		748
No. 22 全身で表 現することの魅力 (後編)	〃		327				
No. 24 現代美術 界に期待するもの (前編)	椿原 弘也、 小川 英晴 談		329	Paris 「発見された 身体」展 タブー どころかけっこう 大胆 アラブ人芸 術家もすなるヌー ド	羽生のり子 取材		751
No. 25 現代美術 の現状(後編)	〃		330				
特集 ART KYOTO 2012	石橋 圭吾 談	〃	324				
特集 REPORT—福 島 part 1、2 現地に 必要な本当のアート 活動		〃	325、326	Oxford 「イングリ ッシュ・プライズ ウェストモラン ド号の拿捕」展 船ごとぶんどられ たお宝が233年を 経て英国に到着!?	前橋 重二		752
評論の眼	ワシオ・ト シヒコ	〃					
(番外誌上展)創っ て楽しく、食べて 蕩けるスイーツ・ アート 仰天発想、 チョコが花器とオ ブジェになった			325	Paris 「無秩序の支 配者」展 現代美 術もひれ伏させる シャーマニズムの 異次元パワー	羽生のり子 取材		〃

London「シェイクスピア 世界を舞台に」展 シェイクスピアの同時代ネタ発掘!	前橋 重二	753	素描の天才ドガと裸体	1268
New York「ゴースト・イン・ザ・マシーン」展 ユートピア? ディストピア? 機械とアート of the 行末	由本みどり 取材	〃	動物の美しさ	1277
わたし一人の美術時評	藤田 一人	〃	ドビュッシーと美術	1279
第21回 広報の台頭と批評の衰退		749	フランス美術散歩	1290
第22回 美術団体再考		750	新美術時評	〃
第23回 現状追認の“賞”への不満		751	都の幻影「清明上河図」	島尾 新 1270
第27回 美術家は 大らかにつるむべし!		755	中国関連の話題から	〃 1274
小特集 帰ってきた 股間若衆	木下 直之	〃	美術批評は「芸術」となる、か?	光田 ゆり 1275
特別読物 彫刻と詩のあいだ トボスをめぐる考察	高橋 睦朗	〃	伝統の在りようを明確に	島尾 新 1277
特集 残されしもの、 生かされしもの 第2部 生かされし有象無象 対談 残されしもの、 生かされしもの—それは がれきか記念碑か	中谷 礼仁、 穎原 澄子、 話し手	建築雑誌 1631	ワシントンの若冲展から千葉の蘆白展まで	〃 1280
平成23年度研修会 特別講演 倉敷とその 周辺の縄文貝塚	真壁 忠彦	公立理文協会報 48	展覧会の入場者数のこと	〃 1286
女性の作品による コレクション展 女性性 と男性性について	加須屋明子	国立国際美術館ニュース 188	骨董入門または脱線 「古道具、その行き先展」を前にして	光田 ゆり 1289
報告:「Alternating Currents: Japanese Art after March 2011」	橋本 梓	〃 189	プレゼンテーションは パワポ	島尾 新 1290
アートと地域活性化 —伊香保アートプロジェクト 2011	下山 肇	実践女子大学美学美術史学 26	日中国交回復40周年の なかで	〃 1293
固有の発信 まちなみ アートフェスティバル— その誕生と展開	中西 薫	紫 明 30	提言	清水 康友 〃
展覧会評『DECO JAPAN: Shaping Art & Culture, 1920-1945』	高波真知子	ジャポニスム研究 32	若い世代の鑑賞眼に 期待	1272
現代中国書法事情 242、247	種谷 萬城	書道界 268、273	海外展一見るから鑑賞 するへ	1297
年頭に際して 文化政策 の改革を強く願う	浅木 正勝	新美術新聞 1268	現在通信 From NEW YORK	富井 玲子 〃
PARIS 発	安部 雅延	〃	もの派の矛盾	1276
			フリーズが街にやって きた	1281
			歴史の幽霊?	1289
			非物質化の6年	1295
			「サンディ」以後	1298
			大震災から1年を経て 被災地支援から文化復興 支援の活動へ	浅木 正勝 〃 1279
			通信 J to A アジアへ	黒田 雷児 〃
			35 アカルイ マニラ 日本を捨てますか?	1283
			40 関渡ビエンナーレ、 我が道を行く	1297

平成24年定期刊行物所載文献(総/概論)

「芸術表現学会」設立 総会報告—日本文化 の創世—芸術表現の 未来のために	渡辺 健二	新美術新 聞	1286	例会発表要旨 第120 回例会：美術批評の 言語—エミール・ゾ ラと「タシュ」の概念 を中心に エミール ・ゾラにおける諸芸 術の混淆—イメージ ・テキスト・音楽の 相関関係をめぐって	林 信蔵	日仏美術 学会会報	31
オリンピックに沸く ロンドンのアート最 新状況	新谷真紀子	〃	1287	第43回日展を前にし て 特別寄稿 芸術 家の孤独	三浦 朱門	日展ニュー ース	146
次世代を担う研究者 育成とその国際交流 促進の場 第10回日 本美術史に関する国 際大学院生会議 (JAWS 10)開催	〃	〃	〃	アートイベントにお ける都市部の地区演 出の可能性 あいち トリエンナーレ2010 長者町会場を事例と する	春日藤 堀越 和俊 孝紀 哲美	日本建築 学会計画 系論文集	681
特集 2012 年末回顧 評論家に「目」と「耳」 は無いのか	安井 収蔵	〃	1299	美術業界の行方(3)	青山 清	日本美術 新聞	3
ブロック報告		ZENBI					
東海ブロック 国 際展とその傍らで	天野 一夫		1	「装置」としての表現 活動—ラ・ボルド病 院、べてるの家を例 として—	嶋田 久美	美 学	240
九州ブロック 地 域の現代芸術祭と の連携による美術 館の活性化	菅 章		3	例会・研究発表会要 旨 人類の誕生とそ の進化—人間と動物 の境界をめぐって—	唄 邦弘	〃	〃
全美フォーラム		〃		複製技術における形 象的なもの—ボール ・リシェによる身体 の形象化について—	益田 展大	〃	241
ヨコハマトリエン ナーレ2011を巡つ て	逢坂恵理子		1	第六十三回美学会全 国大会報告 発表要 旨 対象と身体との 関係—メルロ＝ポン ティの知覚論とモリ スおよびセラの彫刻 作品	大前美由希	〃	〃
サスティナビリティ のゆくえ	貝塚 健		3	例会・研究発表会要 旨 ニュートンと画 家たち—科学と芸術 が出会うとき	岡田 温司	〃	〃
アジア交流雑感	黒田 雷児		〃	ニューヨークの大聖 堂で鑑賞する現代美 術	由本みどり	美術運動 史研究会 ニュース	124
最近の近畿圏大学博 物館事情—平成23年 度大学博物館調査か ら—	石立弥生子	阡 陵	64	資本主義に対抗する カーニバルが始まっ た—「オキュバイ・ ウォールストリート」 運動とアート	後藤 宣代	〃	126
国際ネットワークから 地域文化政策へ— 阿蘇 Genesis 起源 展への考察—	三枝 泰之	デアルテ	28	里山アートと地域コ ミュニティー—関西 圏のアートイベントか ら	山崎 明子	〃	132
研究報告 アーカイ ヴとコンテナ 動物 の群れ	久保 仁志	東京芸術 大学大学 美術館年 報	H22年度	WORLD NEWS		美術手帖	
美術家の被災者支援	樋田 豊郎	陶 説	716	ニューオーリンズ ミシシッピならで はの国際展へ。	藤森 愛実		962
「フェスティヴァル」 におけるアメリカ的 「公共文化」の系譜と スミソニアン	小長谷英代	東洋文化 研究所紀 要	162	第2回「プロスペ クト」展開催			
位置、距離、知識伝 達と芸術表現	沖 啓介	名古屋造 形大学紀 要	18				
境界線上のアート (記憶のアートへ)	鈴木 敏春	〃	〃				



デリー インド・ アート旬到来— アートフェアか らシュコダ・プラ イズまで	黒岩 朋子	965	「暮らしの芸術」と まちづくり 松戸 アートラインプロ ジェクト	寺井 元一	340
SPECIAL FEATURE Chim ↑ Pom プレゼ ンツ REAL TIMES GALLERY & INTER- VIEWS THEORY & PRACTICE スーパ ーラットの『種の起 源』をたどる 論考 03 アート・アット ・アウトドア 混沌 から公共性を—美術 の扉の外で	楠見 清	964	2012年新春のNY アートシーン(1、 2)	竹澤 雄三	343、344
後美術論	榎木 野衣	964、967、 969	作家手動で進展す る京都の新たなム ーブメント	小吹 隆文	345
第6~8回 次は 溶融だ[メルト・ ダウン・イズ・ネ クスト](1~3)		973、976	広島 美に触れる旅 へ アート探訪	〃	343
第9、10回 地獄 と罰[ヘルター ・スケルター](前 中編)			現代美術の歩き方 異論反論・現代美術	〃	
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 は じめに 芸術の森へ —日本近代美術への いざない	北澤 憲昭	967	アートフェア東京 2012 今年も大規 模に開催 今春最 大のイベント		〃
SPECIAL FEATURE 大地の芸術祭 越後 妻有アートトリエン ナーレ2012		973	「TOKYO SPRING」 のイベント続々開 催 メインイベン トを密着レポート !		344
NEWS 越後妻有 里山現代美術館 [キナーレ]オープ ン!	永峰 美佳 白坂 ゆり		「つくることが生 きること」開催 東日本大震災復興 支援プロジェクト 展		〃
地域から世界へ、 国際展に成長した 芸術祭	永峰 美佳		第26回パリ国際サロ ン展覧会報告 次回 パリ国際サロンもヴ ォージュ広場で開催 !!		345
GTS AWARD Vol. 3 隅田川の兩岸を舞台 にアートが展開	竹見洋一郎	976	特集 模写から学ぶ 絵画の技法 ポスト 複製技術時代の芸術 作品:もうひとつの 模写可能性	毛利 嘉孝	349
アキバタマビ21特別 展「大学絵画」3つ の美術大学から旬の アーティストが集結 !	〃	〃	香川文化考 長谷川 栄のミュージアオリ ジー—本四架橋後の 香川はエコツーリズ ムで躍進—	長谷川 栄 美術屋・ 百兵衛	20
INFORMATION EV- ENT 混浴温泉世界 と国東半島アートプ ロジェクト 地熱と 人、不思議なエネル ギーに満ちたアート フェスティバル「混 浴温泉世界」	上條 桂子	〃	京都・京町家ステイ ・アートプロジェク ト	〃	〃
視点	美術の窓		東京文化考 アート か?落書きか? 大 都市のグラフィティ	〃	21
			この夏新潟でアート を満喫 大地の芸術 祭&水と土の芸術祭	〃	22
			六甲ミーツ・アート 芸術散歩2012	〃	23
			ヨーロッパアート事 情 現代美術の舞台 として活気もどる パリ 様々なプロジ ェクトが進行中	今津 京子 美連協ニ ユース	115

平成24年定期刊行物所載文献(総／概論)

アメリカアート事情 歴史に残るイベント	後藤トキ子	美連協ニ ュース	115	修士論文概要 若手 芸術家の(生涯)ア ートプロジェクトに 見る現代美術の文化 生産—	高橋かおり	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	57
現代美術を国力に変 えたイギリスの戦略 —文化大国としての 日本に問われる現実	腰原 慶子 大坂紘一郎 構成	ファウン テン	2	福島 届かない絵 「第五福竜丸」画家の 69点出品中止 米美 術館「原発の状態考 慮」貸し出しの動 きも		朝 日	2.26
特集 コレクターの 存在と役割		〃	3	4「読ん」で知るア ート		朝日夕刊	
白石正美 (SCAI THE BATHHOU- SE)				画家のパートナー 筆を持たない名画 の作者	千足 伸行		5.2
山本豊津(東京画 廊+BTAP)				食と現代アート 生命倫理脅かす時 代を予感	岡部あおみ		6.13
コミュニティ型ア ートプロジェクトのそ の後—「小料理喫茶 ワシントン」をめぐ る生活景の再生を中 心に	市川 寛也	文化資源 学	10	海外通信		〃	
試論	宝木 範義	明星大学 研究紀要	20	@パリ「発見さ れた身体」展 ア ラブ美術新たな体 系へ	飯田 真実		5.30
特集 ジョン・ケー ジ 鳴り続ける(音) 生誕一〇〇年/没後 二〇年 現代とのリ ユニオン「ジョン ・ケージ以後」とし てのサウンド・ア ート(における「聴くこ と」とテクノロジー)	島中 実	ユリイカ	617	@昆明(中国) 国 際若手芸術家連合 展 内陸と世界、 自由につながる	多田 麻美		12.26
特集1 批評家はど こにいるのか		R E A R	27	障害者アート著作権 徹底 市場利益本人 自立に	井田香奈子	〃	10.4
座談：沢山遼+野 田吉郎+星野太 美術をめぐる言論 の現在と美術批評 の可能性				語り継ぐ復興文化史 第五部 阪神大震災 と新たな船出3「あ りきたりの日々」を 求めて	伊藤 洋一 産 経		2.2
エッセイ：内から の目/外からの目 —批評する視点	中村 英樹			負けないよ!! 石巻 ・渡波小学校の復興 日記 がれきアート 伊博物館へ		〃	2.5
エッセイ：批評と 制作	山本さつき			金子みすゞの詩 ア ートに 美術や演劇、 舞踏で表現 11日か ら台東 東京芸大生 ら	丹治早智子 東 京		9.8
エッセイ：批評家 を育てていること —美術館学芸員	天野 一夫			3.11後見据え 豪州 で展覧会 共鳴と不 協和音 表現の可能 性追求	橋本 梓 東京夕刊		1.13
批評 観光と現代美 術—ヴェネツィア・ ビエンナーレ第54回 国際美術展	藤川 哲	〃	〃	歴史への冒険 考古 学のいま 心とらえ る老岐の遺跡 素の たたずまいに価値	松木 武彦	〃	12.6
JAA 特集 対談「著 作権を巡る問題」2 創作者の権利と著作 権	大家 重夫 福王寺一彦	連盟ニ ュース	442	手十選 1～10	福井 爽人 日 経		1.9、10、 13、16、17、 19、20、23、 24、26
「成都ビエンナーレ」 報告—中国現代美術 の新たな方向—	安永 幸一	〃	〃	C世代駆ける8「ニ ッポン好き」進化 文化を循環、伝統再 発見		〃	1.10

震災で消えた日常、 記憶の風化…忘れない ためのアート 町 語るきっかけに模型 「勇気もらった」を絵 に	窪田 直子	〃	1. 21	時に抗いし者たち— 私の小菩薩峠(5)	大谷 芳久	一寸	49
光十選 1～10	ハービー・ 山口	〃	2. 16、17、 4. 2、3、5、 20、21、23、 24、27、28、 3. 1、2	勸業博物館の時代— 明治十年頃の兼六園 をめぐって	森 仁史	〃	〃
想像力の解放十選 1 ～10	馬越 陽子	〃	3. 29、30、 4. 2、3、5、 6. 10、12、 13、16	主体と客体との狭間 で—沖縄女性美術研 究(1)—	豊見山 愛	沖縄県立 博物館美 術館博 物館紀要*	2
生誕100年で記念講 演 ケージの音楽輝 き新たに 偶然性重 んじ脱西洋を意識	多田 明	〃	4. 21	美術家コロニーの形 成過程にみる日本美 術家意識の独自性 についての研究	浅野 智子	鹿島美術 財団年報 ・別冊	29
寄り添うデザイン十 選 1～10	橋本 優子	〃	5. 28、29、 31、6. 1、4、 5、7、8、12、 13	資料研究 「恤兵美 術展覧会」について —第一次世界大戦と 美術家たち	高階絵里加	近代画説	21
大正ポスターの女十 選 1～10	田島奈都子	〃	6. 18、19、 21、22、25、 26、28、29、 7. 3、4	研究発表(要約) — 八八〇年代の美術行 政—山高信離を中心 に—	野呂田純一	〃	〃
イスラムの動物十選 1～10	榊屋 友子	〃	7. 16、17、 19、20、23、 24、26、27、 30、31	赤城と美術 猪谷六 合雄と東宮鐵男	谷内 克聡	群馬県立 近代美術 館研究紀 要	7
窓辺の情景十選 1～ 10	篠 雅広	〃	8. 2、3、6、 7、9、10、 13、14、16、 17	三井呉服店における 高橋義雄(箒庵)の美 術館構想と美術鑑賞 教育—欧米留学と日 本美術の発見	田中 裕二	芸術学	15
外資の美術支援独自 の目 国宝など修復 ・市場拡大後押し	富田 律之	〃	8. 4	創刊750号記念大特 集 古事記 日本の 原風景を求めても っと知りたい4 古 事記はどうか描かれ たのか?	真住 貴子	芸術新潮	750
音楽と美術の間で 千住明さんに聞く 魂に響く「アート」を 追求	伊奈 久喜	日経夕刊	4. 21	特集 西洋美術とジ ェンダー—視ること の制度 日本戦後美 術のジェンダーを考 える	中嶋 泉	言語文化	29
国際展相次ぎ開催 アジア美術 成熟の 自覚	菅原 教夫	読 売	11. 9	特集1 美術館開館 当時、一九五〇年代 の美術をめぐって 昨日の美術と今日の 美術	野田 吉郎	現代の眼	596
<b>日本美術史</b>							
「外地の郷土」を生きた— 黄土坡美術協会 の人びと	田中 益三	あいだ	196	『具体』—ニッポン の前衛18年の軌跡 展関連シンポジウム 『具体』再評価の過 去と現在』抄録	山田由佳子 編集	国立新美 術館ニュ ース	23
文化創造の図像学 日本の宗教空間と身 体 文化創造の図像 学	阿部 泰郎	アジア遊 学	154	『國華』にみる新来 の中国絵画—近代日 本における中国美術 観の一事例として—	久世夏奈子	国 華	1395

平成24年定期刊行物所載文献(総/日美史)

調査報告 佐賀美術協会出品者一覧—第五十一回展以降—	伊藤 優	佐賀県立博物館・美術館調査研究書	36	特別寄稿 百年前に生まれた日本画家たちのこと	野地耕一郎		
帝室技芸員関係書類(東京国立博物館保管)概要	横溝 廣子	三の丸尚蔵館年報・紀要	17	特別寄稿 「写実」という前衛	本江 邦夫		
2011年の歴史学界—回顧と展望— 日本		史学雑誌	121-5	九州派作品の社会的主题—交流のあった雑誌の性格から—	鄭 賢娥 美 学	240	
古代 八	高梨 純次			一九三〇年代初頭における展示デザイン—ドイツ工作連盟主催「映画と写真」展の日本巡回を中心として—	江口みなみ	241	
中世 六 美術	山本 聡美						
一四 美術	五十嵐公一						
ジョルジュ・ド・トレッサンの室町時代の絵画論—水墨画はどのように評価し得たか	南 明日香	ジャポニスム研究	32	平成二十三年度東支部例会 『國華』にみる新来の中国絵画—近代日本における中国美術観の一事例として—	久世夏奈子 美術史	172	
ラフカディオ・ハーンと石仏の美—横浜から熊本までの時—	永田雄次郎	人文論究	61-4				
博覧会における「帝国の緊張」—第五回内国勲業博覧会(1903)における内地観光事業と台湾館出展事業—	阿部純一郎	椋山女学文化情報学部紀要	11	スードの道のり「めぐり絵画 日本のスード1880—1945」展	北澤 憲昭 美術手帖	965	
ヨーロッパ原理：男性原理としてのシュルレアリスム—日本におけるシュルレアリスムの受容と変容—	瀬本 阿矢	高梨学術奨励基金年報	H23年度	SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近代美術の傑作150 CRITICAL POINT		967	
一九二〇—五〇年代のサブカルチャーにおける美術史叙述—娯楽による公衆への美術史普及—	太田 智己	東京芸術大学美術学部論叢	8	1 近代美術の先駆者たち 江戸との狭間で—異種混合のエネルギー—	古田 亮		
「MOTコレクション」展関連シンポジウム「現代美術史をいかに語るか—クロニクル／アナクロニクル」採録	藤井 亜紀	東京都現代美術館年報・研究紀要	14	2 絵画表現の屈折点	山梨絵美子		
§前文§				3 彫刻表現の屈折点 生命主義から構築的モニュメンタリティーへ	高橋 幸次		
講演 I 岡崎乾二郎「Populismとしての歴史主義あるいは脱出の方法としてのPop」				4 モニュメントの日本近代	藤井 素彦		
講演 III 光田由里「トラウマと救済—戦後現代美術のミッション」				5 異貌の作家たち「溜まり」や「際[きわ]」に立ち上がる交混した美意識	天野 一夫		
日仏シンポジウム「見えないものの形—中世美術における日仏比較の試み」	木俣 元一	日仏美術学会会報	31	6 災害と美術 日本列島をめぐる、事前と渦中の芸術	榎木 野衣		
第43回日展を前にして		日展ニュース	146	SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近代美術の傑作150 あとがき 果樹の星座	北澤 憲昭	974	
				SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! 超絶技巧の絵画史 山下裕二さんが解説！	山下 裕二 談 編集部 文	974	
				〈小説〉特別篇 〈小説〉企画とはなんだったのか？	栗原裕一郎	976	

PREVIEW 第40回記念 写実画壇展 写実画壇のレゾン・デートル	ワシオ・トシヒコ	美術の窓	343	那智の滝事件 寄稿 大阪大学名誉教授 神林恒道「聖なるものへの感覚の欠如」	神林 恒道	〃	8.26
特集 まるごと「具体[GUTAI]」! 「具体美術協会」とは?		〃	347	150年ぶり月の松 明治に台風で消失 広重「江戸百景」が復活 上野公園17日除幕	丹治早智子	東京	12.12
Interview 平井章一	平井 章一			目は語る アート道 遥 7月 脚光を浴びる「具体」今なお鮮烈に響く創造精神	高階 秀爾	毎日夕刊	7.11
「具体美術協会」という現代美術の始まり:日本の固有性を模索する	千葉 成夫			前衛運動「GUTAI」再評価 国内外で展示、欧米中心の見方修正へ	高野 清見	読 売	8.23
特集 まるごと「具体[GUTAI]」! 検証 欧米における日本戦後美術の受容		〃	〃				
「東京1955—1970」展がみせるもの	ドリュンチョン						
アメリカにおける日本戦後美術受容	富井 玲子			アジアの(教養)を考える 日の当たらなかつた処に光を照らしたアジアの考古学・美術史研究	勝木言一郎	アジア遊学	150
パリの「前衛芸術の日本」展からクリスティーズの「もうひとつの芸術? ミシェル・タピエをめぐる作家たち」展へ	岡部あおみ			中国陶磁器の割れ方二題	金沢 陽	出光美術館館報	158
特集 茶の湯—スキの芸術		美術フォーラム21	25	日本オリエント学会だより サライ・アルバムの中国的絵画における道教的要素	劉 晶晶 ヤマンラール水野美奈子	オリエント	54-2
§前文§	熊倉 功夫編			水墨画の歴史を語る 第三十回 画面のかたち	島尾 新珠 紫	水墨画*	275
第1部 茶の湯の系譜—近代救済者論—実業家のネットワーク	齋藤 康彦			水墨画の風景	〃	〃	
特集 中国と東アジア—近代のコレクション形成と研究の背景		〃	26	2 中国近代の水墨画			278
§前文§	西上 実編			3 中国近代の水墨画(続)			281
第1部 関西における中国書画近代コレクションの形成 橋本コレクションと桑名コレクション	味岡 義人			4 中国絵画展の当たり年			285
砂川闘争と美術家たち	武居 利史	府中市美術館研究紀要	16	趙爾萃『傲徠山房所藏五朝墨迹』試論—私家版墨跡影印集帖という存在—	菅野 智明	中国近現代文化研究	13
講演五 ほんもの・にせもの	森口 隆次	八尾市文化財紀要	17	日韓共同シンポジウム特輯		美術研究	405
南蛮美術の光と影—泰西王侯騎馬図屏風の謎—	木崎 孝嘉	歴史学研究	892	シンポジウム報告(日本会場)	田中 淳		
米で注目 戦後日本の前衛美術 時代が生んだ解放・爆発	渋沢 和彦	産 経	6.27	シンポジウム報告(韓国会場)	稲葉 真以		
				特集 中国と東アジア—近代のコレクション形成と研究の背景 第3部 中国美術と東アジア 中国近代美術の展開—多角的な視点から見た日本との関係	陸 偉榮	美術フォーラム21	26

海外美術史(アジア)

目は語る アート遺  
遥 1月 中国絵画  
の近代化 筆線に見  
る抽象性への志向

高階 秀爾 毎日夕刊 1.23

エジプト西方砂漠  
ハルガ・オアシス  
アル・ザヤーン神  
殿遺跡の調査—神  
殿装飾からのアプ  
ローチー

田澤 恵子

海外美術史(その他)

あいだのすみっこ不  
定期漫遊連載

稲賀 繁美 あいだ

王家の谷・西谷、  
アメンヘテプ3世  
王墓出土の副葬品  
について

河合 望

第86~88回 世界  
美術史の海賊史観  
にむけて(1~3)  
文明の海洋史観を  
超えて(国際会議  
「インド洋、海賊  
と美術史」より)

192~194

近代イギリスの中国  
イメージ再考—柳模  
様と Britain's Chines-  
se Eye—

東田 雅博

金沢大学  
歴史言語  
文化学系  
論集

4

第91回 「バッタ  
モン」の再来, Bat-  
tamon Returns —  
翻訳の政治学と全  
球化への抵抗

198

研究小話 試論 生  
きつづける古典古代  
—近代美術と神話の  
世界

佐藤 聖子

群馬の森  
美術館ニ  
ュース

1 近代の夜明け  
から第一次世界大  
戦まで

148

2 2つの世界大  
戦のはざままで

149

文化創造の図像学  
日本の宗教空間と身  
体 II 森羅万象の図  
像化—食・病・死  
病の図像学的解釈の  
試み—結核とその周  
辺

福田 真人 アジア遊  
学

154

ガリレオと美術—近  
代天文学の祖におけ  
る科学と美術の関係

金山 弘昌

芸術学

15

<予言文学>の世界 I  
宗教・信仰と<予言  
文学>「夢と幻」—ベ  
アトゥス写本の「ネ  
ブカドネツアル王の  
巨像の夢」

宮内ふじ乃 //

159

大特集 浮世絵 vs.  
世界のエロス 春画  
ワールドカップ

芸術新潮

746

Team Peru 古代ア  
ンデス文明の性と  
死

関 雄二

絨毯研究の方法と今  
後の可能性

鎌田由美子 明日の東  
洋学

28

Team Ancient Gre-  
ece & Rome ファ  
ロスの王国

田中 雅志

翻訳「ヨーロッパ  
における素描の歴史  
と技法」(4)

シャルル・  
ド・トルナ  
イ 森田 義之、  
上月 裕子  
訳 五浦論叢

19

World News  
New York「ルネサ  
ンスの肖像 ドナ  
テッロからベッリ  
ーニまで」展 横  
顔から4分の3正  
面観へ 肖像のル  
ネサンス史

前橋 重二 //

//

研究ノート(原典資  
料研究) サミュエル  
・ファン・ホー  
ストラテン『絵画  
芸術の高き学び舎へ  
の手引き』

深谷 訓子 尾道大学  
芸術文化  
学部紀要

11

New York「ビザン  
ティウムとイスラ  
ム 移行の時代」  
展 キリスト教と  
イスラム教 平和  
的共存の証明

750

日本オリエント学会  
だより

オリエン  
ト

54-2

第55号墓(ラモー  
ゼ墓)における列  
柱前室の改変につ  
いて—エジプト・  
アメンヘテプ3世  
期の大型岩窟墓に  
関する建築的調査  
—

柏木 裕之

Washington, D. C.  
「アフリカの宇宙  
星の芸術」展 手  
をのばせばその先  
に宇宙 アフリカ  
文化を彩る7千年  
のコスモロジー

755

テーベ岩窟墓第47  
号墓の発掘調査に  
ついて

近藤 二郎

失われたパリの復元

鹿島 茂 //

II 大改造前史  
ルテキアからパリ  
へ

746

III 続・大改造前史 シャルル五世の城壁	747	連載 再建への意志 : 凶面のなかの都市復興 no.5 ネロの黄金宮とローマ市改造計画	桐敷真次郎	建築雑誌	1632
IV 続々・大改造前史 パリのルネッサンス	748	学界展望 トルコ建築史・都市史	川本 智史	建築史学	58
V 大改造前史終章 太陽王から平等公へ	749	開館30周年記念特別展 あんな話こんな話「南蛮美術の光と影」王侯の剣、人々の祈り	塚原 晃	神戸市立博物館だより	102
VI 大革命後一消滅と出現	750	古代末期におけるキリスト教と異教の並存の一例—イタリア国ソルマ・ヴェスヴィア—ナ在ローマ時代遺跡	向井 朋生	国立西洋美術館研究紀要	17
VII ナポレオンの甥、ロンドンに亡命してパリ大改造を妄想する	751	調査報告 トロス司教座聖堂発掘報告(二〇一一)		史苑	187
VIII これより本編、マルシアル『いにしえのパリ』をひもときながら	752	一建築上の所見を中心に	浦野 聡		
IX 『従妹ベット』または復讐する女神の地図	753	一聖堂装飾遺物を中心に	田中 咲子		
X 『ガンバラ』またはフロワメント—通りの破滅の音楽	754	調査報告 トロス司教座聖堂出土碑文の概要(二)二〇一一年度の発掘から	師尾 晶子	" "	" "
XI 太陽小路で逢いましょう 老翁ユロ男爵の蜜の家	755	『十三世紀フランス語聖書』(Bible française du XIIIe siècle)彩飾写本研究: オクスフォード、クライスト・チャーチ図書館所蔵《新約聖書》について	駒田亜紀子	実践女子大学美学美術史学	26
XII 去年の雪いまは何処 悪の殿堂パレ・ロワイヤル盛衰史	756	特集「島」サルディーニャ島、ある地中海世界の風景	陣内 秀信	紫明	31
活きている洞窟壁画 ヘルツォークが撮ったショーヴェの美	港 千尋	シンポジウム報告 西洋における中国/日本 17~19世紀のシノワズリーとジャポニスム	藤原 貞朗	ジャポニスム研究	32
特別対談 原田マハ×宮下規久朗 ヴェネツィアで展開した「視覚の冒険」	原田 マハ、 宮下規久朗 対談	聚美夏題 影響の連鎖としての美術史	千足 伸行	聚美	4
大特集 永遠のイスタンブール 東西の美と出会う都 第I章 ビザンティンの遺産	益田 朋幸 解説	オルレアン家詩歌帖の世界 その5 貴婦人とリス 指輪刻印『文法用語をまじえる6行詩』及び図像注解	田桐 正彦	女子美術大学研究紀要	42
特集 西洋美術とジェンダー—視ることの制度	言語文化 29	現在通信 From NEW YORK ハブニングの始原	富井 玲子	新美術新聞	1273
貧者のジェンダー—近世イタリアの救貧主義と貧者像の変容	新保 淳乃	PARIS 発 フォーヴを支えたル・アーヴルの蒐集家	安部 雅延	" "	1293
教会装飾と女性芸術家—両大戦間期を中心としたフランスにおける宗教、植民地主義、モダニズムとの関わりの中で	味岡 京子				

シャルトル大聖堂の ステンドグラス 《Baie48: 聖ヨハネ 伝の窓》—その5—	高野 禎子	清泉女子 大学紀要	60	中世都市ペルーシア の形成	北村紀久子	〃	〃
特集 美術と検閲		西洋美術 研究	16	カベスタニ教会堂テ インパナムについて —その主題と図像学 的解釈	石井 真理	日仏美術 学会会報	31
座談会 芸術と検 閲 美術・文学・ 音楽	長木 誠司、 野崎 敏、 中村 俊春、 三浦 司			例会発表要旨 第118 回例会: 中世後期に おける聖書と美術— 越境するテキスト		〃	〃
キリスト教図像の 規範と自由をめぐ る—考察 13世紀 における『詩編』 109編の「イニシア ル装飾と『詩編』 三位一体」	木俣 元一			教訓聖書 Bible moralisée の転義 的解釈—《ヤコブ の夢》と「隅の石」 の図像解釈の試み	木田沙弥佳		
ユーゴスラヴィアの 農民による芸術活動 (フレビネ派)—展覧 会報道にみる初期活 動	嶋田 紗千	世田谷美 術館紀要	13	フランス語聖書系 彩飾写本の展開— 十字軍遠征とその 余波	駒田亜紀子		
15世紀の西欧にお ける聖地エルサレム 模造の変化と展開	関根 浩子	崇城大学 芸術学部 研究紀要	5	例会発表要旨 第119 回例会:		〃	〃
ローマ、ヴィッラ・ マダマのロジヤ装 飾研究	深田麻里亜	高梨学術 奨励基金 年報	H23年度	カベスタニの親方 —ノートル=ダム ・デ・ザンジュ教 会所蔵のティンパ ナムを中心に	石井 真理		
試論: 古代美術から 中世美術へ—テサロ ニキ、アギオス・ゲ オルギオス聖堂(ロ トンダ)の建築・図 像・銘文—	海老原梨江	〃	〃	ジャン・ピュセル 『ジャンヌ・デヴ ルーの時禱書』の 再検討—「キリス トの復活」と「聖王 ルイの墓」を中心 に	古本 高樹		
西洋中世詩篇の写本 工房に関する研究	辻 絵理子	〃	〃	例会発表要旨 第121 回例会: イタリアの 光 前衛と古典主義 —1910—1920年代 のフランスとイタリア における画家たちの 作品と著述	阿部 真弓	〃	〃
聖ベルナルの清貧 思想と比率の形而上 学における光の空間 —聖アウグスティヌ スとル・トロネ修道 院の回廊を中心とし て—	鈴木 元彦	多摩美術 研究	1	ワークショップ 1920~30年代の美術 史家と美術批評家— フランス美術史編纂 の歴史研究試論(3) —フランス中世美術 と美術史編纂の諸問 題	藤原 貞朗 泉 美知子 松岡新一郎	〃	〃
〈母〉の聖性表現につ いての試論	石倉 敏明	多摩美術 大学研究 紀要	26	オステリア・デイオ スクロイの家にお けるヴィーナスを描 いたモザイクの製作 過程に関する復元的 考察 オステリア・ロ ーマ都市研究 I	堀 賀貴	日本建築 学会計画 系論文集	671
シエナ大聖堂下堂壁 画についての記述な らびにその旧約伝場 面に関する考察	小野 迪孝	東海大学 紀要教養 学部	42	ベルギー・ウイにお けるノートル=ダム 参事会聖堂の建設 過程に関する考察 11 世紀から14世紀にか けてのクリプトと地 上聖堂の形態(その 1)	柘植 雅美	〃	674
ウェヌスとアモルの 王国—ヴィッラ・マ ダマ装飾における教 皇レオ10世の治世の 寓意—	深田麻里亜	東京芸術 大学美術 学部論叢	8				
須磨コレクションの 調査報告書(四)	ヘスス・グ ティエレス ・ブロン 豊田 唯 訳	長崎県美 術館研究 紀要	5				
イタリア王国建国期 の対日本政策 養蚕 外交から美術外交へ	河上 真理	日伊文化 研究	50				



サン・ミゲル・デ・エスカラダ教会堂における円柱使用法について 中世キリスト教建築とイスラム建築における円柱の使用方法に関する研究(1)	伊藤 喜彦	"	675	「縫う女性」の表象—『ゴードイズ・レディズ・ブック』を手がかりに—	平芳 裕子		
ギリシア古代都市メッセネにおける劇場のローマ時代舞台建物の復元試案	岩田 千穂 吉武 隆一 伊藤 重剛	"	678	展覧会評 「天国の宝物：中世ヨーロッパの聖人、聖遺物、信仰」展(大英博物館、2011)	浅野ひとみ	美学美術史研究論集	26
初期アルメニア正教会堂建築の教会堂主要部構成内部における上部架構の構築方法—アルメニア共和国におけるキリスト教建築の研究3—	藤田 康仁	"	679	若者とアリユバロス—古代ギリシアの運動選手墓碑における「アリユバロス・タイプ」の成立背景—	田中 咲子	美術史	172
資料翻訳 ローン・キャンベル『ルネサンス・ポートレイト』(1990) 第9章「イタリアと北方」	西 美弥子	bandaly	11	平成二十三年度東支部例会		"	"
リッポ・ディ・ダルマジオからガイド・レーニヘーカルロ・チェーザレ・マルヴァジアの美術史叙述におけるひとつの系譜とその形成のための要因—	高橋 健一	美 学	240	プロヴァンス地方の装飾祭壇テーブル群(五一—十二世紀)—再考と問題提起—	奈良澤由美		
例会・研究発表会要旨		"	"	『十三世紀フランス語聖書』(Bible française du XIIIe siècle) 彩飾写本の展開—西ヨーロッパと聖地、聖俗の狭間で—	駒田亜紀子		
ビザンティン聖堂装飾のアイコンとナラティヴ	益田 朋幸			平成二十三年度西支部例会 十七世紀フィレンツェにおける「展覧会」—サントニオ・アバーテ・ディ・ノッテ同信会の事例をもとに—	坂本 篤史	"	"
ロンドン国際シュルレアリスム展(一九三六年)にみる「相隔たるもの同士の並置」をめぐる諸問題	石井 祐子			第六十五回全国大会研究発表要旨 《トラヤヌス帝記念柱》と《マルクス記念柱》浮彫にみられる「馬」の表現	中西 麻澄	"	173
アフリカ芸術の刷新とフランス植民地行政—ジョルジュ・アルデイの「黒人芸術」論を中心に—	柳沢 史明	"	241	《ディオニュソス》と《ペプロフオロス》—ソクマ・ヴェスヴィアーナ出土の二体の大理石像	芳賀 京子 青柳 正規	美術史学	33
第六十三回美学会全国大会報告 発表要旨		"	"	史料翻訳 カーレル・ファン・マンデル『絵画の書』(一六〇四)(一四)	深谷 訓子 尾崎 彰宏	"	"
森田慶一『建築論』の「全一」概念について—ヴァレリー『エウバリノス』との関わり—	市川 秀和			カッパドキア円柱式聖堂群の装飾プログラムと制作順	菅原 裕文 益田 朋幸	美術史研究	50
ベルギーの《ガリツィン祭壇画》とフランドル派の《磔刑》との関係—カ・ドーロにあるファン・エイク派の《磔刑》を中心に—	江藤 匠			研究ノート 西洋中近世における像を用いた儀礼をめぐるノート	秋山 聰	美術史論叢	28

SPECIAL FEATURE Chim ↑ Pom プレゼンツ REAL TIMES GALLERY & INTER-VIEWS THEORY & PRACTICE スーパーラットの『種の起源』をたどる 論考02 シチュエーション・インターナショナルとその遺産 1960年代から Chim ↑ Pom まで	松井みどり	美術手帖	964	美・博ピックアップ 文化育んだ「黒猫」の夜 群馬県立近代美術館「陶酔のパリ・モンマルトル 1880-1910」	蒔苗沙都子	朝日夕刊	2.1
特集 耽美な世界へようこそ		美術の窓	342	海外通信 @ロンドン ラファエル前派 緻密な描写、心揺さぶる	菅 伸子	〃	10.31
世紀末芸術の生んだ耽美的世界	池上 英洋			南仏の祭壇 時をかける 1000年以上前の物も再利用、15年間で450件調査	奈良沢由美	日 経	2.8
「水と女性」の魅力	高宮 利行			入門講座 絵でよむ アダムとイヴ 1~4 原罪と追放 「人間とは何か」凝縮	岡田 温司	日経夕刊	6.7、14、21、28
二十世紀美術断想1	粟津 則雄	〃	343	目は語る アート逍遥 8月 ドビュッシーと文芸 多彩な交友 新時代の息吹	高階 秀爾	毎日夕刊	8.9
特集 ぬくもりの表現 触れたいくなる絵画 ④技法講座 VOL.26 西洋の巨匠が描くぬくもり	太田美喜子	〃	345	いにしえとの対話 清教徒が墓に刻んだ髑髏	月本 昭男	読売夕刊	2.20
文化遺産の感情形成—20世紀初頭フランスの教会堂保護運動における思想展開	泉 美知子	文化資源学	10	<b>保存修復</b>			
『愛に囚われし心の書』の挿絵について—読む人—	田中久美子	文星紀要	23	日本における修復技術の変遷	増田 勝彦	Archives	48
フランスの博物館史素描	臺 由子	MUSEUM STUDY	23	ICA プリスベン大会及び AICCM における修復ワークショップ	中島 郁子	〃	〃
風景の虚構化または虚構の風景化(1)—自然風景画と都市風景画について—	北山 研二	ヨーロッパ文化研究	31	陶磁器における色彩と素材研究	太田 公典 梅本 孝征 佐藤 文子 杉山 豊彦	愛知県立芸術大学紀要	41
「エウロペの誘拐」—文学と絵画—	高木 昌史	〃	〃	インスピレーション 建築 京大・吉田寮の「動態保存」	ぼむ 企画	A X I S	156
カナダ北西海岸の先史アート	関 俊彦	立正史学	112	活動レポート 東日本大震災による被災文化財等救出状況	赤沼 英男	岩手県立博物館だより	133
史料紹介 パルテノン神殿のフリーズ彫刻について	中村 るい	歴史と地理	656	文化財レスキュー活動		岩手県立博物館年報	H23年度
オフリド周辺の「キリスト三態」に関する覚書	益田 朋幸	早稲田大学大学院文学研究科紀要	57	歴史的な琉球漆器の科学分析と漆工技術	本多 貴之 宮腰 哲雄 宮里 正子 岡本 亜紀	よのつち*	8
《アヴィニョンのピエタ》の寄進者像表現	勝谷 祐子	〃	〃	特別展「アルケオメトリア」 巧妙な修復	宮尾 亨	Ouroboros	43
博士論文概要 11世紀のイベリア半島の装飾写本—“モサラベ美術”からロマネスク美術へ—	久米 順子	〃	〃	大分県内に所在する仏画・仏像の彩色に関する科学的調査	石川 優生 平尾 良光 山田 拓伸	大分県立歴史博物館研究紀要	13
				天福寺奥院仏像群の放射性炭素年代測定 (AMS 測定)	綿貫 俊一 株式会社加 速器研究所	〃	〃

平成22・23年度美術作品修復報告	美	仲村美奈子	沖縄県立博物館美術館博 物館紀要*	2	紙本墨書「費錫章書」 保存修復報告書	上江洲安亨 閑地久治 箭木康一郎	首里城公 園管理セ ンター年 報*	2
日本オリエント学会 だより スーダン共 和国における彩色壁 画について		関廣 尚世 村治 笙子	オリエ ント	54-2	「黒漆牡丹唐草螺鈿 堤重」保存修復報 告書	上江洲安亨 室瀬和美 大西 智洋	〃	〃
南イタリア中世壁画 群診断調査プロジェ クト 2012年度フィ ールド調査の実施			フレスコ 壁画研究 センター ニュース*	4	紙本墨書「中山楽童 子向惟新」保存修復 報告	上江洲安亨 當間 巧	〃	〃
研究ノート 土器に 付着した白色物質の 推定に関する予察 その二		加藤 和歳	九州歴史 資料館研 究論集	37	「馬姓家譜 支流 豊平親雲上」保存修 復報告	上江洲安亨 宮城 誠	〃	〃
東日本大震災一文化 財レスキュー		宮川 禎一	京都国立 博物館だ より	173	「馬執宏家御願関係 史料」保存修復報告	〃	〃	〃
慶應義塾所蔵作品調 査・保存活動			慶応義塾 大学アー ト・セン ター年報	19	七条織樹皮色袈裟の 復元模造	白井 進	正倉院紀 要	34
上野の杜の波瀾万丈 第十三回 日本美術 の保護 後篇		吉田千鶴子	芸大通信	24	年次報告	成瀬 正和 ほか	〃	〃
法華堂須弥壇修理の その後		今西 良男	華 厳	95	東日本大震災の被災 文化財救済・修復か らの新たな取り組み	大和 智	絲綢之路	68
特集 残されしもの、 生かされしもの 第 1部 残されし文化 財			建築雑誌	1631	東日本大震災の被災 地に行く一陸前高田 市からの報告	小宮 浩	〃	〃
地域の文化財建造 物にゆっくりと迫 る危機		藤川 昌樹			高松塚古墳壁画の今 一壁画発見四十年を むかえて一	建石 徹	〃	69
被災した文化財建 造物に対する修復 理念		武藤 正幸			震災からの完全復興 をめざして～五浦か らの便り～	三輪五十二	〃	70
「残されし歴史的 建造物」の構造修 復に向けて		花里 利一			震災から1年余一ベ ンガラ色鮮やかに、 創建時に限りなく近 く復旧! 復興のシン ボル五浦「六角堂」 再建 竣工式典4月 17日開かれる		新美術新 聞	1279
特集 広島[ヒロシ マ]・長崎[ナガサ キ] 第3部 読み 直され、継承される ヒロシマ・ナガサキ 広島における被爆建 造物の保存運動		石田 雅春	〃	1635	報告 文化財レスキ ュー事業:東北の美 術品・文化財を守る	村上 博哉	ゼフユロ ス	51
特集4 無形文化財 保持者の手によっ て復元される国宝1号 ・崇礼門		李坂野 諷	光杓 慎治	コリアナ	19-3	震災対応	ZENBI	1
三重県指定文化財 『資経本斎宮女御集』 の修復について			斎宮歴史 博物館研 究紀要	21	気仙沼市における 文化財レスキュー の状況	川島 秀一		
「春日権現験記絵」の 修理 修理状況と調 査概要の報告(一)		太田 彩	三の丸尚 蔵館年報 ・紀要	17	全美 陸前高田市 立博物館美術作品 等救援活動につい て	浜田 拓志		
					全美事務局の初期 活動と石巻レスキ ュー	村上 博哉		

全美フォーラム04 陸前高田市立田中中 学校で被災した4点 の作品	田中 善明	ZENBI	2	10 バンクオブア メリカ・メリルリ ンチの文化財保護 プログラムの協力 を得て重要文化財 「五龍図巻」の修理 始まる			712
文化財建造物修理現 場だより 国宝 園 城寺新羅善神堂保存 修理工事	菅原 和之	全文連文 化財通信	83	12 被災文化財の 処置はこれからが 本番			714
資料の保存と修復— 東日本大震災の被災 現場に発生から十日 目に入って—	坂本 勇	千葉県の 文書館	17	14 文化遺産を脅 かす危機について 考える(その1)			716
シンポジウム 災害 と歴史資料の保存— 何のため・誰のため に遺すのか—		地方史研 究	359	収蔵作品の修復およ び保護処理報告(2)	山口 孝子	東京都写 真美術館 紀要	11
開催の意義と展望 について	地方史研究 協議会学 術体制小委 員会			進路としての文化財 保存修復	門脇 豊	同志社大 学博物館 学年報	43
《基調報告》地域・ ふるさと、そして 歴史資料	小田 康德			I. 展覧会およびそ の調査から展開する 地域文化遺産の保護 活動 白鷹町塩田行 屋の仏像(町指定文 化財および新海宗慶 ・竹太郎作の明治期 諸像)を事例として	岡田 靖 宮本 晶朗	東北芸工 大保存修 復センタ ー年報*	2
震災発生後一年、 被災地における資料 保存の現状と課題	本間 宏			II. 地域の文化財に 対する修復と保存処 置 東洋絵画修復室 における掛軸作品の 修復と調査からの考 察	大山 龍頭	" "	" "
歴史資料の調査と 自治体の役割	平井 義人			特集 東日本大震災 被災文化財救済活動 への取り組み	米村 祥 藤原 徹 岡田 靖 龍頭	" "	3
シンポジウム「災 害と歴史資料の保 存」によせて	澤村 怜薫			大江町所蔵中の畑雷 神社「御戸帳」の保存 修復	半田 正博 大山 龍頭	" "	" "
シンポジウム「災 害と歴史資料の保 存—何のため・誰 のために遺すのか —」について	吉田 優			白鷹町文化交流セン ター主催 「白鷹町 の仏像1 中世から 明治の仏像 塩田行 屋の仏たち」展に関 する業務補助	米村 祥央	" "	" "
シンポジウム「災 害と歴史資料の保 存」に参加して	小島 道裕			学芸員ノート 古代 アンデス染織品にお ける赤色染料の同定 (第2報)—使用染料 の変遷についてのま とめ—	井上 則子	遠山記念 館だより	44
東日本大震災にお ける香取市の文化財 の被災状況と復興へ の取り組み	川口 康	" "	" "	吾妻古墳の電気探査 結果と石室位置につ いて	中村 享 辻本 崇夫	とちぎ埋 文センタ ー紀要*	20
考古美術収蔵庫の害 虫調査	飯降 美子	天理参考 館報	25	栃木の発掘調査と理 化学分析(その5)— 樹種同定による建築 構架材の様相(1)—	芹沢 清八	" "	" "
修復研究業績 東京 芸術大学蔵 木造薬 師寺三層裳階付大塔 模型		東京芸大 保存修復 彫刻年報*	2011年度	談山神社の外装塗装 に使用された塗装材 料の研究	赤田 昌倫 高妻 洋成 大林 潤	奈良文化 財研究所 紀要	2012
100年後の未来にバ トタッチ! 保存 と修理情報	神庭 信幸	東京国立 博物館ニ ュース					
9 重要美術品 柳橋水車図屏風の 修理が完了しまし た			711				

木造神像彫刻の非破壊年輪年代調査—奈良文化財研究所保管の木造男神像・女神像を事例として—	大河内隆之 児島 大輔	”	”	染織品の展示と方法について—「所蔵作品展 岩崎博染織コレクション受贈記念シルクロードをめぐる布の旅」の場合—	福田 浩子	広島県立美術館研究紀要	15
宗像市田熊石畑遺跡出土武器型青銅器の保存処理	高妻 洋成 脇谷 草一郎 田村 朋美 辻本 與志	”	”	小特集 重要文化財大阪府美園古墳出土埴輪の保存修復		文化財*	587
藤原宮木簡の樹種	山本 崇 藤井 裕之	”	”	保存修復の経緯と概要	和田一之輔		
平成の大修理	木暮 道樹	日光山輪 王寺	81	美園古墳出土埴輪の保存修復	江野 朋子		
寺宝修理報告 木造日天像 木造閻魔天像 絹本着色芭蕉翁像(小川破笠筆)		”	”	特集 名勝の保護 名勝の価値を次世代へと伝えるために—新類型の発見とその望ましい保存管理の在り方—	本中 眞	”	589
保存修理工事10年経過時の建物調査と評価—重要文化財自由学園明日館の保存再生 その2—	杉江 夏呼 花里 利一	日本建築 学会計画 系論文集	672	研究報告 武家文化財調査修復事業について	伊達 元成	噴火湾文化	6
修復方針決定までの議論 国際協力によるポロブドゥール遺跡修復事業 その2	安田 梢 平賀あまな 斎藤 英俊	”	677	蛍光撮影法を用いた材料の識別	城野 誠治	鳳翔学叢	8
讃岐国分寺本堂の昭和修理	三浦 要一	”	681	「国宝平等院鳳凰堂内西面扉絵日想観」の学術的復元模写による保存に関する研究(二)	荒木 恵信	”	”
重要文化財建築物の動態保存における維持管理の現状と運営方策に関する研究	李 榮蘭 齋藤 佳寛 榊田 敏正 小西	”	682	平等院 ガラス容器の截金文様復元について—作業報告—	小椋 範彦 松崎 森平	”	”
文化財レポート 宮城県における文化財レスキュー事業	小谷 竜介	日本歴史	765	平等院鳳凰堂 建築装飾調査及復原(二)	馬場 良治	”	”
例会・研究発表会要旨 保存・修復におけるコンテポラリー・アート—チェーザレ・ブランディの理論とその「現代性」	田口かおり	美 学	240	厳島神社大鳥居修理のための充填材料評価試験	早川 典子 ほか	保存科学	51
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 2 ATELIER 神技テクニクを徹底解剖4 東京藝術大学大学院文化財保存学 伝統的な技法を学び、後世に伝える	永峰 美佳	美術手帖	974	泰西王侯騎馬図屏風の彩色材料調査	早川 泰弘 城野 誠治	”	”
資料紹介 南禅寺本坊大方丈襖絵のデジタル手彩色再現制作	原田 平作	美術フォーラム21	25	重要文化財元禄および天保国絵図に使われた彩色材料と色彩表現に関する考察	吉田 直人 早川 泰弘 村岡ゆかり 杉本 史子	”	”
最近の調査成果から(考古資料の非破壊分析)	岡本 一秀	兵庫県立考古博物館研究紀要	5	霧島神社の塗装部位から分離された糸状菌の諸性質	佐藤 嘉則 ほか	”	”
水損資料凍結乾燥の取り組み	”	”	”	ハギア・ソフィア大聖堂の屋内外環境と劣化状態	小椋 大輔 ほか	”	”
				旧日本郵船小樽支店の建築部材の劣化と保存対策	高見 雄三 石崎 武志	”	”

石塔に対する履屋の保護効果に関する研究	朽津 信明	保存科学	51	手宮洞窟保存館内の室内温度環境調査	高見 雄三 石崎 武志	〃	〃
日本における近世以前の修理・修復の歴史について	〃	〃	〃	展示収蔵環境で用いられる内装材料の放散ガス試験法	古田嶋智子 呂俊民 佐野千絵	〃	〃
水・塩分で被災した資料の殺菌燻蒸の注意点：資料中の水分・塩分による副生成物の生成量の調査結果について	木川 ほか りか	〃	〃	フィルム保管庫における酢酸雰囲気改善の試み	佐野 千絵 ほか	〃	〃
津波等で被災した文書等救済法としてのスクウェルチ・ドライイング法の検討	小野寺裕子 ほか	〃	〃	ハギヤソフィア大聖堂における無線式常時環境計測システムの開発	小泉 圭吾 ほか	〃	〃
キトラ古墳から分離された細菌や酵母の修復用高分子材料に対する資化性試験	木川 ほか りか	〃	〃	ハギア・ソフィア大聖堂内壁画の析出塩類の調査	佐々木淑美 ほか	〃	〃
キトラ古墳の微生物調査報告(2011)	〃	〃	〃	こけら屋根に用いた銅板の防腐効果について	藤原 裕子 藤井 義久 木川 りか	〃	〃
日光の歴史的建造物における木材害虫・シバンムシ類の効果的な捕獲方法の検討	木川 ほか りか	〃	〃	展示公開施設の館内環境調査報告—平成22年度—	吉田 直人 林 美木子 佐野 千絵 石崎 武志	〃	〃
日光の歴史的建造物で採取した虫糞調査：シバンムシ科甲虫各種間の虫糞形状比較	小峰 幸夫 ほか	〃	〃	東日本大震災 被災文化財レスキュー		埋蔵文化財 ニュー ス	148
日本の歴史的建造物における捕虫テープに捕獲された甲虫の建物内分布の解析と考察	林 美木子 ほか	〃	〃	岩手県立博物館における海水損資料レスキュー活動の現状と課題	赤沼 英男		
大阪商業大学商学史博物館所蔵「河内國茨田群藤田村文書」絵図の彩色材料調査結果	吉田 直人 早川 泰弘 磯永 和貴	〃	〃	文化財レスキューでの考古学研究者の役割と課題	藤澤 敦		
ガンマ線および穿孔抵抗を用いた木製柱の内部劣化の診断	藤井 義久 ほか	〃	〃	水損文書類の救援活動	澤田 正昭 戸田 有二		
移動が困難な文化財の調査を目的としたX線イメージセンサーの開発	大塚 将英 ほか	〃	〃	東日本大震災への対応と課題～茨城にて～	松井 敏也		
フィルム音帯の修復方法の開発	中山 俊介 大河原 典子 池田 芳妃 安部 倫子	〃	〃	歴史資料の救済と保存科学の接点—宮城資料ネットの活動をとおして—	平川 新		
霧島神社における塗装劣化要因の解明とその対策の検討	森井 順之 ほか	〃	〃	兵庫県における水損紙資料レスキュー	岡本 一秀 中村 大介 大谷 輝彦		
				水損文書の救援活動	高妻 洋成		
				東京文書救援隊の文書復旧システム—その考え方と技術	木部 徹		

被災した民俗文化財のレスキュー活動—保存科学者としての関わりから—	日高 真吾			国宝長保寺大門ほか2棟の保存修理	下津健太郎	〃	〃	
海水で被災した紙資料の洗浄と湿熱劣化試験	稲葉久利	政満元昭		重要文化財熊野本宮大社第一殿・第二殿ほか2棟の保存修理	御船 達雄	〃	〃	
水、塩水で被災した文化財の殺菌燻蒸計画時の注意点について	木川 ほか	りか		県指定文化財木之本八幡神社本殿の保存修理	多井 忠嗣	〃	〃	
被災文化遺産支援コンソーシアムの活動—復興支援と「防災遺産学」形成—		文化遺産支援コンソーシアム		国史跡旧名手本陣土塀の保存修理	〃	〃	〃	
湯浅伝統建造物群保存地区保存修理の技術指導		山本 新平		登録文化財火伏医院修理の技術指導	御船 達雄	〃	〃	
報告 東京国立博物館所蔵「紺紙金字法華経」の卷子紐の復元	西岡 千鶴	MUSEUM	639	重要文化財熊野那智大社第一殿ほか7棟の保存修理(災害復旧)	多井 忠嗣	〃	〃	
東日本大震災における対応と課題—ひたちなか市埋蔵文化財調査センターの場合—	松本 睦史	MUSEOLOGIST	27	CTで古代くっきり立体撮影で遺物削らず詳細解説	中村 俊介	朝 日	2.7	
歴博けんきゅう便		歴 博		甲乙閑話 パーミヤン復興 認識にずれ	木村 尚貴	〃	3.14	
第41回 洛中洛外図屏風歴博甲本の復元	小島 道裕		170	鑑真和上像の身代わり制作 奈良・唐招提寺		〃	10.19	
第44回 東日本大震災へ取り組み	平川 南		175	飛鳥美人の40年	大脇 和明	朝日夕刊		
技法の現場から		連盟ニュース		一 壁画のカビ隠され続けた			3.12	
20 紙作品の素材と保存	坂本 雅美		442	二 重ねた修理「負の連鎖」			3.13	
21 ベニヤ板と絵画保存	小谷野匡子		443	三 原因よそに解体強行			3.14	
22 キャンバスを支持体として制作する美術家の方々へ	山領 まり		444	四 「皆の宝一緒に守ろう」			3.15	
平成二十二年度 修理文化財(木造)材質調査報告		鹿園雑集*	14	修復の繊細さ、母国に	香取 啓介	〃	9.21	
平成二十一・二十二年度 修復文化財関係銘文集成		〃	〃	高松塚古墳壁画 続く“治療”輝き戻るか		産 経	3.15	
重要文化財金剛三昧院客殿及び台所ほか1基の保存修理	結城 啓司	和歌山県文化財センター年報	2011	平安時代のお姿に 荒川の養福寺 仏像の修復開始	竹上 順子	東 京	8.9	
				3・11後を生きる ボランティアのちから 文化伝える資料電子化 陸前高田の被災収蔵品	寺尾 晶子	〃	9.5	

平成24年定期刊行物所載文献(総/保・修)

文化財ようやく救出 福島・警戒区域の資料館	東京	9.6	下名札流され正体不明に冠水の影響予測できず			3.13
東京駅の赤れんが焼いたホフマン輪窓「歴史残そう」埼玉・深谷で修復検討	東京	10.22	日本の分岐点40年前第7回高松塚古墳壁画発見			10.21
コンパス 復興と遺跡保護 匠の技	東京夕刊	3.17 12.8	歴史好きの国民性が顕在化、発掘一辺倒脱する必要	広瀬 和雄 談 伊藤 和史 聞き手		
正倉院100年ぶり修理 新しい木材で補強	東京	12.14	壁画劣化問題 カビの生態、無知だった	栗原 俊雄		
文化往来 文化財の模刻に3Dスキャナー活用 ポーラ美術館、薬剤に頼らぬ虫害対策 愛媛の木造小学校保存活動、米財団から賞	日経	4.23 8.2 10.23	津波越え古文書次世代へ 地元で応急処置、国会図書館で修復始まる 岩手県指定文化財「吉田家文書」 検証 高松塚壁画の劣化原因 保存努力が裏目に 本来の吸放湿性失いかび	青島 顕 佐々木泰造		11.5 11.21
マヤ遺跡研究 現地で17年 エルサルバドル文化庁課長に、調査・保存に奔走	柴田 潮音	7.24	さわれる『江西大墓壁画』東京芸大 質感そっくりで複製中		読 売	1.4
千年輝く文字を求めて 奈良時代の「金泥書」、紙漉きから手法復元	福島 久幸	7.26	「大仏爆破 悪夢の日々」バーミヤン住民 殺すと脅され作業	横堀 裕也		1.8
世界いまを刻む 歴史的建造物の宝庫 街並み保全へ 中・東欧が苦心 所有権複雑、修復費も膨大	赤川 省吾	9.9	バーミヤン遺跡 国際シンポ 保護と地域開発 両立が鍵	早川 保夫		1.11
風待ち建築 港町の語り部 気仙沼のレトロな商店や旅館、補強・修理し守る	菅原 千栄	10.12	江西大墓壁画の複製が完成 東京芸大 飛鳥美人 修復進む 今月21日 発見40年			3.7 3.15
冷泉家調査で科学的裏付け 文化財土蔵が守る	松岡 資明	日経夕刊 7.10	「高松塚」現地保存に壁			3.28
広角鋭角 わが町・わが城3 復元 髪一本分の精度		11.15	壁画修復後、戻す技術が課題 「取り外し」恥ずかしい	清岡 央 辻本 芳孝 森 浩一 談		
陸前高田で被災の標本 600点修復 北九州の博物館	西嶋 正法	毎日 1.31	列島細見 岡山 裝飾古墳 急務の現地保存策	末膳 悠太		5.4
キャンパスウオーク これが評判! 被災者の写真修復 工学院大作業手順マニュアルに	黒田阿紗子	3.7	劣化進む写真フィルム 「歴史の記録」保存・活用を	池田 正一		10.9
続被災文化財を救え 上 回収と修復準備進むが疎開先の負担も大きく	栗原 俊雄	毎日夕刊 3.12	明日香村まるごと博物館フォーラム 高松塚古墳 尽きぬロマン 壁画発見40年 保存・活用考える契機に	関口 和哉	読売夕刊	7.30



情報処理

博物館収蔵品情報の連携とメタデータ—アメリカの動向と日本における可能性—	宮崎 幹子	アート・ドキュメンテーション研究	19	コレクションの画像の保存と活用をめぐって—デジタル完全移行を見据えての共同研究プロジェクト始動	都築千重子	
事例報告 モバイル環境におけるデジタル文化財情報の活用	佐藤 祐介	" "	" "	撮影側から見たデジタルアーカイブ化へ向けてのトリアルと問題点	大谷 一郎	
「アート・アーカイヴ2：プラットフォームの形成に向けて」参加報告記	成澤みずき	アート・ドキュメンテーション通信	93	考察と今後の課題 実験の方法と結果	室屋 泰三 原瀬 裕孝	
写真集として、事典として—『フランス19世紀同時代人ギャラリー』デジタル・アーカイブ公開の成果と意義	打林 俊	" "	94	連載 ケンチク脳の活かし方 no.5 多元的デジタルアーカイブは時空を越えて記憶をつなぐ	生田 京子	建築雑誌 1638
武蔵野美術大学造形研究センターシンポジウム 「デザインコレクションとデジタル・アーカイブ」に参加して	鍋木あづさ	" "	95	ある好古家のコレクション 根岸武香と胄山文庫—「国立国会図書館デジタル化資料」搭載を契機として—	大沼 宜規	国立国会図書館月報 620
全国美術館会議 情報・研究部会企画ワークショップ 所蔵作品情報の発信—《文化遺産オンライン》による実践	鴨木 年泰	" "	" "	現代美術における「アーカイヴ」の意義 関係性重視の発想に基づく試論	沼下 桂子	女子美術大学研究紀要 42
所蔵作品情報の発信—《文化遺産オンライン》による実践ワークショップに参加して	植木 啓子	" "	" "	通信 J to A アジアへ 32 香港のアジア美術アーカイヴ1—未来の資料	黒田 雷児	新美術新聞 1275
イスラーム陶器史研究におけるデータ収集	榊屋 友子	明日の東洋学	28	33 香港のアジア美術アーカイヴ2—未来への協賛		1278
日本オリエント学会だより		オリエント	54-2	全美フォーラム01 歴史資料ネットワークについて	江上 ゆか	ZENBI 1
エジプト・ダハシユール北遺跡の地下遺構に対するインターネットを用いた公開方法の検討	吉村 作治 矢澤 健			「豊臣期大坂図屏風」デジタルコンテンツの制作について	井浦 崇 阡 陵	64
アメンヘテプ3世王墓の埋葬室に描かれた壁画の史料化に向けたデジタル画像化—その2—	菊池 敬夫 犬井 正男 佐藤真知子 吉村 作治			「中文拓片編目規則」の導入をめぐって—NCR、NACSIS-CATおよび各機関所蔵拓本目録との比較から—	菅野 智明	筑波大学芸術研究報告 59
土方巽アーカイヴ 瀧口修造アーカイヴ ノグチ・ルーム・アーカイヴ 西脇順三郎アーカイヴ	森下、橋本、渡部、本間 記	慶応義塾大学アート・センター年報	19	研究報告 アーカイヴのコンテナ(リストとカテゴリ)—「藤田嗣治資料作成」を通して	久保 仁志	東京芸術大学大学美術館年報 H22年度
特集2 美術作品のデジタル記録撮影について		現代の眼	595	日本の美術界における年史編纂物—東京国立近代美術館アートライブラリ所蔵図書にみる 荘園絵図模本データベースと地理情報蓄積システム	渡邊 美喜 井上 聡	東京国立近代美術館研究紀要 16 東大画像解析センター通信* 59

時評	日本美術新聞	4	露美術館の浮世絵 ネット公開 北斎、歌麿など670点 欧州最大コレクション	読 売	10.24
グーグル・アートプロジェクトに日本初参加			ジュニア探検隊 シネマ de 文化財 世界の美バーチャル体験 コントローラーで自在に	ヨミウリ・ジュニア・プレス取材班	読売夕刊 10.27
ルーヴル美術館とニンテンドー3DS					
INFORMATION			文化財行政		
NEWS Google アートプロジェクトに日本の美術館が参加	編集部	美術手帖 967	あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第89回 「愛の錠前」に占拠されたパリの橋—脱美術館と観衆との「あいだ」を考える	稲賀 繁美	あいだ 196
「文化遺産オンライン構想」成果報告フォーラムを開催	高尾 曜	文化財* 582	Report	Wave II	
連載・文化財を活かす(第13回) デジタルアーカイブの新しい試み—超高精細スーパーハイビジョン技術の応用—	赤司 善彦	” 586	連載2 論説 新潟市美術館は「改革」でどう変わったか	編集委員	4
博物館史資料(古書、古文書・近世文章)に関するレジストレーション sd	森 朋久	MUSEUM STUDY 23	連載3 水土のカビ事件	編集部	5
陸前高田被災資料デジタル化プロジェクトの活動について	三田 良美	ムゼイオン 58	浦添市の文化財行政について(4)—埋蔵文化財と文化財関係法律等を視点に—	下地 安広	よのつぢ* 8
日本史のひろば 画像にみる日本史教材—東京大学史料編纂所データベース—	西田 友広	歴史と地理 652	報告 東日本大震災と文化財レスキュー	岩崎 均史	学習院大学史料館紀要 18
狩野派や大観をネットで楽しむ グーグル・アートプロジェクトに国内6館	長崎潤一郎	朝 日 6.2	イタリアを展示する—幻のローマ万博(1942)跡地エウルのミュージアム施設—	サラ・デュルト	鹿島美術財団年報・別冊 29
名作も秘宝も独り占め リヒテンシュタイン美術館 グーグル 東京国立博物館	木村 円 神崎ちひろ	” 10.23	World News Madrid 名物カフェとジョン・コンスタブル《ザ・ロック》をめぐる—緊縮財政下のヨーロッパ お寒い美術館事情	前橋 重二	芸術新潮 753
歴史 遺跡発掘資料埋もれさせるな 電子書籍めざし20府県参加	中村 俊介	朝日夕刊 6.25	特集 残されしもの、生かされしもの 第1部 残されし文化財		建築雑誌 1631
日本の美術品ネットで鑑賞 東京国立博物館など グーグルのサービスに6館参加		東 京 4.10	過去の災害情報を受け継ぐ文化財	大和 智	
日本の美、ネットで鑑賞 グーグル 国立博物館など6館の567点 無料で		日 経 4.10	東日本大震災復旧・復興に向けての官民協働活動—文化財ドクター派遣事業	永井 康雄	
文化往来 フランス国立美術館連合が写真サイト		” 5.15	失われた文化財 その問題点	上野 勝久	
全国美術館での解説動画閲覧サイト開設 大阪市立大「アートを身近に」	手塚さや香	毎日夕刊 4.19	文化財レスキュー事業と文化財の救済	小谷 竜介	
			建築年報2012 建築歴史・意匠委員会活動報告 人海戦術による被災調査の年	伊藤 毅	” 1636

連載 建築の争点 no.7 顕著な普遍的 価値(OUV)をめぐっ て	佐滝 剛弘	" "		運用実態から見た古 社寺保存金制度の特 質—古社寺保存金制 度の研究その1—	清水 重敦	"	681
(記念シンポジウム) 建築史学と災害		建築史学	59	文化財レポート 2010年度前期の史跡 等の指定		日本歴史	766
平成24年度総会記念 講演 埋蔵文化財保 護行政の現状と課題	禰宜田佳男	公立埋文 協会報	49	文化財レポート 2010年度後期の史跡 等の指定(上、下)		"	770,771
特集2 人類の無形 文化遺産の保存と韓 国の役割	韓 敬九 坂野 慎治 訳	コリアナ	19-3	視点		美術の窓	
台風十二号による熊 野那智大社の文化財 の被害状況について	朝日 芳英	絲綢之路	68	海外美術品等への 差押え等の禁止措 置(後編)	北岡 龍也		340
PARIS 発 変貌する フランスの文化政策 (3)	安部 雅延	新美術新 聞	1271	「あ・ら・カルチ ャー渋谷・恵比寿 ・原宿」運営協議 会について	益子 秀博		"
文化財レスキューの 今後に向けて 非常 時こそ、行政の縦割 りを超えたMLA連携 を	栗原 祐司	"	1280	風と土の交響 in 琵琶湖高島	清水 安治		341
平泉の世界文化遺産 としての評価基準を めぐって	入間田宣夫	世界遺産 年報	17	都市とアートのコ ラボレーション： おおさかカンヴァ ス推進事業	寺浦 薫		342
再挑戦—「平泉」の 世界遺産登録の実現	中村 英俊	"	"	「東日本支援クレ ヨンネット」のア ートセラピー活動	末永 蒼生		"
世界文化遺産「平泉」 —これからの取り組 み—	千葉 信胤	"	"	東京文化考 「東京 都文化発信プロジェ クト」東京の文化 を世界へ		美術屋・ 百兵衛	21
2011年登録の世界遺 産		"	"	特集 世界遺産 平 泉		文化財*	580
第35回世界遺産委員 会ニュース	吉田 正人	"	"	平泉の世界遺産登 録までの道のりを 振り返る	近藤 誠一		
「ル・コルビュジェ の建築作品—近代建 築運動への顕著な貢 献—」の「記載延期」 決議を受けて	山名 善之	"	"	第35回世界遺産委 員会の概要	西 和彦		
全美フォーラム01 博物館法検討委員会 中間報告「美術館基 準(案)」の顛末	酒井 哲朗	ZENBI	2	世界遺産一覧表に 新規記載された文 化遺産の紹介	市原富士夫		
樹脂複製品の抱え る問題と将来の課題 について	和久田優子	同志社大 学博物館 学年報	43	世界遺産条約の現 状と今後	稲葉 信子		
博物館教室「昔のく らし」と市民学芸員 の参画	中川 敦之	"	"	「平泉—仏国土(浄 土)を表す建築・ 庭園及び考古学的 遺跡群—」の評価 ・審査をめぐって	本中 眞		
明治初期の博物館に おける列品分類につ いての基礎的考察— 産業政策と美術政策 の交錯—	高久 彩	東風西声*	7	世界遺産条約40周年 記念事業について	文化庁記念 物課世界文 化遺産室	"	"
文化財保護法制定後 の国宝建造物指定方 針と戦後の「国宝」概 念の形成	青柳 憲昌 岩月 典之 藤岡 洋保	日本建築 学会計画 系論文集	678	新指定の文化財	文化庁文化 財部	"	
				記念物			581
				記念物			588
				建造物			591
				新選定の文化財	"	"	

平成24年定期刊行物所載文献(総/行政)

文化的景観			581	三 文化財レスキュー事業の取り組み 事例3 福島県における文化財レスキュー事業の取り組み	荒木 隆	
伝統的建造物群			586			
文化的景観			588			
伝統的建造物群			591			
新登録の文化財	文化庁文化財部	文化財*		三 文化財レスキュー事業の取り組み 事例4 茨城県における文化財レスキュー事業の取り組み	吹野富美男	
記念物			581			
記念物			588			
登録有形文化財(建造物)一覧 第72、73回登録有形文化財(建造物)	"	"	582、588	三 文化財レスキュー事業の取り組み 事例5 東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会による文化財レスキュー活動の取り組み	森井 順之	
特集 東日本大震災から1年を経過して			583	四 ブルーシールド国際委員会の取り組み	栗原 祐司	
巻頭言 東日本大震災で再認識された文化財の価値	近藤 誠一			特集 東日本大震災から1年を経過して記念物課の取り組み		" "
総論 被災文化財の保護、この1年の動き	大和 智			一 記念物行政からみた震災復興の兆し	文化庁記念物課企画調整係	
被災状況と復旧対策 文化財被害と復旧にかかる予算措置	文化庁伝統文化課助成係			二 史跡の被災状況と今後の課題	佐藤 和正	
特集 東日本大震災から1年を経過して伝統文化課の取り組み			" "	三 被災した名勝の次世代への継承・再生のための施策	本中 眞	
一 「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」における被災文化財復旧への取り組み	山口 壮八			五 東日本大震災における埋蔵文化財発掘調査	水ノ江和同	
二 被災文化財の救援と修復のための寄付の呼びかけ	山口 俊浩			特集 東日本大震災から1年を経過して参事官(建築物担当)の取り組み		" "
特集 東日本大震災から1年を経過して美術学芸課の取り組み			" "	一 国宝・重要文化建造物の被害と復旧計画	田中 禎彦	
一 被災文化財の修理と博物館の復旧に向けて	栗原 祐司			二 登録有形文化財(建造物)の被災状況	武内 正和	
二 文化財レスキュー事業の概要	森下 元文			三 重要伝統的建造物群保存地区の災害復旧	下間久美子	
三 文化財レスキュー事業の取り組み 事例1 宮城県における文化財レスキュー事業の受け入れまで	小谷 竜介			四 文化財建造物の耐震対策の課題	西川 英佑	
三 文化財レスキュー事業の取り組み 事例2 岩手県における文化財レスキュー事業の取り組み	鎌田 勉			五 文化財ドクター派遣事業	田中 禎彦	
				連載・文化財を活かす		" "
				(第10回)町並み保存と登録有形文化財	佐伯 治	" "

(第15回)地域の中で生きる～五斗長垣内遺跡の保存と活用～	伊藤 宏幸	588	「美術品補償制度」について	田井 祐子	〃	〃	
(第16回)史跡根城の広場～復元された中世城館の活用事例～	下村 恒彦	589	平成二十四年度海外展報告 第36回世界遺産委員会の概要	西 和彦	〃	590	
(第17回)史跡をまちづくりに活かす～最新の特別事業から～	市原富士夫	590	世界遺産は誰のため？—登録への長い道のり	黒田 乃生	文化資源学	10	
特集 選定保存技術保護の取り組み 選定保存技術保護の5年	〃	584	開館40周年記念事業「北の土偶—縄文の祈りと心—」と被災文化財の救援と修復	右代 啓視	北海道開拓記念館だより	42-2	
文化財を支える保存技術の継承	大和 智		東日本大震災 被災文化財レスキュー		埋蔵文化財ニュース	148	
日本伝統建築技術保存会の技術伝承と後継者養成の取り組み	西澤 政男		宮城県における被災文化財への対応に関する現状と課題	小谷 竜介			
選定保存技術の現状と保護のあり方	武藤 高之		大規模自然災害時の歴史資料ネットワークの資料保全活動	河野 未央			
特集 選定保存技術保護の取り組み 選定保存技術の現状と課題	〃	〃	山形県における東日本被災文化遺産の救済活動 東北芸術工科大学と山形県文化遺産防災ネットワークの連携	米村 祥央			
工芸技術分野における用具・原材料の現状と課題—用具・原材料調査を踏まえて—	近藤都代子		特集1 大震災から1年…東北の古美術・文化財のいま	高橋 克彦、高橋 雪人	目の眼	427	
文化財修理と手漉和紙	池田 寿		座談会 文学と美術にできること 被災地からの視点				
庭園・石垣の「技」を後世に伝えるために—記念物関係の選定保存技術—	本中 眞		特集1 大震災から1年…東北の古美術・文化財のいま		〃	〃	
文化財建築を護る「匠のわざ」	武内 正和		レポート 現場担当者にきく				
埋蔵文化財関係統計資料(平成二十三年版)の解説と分析	国武 貞克	〃	1 鎌田 勉さん 岩手県の取り組み	鎌田 勉	談		585
新選定物件に関する寄稿論文	〃	586	2 小谷 竜介さん 宮城県の取り組み	小谷 竜介	談		
北関東の町並み保全とまちづくり	河東 義之		3 本間 宏さん 福島県での取り組み	本間 宏	談		
安芸市土居廊中の保存とまちづくり	中川 亮		5 森下元文さん 文化庁の取り組み	森下 元文	談		
選定保存技術の選定・認定	文化庁文化財部	〃	時評 歴史資料保全活動と地域行政—宮城県岩沼市の震災対応を事例に—	高橋 陽一	歴史学研究	890	588
登録美術品による相続税の物納について	松本 純子	〃					
特集 名勝の保護事例紹介6 文化的なまちづくりに向けた市内・名勝庭園調	板橋 稔	〃	特集 世界遺産と歴史学習〈インタビュー〉アンコールワット遺跡から世界遺産を考える	石澤 良昭	歴史地理教育	791	589

平成24年定期刊行物所載文献(総/行政)

東日本大震災の被災地から9 岩手 岩手県における文化財レスキュー	川合 正裕	歴史地理教育	794	Cool Japan 発信 官民連携で予算減挽回 オタク ヒット探す嗅覚盗め 萌え台北で「絵師100人展」	田中 靖人 産 経	3.4
歴史の眼		歴史評論				
長野県北部震災と文化財保全活動	白水 智		742	古文書の修復支援 電子書籍の収入寄付 継続的にと京極夏彦さん	〃	5.10
東日本大震災と文化財・地域史研究―栃木県在勤者の視点から―	坂本 達彦		748	文化財「返還」要求相次ぐ 朝鮮儀軌引き渡し逆効果	杉本 康士	5.19
文科省科研費の不思議 学界の権威でももらえない 考古学研究大半が手弁当で応募資格は認定機関の所属者だけ	宮代 栄一 石塚 広志	朝 日	2.9	核心 富士山ここから難所 世界文化遺産目指し 国内はクリア	広瀬 和実 東 京	1.30
ニュースがわからん！ 国宝ってどう指定されるんじゃ？	木村 尚貴	〃	5.27	名古屋城本丸に実物 ふうすま絵を 河村市長が指示 市は困惑「劣化」	竹田 佳彦	9.28
文化財救助、広がる対象 虫の標本・子どもの文集まで	小滝ちひろ	〃	6.6	日本発の立体交差、年内解体へ 北九州 JR 折尾駅 市、文化財調査せず「地域に人呼ぶ財産」	中山 洋子	10.7
京都非公開文化財特別公開 いにしえに問いかける	綿矢 りさ 岡田 匠 開き手	〃	10.31	近代の建築物保護を「国指定」の価値ある	清水 憲一	〃
記者有論 世界遺産40周年 保存・保護を 原点に帰れ	中村 俊介	〃	12.1	平城宮跡舗装は必要？ 国2 億円工事 来春にも「当時再現」 住民団体反発「土中の木簡が傷む」	荒井 六貴	11.25
発展か遺跡保護か アフガニスタン 中国企業の銅山開発地で発掘	中野 涉	〃	12.28	コンパス 無形の文化復興	東京夕刊	1.21
京都非公開文化財特別公開 古都の宝と出会う 今につながる伝統文化の魅力	佐々木丞平 談 久保 智祥 開き手	朝日夕刊	4.2	復興の風景 上 アートで 結浜プロジェクト 住民と協力者結い生きる力学ぶ場に	三沢 典丈	3.6
原爆展 無念の開催断念 目黒区美術館区の財政悪化…資料集出版へ	増田 愛子	〃	5.2	半世紀ぶりしゃちほこ新調 姫路城で据え付け	〃	6.5
被災地に派遣 文化財ドクター 木造建築の知識不足課題	木村 尚貴	〃	6.11	薬師寺東塔修理 1世紀ぶり解体	〃	〃
城郭の復元、根拠あり 実測図・写真・絵図…資料探し	宮代 栄一 木村 尚真	〃	7.9	パリ 現代美術の今 多国籍 伝統空間に挑む	岡部あおみ	7.11
中国「博物館強国」計画 文化発信へ潤沢予算	小川 雪	〃	7.30	文化庁の若手アニメーター育成が軌道に	日 経	1.26
文化遺産を守る 日本の知恵を世界へ 1～4	大脇 和明	〃	10.1～4	世界 いまを刻む 文化遺産保護 ウィグル自治区風化した石窟、修復進む 日中交流が支え 担い手、日本のノウハウ活用	品田 卓	3.25
京都非公開文化財特別公開 千年後もまた会いたい	菅原 信海 新木 直人 は 佐々木丞平 後藤由美子 講演	〃	10.15	被災地文化支援「続ける」枠組み 連携、国が呼びかけ 郷土芸能やアート復興の力に	内田 洋一	5.5

文化往来	〃			ナスカに地上絵研究所 実態解明と保護の拠点に	坂井 正人	〃	12.12
マヤ文明研究センター、日本の協力で来月開所	6.23			彩色壁画 劣化の危機 福島 警戒区域内の清戸迫横穴		読 売	1.25
災害から文化財を守る組織 日本に設置機運	9.17			産業遺産推薦指針 緩和反対の見解 イコモス国内委員会		〃	3.14
「くまもとアートポリス」建築家育て25年	9.20			復興と発掘 両立目指す 文化財担当者を被災地へ	辻本 芳孝	〃	5.9
東京都が専門家常勤の文化助成機関	12.14			大震災で化石など被害 標本保護を文化財並みに	笹沢 教一	〃	5.23
検証 橋下改革と文化	〃			シリア・パルミラ遺跡 混乱拡大 博物館の決断 展示品を地下へ 「三兄弟の墓」封印	西藤 清秀	〃	6.6
3 博物館の一元運営 「地方独法」に全国注目	7.12			「文化」デジタル化で議連		〃	7.11
4 アーツカウンシル 評価・助成、行政から独立	7.13			「次の世界遺産候補」レース 「長崎の教会群」有力 「九州・山口の産業遺産群」課題も	辻本 芳孝	〃	9.5
世界いまを刻む マヤ遺跡保存に一役 日本政府、研究拠点を建設 「驚くような成果」意気込む	9.23	宮本 英威	〃	災禍から文化財を守る盾 東京でブルーシールドの研究会	早川 保夫	〃	9.19
歴史・文化研究 大学と住民協力 地域社会の再構築めざす	10.6	松岡 資明	〃	解説スペシャル 世界遺産登録へ腐心 富士山 調査員に「実演」 鎌倉 精進料理体験も	久保 拓 北村 勤	〃	9.25
文化財修復 内外から支援 震災から立ち直る町並み	11.10	窪田 直子	〃	鎌倉の「世界遺産調査」開始 ユネスコ諮問機関		〃	〃
11月1日は「古典の日」とこしえの美 魅力知って 各地で行事、学校でも	10.29		日経夕刊	蒼き狼の都 2012 下保存・管理体制これから	辻本 芳孝	〃	12.12
広角鋭角 わが町・わが城	〃		〃	<b>美術教育</b>			
1 「本物」復元にかける夢 巨費・老朽化…各地で議論	11.13			色彩教育の前後における色彩感受性の変化に関する研究	金 考脚	秋田公立美術工芸短期大学 紀要	16
2 「マイナー城」町振興に一役	11.14			ヘルシンキ・ワールドデザインキャピタルとサービスデザイン デザイン、テクノロジー、ビジネスが融合する、創成の場としての大学	田代かおる	A X I S	155
4 苦しい? 「城主」の懐事情	11.19			from the World		〃	〃
世界三大仏教遺跡バガン デタラメ修復で「功德」 軍政の保存、国際標準とズレ	8.10	春日 孝之	毎 日	好奇心と創造性を刺激する、デンマーク流の幼児向け学習施設	上條 昌宏		156
山本作兵衛の記録画 記憶遺産登録1年 福岡で記念式典	5.22	小畑 英介 荒木 俊雄	毎日夕刊				
被災文化財救出事業の成果報告 全国美術館会議	6.14	渡辺 亮一	〃				
イラク人研修のその後 考古遺産庁の「日本グループ」活躍	11.15	西浦 忠輝	〃				

平成24年定期刊行物所載文献(総/教育)

北京十一学校 中学からカーデザイン習う意義とは	藤本 彰		159	事業報告 所蔵作品データベースを使った鑑賞授業の試み	山根 佳奈 採 蓮*	15
米国デザインインキュベーター最新事情	瀧口 範子	A X I S	160	「夢」は思い描くものではなく、自分の手でつかむもの。大阪芸術大学は、自分の夢をつかみ取る場所だ。	塚本 邦彦 新美術新聞	1286
実践的な知的財産教育に向けて	下尾 邦之	大阪成蹊大学芸術学部紀要	8			
ティーチャーズキットを活用した授業の実際	大城 直也	沖縄県立博物館美術館博物館紀要*	2	躍進! 21世紀の未来を切り拓く大阪芸術大学 広大なキャンパスに充実した施設プロに徹した教授陣による実戦教育	網谷 幸二 塚本 英邦	” ”
研究報告 平成22年度特別研究 社会教育における美術大学の役割に関する研究(彫刻からのアプローチ)	石田 陽介	金沢美術工芸大学紀要	56	全美フォーラム02 「博物館における青少年教育」 ドイツ派遣事業に参加して	一 條 彰子	ZENBI 3
ホスピタリティアート・プロジェクト		”	”			
一活動と視座一	横山 善正			英国の中等学校における美術科ナショナル・カリキュラムへの対応 イングランド中西部における調査(1994年・2010年)から	直江 俊雄	筑波大学芸術研究報告
一ワークショップ・展示～金沢市立病院における実践から～その1	三浦 賢治					59
特集 多摩美術大学もうひとつの素顔		ギャラリー一*	327			
研究ノート 20世紀初頭ウィーンにおける美術と美術教育—フランツ・チゼックの活動と1908年クンストショウを中心に	川井 遊木	京都国立近代美術館研究論集	4	世界遺産教育における教材化と教育実践のあり方—「法隆寺地域の仏教建造物」と「木の文化」の視点から—	祐岡 武志 中澤 静男	奈良教育大学紀要
研究報告 芸術系大学における初年次教育の取り組み(4)一チームによる協働学習の活性化をめざした働きかけ一	真下 知子 横田 中村	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	56	子どもと美術		美術手帖
マンガ教育の国際化に向けて—海外版ワークショップ(マンガの描き方教室)の実施報告	小川 剛	京都精華大学紀要	41	80 思い出の場所	伊部 玉紀	962
連載 ケンチク脳の育て方		建築雑誌		81 サン SUN たくさん てんらんかい	”	963
no.1 フィールドワーク	巽庭 初田	仲 香成	1628	82 ふれあい広場	”	964
no.2 離島や中山間との応答—農山漁村インターン	田口 太郎		1631	83 凸凹絵画	”	965
no.3 環境をとらえる	一ノ瀬雅之		1633	84 しょうてんがいの人たち	石井 芳征	966
no.4 シャレットワークショップの育て方	高橋 潤		1636	85 図工の王様のお気に入り	伊部 玉紀	967
no.5 手に触れる。	今本 啓一		1638	86 中学校編 行きたくなる美術館をつくろう!	多田 智美	969
				87 中学校編 だから、みんなで描く	伊部 玉紀	971
				88 つちとなかよし	”	973
				89 墨と筆と私の世界	”	974



90 かぼっとひたる	〃		975
91 おさんぼでみつけたよ!	〃		976
視点 国立美術館の鑑賞教育のための指導者研修を終えて	三澤 一実	美術の窓	350
第3回高校生学芸員展を終えて	本丸 生野	姫路市立美術館研究紀要	12
子どもの教育支援について—笑顔あふれる「ふるさとの館」	亀田 正司	姫路美術工芸館紀要	8
指定研究		広島市立大学芸術学部紀要	17
「文化財学、保存修復に関する研究、教育プログラム導入に関する調査・研究」報告	若山 裕昭、北田 克己 報告		
「デザイン学生起業家と市大ブランドの創出をめざしたデザインの研究」報告	服部 等作、吉田 幸弘、大塚 智嗣 報告		
生涯美術社会との接点を意図した美術科教育の展開	竹内 晋平	仏教大学教育学部論集	23
美術史方法論を踏まえた美術鑑賞の実践	石川千佳子	宮崎大学教育文化学部紀要	25・26
世界の美術教育事情 韓国の美術教育の問題点と方向に対してもう一度考えてみる	趙 香椒	連盟ニュース	442
異分野から見た美術教育		〃	
シリーズ第1回 美術への憧憬	大村 智		443
シリーズ第2回 高橋コレクションの原則	高橋龍太郎		444
チェコ共和国の子どもによる図形の見立て—図形の面に色彩を塗った場合—	島田由紀子	和洋女子大学紀要	52
多摩美大、東大と共同開発 芸術衛星飛ばそ もっと身近に利用描く	福岡 範行	東京	7.6
ぶらへりキャンバス コンテンツ・マーケティング アートでビジネス	竹上 順子	〃	11.5

古 美 術		古 文 化 研 究					
総 記		古 文 化 研 究					
日 本		古 文 化 研 究					
毛利家の至宝 大名文化の精粹 由緒正しき毛利家の宝	柴原 直樹 談 陽子 内海 ビュー 一、構成	サントリ ー美術館 ニュース	239	呂紀画風とその伝播—「四季花鳥図」(東京国立博物館)を中心に—	竹浪 遠	古文化研究	11
新指定の文化財 美術工芸品 重要文化財の指定 考古資料	文化庁文化財部	文化財*	585	南宋宮廷絵画における文人意識—画院画家の二つの画風について—	宮崎 法子	実践女子大学美学美術史学	26
新指定の文化財 美術工芸品 重要文化財の指定 歴史資料	〃	〃	〃	八大山人の甲戌(1694)年	〃	泉屋博古館紀要	28
新登録の文化財 登録有形文化財(美術工芸品)	〃	〃	〃	住友コレクションにみる中国絵画鑑賞と収集の歴史【本文編】(上)	実方 葉子	〃	〃
日本の仏教美術 欧州の收藏状況初めて総合調査	中沢 義則	日 経	10.13	中国陝北・河西の漢魏晋十六国墓にみる瑞祥図の研究—『山海経』の瑞馬・瑞魚を中心に—	松浦 史子	高梨学術奨励基金年報	H23年度
絵 画				明末福建莆田出身の画家達、曾鯨・呉彬・趙珣—日本との関係を中心に—	近藤 秀實	多摩美術大学研究紀要	26
中 国				『桃花扇』と藍瑛	口井 知子	〃	〃
異域と異界—陝北地域出土漢代画像石に見られる神話的図像の地域的特徴をめぐる考察—	友田 真理	鹿島美術財団年報・別冊	29	バゼッヘ族初期岸裡大社首長一族「潘士興」の肖像画—修復過程で判明した新たな事実—	吉田 裕彦	天理参考館報	25
大特集 浮世絵 vs. 世界のエロス 春画ワールドカップ Team China のぞいてみよう、となりのくにの悦楽園	張 競	芸術新潮	746	国際研究集会「比較研究：『抗倭図巻』と『倭寇図巻』」報告		東京大学史料編纂所研究紀要	22
小特集「北京故宫博物院200選」展から書画の至宝10点を選ぶ!	板倉 聖哲	〃	〃	『倭寇図巻』再考	須田 牧子		
南京博物院蔵 徐渭《雑花図巻》の基礎的記述	荒井 雄三	芸 叢	27	「明人抗倭図巻」を解説する「倭寇図巻」との関連をかねて	朱 敏		
毛倫筆 柳牛図	海老根聰郎	国 華	1395	功績の記録と事実の記録：明人「抗倭図巻」研究	陳 履生		
特輯 京都国立博物館 上野コレクション		〃	1404	プロジェクト報告 『倭寇図巻』研究の現在	須田 牧子	東大画像史料解析センター通信*	59
郭昇筆 幽篁枯木図	呉 孟晋			コレクション紹介 長崎に伝えられた中国美術『武陵桃源図』	深瀬公一郎	長崎れきぶん	24
王翬筆 傲趙大年江村平遠図	西上 実			敦煌莫高窟第148窟の薬師経変について	濱田 瑞美	奈良美術研究	12
王原祁筆 傲元四大家山水図	呉 孟晋			漢代美術における自然現象の擬人化とその表現をめぐる諸問題—風伯図像、雨師図像を中心に—	友田 真理	〃	〃
惲寿平筆 花鴨夕陽図	西上 実			奈良美術研究会 活動報告2011年度 漢—唐宋の「半開の扉」について	牟 文華	〃	13
滅びの美か「清明上河図巻」	島尾 新	国華清話会会報	19				

所蔵資料から伝梁椿「松下琴客図」	福島さとみ	美愛真	22	特集 中国と東アジア—近代のコレクション形成と研究の背景 第3部 中国美術と東アジア					
日本中世の古記録から見る中国画人・絵画の記載	寿 舒舒	東アジア文化交渉研究	5	唐絵としての渡来仏画	井手誠之輔				
日韓共同シンポジウム特輯 石濤、近代における「個性」という評価の視線	文喜多恵美子	貞姫美術研究	405	中国美術と東アジア 中国版本の請求と日本美術	内田 啓一				
皇帝の文物と北宋初期の開封(下)—啓聖禪院、大相国寺、宮廷をめぐる文物とその意味について—	塚本 磨充		406	近世・近代日本における中国絵画鑑賞と画家像の変容—王建章の場合—	板倉 聖哲				
漢代画像解説法試論—「撈鼎図」を例として—	邢橋山 義田満照		407	明清の美術展によせて—仇英筆「桃李園金谷園図」と中国の庭園文化—	植松 瑞希	美のたより	179		
平成23年度西支部例会			美術史	172					
北斉徐穎(徐穎秀)墓壁画の造形的特徴—北朝人物画様式の一典型—	河野 道房			敦煌莫高窟初唐窟についての—考察—	八木 春生	仏教芸術	321		
趙孟頫「水村図」に関する基礎的考察	西尾 歩			西北科学考察団発掘の敦煌翟宗盈画像磚墓について	股北村 光明永		322		
中央チベット・ラトウの大仏塔壁画にみられる様式について	大羽 恵美		173	敦煌莫高窟第220窟に関する—考察—	八木 春生		324		
第65回全国大会研究発表要旨				山岳表現考—古代中国から法隆寺の玉虫厨子へ—	長谷川智治	仏教大学総合研究所紀要	19		
牧溪筆「観音猿鶴図」の制作背景に見る「康国」と「鎮魂」	田中 伝			新指定の文化財 美術工芸品 国宝の指定 絵画	文化庁文化財部	文化財*	585		
南宋時代の水陸画について—水陸儀軌の変遷を手掛かりに—	高志 緑			一枚のウイグル文印刷仏典扉絵	西脇 常記	文化史学	68		
日本における中国絵画史研究の動向とその展望—宋元時代を中心に改訂増補版(下)—	小川 裕充	美術史学	33	マニ降誕図特輯		大和文華	124		
クムトラ石窟第75窟の壁画主題について—ウイグル期亀茲仏教の一側面—	森 美智代	美術史研究	50	マニの降誕図について	吉田 豊				
特集 中国と東アジア—近代のコレクション形成と研究の背景 第1部 関西における中国書画近代コレクションの形成		美術フォーラム21	26	マニ降誕図試論—元代マニ教絵画における位置づけを中心に—	古川 攝一				
私達の祖先文化に想いを馳せる—藤井善助コレクションに寄せて—	藤井善三郎			史料紹介 明末清初の江南における中国書画の蒐集と鑑賞—日本所在の名品に記された題跋と印章を中心に—	井上 充幸	歴史と地理	651		
矢代幸雄と大和文華館の中国書画コレクション	植松 瑞希			日本大徳寺伝来五百羅漢図銘文と南宋明州士人社会	近藤 一成	早稲田大学大学院文学研究科紀要	57		
				清明上河図に「世相批判」説 中国・故宮博物院の研究者	宮代 栄一	朝 日	1.16		
				美の履歴書236 この絵のすこみの源流は「水村図巻」趙孟頫		朝日夕刊	1.11		

平成24年定期刊行物所載文献(古/絵画)

歐人異聞 清朝の宮廷画家カステリオーネ	樺山 紘一	日 経	10.14	十二類歌合絵と詞書の(もどき)表現	高橋 亨		
日本				絵巻が語るものと楽器が語ること—フリーア本『地藏菩薩靈驗記絵』第4話をめぐって	猪瀬 千尋		
近世初期風俗画と箱庭遊び	成澤 勝嗣	葵	83				
青森県の船絵馬	昆 政明	青森県立郷土館研究紀要	36	子どもの和歌再説—草子地への着目から	青木 慎一		
資料紹介 平尾魯仙『画訣』と魯仙の作画態度	本多 伸	"	"	文化創造の図像学 日本 <small>の</small> 宗教空間と身体 IV 越境する図像と文化受容 キリスト教宣教の諸相—16・17世紀日本における表象と信仰	水戸 博之	"	154
東アジアの王権と宗教「桃鳩」イメージの変容—王権の表象から平和の象徴へ[田中一光]	板倉 聖哲	アジア遊学	151				
文化創造の図像学 日本 <small>の</small> 宗教空間と身体 I 中世宗教図像学の探求—説話と象徴図像		"	154	もう一つの古典知 前近代日本 <small>の</small> 知の可能性		"	155
四天王寺をめぐる聖徳太子伝と絵伝—霊地を創る太子	阿部 泰郎			コラム 絵本・絵巻に見る古典知	石川 透		
聖徳太子絵伝の制作拠点に関する一考察—四天王寺と法隆寺を中心に	村松加奈子			雑纂という形式—近世真宗における絵解き本と図会物	塩谷 菊美		
『菅田宗廟縁起絵巻』の伝来についての考察	メラニー・トレデー			古典知としての近世観相学—この不思議なる身体 <small>の</small> 解釈学	青山 英正		
『箱根権現縁起絵巻』の再創造—描かれた霊地	阿部 美香			<予言文学>の世界 III 物語・芸能の<予言文学>		"	159
雪舟絵画に見られる典型的山 <small>の</small> モチーフとその意味—平らな「闕型」の山と傾いた山型	アグネセ葩島			類書・雑書 <small>の</small> 言説と説教—絵巻『をくり』を起点に	象 沙里		
文化創造の図像学 日本 <small>の</small> 宗教空間と身体 II 森羅万象 <small>の</small> 図像化—食・病・死		"	"	『福富草紙』の予言・予祝	吉橋さやか		
擬人化され、可視化される植物・食物—室町から江戸時代を中心に	伊藤 信博			富貴への予言と福神・貧乏神—打出の小槌と柿帷子	塩川 和広		
食物と疫病 <small>の</small> 合戦を描く錦絵について—食養生 <small>の</small> 観点から	畑 有紀			新出の村越其栄・向栄作品 <small>の</small> 紹介—千住河原町柏屋星野家旧蔵作品から—	真田 尊光	足立区立郷土博物館紀要	33
最期のお名残狂言—歌舞伎役者 <small>の</small> 行方を描く死絵 <small>の</small> 豊かな世界	ジュリアン・フォーリ			狩野永岳《富士三保松原図》	福士 雄也	アマリリス	105
文化創造の図像学 日本 <small>の</small> 宗教空間と身体 III 物語・説話・和歌と図像 <small>の</small> 織り成す所位相		"	"	研究ノート 京都国立博物館蔵《柳橋水車図屏風》について	大原由佳子	"	106
				眼 <small>の</small> 極楽2 人 <small>の</small> 姿かたちを描く	榊原 悟	アルカディア	51
				伊那谷 <small>に</small> のこる釈迦三尊十六善神図—瑠璃寺本・元善光寺本・玉川本 <small>の</small> 紹介—	織田 顕行	飯田市美術博物館研究紀要	22
				所蔵品紹介221 石川県指定文化財 榎繪図		石川県立美術館だより	339

絵馬研究の歩みと考古学—絵馬の起源論を中心にして—	戸潤 幹夫	石川県立歴史博物館紀要	24	吉原細見データベースと Attribute としての紋を用いた文政期における英泉筆遊女絵開板時期の特定—契情道中双縁見立吉原五十三対を例として—	日比谷孟悟 佐藤保廣 内田	浮世絵芸術	163
銅・石版画遺聞44、45、47	森 登 一 寸		49	唐物店丸福の『判元』帖から(3)三点の保居(富士川眺望図)			
唐物店丸福の『判元』帖から(3)三点の保居(富士川眺望図)			49	高津屋伊助と鳥居清長—錦絵の黄金時代を先導した版元と絵師	田辺 昌子	" "	" "
亜欧堂田善『医範提綱内象銅版図』メモ			50	幕末錦絵の摺刷に関する一考察—「これが江戸 錦絵合」から	大久保純一	" "	" "
銅版画と浮世絵版画 江漢の場合			52	『小柴垣草紙』の変遷	井黒佳穂子	" "	" "
近代日本画の構図決定格子(12)~(14)	金子 一夫	"	50~52	『小柴垣草紙』の変遷	井黒佳穂子	" "	" "
あおぞら	丹尾 安典	"	51	資料紹介 初代豊国「役者舞台之姿絵」、更なる新出の1点	ポール・グリフィス 岩田 秀行 沢	" "	" "
田能村竹田の印章に関する一考察—「田舎児」印の検討—	宗像 晋作	出光美術館館報	158	『小倉擬百人一首』と天保の改革	廣岡由佳理	" "	164
伝 俵屋宗達筆「月に秋草図屏風」について	西本 周子	"	160	資料紹介 葛飾北斎「風流源氏うたがるた」2種	佐藤 悟	" "	" "
仙厓画雑感5、—死に損ない、を笑うな!—	黒田 泰三	"	"	浮世絵師と地方のつながり—浮世絵師の署名がある「地方出版物」について—	桑山 童奈	浮世絵研究*	2
長谷川等伯の草花表現	"	出光美術館研究紀要	17	八代目市川團十郎と死絵	木村 涼	" "	3
狩野常信筆「波濤図屏風」—探幽、長谷川派との関連をめぐって	宗像 晋作	"	"	国貞の風景表現とその時代的変遷—人物と名所を組み合わせた揃物を中心に—	渡邊 晃	" "	" "
物語絵の往還—近世初期の源氏絵と伊勢絵を中心に	廣海 伸彦	"	"	研究の散歩道 描写年代の謎解き—日光東照宮参詣図屏風	小澤 弘	江戸東京博物館NEWS	79
池大雅による光の描写と黄檗美術—黄檗山萬寿院蔵「書画禅冊葉」の体験	出光佐千子	"	"	松山藩絵師・遠藤広実研究(1)	長井 健	愛媛県美術館年報・研究紀要	11
仙厓交友録(1)良寛と豪潮—仙厓筆「牡丹画賛」、豪潮筆「十六羅漢画賛」をめぐって	八波 浩一	"	"	呉春《松に芭蕉図画稿》	熊田 司	えむえむ	3
いわて文化ノート 絵師川口月嶺のこと	齋藤 里香	岩手県立博物館だより	135	鉄眼版大蔵経の出版とその利用	内山 純子	黄檗文華	131
両頭愛染曼荼羅の成立に関する一考察—金胎不二の図像的表現を中心に—	鍵和田聖子	印度学仏教学研究	126	新出 金龍山浅草寺所蔵・木庵性瑠賛「靈照女図」について	藤元 裕二	" "	" "
『華嚴宗祖師絵伝』「義湘絵」の制作意図に関する一試論	愛宕 邦康	"	"	伊藤若冲筆《動植綵絵 老松白鳳図》における「もう一羽の鳥」—閑古鳥と諫鼓鳥—	中野 晶子	" "	" "
曼荼羅と經典の金銀泥表現	真鍋 俊照	"	"	「木庵伽羅笠」(名古屋市千種区紫磨山長福寺所蔵)と神農図に描かれた蓑について	三浦 重徳	" "	" "
長松日扇筆曼荼羅本尊の一考察—讃文を視点として—	武田 悟一	"	128				

平成24年定期刊行物所載文献(古/絵画)

平成21年度大阪城天守閣新収蔵資料紹介	松尾 信裕 北川 央 宮本 裕次 跡部 信	大阪城天守閣紀要	39	草創期の歌舞伎表現を 探る—絵画史研究と 芸能史研究の複合的 アプローチ	池田 芙美	〃	〃	
資料紹介 円山派と 四條派による寄合描 き「秋七草図」につ いて	岩佐 伸一	大阪歴史博物館研究紀要	10	「騎馬図巻」の図像学 的考察	金子 岳史	〃	〃	
江戸時代の山王祭に ついて(上)—『日吉 山王祭礼貼交屏風』 の図解を中心として—	和田 光生	大津市歴史博物館研究紀要	18	二十四孝図研究—押 絵貼形式を手がかり に—	茨木 恵美	〃	〃	
学芸員のノートから 当館で紹介した作品 が市指定文化財にな ります	〃	大津歴博 だより	86	中村芳中の扇面画の 調査研究	福井 麻純	〃	〃	
浮世絵における「子 ども絵」—天保期を 中心に—	伊藤 千尋	学習院大 学人文科 学論集	21	光琳作品における古 典主題	江村 知子	〃	〃	
模本と下絵—絵画史 への寄与について—	武田 恒夫	学 叢	34	近世における「長恨 歌図」の調査研究— 版本との関係を中心 に—	村木 桂子	〃	〃	
狩野山雪筆聖賢図押 絵貼屏風について	山下 善也	〃	〃	宗達派草花図の展開 に関する研究—喜多 川相説筆「秋草図屏 風」を基軸として—	岡田 梓	〃	〃	
元照系「観経十六観 変相図」解釈に関す る一試論—第一観か ら第七観を中心—	三島 貴雄	〃	〃	資料紹介 宝生寺所 蔵の二種の羅漢図に ついて	梅沢 恵	神奈川 県立博 物館 研究報 告	38	
円山応挙筆 芙蓉飛 雁・寒菊水禽図	水谷 亜希	〃	〃	ペリーの顔・貌・カ オ—「黒船」の使者の 虚像と実像—天によ せて	嶋村 元宏	神奈川 県立 歴史博 物館だ より	190	
梶子に鶴鶴図 雲谷 等顔筆	山本 英男	〃	〃	特別陳列「夢窓疎石 と鎌倉の禅宗文化」	梅沢 恵	〃	〃	
素材への視線—仏画 の絵絹	泉 武夫	〃	〃	龍華寺本『三国祖師 影』について—新た な中世写本の発見—	西岡 芳文 向坂 卓也	金沢文 庫研 究	328	
絵がとり結ぶ崋山と 大蔵永常との縁	有菌正一郎	崋山会報	28	称名寺蔵仏涅槃図考	藤元 裕二	〃	329	
画家渡辺崋山の心象	鈴木 利昌	〃	〃	鎌倉の至宝(12)重要 文化財—之庵通貫像 自賛 元弘3年— 一幅 帰源院蔵	高橋 真作	鎌 倉	112	
渡辺崋山『毛武遊記』 5、6	加藤 克己	〃	28、29	近世近代の日本絵画 における美術交渉	中谷 伸生	関西大 学東 西学 術研 究所 紀要	45	
田原市博物館収蔵品 から 渡辺崋山筆『客 坐掌記(天保九年)』 6、7	〃	〃	〃	平成23(2011)年度 日本東洋美術史の調 査研究報告 資料紹 介	〃	関西大 学博 物館 紀要	18	
崋山の田原行(13)	柴田 雅芳	〃	29	伝狩野永岳《楼閣 山水図》	中谷 伸生	〃		
東アジアの観点から 見た「信貴山縁起絵 巻」の研究	伊藤 大輔	鹿島美術 財団年報 ・別冊	29	大野蘭窓齋筆《大 岡春卜筆「八嶋合 戦図絵馬」下絵》模 本(個人蔵)	石田 智子	〃		
岩佐又兵衛の故事人 物図に関する研究	飯島沙耶子	〃	〃	館蔵資料紹介 諸国 瀧廻り 美濃ノ国 養老の滝	〃	岐阜市 歴史 博物館 だ より	81	
15—17世紀における 玄宗楊貴妃図の諸問 題—制作目的と中国 画受容を中心—	福田 訓子	〃	〃	新連載 聚美名宝鑑 今月の名宝鑑賞 雪 村周継「布袋図」	小川 知二	ギヤ ラリ ー*	322	

連載 聚美名宝鑑 今月の名宝鑑賞	〃		大特集 浮世絵 vs. 世界のエロス 春画 ワールドカップ Team Japan 鹿島茂 UTAMARO を見に行 く	鹿島 茂 山本ゆかり 浦上 満	芸術新潮	746
(第4回)岡本秋暉 「四季花鳥図・秋 の七草図双幅」	小林 忠	325				
(第5回)長沢芦雪 「遠望松鶴図」	岡田 秀之	326	特集 美女と幽霊		〃	752
(第6回)最終回 木米「秋景山水図」	小林 優子	327	幽霊画とは何か? 何処から来て、何 処へ行くのか?	安村 敏信		
絵蠟燭の描かれた見 立て絵・2—子供遊絵 「子供遊宝能当物」・ 「子供遊端午の気生」 ・「子供遊お山の太 せう」を考える—	内藤 郁夫	九州産業 大学芸術 研究会 報告 43	クセ者ぞろい 幽 霊画キャラクター 名鑑	安村 敏信 解説		
伊東尾四郎文書本『筑 前国続風土記附録』 について	一瀬 智	九州歴史 資料館研 究論集 37	小特集 松井冬子、 九州で九相図を観る 死への想像力—九相 図がつなぐ、過去と 現在	山本 解説 聡美	〃	754
南蛮屏風と阪神大震 災	鬼原 俊枝	京都国立 博物館だ より 174	小野通女と公家との 交流について—「人 麿図」等の和歌を伴 う書画を中心に	中村 玲 芸 叢		27
赤星家旧蔵の祭礼小 絵巻とその模本につ いて	泉 万里	京都産業 大学日本 文化研究 所紀要 17	研究ノート		建築史学	59
近世土佐家文書	松尾 芳樹	京都市立 大学芸術 資料館年 報 21	洛中洛外図屏風か らみた京町屋の構 造	清水 擴		
東アジア(胎蔵曼荼 羅)最外院に受容さ れたインドの図像— 九曜と七母天につ いて—	天野 歩	京都市立 大学芸術 美術学部 研究紀要 56	国宝浄瑠璃寺三重 塔の初層内部装飾 について	多田 牧央 森 正和		
ニース・シュレ美術 館所蔵『北斎漫画』に ついての調査報告	柏木加代子 飯倉 洋一	〃 〃	收藏品紹介 壬生水 石 狩野洞春	村山 望	KENBI LETTER	76
春画からみる江戸の 習俗について—張形 の表象を中心に—	鈴木 堅弘	京都精華 大学紀要 40	絵金 絵師金蔵、六 つの顔を知る	〃	〃	78
聖衆来迎寺蔵「六道 絵」閻魔王庁幅と焰 魔天図像	山本 聡美	共立女子 大学文芸 学部紀要 58	喜三二の黄表紙と夢 の趣向	植木 智広	国学院雑 誌	1264
資料紹介 兵庫県宍 粟市「西蓮寺縁起」— もう一つの教信沙弥 伝—	木下 資一	近代 106	研究ノート 寛永文 化の共同幻想—『百 椿図』の衝撃—	中村 啓信	〃	1265
『扶桑名画伝』の編纂 と堀直格の文芸活動	佐藤 温	近代画説 21	伊勢物語絵の表現— 国学院大学図書館所 蔵『伊勢物語絵巻』二 九段を中心として—	針本 正行	〃	1266
研究小話 谷文晁・ 田崎草雲・小室翠雲 —関東南画の系譜	野田 麻美	群馬の森 美術館ニ ュース 147	本の森を歩く 第9 回 英国を魅了した 日本	大塚奈奈絵	国立国会 図書館月 報	613
鶴の表象の変遷をめぐ って 地域社会にお ける妖怪観の形成 の視点から	市川 寛也	芸術学研 究(筑波) 17	新出資料『古狂言後 素帖』について	西野 春雄	国立能楽 堂調査研 究	6
			行列にみる近世の 「異国人」認識	久留島 浩	国立民族 学博物館 調査報告	104
			江戸庶民がみる異国 /自国の形象	川添 裕	〃	〃

平成24年定期刊行物所載文献(古/絵画)

「石見銀山絵巻」上野家本について(1)―文字情報からの作者の特定―	鳥谷 芳雄	古代文化研究	20	新出「絵因果経断簡」試論―東京芸術大学本との関連―	関口 正之	〃	1402
平治物語絵巻 六波羅合戦巻断簡	松島 仁	国 華	1395	伝周文筆 四季山水図屏風	城市真理子	〃	〃
伝狩野元信筆 四季耕作図屏風	島尾 新	〃	〃	細井平洲筆 奥海僊舟詩画卷	小野 重仔	〃	〃
葛飾北斎筆 傾城図	小林 忠	〃	〃	伊藤若冲筆 六歌仙図	馬淵 美帆	〃	〃
研究資料 江戸前期狩野派の歌絵について―狩野探信守政筆「井手玉川図屏風」を中心に―	薄田 大輔	〃	〃	研究資料 狩野探幽とオランダ東インド会社	タイモン・スクリーチ 松島 仁 訳	〃	〃
伝狩野元信原画「獣尽図屏風模本」と狩野派の動物画	門脇むつみ	〃	1396	光悦書宗達画「蓮下絵百人一首和歌巻」の伝来と復元に関する一考察―新出断簡の紹介をかねて―	玉蟲 敏子	〃	1403
地獄草紙断簡	佐野みどり	〃	〃	不及老人像	泉 武夫	〃	〃
熙春龍喜賛 毛利元就像	荏開津通彦	〃	〃	与謝蕪村筆 田家飼馬図	河野 元昭	〃	〃
谷文晁筆 楼閣山水図	河野 元昭	〃	〃	特輯 京都国立博物館 上野コレクション	〃	〃	1404
特輯 女性画家	〃	〃	1397	法華経冊子	赤尾 栄慶 佐野みどり	〃	〃
「女性画家」特輯に当つて	河野 元昭	〃	〃	山越阿弥陀図	大原 嘉豊	〃	〃
描いた女性たち―平安時代から江戸時代を中心に―	仲町 啓子	〃	〃	与謝蕪村筆 竹溪訪隠図	山下 善也	〃	〃
清原雪信筆 菊慈童図	大平有希野	〃	〃	新出八曲一隻洛中洛外図屏風について	マシュー・フィリップ・マッケルウェイ	〃	1405
池玉瀾筆 風竹図扇面	小林 忠	〃	〃	渡辺始興筆 木蓮棕櫚図	河野 元昭	〃	〃
谷文晁筆 江村晩晴図 谷幹々筆 雪景楊柳図	河野 元昭	〃	〃	鶴亭筆 墨梅図	成澤 勝嗣	〃	〃
江馬細香筆 蘭画	太田 佳鈴	〃	〃	沖一峨筆 江戸風景図額	山下真由美	〃	〃
林珮芳筆 山水図巻	仲町 啓子	〃	〃	特輯 ギッター・コレクション	〃	〃	1406
梁川紅蘭筆 秋卉舞蝶図	三戸 信恵	〃	〃	土佐大掾元庸筆 洛中洛外図屏風	小澤 弘	〃	〃
尹大納言絵巻断簡	佐野みどり	〃	1398	東山婦女遊楽図屏風	山本ゆかり	〃	〃
円山応挙筆 白狐図	河野 元昭	〃	〃	池大雅筆 太秦牛祭図	小林 忠	〃	〃
蠣崎波響筆 釈迦涅槃図	岡本 祐美	〃	〃	与謝蕪村筆 夏景山水図	河野 元昭	〃	〃
研究資料 二河白道図―テキストとイメージの源流を探る(上)、(下)	仙海 義之	〃	1398、1399	浦上玉堂筆 火伏金生図	佐藤 康宏	〃	〃
狩野長信の一側面―釈迦四面像厨子屏絵をめぐつて―	小野真由美	〃	1399	谷文晁筆 山水図屏風	松島 仁	〃	〃
曾我直庵筆 鷹図屏風	稲畑ルミ子	〃	〃	立原杏所筆 文人作画図	森 道彦	〃	〃
円山応挙筆 龍門図	水谷 亜希	〃	〃				



酒井抱一筆 朝陽に四季草花図	前田麻衣子			狩野尚信と絵馬	〃	〃	823
鑑賞の勘どころ(11) 一料紙装飾一	佐野みどり	国華清話 会会報	19	飛雲閣を探して3 洛中洛外図に描かれた飛雲閣	加藤 繁生	〃	828
画のなかの文字(4) 一白隠「隻履芦葉達磨図」	島尾 新	〃	〃	江馬細香の初期と前期における画風展開一「蘭図」を中心に、落款と印章の検証を含めて一	太田 佳鈴	実践女子 学園香雪 記念資料 館館報	9
逸品紹介 宮川長春筆 緑台美人図	山本ゆかり	〃	20	武内小鸞「海棠孔雀図」について	佐藤 美子	〃	〃
武将たちの群像一家康・信玄・謙信家臣図一	松原 仁	〃	〃	伊藤若冲における初期絵画制作について一宝暦年間の制作を中心に一	〃	実践女子 大学美学 美術史学	26
蛍光X線分析による日本近世絵画の色材調査一黒川古文化研究所の収蔵品を中心に一	杉本 廣川 欣久 守	古文化研 究	11	吉原特集 吉原と浮世絵に関するプレ国際シンポジウム		実践女子 大学文芸 資料研究 所年報	別冊13
研究ノート 紺紙金字経と隠れた墨書・墨印一古写経の史料の相対化に向けた近赤外線デジタルカメラ撮影技術の利用一	橋村 愛子	古文書研 究	73	柳亭種彦の吉原研究	佐藤 悟		
日本古文書学会 第44回学術大会要旨 失われた国宝『信貴山縁起絵巻』(山崎長者巻)第一段詞書一立正大学図書館所蔵模本の意味一	佐多 芳彦	〃	〃	一次史料に基づく 妓楼和泉屋の歴史研究	日比谷孟俊		
溪斎英泉の画業展開について	田辺 昌子	採 蓮*	15	吉原文化と浮世絵学	酒井 雁高		
勉強会報告 キルヘル・ケンペル・シーボルトが描く日本の仏像	ジョセフ・キブルツ 報告 鈴村 裕輔 執筆	The Newslet- ter I. J. S.	16	パネル討論: 吉原研究における浮世絵の意義	クリストフ・マルケ 司会、 佐藤 悟 日比谷孟俊		
近世初期狩野派と「南蛮屏風」をめぐる考察	石田 佳也	サントリ ー美術館 研究紀要	1	コラム 益田の殿様、療養顛末記一文化財の修理について一	川西 由里	島根県立 石見美術 館ニュー ズレター	16
近世京都・大阪画壇における芸術家交流一「棲鸞園画帖」を中心に	池田 芙美	〃	〃	口絵裏解説「竹生島祭礼図」東京国立博物館蔵	村重 寧 紫 明		31
「鳥獣人物戯画」甲巻の見物衆表現一その類型モチーフと機能について	上野 友愛	〃	〃	日本絵図に描かれた「島」	木村 重圭	〃	〃
御伽草子 この国は物語にあふれている	徳田 和夫	サントリ ー美術館 ニュース	241	例会・国際シンポジウム報告 鍛形蕙斎の画本芸術一江戸からパリへ一	クリストフ・マルケ	ジャポニ スム研究	32
「春日権現験記絵」の修理 修理状況と調査概要の報告(1)	太田 彩	三の丸尚 蔵館年報 ・紀要	17	特集 雪舟と室町水墨画 雪舟の中華文化への憧憬と受容		聚 美	2
服部永錫蒐集の書画帖一《縮地妙詮帖》とその周辺一	福士 雄也	静岡県立 美術館紀 要	27	室町水墨画の表現一その特質と雪舟の位置一	島尾 新		
女絵師清原雪信と狩野雪姫	寺本 健三	史迹と美術	821	聚美滴滴 第2回 雪舟の留学	杉本秀太郎		
				雪舟の心境をめぐる前提 人生の節目と選択	畑 靖紀		

平成24年定期刊行物所載文献(古/絵画)

雪舟は近世への道を拓いたか 江戸時代初期の画家たちと雪舟との関わり	往開津通彦			探幽晩年、渾身の大作 興正寺蔵「雲龍図」	樋口 一貴	〃	〃
特集 狩野派の誕生と興隆 正信・元信・之信・永徳・探幽		聚 美 3		最新科学で書を鑑定する vol.4 伝世尊寺経朝筆「玉津切」(蜻蛉日記絵巻詞書)	池田 和臣	〃	〃
狩野派の誕生と興隆 正信・元信・永徳	辻 惟雄			徳川將軍家伝来の白描徳川家康像について	松島 仁	〃	5
狩野派絵画と天下人 障壁画と肖像画を中心に	松島 仁			失われた法隆寺壁画の再現研究(続編1~4)	松田 真平 聖 徳		211~214
狩野之信の花鳥図屏風 謎の画家狩野之信の実像を解明	松木 寛			稀れに見る讃文の聖徳太子画像	小松 光江	〃	212
狩野探幽の素顔 もうひとりの探幽像	加藤 弘子			多々羅発祥の地に祀られた太子像	〃	〃	214
聚美名宝鑑		〃		天川弁財天曼荼羅における蛇頭人身弁財天像について	中島 彩花	女子美術大学研究紀要	42
雪村周継「布袋図」と「山水図」	小川 知二	2		特集 北京故宮がやってきた 現代中国巧芸事情68 絵巻物の楽しみ―「北京故宮博物院200選」参観記―	仲 佑樹	書道界	267
長沢芦雪 遠望松鶴図	岡田 秀之	3		瘦蘭齋楽事異聞第104話 浦上玉堂雑感1	坂田 進一	〃	277
仙嶽宗洞賛 四季花鳥図押絵貼屏風	辻 惟雄	〃		資料紹介 書陵部所蔵「狭衣物語」について―奈良絵本制作事情の一端―	田代 圭一	書陵部紀要	63
木米「秋景山水図」	小林 優子	4		河野一作「文化十西句帖」翻刻	高室 有子	資料と研究	17
「秀松」印扇面貼交屏風	並木 誠士	〃		山本素軒の歌仙御手鑑	五十嵐公一	塵 界	23
宮川一笑「楼上遊興図」	稲崎 朋子	5		清楚寺本「地獄極楽変相図」について	小栗栖健治	〃	〃
紙の万華鏡	増田 勝彦	〃		水墨再見 技 与謝蕪村《鸚鵡図》のうち《鴉図》	沈 和年	水墨画*	274
Vol.3 鳥獸戯画の料紙と相剥ぎ		3		水墨画の歴史を語る 第29回 水墨の美	島尾 新珠	〃	〃
Vol.4 錦絵と唐絵 一紙と摺り―		4		河野元昭が選ぶ水墨画50選	河野 元昭	〃	〃
世界に誇る日本美術の精華! ポストン美術館所蔵「日本美術の至宝」里帰り展	河野 元昭	〃	3	画面空間の中に解き放たれた牛 俵屋宗達「牛図」			〃
特集 浮世絵の粋と美		〃	4	竹林を押しわけ、一株の梅から希望に満ちた息吹を感じる 尾形光琳《竹梅図屏風》			275
江戸文化の華 浮世絵の誕生と展開	小林 忠			水墨再見 技 酒井抱一《紅梅図》	沈 和年	〃	〃
粋の美術 浮世絵の名作を観る	浅野 秀剛						
絵画における服飾表現 その実態と活用の可能性について	長崎 巖						
浮世絵と美人 リアリズムとファンタジー	藤澤 紫						

熊野観心十界曼荼羅とそのルーツ(VIII)一階層的クラスター分析による小栗栴の分類枠の検証一	宮川 充司	椋山女学園大学研究論集	43	比嘉朝健「琉球歴代画家譜」の校異について(2)	川島喜納倉成輝 淳大郎 多郎 広志	壺屋焼物博物館紀要	13
藤崎宮祭礼絵巻「永青文庫甲本」の制作年代及び制作者に関する一考察	松田咲也子	崇城大学芸術学部研究紀要	5	「男衾三郎絵巻」再考一望ましき当主像をめぐって一	岡部恵理子	哲学会誌	36
歌川国芳艶本目録	白倉 敬彦 編	太陽(別冊)	国芳の春画	山口県立美術館所蔵重要文化財 雪舟筆「牧牛図」二幅の修理について	岩井 共二	天開図画	9
与謝蕪村 画俳ふたつの道の達人		"	202	修理報告書 紙本淡彩牧牛図[牧童]雪舟筆(仿李唐)1幅及び紙本淡彩牧牛図[渡河]雪舟筆(仿李唐)1幅	株式会社岡墨光堂	"	"
夜色楼台図、峨嵋露頂図巻、富嶽列松図	岡田 秀之			近藤清石著雪舟関係記事紹介	影山 純夫	"	"
雅俗融合の詩情一「新緑杜鵑図」	辻 惟雄			『等伯画説』の一節から	荏開津通彦	"	"
「灯火」一画俳ふたつの道の天分を見る 灯火に寄せる情を名句に詠じる	藤田 真一			総合文化展見どころ案内2012年2月・3月 気になるこの部屋・この作品		東京国立博物館ニユース	711
「灯火」一画俳ふたつの道の天分を見る 灯火を映し出し、光の表現に心を寄せる	岡田 秀之			重文 山水図	救仁郷秀明		
遅咲きの偉才一画俳ふたつの道を行く	藤田 真一			重文 竹梅図屏風	松嶋 雅人		
遅咲きの偉才一画俳ふたつの道を行く 遊歴処どころ江戸と関東遊歴僧形となつての旅と画俳の修行	清登 典子			総合文化展見どころ案内2012年4月・5月 気になるこの部屋・この作品 重文天狗草紙(東寺・醍醐寺巻)	土屋 貴裕	"	712
遅咲きの偉才一画俳ふたつの道を行く 遊歴処どころ讃岐 東へ西へ、ゆったりと画師の旅	塩崎 俊彦			総合文化展見どころ案内2012年6月・7月 気になるこの部屋・この作品		"	713
蕪村の俳句の趣一俳諧もの達人 蕪村の俳句の趣一俳諧もの達人	藤田 真一			重文 伝名和長年像	松嶋 雅人		
多彩な画境に挑んだ絵師一画風の変貌と創造 独学の絵師一その軌跡	岡田 秀之			子宝五節遊・七夕	田沢 裕賀		
館蔵浮世絵版画「蝶鶴山崎踊」にみる興行の周辺事情について	西田 亜未	たばこと塩の博物館年報	27	総合文化展見どころ案内2012年8月・9月 気になるこの部屋・この作品		"	714
引用の自由	島尾 新	多摩美術研究	1	国宝 華嚴宗祖師絵伝元暁絵巻下	土屋 貴裕		
蕭白ショック!! 曾我蕭白と京の画家たち 群仙図屏風再考一「蕭白ショック!!」展に関連して	伊藤 紫織	千葉市美術館ニユース C'n	62	国宝 納涼図屏風	松嶋 雅人		
				見返り美人図	金井 裕子		
				総合文化展見どころ案内2012年10月・11月 気になるこの部屋・この作品		"	715
				重文 如意輪観音図	救仁郷秀明		
				国宝 観楓図屏風	金井 裕子		
				白狐	松嶋 雅人		

平成24年定期刊行物所載文献(古／絵画)

総合文化展見どころ 案内2012年12月・ 2013年1月 気になる この部屋・この特 集 国宝 普賢菩薩 像	沖松健次郎	東京国立 博物館ニ ュース	716	仏教美術の金色表現	磯貝 誠	奈良美術 研究	13
史料紹介と研究 延 慶3年実遍書写本 『覚禅鈔』管見	藤原 重雄	東大画像 史料解析 センター 通信*	59	シンポジウム報告 2011年10月1日開催 「文化財の解析と保 存への新しいアプロ ーチ VIII」南北朝時 代の彩色木彫像のX 線分析—早稲田大学 會津八一記念博物館 所蔵・森靖氏寄贈三 十三応化身像—	小野 佳代	" "	" "
館蔵「日光東照宮参 詣図屏風」について	小澤 弘	東京都江 戸東京博 物館紀要	2	大乘院四季真景図の 世界—新出絵画資料 の紹介を兼ねて—	児島 大輔	奈良文化 財研究所 紀要	2012
両眉を握る慧思像— 福祥寺天台四祖像中 の南岳大師像につい て—	森井 友之	同志社大 学博物館 学年報	43	酒造図絵馬の研究 (4)—新潟県外の事 例について3—	野堀 正雄	新潟県立 歴史博物 館研究紀 要	13
蓮月と冷泉為恭 3 ~11 西田直義と為 恭	佐藤 節夫	陶 説	706,708 ~715	狩野探幽筆「釈迦三 尊像」(日光山輪王寺 蔵)について	松島 仁	日光山輪 王寺	81
対馬の天神信仰と天 神縁起絵巻	松川 博一	東風西声	7	絵巻の文法序説— 『後三年合戦絵詞』を 手掛かりに—	楊 暁捷	日本研究	46
解説 東本願寺親鸞 550回御遠忌画図	青木 馨	同朋大学 仏教文化 研究所紀 要	31	近世後期京都におけ る絵師の郊外居住に ついて	安 道永	日本建築 学会計画 系論文集	678
東洋文庫蔵『書物袋 絵外題集』について	岡崎 礼奈	東洋文庫 書報	43	扇流し図屏風の源流 試論—扇面絵画論序 説—	安達 啓子	日本女子 大学紀要 人間社会 学部	22
『滑稽富士詣』におけ る挿絵の役割—初編 から三編まで—	王 学鵬	徳島文理 大学文学 論叢	29	鹿苑寺大書院の若冲 障壁画の制作意義に ついて—印章を手が かりとして—	森下 佳菜	日本女子 大学大学 院紀要 (人)*	18
長崎唐通事の肖像画	錦織 亮介	長崎歴史 文化博物 館研究紀 要	6	鉄心齋文庫蔵『勢語 図抄』の装束図彩色 に関する小考	森田 直美	日本女子 大学大学 院文学研 究科紀要	18
七兵衛と八兵衛—し ちびょうえとはちび ょうえ—	山本 祐子	名古屋市 博物館だ より	200	日本美術随想 モノ の心・形の心		日本美術 新聞	3
甚目寺参詣曼茶羅— 三重塔と愛染明王像 の謎—	山田 伸彦	"	201	珍幅発見、描かれ た秘密 小野広隆 うなぎ化生画幅			
名古屋市秀吉清正記 念館蔵《高台院(お ね)画像》に関する考 察ノート	池田 洋子	名古屋造 形大学紀 要	18	頭山満の三幅対・ 机			
『栄山寺八角堂内陣 装飾画』に関する新 知見ほか	大山 明彦	奈良教育 大学紀要	61-1	口絵		日本歴史	
日本美術に息づく虫 たち	稲畑ルミ子	奈良県立 美術館紀 要	26	朱印船交趾渡航図 巻	藤田 励夫		768
名品展のみどころ		奈良国立 博物館だ より		世界及日本図—双 八曲屏風	地主 智彦		771
重要文化財 生駒 宮曼茶羅	谷口 耕生		80	土佐家伝来の伝足利 義政像について	落合 謙暁	"	772
刺繍釈迦阿弥陀二 尊像	内藤 栄		81	『輿車図考』の書写に ついて—早稲田大学 図書館所蔵本を中心 に—	京樂真帆子	人間文化	32

表象される乳房—中世絵巻における差別される身体—	内藤 久義	年報非文字資料研究	8	京の狩野派と袁派—幕末期における東アジアの絵画考—	中谷 伸生	"	東アジア文化研究科開設記念号
江戸人の視覚文化—売茶翁を中心として—	古郡紗弥香	野村美術館研究紀要	21	狩野探幽筆《桐鳳風図屏風》と鳳凰図様の伝播について	石田 智子	"	"
主な新収蔵資料の紹介		馬事文化財団年報	33	《誠忠義士肖像》にみる国芳の「写実」—近世日本、中国、朝鮮における肖像画を巡って—	中山 創太	"	"
東海道五十三駅 安田雷洲 14枚				浮世絵版画における中国民間版画の影響—鈴木春信を中心に—	清川 敦子	"	"
井伊の赤備え図屏風 小山栄達 6曲 1双				『平安画家評判記』について	田島 達也	美術京都	43
源平合戦絵巻 狩野探信 2巻				日韓共同シンポジウム特輯		美術研究	405
騎射図屏風 2曲 1双				山水長巻考—雪舟の再評価にむけて—	綿田 稔		
溪斎英泉 幕末の個性派—その実像に迫る	田辺 昌子	版画芸術	156	江戸時代初期風俗画の表現世界	江村 知子		
はじまりは国芳 歌川国芳と近代の美術	内山 淳子	"	158	永享七年の竹庵大縁をめぐる画事より—松岡美術館の周文画とケルン東洋美術館の靈照女図—	綿田 稔	"	407
VIEW(美術)		阪急文化		平成23年度東支部例会		美術史	172
天下人の御用絵師、狩野光信—「豊臣秀吉像画稿」をめぐる—	石田 佳也		2	孔雀明王画像の研究—東京芸術大学大学美術館本を中心に—	原 瑛莉子		
書き継がれた源氏絵	龍澤 彩		3	中世の兜率天弥勒—もうひとつの浄土信仰—	泉 武夫		
表紙解説		"		平成23年度西支部例会		"	"
豊臣秀吉像画稿 狩野光信筆(桃山時代)			2	鶴亭の画業における時代区分—その作風展開の特質について—	平井 啓修		
源氏物語 花宴図 狩野探信筆(江戸時代)			3	物語の絵画化の一例相について—『釈迦堂縁起絵巻』の場合—	井面 舞		
摺物様式の役者絵	北川 博子	阪急文化研究年報	1	鍛冶橋狩野家七代目 狩野探信守道にみる江戸狩野派と風俗画	薄田 大輔	"	173
資料紹介 逸翁美術館蔵 地蔵菩薩十王図(重要美術品)	仙海 義之	"	"	「絵本」出現の一背景—『絵本宝鑑』及び『大友興廃記』著者、橘宗重の出自解明を通して—	市川 廣太	"	"
絵金の芝居絵屏風と上方の芝居絵の影響関係についての再論考	小出久美子	bandaly	11				
円山応挙の写生と絵空事—登龍門図をもとに—	水谷 亜希	美学芸術学	27				
「彦根屏風」の成立に関する一試論—図様の転用をめぐる—	林 茂郎	美学論究	27				
浮世絵師にみる絵手本利用の一考察—中国画譜を源流とする歌川派の作品を中心に—	中山 創太	東アジア文化交渉研究	5				

平成24年定期刊行物所載文献(古/絵画)

茶会と雪舟一将軍の権威を基盤とした雪舟評価の形成過程とその背景—	和田 千春	美術史	173	「玄奘三蔵絵」について—絵巻に見られる風俗—	謝 亜宏		
第65回全国大会研究発表要旨		”	”	京狩野研究—旧天祥院障壁画の再検討—	松岡 礼菜		
尾形光琳筆「中村内蔵助像」再興—元禄期京都町人の視点—	加藤 祥平			横断する龍—曾我蕭白「雲龍図」	佐藤 康宏	美術史論叢	28
曾我蕭白の朝田寺杉戸絵—「猿図」を中心に—	ミウオシユ・ヴオズニ			幕末期における東アジア絵画コレクションの史的位置—谷文晁の視点から	板倉 聖哲	”	”
再出現の雪村筆《法常牧溪和尚八景中軸》(永禄6年作)について	吉田 智美			研究ノート 16世紀日本の都市図—宋代の都市図との関係	佐藤 康宏	”	”
久隅守景の四季耕作図に関する考察—東京国立博物館蔵「耕作図屏風」の図像と主題を中心に—	帯刀 菜緒			Loeil 美は語る		美術の窓	
「当麻曼茶羅縁起絵巻」の制作意図をめぐると試論	成原 有貴			10 国芳 江戸っ子の美学のミラクル・ワールド	岩切友里子 インタビュー		340
明恵上人樹上坐禅像における型と制作背景	伊藤 久美			12 曾我蕭白 画を望まば我に乞ふべし	伊藤 紫織 インタビュー		343
細川林谷伝の検討—旅と盆栽趣味を中心に—	久保佐知恵			丹青閑話 第13話～第16話、第20話	島尾 新	”	343～346、350
田能村竹田筆《煙霞帖》について—その青年期画業における位置づけ—	宗像 晋作			日本美術のスズメ 今月の逸品		”	
“浮世又兵衛”の虚像と実像—岩佐又兵衛をめぐると伝承の実態—	畠山 浩一	美術史学	33	洛中洛外図屏風	浅利 尚民		342
定家詠十二ヶ月和歌花鳥図の展開における探幽図様の意義について—和歌論を背景として—	柴橋 大典	”	”	狩野尚信「富士見西行・大原御幸図屏風」	佐々木英理子		344
伊藤若冲の歌仙絵を読み解く	新江 京子	美術史研究	50	曾我蕭白「月夜山水図」	畑 靖紀		346
曾我蕭白筆「月夜山水図屏風」再考—西湖・廬山のイメージ—	松岡まり江	”	”	「洛中洛外図屏風」	齋藤 慎一		347
作品紹介 宗達画・素庵書「芥子図・拾遺草和歌扇面」「叢林図・瀛奎律髓詩扇面」双幅	林 進	美術史論集	12	特集 拡大・縮小美術館 絵画編 葛飾北斎を解剖する！ 水飛沫と貝	秋田 達也	”	350
円形式北斗曼茶羅考—高山寺蔵「宿曜古文抄」をめぐって—	宇代 貴文	”	”	特集 第2部茶の湯の表現11 一幅の牧谿画に魅せられた人々	堀家 広子	美術フォーラム21	25
論文要旨《修士》		”	”	資料紹介I 新出の木村兼葭堂《名花十二客画帖》と青木木米	近藤 壮	”	26
				相国寺承天閣美術館 名品紹介 探意《耳川合戦図屏風》	鈴木 景雲	”	”
				画聖・雪舟の横顔16～19	島尾 新	美術屋・百兵衛	20～23
				美術の窓119、121、122	浅野 秀剛	美のたより	177、179、180
				書的美術展によせて 一字一仏の思想—大和文華館所蔵「一字蓮台法華経」の特色について—	古川 攝一	”	177

花の美術展によせて田能村竹田筆「翰墨隨身帖」の山茶花図について	宮崎 もも	" "	根津美術館蔵大日金輪・如意輪観音厨子について一文観房弘真と制作背景	内田 啓一	" "	
研究ノート 田能村竹田の草花図・花鳥図に見られる呉派の影響—魯治筆「百花図巻」との類似に注目して—	"	" "	179	黒田 彰 坪井 直子 筒井 大祐	仏教大学 文学部論 集	96
清雅なる仏画展によせて 玄証本図像再考—自筆本をめぐって—	古川 攝一	" "	180	太田 孝彦	文化学年 報	61
桃山・江戸前期の美術展によせて 伝依屋宗達筆「耕作図屏風」をめぐって	中部 義隆	" "	" "	植木 朝子	" "	" "
研究調査報告『日本近世生活絵引』南島編纂共同研究 八重山蔵元絵師画稿	得能 壽美	非文字資料研究	28	鈴木 淳 田代 一葉	学* 文	13-2 13-3
2011年度海外研修報告 曾我蕭白と蕭白周辺画師についての研究(ボストン・ニューヨーク)	道田 美貴	美連協ニュース	115	高岸 輝	" "	13-5
追憶の巨椋池—茶山と波響	井上研一郎	広島県立歴史博物館研究紀要	14	清水浜臣主催泊酒舎扇合—扇と歌の傾向について	田代 一葉	" 13-3
伝周文筆 四季山水図屏風(東京国立博物館蔵)について	城市真理子	広島市立大学芸術部紀要	17	16世紀やまと絵様式の転換	高岸 輝	" 13-5
福井県立若狭歴史民俗資料館所蔵「世界及日本図(八曲屏風)」の制作年代と伝来について—屏風の表と裏から—	有馬 香織	福井県立若狭歴史民俗資料館館報	H23年度	17世紀前後のメディア革命に関する一考察—『扇の草子』・「月次風俗図屏風」・要法寺版嵯峨本をめぐって—	安原 眞琴	" "
京都国立博物館所蔵の高野山水屏風について	泉 万里	仏教芸術	320	出版と儀礼—『帝鑑図説』をめぐって	太田 昌子 大西 廣	" 13-6
室生寺蔵真言八祖画像について—室生寺中興空智房忍空との関係から—	内田 啓一	" "	" "	口絵解説 銅版画東都名所図のうち東都名所全図	朝賀 浩	文化財* 585
作品紹介 浅草寺所蔵「准胝観音像」	藤元 裕二	" "	" "	新指定の文化財 美術工芸品 重要文化財の指定 絵画	文化庁文化財部	" "
海住山寺五重塔扉絵と宅間派	林 温	" "	322	特集 名勝の保護事例紹介 2『領内名勝図巻』に描かれた名勝地の調査	坂井田端志郎 丸山 伸治	" 589
鎌倉時代における涅槃変相図の展開について—自性院・安養院本と『四座講式』の関連を中心に—	鯨井 清隆	" "	323	上野記念館所蔵 山本梅逸筆「花鳥図画帖」について	大澤 慶子	文星紀要 23
法隆寺金堂における荘嚴の意義	三田 覚之	" "	324	表紙 近世怪談霜夜星	蓬 左	84
宅間俊賀論—真言八祖像、金輪仏頂像そして華嚴縁起義湘絵—	林 温	" "	" "	口絵解説 祐天開眼山越阿弥陀図	神居 文彰	鳳翔学叢 8
				新出の建築部材(天井裏板)について—付白描図、及び復元図—	大山 明彦 山田 真澄 池田 藍子	" "
				北斎「奥州松島八景図」出版広告	岩切友里子	北斎研究 49
				北斎「詩歌写真鏡」画題小考	"	" "
				「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」波の成立の一考察	山際 真穂	" "

平成24年定期刊行物所載文献(古/絵画)

富田文庫における葛飾北斎とその一門の狂歌本について(2) 叢春朗画『狂歌聯合女品定』の出版背景および喜多川歌麿画「開帳宝納狂歌美人合」との関係	奥田 敦子	北斎研究	49	『黄葉亭記』の原本と写本—岡山藩主池田家旧蔵資料の構造分析を踏まえて—	浅利 尚民	〃	641
				作品紹介		〃	〃
翻刻 葛飾北斎画「六玉川」	根岸 美佳	〃	〃	伝狩野孝信筆「酒天童子絵巻」の特色	小野真由美		
葛飾北斎肉筆鑑賞(77)「六歌仙図」絹本一幅	永田 生慈	〃	〃	狩野探幽筆、玉室宗珀・沢庵宗彭・江月宗玩賛「堀直寄像」	門脇むつみ		
影印『絵画叢誌』北斎関連記事—附『東洋絵画叢誌』		〃	50	根香寺総合調査報告 根香寺の書画調査	松岡 明子	ミュージアム調査研究報告	4
北海道開拓記念館所蔵『蝦夷島奇観』写本をめぐって—平沢屏山筆絵画との関係—	山際 晶子	北海道開拓記念館研究紀要	40	研究ノート 大阪市立美術館所蔵『九曜秘暦』覚書	米沢 玲	美をつくし	178
筑前国の「好古家」江藤正澄と松浦武四郎—江藤正澄「遺憾録」を中心に—	三浦 泰之命 山本	〃	〃	初期から全盛期の黄表紙挿絵に見る天狗像と文字情報—諸芸の流行と団十郎人気との関わり—	鶴岡 明美	武蔵野美術大学研究紀要	42
ミュージアム・コレクション 描かれた神々の世界	伊藤 克江	本郷	101	ささやかな日常感覚から見た古美術 その8、最終回	山中 理	目の眼	424,435
河鍋暁斎筆「地獄極楽めぐり図」と勝田家菩提寺	曾田めぐみ	待兼山論叢	46	特集1 禅画を読み解く おかしみの中の真理 ひもとけば楽しい禅画の世界	浅井 京子	〃	428
館蔵麻疹絵について	畠山 豊	町田市立博物館年報/紀要	2010年度	物に執して(160)	鈴木 皓詞	〃	433
聖徳大学所蔵『伊勢物語』絵巻について	辻 英子	三田国文	55	北斎が描いた甲斐の国	井澤英理子 宮澤富美恵	山梨県立博物館研究紀要	6
狩野探幽筆「新図十二品」補遺	樋口 一貴	三井美術文化史論集	5	資料紹介「中鉄地神講掛軸」について	羽毛田智幸	横浜市歴史博物館紀要	16
新出の立川流聖教について—翻刻と解題—	内田 啓一	密教図像	31	浮世絵における人物の写象—役者絵・美人画・相撲絵の比較を通じて—	大久保範子	横浜美術大学教育・研究紀要	2
禅林寺所蔵のいわゆる「十王図」の制作背景	釋 真弥	〃	〃	歴博甲本の主人公と注文主そして制作年—初期洛中洛外図屏風の読み方(1)—	黒田日出男	立正大学文学部研究紀要	28
MIHO MUSEUM所蔵の「詩絵浄土図断片」について	桑原 康郎	MIHO MUSEUM 研究紀要	12	黎明館企画展—生誕333年—薩摩の絵師木村探元の魅力		黎明	115
長沢芦雪の署名と印章について—作品年代推定の手掛かりとして—	岡田 秀之	〃	〃	将軍家「奥」における絵画稽古と御筆画の贈答	木下はるか	歴史評論	747
神護寺山水屏風の秋—七夕と網代—	泉 万里	MUSEUM	638	風説と怪異・妖怪—流行病と予言獣	常光 徹	歴博	170
江戸初期鷺鳥図における「雁と鶴」についての考察—塩鶴屏風をてがかりに—	小野真由美	〃	〃	特集 都市『江戸』の表象		〃	171
				江戸名所の心理学	井田 太郎		
				異国人と江戸の表象—朝鮮通信使の点描を中心に—	ロナルド・トビ		



特集 歴史・民俗に みる「老人」たち 北 斎と老境	大久保純一	"	172	261 なぜ水に浮い ているのか 作者 不詳「江戸名所図 屏風」	"	"	7.4
れきはく井戸端会議 展示室Q & A[東山 名所図屏風]	小島 道裕	"	174	264 誰を描いたの か 作者不詳「北 垂墨利加人物ベル リ像」	"	"	7.25
野呂介石の画風変遷 —その山水表現を中 心に—	安永 拓世	和歌山県 立博物館 研究紀要	18	269 なぜこの松は 違うのか 二条城 二の丸御殿 大広 間四の間 狩野山 楽または探幽「松 鷹図」	"	"	8.29
東嶺円慈の行状と作 品	浅井 京子	早大會津 八一記念 博紀要*	13	285 ちぐはぐさに 浮かぶのは 戸田 忠翰「白鸚鵡図」	"	"	12.19
細川林谷筆「探梅卷」 (会津八一コレクション) にみる旅と交友の記録	久保佐知恵	"	"	絵巻満開 傑作相次 ぎ公開 紙芝居や実 録風の味わい 文楽 を楽しむような感覚	西岡 一正	"	4.4
仏画における生身性 について—五色糸と 髪繻	内田 啓一	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	57	4「読ん」で知るア ート 江戸絵画	小林 忠	"	4.4、11、 18、25
放浪の文人・細川林 谷筆「西国巡礼詩画 帖」について	久保佐知恵	"	"	歴史 絵巻物の政治 性を議論 美の裏に 「権力の誇示」	小川 雪	"	4.23
修士論文概要「又兵 衛風遊楽図」につい て—野外遊楽図を中 心に—	森 瑤子	"	"	奇想天外蕭白全開 展覧会首都圏で続々 「超越感」に心スッキ リ[曾我蕭白]	大西 若人	"	4.25
ニュースがわからん ! 高松塚古墳壁画 の修復は進んでる?	渡 義人 朝 日	"	3.22	美の季想 不在の美 学 花から浮かぶ物 語	高階 秀爾	"	5.9
ボストン美術館 日 本美術の至宝 おか えり美の遺産 力強 い筆遣いよみがえっ た	アン・ニシ ムラ・モー ス	"	4.5	「源頼朝像=直義」説 に新視点 足利氏の 「二頭政治」聖像化 黒田日出男氏「危機 回避願ひ奉納」	村山 正司	"	6.25
日本橋 描かれた 400年 2~9	我妻 直美	"	4.10、17、 24、5.8、 22、29、 6.5	4「読ん」で知るア ート 妖怪のからだ	小松 和彦	"	7.25、8.1、 8、15
古都ナビ 宝物編 東大寺	小滝ちひろ	"	5.13、27	「源頼朝像=直義」説 に新研究 東北大教 授「絵絹は14世紀、 日本製」	村山 正司	"	10.29
将軍の顔、下絵はリ アル 徳川宗家に伝 来、研究進む	宮代 栄一 小川 雪	"	8.8	絵絹は14世紀の日本 製 源頼朝像「別人 説」後押し 東北大 大学院教授が新研究	磨井 慎吾 産 経	"	12.6
光琳、絵の下全面に 金箔 八橋図屏風	"	"	10.31	熱気球[親鸞・絵伝 ・善照寺]	東 京	"	1.28
美の履歴書	朝日夕刊	"		カジュアル美術館 国宝 東京国立博物 館 渡辺崋山 鷹見 泉石像 鬼気迫る顔 崋山の心?	三沢 典丈	"	6.17
243 応挙が模写し たわけは「鳥類真 写図巻」(部分)渡 辺始興	西田 健作	"	2.29	ぶらーりキャンパス お宝編 国学院大 奈良絵本「平家物語」 筆運び、絵に特異性 [国学院大学]	小形 佳奈	"	10.1
253 魚に重ねた思 いとは「遊魚図」渡 辺崋山	西岡 一正	"	5.9				
259 女の体に潜む ものは 溪斎英泉 「雲龍打掛の花魁」	増田 愛子	"	6.20				

平成24年定期刊行物所載文献(古/絵画)

光琳金箔に描く「八橋図屏風」を電波透視で判明	東京	10.31	世の中五用心 生活規範面白く説く [錦朝楼・歌川芳虎]	石山 秀和	7.20	
歌川国芳展 没後150年	宮川 匡司	日 経	1.21	里すゞめねぐらの仮宿 雀の姿で遊ぶ女生き生き [歌川国芳]	西村 直子	8.24
ワシントン伊藤若冲展 精緻極まる若冲の傑作「動植綵絵」米で一堂に	〃	〃	3.17	近世商売尽狂歌合「稲荷鮓」屋台庶民に人気 [石塚豊芥子]	吉田奈緒子	10.26
美の美 与謝蕪村一無限のポエジー 1～4	〃	〃	6.10、17、24、7.1	十二月之内師走餅つき 女衆の会話 聴こえそう [三代歌川豊国]	丸山はるか	11.30
文化往来 興福寺中金堂に祖師ら描く「法相柱」再興へ	〃	〃	7.24	新板浮絵忠臣蔵 第十一段目 吉良家の家臣最期の奮戦 [葛飾北斎]	小山 周子	12.7
美の美 文人って何だ? 池大雅 上	〃	〃	11.11	古美術 里帰りの春国内所蔵も展示会	前田 恭二	〃 4.5
あの「源頼朝」は別人? 「足利直義」説以来議論百出	岸 桂子	毎 日	10.31	強右衛門の背旗 由緒判明	早川 保夫	〃 5.23
美・コレクション 「収蔵と展覧の連動」を行う 宋紫石「牡丹小禽図」	〃	〃	11.14	「血曼荼羅」伝承の始原 軸木内の頭髪 忠盛、清盛か 平家2代、高野山への深い帰依	高橋 昌明	〃 7.4
科学調査も異なる結果 求められる多角的考察 光琳の国宝「紅白梅図屏風」金銀箔使用で「確定」	〃	毎日夕刊	1.12	家康の最晩年 リアルに 徳川記念財団所蔵画 供養用の肖像下絵か	〃	〃 8.8
目は語る アート逍遥 5月 光琳の燕子花図 人物と橋を消した美意識	高階 秀爾	〃	5.7	神護寺の「源頼朝」像は誰「足利尊氏の弟」説推す新著	早川 保夫	〃 8.29
広重は東海道を旅したのか 否定説の再考促す見解 [歌川広重]	井上 晋治	読 売	1.4	小笠原諸島の歴史資料公開 江戸東京博物館	〃	〃 9.12
江戸博蔵めぐり	〃	〃		被災の衝立 修復し公開 仙台市博物館 [司馬江漢]	〃	〃 10.31
十二支見立職人づくし 笑い誘う仕事ぶり [歌川国芳]	橋本由起子		1.13	いきいき江戸の狂言画帖見つかる 舞台に女性 胡弓・三味線も	読売夕刊	3.31
忠臣蔵見立人形 目を凝らすとゆかりの品々 [歌川貞房]	丸山はるか		1.20	ぎゃらりいモール	〃	
鎮西八郎為朝大明神両国ニテ御開帳子供御逆之図 疱瘡除け願う大行列 [歌川国芳]	吉田奈緒子		4.20	そごう美術館「京都細見美術館展 琳派・若冲と雅の世界」から 伊藤若冲「雪中雄鶏図」	舟串 彩	6.12
東海道五拾三次之内 日本橋朝之景 旅の起点 斬新な視点 [歌川広重]	我妻 直美		5.25	太田記念美術館 「浮世絵猫百景一 国芳一門ネコづくし」から 歌川国芳「猫の当字 かつを」	赤木 美智	7.3
市川団十郎口演 清醒丸引札 歌舞伎役者広告に一役 [歌川国貞]	丸山はるか		6.1			

## そ の 他

千秋文庫「雪舟とその流れ—佐竹家狩野派模写絵展」から雪舟(模者不詳)「天橋立図(模写)」	金森 陽		7.17	キジル石窟涅槃図にみられる仏教的特質	大門 浩子	印度学仏教学研究	128
千葉県美術館「どうぶつ大行進」から森一鳳「象図屏風」	松尾 知子		8.7	大特集 浮世絵 vs. 世界のエロス 春画 ワールドカップ Team India 『カーマ・ストラ』の国から カジュラーホイインド式エロティシズム	森 雅秀	芸術新潮	746
板橋区立美術館「我ら明清親衛隊」から戸田忠翰「白鸚鵡図」	佐々木英理子		12.11	伴大納言絵巻のおもしろさ	黒田 泰三	絲綢之路	70
二条城展から	早川 保夫	〃		研究報告 東京芸術大学西域画模本拾遺	芹生 春菜	東京芸術大学大学美術館年報	H22年度
四季花木図 狩野光信筆 優美な城の原点			8.15	火焰を背にしたオエーション=シヴァーアフガニスタン北部出土のクシヤン朝絵画と、密教図像の—源流—	安元 剛	密教図像	31
竹林群虎図 狩野甚之丞筆 登城の大名を威圧			8.16	ヴァスダーラー(Vasudhārā)女尊の図像とその典拠について	スダン・シヤキヤ	〃	〃
朝鮮				胎藏五仏の成立について—『大日経』の先行経典としての『文殊師利根本儀軌経』—	田中 公明	〃	〃
企画展「朝鮮の屏風—暮らしを彩る絵画演出」高麗美術館の朝鮮屏風—修復の現場から	馬場 秀雄 棚橋 映水	高麗美術館館報	93	ぎやらりいモール 根津美術館「平家物語画帖—諸行無常のミニアチュール」から「平家物語画帖・上帖『弓流しの事』」	松原 茂	読売夕刊	10.2
伝閑倩筆 葡萄図	橋本 慎司	国 華	1403	図 像			
アート・レビュー 記録と芸術の名手たち 朝鮮画員の世界を垣間見る	高金 美 沢 明順	コリアナ	19-1	中 国			
顔輝の画いた仙人像—《蝦蟆鉄拐図》(京都・智恩寺蔵)の主題をめぐって—	森橋なつみ	デアアルテ	28	論文要旨《博士》熾盛光仏図像の研究	蘇 佳瑩	美術史論集	12
亀倉コレクションの朝鮮民画と古典図鑑本について	高 晟垓	新潟県立近代美術館研究紀要	11	コラム 招聘レポート 崇鳳習俗の日中比較	趙 李娜	非文字資料研究	28
日韓共同シンポジウム特輯		美術研究	405	日 本			
国史形美術史の栄辱—朝鮮後期絵画の解釈と評価の問題—	洪中尾 善杓 沢 道子			あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第85回 日本美術のなかの「龍」旧暦「辰」年にちなみ	稲賀 繁美	あいだ	190
愛情の誤謬—鄭澈に対する評価と叙述の問題—	張石附 辰城 沢 啓子			琉球漆器における葡萄栗鼠の図様について—浦添市美術館所蔵作品を中心に—	森根 涼子	よのつち*	8
朝鮮国王に贈呈された「楊貴妃図屏風」—己酉条約と「金屏風五対」をめぐって—	朴 美姫	美術史	172	アジア図像探検96 権力と美術14	杉原たく哉	書道界	266

平成24年定期刊行物所載文献(古/図像、文様、地図・絵図、彫塑)

ユーラシアの天地をめぐる「黄金」デザイン—慶州・国立博物館蔵・新羅の金製装飾の表象考	鶴岡 真弓	多摩美術大学研究紀要	26	連載 再建への意志：図面のなかの都市復興 no. 11 明暦江戸大絵図	小林 信也	建築雑誌	1638
妙見信仰と真武信仰における文化交渉	二階堂善弘	東アジア文化交渉研究	5	中城御殿御普請板図の翻刻	新垣 裕之 伊良部一史 上江洲安亨 新里 涼子	首里城公園管理センター年報	2
妖怪文化の脈動 江戸時代と近代の広がり	湯本 豪一	見世物	5	シンポジウム「歴史のなかの地図 V 江戸と江戸城」画像のなかの江戸城—一	千葉 正樹	東京大学史料編纂所研究紀要	22
弥生時代にきた龍	金関 恕	みんぱく	412	江戸絵図を中心			
<b>その他</b>				浜村新潟の都市空間に関する復元的研究	水田 恒樹	日本建築学会計画系論文集	672
四獣頭(四獣、四聖獣)の形成と伝播について	朴 亨國	密教図像	31	古新潟之図の歴史地理学的考察			
<b>文 様</b>				越前大野城下における土地管理と景観—「渡り地浮地絵図」の考察から—	渡邊 秀一	仏教大学歴史学部論集	2
<b>日 本</b>				資料紹介 天明改正細見京絵図—「い」文字送り火があった時代の京都—	鋤柄 俊夫	文化情報学	8
調査研究ノート vol. 12 京極家の家紋のナゾ	御厨 義道	香川県立ミュージアムニュース	18	松江藩領全域をおおう「輪切絵図」—安定的な年貢確保を目的に—	上杉 和央 大矢 幸雄 石倉 舞美	松江歴史館研究紀要	2
華光大帝の変容	二階堂善弘	東アジア文化交渉研究		東アジア文化研究紀要			
資料紹介 正倉院宝飾鏡の鳳凰文様について—定性分析からの観点—	安藤真理子	文化情報学	8	宮崎の歴史情報 九州測量200年	(中竹)	森の通信	53
隼人の楯の文様についての一考察(2)	崎田 一郎	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	8	研究ノート 萩藩絵図方関係年表(図版編)	山田 稔	山口県文書館研究紀要	39
				特集展示 元録の堺大絵図—巨大都市図を歩く—	藤田 裕嗣	歴 博	175
<b>地図・絵図</b>				<b>彫 塑</b>			
<b>日 本</b>				<b>中 国</b>			
NOTE 伊能忠敬 in 府中	馬場 治子	あるむぜお	99	西域北道出土塑像の基礎的研究—ベルリン・アジア美術館所蔵品データベースの作成と調査・記録手法の確立に向けて—	森 美智代	高梨学術奨励基金年報	H23年度
資料紹介 新発見資料「西山御山家絵図」「梅里先生碑陰銘」について	永井 博	茨城県立歴史館報	39	不空奏上の文殊上座と最澄提唱の僧形文殊	柴田 憲良	天台学報	54
ライデン大学所蔵の因幡国絵図・伯耆国絵図をめぐって	倉地 克直	岡山大学文学部紀要	57	北京・雍和宮の諸仏塔と伝承	松木 民雄	東海大学国際文化学部紀要	4
小樽地方図の変遷—江戸期の小樽地方—	白濱 和彦	小樽市総合博物館紀要	25	奈良美術研究会 活動報告2011年度 唐代における千仏像の展開—蓮華表現を伴う例について—	小野 英二	奈良美術研究	13
鎌倉ゆかりの「社寺明細帳図」—合祀された神社—	山地 純	鎌倉	113				
高崎藩主松平(大河内)氏家臣団の動向—『享保高崎絵図』の注釈 2—	中山 剛志	群馬県立歴史博物館紀要	33				

調査報告 中国山西・河北地域における北朝隋唐時代仏教石刻資料の実地調査報告	手島 一真	東アジア石刻研究	4	九州西側の石造仏とその特質	井形 進	鹿島美術財団年報・別冊	29
平成23年度西支部例会 山西省芸術博物院大雲寺涅槃變碑像の図像と銘文に関する考察	田中 健一	美術史	172	東国所在の運慶の造像の研究—静岡・願成就院諸像を中心に—	高橋沙矢佳	" "	" "
遊牧民族の座法が五涼の仏座像に及ぼした影響に関する研究(1)—科研「ヒマラヤを越え河西回廊に伝わった密教的造形と表現に関する研究」から—	服部 等作	広島市立大学芸術学部紀要	17	近世彫刻史における羅漢彫像の研究	桑野 梓	" "	" "
蒲州大雲寺涅槃變碑像に関する考察	田中 健一	仏教芸術	325	称名寺所蔵観音・勢至菩薩立像について	明珍 素也 森 美穂	金沢文庫研究	328
中国墓葬における人面・獣面鎮墓獣と鎮墓武士俑の成立	吉村 菖子	MUSEUM	638	鎌倉の至宝(13)重要文化財 寿福寺蔵薬師如来坐像	和澄 浩介	鎌 倉	113
中国における初期の「邑義」について(下)—北魏における女性の集団造像—	佐藤 智水	龍谷大学仏教文化研究所紀要	51	海を越える伽藍神—日中五山の伽藍神の比定—	二階堂善弘	関西大学東西学術研究所紀要	45
日本				城下町におけ都市計画と基軸の設定—飯田を事例として—	松本 幸一	" "	" "
建造物および山車にみる風神雷神の彫刻について	水野 耕嗣	飯田市美術館研究紀要	22	愛知県岡崎市和志取神社蔵女神像について—近代式内論社と文化財—	長谷 洋一	関西大学博物館紀要	18
天福寺奥院仏像群について	高宮なつ美	大分県立歴史博物館研究紀要	13	博仏にみる調整痕の違いについて—夏見廃寺出土博仏を例に—	中東 洋行	" "	" "
大津市内所在彫刻調査報告1—木造阿彌陀如来及び両脇侍像 三軀 西教寺蔵1	寺島 典人	大津市歴史博物館研究紀要	18	獅子窟寺蔵薬師如来坐像に関する一考察	西木 政統	芸術学	15
法然上人没後800年記念・親鸞聖人没後750年記念企画展 阿彌陀さま—極楽浄土への誓い—		大津歴博だより	88	特輯 武蔵の仏像		国 華	1401
三輪山セミナー講演録 大御輪寺の仏像と神像	鈴木 喜博	大 美 和	123	「武蔵の仏像」特輯に当って	田邊三郎助		
岡崎市の円空仏	小島 梯次	岡崎市史研究	32	武蔵の仏像	林 宏一		
文化財の指定等 新指定の文化財(県指定文化財)[法然寺]		香川県文化財年報	H22年度	清岩院蔵 銅造菩薩立像	稲木 吉一		
新出の清水隆慶作品—近世彫刻の諸相4—	浅湫 毅	学 叢	34	桂木寺蔵 木造伝釈迦如来坐像	岩佐 光晴		
清水隆慶作「鬻骸」の経穴	猪飼 祥夫	" "	" "	五社神社蔵 木造蔵王権現立像及び菩薩形坐像	副島 弘道		
				金剛寺蔵 木造不動明王及び二童子像	奥 健夫		
				法恩寺蔵 木造大日如来坐像	林 宏一		
				慈光寺蔵 木造観音菩薩及び勢至菩薩坐像	副島 弘道		
				慈光寺蔵 木造阿彌陀如来坐像	奥 健夫		
				地藏院蔵 木造不動明王立像	山本 勉		
				法台寺蔵 木造他阿真教上人坐像	津田 徹英		

平成24年定期刊行物所載文献(古/彫塑)

木造菩薩坐像	井上 大樹	国 華	1403	美作の狛犬(3)	田淵千香子	津山弥生の里	19
富士山をめぐる女神信仰の系譜	畠堀 操八	国華清話会報	20	資料紹介 刀根区氣比神社釈迦堂の仏像	高早 恵美	敦賀市立博物館研究紀要	26
平成24年度特別展 展覧資料から「安倍晴明公坐像」		斎宮歴史博物館だより	69	女神像の服制・髪型について	池本 ゆい	帝塚山大学院紀要*	14
歴史のしおり 鉄のほとけさま	内山美代子	埼玉県立歴史と民俗の博物館だより	20	丹波・丹後地方の麻呂子親王伝説にまつわる七仏薬師像—法界定印に葉壺をもつ薬師如来像の事例紹介を兼ねて—	刀瀬 都未	" "	" "
伊奈氏が造立した地藏尊—紹介と予察—	赤石 光資	埼玉史談	309	修復研究実績		東京芸大保存修復彫刻年報*	2011年度
口絵写真解説 坂戸永源寺の什物—「嶋田重次墓誌」と「降誕釈尊仏」—		" "	" "	茨城県桜川市真壁町田山口地区蔵 木造虚空蔵菩薩坐像			
資料紹介 滋賀・小槻神社木造男神坐像について	山下 立	滋賀県立安土城考古博物館紀要	20	茨城県桜川市真壁町田山口地区蔵 木造虚空蔵菩薩坐像	岩佐 光晴		
神像彫刻史における奈良・玉籠寺木造女神坐像の位相—美術史学・年輪年代学からの報告—	大河内隆之 山下	" "	" "	茨城県小山寺蔵 木造毘沙門天立像			
黄檗信仰史77	江口 正尊	史迹と美術	829	東京都個人蔵 木造阿弥陀如来立像			
「大出雲展」只今準備中	的野 克之	島根県立古代出雲歴史博物館NEWS	22	奈良県室生寺蔵 木造地藏菩薩立像 附厨子および木造不動明王立像			
万年大夫夫婦坐像の畳	笹岡 明	市民と博物館	105	制作研究実績		" "	" "
口絵裏解説 重要文化財《童子型神像》 大將軍八神社蔵	田中 恵	紫 明	30	静岡県願成就院蔵 木造毘沙門天立像 縮尺模刻制作			
連載 歴史と美の探訪	大橋 信弥	" "	" "	木造地藏菩薩立像制作			
10 弥勒菩薩の渡来—秦河勝と葛野秦寺の造宮—				調査研究記録		" "	" "
11 弥勒菩薩の伝流				静岡県願成就院蔵 運慶作木造毘沙門天立像			
江戸に下った太子像 グラビア解説	小松 光江	聖 徳	211	東京国立博物館蔵 木心乾漆造日光菩薩半跏像			
救世観音菩薩立像 [法隆寺夢殿]	岩田 茂樹	" "	" "	東京芸術大学蔵 木心乾漆造月光菩薩坐像(藏品番号彫刻1)			
観音菩薩立像 夢殿安置	山口 隆介		212	奈良県長岳寺蔵 阿弥陀如来及び両脇侍像のうち阿弥陀如来坐像			
行信僧都坐像[法隆寺]	岩田 茂樹		213	大阪府道明寺蔵 木造十一面観音菩薩立像			
道詮律師坐像[法隆寺]	岩井 共二		214	愛知県性高院蔵 木造玄道上人坐像			
稲毛葉師の太子像	小松 光江	" "	213				
新指定の文化財 木造阿弥陀如来坐像		調布の文化財	48				

福井県清雲寺藏 毘沙門天三尊像の うち吉祥天立像及 び善膩師童子立像				後白河院と如意輪観 音信仰の関わりをめ ぐる一試論	清水 紀枝	奈良美術 研究	12
茨城県桜川市真壁 町田山口地区藏 木造虚空藏菩薩坐 像・光背・台座				仏塔装飾小考—飛鳥 白鳳期の作例を中心 に—	片岡 直樹	〃	13
日本木彫史概説	簗内佐斗司	〃	〃	シンポジウム報告 2011年10月1日開催 「文化財の解析と保 存への新しいアプロ ーチVIII」		〃	〃
総合文化展見どころ 案内2012年2月・3 月 気になるこの部 屋・この作品 帝釈 天立像と不動明王立 像	丸山 士郎	東京国立 博物館ニ ユース	711	薬師寺の金銅製品 のX線分析—薬 師三尊像・東塔伏 鉢を中心に—	櫻庭 裕介		
総合文化展見どころ 案内2012年4月・5 月 気になるこの部 屋・この作品 重文 金銅聖観音懸仏	伊藤 信二	〃	712	平城京遷都期にお ける造仏工・造寺 工の系譜	大橋 一章		
総合文化展見どころ 案内2012年6月・7 月 気になるこの部 屋・この作品 銅造 菩薩半跏藏	浅見 龍介	〃	713	奈良美術研究会 活 動報告2011年度 野 中寺弥勒菩薩半跏像 について	竹田 滋子	〃	〃
東近江市徳昌寺の厨 子入弁才天十五童子 像について	佐々木 進	同志社大 学博物館 学年報	43	東大寺南大門仁王像 の仏師編制について	鈴木 喜博	南都仏教	97
長崎市・興福寺所藏 媽祖倚像および侍女 立像—九州所在木彫 像基礎資料4—	楠井 隆志 鳥越 俊行	東風西声*	7	古代の造寺と社会	竹内 亮	日本史研 究	595
解説 聖徳太子南無 仏二歳立像	小山 正文	同朋大学 仏教文化 研究所紀 要	31	2011年度日本史研究 会大会報告批判 共 同研究報告 竹内報 告を聞いて	古市 晃	〃	596
聖徳太子信仰と三国 仏教史観(中)—一幅 本三国菩薩・高僧・ 先徳・太子連坐像の 成立構想に即して—	早島 有毅	〃	〃	日本美術随想 モノ の心・形の心 銅造 獅子水滴	森川 潤一	日本美術 新聞	4
修士論文要旨 鎌倉 時代の「三尺阿弥陀 如来立像」の作風展 開について	石原 俊樹	徳島文理 大学文学 論叢	29	生駒宝山寺湛海の仏 舎利信仰	赤田 光男	日本文化 史研究	43
神像吒呌尼天騎狐像 —日光山の神々との 習合—	北口 英雄	栃木県立 博物館研 究紀要	29	中世真宗の祖師先徳 彫像の制作をめぐつ て	津田 徹英	美術研究	406
さくら市龍光寺藏木 造喜連川恵氏坐像に ついて	本田 論	〃	〃	平成23年度西支部例 会 十二神将像の図 像的系譜に関する一 試論	一本 崇之	美術史	172
話題 六波羅蜜寺 伝平清盛像、その像 主をめぐって	岩田 茂樹	奈良国立 博物館だ より	80	平成23年度東支部大 会 鎌倉時代の阿弥 陀造像—救済と霊験 の視点から—	武笠 朗	〃	〃
名品展のみどころ		〃		第65回全国大会研究 発表要旨 円応寺初 江王坐像再考	森田 龍磨	〃	173
特別公開 定朝様 の丈六阿弥陀像 阿弥陀如来坐像	岩田 茂樹		82	浄瑠璃寺薬師如来像 と平安後期の南山城 の宗教空間	深沢麻亜沙	美術史学	33
如来立像	岩井 共二		83	平山郁夫シルクロ ード美術館コレクシ ョン87、88	平山美知子	美術の窓	341、342
				日本美術のススメ 今月の逸品		〃	
				十一面観音立像	岩田 茂樹		343

平成24年定期刊行物所載文献(古/彫塑)

快慶 木造大日如来坐像	清水 眞澄		348	伊豆山権現立像 個人蔵 男女神像 玉龍寺 女神坐像				
愛知・瀧山寺聖観音・梵天・帝釈天像の付属荘厳具一荘厳形式も踏まえた三尊像の理解のために一	三本 周作	フィロカリア	29	常行堂宝冠阿弥陀如来像の典拠図像と造像背景一鎌倉時代を中心に一	古幡 昇子	密教図像	31	
福岡・恵光院燈籠堂の石造十一面観音像一南末彫刻の可能性と図像の検討一	末吉 武史	福岡市博物館研究紀要	22	園城寺の新出不動明王	伊東 史朗	MIHO MUSEUM 研究紀要	12	
平成22年度 新指定文化財 木造阿弥陀如来立像 絹本着色 亀年禪像	横田 泰之	ふちゅ〜る	20	信楽・来迎寺の院快・院静・院禅作木造阿弥陀三尊像について	岩田 茂樹	MUSEUM	640	
鑑真和上像の着衣・唐式偏衫について一竹下蘭子氏の批判に答えて一	吉村 怜	仏教芸術	321	研究ノート 東京国立博物館・静嘉堂文库美術館分蔵十二神将像の伝来と作者一京都・浄瑠璃寺からの流出と運慶銘発見記事一	神野 祐太	"	"	
興福寺蔵旧山田寺仏頭再考一当初の安置堂宇と尊名の再検討を中心に一	原 浩史	"	322	根香寺総合調査報告 根香寺の彫刻調査	三好 賢子	ミュージアム調査研究報告	4	
東大寺法華堂不空絹索観音像と『華嚴経』	濱田 恒志	"	"	中世都市鎌倉の大災害一大仏殿倒壊を中心に一	八幡 義信	武蔵野	351	
金剛峯寺執金剛神・深沙大将立像と快慶の造形一銘記発見報告と作風理解を中心に一	友鳴 利英	"	323	京都・三時知恩寺の善導大師像	萩原明珍	哉素也	武蔵野美術大学研究紀要	42
芝薬師(大興寺)の十二神将巳神将午神将像一鎌倉時代末院派仏師の一活動一	伊東 史朗	"	"	講演1 半跏思惟像と聖徳太子信仰	藤岡 穰	八尾市文化財紀要	17	
笙ノ窟の不動明王像について	田邊三郎助	"	"	浄音寺十一面観音像をめぐって	清水 眞澄	八雲立つ風土記の丘	212	
湛慶様式の形成と展開をめぐる試論一湛慶周辺作例における造形的志向性への視座一	植村 拓哉	仏教大学宗教文化ミュージアム研究紀要	8	いわゆる春日地藏について(下)	鈴木 喜博	鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要	14	
異形の尊像一神変相としての異形性一	熊谷 貴史	仏教大学総合研究所紀要	19	東大寺大仏左脇侍と如意輪観音信仰	清水 紀枝	早稲田大学大学院文学研究科紀要	57	
新指定の文化財 美術工芸品 重要文化財の指定 彫刻	文化庁文化財部	文化財*	585	修士論文概要 宝誌和尚像考一観音化身論序説一	神野 祐太	"	"	
京都府指定文化財の紹介 木造阿弥陀如来立像	中野 慎之	文化財レポート	25	古都ナビ 宝物編 東大寺	小滝ちひろ	朝 日	5.13、27	
展覧会報告 妖婉×廉潔一弁才天信仰と青砥藤綱一	田中 正流	鳳翔学叢	8	文化の扉 歴史編 じゃあどんな顔? 足利尊氏 さん切り髪 の武者/笑は穏やかな垂れ目	村山 正司	"	10.1	
マイクロフォーカス X線 CTを用いた木造神像彫刻の非破壊年輪年代調査(1)	大河内隆之 児島 大輔 編	埋蔵文化財ニュース	147	飛鳥大仏、ほぼ飛鳥時代のまま 早大チーム、銅の比率分析	渡辺 延志	朝日夕刊	9.21	
與喜天満神社 神像群 大宝神社 男神像				美の履歴書274 なぜ口元を隠すのか「女神坐像」	大西 若人	"	10.3	



決断の日本史131 1003年4月「因幡葉師」京都に飛来受領・橘行平の眞官運動?	渡部 裕明	産 経	7. 10	仏像光背の変遷とその表現形式について—焔肩の図像表現を中心に—	内藤 善之	〃	128
生きる 仏像鑑賞のために 下 彫刻のもつ三次元性 空間を共有する醍醐味	伊東 史朗	東 京	11. 17	兵士、あるいは運動選手?—アルカイック時代のアッティカ墓碑における裸体像解釈—	田中 咲子	オリエン ト	54—2
仏像内部に將軍の遺髪? X線撮影 尊氏か義詮か 大津・三井寺		東京夕刊	11. 10	バンコク国立博物館所蔵の如来坐像(グラヒ仏)の製作年代に関する覚書	浅湊 毅	学 叢	34
美の美 東大寺法華堂の秘密 上~下	竹田 博志	日 経	2. 26、3. 4、 11	ガンダーラ美術の図像学的研究(8) 積尊の納棺と葬法—梵・パーリ本『大般涅槃經』の叙述と仏伝浮彫の図像をめぐって—	田辺 勝美	古代オリ エント博 物館紀要	32
らいふプラス 最大の木喰仏を尋ねて 村人の尊敬・信仰一身に	本田 寛成	〃	4. 25	カニシカ王の弥勒仏陀コイン	小山 満	シルクロ ード研究	7
美の美 興福寺 よみがえる天平伽藍 上、下	中沢 義則	〃	12. 23、30	スリランカにおける密教とガルヴィハーラ寺院の芸術(下)	チャンドラ ・ウィック ラマガマゲ ー 楠元香代子 訳	崇城大学 芸術学部 研究紀要	5
蟹満寺の謎 金銅仏を調査 X線分析 鋳造後に顔修正判明	早川 保夫	読 売	2. 8	ガンダーラ仏教彫刻における酒宴図、舞楽図、性愛図の新解釈—ザール・デリー出土の従三十三天降下図浮彫を中心に—	田辺 理	仏教芸術	323
北条泰時 極楽往生の願い 鎌倉・常楽寺 阿弥陀像造らせる? 死の3日前の墨書		〃	2. 18	スワート地方とペシヤール盆地におけるガンダーラ美術様式の年代	内記 理	〃	325
「十二神将立像」運慶の作か 明治期の新聞に具体的記述	早川 保夫	〃	11. 14	アフガニスタンの仏教遺跡群 メセ・アイナク	岩井 俊平 前田 耕作	〃	〃
ぎやらりいモール 神奈川県立金沢文庫「解脱上人貞慶—鎌倉仏教の本流」から「持国天立像(四天王立像のうち)」	瀬谷 貴之	読売夕刊	7. 10	ぎやらりいモール 大倉集古館「インドへの道—美術が繋いだ日本と印度」から「バイラヴァ立像」	田中知佐子	読売夕刊	11. 27
<b>朝 鮮</b>				<b>原 始 彫 刻</b>			
シンポジウム報告 2011年10月1日開催 「文化財の解析と保存への新しいアプローチ VIII」三国時代金銅仏の復元的考察—6—7世紀東アジアの金銅仏形式の共有様相を中心に—	郭金 訳	東錫 奈良美術 志虎 研究	13	<b>中 国</b>			
根津美術館蔵石造浮屠の四天王像について—いわゆる兜跋毘沙門天を中心に—	陸 載和	武蔵野美術大学研究紀要	42	<b>日 本</b>			
<b>そ の 他</b>				<b>東 北 地 方 ・ 縄 文 晩 期 の 土 偶 ( 3 ) — 「 土 偶 と その 情 報 」 研 究 会 集 成 資 料 ( 3 ) : 補 遺</b>			
燃灯仏に見られる焔肩と『六度集経』について	村上 東俊	印度学仏 教学研究	126	川島 公之 陶 説 709			
				金子 昭彦 岩手埋文 センター 紀要* 31			

資料紹介 大園遺跡出土埴輪の概要	三好 玄	大阪府教委文化財調査事務所年報	16	講演4美園古墳出土の家形埴輪の語るもの—高床式家形埴輪を中心に—	白石 太郎	八尾市文化財紀要	17
大和川今池遺跡の家形埴輪について	市村慎太郎	大阪府立近つ飛鳥博物館館報	16	所蔵品紹介 女性土偶	後藤 恒	エスプラナード	169
一須賀古墳群出土脚付壺の基礎的検討	飯田 浩光	〃	〃	文化の扉 はじめての土偶 想像かき立てる謎の造形美	木村 尚貴	朝 日	9.17
八つ塚古墳出土埴輪—円筒埴輪と形象埴輪の一例—	長谷川一英	岡山市埋蔵文化財センター研究紀要	4	面 日 本			
玉手山10号墳の楕円筒—南河内の前期埴輪—	河内 一浩	柏原市立歴史資料館館報	24	縄文時代土面集成(下)	永野 仁	大阪文化財研究	40
資料紹介		神奈川県立博物館研究報告	38	能『石橋』と「獅子口」の面	田邊三郎助	国 華	1398
神奈川県立歴史博物館所蔵の土偶・人面把手	千葉 毅			制作研究実績 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館「崑崙」復元模造事業		東京芸大保存修復彫刻年報*	2011年度
横須賀市蛭畑(ひるばたけ)遺跡出土の人面付土器について	近野 正幸			総合文化展見どころ案内2012年10月・11月 気になるこの部屋・この作品 重文能面大天神	浅見 龍介	東京国立博物館ニュース	715
人形と祓物—土製人形の系譜と祓の性格を中心に—	笹生 衛	国学院雑誌	1267	仮面と物質性：仮面論の再考に向けて	佐々木重洋	名古屋大学文学部研究論集	174
図版解説 出雲所在の石屋古墳出土埴輪の再整理	椿 真治	古代文化	590	橋岡一路氏よりの新規寄贈品について	清水 実	三井美術文化史論集	5
滋賀県竜王町堤ヶ谷遺跡出土の土偶形容器と石器について	中村 健二	滋賀県文化財保護協会紀要	25	法隆寺の面?ドイツで発見 法大チーム 廃仏毀釈で流出か	渡辺 延志	朝日夕刊	11.10
人物埴輪の製作技法からみた古墳時代後期の常陸	大村 冬樹	筑波大学先史学・考古学研究	23	書 蹟 東 ア ジ ア			
総合文化展見どころ案内2012年4月・5月 気になるこの部屋・この作品 重文埴輪 船	望月 幹夫	東京国立博物館ニュース	712	東アジア仏教世界をつなぐ—敦煌写本・海印寺写本・奈良平安写本—	落合 俊典	いとくら	8
一品鑑照 vol.22 土偶頭部	川島 公之	陶 説	712	中 国			
興野コレクションの土偶—塚貝塚—	佐藤 憲幸	東北歴史博物館研究紀要	13	法帖所収の趙孟頫書法の編年研究『宝雪斎趙帖』を中心に	陳 建志	芸術学研究(筑波)	17
新潟県の縄文時代中期土偶	宮尾 亨 寺崎 裕助	新潟県立歴史博物館研究紀要	13	特輯 京都国立博物館 上野コレクション		国 華	1404
表紙解説 国宝 土偶(山形県西ノ前遺跡出土)	原田 昌幸	文化財*	585	上野理一の手紙—有竹斎中国書画コレクションの形成と特色	西上 実		
口絵解説 大阪府八尾市美園古墳出土埴輪	和田一之輔	〃	587	漢書楊雄伝第五十七 王勃集第二十八	赤尾 栄慶		

王羲之 十七帖 (宋拓)	〃			図版解説 寛弘2年 7月29日 散位藤原 為賢公驗紛失状	小林 昌二	古代文化	588
王羲之 集王書大 唐三蔵聖教序(宋 拓)	〃			特輯 京都国立博物 館 上野コレクション 古今和歌集巻下 (寂恵本)	羽田 聡	国 華	1404
修士論文概要・修了 作品 楷書の審美研 究—唐代の書人を 中心に—	藤森 大雅	修了論文 ・修了作 品 研究 集録	H22年度	特輯 ギッター・コ レクション 白隠慧 鶴筆「恵」	島尾 新	〃	1406
特別寄稿 名筆観瀾 北京・故宮博物院藏 宋元書跡の諸相	富田 淳	書 道 界	266	鑑賞の勘どころ(12) 書を楽しむための第 一步	〃	国華清話 会会報	20
新出の行瑠『内典随 函音疏』に関する小 注	高田 時雄	敦煌写本 研究年報	6	日本古文書学会 第 44回学術大会要旨 新出の織田信長黒印 状の紹介	竹本 千鶴	古文書研 究	73
敦煌発現の宮廷写経 について	大西磨希子	〃	〃	三重県指定文化財 『資経本斎宮女御集』 の修復について		斎宮歴史 博物館研 究紀要	21
敦煌写本中の『法苑 珠林』と『諸経要集』	本井 牧子	〃	〃			埼玉県立 歴史と民 俗の博物 館だより	19
日 本							
「あがた切」に関する 考察(補遺)	別府 節子	出光美術 館研究紀 要	17	歴史のしおり 東西 を旅した仏典	根ヶ山泰史		
古写経紹介・その8 国仏本『摩訶止観 巻第一』について	廣坂 直子 金水 敏	いとくら	8	定家本系『紫式部集』 と定家筆断簡—実践 女子大学本の現状報 告・2—	横井 孝	実践女子 大学文芸 資料研究 所年報	31
写経の定規	藤本 孝一	〃	〃	聚美名宝鑑 一休一 行書(双幅)	島谷 弘幸	聚 美	2
調査日記 ルーヴァ ン大学図書館	上杉 智英	〃	〃	最新科学で書を鑑定 する vol. 2、3、5		〃	2、3、5
新収蔵品紹介 加藤 清正自筆書状 一幅	山田 貴司	View	142	紙の万華鏡 Vol. 5 紫紙・紺紙金泥経の 輝き	増田 勝彦	〃	5
研究の散歩道 往来 物としての「百人一 首」—坂川鳴谷書『百 鉢百人一首』を素材 に—	石山 秀和	江戸東京 博物館 NEWS	77	修士論文概要・修了 作品		修了論文 ・修了作 品 研究 集録	H22年度
愛媛県西予市宇和街 神久寺所蔵の大般若 経について	土居 聡朋	愛媛県歴 史文化博 物館研究 紀要	17	最澄の書について —天台教学からの 一側面—	池田 憲亮		
資料紹介 滝山寺三 門の扁額と明治36年 の看板	篠永 昌幸 河合 仁志	岡崎市史 研究	32	藤原定家自筆本の 研究	成田ますみ		
藤原定家の書写活動 と『有房中将集』	岸本 理恵	尾道大学 芸術文化 学部紀要	11	一山一寧の墨蹟に ついての一考察	高津久仁枝		
円覚寺智真「夢記」と 「仏日庵公物目録」	古川 元也	神奈川県 立博物館 研究報告	38	「香紙切」の書美に おける一考察	川元美恵子		
研究ノート本能寺の 変後の織田信孝の花 押	土山 公仁	岐阜市歴 史博物館 だより	82	傳山研究—書跡『蓄 廬妙翰』を中心に—	亀山 麻理		
連載(第2回)聚美名 宝鑑 今月の名宝鑑 賞 一休一行書(双 幅)	島谷 弘幸	ギャラリ ー*	323	米芾研究『海岳名 言』を中心に	伊藤 夕姫		
				簡牘文字字体に関 する一考察	吉田 崇		
				高野切第一種系統 古筆に見る相違	野中 直之		

平成24年定期刊行物所載文献(古/書蹟)

博士論文概要 西周 金文書法研究	角田 健一	修了論文・修了作品研究集録	H23年度	三跡	水田至摩子 金子 馨	
聖語藏経卷「神護景雲二年御願経」について	飯田 剛彦	正倉院紀要	34	名品紹介 平安時代前期	峯岸 佳葉	
藤原伊房筆とされる一群の書跡について	中村裕美子	書芸術研究	5	名品紹介 平安時代中期	橋本 貴朗	
趙孟頫書(三清殿記)と(三門記)二稿の流伝史をめぐって	陳 建志	〃	〃	女手の完成と古筆	森岡 隆	
陳鴻壽隸書の編年と系統について	武井 志歩	〃	〃	名品紹介 平安時代後期	金子 馨	
ランダム・ハウス書の美術 一字一仏の思想について	古川 攝一	書道界	266	『和漢朗詠集』の写本	山本まり子	
特集 北京故宮がやってきた		〃	267	装飾経の世界	橋本 貴朗	
四明本西嶽華山廟碑の小宇宙	伊藤 滋			「源氏物語絵巻」の詞書	名児耶 明	
宋・元書法鑑賞記	田中 鳳柳			鎌倉時代	金子 馨	
大東文化大学所蔵日本書跡解題 沢庵宗彭書状(9月12日付 牧野内匠頭宛)	高田 智仁	書道学論集	9	墨跡	峯岸 佳葉	
筆勢の美—運筆速度の緩急遅速を中心に—魏晋から唐代までの書論—	陳 柏攸	〃	〃	書論書	福井 淳哉	
漢末魏晋南北朝時代の書法教育	丁 成東	〃	〃	名品紹介 鎌倉時代	田村 麗恵 佐々木佑記	
高野切第一種と同筆同系統古筆の字形比較	野中 直之	〃	〃	南北朝時代	福井 淳哉	
水墨画の歴史を語る第31回 水墨のたのしみ	島尾 新珠	水墨画*	276	室町時代	橋本 貴朗	
日本の書 古代から江戸時代まで		太陽(別冊)	191	名品紹介 室町時代	六人部克典	
日本の書 麗しき世界	名児耶 明			茶掛けの流行 墨跡から和歌書へ	峯岸 佳葉	
弥生・古墳時代	橋本 貴朗			安土桃山時代	水田至摩子	
飛鳥時代	鈴木 晴彦			名品紹介 安土桃山時代	福井 淳哉 佐々木佑記	
名品紹介 飛鳥時代	六人部克典			江戸時代	鈴木 晴彦	
奈良時代	森岡 隆			江戸庶民の文字「勘亭流文字」	〃	
名品紹介 奈良時代	佐々木佑記			寛永の三筆の書	柳田さやか 峯岸 佳葉	
天平に花開いた写経	名児耶 明			名品紹介 江戸時代前期	福井 淳哉 佐々木佑記	
平安時代	森岡 隆			書画一体の美を味わう道標	笠嶋 忠幸	
三筆・三跡の書	金子 馨			名品紹介 江戸時代中期	尾川 明徳 佐々木佑記	
三筆	山本まり子 柳田さやか			名品紹介 江戸時代後期	名児耶 明 柳田さやか 金 貴粉	
				江戸の文字遊び—文字絵・絵文字—	金 貴粉	
				与謝蕪村 画俳ふたつの道の達人 蕪村の書—創意工夫による自在の書 目をみはる多様な書風—俗を用い俗を離れた書	鈴木 洋保	〃 202

日・中・韓の紙料に関する科学的考察	高橋 裕次	東京国立博物館紀要	47	中世における佐跡の評価について	高橋 哲也	ふくやま美術館・書道美術館紀要*	6
総合文化展見どころ案内2012年6月・7月 気になるこの部屋・この作品 国宝法華経巻六(色紙)	田良島 哲	東京国立博物館ニュース	713	『夜の寝覚』末尾欠巻部と伝後光厳天皇筆不明物語切の新出断簡一寝覚上は二度死に返る一	池田 和臣	文学*	13-2
総合文化展見どころ案内2012年10月・11月 気になるこの部屋・この作品 国宝寛平御時妃宮歌合十巻本歌合	恵美千鶴子	"	715	新指定の文化財 美術工芸品 国法の指定 書跡・典籍	文化庁文化財部	文化財*	585
新収資料 高松木兎子コレクション	山本 祐子	名古屋市博物館だより	202	万葉文化館蔵「伝江南院龍霄筆切」について	小倉久美子 井上さやか	万葉古代学研究所年報	10
中世末期における満盛院文書の保存・管理について一成一巻文書の旧状復元を手掛かりとして一	吉原 弘道	七隈史学	14	紀美野町神野市場・満福寺所蔵の大般若経について	竹中 康彦	和歌山県立博物館研究紀要	18
名品展のみどころ		奈良国立博物館だより		日本の書 古代篇1、3	手島 泰六	産 経	10.6、12.1
重要文化財 法華経(色紙経)	斎木 涼子	80		書の美	島谷 弘幸	毎 日	2.5、4.15
万昆嶋主解	野尻 忠	82		歴史迷宮解 古筆の年代測定 上～下	佐々木泰造	"	3.28、4.25、5.23
東大寺収蔵経巻調査報告(6)	東大寺図書館	南都仏教	97	書2012 後白河法皇へのこだわり	菅原 教夫	読 売	7.12
口絵		日本歴史		1300年前の毛筆跡「古事記」編さん 太安万侶の墓誌に		"	10.5
古今和歌集(元永本)	高橋 裕次	764		奈良時代初期「長屋王願経」古書形で発見 国内最古級の写経	辻本 芳孝	読売夕刊	8.25
古談抄	小倉 慈司	765		<b>古文書・古記録</b>			
明月記断簡 建暦3年(建保元年)5月28日条(後欠)	中村 一紀	767		<b>中 国</b>			
庭訓往来 至徳3年霜月3日豊前守朝英書写奥書2巻(上巻巻頭)	横内 裕人	773		6世紀のソグド系響銅一和泉市久保惣記念美術館所蔵品の調査から	岡村 秀典 廣川 守佑 向井 佑介	史 林	493
資料紹介 大燈国師墨蹟「白雲偈」小考	宮武 慶之	野村美術館研究紀要	21	<b>日 本</b>			
第65回全国大会研究発表要旨 料紙装飾における唐紙の意匠に関する考察一瓜文様の系譜一	高橋 静香	美術史	173	研究ノート 近世における花押使用の実態について一田原藩主三宅康雄の事例をもとに一	平野 仁也	愛知県史研究	16
慶安元年跋刊『本朝名公墨宝』素庵巻(4巻4冊のうち)について一影印と釈文、(附載)同『本朝名公墨宝』中巻所収の「本阿弥光悦」一	林 進	美術史論集	12	覚鐙の『舍利供養式』をめぐって	赤塚 祐道	印度学仏教学研究	128
丹青閑話 第21話 伝源順「梅尾切」	島尾 新	美術の窓	351	新出の法然上人二十五霊場巡拝の道中記	山本 博子	"	"
				湛睿著『随意抄』について	道津 綾乃	"	"
				『絵本日蓮大士御一代記』の書誌学的考察	堀部 正円	"	"

平成24年定期刊行物所載文献(古/書蹟)

史料紹介『南海流浪記』洲崎寺本	高橋 徳 安藤みどり 佐藤 竜馬	香川県埋蔵文化財センター研究紀要	8	研究余滴『白河院宸記』の逸文について	石田 実洋	〃	〃
平成25年度春の特別展「道中記」を持って一江戸時代のかながわを旅しよう一(仮)	桑山 童奈	神奈川県立歴史博物館だより	192	古文書めぐり 愛媛県立歴史文化博物館収蔵の中世文書	山内 治朋	〃	〃
速成就院伝来『長谷寺密奏記』と奥砂子平法	横田 隆志	金沢文庫研究	329	口絵解説 足利尊氏奉納松尾社法楽和歌	横内 裕人	〃	〃
資料紹介 金沢文庫の中世神道資料『日本得名』一翻刻・解題一	高橋 悠介	〃	〃	南光坊天海発給古文書一覽(月日順)	宇高 良哲	三康文化研究所所報	47
史料紹介 いわゆる『年代記(十三代要略、歴代秘録)』紙背文書の校訂	大澤 泉 築地 貴久 桃崎有一郎	鎌倉遺文研究	29	中世寺院資料をめぐる2、3の問題一伝領墨署名慶舜・泉涌寺版『四分律含注戒本疏行宗記』の底本一	牧野 和夫	実践国文学	82
資料紹介		北九州自然歴史博物館報告*	9	渤海の対日本外交文書について一六国史と『類聚国史』の写本調査から一	廣瀬 憲雄	続日本紀研究	398
山口県文書館所蔵「譜録」にみえる九州関係新出文書の紹介	有川 宜博			那覇市歴史博物館所蔵「歴代宝案」に関する史料学的考察一生成・来歴・目録記述に焦点をあてて一	川島 淳	壺屋焼物博物館紀要	13
福岡県立図書館所蔵「黒崎駅鎮座鳥野春日宮国祖黒田宮御由緒略記」の紹介	守友 隆			史料紹介 イェール大学所蔵『元徳二年後宇多院七回忌曼荼羅供記』について	西田 友広	東京大学史料編纂所研究紀要	22
金光図書館所蔵白川家資料	山口 剛史	皇学館大学神道研究所所報	82	史料紹介 帝塚山大学図書館蔵『奈良大乗院院家南院家資料』について(2)	田中 香織	奈良学研究	14
塩津・起請文木簡の古文書学的考察	千々和 到	国学院雑誌	1262	研究余録 大字木簡	榎 英一	日本歴史	774
『長谷寺験記』論	川上 知里	国語国文	937	特集 第1部茶の湯の系譜		美術フォーラム21	25
漢字文化圏に於ける典籍の集積、国際的伝播及び其の伝承一高山寺本の場合を例として一	石塚 晴通	国語と国文学	1059	2 武野紹鷗の茶道具一南蛮物の「目聞」について	宇野千代子		
今月の1冊 ひなあそび 江戸時代の小さな本	上田由紀美	国立国会図書館月報	611	3 名物記と道具帳	矢野 環		
『萩藩譜録』所収島根県関係中世史料目録	佐伯 徳哉 西田 友広 飯分 徹	古代文化研究	20	日本古代における五方龍関係出土文字資料の史的背景	門田 誠一	仏教大学宗教文化ミュージアム紀要	8
資料調査 出雲国風土記写本の調査(9)	野々村安浩	〃	〃	新指定の文化財 美術工芸品 重要文化財の指定 古文書	文化庁文化財部	文化財*	585
研究ノート		古文書研究	73	棟札の中の仏教色2一近世出雲国の神仏分離	鳥谷 芳雄	八雲立つ風土記の丘	208
足利義維の御内書について	岡田 謙一			特集1 富士山東泉院の秘宝一六所家総合調査速報展2一富士山東泉院と六所家旧蔵史料の概要	大高 康正	六所家総合調査だより	10
戦国期東国領主の起請文に関する基礎的考察一佐竹氏と後北条氏の比較検討を中心に一	月井 剛			荘官の家と説話一「国寛系図」の世界一	坂本 亮太	和歌山県立博物館研究紀要	18

米ホノルル美術館の和本群 江戸文学研究に追い風 多様な版、九大の調査で判明 出版系譜たどる材料に	郷原 伸之	日 経	3.31	「北魏・楊鈞墓誌」の訳注と考察	堀井 裕之		
江戸博蔵めぐり 椿説弓張月 海が舞台の冒険活劇	吉田奈緒子	読 売	2.3	元至元9年「皇太子燕王嗣香碑」をめぐる	櫻井 智美 姚 永霞	”	”
<b>金石文など</b>				北朝石刻資料選注(2)	「北朝石刻資料研究」班	東方学報 京都	87
<b>中 国</b>				唐の太原挙兵と山西ソグド軍府—「唐・曹怡墓誌」を手がかりに—	山下 将司	東洋学報	93-4
研究ノート 祿軍墓誌の出現とその意義	荊木 美行	皇学館論叢	264	新発見の流出唐代墓誌と唐史研究—唐懿宗期の宰相楊収墓誌を中心として—	毛高瀬 陽光 奈津子	東アジア 石刻研究	4
表紙解説 移ろいゆく四山—IV 百峰山最新情報 1 白駒谷題字	日守菜穂子	書 道 界	269	調査報告		”	”
表紙・新シリーズ解題 鄭道昭摩崖碑 移ろいゆく四山 IV 百峰山最新情報	”	”	”	福州における宗教文化と海域文化についての実地調査	石黒ひさ子		
現代中国書法事情 243、245、246	種谷 萬城	”	269、271、272	四川省灌県壺岩山石経の拓本調査	肥田 路美		
丁亥印社リレー投稿 1、2	雅 輯 院	”	269、270	『故宫博物院藏历代墓志汇编』故宫博物院編—あわせて「所載資料目録」の紹介—	氣賀澤保規	”	”
3 幻想としての篆刻	益禪丁庵	”	271	『汾陽市博物館藏墓誌選編』王仲璋主編	小島 浩之	”	”
4 続・幻想としての篆刻	希 夷 斎	”	272	学会報告 2011「新出土唐墓誌と唐史研究」国際シンポジウムの報告	氣賀澤保規	”	”
表紙解説 移ろいゆく四山—IV 百峰山最新情報 2 遊槃題字	日守菜穂子	”	270	学会報告 国際シンポジウム“新発見百濟人「祢氏(でいし)墓誌」と7世紀東アジアと「日本」”の実施報告	”	”	”
表紙解説 鄭書の憂鬱—鄭義下碑翻刻 3本— 1~5	日守菜穂子	”	272~276	報告要旨 第3回中国石刻合同研究会		”	”
表紙・新シリーズ解題 鄭書の憂鬱—鄭義下碑翻刻 3本	日守菜穂子	”	272	西安碑林博物館藏「荔非明達等四面造像題名」考	石野 智大		
修士論文概要 磚文の研究—漢時代の磚を中心に—	永見 薫平	書道文化	8	ソグド人墓誌と北朝末期の華北	石見 清裕		
特集：弘農(華陰)楊氏をめぐる総合的研究 資料・調査篇	駢台史学	”	144	石碑の裝飾意匠の変遷—穿に注目して—	徳泉 さち		
北朝隋代弘農楊氏墓誌目録	梶山 智史	”	”	顔真卿撰書「八閩齋会報徳記」について—伝世石刻の変化と享受の一例—	宮崎 洋一		
唐代弘農楊氏墓誌目録	石野 智大	”	”	近年の五胡—北魏初期の墓誌史料に関する研究動向	兼平 充明		
特集：弘農(華陰)楊氏をめぐる総合的研究 研究・考察篇	”	”	”	買地券と墓誌の間	中村 圭爾		
北周宗室の婚姻動向—「楊文慈墓誌」を手がかりとして—	会田 大輔 訳	”	”				

平成24年定期刊行物所載文献(古/書蹟)

新発見石刻「円仁法王寺舍利藏誌」の紹介とその意義	氣賀澤保規		年不詳阿弥陀三尊板碑 鴻巣市下忍千手院	四方田		309
報告要旨 第4回中国石刻合同研究会		東アジア 石刻研究 4	寛文9年板碑型庚申塔 日高市高萩神明神社	鳩山		311
北朝の東清河崔氏に関する石刻史料	梶山 智史		口絵写真解説 鴻巣・龍昌寺の板碑群		〃	〃
北魏龍門造像記における書様式の生成について	橋本 栄一		新規購入資料 常陸国風土記(版本)	久保田一郎	島根県立古代出雲歴史博物館NEWS	25
新見流散唐代墓誌与唐史研究—以唐懿宗宰相楊收墓誌为中心—	毛 阳光		漢代博文の書法について—篆書系有紀年博の変遷を中心に—	安生 成美	書芸術研究	5
唐・南遷ウイグル抗争関連墓誌とその情況について	村井 恭子		表紙解説 移ろいゆく四山—IV百峰山最新情報3 解易老題字	日守菜穂子	書道界	271
仏教石刻よりみた契丹燕京地方の塩政と商業	古松 崇志		西周金文における正統的字体試論	角田 健一	書道学論集	9
東北大学附属図書館蔵 常磐大定旧蔵拓本について	渡辺 健哉		篠崎四郎拓本史料の研究	斎木 勝	千葉県立中央博物館研究報告	25
大阪大学所蔵石濱純太郎収集拓本の整理状況	堤 一昭		史料紹介と研究 金光図書館所蔵『初拓好太王碑』と「水谷旧蔵精拓本」	稲田奈津子	東大画像史料解析センター通信*	58
中国洛陽新出景教經幢の紹介と史料的価値	森部 豊	東アジア 文化交渉 研究 5	資料紹介「源政行」銘板碑(雄島海底採集の板碑)		東北学院大学博物館年報	2010年度
第65回全国大会研究発表要旨 北斉碑刻書法にみられる復古主義について	徳泉 さち	美術史	東洋文庫所蔵本に押捺された蔵書印について(9)—大名・藩主とその家の蔵書印—	中善寺 慎	東洋文庫書報	43
長楽馮氏に関する諸問題	窪添 慶文	立正史学	報告要旨 第4回中国石刻合同研究会 日本古代の墓誌	小笠原好彦	東アジア石刻研究	4
山西綿山雲峰寺所蔵拓本『魏故曇鸞祖師造像記』の検討	手島 一真	〃	資料目録 内藤家伝来印章資料目録	明治大学博物館	明治大学博物館研究報告	17
美の履歴書248 なぜ名品が多いのか 作者不詳「牛欄造像記」	宮代 栄一	朝日夕刊				4.4
日 本						
歴史資料課の窓から「四天王寺印」—矢野家写真資料から—		京都府立総合資料館だより	朝 鮮			
不埒物語翻刻	咲本 英恵 本多 亜紀 内田 保廣	共立女子大学文芸学部紀要	論文 朝鮮三国時代の新羅書法について—丹陽赤城碑を中心に—	太田 剛	書道文化	8
紹介 深見玄岱伝記資料「高府君久富孺人双髮齒墓誌銘」の紹介	中澤 伸弘	皇学館論叢	広開土王碑「原石拓本」欠損部分の研究	武田 幸男	朝鮮学報	225
『聖徳太子御憲法玄恵註抄』林宗二編者説統紹—清家の学問と南都の学問の交叉をめぐって—	野上 潤一	国語と国文学	報告要旨 第3回中国石刻合同研究会 高麗朝鮮の墓碑と墓誌、その文体の歴史的な特徴	沈 慶昊	東アジア石刻研究	4
表紙写真解説		埼玉史談	高句麗王陵の築造思想にみる儒教と仏教—追孝から追福へ—	門田 誠一	仏教大学歴史学部論集	2



広開土王碑「山形大学本(第Ⅲ面)」調査概報	武田 幸男	山形大学歴史・地理・人類学論集	13	平家納経とその経箱 呉越国、宋、契丹の仏塔に納められた法華経と日本より	橋村 愛子	美学美術史研究論集	26
百済人の墓誌に「日本」最古の国号か 東方を指す言葉か	早川 保夫	読 売	3.7	平成23年度西支部例会 呉越国における阿育王塔の造塔と信仰について	瀧 朝子	美術史	172
<b>そ の 他</b>							
レプリカ・セム法によるインダス式印章の観察—岡山市立オリエント美術館所蔵資料の紹介—	小茄子川歩	岡山市立オリエント美術館研究紀要	26	美の履歴書254 天使はちよんまげなのか「舍利容器」作者不詳	中村 俊介	”	5.16
オリエント美術館所蔵西アジア印章のSEM観察	須藤 寛史	”	”	草原の国「契丹」の財—文様鮮やかに	増田 愛子	朝日夕刊	2.22
研究ノート 先インダス文明期の印章に関する基礎的研究—クナル遺跡出土印章の検討を中心として—	小茄子川歩	オリエント	55-1	青森県津軽地方における地蔵信仰の変容について	小山 隆秀	青森県立郷土館研究紀要	36
<b>日 本</b>							
論文要旨《博士》東アジアにおける工芸を中心とした文物の様相とその交流—10世紀の呉越国をめぐる—	瀧 朝子	美術史論集	12	文化創造の図像学 日本の宗教空間と身体 IV 越境する図像と文化受容 布教のために使用された西洋美術—渡来から日本美術に及ぼした影響まで	ブイヴェ・エレン	アジア遊学	154
<b>工 芸</b>							
<b>中 国</b>							
江戸時代の火縄銃および管打銃の装飾金属と銃床に使用された材料の分析	田中真奈子 北田 正弘	東京芸術大学美術学部論叢	8	地名からみた南信州の経塚の実態	岡田 正彦	飯田市美術博物館研究紀要	22
新指定の文化財 美術工芸品 重要文化財の指定 工芸品	文化庁文化財部	文化財*	585	平成22年度博士論文(課程)要旨 飛鳥時代における仏教荘厳美術の研究—天寿国繡帳と金銅灌頂幡を中心として—	三田 覚之	大阪大学大学院文学研究科紀要	52
<b>日 本</b>							
高山寺経函の年代測定と石水院の旧形復原	永井規男 光谷菅澤	関西大学博物館紀要	18	館蔵資料紹介 木造獅子頭	岐阜市歴史博物館だより		80
鱈口の銘文(16)	愛甲 昇寛	史迹と美術	822	徳川霊廟奉獻銅燈籠の鋳物師、渡辺銅意法橋正駿と鳥居権左正信	石塚 雄三	”	825
胡牀の形態とその座法について(1)	服部 等作	広島市立大学芸術学部紀要	17	紀州東照宮、石清水八幡宮金燈籠の鋳物師	”	”	828
<b>宗 教 工 芸</b>							
<b>東 ア ジ ア</b>							
大谷光瑞「国家の前途」を考える 第2部 大谷光瑞とアジア—帝国の拡がりとともに コラム スパシ出土舍利容器と信仰の姿—大谷探検隊の将来品と汎アジア世界の宗教	服部 等作	アジア遊学	156	個人研究 祐天と光寿院—十八檀林に残された位牌をめぐる—	石川 達也	大正大学総合仏教研究所年報	34
				調査概報 大樟神社経塚について	川村 俊彦	敦賀市立博物館研究紀要	26
				法隆寺の仏前供養具—中・近世の遺品を中心として(3)	関根 俊一	奈良学研究	14

平成24年定期刊行物所載文献(古/工芸)

奈良美術研究会 活動報告2011年度 玉虫厨子の宮殿部分について	稲葉 秀朗	奈良美術研究	13	小桜黄返威鎧	池田 宏 国 華	1396
「仏具絵図」について	関根 俊一	日本文化史研究	43	七観古墳の三環鈴—堺市博物館寄託資料の紹介—	橋本 達也	堺市博物館研究報告 31
日本美術のススメ 今月の逸品 平家納経 金銀荘雲龍文銅製経箱	向田 裕始	美術の窓	340	相模川から発見された鉄製舌長鎧	栗山 雄揮	自然と文化 35
三重県指定有形文化財 漆経塚出土品	石淵 誠人	まいぶん 津	10	野木町野渡出土の銀杏葉—古河歴史博物館所蔵の銀杏葉と古河市の古墳—	及川 謙作	泉 石 10
江戸博蔵めぐり 台徳院霊廟奉納 銅製燈籠1対 徳川の権勢語る輝き	斎藤 慎一	読 売	4.27	報告 館蔵の大名家伝来美術工芸品調査について	千田 康治	高槻市文化財年報 H21・22年度
<b>朝 鮮</b>				史料紹介と研究 落合家所蔵の旗指物と「落合左平次道次背旗」	金子 拓	東大画像史料解析センター通信* 56
朝鮮の美術展によせて 三国—高麗時代の荘厳具	瀧 朝子	美のたより	179	『国家珍宝帳』に見える武器武具と太元帥法	米田 雄介	日本歴史 766
<b>武具・馬具類</b>				益子天王塚古墳出土遺物の調査(5)—挂甲—	山田 琴子	早大會津八一記念博物館研究紀要 13
<b>中 国</b>				文化 徳川の甲冑 追っ手は仏人 オランダ国王への贈呈品、文献ひもとき発見	マーク・タナバリス	日 経 11.30
春秋時代における獸面型短剣の編年研究	八木 聡	金沢大学考古学紀要	33	鎌倉の鎧「1着」出土花や鳥の飾り金具		読売夕刊 10.13
漢代における武器生産と流通 II—漢長安城遺址出土資料を中心として—	内田 宏美	高梨学術奨励基金年報	H23年度	<b>茶 道 具</b>		
<b>日 本</b>				<b>中 国</b>		
松平定信による盛岡藩領内の古鎧調査	齋藤 里香	岩手県立博物館研究報告	29	美の履歴書244 葉脈が伝える思いとは「木葉天目茶碗」作者不詳	秋山 亮太	朝日夕刊 3.7
襟付短甲の副葬様相	森本 徹	大阪府立近つ飛鳥博物館報	15	<b>日 本</b>		
特集 国宝赤糸威の大鎧(梅鶯飾)修復なる赤糸威鎧(梅鶯金物)の修理について	池田 宏	春 日	88	『永享九年室町殿行幸御傍記』について	千 宗屋 葵	84
特集 国宝赤糸威の大鎧(梅鶯飾)修復なる赤糸威鎧(梅鶯金物)の見所	宮崎 隆旨	” ”	”	収蔵資料紹介 観音寺城出土 茶臼		おおてみち 81
馬具製作における規格性の変質—楕円・心葉形・鐘形・花形・棘葉形鏡板付轡と杏葉を対象に—	田中 由里	元興寺文化財研究所研究報告	2011	特別読物 千家名物とその周辺—利休・少庵・宗旦の茶道具	谷端 昭夫	淡 交 812
古代轡の変遷とその意義	津野 仁	考古学雑誌	96—3	今月の表紙より 菊蒔絵茶杓 五代宗哲造	中村 宗哲	” 820
今月の1冊 山路の壺 尾張藩の古武具研究	大沼 宜規	国立国会図書館月報	610	特別読物 茶杓を知る—利休以前の姿から	池田 瓢阿	” 821

三井記念美術館「茶会への招待—三井家の茶道具」展に寄せて  
赤沼 多佳 陶 説 708

国宝茶碗に見える日本文化の矛盾と相克  
彭 丹 日本研究 45

連載 高麗茶盃の名手 森田統・十雨の茶盃(1)、(2)  
青山 清 日本美術新聞 4、5

茶杓からみた茶の湯の芸態の変遷—茶杓の数量的データによる分析の試み—  
廣田 吉崇 野村美術館研究紀要 21

研究ノート 美術史・民具学・考古学における茶臼研究—研究史と課題—  
桐山 秀徳 " "

調査報告 野村得庵と竹の茶道具—その2 茶杓—  
池田 瓢阿 " "

物に執して(158)、(161)  
鈴木 皓詞 目の眼 431、434

朝鮮

高麗茶碗つればなし  
谷 晃 淡 交 812~814

装身具・化粧具

日本

弥生・古墳移行期の玉生産について  
廣瀬 時習 大阪府立近つ飛鳥博物館報 15

竪櫛と横櫛—古墳時代におけるふたつの櫛—  
関本優美子 " "

一須賀古墳群出土耳環の自然科学的調査  
渡辺智恵美 " 16

根付の意匠(57)~(最終回)  
吉田ゆかり 目の眼 424、426、428、432

朝鮮

特集「特別展 朝鮮王朝の意匠と装身具」朝鮮王朝の装身具  
李 須恵 高麗美術館報 93

表紙について ノリゲ (須) " "

館蔵「新羅古墳資料」の冠・冠帽と飾履—その伝来と製作技術を中心として—  
河野 一隆 東風西声\* 7

文房具

中国

丹青閑話 第12話「程奕銘木管対筆・蔣開文銘竹管筆」  
島尾 新 美術の窓 342

書斎の王者 硯 藤巻 秀樹 日 経 11.8

日本

江戸時代の角筆—見えない文字で書く—  
松本百合子 葦 火 161

文房四宝のおはなし 3、4  
永田 真紀 水墨画\* 274、275

平城京の陶硯  
三好 美徳 奈良市埋蔵文化財調査年報 H21年度

朝鮮

物に執して(159)  
鈴木 皓詞 目の眼 432

陶磁

中国

中国陶磁器の割れ方二題  
金沢 陽 出光美術館報 158

明代前期海禁政策下の陶磁器輸出  
劉金沢 森陽 訳註 " 161

磁州窯系陶器の施文技法に関する試論  
守屋 雅史 大阪市立美術館紀要 12

中国福建省・閩江流域における陶磁器研究—宋元時代の黒裕  
徳留 森 栗 大輔 達也 建 安 鹿島美術財団年報・別冊 29

平成版 中国陶磁見聞録  
弓場 紀知 紫 明

(21)契丹国のやきもの  
" " 30

(22)南京・揚州再訪  
" " 31

新出・曜変天目  
聚 美 5

杭州新発見の曜変天目について  
方福田 訳 憶 伸 男

南宋古都杭州出土の曜変天目  
水上 和則

特別展 中国絵画—住友コレクションの白眉(泉屋博古館分館)への誘い  
板倉 聖哲 " "

表紙図版解説 重要文化財 青磁貼花牡丹唐草文深鉢(太鼓胴水指)龍泉窯  
森 達也 陶 説 707

巡回展「日本人の愛した中国陶磁 龍泉窯青磁展」開催に寄せて 龍泉窯青磁の展開  
" " "

一品鑑照 vol. 17、18、20、23~27  
川島 公之 " 707、708、710、713~716

表紙図版解説  
" "

唐物肩衝茶入 銘 遅桜	赤沼 多佳	708	新発見の杭州出土 曜変天目茶碗	小林 仁	〃	716
石川県立美術館 「幻」のコレクション 中国陶磁名品展 イセコレクションの至宝」より 青花花果文稜花盤	川島 公之	709	大阪市立東洋陶磁美術館「国宝 飛青磁 花生と国宝 油滴天 目茶碗—伝世の名 品」展に寄せて	重富 滋子	〃	717
根津美術館「コレ クション展 中世 人の花会と茶会」 より 茶壺 銘 四国猿 名物	西田 宏子	711	一品鑑照 vol. 27 三 彩象頭形角杯	川島 公之	〃	〃
出光美術館「東洋 の白いやきもの— 純なる世界」より 青白磁獅子鈕蓋水 注	金沢 陽	713	館蔵 明代・華南三 彩陶についての紹介 と一考察	遠藤 啓介	東風西声*	7
第16回やきもの文化 講座「日本人が愛し たやきもの 第3回 唐物茶陶—その変遷 と賞玩」より 唐物 というもの	林屋 晴三	陶 説 708	中国陶磁と日本中世 陶器—壺・甕類にお ける相違点を中心に —	関口 広次	東洋陶磁	41
石川県立美術館「幻 のコレクション 中 国陶磁名品展 イセ コレクションの至宝」 に寄せて	川島 公之	〃	宋代建蓋の光彩の研 究	長江 惣吉 福嶋 喜章	〃	〃
出光美術館「悠久の 美—唐物茶陶から青 銅器まで」展に寄 せて	八波 浩一	〃	邢窯出土唐三彩の調 査	森川 実	奈良文化 財研究所 紀要	2012
サンリツ服部美術館 コレクション展「中 国陶磁の一千年 大 陸を彩った器の美」 展に寄せて	鈴木しおり	〃	平山郁夫シルクロ ード美術館コレクシ ョン86 白陶龍耳瓶	平山美知子	美術の窓	340
「常盤山文庫名品展 特集 米色青磁」展 に寄せて	佐藤サアラ	〃	日本美術のスズメ 今月の逸品 油滴天 目茶碗	重富 滋子	〃	351
巡回展「日本人の愛 した中国陶磁 龍泉 窯青磁展」に寄せて 龍泉窯青磁の新たな 発見	徳留 大輔	〃	古越磁に現れる有翼 の獅子について	矢島 律子	町田市立 博物館年 報/紀要	2010年度
色の白いは	中澤富士雄	〃	特集1 竜の意匠 アジアを護る神獣の 造形 中国編1 王 朝の変遷と竜の進化 をたどる	川島 公之	目の眼	424
出光美術館「やきも のに親しむ IX 東洋 の白いやきもの—純 なる世界」に寄せて	金沢 陽	〃	ささやかな日常感覚 から見た古美術「竜、 天馬の飛翔と嘶き」 その3、5~7、9、 10	山中 理	〃	427、429 ~433
龍泉窯青瓷雑感(1) (2)、(4)、(5)	森 達也	〃	白磁の粋永遠の美	増田 愛子	朝日夕刊	9.26
「哥窯」についての一 考察	門田 敏郎	〃	文化往来 南宋官窯 で制作、黄褐色の「米 色青磁」展示	日 経	〃	6.18
兵庫陶芸美術館 特 別展「日中国交正常 化40周年記念 東京 富士美術館所蔵 中 国陶磁名品展」に寄 せて	長谷川 眞	〃	日 本	青木 修	愛知県史 研究	16
		713、714、 716、717	研究ノート 中世常 滑窯における焼成器 種とその形態的分類 について	市川 創	葦 火	159
		713	佐賀藩蔵屋敷出土の 梅干壺	小田木富慈 美	〃	161
		714	食卓の文明化—19世 紀の大阪とヨーロッ パ産陶器—	山下 誠一	飯田市美 術博物館 研究紀要	22

所蔵品紹介226 色絵鶉草花図平鉢		石川県立美術館だより	345	特集 古九谷 珠玉の色絵磁器		〃	5
鷺浦遺跡出土の陶磁器	西尾 克己	出雲弥生の森博物館研究紀要	2	加賀文化に育まれた古九谷の美—古九谷と石川県立美術館—	嶋崎 丞		
オランダ船と陶磁器貿易の変遷—17世紀初頭から明清兵革まで—	加藤 榮一	出光美術館報	158	古九谷大皿の造形とその背景—祝祭のうつわ—	荒川 正明		
明初の龍窯窰青磁—出光美術館の“官窯”様式の青磁について	金沢 陽	出光美術館研究紀要	17	「古九谷」と中国陶磁—日本における色絵磁器の模倣と創造—	今井 敦		
収蔵品紹介 伝紅染寺跡発見の尾張産陶器壺	吉水 眞彦	大津歴博だより	88	発掘資料にみる有田の古九谷—色絵大皿の生産動向を中心として—	村上 伸之		
岡山市内における志野・織部焼に関する一考察	河田 健司	岡山市埋蔵文化財センター研究紀要	4	聚美名宝鑑 「色絵亀甲文大皿 古九谷」	梶山 博史	〃	〃
近世初期肥前陶磁に見られる鶴の意匠—朝鮮陶磁との交流を中心に—	金 東均	学習院大学哲学会報	25	ヨーロッパの肥前陶磁器を訪ねて9 パリ肥前磁器コレクション	田中 恵子	セラミック九州	49
御室仁清窯跡出土陶片の基礎的研究—茶入—	尾野 善裕 佐藤 政幸 平尾 英二	学叢	34	やきもの見聞録 4 備前焼(岡山県)太閤が愛したやきもの	熊 博毅 阡 陵		64
連載(第3回)聚美名宝鑑 今月の名宝鑑賞 色絵亀甲繫文四方隅切皿(古九谷様式)	荒川 正明	ギャラリー*	324	上田家伝来陶磁器を通して見た高浜焼(後編)	福原 透	崇城大学芸術学部研究紀要	5
うらんだーのやちむん「金埴瑠」	尾野 善裕	京都国立博物館だより	176	続大江戸掘りもの帖 1	(内野)	たまのよこやま	88
安来市新宮堂館跡出土の陶磁器	西尾 克己 舟木 正司	古代文化研究	20	総合文化展見どころ案内2012年2月・3月 気になるこの部屋・この作品 重文黄釉牡丹唐草文広口壺	今井 敦	東京国立博物館ニュース	711
研究ノート 斎宮跡で出土する瓦鉢類について—斎宮における仏教的要素への視点の形成—	大川 勝宏	斎宮歴史博物館研究紀要	21	明暦3年1月被災江戸城跡出土の伊万里磁器 鍋島藩贈呈作品類(2)~(6)—初期伊万里、古九谷様式、松ヶ谷—	小木 一良	陶 説	706~710
サントリー美術館蔵「色絵石楠花文皿」と「色絵紅葉狩文皿」の比較	安河内幸絵	サントリー美術館研究紀要	1	鼠志野茶碗「峯紅葉」	武内 範男	〃	707
悠久の光彩 東洋陶磁の美 時を超え、生き続ける美	出川 哲朗 内海 陽子 インタビュー、構成	サントリー美術館ニュース	238	「畠山即翁の茶会—光悦雪峯茶碗を中心に—」展に寄せて	水田至摩子	〃	〃
弥生時代前期—中期の土器観察書き—針江浜遺跡と長命寺湖底遺跡出土の弥生土器—	小竹森直子	滋賀県文化財保護協会紀要	25	表紙図版解説	〃		
聚美名宝鑑 色絵亀甲繫文四方隅切皿—古九谷	荒川 正明	聚 美	3	徳川美術館「豪商のたしなみ—岡谷コレクション—」展より 重要文化財「織部筒茶碗 銘「冬枯」	徳川美術館		710
				佐賀県立九州陶磁文化館「將軍家献上の鍋島・平戸・唐津 精巧なるやきもの」展より 色絵梅流水文大皿	大橋 康二		715

平成24年定期刊行物所載文献(古/工芸)

戸栗美術館「古九谷名品展—躍動する色絵磁器—」より「色絵葡萄鳥文輪花皿」	杉谷香代子		716	特集1 章の意匠 アジアを護る神獣の造形 日本編1 伊万里の龍	宇治 章	目の眼	424
徳川美術館「豪商のたしなみ—岡谷コレクション—」展に寄せて	志賀 太郎	陶 説	710	企画展「土器から陶器へ—民芸の源流に迫る—」	本間恵美子	八雲立つ 風土記の 丘	210
根津美術館「コレクション展 中世人の花会と茶会」に寄せて	西田 宏子	〃	711	歴史の証人 写真による収蔵品紹介 第4展示室新構築に向けて 壺屋焼関連資料の収集と展示について	青木 隆治	歴 博	175
佐賀県立九州陶磁文化館「将軍家献上の鍋島・平戸・唐津精巧なるやきもの」展によせて 将軍家献上の鍋島・平戸・唐津	大橋 康二	〃	715	4「読ん」で知るアート 焼き物	中島誠之助	朝日夕刊	10.17、24、 31、11.7
徳川美術館「徳川将軍の御成」展によせて	原 史彦	〃	〃	美博ピックアップ 伊万里焼の酒器 栗田美術館	神谷 実里	〃	12.12
加賀藩邸への御成と陶磁器	堀内 秀樹	〃	〃	ぎやらりいモール 戸栗美術館「祝福のうつわ—伊万里・鍋島名品撰」から「色絵毘沙門亀甲文皿」	杉谷香代子	読売夕刊	1.31
龍泉窯青瓷雑感(3) 筒形香炉について	森 達也	〃	〃	朝 鮮			
「菊水伝説」と青手古九谷の大皿	荒川 正明	〃	716	第282回水曜講演会 高麗・朝鮮時代の白いやきもの	片山 まび	出光美術 館館報	161
戸栗美術館「古九谷名品展—躍動する色絵磁器—」に寄せて	杉谷香代子	〃	〃	コレクション名品展「高麗青磁の精華」に寄せて 高麗青磁一心にしみ入る翡色の輝き	山本 俊介	高麗美術 館館報	92
山口県立萩美術館・浦上記念館「古萩—江戸の美意識—」展に寄せて	石崎 泰之	〃	〃	表紙について 青磁象嵌雲鶴文碗	(山)	〃	〃
MOA美術館開館30周年記念所蔵名品展「日本の陶磁—六古窯を中心に—」展に寄せて	米井 善明	〃	717	高麗茶碗つればなし	谷 晃 淡 交		815~821、 823、824
飛鳥・藤原京跡出土鉛釉陶器に対する化学分析	降幡 順子 玉田 芳英 齋藤 努	東洋陶磁	41	韓国陶磁つればなし私記(53)~(64)	吉良 文男	陶 説	706~717
名品展のみどころ 重要文化財 青磁碗・皿	吉澤 悟	奈良国立 博物館だ より	81	一品鑑 照 vol.21 青磁象嵌菊花文合子	川島 公之	〃	711
初期施釉陶器の文様と産地—飛鳥地域出土の2例について—	西口 壽生	奈良文化 財研究所 紀要	2012	大阪市立東洋陶磁美術館「白磁を飾る青—朝鮮王朝の青花」に寄せて 朝鮮王朝の青花磁器の特質—前期における王室儀礼との関連を中心に	鄭 銀珍	〃	713
坂田寺跡出土の三彩	玉田 芳英	〃	〃	第18回やきもの文化「日本人が愛したやきもの 第5回 粉青沙器」より 粉青沙器	片山 まび	〃	717
逸翁美術館 名品の旅 今回の名品 志野柑子口花入 桃山時代 解説	宮井 肖佳	阪急文化	2	平成23年度第3回研究会 近世初期肥前陶磁に見られる鶴の意匠—朝鮮陶磁との関係を中心に—	金 東均	東洋陶磁 学会会報	76
研究余録 金亀玉鶴井伊直弼と楽焼	奥田 晶子	彦根城博 物館だよ り	98	韓国出土唐三彩の調査	小田 裕樹	奈良文化 財研究所 紀要	2012
16・17世紀における備前焼茶入の諸相	下村奈穂子	MUSEUM	640				

丹青閑話 第10話 「鉄砂雲龍文壺」	島尾 新	美術の窓	340	厄除けの呪符かわらけ—“まじない”の考古学—豊島の遺跡第8回	(橋口)	かたりべ	104	
研究ノート 高麗時代の工芸文様について—自然の描写—	瀧 朝子	美のたより	180	墓制と領域—胸肩君一族の足跡—	小嶋 篤	九州歴史資料館研究論集	37	
歴史迷宮解 海越えた近江系土器 韓国南部で初の出土	佐々木泰造	毎日	1.25	研究ノート いわゆる葉壺形短頸壺の基礎的検討—福岡平野を中心に—	下原 幸裕	”	”	
その他				太田市西長岡宿遺跡出土の縄紋早期沈線紋土器—「久保ノ坂式」・V字状押引紋土器の検討—	橋本 淳	群馬県埋文調査団研究紀要*	30	
タイ陶磁器の編年研究	向井 互	金沢大学文化資源学研究	5	松江市島田1号墳出土遺物の再整理(上)	椿 仁木	真治 聡	古代文化研究	20
ラオス・カンボジア陶磁器調査の旅	中野 光将	陶 説	711	弥生時代前期—中期の土器観察覚書き—針江浜遺跡と長命寺湖底遺跡出土の弥生土器—古墳時代前期の土器が納められた井戸跡について	鈴木 孝之	埼玉県埋文調査団紀要*	26	
サムルカンドの花嫁—ウズベキスタンに中国の染付をもとめて—	弓場 紀知	”	717	安行式片口注口土器の成り立ちと変遷	阿部 芳郎	駿台史学	146	
土 器				平安時代における須恵器の生産と供給—陶邑窯を中心に—	木村 理恵	高梨学術奨励基金年報	H23年度	
中 国				資料紹介 新治窯跡群の新資料	黒澤 春彦	土浦市立博物館紀要	22	
殷代の土器紋様に関する研究	松村 亮太	高梨学術奨励基金年報	H23年度	福岡県久山町中久原出土の埋蔵錢大甕のX線CT分析	進村 真之	東風西声*	7	
渤海から女真(金・東夏)における日本海沿岸交流に関する考古学的研究	中澤 寛将	”	”	藤原宮東面内濠SD2300出土土器(1)第24次調査から	高橋 透	奈良文化財研究所紀要	2012	
日 本				学芸員が選ぶ、私のイチオシ館藏品「則天文字」の書かれた土器—篠山市西木之部遺跡—	藤間 温子	兵庫県立考古博物館NEWS	9	
江南市音楽寺遺跡出土の美濃須衛窯型瓦塔	永井 邦仁	愛知県埋蔵文化財センター研究紀要	13	兵庫県出土瓦器碗の胎土分析	中井 淳史	史純 渉	兵庫県立考古博物館研究紀要	5
神戸川流域における暗文土師器—矢野遺跡の事例を中心に—	高橋 周	出雲弥生の森博物館研究紀要	2	姫路市市之郷遺跡出土韓式系軟質土器の胎土分析	白石 福井	純 優 朝	”	”
いわて文化ノート 岩手県域で出土する鎌倉時代の東北地方陶器	羽柴 直人	岩手県立博物館だより	134	資料紹介 相国寺旧境内出土の一括廃棄土師器皿—個体数推定の検討について—	吹田 裕幸	文化情報学	8	
前期難波宮整地層の土器の暦年代をめぐって	白石 太郎	大阪府立近つ飛鳥博物館館報	16	埋文コラム 須恵器横瓶の作り方		埋文にいがた	78	
方形周溝墓出土土器の穿孔方法—東京都大田区久ヶ原遺跡における穿孔具共伴事例から—	古屋 紀之	大田区立郷土博物館紀要	19	県内の遺跡・遺物79 滝寺窯跡群・大貫窯跡群出土品1,012展		”	81	
脚付直口壺小考—足守川流域の集落遺跡出土例を中心に—	寒川 史也	岡山市埋蔵文化財センター研究紀要	4					

平成24年定期刊行物所載文献(古/工芸)

古墳時代開始期における伊勢湾西岸域の四国北東部地域系土器	川部 浩司	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	21	瓦					
玉城町中楽の考古資料—古墳群出土資料を中心に—	相場さやか	〃	〃	中国	中国秦における瓦の受容と変遷	中村亜希子	高梨学術奨励基金年報	H23年度	
松阪市嬉野天花寺町周辺の考古資料—寄贈資料の紹介—	西村 美幸	〃	〃	日本					
西都原171号墳出土蓋形埴輪の再検討—立ち飾り部の製作技法を中心として—	犬木 近藤 努 麻美	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	8	日本	瓦で読み解く阿倍寺の創建	谷崎 仁美	葦 火	160	
瓦谷窯跡表採須恵器について	垣見奈緒子 渡部 明夫	宗吉かわらの里展示館年報	1	日本	資料紹介 信太郡諏訪廃寺跡の瓦	川又 清明	茨城県立歴史館報	39	
須恵器と渡来文化	定森 秀夫	八雲立つ風土記の丘	211	日本	元興寺旧境内出土の鬼瓦	狭川 真一	元興寺文化財研究所研究報告	2011	
最古の平仮名「いろは歌」三重の齋宮跡女官が練習か 推定11世紀末—12世紀前半 墨書された皿出土		東京	1.18	日本	大野寺土塔出土「司解」銘瓦をめぐって	溝口 優樹	国学院雑誌	1258	
縄文の製塩 霞ヶ浦以外でも「集中」覆す新説 東京湾岸など自前の専用土器	辻本 芳孝	読 売	5.23	日本	慈光寺採集の古瓦	富田 靖雄	埼玉史談	308	
朝鮮				日本	徳島城下町出土三巴紋軒丸瓦の分類と編年	栗林 誠治	真 朱	10	
楽浪土器の成立と拡散—花盆形土器を中心として—	宮本 一夫	史 淵	149	日本	帝塚山大学大学院所蔵の軒瓦	安達 奈央	帝塚山大学大学院紀要	14	
韓半島産陶器の考古学的研究—高麗時代から朝鮮時代への変化様相—	主税 英徳	高梨学術奨励基金年報	H23年度	日本	飛鳥時代の瓦の系譜とその変遷—いわゆる「船橋廃寺式」軒丸瓦について—	清水 昭博	帝塚山大学考古学研究所研究報告	14	
一品鑑照 vol.16 水注形土器	川島 公之	陶 説	706	日本	鎌倉再建期の東大寺瓦の検討—帝塚山大学附属博物館新所蔵瓦の紹介—	木村 友紀	〃	〃	
その他				日本	研究随想 瓦に見る未法思想の輝き	甲斐 弓子	〃	〃	
収蔵品紹介 アンフロア	長谷川修一	オリエンテ	44	日本	藤原宮と尾張国勝川廃寺の同範軒瓦について	安達 奈央	奈良学研究	14	
研究ノート イラン北部、青銅器時代における暗色磨研土器群の「出現」過程—テベ・ホセナバード出土土器に関する一試論—	大津 忠彦 有松 唯	オリエンテ	54-2	日本	藤原宮運河SD1901A出土の瓦—第20次調査から	石田由紀子	奈良文化財研究所紀要	2012	
資料紹介：シリア出土人物注口土器	石田 恵子	古代オリエンテ博物館紀要	32	日本	資料紹介 福岡市博物館所蔵の「古瓦類雑考」掲載資料	赤坂 亨	福岡市博物館研究紀要	22	
いわゆるシリア=キリキアグループと暗色磨研土器の地域性—ルージュ盆地の調査成果からみた一考察—	小高 敬寛	西アジア考古学	13	日本	宗吉瓦窯跡採集粘土について	宮武 尚美	宗吉かわらの里展示館年報	1	
				日本	北山廃寺・北山三嶋遺跡の出土遺物整理	丹野 拓	和歌山県文化財センター年報	2011	
				日本	信長の金箔瓦 岐阜の居館跡 城郭で最古か		東京	11.27	
				日本	平安の楼閣 瓦片出土「白虎楼」の存在裏付け		読売夕刊	8.29	



朝鮮	シンポジウム報告「文化財の解析と保存への新しいアプローチVIII」瓦当からみた熊津時代の百済寺院の断面	李金訳	炳鎬志	奈良美術研究	13	後漢鏡における淮派と呉派	岡村 秀典	〃	〃	
金工						学芸員が選ぶ、私のイチオシ館藏品 壊された中国製の鏡—朝来市向山2号墳—	中村 弘	兵庫県立考古博物館NEWS	10	
中国						漢代画像にみる聖帝像とその機能—館藏三段式神仙鏡を起点として—	楡山 満照	早大會津八一記念博紀要*	13	
日本	ささやかな日常感覚から見た古美術「竜、天馬の飛翔と嘶き」その4、10		山中 理	目の眼	428、434	ベトナムにおける日本系銅鏡	久保 智康	学 叢	34	
日本	美の履歴書279 何を表現しているのか「金製仮面」作者不詳		宮代 栄一	朝日夕刊	11.7	本山コレクション所蔵鏡片と津堂城山古墳出土鏡の接合—100年を経て接合した鏡の紹介とその意義—	徳田 誠志	関西大学博物館紀要	18	
日本	自在龍		原田 一敏	国 華	1398	資料紹介 破鏡に見られる工具痕—福岡県みやま市藤の尾垣添遺跡出土破鏡の観察から—	大庭 孝夫	九州歴史資料館研究論集	37	
日本	古墳時代の初期金工生産に関する予察—福岡県月岡古墳出土品の調査成果から—		諫早 直人 鈴木 勉	奈良文化財研究所紀要	2012	金鈴塚古墳出土鏡と古墳時代後期の東国社会	上野 祥史	金鈴塚古墳研究	1	
日本	新年特集 学び直す日本史の常識 Q2 富本銭と和同開珎の関係を教えて下さい。		仁藤 敦史	日本歴史	764	資料紹介 兵庫県たつの市で確認された三角縁神獸鏡の新資料	岸本 直文	考古学雑誌	96-3	
日本	ささやかな日常感覚から見た古美術「竜、天馬の飛翔と嘶き」その1、2		山中 理	目の眼	425、426	覚書 東大寺献物帳(16)、(17)—正倉院宝物の原簿—	米田 雄介	古代文化	589、590	
日本	物に執して(155)、(157)		鈴木 皓詞	〃	428、430	弥勒寺藏 三角縁吾作銘二神二獸鏡について	鐘方 正樹	奈良市埋蔵文化財調査年報	H21年度	
日本	江戸幕府が貿易専用銀貨 徳川賞の梅木さん解明		辻本 芳孝	読 売	11.14	主な新収蔵資料の紹介 早馳明神御正体1面		馬事文化財団年報	33	
日本	天平のライフスタイル 下 金銅八曲長杯 瑠璃杯 犀角杯 多彩な酒器粋な味			読売夕刊	10.24	須玖岡本遺跡D地点出土鏡片の再検討(2)	赤坂 亨	福岡市博物館研究紀要	22	
その他	イラン北部、鉄器時代後期における精製土器齊一化現象の実態		有松 唯	西アジア考古学	13					
鏡										
中国										
中国	漢三国西晋紀年鏡銘における干支と作鏡年月日の研究		光武 英樹	東方学報京都	87	燕山地域の北方青銅器文化墓の編年	小田木治太郎	考古学雑誌	96-2	
中国	漢三国西晋紀年鏡銘集積 「中国古鏡の研究」班			〃	〃	三星堆祭祀坑銅獸面と良渚玉器神人獸面文—長江文明の系譜的つながり—	曾布川 寛	泉屋博古館紀要	28	
中国	華西系鏡群と五斗米道		森下 章司	〃	〃	名品展のみどころ 銅鼓	岩戸 晶子	奈良国立博物館だより	83	

日 本				総合文化展見どころ 案内2012年2月・3 月 気になるこの部 屋・この作品 黒漆 打刀(国宝 太刀 銘 助真の拵)	池田 宏	東京国立 博物館ニ ュース	711
北九州市岡田神社蔵 三環鈴について	宮元 香織	北九州自 然史歴史 博報告*	9				
例会報告 長野県中 野市柳沢遺跡の発掘 調査—東日本で初例 となる青銅器埋納坑 の調査—	廣田 和穂	考古学雑 誌	96-3	総合文化展見どころ 案内2012年8月・9 月 気になるこの部 屋・この作品 国宝 群馬文兵庫鎖太刀	酒井 元樹	"	714
銅鐸の音色違い発見 弥生人に迫る手がかり	小川 雪	朝日夕刊	8.27	名刀鑑賞		刀剣美術	
<b>刀剣・刀装</b>				重要刀剣 刀 銘 備前国住長船清光 作之天文二十三年 八月日	檜山 正則		660
<b>日 本</b>				特別重要刀剣 太 刀 銘 是友(古 青江)	石井 彰		661
尾張徳川家の名物刀 剣—物吉貞宗	渡邊 妙子	葵	81	特別重要刀剣 刀 無銘 伝粟田口国 吉	檜山 正則		662
平成23年度企画展 赤羽刀—よみがえっ た名刀—	(平川)	おおい た歴博	33	重要美術品 刀銘 慶長八年八月日 国広 林伝右衛門 尉時行所持之	"		663
『装剣奇賞』の成立と 展開について	内藤 直子	大阪歴史 博物館研 究紀要	10	重要文化財 脇差 銘 宇都宮大明神 八幡大菩薩 相模 国住人広光 文和 五年卯月日	石井 彰		664
神奈川県内出土装飾 付大刀にみる象嵌等 の製作技術の研究	林 雅恵	かなが わの考 古学	17	重要文化財 太刀 銘 信房作	檜山 正則		666
南河内の瓦質祠—大 正期の記録と現状—	角南聡一郎	元興寺文 化財研究 所研究報 告	2011	特別重要刀剣 刀 無名 伝正宗	"		667
研究ノート 二代兼 定の初期銘について	三山 らさ	岐阜市歴 史博物館 博物館だ より	81	重要美術品 薙刀 直し脇指 銘 真 利	石井 彰		668
東大寺金堂鎮壇具を見 直す		考古学雑 誌	96-2	重要美術品 太刀 銘 康暦元年八月 日包吉	"		669
(1)—陰劔・陽劔 の発見とその考古 学的意義—	橋本 英将			重要美術品 短刀 銘 相模守藤原政 常	檜山 正則		670
(2)—出土地点と 正倉院宝物「除物」 をめぐる—	奥村 秀雄			刀 銘 津田越前 守助広延宝七年二 月日	"		671
特輯 東北アジアの 武器形石器 日本列 島における青銅製武 器模倣石器の出現過 程	寺前 直人	古代文化	588	粟穂図鑑 銘 一斎 東明(花押)	飯田 俊久	"	660
横谷宗珉の実像—刀 装具「町彫」成立の背 景—	川見 典久	古文化研 究	11	肥前刀雑記(34)~ (37)	横山 学	"	660、662、 665、668
日本刀の美?	椋木 賢治	島根県立 石見美術 館ニュー ズレター	15	刀装・刀装具初学教 室(201)~(208)	福士 繁雄	"	660~667
資料館 瑞鳳殿資料 館所蔵品の紹介 No. 09 黒漆九曜三引両 紋蒔絵糸巻太刀		瑞鳳殿だ より	9	刀装具の画題(201) 継革 錨	"	"	660
				龍の落とし子図目貫 無銘 三角	久保 恭子	"	661

「毛抜形太刀」考—野 剣・衛府太刀につい て	宮崎 政久	〃	〃	特集1 竜の意匠 アジアを護る神獣の 造形 日本編2 日 本刀を装う龍	善財 一 目の眼	424
郷土刀工紹介 截断 銘のある角元興につ いて	古宮 隆司 渡部 昇一	〃	〃	日本刀 五ヶ伝の旅 山城物の作風とその 展開 7~13 粟田口 派(続2)	田野辺道宏	424~426、 428、429、 431、434
本部定例鑑賞会正月 ~11月		〃	661~667、 669~671	装剣小道具の世界 127~136	善財 一	425~433、 435
重要刀装具		〃		物に執して(153)	鈴木 皓詞	426
樊噲図鐔 銘 龍 雨齋大森英秀(花 押)明和庚寅6月 吉日	飯田 俊久		662	特集『装剣小道具の 世界(連載136)』特 別版 古金工の刀装 具 武士の武士たる 美意識をあらわす筭 と鐔	〃	434
鷲図鐔 無銘 初 代甚五	黒滝 哲哉		663	特輯 東北アジアの 武器形石器 朝鮮半 島の銅剣模倣石剣	孫 暎 暎 矢 古 庄田 慎 矢 古代文化	588
鞍馬山図縁頭 銘 白峯亭 岩本昆寛 (花押)	久保 恭子		664	蝦夷征討 海路中継 地の権勢 十五郎穴 横穴墓群 正倉院宝 物に類似の刀	辻本 芳孝 読 売	10.24
投桐透鐔 無銘 西垣勘四郎	黒滝 哲哉		666	<b>染織・服飾</b>		
猛虎図縁頭 銘 柳川直政(花押)	飯田 俊久		667	<b>中 国</b>		
猛虎図鐔 銘 安 親図 岩本昆寛(花 押)	久保 恭子		668	匈奴・サルマタイ時 代のユーラシア草原 西部の帯飾板につい て	高濱 秀	金沢大学 考古学紀 要 33
葦に白鷺図縁頭 銘 春曙堂昆寛(花 押)	飯田 俊久		669	中国の帯飾板におけ る瀕死の鹿形怪獣紋	柳生 俊樹	〃 〃
梅樹透鐔 無銘 林又七	黒滝 哲哉		671	中国における合糸・ 撚糸の装置の展開— 絹の紡車を中心に—	吉田 雅子	京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要 56
放射化分析を用いた 日本刀鉄産地の特定	出島 宏一	〃	662	口絵 九条袈裟 条 葉小石畳文錦	小林 彩子	日本歴史 775
津軽弘前藩郷土刀工 史(上)、(下)	富岡 昭	〃	663、664	<b>日 本</b>		
仙台藩刀匠考(19)、 (20)	佐藤 一典	〃	667、670	江戸時代の服飾品に 使用される金属糸に 関する自然科学的・ 服飾史的研究	吉田 滯代 山川 暁 早川 泰弘	学 叢 34
金象嵌截断銘の特徴 と掟—山野家を中心 として—	井本 悠紀	〃	669	琉球王国時代から現 代に於ける沖縄(琉 球)の芸能祭祀と紅 型—紅型の衣裳と幕 について—	兒玉絵里子	鹿島美術 財団年報 ・別冊 29
『解粉記』の著者黒庵 に就いて	奈良原和夫	〃	670	江戸期製作小倉織の 技術的検証	上野 晶子 大和 恵子	北九州自 然史歴史 博報告* 9
下野刀工覚書(その 7)—海を渡った、 宝刀、65年ぶりに故 郷へ	松本 劍童	〃	〃	研究小話 布をめぐ る随想1 衣類とま じない	定松 晶子	群馬の森 美術館ニ ユース 150
鎌倉時代の焼入れに ついて	渡邊 繁平	〃	671			
郷土刀紹介 加州家 平「刀」の銘文を読み 解く—系統の流れと 作域を検討する	小浦宗五郎	〃	〃			
宮崎県持田古墳群出 土三葉環頭大刀につ いて	甲斐 貴充	宮崎県立 西都原考 古博物館 研究紀要	8			

能装束の着装の変化に関する一私見—小袖物能装束の寸法の変化から—	田中 淑江	国立能楽堂調査研究	6	東京国立博物館所蔵「白紫段練織地葵紋散模様陣羽織」について—制作時期と形態の再検討を中心に—	福島 雅子	美術史	173
紅紋縮緬地東ね熨斗模様振袖	長崎 巖 国 華		1402				
白練織地松藤揚羽蝶梅丸紋散模様縫箔呂号	〃	〃	1405	丹青閑話 第11話「能装束 茶萌葱段枝垂柳小葵模様唐織」	島尾 新	美術の窓	341
沖縄復帰40周年記念紅型 BINGATA—琉球王朝のいろとかたち—	與那嶺一子	サントリ—美術館ニュース	240	三井文庫所蔵『染代覚帳』の考察(下)—染色および加工名称について—	沢尾 絵	MUSEUM	636
衣裳に纏わることば今昔 第2回~第4回	長崎 巖 聚 美		2,3,5	法隆寺伝来 續仏裂の分類と基礎的考察	三田 寛之	〃	637
古裂と仕覆	吉岡 明美	〃		特集 染織コレクションの形成		歴 博	174
四大茶人ゆかりの袋 唐物肩衝茶入銘「松屋」の仕覆			4	呉服商・百貨店の染織品コレクションについて—千總・丸紅・松坂屋コレクション	林 智子		
信長が好んだ龍文の裂 珠光緞子			5				
犀円文錦の研究	尾形 充彦	正倉院紀要	34	私立美術館の能装束コレクション—能を愛した実業家たち	正田 夏子		
史料にみえる表具裂の選定者	高田 智仁	書道学論集	9				
日本に舶載された欧州輸出用の中国染織品—刺繍ビロード6作例の意匠と技法を中心に—	吉田 雅子	人文学報	102	美の履歴書262 なぜ和の意匠なのか「黄色地松皮菱に菊藤流水菖蒲模様衣裳」作者不詳	西岡 一正	朝日夕刊	7.11
総合文化展見どころ案内2012年12月・2013年1月 気になるこの部屋・この特集 重文 直垂縹麻地鶴亀松竹模様	小山弓弦葉	東京国立博物館ニュース	716	そ の 他			
史料紹介と研究 インド更紗とヨーロッパ更紗—長崎オランダ商館へ渡された「一八一四年用注文書」をめぐる—	石田 千尋	東大画像史料解析センター通信*	56	所蔵品紹介 ヴェッサンタラ太子物語文様緯緋壁掛	岩永 悦子	エスプラナード	166
18—19世紀の山形県庄内地方にみられる被衣の変遷—芹沢銈介コレクションより—	奈良 綾	芹沢銈介美術工芸館年報*	3	貿易品としての南インド産絨毯—京都祇園祭と長浜曳山祭の絨毯を中心に—	鎌田由美子	美術史	173
下古館遺跡出土の烏帽子について(1)	田代 隆	とちぎ埋文センター紀要*	20	漆 工			
資料紹介 梅ヶ谷津借楽園所蔵 伝木下逸雲「描繪四季耕作図小袖」	植松 有希	長崎歴史文化博物館研究紀要	6	日 本			
賀茂別雷神社の役大工と儀式における装束について	中西日向	日本建築学会計画系論文集	677	講演録「漆下遺跡の出土品から見た縄文文化」	藤沼 邦彦	秋田県埋蔵文化財センター研究紀要	26
				大神神社の美術工芸—漆工品—	高橋 隆博	大 美 和	122
				表紙の言葉		きよらさ	
				「潤塗花鳥密陀絵盆」			67
				「朱漆瓜花蝶箔絵密陀絵輪花形合子」	(當山)		68

研究資料 ローマ・ヴェネツィア宮国立博物館蔵「花鳥獅子蒔絵螺鈿書箆笥」とドーリア・パンフィーリ家手稿資料	小山眞由美	国 華	1399	川口市赤井円通寺年不詳阿弥陀三尊板碑	四方田		308
赤漆文櫨木御厨子と(赤漆櫨木厨子)	西川 明彦	正倉院紀要	34	嘉暦3年阿弥陀三尊板碑断片 川越市菅間円光寺	鳩 山		310
今月の表紙より	中村 宗哲	淡 交		史料紹介と研究 宝治2年銘石造宝篋印塔(京都国立博物館蔵)について	村山 卓 紀弘	東大画像史料解析センター通信*	58
五重盃 賽付 七代宗哲造			812	流山石工・行徳屋孫七について	小林 將	流山市史研究	21
手桶水指 利休形 初代宗哲造			814	中世・草戸千軒探検 26 一祈る(信仰)一	鈴木 康之	広島県立歴史博物館ニュース	91
春秋七草茶箱 玄々斎好 八代宗哲造			815	表紙写真説明 恵海上人五輪塔		ふる里な ぶんぶ	6
猿尻菓子椀 四代宗哲造			821	松江藩で利用された花崗岩類	朽津 信明 西尾 克己 稲田 信	松江歴史館研究紀要	2
手燭一對利休形 六代宗哲造			824	石造物の諸相—山形県に於ける中世石造物素描—	山口 博之	山形県立博物館研究報告	30
総合文化展見どころ案内2012年6月・7月 気になるこの部屋・この作品 国宝舟橋蒔絵硯箱	竹内奈美子	東京国立博物館ニュース	713	古事記のうんちく 8 稲羽の白ウサギサメを信仰した弥生人	小畑 三秋	産 経	11.8
蒔絵研究から見る光琳資料—「梅花蒔絵箱下絵」再考—	土井久美子	美をつくし	177	<b>朝 鮮</b>			
芭蕉の箱旧家に伝わる 名古屋で公開へ 弟子ら受け継ぎ		東 京	9.24	資料 佐野美術館蔵の楽善君神道碑について	川西 裕也	朝鮮学報	224
天平のライフスタイル 中 螺鈿紫檀琵琶 心和ます唐楽の合奏		読売夕刊	10.23	朝鮮時代の胎室加封碑に関する予備的考察	篠原 啓方	東アジア文化交渉研究	5
<b>朝 鮮</b>				<b>石 器</b>			
今月の表紙より 玉絵碁笥 八代宗哲造	中村 宗哲	淡 交	813	<b>日 本</b>			
<b>そ の 他</b>				常設展示のみどころ 44 薩摩川内市馬立遺跡の木葉形尖頭器	中原 一成	黎 明	116
ベトナム螺鈿の器物資料に関する知見	猪熊 兼樹	東風西声*	7	<b>木 竹 工</b>			
<b>石 工</b>				<b>東 ア ジ ア</b>			
<b>中 国</b>				唐代の琵琶とその遡源	高橋 照彦	待兼山論叢	46
<b>日 本</b>				<b>日 本</b>			
最近の発掘調査 中世の古道に立つ板碑の発掘	西野 善勝	あるむぜお	100	矢野遺跡出土の檜扇について	原 俊二	出雲弥生の森博物館研究紀要	2
燈籠百話 8、9 表紙写真解説	伊吹 順章	春 日 埼玉史談	87,88	明日香藤原地域出土の木製食器	木村 理恵	奈良文化財研究所紀要	2012

平成24年定期刊行物所載文献(古/工芸、建築)

古墳時代準構造船の復元	中村 弘	兵庫県立考古博物館研究紀要	5	近世覗きからくりは何を見せたか、その1—カラクリを覗く—	坂井 美香	年報非文字資料研究	8
井辺遺跡出土の「屋根形木製品」	田中 元浩	和歌山県文化財センター年報	2011	特集怪異・妖怪文化妖怪と玩具	香川 雅信	歴 博	170
天平のライフスタイル 上 木画紫檀六局 庶民も熱中魅惑の盤		読売夕刊	10.22	家康の時計は「最高傑作」静岡・久能山保管 大英博物館の研究者鑑定		東 京	5.18
<b>朝 鮮</b>				<b>そ の 他</b>			
コレクション名品展「朝鮮 木のもの100選」によせて	松浦 萌子	高麗美術館館報	91	中国伝来の技法に新説 イスラム初の紙古布から製造?	小橋 弘之	日経夕刊	6.18
「朝鮮 木のもの100選」トピック 朝鮮の奠雁札[てんがんれい]について	片山真理子	〃	〃	<b>建 築</b>			
物に執して(151)	鈴木 皓詞	目の眼	424	<b>中 国</b>			
<b>ガ ラ ス エ</b>				<b>日 本</b>			
<b>日 本</b>				<b>日 本</b>			
難波宮東方地域のガラス玉生産	大庭 重信	葦 火	158	加賀藩の大工史料の信頼性に関する考察(上)—清水文庫・渡部家文書を中心に—	正見 泰	研究紀要金沢城研究	10
埼玉県反町遺跡出土のガラス小玉とガラス小玉鋳型について	上野真由美 田村 朋美	埼玉県埋文調査団紀要*	26	滋賀県大津市国分所在礎石「へそ石」の周辺	小松 葉子	滋賀県文化財保護協会紀要	25
時評 帝政ローマの重層ガラス玉、京都の古墳で国内初発見		日本美術新聞	5	古代掘立柱建物遺構における身舎外周柱の上部構造	箱崎 和久	奈良文化財研究所紀要	2012
平等院本尊阿彌陀如来坐像台座華盤納入品のガラス片の調査と容器の復元制作	藤原 信幸 海藤 博 井上 曉子	鳳翔学叢	8	聚楽第・伏見城・豊国廟遺構説の萌芽	加藤 悠希	日本建築学会計画系論文集	675
平等院本尊阿彌陀如来坐像台座華盤納入品のガラス片についての化学分析	中井 泉 白瀧 絢子 井上 曉子	〃	〃	<b>そ の 他</b>			
<b>そ の 他</b>				<b>都 市 ・ 集 落</b>			
メトロポリタン美術館展から 15センチ優美な跳ね馬 馬形の取っ手	高野 清見	読 売	10.9	<b>中 国</b>			
<b>その他の工芸・民具</b>				<b>中 国</b>			
<b>日 本</b>				<b>中 国</b>			
近世大坂の骨細工業—双六駒の製作—	清水 和明	葦 火	161	曹魏洛陽の九條をめぐる近年の議論	向井 佑介	史 林	491
市内の郷土芸能 玉川文楽と写し絵	赤城 高志	調布の文化財	46	シンポジウム「歴史のなかの地図Ⅴ 江戸と江戸城」清代の北京と紫禁城—武人と文人、旗人と民人—	杉山 清彦	東京大学史料編纂所研究紀要	22
				河南竜山・二里頭・殷周都市の特質—2011年、中国古代都市遺跡調査報告—	江村 治樹	名古屋大学文学部研究論集	173

南京市における城壁空間の変遷と類型に関する研究	王 出口 箕浦 坂井	成康 敦子 永 猛	日本建築 学会計画 系論文集	672	シンポジウム「歴史 のなかの地図Ⅴ 江 戸と江戸城」			東京大学 史料編纂 所研究紀 要	22
六朝建康城の研究— 発掘と復元	張 小 尾 訳	学鋒 孝夫	山形大学 歴史・地 理・人類 学論集	13	都市空間のなかの 江戸城	杉本 史子			
日 本					家光政権期江戸城 と江戸の防衛—城 門警衛と消防制度 の成立—	松尾美恵子			
乙金地区遺跡群—葉 師の森遺跡第10次・ 第20次調査報告書—	林 上 田 三 辻 中 村、 編集	潤也 龍児 利一 林	大阪大谷 大学博物 館報告書	58	左京二条三坊・東二 坊大路の調査—第168 —8次	庄田 慎 木村 理 高橋 透 渡辺 丈 山崎 彦 健	奈良文化 財研究所 紀要	2012	
研究ノート 江戸時 代大坂城周辺の武家 地について	宮本 裕次		大阪城天 守閣紀要	39	水落遺跡の調査—第 165次(西区)	黒坂 貴 清野 裕 孝之	" "	" "	
道からみた豊臣初期 大坂城下町	大澤 研一		大阪歴史 博物館研 究紀要	10	東院地区の調査—第 481次	鈴木 智 青木 大 石田 敬 由紀子 芝 康次郎	" "	" "	
慶長3年における大 坂城下の改造をめぐ って—『西笑和尚文 案』所収史料を中心 に—	豆谷 浩之		" "	" "	平城宮北方遺跡の調 査—第480次	浅野 啓 青木 介 敬	" "	" "	
群馬県玉村町福島飯 玉遺跡における中世 掘立柱建物の検討— 斉田竹之内遺跡北・ 南館の再評価を兼ね て—	飯森 康広		群馬県埋 文調査団 研究紀要*	30	左京三条一坊一・二 坪の調査—第478・ 486・488次	大林 潤 神野 恵 諫早 直 海野 人 小池 聡 伸彦	" "	" "	
恭仁京の復元—泉津 の下津道を起点とし た都市計画—	岩井 照芳		古代文化	588	右京三条一坊十坪の 調査—第484次	森川 実	" "	" "	
図版解説 宮町遺跡 (史跡紫香楽宮跡 宮町地区)第40次調 査概要	渡部圭一郎		" "	589	『洛中絵図』に「町屋」 と記された洛中農村 の百姓居宅と、江戸 時代の同地史料にみ る町屋の意味	丸山 俊明	日本建築 学会計画 系論文集	676	
平安京「西京」の形成	久米 舞子		" "	590	平安宮内裏の土庇と 雨儀—平安宮内裏の 空間構成と儀式に関 する歴史的研究2—	満田さおり	" "	677	
平成24年度の斎宮跡 発掘調査	新名 強		斎宮歴史 博物館だ より	69	「加賀越中御旅屋等 之義御尋」に見られ る御旅屋、御宿につ いて—金沢藩、富山 藩の武士宿泊施設の 研究(その5)	岡田 悟 永井 康 雄	" "	682	
堺幕府はどこにあっ たのか—中世都市の 空間構造—	吉田 豊		堺市博物 館研究報 告	31	書評 橋本義則著『古 代宮都の内裏構造』	吉田 歙	日本史研 究	598	
安土城に見る統治景 観—聖地と城郭—	大沼 芳幸		滋賀県立 安土城考 古博物館 紀要	20	新年特集 学び直す 日本史の常識 Q1 平城京にはなぜ外京 が作られたのでしょ うか?	馬場 基	日本歴史	764	
研究ノート 都城と 市—日唐坊制・時刻 制の比較より見る東 西市—	宮川 麻紀		続日本紀 研究	401	研究ノート 西浜千 軒遺跡調査概報—琵琶 湖湖底遺跡の調査 —	中川 永	人間文化	31	
「藤原京の成立」遺構 解釈の一例	深澤 芳樹		史 林	491	古代飛鳥の国際性と 文化交渉—広域的都 市計画と要塞化—	高橋 誠一	東アジア 文化交渉 研究	5	
平安京の変容	上村 和直		帝塚山学 校考古学 研究所研 究報告	14					

平成24年定期刊行物所載文献(古/建築)

平成24年度発掘調査遺跡の紹介 狐屋敷遺跡	佐藤 友子	埋文にいがた	79	回廊基準尺の検討—第1次大極殿院の復原研究5—	井上 麻香	奈良文化財研究所紀要	2012
文化 琵琶湖の湖底遺跡を探れ 学生と伝承頼りに、地震で沈んだ村の痕跡つかむ	林 博道	日 経	7.6	南門の復原研究—第1次大極殿院の復原研究6—	北山 夏希	” ”	” ”
そ の 他				門の位置と東・西楼の屋根構造の検討—第1次大極殿院の復原研究7—	中川 二美	” ”	” ”
トルコ共和国カイセリ県遺跡調査プロジェクト(KAYAP)第4次調査(2011年)概報	紺谷 亮一 須藤 寛史 山口 雄治 早川 裕式 F・クラック クオウル	岡山市立オリエンテーション美術館研究紀要	26	朝堂院朝庭の調査—第169次	高橋知奈 廣瀬 寛 山崎 健 桑田 訓也 森先 一貴	” ”	” ”
クラン・コー遺跡調査—中世カンボジア墓葬遺跡の調査—	佐藤 由似	奈良文化財研究所紀要	2012	東方官衙北地区の調査—第168—1次	石橋 茂登	” ”	” ”
宮殿・宮衙				東面中門・東面大垣の調査—第168—2次	森先 一貴 玉田 芳英 山崎 健	” ”	” ”
日 本				東方官衙北竹の調査—第168—5・6・7次	森先 一貴 木村 理恵	” ”	” ”
前期難波宮東方官衙の「楼閣風建物」をめぐる復元的考察	李 陽浩	大阪歴史博物館研究紀要	10	朝堂院朝庭、右京六条二・三坊の自然科学分析—第163・167次調査から	山崎 健 金原美奈子 原山 真二 杉山 絵美 奥野	” ”	” ”
讃岐国の位置と国府の立地を考える	住谷 善慎 十河 裕之 佐藤 竜馬	香川県埋蔵文化財センター研究紀要	8	近世期の越中国における加賀藩御蔵所の空間構成に関する研究	相模 誓雄	日本建築学会計画系論文集	676
讃岐国府周辺における土地利用形態—発掘調査成果からの素描—	佐藤 竜馬	” ”	” ”	近世期の能登国における加賀藩御蔵所の空間構成に関する研究	” ”	” ”	682
特輯 古代国府の成立をめぐる諸問題(下)		古代文化	587	滋賀・宮町遺跡 紫香楽宮に“内裏正殿跡”左右対称 恭仁宮跡に類似		産 経	1.19
宮都と国府の成立	青木 敬			そ の 他			
伯耆国府の成立	眞田 廣幸			阮朝フェエ王宮における隆徳殿の当初材について	白井 裕泰 中川 武	日本建築学会計画系論文集	671
出雲国風土記と国府の成立	平石 充			宗教建造物			
大宰府と西海道国府の成立	杉原 敏之			中 国			
筑後国府の成立	神保 公久			大谷光瑞「国家の前途」を考える 第2部 大谷光瑞とアジア—帝国の拡がりとともに コラム 大谷探検隊とモンゴル最古のチベット仏教寺院エルデニ・ゾー—第2次探検隊、橘・野村調査日記から	村岡 倫	アジア遊学	156
国司制と国府の成立	中村 順昭						
古代駅路と国府の成立	大本 雅康						
覚書 東大寺献物帳(15)—正倉院宝物の原簿—	米田 雄介	” ”	” ”				
図版解説 平安京右京三条一坊六町(藤原良相西三条第)の調査	丸川 義広	” ”	588				
史跡西北部における奈良時代掘立柱建物の再検討	泉 雄二	齋宮歴史博物館研究紀要	21				



日 本				世界遺産・中尊寺 遺跡発掘の軌跡1953 —2011		中尊寺仏 教文化研 究所論集	
幻の中世寺院 三宝 寺	大庭 重信	葦 火	156				3
阿倍寺が幻でなくな る日	谷崎 仁美	"	158	中尊寺境内の遺跡 調査	及川 司		
資料紹介 万松寺本 堂の棟札について	河合 仁志 山口 遥介	岡崎市史 研究	32	中尊寺境内関伽堂 跡地区の発掘調査	國生 尚		
史跡 元興寺極楽坊 境内発掘調査報告— トイレ建設に伴う発 掘調査—	考古学研究 室	元興寺文 化財研究 所研究報 告	2011	中尊寺境内法泉院 地区の発掘調査	"		
モノづくりの観点か らみた敷瓦に関する 考察	二村 盛寧	京都産業 大学日本 文化研究 所紀要	17	新指定の文化財 虎 豹神社本殿		調布の文 化財	48
創刊750号記念大特 集 古事記 日本の 原風景を求めても っと知りたい2 出 雲大社巨大本殿の源 流	黒田 龍二	芸術新潮	750	史料に見える泰安寺 境内の変遷	乾 貴子	津山弥生 の里	19
修復トピックス		建築史学	58	内裏野地区の変遷— 甲賀寺から近江国分 寺へ—	小谷 徳彦	帝塚山大 学考古学 研究所研 究報告	14
清水寺子安塔につ いて—沿革と建築 的特徴	奈良 裕美			修復研究業績 東京 芸術大学蔵 木造薬 師寺三層裳階付大塔 模型		東京芸大 保存修復 彫刻年報*	2011年度
重要文化財長勝寺 庫裏の復原平面と 民家間取りの関連 性について	松本 優			伊勢地域における古 代寺院の選地	梶原 義実	名古屋大 学文学部 研究論集	173
15世紀後期—17世紀 の北野天満宮におけ る建築工匠の系譜と 活動形態について	浜島 一成	"	59	阿弥陀堂と寝殿造	三宮 千佳	奈良美術 研究	13
奈良時代前後の神社 修造の実情について	加瀬 直弥	国学院雑 誌	1267	奈良美術研究会 活 動報告2011年度 前 方後円墳から寺院へ	持田 大輔	"	"
伊勢の遷宮について	中西 正幸	"	"	比叡山延暦寺建造物 にみる意匠の特殊性 と古材利用	海野 聡	奈良文化 財研究所 紀要	2012
比良山系の山寺—大 津市歓喜寺遺跡につ いて—	小林 裕季	滋賀県文 化財保護 協会紀要	25	檜隈寺周辺の調査— 第172次	渡辺 丈彦 黒坂 貴裕 木村 理恵 小田 裕樹	"	"
日本の塔百選(序)～ (10)	中西 亨	史迹と美 術	821～830	薬師寺境内の調査— 第476次	芝 康次郎	"	"
飛雲閣を探して1、 2、4、5	加藤 繁生	"	825～827、 829、930	興福寺北円堂院の調 査—第483次	大林 潤 山本 祥隆 今井 晃樹 芝 康次郎	"	"
口絵写真解説 最上 地区の石鳥居	中西 亨	"	827	平等院鳳凰堂の発願 と法華寺阿弥陀浄土 院	三宮 千佳	南都仏教	97
海上社殿が彩なす中 世の巖島神話	松井 輝昭	紫 明	31	石川県の史跡末松庵 寺跡における塔心礎 の岩石学的性質—塔 心礎に使われている 岩石は戸室石か?—	酒寄 淳史	日本海城 研究	43
文化財建造物修理現 場だより		全文連文 化財通信		木割書に記述される 柱—組物—垂木の関 連について—木割の 方法に関する研究 (その1)—	山岸 吉弘	日本建築 学会計画 系論文集	671
賀茂御祖神社預り 屋ほか19棟の保存 修理について	村田 典彦		85				
輪王寺本堂ほか2 棟の保存修理につ いて	原田 正彦		86				

平成24年定期刊行物所載文献(古/建築)

木造三重塔の構造特性に関する実験的考察—第3報 軒の衝撃的な振動性状に関する縮小規模型実験	西川西澤	英祐 英和	日本建築学会計画系論文集	671	安芸、厳島における新発見の祭祀遺跡—弥山の中腹で発見された岩塊群の検討—	妹尾 周三	MUSEUM	639
亀居山大乗寺客殿の天明・寛政期における再建と修繕過程に関する研究 障壁画注文及び製作年との関連性も含めて	木下	知威	〃	672	那古寺多宝塔の再建と江戸出開帳		ミュージアム発見伝	86
賀茂別雷神社の役大工と儀式における祝儀について	中西日向	大輔進	〃	674	元慶2年の地震と武蔵国分寺	坂詰 秀一	武蔵野	351
多宝塔の上重総間設計手法について	青田溝口	和也明則	〃	677	講演3 寺内町の中核としての真宗寺院—顕証寺を中心として—	櫻井 敏雄	八尾市文化財紀要	17
天真院客殿と梁間規制に関する試論 保存修理工事に伴う調査と放射性炭素年代測定を用いた黄檗宗塔頭の再評価	丸山中尾	俊明七重	〃	〃	奈良国立博物館における国際研究集会(2010年6月)における研究報告 大交流時代の建築	ナンシー・スタインハルト	鹿園雑集*	14
鏝阿寺本堂の部材の年代測定について	上野中尾	勝久七重	〃	678	根来寺遺跡の発掘調査(旧県会議事堂移転予定地)	佐伯 和也	和歌山県文化財センター年報	2011
承久度鷲尾神社本殿	山口	佳巳	〃	679	根来寺遺跡の発掘調査(京奈和自動車道)	井石 好裕	〃	〃
讃岐国分寺本堂の昭和修理	三浦	要一	〃	681	金剛三昧院客殿及び台所の当初小屋組について	結城 啓司	〃	〃
近世社寺建築調査報告書集成にみえる棟持柱をもつ建築遺構の特質	滝澤土本	秀人俊和	〃	682	遷宮、刷新で得る永遠 伊勢神宮 出雲大社 2013年、同時に	河野 孝	日 経	11.17
平成23年度東支部大会 滅罪の場としての庭園—平等院の意味を再考する—	長岡	龍作	美術史	172	寺社の装飾彫刻に光写真真集 全国111か所700点 仏像の脇役、建造物扱い…	辻本 芳孝	読 売	2.1
日本美術のススメ 今月の逸品 宇豆柱	池田	宏	美術の窓	349	ぎやらりいモール 東京国立博物館本館「出雲—聖地の至宝」から「重要文化財 宇豆柱」	池田 宏	読売夕刊	11.6
新指定文化財 国宝指定 久能山東照宮本殿、石の間、拝殿	多々良	ふちゆ〜る	〃	20				
双建築の再検討	海野	聡	仏教芸術	320				
東大寺法華堂(正堂)ならびに八角二重壇の年輪年代調査	光谷児島	拓実大輔	〃	321	朝鮮			
近代初頭における天龍寺境内地の景観とその変化	小林	善仁	仏教大学歴史学部論集	2	百済寺院の展開過程と日本の初期寺院	李井上 炳鎬主税 諷	帝塚山大学考古学研究所研究報告	14
歓喜院聖天堂—近世の装飾的建築の到達と転換—	大河	直躬	文化財*	586	その他			
新指定の文化財 建造物	文化庁文化財部	〃	〃	〃	ダルヴェルジンテパ 仏教寺院址2006—2007出土土器・遺物一覽	創価大学シルクロード研究センター編	シルクロード研究	7
表紙解説 歓喜院聖天堂	長尾	充	〃	〃	西トップ遺跡の調査と修復	杉山 洋	奈良文化財研究所紀要	2012
8世紀初頭以前の神仏関係に関する予察—豊前の仏寺関連の遺物・遺構の検討を中心にして—	内藤	亮	法政考古学	38	ベン・メアレア寺院の伽藍寸法計画に関する推定考察 クメール建築の造営尺度と設計技術に関する研究(6)	溝口明則 佐藤武桂 下田一太 百瀬純哉	日本建築学会計画系論文集	671

修復方針決定までの議論 国際協力によるロボドゥール遺跡修復事業 その2	安田 梢 平賀あまな 斎藤 英俊	”	677	古城をゆく	中井 均 本 郷	100、101
<b>城 郭</b>				新名爪に残る城郭遺構について	福田 泰典	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要 8
<b>中 国</b>				和歌山城跡の発掘調査	森原 聖	和歌山県文化財センター年報 2011
宋代明州城の復元図作成にむけて	山崎 覚士	海港都市研究	7	<b>朝 鮮</b>		
<b>日 本</b>				講演録 古代朝鮮の都城—東アジアの都城制のなかで—	山田 隆文	龍谷史壇 135・136
後期清州城本丸考—臼杵市立臼杵図書館所蔵絵図を中心に—	鈴木 正貴	愛知県埋蔵文化財センター研究紀要	13	<b>そ の 他</b>		
松山城の大手口・大手門—柚山俊夫氏の説に触発されて—	内田九州男	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	17	2011年度 ロシア・クラスキノ土城発掘調査概要報告	クラスキノ土城発掘調査団	青山史学 30
屋久島・口永良部島の城の調査	三木 靖	鹿国大考古学ミュージアム報告	9	<b>住 宅 ・ 館</b>		
戦国期城郭としての筑前益富城	岡寺 良	九州歴史資料館研究論集	37	<b>日 本</b>		
研究ノート 金沢城跡の変遷	田中 徳英	建築史学	59	高松藩大阪蔵屋敷跡の発掘調査	松本百合子 葦 火	159
学界展望 城郭研究—「縄張り研究」の独自性を如何に構築するか—	木島 孝之	”	”	遺跡にみる諸行無常—長原遺跡東南地区にみる土地のうつろい—	赤松 佳奈	” ”
修復トピックス 国宝姫路城大天守保存修理工事において判明した最上階隅の間の当初計画について	加藤 修治	”	”	大原幽学「旧宅」研究	薄井 温子	大原幽学記念館報告 1
報告 高槻城跡(2009—1)の調査について	今西 泰宏	高槻市文化財年報	H21・22年度	神奈川の中世城館(4)	中世研究プロジェクトチーム	かながわの考古学 17
シンポジウム「歴史のなかの地図Ⅴ 江戸と江戸城」境界としての江戸城大手三門—門番の職務と実態—	岩淵 令治	東京大学史料編纂所研究紀要	22	近世初期の幕府関係居城における小広間(白書院)と黒書院の住宅様式	鈴木 亘	建築史学 58
大野城の築城年代再考 太宰府口城門出土木柱の年輪年代の測定から	赤司 善彦 光谷 拓実	東風西声*	7	研究ノート 礎石建ての意味	安田 徹也	” ”
昭和解体修理工事資料に基づく松江城天守の再検討	西田 和夫 山田由香里 中島綾乃 川村 摩理	日本建築学会計画系論文集	673	笹岡家住宅の番付について		59
享保期から万延期に至る江戸城本丸御殿大奥御殿向の座敷飾による各殿舎の格	服部佐智子	”	675	天保9年の巡見使が休泊に利用した熊本藩の御茶屋について「御料御巡見衆御休泊所絵図」の研究(その5)	岡田 悟	日本建築学会計画系論文集 673
文化財レポート 三木城跡と付城跡群の調査について	廣井 愛邦	日本歴史	764	近世京都における町家の軒役の変動 間口長さ3間との関係を考える材料として	丸山 俊明	” 674
				近世近衛家の屋敷について—近世公家住宅の復古に関する研究2—	藤田 勝也	” 675

平成24年定期刊行物所載文献(古/建築)

金沢藩の滑川の御旅屋と桐沢家について 金沢藩、富山藩の武士 休泊施設の研究 (その4)	岡田 永井 悟 康雄	日本建築 学会計画 系論文集	677	鎌倉時代庭園の研究	青木 達司	奈良文化 財研究所 紀要	2012
今出川殿における検 非違使別当邸庁始の 儀式と空間	梶 暁美	"	682	室内からの鑑賞にみ る枯山水庭園の構成	真木 利江 藤中 愛美	日本建築 学会計画 系論文集	681
史料散歩 大名屋敷 図にみる中奥について	畑 尚子	日本歴史	765	滋賀県の考古学20 名勝 朽木池ノ沢庭 園の日本庭園史にお ける位置付け—遺水 と流れの庭園意匠か ら—	宮崎 雅充	人間文化	31
口絵 明治初年の旧 大名屋敷(東京)	保谷 徹	"	769	表紙解説 毛越寺庭 園	佐藤 嘉広	文化財*	580
国指定史跡「聖寿寺 館跡」の調査成果— 平成19—23年度の調 査から—	永井 治	ふる里な んぶ	6	特集 名勝の保護 事例紹介1「津和野 百景図」と城下町の 庭園群の保護	中井 将胤	"	589
徳川園80周年特別企 画 尾張徳川家大曾 根邸と徳川園	原 史彦 蓬 左		85	美しき信長庭園 岐 阜の居館跡で発見 フロイス「日本史」と 一致		東京夕刊	11.17
ライトアップ[聚楽 第本丸石垣]		東京夕刊	12.22	金沢城 玉泉院丸庭 園 独創設計の滝 発掘調査 背景に石 垣、前田家ならでは	早川 保夫	読 売	5.23
<b>茶 室</b>							
<b>日 本</b>				<b>墳 墓</b>			
特集 第2部 茶の 湯の表現13「写し」の 茶室—もう一つの茶 室の美学	中村 利則	美術フォ ーラム21	25	<b>中 国</b>			
<b>その他の建造物</b>				中国甘肅省武威市磨 嘴子遺跡漢墓群の概 況と日中合同発掘調 査について	谷地 薫	秋田県埋 蔵文化財 センター 研究紀要	26
<b>中 国</b>				周惇頤の墓—その歴 史と現状	吾妻 重二	東アジア 文化交渉 研究	東アジア 文化研究 科開設記 念号
鷹島沖で発見された 蒙古軍船	松木 哲	海事博物 館研究年 報	39	<b>日 本</b>			
<b>日 本</b>				室町時代の墳墓堂跡 を発見!	平田 洋司	葦 火	158
江戸における巨大仮 設能劇場に関する幕 府の対応—寛延3年、 文化13年、天保2年、 弘化5年の一世一代 勅進能興行の事例か ら—	丸山 奈巳	日本建築 学会計画 系論文集	674	グスク時代における 支配者の墓の考察	武部 拓磨	よのつち*	8
飯田・下伊那地域の 農村舞台	金澤 雄記	"	682	牽牛子塚古墳と岩屋 山古墳—考古学から みた斉明陵—	白石 太郎	大阪府立 近つ飛鳥 博物館館 報	15
研究余録 金亀玉鶴 彦根城表御殿能舞台 建設の歴史的意味	渡辺 恒一	彦根城博 物館だよ り	96	仁徳天皇陵古墳前方 部の埋葬施設につい て	白神 典之	"	"
<b>庭 園</b>				シシヨツカ古墳の喪 葬儀礼	森本 徹	"	16
<b>日 本</b>				福島県谷地久保古墳 の埋葬施設について	関本優美子	"	"
平城宮北方における 苑池—「松林苑」と 「南苑」に関する一考 察—	本村 充保	古代文化	588	第8回三輪山セミナ ー—東京講演録 東国の出現期古墳と 大和政権	大塚 初重	大 美 和	122

上道氏と下道氏の相克—石棺の分布が示す地方の分断施策—	草原 孝典	岡山市埋蔵文化財センター研究紀要	4	調査・研究報告 チョット変だよ!富士市の古墳	志村 博	博物館だより(富士市博)	59
創刊750号記念大特集 古事記 日本の原風景を求めて もっと知りたい! 推古天皇が母と夫に捧げた陵墓	森 浩一	芸術新潮	750	歴史の眼		歴史評論	
建王の今城谷墓と酒船石遺跡	西本 昌弘	続日本紀研究	396	初めての天皇陵立ち入り観察—誉田山古墳(宮内庁呼称応神天皇惠我藻伏崗陵)内堤表面観察調査の報告と意義—	森岡 秀人		749
研究ノート 桓武天皇陵と仁明天皇陵の所在地—両陵の位置関係から—	渡里 恒信	"	398	2011年度の陵墓立会調査見学	白谷 朋世		752
福井県西塚古墳出土遺物の来歴調査について	清喜 裕二	書陵部紀要	63	弾圧逃れたキリシタン墓地 大分・臼杵市 16—17世紀 墓標54基や埋葬施設出土	早川 保夫	読 売	7.18
五十狭城入彦皇子墓の墳丘外形調査	徳田 誠志 清喜 裕二	"	"	4世紀の古墳に副葬品 大和政権 新潟まで影響	深谷 浩隆	"	10.2
景行天皇皇后播磨稲日大郎姫命 日岡陵の墳丘外形調査	清喜 裕二 横田 真吾	"	"	愛知・東之宮古墳 39年ぶり発掘 畿内に匹敵 丁寧な築造 前方後方墳 分かれる評価	早川 保夫	"	11.14
平成22年度 陵墓関係調査報告	陵墓調査室	"	"				
津田湾・津田川古墳群の検討	大久保徹也	徳島文理大学比較文化研究所年報	28	朝鮮			
阿波東部・吉野川下流域の前期古墳築造状況	栗林 誠治	"	"	朝鮮民族の先祖崇拝、先祖供養の起源について—高句麗古墳の形式と壁画を中心に—	ラブチェフ・セルゲイ	MIHO MUSEUM 研究紀要	12
南四国における前・中期古墳の展開	清家 章	"	"	建築部材など			
高縄半島における前期古墳の景観と瀬戸内海	柴田 昌児	"	"	日 本			
「古墳時代前期の四国島」研究会2日目に参加して	澤田 秀美	"	"	二条城展から 二の丸御殿飾金具 黒書院 花熨斗形釘隠 金色 ぜいたくな装飾	早川 保夫	読売夕刊	8.18
伊予における前期前方後円墳築造契機と他地域との関連について	富田 尚夫	"	"	建築に付随するその他			
墳墓と集落—研究会「古墳時代前期の四国島」のコメントに代えて—	信里 芳紀	"	"	中 国			
前方後円墳築造基盤の変化—高松平野における古墳時代前期の様相から—	乗松 真也	"	"	日 本			
垣内・潜伏キリシタン長墓墓碑群	大石 一久	長崎歴史文化博物館研究紀要	6	前期難波宮に釘を刺す!!	李 陽浩 華 火	日本建築学会計画系論文集	674
キトラ古墳の調査—第170次	若杉 智宏 廣瀬 智覚	奈良文化財研究所紀要	2012	木奥家所蔵大工道具調査	番 光	奈良文化財研究所紀要	2012
				賀茂別雷神社の役大工と儀式について	中西 日向 大 輔 進	日本建築学会計画系論文集	671

平成24年定期刊行物所載文献(古／建築)

萩藩の屋敷方「被仰出条々」制定の経緯とその背景	妻木曾我橋本	宣嗣友良孝成	日本建築学会計画系論文集	672
賀茂別雷神社の役大工と日常の活動について	中西日向	大輔進	〃	〃
賀茂別雷神社の役大工と営業権について	〃	〃	〃	673
留先法による二軒繁垂木の検証と変容過程 中世軒規矩術の研究 その2	大上西澤望月谷	直樹正浩義伸直樹	〃	676
引込垂木の変容—『独稽古隅矩雛形』と現代軒規矩術法—近世軒規矩術の研究 その3	〃	〃	〃	〃

## 近現代美術

## 絵画

## 一般

からんどりえ「暦」	熊田 司	えむえむ	2	「新具象の時代」	米山 将治	神田日勝 記念美術館 だより	30
水墨画の風景1 はじめにあたって	島尾 紫	新珠	水墨画* 277	資料紹介 東京国立 博物館蔵『日隅薩巡 回採摘品彙編圖』	小濱亜由美	九州産業 大学芸術 学会研究 報告	43
《空箱+油彩=空箱 絵画》—絵画の新 様式、新形体の研究 と開発—	阿部 端	大学院諸 究	8・9	昭和大嘗会屏風の史的 位置	中野 慎之	京都美学 美術史学	11
科学者によるサイエ ンスイラストレーシ ョン作成の実態	田中佐代子 小林麻己人 三輪 佳宏	筑波大学 芸術研究 報告	59	水曜会と『黎明』—明 治三十年代後半の京 都日本画の一動向	田中 修二	近代画説	21
コラム 招聘レポー ト 日本初の風刺雑 誌—横浜の「名物」	Sonia Hotwagner	非文字資 料研究	28	研究発表(要約)		" "	" "
発信し続ける『南京』 —文学に刻まれる記 憶	関根 謙	東京夕刊	4.5	「有翼の天女図」再 考—失われた「羽 衣」像	龍野 有子		
世界の絵本作家が寄 稿 震災チャリテイ ーでカレンダー	中村 陽子	"	10.24	植民地美術と「旅 行」—台湾におけ る作品をめぐって	蔡 家丘		
母と子父と子十選1 ~10	太田 治子	日 経	1.27、31、 2.2~4、6、 7、9、10、 14	明治から戦後初期 の石膏デッサン— 様式の変容—	瀬谷 裕美		
世界驚かした江戸の 絵本 単純な線で本 質描く蕙斎の「略画 式」を伝で復刻出版	クリストフ ・マルケ	"	7.3	熊本の戦後美術史・ 研究ノート「熊本の 画家12人」	井上 正敏	熊本県立 美術館研 究紀要	12
日本美術と影十選1 ~10	蔵屋 美香	"	9.25、27、 28、10.1、 2、4、5、8、 9、11	所蔵作品展特集 大 下藤次郎から中西利 雄へ—揺さぶられる 水彩画	都築千重子	現代の眼	593
パリに咲いた夢 ル ソーを巡る画家たち 十選1~10	原田 マハ	"	10.12、16、 18、19、22、 23、25、26、 29、30	特別展 自らを見つ める—画家と自画像	辻 智美	神戸市立 小磯記念 美術館だ より	37
美の美 文人って何 だ? 中 夏目漱石	宮川 匡司	"	11.18	「四つ目牡丹園」をえ がく—浮世絵版画・ 小説・俳句—	田口 文哉	さいたま 市大宮盆 裁美術館 年報紀要*	2
乗り物絵本、収集と 郷愁	関田 克孝	"	11.23	大正~昭和前期佐賀 県中等学校図画教員 —覧および図画教員 の「佐賀美術協会展 」への出品歴について	野中 耕介	佐賀県立 博物館・ 美術館調 査研究書	36
幻の花影十選1~10	志村 節子	"	11.29、30、 12.3~7、 11、13、14	学芸員通信 こよみ —当館所蔵資料のご 紹介—	久保田一郎	島根県立 古代出雲 歴史博物 館NEWS	25
いま風 水曜日 絵 本 出合い直せる奥 深さ	広松由希子	読売夕刊	6.6	錦絵揃物「東京自慢 名物会」「見立模様」 の研究—見立意匠に みる「江戸」「東京」の 交差—	大久保尚子	人文社会 科学論叢	21
資料・絵葉書「浅草」	山田 俊幸	一寸	50	特集 横浜・異国趣 味のイマジユリイ 「日本人離れ」の美学 —谷崎潤一郎をめぐ って	谷川 渥	大正イマ ジュリイ	7
明治・大正期を中心 とする近代京都洋画 壇の研究	石井 香絵	鹿島美術 財団年報 ・別冊	29				

## 日本

平成24年定期刊行物所載文献(近/絵)

発表要旨 第二十三回研究会 バレエ・リュスの紹介と受容—大正期のグラフィック・デザイン界を中心に—	田島奈都子	大正イマジユリイ	7	大正の記憶—絵葉書の時代—特集号		ミュージアム・レター	19
文人画再発見!—西谷コレクションを中心に—	伊藤 紫織	千葉県美術館ニュース C'n	65	I 出来事はどのように伝えられたか「瓦版」から「新聞」へ	鎌田 純子		
国絵図復元—巨大絵図制作の技術—	荒井 経 染谷 香理 平 論一郎 中村裕美子 杉本 史子	東京芸術大学美術学部紀要	50	II 絵葉書の誕生	長佐古美奈子		
戦中から戦後へ作家をたどる 4、5 関連美術団体(その1、2)	笹木 繁男	美術運動史研究会ニュース	124, 125	IV 写された大正時代	長谷川 怜		
「池袋モンパルナス展」から—三つの視点	小沢 節子	〃	126	鷲塚隆氏寄贈街頭紙芝居コレクションについて	刈田 均	横浜市歴史博物館調査研究報告	8
美人画を研究することの意義とその課題(上、下)—再興院展の出品作を事例としながら	角田 拓朗	〃	131, 132	歴史の証人 写真による収蔵品紹介 江戸景観図—近代の『江戸』表象(歴史画)によせて	岩淵 令治	歴 博	171
秋元酒汀と明治の日本画(二)	塩谷 純	美術研究	407	日本橋 描かれた400年	我妻 直美	朝 日	
第六十五回全国大会研究発表要旨 朝鮮美術展覧会研究序論—日本帝国占領下の朝鮮における、日本人画家および作品の検討—	日比野民蓉	美術史	173	1 定点観測 交通の要衝 名所絵の工夫			4.3
INFORMATION JOURNAL 「日本画」賞に変化の兆し? 第5回東山魁夷記念日経日本画大賞 「日本画」の行く末を日経日本画賞に見る	小金沢 智	美術手帖	971	6 高札場と人力車 明治の幕開け 象徴する姿			5.15
特集 画材大百科 定番から新製品まで! 日本画 絵画用膠の転換期を考える	北田 克己	美術の窓	343	11 交通の変遷 最新の乗り物行き交う要所			6.19
IV 所蔵資料目録 松岡家資料目録		文京ふるさと歴史館年報	15	12 都市・東京 天災・繁栄社会映した名所			6.26
寄稿 ポスターモデルにおける、時代の美人像 明治の広告における美人像	田島奈都子	マキエ	32	「炭都」夕張 絵に残す 小中学生の教材に		東 京	1.10
島根県初の私立和洋画学校「方園学舎」入門者一覧	西島 太郎	松江歴史館研究紀要	2	絵がつなぐ旧制高の誇り 卒業生の美術展「白線展」、全国行事の最後の砦に	細川 邦三	日 経	3.23
明治四十四年東京帝室博物館特別展覧会における模写—「小袖図」等服飾品模写図を中心に—	佐々木佳美	MUSEUM	636	模倣からの創造 近世と近代の日本美術 十選 1~10	野田 哲也	〃	5.8、10、11、14、15、17、18、21、24、25
				美の美 証言する絵画—戦争の時代1、2、4	宝玉 正彦	〃	8.12、19、9.2
				美の美 「コドモノクニ」とモダンニッポン 上・下	関 優子	〃	10.14、21
				美の美 歴史を描く 明治国家と美術 上・中・下	松岡 資明	〃	12.2、9、16
				生誕百年のつむじ曲がり十選 1~10	野地耕一郎	〃	9.6、7、11、13、14、17、18、20、21、24



海外								
ヴェネツィア絵画の系譜	クレメント・グリーンバーグ 森田 義之、 筒井 宏樹 翻訳・解題	愛知県立 芸術大学 41	41	連載 再建への意志 ：図面のなかの都市 復興 no.6 クスコ 1650年地震被害と地 震守護聖人の誕生	メンドサ島 田オルガ恵 子	建築雑誌	1633	
15世紀フランドル絵 画の絵画技法(2)	カトリーヌ ・ペリエニ ディエトラ ン 森田 義之、 吉野 斉志 訳	”	”	「印象」と筆触	六人部昭典	実践女子 大学美学 美術史学	26	
地誌的な指標として の都市の表象—16世 紀後半のアントウェ ルペンにおける都市 景観を伴う田園風景 の展開—	廣川 暁生	鹿島美術 財団年報 ・別冊	29	特集 美術と検閲		西洋美術 研究	16	
ブファリーニ礼拝堂 壁画とカラファ礼拝 堂壁画におけるフラン チェスコ会とドメ ニコ会の競合をめぐ って	荒木 文果	”	”	場違い	ジャン＝ク ロード・レ ーベンシュ ティン 水野 千依 訳			
Art Report in Asia 中国・最新アーティ スト事情第4回 近 代中国の書画	梶川 強	ギャラリー 一*	326	国民芸術か、退廃 芸術か ドイツ表 現主義美術の運命	大森 淳史			
ゾラの美術批評と印 象派—1879年と80年 の「印象派批判」を中 心に—	吉田 典子	近 代	106	研究ノート 初期 近世ドイツ美術に おける検閲をめぐ るノート	秋山 聡			
なにもない空間—サ ーンレダムの境界内 観画が示すもの	齊藤 栄一	芸術学研 究(明学)	22	研究ノート 絵画 を模倣する裸体展 示 タブロー・ヴ イヴァンから額縁 シヨウへ	京谷 啓徳			
大特集 浮世絵 vs. 世界のエロス 春画 ワールドカップ		芸術新潮	746	展覧会評 「ファン ・エイクからデュー ラーまで：初期ネー デルラント絵画の画 家たちと中央ヨー ロッパ 1430～1530年」 展	平川 佳世	”	”	
Team Turkey 君よ 知るや、愛のチュ ーリップ時代	ジラルデッ リ青木美由 紀			ルネッサンス期ヴェ ネツィアにおける画 家工房の制作形態に 関する調査研究	佐々木千佳	高梨学術 奨励基金 年報	H23年度	
Team The Euro- pean All-Stars ヌード大好き！ ヨーロッパの羞恥 と偽善	田中 雅志			17世紀のオランダ風 景画にみる気候変動 の影響	西崎 紀衣	豊田市美 術館紀要	5	
大特集 永遠のイス タンブール 東西の 美と出会う都 第IV 章 アッラーに捧げ る書、スルタンが愛 でた細密画 オスマ ンの都の美に酔う	ジラルデッ リ青木美由 紀	”	753	リソルジメントとマ ッキアイオーリの画 家たち リアリズム の問題について	谷藤 史彦	日伊文化 研究	50	
World News London 「ラファエル前派 ヴィクトリア朝の前 衛」展 19世紀美術 の反逆者 ラファエ ル前派の美意識革命	前橋 重二	”	755	第六十三回美学会全 国大会報告 発表要 旨 エクリチュール としての絵画—アル ベール・オーリエの 象徴主義—	伊藤 亜紗 美	学	241	

北インド丘陵地域における絵画工房の新展開—一七三〇年制作『ギータ・ゴウヴィンダ』組絵を中心に—

池田 篤史 美術史 172

ヴェッキオ宮殿、「公妃の間」四室の画像解釈—フィレンツェ公妃エレオノーラ・ディ・トレドの活動とその表象—

太田 智子 " "

平成二十三年度東支部例会

" "

メディチ版『聖アントニウスの生涯』(Medic. Palat. 143)と教会政治

茅根 紀子

フスト・マイスターとグーテンベルク聖書—装飾から読み解く画家とマインツ印刷所との関わり—

池田 真弓

プファリーニ礼拝堂とカラファ礼拝堂—一四八〇年代にローマで制作された両礼拝堂壁画におけるフランチェスコ会とドメニコ会の競合をめぐって—

荒木 文果 " 173

第六十五回全国大会研究発表要旨

" "

フスト・マイスターとカスパー・ラードハイマー—十五世紀マインツとハイデルベルクにおける装飾本研究再考—

池田 真弓

亡国のパトス、喪のトポス—共和国滅亡後のシエナ絵画における都市表象—

松原 知生

マグダラのマリア画像におけるオイルランプの象徴的意味について

秋元 優季

特集 中国と東アジア—近代のコレクション形成と研究の背景 第1部 関西における中国書画近代コレクションの形成 辛亥革命と京都国立博物館の中国絵画—上野コレクションと須磨コレクションについて

呉 孟晋 美術フォーラム21 26

チベット絵画における異種のブラウン—デュマルゲシェの混色理論—

小野田俊蔵 仏教大学宗教文化ミュージアム紀要\* 8

海外通信 「パリのシュールレアリスム」展 隠れた真実探す表現

里信 邦子 朝日夕刊 1.25

4「読ん」で知るアート 宗教画

中野 京子 "

「受胎告知」の多様な表現

8.22

「洗礼」の必須4点セット

8.29

「最後の晚餐」遠近法でリアル

9.5

「磔刑図」人間イエスへ

9.12

美の季想 神秘的な冬景色 輝く白に流れる祖国愛

高階 秀爾 " 11.28

美の美

日 経

フレスコに息づく夢 1~3

宝玉 正彦 1.8、15、22

マドンナの系譜 1、2、4

窪田 直子 5.13、20、6.3

中南米のヒロイン十選 1~10

田村さと子 " 3.12、13、15、16、19、20、22、23、26、27

ヨーロッパ宮廷の女性たち十選 1~10

石井美樹子 " 11.5、6、8、9、13、15、16、19、20、22

江戸博蔵めぐり

読 売

PARIS—La Tour Eiffel「世界最高」の興奮 伝える

岩城 紀子 3.2

FRANK LESLIE'S ILLUSTRATED NEWSPAPER サムライ 米紙にぎわす

真下 祥幸 4.13

素描4点 鑑定ようやく 旧松方コレクション 国立西洋美術館 立ち遅れる研究、未調査多数

井上 晋治 " 8.30

漫画・アニメーション

一般

アニメの不在性と観客性に関する理論的考察—クリスチャン・メッツ『映画と精神分析：創造的シニフィアン』の「アニメ理論」への翻案—

宮本 裕子 bandaly 11

例会・研究発表会要旨「作画崩壊」とは何か?	松野 敬文 美 学	241	BLの多様な歓喜 貴腐人、もしくは汚超腐人の密かな愉しみ	千田 有紀		
異聞逸聞 マンガ文化は永遠か	庄司 博史 みんなく	422	BLの多様な歓喜 純愛の証人としてのBL—BLにハマったある男の物語	サンキュー タツオ		
海外まんがフェスタ初開催 作家、愛好家ら国際交流		産 経 12.6	BLの多様な歓喜 マンガ表現学の視点から見たやおい	守 如子		
少女漫画「本場」パリで展示へ		毎 日 1.29	BLのとなりで 成熟と自由—遠い隣人から省みるやおい・BLの現在	石田 美紀		
「クールジャパン」を追いかけて 日本の漫画、アニメ、ゲームなどの研究雑誌『メカデミア』北米で刊行6年	内藤麻里子 毎日夕刊	8.16	「マンガ大賞」候補の6作品決まる		朝 日	2.20
夫婦・家族間の悩み目立つ 第14回広島国際アニメフェスを終えて	小野 耕世	〃 9.18	第16回手塚治虫文化賞 特別賞「あの少年ジャンプ」被災の子どもを笑顔に	宮本 茂頼	〃	4.23
漫画家、ファンが交流 18日に国際フェスタ	内藤麻里子	〃 11.12	コミック 僕らの漫画「僕らの漫画」制作委員会(作)27人によるチャリティー短編集	南 信長	〃	6.3
本よみうり堂 コミック館		読売夕刊	タブーに挑む格闘マンガ	小沢 一敬	〃	7.16
日本のマンガ 仏で人気 催事や専門店花盛り	待田 晋哉	4.23	復刻マンガ、書店でも ネット会社が渋谷に開店	上原 佳久	〃	10.2
アジアに広がるマンガ文化 日本のノウハウ「輸出」	小間井藍子	9.24	秋の読書特集 大河長編 尽きぬ過去との対話	鈴木 繁	〃	10.27
日 本						
アニメ聖地巡礼者の研究(1)—2つの欲望のベクトルに着目して—	谷村 要 大手前大学論集	12	勝ち負けだけが野球じゃない 「年俸」軸に人間模様・観客席が主役 ひとひねりしたマンガ人気 ファンのマニア化を反映	宮本 茂頼	朝日夕刊	1.21
所のうち・そと 第一次世界大戦と二つの日本漫画	高階絵里加 人 文	59	みんなのマンガ学 「青春の一冊」リクエスト集計 愛情と熱意ひしひしと	吉村 和真	〃	2.9
日本のマンガにおける「食」とはなにか	堅田 陽子 多摩美術大学研究紀要	26	アニメロボット、日産デザイン 女性らしい曲線美に特色	草下 健夫 産 経		1.24
書評 『私は利休』 原作/早川光 漫画/連打一人 監修/協力/木村宗慎 集英社二〇一二~		日本美術新聞 4	宇宙戦艦ヤマト 38年ぶりリメイク 初代に魅了された世代で製作	鶴野 光博	〃	3.31
社会人に便利な新クラス開設! 代々木アニメーション学院	杉瀬 由希 美術手帖	971	戦後漫画史に足跡 「ガロ」「COM」を語る 27日		東 京	1.21
戌も歩けば beau(ボー)に当たる 第三十三回 「はたちのりんかく」	竹田 博志 美術の窓	346	サザエさん家 間取り拝見 マンガや文芸作品の舞台、図面に100軒以上再現	影山 明仁	日 経	5.14
特集 BL[ボーイズラブ]オン・ザ・ラン!		ユリイカ 620				

平成24年定期刊行物所載文献(近/漫・ア、版)

文化往来 人形アニメ中心のミニシアター誕生へ		日 経	6.4	上海調査報告 テクストの読まれ方、創作と社会—村上春樹、ライトノベル、アニメ・マンガについて	姚 瑤 齊藤 遙 訳		
東京を彩る 漫画家の卵 全国から集え「トキワ荘」のあった街 地元ぐるみで街おこし		"	11.23	北京調査報告 都市の若者文化とキャラクター—北京におけるアニメ・マンガ、「軽小説」、同人活動の観察	趙 楠 千野 拓政		
絵の具一筋、アニメに命 アトム、ガンダム、トトロ…色を変えず半世紀	妻倉 一郎	"	12.4	台湾調査報告 台湾におけるライトノベル、マンガ、および同人活動の広がりについて	陳 柏青 張 文善 訳		
漫画家WEBが登竜門に 多彩な才能に出版社注目	諸岡 良宣	日経夕刊	5.14	香港調査報告 香港における村上春樹とサブカルチャー—アニメ、マンガ、ライトノベル	黄 微子 依田菜津子 訳		
入門講座 少女漫画のヒロインたち1〜5	藤本由香里	"	11.1、8、15、22、29	シンガポール調査報告 ライトノベル、アニメ、同人活動について	陳 宇昕、 楊 靜慧、 潘 惠盈、 原田 信 訳		
記者の目 「アートアニメ」に市民権をベルリン国際映画祭で銀熊賞 短編は多種多彩 採算性がネック	勝田 友巳	毎 日	3.2	業界リーダー 韓国アニメーション発展の主役たち	金 益煥 坂野 慎治 訳	コリアナ	19-1
本よみうり堂 コミック館		読売夕刊					
「花のズボラ飯」原作の久住昌之さん 食いしん坊主婦の食卓	佐藤 憲一		1.30				
京都の恋の物語がお勧め 乙女心くすぐる原風景	"		2.27				
大震災被災地のルポマンガ 鉄道や駅弁業者の奮闘記	"		3.26				
名作マンガ次々復活 「タッチ」の26年後など	小間井藍子		5.28			ギャラリ	321
「喪女マンガ」に熱い視線 「モテない主人公」に共感	佐藤 憲一		6.25				
歌舞伎マンガ花盛り 豪華けんらん別世界	小間井藍子		7.30				
人気の輪広がる「自転車マンガ」 シンプルで奥が深い	佐藤 憲一		10.29				
<b>海 外</b>							
東アジアのサブカルチャーと若者のこころ		アジア遊学	149				
東アジア諸都市のサブカルチャー志向と若者の心	千野 拓政						
<b>版 画</b>							
一 般							
				木製リトルプレス機—アトリエ MMG からの贈り物	神谷 佳男	金沢美術工芸大学 紀要	56
				Art Report in Asia フランスでも、日本でも版画工房が消えていく時代に中国・上海でリトグラフの技術を温存する 上海虹坊祇園版画工房			
				版画技法入門講座 リトグラフを作ろう 第2回 カラー・リトグラフ	佐竹 邦子 講師	版画芸術	155
<b>日 本</b>							
				もうひとつの古典知 前近代日本の知の可能性 幕末明治のかわら版と公共性	山田 俊治	アジア遊学	155
				「初摺り・後摺り」から 銅・石版画遺聞46	森 登	一 寸	51
				浮世絵商今昔 京都の浮世絵商について	山尾 剛	浮世絵芸術	164
				新出大阪版おもちゃ絵の歌謡資料紹介	小野 恭靖	大阪教育大学紀要	60-2

近代教育錦絵における 絵師選定—《文部 省発行錦繪》及び《教 草》をめぐる	井上 素子 芸 叢	27
日清戦争を描いた雄 誌『日清戦争記』と 『日清戦争図絵』のビ ジュアル表現	岡村志嘉子 国立国会 図書館月 報	611
ちりめん本『竹筧太 郎』に表れる「踊る 猫」	小林光一郎 年報非文 字資料研 究	8
メディアとしての近 代版画史 最終回メ ディアとしての口絵 版画—出版と提携し た明治の美しき版画 群・口絵の様々	岩切信一郎 版画芸術	155
Editor's Eye	松山 龍雄 "	
生きている「創作 版画」		156
「日本の現代版画」 とは		158
特集 「創作版画」の 潮流 自画・自刻・ 自摺の世界	"	156
「創作版画」自画・ 自刻・自摺からの 出発		
「創作版画」戦後の 躍進と展開		
創作版画の表現力 の強さ	志賀 秀孝	
特集 日本の現代版 画 1968—1992「現 代版画」の光と影	松山 龍雄 "	158
店前〔たなさき〕の戦 争—日清・日露戦争 錦絵と絵草紙屋(二)	向後恵里子 美術運動 史研究会 ニュース	125
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 2 ATELIER 神技テク ニックを徹底解剖5 アダチ版画研究所 伝統木版技法で現代 の浮世絵を創出	内田 伸一 美術手帖	974
東京文化考II 職人 粹で鯨背な江戸の技 アダチ版画研究所	美術屋・ 百兵衛	22
紙・豆知識 ことば から紙を知ろう! (十三) 『出雲の神 より恵比寿の紙』	平野 祐子 百万塔	141

海 外

台湾伝統版画研究の 歩みと現状	楊 永智 天理参考 館報	25
天公燈座と七娘媽亭	中尾 徳仁 "	"
Editor's Eye モード がアートになるとき	松山 龍雄 版画芸術	155

バロック絵画研究に おける、フランスの 新世代の研究者たち	木村 三郎 美術史論 集	12
租界とメディア研究 会「中国の煙草とカ レンダー広告が伝え るもの」	孫 安石 非文字資 料研究	27
4〔読ん〕で知るア ート 挿絵 一点一点 に「人間」の刻印	鹿島 茂 朝日夕刊	10.3

写真・映像

一 般

「人間家族」展(1955 年)の冷戦後の復元 による再解釈—1956 年の日本巡回展との 比較において—	土山 陽子 鹿島美術 財団年報 ・別冊	29
国立国際美術館の写 真コレクションにつ いて	竹内万里子 国立国際 美術館ニ ュース	189
シンポジウム「写真 の誘惑—視線の行方」 を振り返って	" "	192
新美術時評 私性と 写真のゆくえ—変容 する「作品」の輪郭	光田 ゆり 新美術新 聞	1271
SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 1 Critique 1 デジタ ル写真、この未知の 領域	清水 穰 美術手帖	971
INFORMATION JOURNAL 慰安婦問 題と表現の自由 厳 重警戒下での“元「慰 安婦」”写真展	タカザワケ ンジ "	973
映像作品の展示に関 する考察	松永真太郎 横浜美術 館研究紀 要	13
文化の扉 はじめて の銀塩写真 暗室か ら生まれる豊かな表 現	西岡 一正 朝 日	10.29
海外通信 @ニュー ヨーク 「作りもの —フォトショップ以 前の写真操作」展 「詐術」も芸術表現の 一つ	富井 玲子 朝日夕刊	11.28

日 本

映像メディア表現に 関する一考察—ルネ サンス—京都・映像 ・メディアアート展 の開催を通して	二瓶 晃 大阪成蹊 大学芸術 学部紀要	8
史料解題 近代神戸 の風景—レファート 写真コレクション—	吉原 大志 海港都市 研究	7

明治期における写真概念と「写真的なもの」—写真の視覚性とメディア性コンセプトを中心に—	脇田 美央	鹿島美術財団年報・別冊	29	この1年 写真表現意欲をどう保つか	飯沢耕太郎	〃	12.5
近代画説と写真	木下 直之	近代画説	21	ぎゃらりいモール 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館「つかこうへいの70年代」から「劇団暫公演『郵便屋さんちよっと』舞台写真」	星野 高	読売夕刊	5.8
嘗百社と写真—統合された写真史に向けて	福岡 真紀	〃	〃	「加藤隼戦闘隊」絵コンテ発見 戦時下 高い特撮技術	〃	〃	5.9
特集2 写真の現在 4 そのときの光、そのさきの風		現代の眼	594				
反復の空間—一九七〇年代以降の自主ギャラリー	富山由紀子						
「写真作家」たちの自主ギャラリー	タカザワケンジ						
「明治三十三年 小金井遠乗集合写真」—作品紹介及び資料的価値の考察	松谷 美美	三の丸尚蔵館年報・紀要	17				
日本の芸術写真—写真史における位置をめぐって—特別講演録—	金光田 隆一 竹葉 由里 葛谷 典子 堀 宜雄	東京都写真美術館 紀要	11				
リアリズムとプロパガンダ	金子 隆一	〃	〃				
第17回学生 CG コンテスト受賞作品決定! 伝えたい気持ち、直球勝負!	永峰 美佳	美術手帖	962				
明治二八年の写真術—『京名所写真図絵』に見る観光のまなざし	岸 文和	文化化学年報	61				
レビュー 第16回アートフィルム・フェスティバル	酒井 健宏	R E A R	28				
「見えない」部分に魅せられる 東京都写真美術館で「日本の新進作家」展	新谷 祐一	朝日夕刊	1.25				
近代化の礎となった御聖徳 明治天皇崩御100年 新潮社が「明治天皇大葬儀写真」復刻	竹田 恒泰	産 経	7.30				
写真が切り開く新たな歴史研究 時代の生活や日常風景「誰が」「いつ」特定で証言者に	松岡 資明	日 経	1.7				
路上から 日本の近現代写真十選 1~10	大竹 昭子	〃	4.17、19、20、23、24、26、27、30、5.1、3				
連続個展とシンボで「写真と大震災」考える	岸 桂子	毎日夕刊	2.20				
				海 外			
				『人間家族』展再考	犬伏 雅一	芸術文化研究	16
				彫刻・空間表現			
				一 般			
				裸体像はアートか	大西 若人	国華清話会会報	19
				塑像作品におけるFRPを補強材としたセメント成形技法とその可能性についての一考察	森田 一成	崇城大学芸術学部研究紀要	5
				美術解剖学を体験 骨格学ひ彫刻に生かす		読売夕刊	6.23
				日 本			
				日本彫刻考(2)	芝山 昌也	秋田公立美術工芸短期大学 紀要	16
				忘れられた記憶—前田慶寧像について	森 仁史	一 寸	50
				忘れられたもうひとつの銅像—横山隆興像	〃	〃	51
				近代日本彫刻と石膏師—宮島—を中心に	吉田 朝子	近代画説	21
				研究発表(要約) 銅像か建築か—京都の創建神社と明治前期の「モニュメント」概念	清水 重敦	〃	〃
				彫塑表現における素材と形態について 明治以降の具象表現を中心として	酒井 恒太	芸術学研究(筑波)	17
				街角アート 寅さんの故郷の「龍」	星野 清一	新美術新聞	1268
				答礼人形「ミス徳島」に関する米国ノースウエスト芸術文化博物館所蔵資料	大原 賢二 長谷川 賢二	徳島県立博物館研究報告	22
				明治の彫塑—塑造対木彫という観点から	山本 成子	PATIO	29

さまよう銅像—四天王寺に設置された二銅像についての事例研究—	森山 貴之	文化学年報	61	1878年パリ万博の舞台裏—セーヴル製作所と日本	今井 祐子	日仏美術学会会報	31
「股間若衆」が話題 男性裸体彫刻の「受難史」	黒沢 綾子	産 経	6.20	みんぱく 私の逸品 蓋付菱形香炉の置物	ヨーゼフ・クライナー	みんぱく	422
「大空の女神」に思い再燃 戦時中戦闘機事故 根絶願い 投身作家と元韓国軍大佐胸像安置計画 「遺志を伝え鎮魂してもらいたい」	今仲 信博	〃	8.15	4 [読ん]で知るアート 民芸の美	尾久 彰三	朝日夕刊	
交遊抄 期待するも奇態	宮脇 修	日 経	8.8	日常にみる究極の造形			11.14
				市井の職人が生む美			11.21
				美は人間の肉体に通じる			11.28
				平凡なものほど最高である			12.5
<b>海 外</b>				織物 手仕事の技は多彩 世界には四角形以外に輪状・枝状…、異形が存在	吉本 忍	日 経	9.5
ヴィンチェンツォ・ダンティあるいは彫刻家の生態誌—《ネプトゥヌスの噴水》から《虚偽に勝利する名誉》へ—	森 雅彦	鹿島美術財団年報・別冊	29	<b>日 本</b>			
「時はめぐりぬ」(Les temps revient!)—ボッジョ・ア・カイアーノ山荘のフリーズ装飾と15世紀イタリアの君主観—	石黒 盛久	金沢大学歴史言語文化学系論集	4	匠のかたち 「組子」	石黒 知子	A X I S	159
貧民の路地がアートの辻に変わる—プラハのアルヌーヴォー・タウン	田中 充子	京都精華大学紀要	41	大阪と漆工	土井久美子	大阪市立美術館紀要	12
World News Tivoli 「アンティノウス 美の誘惑」展 ハドリナスも首ったけ! “きみはやっぱり美しい”	高橋 恵理	芸術新潮	750	沖縄の伝統色に関する調査研究—沖縄の色とは、その産業化を目指して—	北村 義典 名護 朝和 大城 亮子 亘保 秀一	沖縄県立芸術大学紀要	20
アメリカアート事情 ニューヨークの野外彫刻群 都市の中に作品を解放	後藤トキ子	美連協ニュース	113	近代日本の陶芸家と古陶磁—昭和戦前期における受容と研究の状況から—	花井 久徳	鹿島美術財団年報・別冊	29
				日本の金箔製造における澄打紙に関する研究	山崎 達文	金沢学院大学紀要*	10
				特集:「近代日本工芸 1900—1930 —伝統と変革のはざまに」展記念国際シンポジウム「東西文化の磁場」		京都国立近代美術館集	4
<b>工 芸</b>				パリ日本文化会館におけるシンポジウム「東西文化の磁場」について	山野 英嗣		
<b>一 般</b>				パリで開催された2つの万国博覧会と近代日本工芸 1900—1930年	松原 龍一		
特集1 越境する日本人 高麗青磁の「復興」—三和高麗焼から日本陶磁の海外進出を考える	岡本 隆志	現代の眼	593	明治・大正期の陶芸作家による、伝統と革新のはざまでの中国古陶磁器の倣製品の制作について	出川 哲朗		
特集2 「現代の座標—工芸をめぐる11の思考—」について その定式の発見と解体	関島 寿子	〃	596	装飾における日本的なもの	加藤 哲弘		
サントリー美術館所蔵のカット・切り作品の調査報告	土田ルリ子	サントリー美術館研究紀要	1				

平成24年定期刊行物所載文献(近/工)

表紙の言葉 黒漆苦瓜堆錦文庫	(又吉)	きよらさ	69	東日本大震災 被災窯業地からの報告 後篇 被災報告 大堀相馬焼	編集部 陶 説	〃
研究発表(要約)			近代画説	21		
起立工商会社の輸出工芸品製造事業に関する考察	安永 幸史				尾崎 真人	日展ニュース 146
工芸指導所と竹工芸一三〇年代モダンイズムから五〇年代ジャパニーズ・モダンをめぐるシンボリズム	村上 敬				竹田 梨紗	阪急文化 3
特別レポート 「工芸」はどこへ向かうのか 前編 表現としての工芸	橋本 麻里	芸術新潮	752	近現代における染織文化財の価値形成について	河上 繁樹	美学論究 27
早わかりニッポン 近代工芸史						
日本人の世界観は工芸に宿る					松原 史	美術史 173
「使ってなんぼ」の工芸未来派茶会						
特別レポート 「工芸」はどこへ向かうのか 後編 産業としての工芸 危機に直面する伝統的工芸品産業 輪島のいま、これから	〃	〃	753	起立工商会社の輸出工芸品製造事業に関する考察	安永 幸史	美術史論集 12
日本の紙を守る―「紙守」の北見音丸氏に聞く	小林 聞き手 忠	国華清話会会報	20	特集 茶の湯―スキの芸術 第2部 茶の湯の表現 和物茶碗と近代の茶の湯	岡 佳子	美術フォーラム21 25
館蔵の紅型型紙について	丹羽理恵子	サントリ―美術館研究紀要	1	香川文化考 受け継がれる伝統の技 香川の漆芸		美術屋・百兵衛 20
明治期の出雲焼―出雲・布志名焼の輸出陶器の変化について	河野 克彦	島根県立石見美術館研究紀要	6	東京文化考II 職人粹で鯛背な江戸の技		〃 22
旧東宮御所(迎賓館赤坂離宮)の室内意匠及び家具調度品の研究	小泉 和子	住総研研究論文集	40	東京カットグラス工業協同組合 篠原風鈴本舗		
新見漆レポート	白澤 陽治 中嶋 莉恵 永井 律子	東京芸大保存修復彫刻年報*	2011年度	佐賀文化考 やきもの王国・佐賀県(唐津焼・有田焼)		〃 23
資料紹介 明治の刀剣会	新井 重熙	刀剣美術	667	松村辰昌書翰にみる姫路永世舎	山本 和人	姫路美術工芸館紀要 8
二〇一一年の極私的ベスト5	井上 隆生	陶 説	707	播磨木工芸の系譜 補遺	岡崎 美穂	〃 〃
抹茶碗の魅力	鈴木 皓詞	〃	708	一般研究 「漆の復興と保存活動―第1期計画―」報告	大塚 智嗣、新宅 智也、桐原 絵梨子	広島市立大学芸術学部紀要 17
分館 爲三郎記念館 特別展 作家たちの古今―二十年の歩み―	唐澤 昌宏	〃	709	細線細工小考	林 志瑛	文化財学報 30
関東大震災とやきもの	小松 久人	〃	713	研究ノート 伝統工芸有田焼の商品開発動向―歴史的前提から第2次大戦後・現代まで―	外山 徹	明治大学博物館研究報告 17



特別講義抄録 和食器専門店から見た伝統工芸の今	「伝統的工芸品の経営とマーケティング」プロジェクト推進部会	〃	〃	手まり模様美に胸弾む 草木染の糸で作る「讃岐かがり」の技法保存	荒木 永子	〃	6.14
特集1 知られざるやきもの黄金期 明治一大正の日本陶磁のスターたち		目の眼	430	江戸の伝統工芸に脚光 夏の節電 涼求める すだれ マンションで需要 扇子出荷、例年の3割増		〃	6.19
世界を相手に戦った近代陶芸の作り手たち	服部 文隆 大槻 規子 花井 久徳 山田 博規			阿波藍の伝統 色あせせず 栽培から一貫生産の19代目、本物守り続け60余年	佐藤 昭人	〃	8.20
輸出陶磁を追いかけ続けることは謎を解き続けること	田邊 哲人			展覧会や産地巡り専門誌登場 こけし ポップ薫る	窪田 直子	日経夕刊	2.28
特集 ニッポンの赤絵 九谷焼最前線 新しいKUTANIのかたち	編集部	〃	435	京友禅、紅型…伝統の職人技を手軽に体験 自分の色に染める楽しさ	山田 和馬	〃	12.1
作品紹介 小富士焼一池田コレクション	行俊 勉	野洲市歴史民俗博物館研究紀要	16	ひと 「戦争柄の着物」を収集し、研究する 乾淑子さん	上杉 恵子	毎日	11.3
特集2 現代陶芸と造形 バイオモルフ陶芸の有機的抽象表現	渡部 誠一	R E A R	27	染める・織る 高い伝統技術 昭和30～40年代の映像集		読 売	10.12
特集 共同研究 歴史表象の形成と消費文化 民芸運動と産地一佐久間藤太郎と益子一	濱田 琢司	歴 博	173	ぎやらしいモール 八王子市夢美術館「オールドノリタケのなかの女性たち」から 「グリーンアイシリーズより通称『デイジー』」	川俣 高人	読売夕刊	10.9
歴史の証人 写真による収蔵品紹介 ヤクスギ工芸品	柴崎 茂光	〃	174				
「根付」価値を再発見 高田宮妃久子さま	北野 隆一	朝 日	9.12	海 外 あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第90回 東アジアの陶藝はどこにゆくのかわ	稲賀 繁美	あいだ	197
被災地の織物守る 東北の伝統工芸打撃南青山 販売会で職人鼓舞		東京夕刊	9.24	World News Birmingham 「ルック・オヴ・ラヴ スカイヤー・コレクションの眼のミニアチュール」展 恋人を見張る？ 見守る？ 恐るべき「眼ちから」コレクション	前橋 重二	芸術新潮	749
笠間焼作家再興へ結束 銀座で31人作品展 「震災後も元気」アピール	成田 陽子	〃	11.7	綺想のパロック的東洋趣味ーリヒテンシユタイン侯爵家コレクション所蔵「ムガル大帝」連作タペストリー	森川もなみ	国立新美術館ニュース	24
200年企業 187ー成長と持続の条件 仏師の誇り、鎌倉彫に刻む 博古堂、花瓶・照明にも挑戦	竹田 忍	日 経	2.6	聚美滴滴 デイジョンの水差	杉本秀太郎	聚 美	5
暮らし支えた窯守り 抜く 仙台で2度の大地震乗り越え、堤焼きの歴史伝承	渋谷セツコ	〃	2.17	カナボウコレクションのコプト染織品蒐集とその来歴	石井 美恵	女子美術大学研究紀要	42
飾り陶磁器 瀬戸の熱き日 窯業の都のノベルティ、最盛期300メーカーひしめく	中村 儀朋	〃	4.5	17-18世紀にヨーロッパで造られた刀の微細構造	北田 正弘	東京芸術大学美術学部紀要	50

ルックウッド・ポタリーのジャポニズム	五味 良子	東洋陶磁	41	プロダクトデザインの活動指針(ガイドライン)の提案 (文bun・美bi・構kou・進shin・感kan)	戸谷 一雄	名古屋造形大学紀要	18
批評 東南アジアの陶芸家たちと中国の陶芸村構想	村山 閑	REAR	28	美・博ピックアップ個性際だつ「用の美」印刷博物館「世界のブックデザイン」	杉田 裕美	朝日夕刊	1.4
アール・デコ 光のエレガンス 2 国立セーブル製陶所 天井灯 「産業」を「アート」で装飾	フランソワーズ・モレシヤン	東京夕刊	7.18	ものづくりの力海外へ 日本産地支援活動に外国人デザイナー協力 モダンな南部鉄器など、国際見本市で注目	永田 晶子	毎日夕刊	5.28
ぎやらりいモール		読売夕刊		デザイン季評 情報「拡散」興じる若者	生井 英考	読 売	11.29
大倉集古館「蒐めて愉しむ鼻煙壺」から「雪片ガラス三彩壽字唐草文鼻煙壺」	田中知佐子		3.13				
パナソニック 汐留ミュージアム「アール・デコ 光のエレガンス」から「天井灯」 国立セーブル製陶所	岩井美恵子		8.28				
<b>デザイン</b>				<b>日 本</b>			
<b>一 般</b>				東京ミッドタウンアワード 2012 デザインコンペ			160
平山英三訳「カンニツツ氏紋様論摘訳」について	天貝 義教	秋田公立美術工芸短期大学紀要	16	丹青社「シェルフプロジェクト」	今村 玲子		” ”
from the World オートデスクが考える5つのトレンド	瀧口 範子	A X I S	158	第7回金の卵オールスターデザインショーケース	”	”	”
産学共同の正しいやり方 プロジェクト26「東京工芸大学とトヨーキッチンスタイル」	今村 玲子	”	159	ショーウインドウの中の造り物—金沢における店頭装飾の近代史—	大門 哲	石川県立歴史博物館紀要	24
デザイン専門誌「工芸ニュース」をめぐる1~4	柏木 博	学 鏡	109-1~109-4	書架のあいだから1960年代・美術とデザインの間	伊村 靖子	国立新美術館ニュース	24
正方形2×2—芸術工学的「正方形」研究II—	井上 貢一	九州産業大学芸術学会研究報告	43	表紙解説 《型紙波濤》	馬淵 明子	ジャポニスム研究	32
INCLUSIVE DESIGN NOW 2011 開催報告	塩瀬 隆之	京都大学総合博物館ニュースレター	26	駐日大使館建築の基礎的・実証的研究—建築史料、外交文書、ならびに旧華族への聞き取り調査に基づく検討—	奈良岡聰智 主査 小川原正道、川田 敬一、土田 宏成、梶原 克彦、水野 京子	住総研研究論文集	39
ユニバーサルデザインの地域への浸透方策に関する研究 その2	古瀬 敏 根本 敏行 三好 泉 坂本 鐵司	静岡文化芸術大学研究紀要	12	研究の窓 日本で初めて 小鳥の声をラジオ中継 ポスター「新緑と小鳥と戸隠」	原 明芳	長野県立歴史館たより	71
子どものためのデザイン—キッズサイズデザイン概論II—	春日 明夫	東京造形大学研究報	別冊11	明治末期から大正初期の日本における工業意匠概念について—明治四十二年(1909)意匠法を中心に—	天貝 義教	美 学	240

特集 最新! ミュージアムグッズ案内 デザインプロセスにも 工夫 地域アート プロジェクトのオリジナルグッズ	桑原 康介	美術の窓	351					時代を超える生活の中 の美 森と湖の国 フィンランド・デザイン	土田ルリ子 内海 陽子 インタビュー ・構成	サントリ ー美術館 ニュース	242
本の舞台裏 装丁家 の意気込み	上原 佳久	朝 日	10.21					資料紹介 旧東ドイツ 芸術研究者蒐集の 中国ポスター—1953 年代京劇ポスターから 1960年代文革ポス ターまで—	磯部 彰	東北アジ ア研究セ ンター叢 書	49
葉袋に見る時代の 変遷 「売葉さん」の置 き葉、庶民的な絵柄 が魅力	高橋 善丸	日 経	1.16					香港トップクリエイ ターのダニー・ヨン 氏来日 香港デザイ ナーズウィーク		美術の窓	346
若手デザイナーすく すく 台東区の創業 支援施設 ものづく り・経営学が「卒業」 区内で開業、活性化 に一役			11.20					『クワドロード・ブ ラット』—1950年代 ~1970年代オランダ、 エディトリアル・デ ザインの実験と実践—	西村 美香	明星大学 研究紀要	20
らいふプラス 若手 デザイナー作品集 めたセレクト店 こだ わり派に魅惑の一点 物	小野由香子		12.8					ヒトとモノ(4)	徳川 家広	目の眼	425
<b>建 築</b>											
一 般											
「地域とデザイン」問 う動き 文化や歴史 製品群に息づく	井上 晋治	読 売	9.6					これからの都市住宅 を考える—東京とチ ューリッヒの建築家 たちのまなざし	鴨澤 章子	A X I S	158
江戸博蔵めぐり 映 画「ふるさと」ポス ター トーキョー作品の 夜明け	杓沢 博行		9.28					連載 建築の争点		建築雑誌	
<b>海 外</b>											
技術とクリエイショ ンの交流を促す「デ ンマーク木製家具職 人展」という活動	上條 昌宏 編 集 部	A X I S	155					no.1 モダニズム 建築って何?	大田 省一		1628
高齢者と若者が集 う場、シニアデザイ ンファクトリー	鴨澤 章子		157					no.4 「コンパクト シティ」と「間」に ある都市	村山 顕人		1632
from the World								no.5 反・脱コン クリート—コンク リートは再び滅亡 するのか?	野口 貴文		1633
グラフィックの今 を伝える「ナウ ・イン・プロダク ション」展	吉田 実香		159					no.6 オープン(ソ ース)デザインの 胎動と、建築的知 のゆくえ	田中 浩也		1634
“華の都”をデザイ ンで彩る、2つの イベント	上條 昌宏		160					no.8 環境共生— 共に生きるとは	林 昭男		1637
インスピレーション インテリア 21世紀 のパウハウスが向か うところ	土田 貴宏							no.9 アルゴリズム と構造デザイン	斎藤 公男		1638
メディア・ラボ「キ ッチン・ブダペスト」 の生み出す世界	中島 恭子							no.10 幼保一体 の環境ギャップ— 大人と子どもが育 ちあう保育建築を	佐藤 将之		1639
World News New York 「児童の世紀」 展 子供のおもちゃ で見る20世紀デザイ ン史	由本みどり 取材	芸術新潮	754					聚美秋題 ヴェルサ イユ宮殿と東照宮、 または日本のバロッ ク	千足 伸行	聚 美	5
								WAVE.1		日 経	5.1
								高さが知らせてく れること	安部健太郎		

平成24年定期刊行物所載文献(近/建)

空が近づく高揚感 アーケード(東京) とガレリア(イタ リア)	大谷 真幸				コラム 伝統と近代 化の狭間で一庄内に 残る木造建築が伝え る東北の流儀	志村 直愛	建築雑誌	1626
縞のダブルスタン ダード	柳下 朋子	日 経	6.14		コラム 日本近代建 築と宮城天然スレー ト	後藤 治	" "	
人と環境 関係回復 の模索	高野 清見	読 売	1.5		連載 建築の争点 no.2 サステイナブル ・デザインとは何か。 —3.11以降の建 築家	難波 和彦	" "	1629
建築季評	中川 理	"			連載 地域いろいろ ・多様な日本		"	
縮退化見据えた役 割模索			9.27					
「記念性」問われた 一年			12.27					
日 本					no.2 北九州の近 代化遺産—さまざま な保存と活用例、 まちの魅力	市原 猛師	"	
国指定名勝『旧池田 氏庭園・洋館』の研 究 I	澤田 享	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	16		no.3 小さな町の 廃校舎が変身—徳 島・上勝町	杉本真理子		1631
インスピレーション 建築	ぼむ企画	A X I S			特集 広島[ヒロシ マ]・長崎[ナガサ キ]		"	1635
復興のベースとな る「場」をつくる			155					
東京スカイツリー を見る、2つの建 築			158		第1部 座談会 建築家は広島にど う向き合ったか— (集住体)としての 基町高層アパート と原爆スラム	千葉 桂司、 藤本 昌也、 矢野 正和、 砂本 文彦、 初田 香成、 青井 哲人 聞き手		
大谷光瑞「国家の前 途」を考える 第三 部 大谷光瑞とその 時代—人間光瑞に迫 る		アジア遊 学	156		第2部 「ヒロシ マ」から考える持 続的都市論	杉本 俊多		1635
大谷光瑞とその生 涯に関わる建築に ついて	菅澤 茂				茨城県「五浦六角堂」 復興プロジェクト進 む 流失から13ヶ月 —来る4月17日に竣 工式を予定		新美術新 聞	1272
コラム 上海別院 —幻の大仏塔	足立 沙織							
近代建築 ディテール の美 近代洋風建 築はどう再生されて きたか	石田潤一郎	アプロー チ*	200		特集 横浜・異国趣 味のイメージリイ 赤煉瓦の大正と現代	天内 大樹	大正イマ ジュリイ	7
れきはくトリヴィア 軍部金沢の面影—歴 史博物館石引分室—		石川れき はく	103		資料紹介 スタイル ブックとしての『建 築写真類聚』	中村 裕太	" "	
細川家の建築	藤森 照信	永青文庫			日本初の回転展望台 京山八方閣の意匠と 岡山電気軌道	白井敬太郎	多摩美術 研究	1
4 赤倉の別荘			77					
5 湯河原の不東 庵			78		旧日光市に於ける華 族等の別邸について	安生 信夫	日光山輪 王寺	81
6 四つ御廟			79					
7 御祠堂			80		日本庭園の癒し評価 スケールにおける特 徴—西洋庭園との比 較を含めて—	松本 洸	日本大学 芸術学部 紀要	55
旧大阪府庁舎跡出土 煉瓦補遺	市村慎太郎	大阪文化 財研究	41		歴史手帖 明治期の 神社建築と装飾彫刻 —葺不合神社本殿の 装飾彫刻と彫刻大工 —	河東 義之	日本歴史	772
研究発表(要約) 六 角堂の被災と再建計 画	金子 一夫	近代画説	21					

報告「モダン都市 京城の巡礼 鍾路・ 本町」巡回展報告	富井 正憲	年報非文 字資料研 究	8	リレーエッセイ7 新しい劇場をつく る	上栗 陽子		
VIEW(建築)「雅谷 山荘」の建築的魅力 ～小林一三の想いを 伝える佇まい～	松隈 章	阪急文化	3	創造する劇場へ 地域の劇場文化を 日本の顔に	清水 裕之 永井 聡子		
視点 3・11以降の 建築の動向を海外に 伝える	五十嵐太郎	美術の窓	344	メタポリズムの未来 都市展 ―戦後日本 ・今甦る復興の夢と ビジョン―	佐藤 美弥	歴史学研 究	892
特集 茶の湯―スキ の芸術 第2部 茶 の湯の表現 現代建 築家による茶室	藤森 照信	美術フォ ーラム21	25	甲乙閑話 際立つ日 本の建築家	大西 若人	朝 日	9.17
淀屋橋・大江橋の意 匠設計図案懸賞競技 の意義―橋梁による 都市景観構築につい ての一考察―	清瀬みさを	文化学年 報	61	木造モダニズム幸せ の空間 愛媛・日土 小の校舎、国の重文 に	"	"	10.31
口絵解説		文化財*		銀座で時を刻み80年 和光時計塔記念ライ トアップ		産 経	6.7
新上五島町北魚目 の文化的景観	鈴木 地平		581	消えた偉人・物語 高尾亮一と昭和の名 匠たち 新宮殿造営 の偉業	占部 賢志	"	8.25
名勝平和記念公園 (広島県広島市)	江崎 一博		589	歴史ある洋館で結婚 式 広がる「改修で 式場」文化財保護 にも一役		"	9.7
連載・文化財を活か す		"		浅草のシンボル「凌 雲閣」復活へ 六区 最後の映画館跡地 地元歓迎「歴史再現 される」	村松権主磨	東 京	10.23
第9回 町並みと ともに「活きる」― 高山市三町・下二 之町大森町伝統的 建造物群保存地区 ―	岩田 崇		582	神田の銅板建築 来 月取り壊し 惜別 薄緑色の家 図面保 存など学生協力	井上 幸一	東京夕刊	9.4
第12回 旧山形県 庁舎及び県会議事 堂―復原された「文 翔館」の活用―	折原 弘一		585	赤れんがものがたり 東京駅復元 技尽く し先人に迫る 上 困難極めた工事	末松 茂永	"	10.2
第14回 東京都の 庭園を活かす	高田 賢一	"	587	京都会館改築計画を 問う 「美と調和」の 破壊 建築遺産より 機能優先	松隈 洋	"	10.9
特集 名勝の保護	中島 義晴	"	589	どこでも探検隊 旧 白洲邸「武相荘」(東 京・町田) 和洋の 美求めた夫妻の足跡		日 経	3.20
近代の庭園・公園 等に関する調査研 究について				時代が育てる迷宮 渋谷駅 近代化の変遷、 模型製作し解き明か す	田村 圭介	"	4.12
名勝に関する総合 調査事業について				WAVE.1 通天閣の 謎 天に通じる街の シンボル	大谷 真幸	"	5.1
県内の民家調査につ いて2 ―五ヶ瀬町 の茅葺き屋根の音き 替え聞き取り調査―	小山 博	宮崎県総 合博物館 研究紀要	32	交遊抄 城下町の友	杉本 和行	"	8.10
A La Meiji―mura 明治のタイムカプ セル		明治村だ より	70	日本における「劇 場」の概念	大月 淳		8.20、21、 23、24、27、 28、30、31、 9.3、4
特集【劇場はだれ のもの?】		R E A R	28	劇場の可能性?	港 大尋		
日本における「劇 場」の概念	大月 淳			日本のモダンホテル 十選 1～10	米山 勇	"	8.20、21、 23、24、27、 28、30、31、 9.3、4
劇場の可能性?	港 大尋						

平成24年定期刊行物所載文献(近/建、他)

復興祈った装飾は残った 関東大震災後に急増「テラコッタ」の歴史ひもとく	後藤 泰男	日 経	9.7	ウィーン、シュテファン大聖堂の《鷲門図》と《天蓋図》—ゴシック末期における設計図・見本帳・理想図の展開—	岩谷 秋美	東京芸術大学美術叢	8
ニュースクール 東京駅を復元、なぜ?		〃	9.29	旧レイランド邸食堂「孔雀の間」	藤田 啓子	富山市箕牛人記念美術館館報	19
東京駅 創建時の姿で開業 赤れんが威容再びさらに		日経夕刊	10.1	近代植民地文化遺産の保存に関する研究 旧朝鮮総督府撤去過程を中心に	白 孝卿	日本建築学会計画系論文集	671
建築	五十嵐太郎	毎日夕刊		アーキテクチュラル・アソシエーション創設時における建築教育の理念と内容 1847年から1859年を中心に	渡邊 研司	〃	677
3.11以降の建築をめぐる展覧会「震災後」世界も注目			3.29	内部架構構成からみたトルコ共和国東部チェンギリ・キリセの特質	藤田 康仁	〃	682
東京スカイツリー 独自性を追求 ハイテク和風の塔			7.31	例会・研究発表会要旨	美 学		
都市に豊かな陰影よみがえった東京駅	鈴木 博之	毎日夕刊	10.17	工芸美術館の建築デザイン—イタリア・ルネサンス建築の受容と逸脱	足立 純子		240
日土小にモダニズム賞 愛媛・八幡浜 50年代の校舎を再生	手塚さや香	〃	〃	オスマン帝国ドーム式大モスクにおける装飾と空間	瀧川 美生		241
この1年 建築 誕生・復原…東京のシンボル	鈴木 博之	〃	12.12	生まれ続けるバロック建築 ウィーンの街、時を超え うねる造形湧き起こる好奇心	大西 若人	朝日夕刊	12.5
本よみうり堂 文・写真倉方俊輔 「ドコノモン」	(清)	読 売	2.26	文学の英国庭園巡り 作家の想像力かきたて、作品の重要な要素と知る	安藤 聡	日 経	1.13
建築季評 震災 負の遺産をどう保存	中川 理	〃	3.29	欧人異聞 エッフェル、都市の冠としての高塔	樺山 紘一	〃	5.27
くまもとアートポリス事業 25年の節目なお続く試み	白石 知子	〃	12.13	建築 建設ラッシュ進むドバイ 場所性なき人工都市に個性的ビル	五十嵐太郎	毎日夕刊	9.25
東京駅丸の内駅舎が完成 100年前のドーム屋根復元		読売夕刊	10.6				
<b>海 外</b>				<b>その他のジャンル</b>			
from the World 新しいタイプの映画館/ミュージアム「EYE」	樋口 歩	A X I S	159	<b>一 般</b>			
大特集 永遠のイスタンブール 東西の美と出会う都 第II章 二つの宮殿ものがたり トプカプ・サライとドルマバフチェ・サライ	ジラルデッリ青木美由紀	芸術新潮	753	学芸員の視点 記念講演会:アール・ブリュットの現在	服部 正 編	ART RAMBLE	34
韓国の近代文化遺産	金 晶東 趙 祥恩 訳	コアアナ					
ソウル駅の衣替え			19-1				
韓国銀行 韓国貨幣の総本山			19-2				
アート・レビュー 韓屋端面の進化	宋 寅豪 金 明順 訳	〃	19-3				

《FLUXUS Now》2 (フルクサス) 実践 するインターメディア	小野寺奈津	あいだ	191	Los Angeles「不思議の国にてメキシコとアメリカ合衆国の女性アーティストによるシュルレアリストの冒険」展 美人で創造的でちょっとヘン 女性シュルレアリスト達の私探シアートの旅	前橋 重二	
大野一雄の1980年— 国際的な言説の運動 とパフォーマンス—	武藤 大祐	群馬県立 女子大学 紀要	33			
光と運動の造形	森下 明彦	国立国際 美術館ニ ュース	188			
時代と広告のまわり	仲畑 貴志	日 経	7.15	New York「よみがえるハブニング ニューヨーク、1958～1963」展 未発表写真でよみがえる「ハブニング」に満ちた時代	由本みどり 取材	
日 本						
生人形と博物館展示	本田代志子	鹿島美術 財団年報 ・別冊	29	講演会の記録 欧米における14世紀葬儀人形から現代蠟人形への系譜	川井 ゆう 見世物	5
公葬のメディア表象 の形成と共同体にお けるその受容と継承 —伊藤博文国葬にお けるその新聞・雑誌 ・絵葉書・写真帖を 中心に—	研谷 紀夫	共立女子 大学文芸 学部紀要	58	サラダボウル in the U.S.A ゲリラ アート	堀山 明子	毎日夕刊 7.30
				作 家		
				日 本		
近代の盆栽愛好—皇 室・政界・財界—	依田 徹	さいたま 市大宮盆 栽美術館 年報紀要*	2	(ア)		
フェルトメイキング —海外研修からの展 開—	大塚 有里	東京家政 大学研究 紀要	52	話題の展覧会より 感覚への挑戦 鬚嘸 鬚嘸と版画	西川美穂子	版画芸術 155
第43回日展を前にし て 特別寄稿 少し 特別な年に	高橋 利郎	日展ニユ ース	146	戌も歩けば beau[ボ ー]に当たる 第三 十回 虹の遊行者 鬚嘸	竹田 博志	美術の窓 343
レビュー 第5回 AAC サウンドパフ ォーマンス道場公演	北條 知子	R E A R	27	目は語る アート道 遥 2月 鬚嘸と田 中敦子 感覚呼び覚 ました前衛芸術	高階 秀爾	毎日夕刊 2.23
「江戸折形」礼の心包 む 金品や草花、贈 り物に合う約束事 半世紀近く研究	有馬 霞水	日 経	11.21	「版画対談」深澤幸雄 米寿記念特別企画 深澤幸雄 vs 相笠昌 義 「人間嫌い」の画 家が「人間」を描く	深澤 幸雄 相笠 昌義	版画芸術 157
書の世界 「現代の 書 新春展 今いき づく墨の華」 今日 性と芸術性の模索	桐山 正寿	毎日夕刊	12.27	INFORMATION PRI ZE 会田誠が審査員 賞を受賞! アジア 太平洋最大規模の現 代芸術「APB」受賞者 決定 第2回APB基 金芸術賞	桑島 千春	美術手帖 963
海 外						
マッテオ・コラツ ィオ 「パドヴァの 聖アントニウス教会 のコーロの透視画礼 讃」翻訳と解説	上田 恒夫	金沢美術 工芸大学 紀要	56	SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 INTERVIEW 私の東京アートめぐ り03 会田誠×浅草 橋天才算数塾	石井 芳征	” 966
World News		芸術新潮	748			

WORLD NEWS キエフ 東欧最大の公立美術館の設立を目指すウクライナ発、ピエンナーレが開幕！[会田誠]	かないみき	美術手帖	971	新たな「青木繁像」を求めて	山野 英嗣	視 る	454
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 1 GALLERY 技巧にまずは驚く[会田誠]	山下 裕二	談	974	ARTIST INTERVIEW 青木野枝	家村 珠代 聞き手	美術手帖	976
視点 愚直な天才：会田誠	木谷 節子	美術の窓	351	「PAO—包む」 シート素材による折り込み組み立てを反復できる筐体の新構造研究開発—新構造発見による造形デザイン—	青木 雄作	名古屋造形大学紀要	18
大波小波 文筆も達者な美術家[会田誠]		東京夕刊	2.18	獲物は嵐 カメラハンター 逃げ足速い自然現象、雷は怖い時間がとの闘い	青木 豊	日 経	12.11
交遊抄 昭和40年会	会田 誠	日 経	6.30	報告 ワークショップ「顔が顔に会うための顔をつくる」[青木陵子]	藤吉 祐子	国立国際美術館ニュース	190
新しい芸術発信 自然のアトリエ[藍原ユキ]	横山 就平	読 売	10.14	ARTIST INTERVIEW 青木陵子	福永 信 聞き手	美術手帖	964
SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近代美術の傑作150 076 霞光 眼のある風景	大谷 省吾	美術手帖	967	展覧会時評 ex-chamber museum— offline 第2回 「絵画の庭」を今更ながら振り返ってみる、の巻[青木陵子]	幕内 政治	ファウンテン	2
クリエイターズワーク&ソウル AUN 2 H4		A X I S	159	ART+ 子どもの言葉と響き合う[青木陵子]	(清)	読売夕刊	1.30
素材と表現(陶磁)	青木 克世	多摩美術大学研究紀要	26	震災がれきアートに再生 仙台の美術家「記憶を世界へ発信」[青野文昭]	木寺もも子 聞き手	日経夕刊	8.24
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 1 GALLERY 技巧にまずは驚く[青木克世]	山下 裕二	美術手帖	974	学びのふるさと「やりたいことをやったらいい」美術の先生、部活を辞めたときにもらった自信、人生の支えに 漫画家 青山剛昌さん	島尾 新	美術の窓	349
旅の途中で 青木九仁博/服部美樹		美術屋・百兵衛	20	丹青閑話 第十九話 青山杉雨「萬方鮮」	磯部 靖	”	345
平成二十三(二〇一一年)年度日本及び東洋美術の調査研究報告 資料紹介 『青木繁畫集』—明治の洋画家 青木繁の畫集—	高橋 沙希	関西大学博物館紀要	18	PREVIEW 青木繁の世界展 鯉に託す画家の心		日 経	10.21
美人画 再見[青木繁]		日本美術新聞	3	ヌーヴォー切り絵 蒼山日菜著		日 経	10.21
青木繁の構想画に見る日欧の美術潮流—壁画的性格をめぐって—	高橋 沙希	東アジア文化交渉研究	5	本よみうり堂 蒼山日菜 「ヌーヴォー切り絵」	(祥)	読 売	10.21
青木繁のデッサン—海外の美術作品との交流をめぐって—	”	東アジア文化研究科開設記念号	”	インタビュー 石膏技術について 赤木喜三郎氏に聞く	武井 敏	礪山美術館報	32
第六十五回全国大会 研究発表要旨 青木繁の《旧約聖書物語挿絵》に関する一考察	”	美術史	173	特集 耽美な世界へようこそ 技法講座 赤木範陸 蜜蝋と亜麻布で生み出される美女	赤木 範陸 談	美術の窓	342
SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近代美術の傑作150 006 青木繁 海の幸	市川 政憲	美術手帖	967				



昭和40年代に切り込んだ目 ひとすら興味に向かい理論化めざす	赤瀬川原平	朝日夕刊	1.25	聚美 3	杉本秀太郎	3
自作再見 赤瀬川原平「宇宙の缶詰」何でも梱包した果てに	赤瀬川原平 西岡一正 聞き手	〃	8.22	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近代美術の傑作150 005 浅井忠 冬木立	角田 拓朗	美術手帖 967
いま風 火曜日 赤瀬川原平 作家	赤瀬川原平	読売夕刊		浅井忠こそ日本近代洋画の父	太田 治子	美連協ニュース 115
国旗のマナー			1.10	回想:「銀色の葉影」	浅岡 慶子	橄 欖 2
温泉のマナー			2.7	導入教育としての「美術リテラシー」の役割と意義(1)ー「美術リテラシー」に関するアンケートー	杉山 倫也 長谷川 昇 中野 正樹 浅川 滋文 武井 文	横浜美術大学・研究 2
自己流のマナー			3.6	街角アート 日常的光景の中で[朝倉響子]	星野 清一	新美術新聞 1273
コミック ファイナルフェーズ 朱戸アオ(作) 大規模感染リアルに展開	南 信長	朝 日	2.12	コミック 春山町サーバント1 朝倉世界一(作) 「ここで生きていく」心地よさ	ササキバラ・ゴウ	朝 日 8.5
映画タイトル一筆入魂 四十数年で500本手がける、物語を字体で表現	赤松陽構造	日 経	5.4	水墨の最前線11 水墨の増殖感、イメージの軽快感 朝倉隆文	野地耕一郎	水墨画* 281
この人 知的障害のある画家の長男と二人三脚 木下昭さん名前の通り幸せにしてみせる[AKI]	早川 昌幸	東 京	5.27	特集 拡大・縮小美術館 絵画編 朝倉隆文 水墨で生み出す密度と重厚感		美術の窓 350
視線 DOMA 秋岡芳夫 モノへの思想と関係のデザイン 目黒区美術館編	大西 若人	朝 日	4.15	パブリック・アート散歩 (シリーズ No.1)熊本市/高橋公園と千葉城公園の彫刻[朝倉文夫]	古家 良一	V i e w 142
天まで届け 上 下町ツリー見ようぜ 両さんも現場作業 漫画家 秋本治さん	秋本 治談	読売夕刊	4.19	第43回日展を前にして 特別寄稿 日展の彫刻ー佐藤慶太郎と朝倉文夫	齊藤 泰嘉	日展ニュース 146
神宮名品解説 「伊勢の小工」[秋山信子]	本多 久子	瑞 垣	221	Tokyo のわがふるさと 大分県1 日本彫塑界の巨人、朝倉文夫 谷中で夢みかなえる	朽木 直文	東 京 10.7
視点 ヨーロッパに骨を埋めた彫刻家秋山礼巳	竹沢 雄三	美術の窓	346	After 3.11	浅田 政志	産 経
特集 画廊とアーティストの繋がり アイショウミウラアーツ×秋山祐徳太子		ギャラリー*	331	18 宮城県気仙沼市 このカメラたちの代わりに		1.18
美・コレクション 選挙運動も「箱」の中に 秋山祐徳太子《東京都知事選立候補ポスター》	岸 桂子	毎 日	3.14	22 宮城県南三陸町 何を願い、誓い、叫んだのだろう		3.21
展覧会時評 ex-chamber museum-offline 第2回 「絵画の庭」を今更ながら振り返ってみる、の巻[秋吉風人]	幕内 政治	フアウンテン	2	28 岩手県野田村 写真を探す人たちと		6.13
コミック ゼクレートル 神マンガ戦記 1 戸塚たくす(原作) 阿久井真(作画) メタ構造 ラブコメが一変	南 信長	朝 日	12.2	34 宮城県山元町 予想もしなかった贈り物		9.5

平成24年定期刊行物所載文献(近/作ア)

青春プレイバック 造形美術家浅野修 故郷・十勝で夢膨ら む食アート構想	窪田 元彦	新美術新 聞	1276	東京美術学校西洋画 科卒業制作作品・自画 像の技法材料、保存的 修復に関する基礎的 研究 IX [安宅安五 郎]	佐藤 一郎 木島 康 桐野 文 土屋 裕 中恵 子 右里 智 作間美 子 金 鐘 旭	東京芸術 大学美術 学部紀要	50
浅野弥衛と伊勢型紙 の周辺	衣斐 弘行	HILLWIND	31				
わたしの宝もの88 試みの蓄積	浅見 貴子	新美術新 聞	1292	レポート墨 足立正 平展 おとづれ一境		水墨画*	277
レポート墨 第5回 日経日本画大賞決ま る 大賞の鴻池朋子 氏はじめ水墨画三作 品が受賞[浅見貴子]		水墨画*	280	新人賞展 龍輪恵子 さんの作品を視て	足立 龍男	自由美術	2012
美術評 浅見貴子展 反転のプロセスが生 むリズム	古谷 利裕	東京夕刊	8.31	名作マンガ再始動 20年後が舞台 キー トン/タッチ あだ ち充	岩本 哲生	朝日夕刊	5.19
本づくし「感性に 直接訴えるメッセー ジ」『エデナの世界』 メビウス著/原 正人訳	安次富 隆	A X I S	155	第25回奨学者のレポ ート 私とダヴィデ	厚地 朋子	アクリラ ート(別 冊)	2012
足助恒《村娘》につ いて	山田 直子	女子美術 大学研究 紀要	42	カバーインタビュー アトリエ・ワン	瀧口 範子 インタビュー ・文	A X I S	158
わたしの宝もの85 筆	遊馬 賢一	新美術新 聞	1284	香川文化考 書家・ 穴吹放牛		美術屋・ 百兵衛	20
INFORMATION 何 もかもが挑戦的、前 代未聞の東信による 花本 東信『2009— 2011 flowers』	宮村 周子	美術手帖	963	戦中から戦後へ作家 をたどる 7 井上長 三郎、鶴岡政男、安 孫子真人	笹木 繁男	美術運動 史研究会 ニュース	127
植物図鑑 東信、椎 木俊介著		日 経	9.2	特集 中国と東アジ ア—近代のコレクシ ョン形成と研究の背 景 第2部 コレク ション形成の背景 油谷達と博文堂—そ のコロタイプ美術出 版について	西上 実	美術フォ ラム21	26
山の版画家 畦地梅 太郎—生きている山 の発見から—	岸田 恵理	長野県信 濃美術館 紀要	6	先覚者の命運—碧海 阿部甚十郎の場合[阿 部碧海]	森 仁史	一寸	52
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 ある群像3 124 麻 生三郎	原田 光	美術手帖	967	水墨の最前線4 人 物表現を深める墨 大河原典子・阿部清 子	立島 恵	水墨画*	274
特集 アートの力を 考える! PART 1 麻生三郎 戦後の家 族像		美術の窓	348	作家通信 墨色の旅	阿部 清子	〃	279
Go! Artists Go! 50 麻生志保	編 集 部	美術手帖	971	特集 ぬくもりの表 現 触れなくなる絵 画 ⑥技法講座 VOL. 26 CASE 3 阿部千鶴 金箔と絵 具で生み出す柔らか な空間	阿部 千鶴	美術の窓	345
本よみうり堂 コミ ック館「そこをな んとか」麻生みこと 弁護士の奮闘 リア ルに	小間井藍子	読売夕刊	11.26	戦中から戦後へ作家 をたどる 11 阿部展 也	笹木 繁男	美術運動 史研究会 ニュース	132
学芸員ノート 「復 興」を描いた漫画家 麻生豊	佐藤 美弥	埼玉県立 歴史と民 俗の博物 館だより	20	特集 ワークショッ プ進化論 世に新し い問題を投げかける ように 阿部雅世の ワークショップ設計 術	阿部 雅世	A X I S	158

作品「ホコリとほこり」	阿部由布子	秋田公立美術工芸短期大学 紀要	16	SPECIAL FEATURE 奈良美智 SPECIAL-TALK 対談：荒木経惟×奈良美智 少女から、闊達なパンクロック少年へ!?	宮村 周子	美術手帖	973
街角アート 裸像であって裸婦でなく [雨宮敬子]	星野 清一	新美術新聞	1298				
神宮名品解説 彫塑「清心」[雨宮敬子]	中村 潔	瑞 垣	222	東京文化考II アラーキーのTOKYO 写真家・荒木経惟インタビュー		美術屋・百兵衛	22
時の余白に「形あるものは滅びます」 [荒井寛方]	芥川 喜好	読 売	10.27				
座談会「第四十四回 日展審査を終えて一魅力ある日展に向けて一」	中山 忠彦、 寺坂 公雄、 奥田小由女、 岩倉祥一郎、 市村 緑郎、 新井 光風、 森脇 正人	日展ニユース	147	こちら100歳 トヨさん、アラーキーと競演 アラーキー柴田トヨさんと 写真アート [荒木経惟]	松原 英夫	産 経	1.9
学芸ノート 新井完「猫」とカ相壁		姫路市立美術館だより	116	本よみうり堂 荒木経惟写真集「愛のバルコニー」	小泉今日子	読 売	8.12
特集 制作の現場から…「自作を語る」・II 自作を語る	新井富美子	自由美術	2012	SPECIAL FEATURE 荒木飛呂彦 人間賛歌一謎めく美しき世界		美術手帖	975
特集 耽美的な世界へようこそ 特別対談 京極夏彦×荒井良	京極 夏彦、 荒井 良	美術の窓	342	HISTORY 『ジョジョの奇妙な冒険』とはなにか?—25年にわたる物語の軌跡をたどるヒストリー	暮沢 剛巳		
「芸術」の解体と新しい劇場 「荒川医&サージ・チェレブニン」展	松井みどり	美術手帖	965	REPORT 西尾康之さんと行く!! 荒木飛呂彦原画展「ジョジョ展 in S市杜王町」	編 集 部		
WORLD NEWS ワルシャワ グローバルなマーケットに連動し成長中! ワルシャワのアートシーン [荒川医]	藤高 晃右	”	971	Essay ジョジョと美術戦鬼	西尾 康之		
荒川修作・M.ギンズ著『意味のメカニズム』を読む(1)一視覚言語体系の確立のために	森田 恒之、 藤井 真希、 須貝 希 旭	愛知県立芸術大学 紀要	41	SPECIAL TALK 対談：伊藤剛×泉信行 『ジョジョの奇妙な冒険』はどこへ向かっているのか?	伊藤 剛、 泉 信行、 対談 岡澤浩太郎 構成		
作品研究 影と遠近法—荒川修作と高松次郎	蔵屋 美香	現代の眼	594	ANALYSIS 荒木飛呂彦「スタンド」論—ネオプラトニズムの小さな神々	斎藤 環		
茶話マンガ 農家の現実コミカルに [荒川弘]	伊藤 剛	朝日夕刊	4.21	SPECIAL FEATURE 荒木飛呂彦 人間賛歌一謎めく美しき世界 MESSAGEアーティストが語るジョジョ	”	”	
いしかわ式 今日漫画 銀の匙 [荒川弘]	いしかわじゅん	毎 日	3.7				
荒川弘さん『銀の匙』第4巻初版10万部に		毎日夕刊	7.19	01 金氏徹平	金氏 徹平		
山下裕二の今月の隠し球93、94 荒木愛混ぜない岩絵具、その美しいきらめき(上、下)	山下 裕二	美術の窓	348、349	02 エリイ (Chim ↑Pom)	エ リ イ		
				03 奥村雄樹	奥村 雄樹		
				04 横山裕一	横山 裕一		

SPECIAL FEATURE

荒木飛呂彦 人間賛歌—謎めく美しき世界 CRITIQUE 様々な視点から見る『ジョジョの奇妙な冒険』

美術手帖 975

西洋美術：肉体のアラベスクが奏でるディストーション狂奏曲

藤原 えりみ

バンド・デシネ：その独特なフォーマットで荒木はどう描いたのか？

原 正人

ファッション：トランスジェンダー化するキャラクター像

成実 弘至

モダンホラー：『ジョジョ』における、ホラー映画の恩恵

尾之上 浩司

文化の扉 はじめてのジョジョの奇妙な冒険 先祖の因縁受け継ぐ「血の神話」[荒木飛呂彦]

神庭 亮介 朝 日 7.16

「ジョジョ」一気の25周年企画 テレビアニメ・外伝風小説・原画展 奇妙な世界に世相反映 セリフ涌くまま書く 荒木飛呂彦さん

浅川 貴道 読 売 10.12

「工芸な人」に聞く 第十四回 「人形作家」 荒木富佐子さん

八橋 知美 聞き手 五風十雨 67

2012年日本建築学会各賞(作品) 真壁伝承館[新谷真人]

建築雑誌 1635

2012年日本建築学会作品選奨 小布施町立図書館 まちとしようテラス[新谷真人]

” ”

富士塚案内 お任せあれ 江戸時代からの信仰対象、ツアー企画・アート制作

有坂 蓉子 日 経 1.30

有島 ペン画に旅の記憶 著作集の挿絵 東京で発見 北海道の記念館に寄贈へ [有島武郎]

東 京 5.31

コミック さらば、やさしいゆうづる 有永イネ(作) 不思議な設定で日常を探る

ササキバラ・ゴウ 朝 日 4.15

作品とその周辺

有元 蓉子 実践女子大学美学美術史学 26

特集 BL[ボーイズラブ]オン・ザ・ラン! とにかくなにか話を考えていたい

A R U K U 川原 和子 ユリイカ 620 聞き手

読書日和 注目です! いかつい猛男がキューートな漫画[アルコ]

内藤麻里子 毎日夕刊 5.29

境界なき世界へ 栗津潔図録刊行

西岡 一正 朝日夕刊 12.5

街に出たモンロー

安齋 重男 国立国際美術館ニュース 191

時の回廊 安西水丸「青の時代」一発勝負描き方の原典

山田 優 聞き手 朝日夕刊 6.26

ミニシアターの応援団 安西水丸さん

大木 隆士 読売夕刊 11.10

作品 「ここに、いる」

安藤 郁子 秋田公立美術工芸短期大学紀要 16

お手本画&秀作集 其ノ十二 安藤華舟《山茶花》

安藤 華舟 水墨画\* 277

フォーカス・アイ 安藤真司 鮮やかに描かれた「生」

栗本 寛子 版画芸術 157

WORLD NEWS セントルイス「空間の魔術師」シボニー×安藤建築で煌めくビューリッツァー・コレクション[安藤忠雄]

藤森 愛実 美術手帖 971

特集 まるごと「具体[GUTAI]」! 特別対談 安藤忠雄×吉見俊哉

安藤 忠雄 吉見 俊哉 美術の窓 347

復興 官民の総力を「人間力」養う教育が必要 基調講演

安藤 忠雄 日 経 3.15

喪友記 森稔さんを悼む 世界都市東京の夢

” ” 3.16

文化往来 安藤忠雄が上海で1万人を前に講演

” ” 3.22

津波の記憶 町に残す 建築家ら、住民と模索 気仙沼「鎮魂の森」構想 女川災害遺構を保存[安藤忠雄]

窪田 直子 ” 6.9

辛言直言 学生の内向き どう打開 入試改革で創造力刺激を

安藤 忠雄 ” 11.22

ひと言の余韻5 建築が世の中を变えることはない 人の営為見つめる安藤忠雄

後藤 正治 ” 12.2

駅 夏模様 3 京阪中之島線・なにわ橋駅 文化の要衝 大学と催し[安藤忠雄]	前田 利親	読 売	8.3	話の肖像画 絵を描く理由 上、中、下 画家 安野光雅	渡部 裕明	〃	3.6~8
「直島 再生の物語 伝えたい」 安藤忠雄氏の美術館 来春オープン 「地中美術館」設計図など展示 築100年の古民家活用		読売夕刊	11.26	写生する安野さん 寄稿 杉本秀太郎 (仏文学者) 「京都に住み、絵で知る京の花紅葉」	杉本秀太郎	〃	3.15
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 1 GALLERY 技巧にま ずは驚く[安藤正子]	山下 裕二	美術手帖	974	わが友の旅立ちの日 に 安野光雅著		日 経	12.9
特集2 現代陶芸と造形 レポート:対 談「作家の見た小川 待子」李禹煥×小川 待子 『二つのはじ めの一歩』	安藤 雅信	R E A R	27	喜び感謝実る秋 文 化功労者 安野光雅 さん 絵本に独自の 世界開く		日経夕刊	10.30
作品 「銅水差し」	安藤 康裕	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	16	文化功労者 安野光 雅さん 絵本作家 「だまし絵」大人も魅 了		読売夕刊	10.30
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 3 HISTORY 倉本美津 留さんと行く! 超絶 技巧の聖地巡礼 MUSEUM TOUR 1 清水三年坂美術館 超絶技巧のルーツ! 明治工芸の宝庫[安 藤緑山]	倉本美津留、 山下 裕二	美術手帖	974	安野モヨコ作品にお ける労働の問題系	富山由紀子	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	57
「時間を伴った絵画」 としてのアニメーシ ョン—庵野秀明総監 督『エヴァンゲリオン 新劇場版:破』 (2009)にみる作画表 現—	松野 敬文	人文論究	61-4	(イ)			
特集 いわさきちひろ Love, Love, Love ちひろを語る 独学 の尊さ	安野 光雅	芸術新潮	751	寒流 飯島幸永著		日 経	12.9
特集 北京故宮がや ってきた 「清明上 河図」の前に立った こと	〃	書道界	267	砂川闘争の本質に迫 る 55年前の版画立 川で公開 作者・飯 島さんの知人が寄贈 [飯島善太郎]	大平 樹 東 京		2.19
森鷗外 近代文学界 の傑人 生誕一五〇 年記念 鷗外という 鉅脈 『逸逸日記』よ り 原田直次郎のこ と	〃	太陽(別冊)	193	探訪 洋画家飯泉俊 夫先生を訪ねて 塗 削が生む色彩美の極 致		游 美	69
思い出す本忘れない 本 歴史認識は公平 と思った 坂の上の 雲 司馬遼太郎(著)	安野 光雅 朝美 朝	朝 日	5.13	学芸ノート 飯田俊 良について	高瀬 晴之	姫路市立 美術館だ より	114
安野光雅が描く 洛 中洛外 9~16	安野 光雅	産 経	1.8.2.5、 3.4.4.1、 5.6.6.3、 7.1.8.5、	特集 制作の現場か ら…「自作を語る」・ I 偶然と神秘	飯田 春之	自由美術	2012
				青春プレイバック 飯高和子 「黒緑友 誼」…書は結ぶ心の 絆	宗像 克元	新美術新 聞	1268
				《FLUXUS Now》 1 インタビュー 〈フ ルクサス〉往還 〈フ イルム・メイキング との交差のなかで	飯村 隆彦 小野寺奈津 聞き手	あいだ	190
				特集 アートの力を 考える! PART 2 きずな—再生美術の 力 五百住乙人 通 奏低音	高山 淳	美術の窓	348
				自著を語る 修験の 世界ここにあり 『山をはしる 1200日 間山伏の旅』	井賀 孝	東京夕刊	6.26

平成24年定期刊行物所載文献(近/作イ)

あとがきのあと 「山をはしる」井賀孝氏 全国で厳しい修行を体験	日 経	5.27	池田満寿夫の1960年代—デビューとその背景—	足立 圭	長野県信濃美術館 紀要	6	
特集 画廊とアーティストの繋がり 椿近代画廊×猪飼節子	ギャラリー	331	SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 1 GALLERY 技巧にまづは驚く[池田学]	山下 裕二 談	美術手帖	974	
ネパール社会で人間の本質を追う 10年通い伊ヶ崎さん写真集 [伊ヶ崎忍]	朝 日	5.8	特集 拡大・縮小美術館 スペシャルインタビュー 池田学の緻密で広大な世界	池田 学	美術の窓	350	
お手本画&秀作集 其ノ九 五十嵐玉俊 《雪晴れる山麓》	五十嵐玉俊	水墨画*	274	身体が保たない 池田亮司 「datamatics[ver. 2.0]」	太田 景子	瓜生通信	57
時が流れる風景1、4、7	〃	〃	277、280、283	みんなのマンガ学 「青春の一冊」リクエスト編5 ベルサイユのぼら 強くて華麗な女性たちに夢中 [池田理代子]	猪俣 紀子	朝日夕刊	2.2
特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 五十嵐玉俊 養老の滝	〃	〃	282	ベルばら タブーに挑み40年 少女マンガ界で歴史物開拓 作者・池田理代子に聞く	吉村 千彰	〃	9.8
なぜ私は建築を選んだか no.1 建築に導かれて。	五十嵐 淳	建築雑誌	1629	東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 IX[池部鈞]	佐藤 一郎 木島 隆康 桐野 文良 土屋 裕子 中右恵里子 作間美智子 金 鐘旭	東京芸術大学美術学部紀要	50
連載 デザインと彫刻とぼくのクロニクル その22~24	五十嵐威暢	芸術新潮	745~747	特集 いわさきちひろ Love, Love, Love ちひろを語る 無意識の伏線	イケムラレイコ	芸術新潮	751
五十嵐威暢 つち、いろ、かたち うごめく体育館	〃	〃	753	批評 アーティストトーク：イケムラレイコ×松本透 イケムラレイコ うつりゆくもの	イケムラレイコ 松本 透	R E A R	27
コミック トーチソング・エコロジー1 いくえみ綾(作) 生と死をめぐる問い優しく	ササキバラ・ゴウ	朝 日	7.1	ひと言の余韻2 呼んでくれるものを待っている 空白の半世紀生きた画家[石井一男]	後藤 正治	日 経	11.11
作家との対話 生田丹代子—ガラスによって形を創り、周囲の空間に緊張感をもたらす。工芸家であるというよりは彫刻家であり、その透き通った煌めきのある世界は、伸び伸びとした伸展性と積み重ねられた重みを見せるが、それはさらなる展開を見せるか。	原田 平作	美術フォーラム21	26	こころの玉手箱 ノンフィクション作家 後藤正治 5 石井一男氏の女神像 清貧 貫く画家の慎ましき自画像	〃	日経夕刊	1.27
特集 セザンヌにはどう視えているか 感覚の氾濫 セザンヌの中間地帯	池田 剛介	ユリイカ	609	第43回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負— 日展出品と自身の彫刻について	石井 沙知	日展ニュース	144
特集1 美術館開館当時、一九五〇年代の美術をめぐるわたしにとっての五〇年代美術	池田 龍雄	現代の眼	596	近代美術の眼 戒厳状態 ひりひりする緊張感漂う[石井茂雄]	榎田 倫広	読 売	12.14
佐賀文化考 84歳の現役アーティスト 池田龍雄 あそびとたたかい	〃	美術屋・百兵衛	23				
ことば 池田龍雄さん(画家)	大西 若人	朝 日	7.4				

ぎやらりいモール 印刷博物館「印刷都 市東京と近代日本」 から「玉堂富貴〔ぎょ くどうふうき〕」 大蔵省紙幣局(東京) 〔石井鼎湖〕	川井昌太郎	読売夕刊	12.4	いしかわ式 今日の 漫画 銀の匙	いしかわじ ゆん	毎 日	3.7
受賞学生インタビュ ー第7回 イセカル チュラルファンデー ション 第7回「美術 学生展 in NY 2011」 デビッド・ソロ賞	石井 亨	芸大通信	24	読書日和 いしかわ じゆんさん 吉祥寺 キャットウォーク第 1巻 さらっと濃く 絡む人間関係を漫画 に 大震災で、目が 覚めた	内藤麻里子	毎日夕刊	9.11
特集 制作の現場から…「自作を語る」・ II 自作を語る	石井 則雄	自由美術	2012	水俣 時を超えて写 す 悲劇伝えた写真 家しのび、三十数年 越しの再訪	石川 武史	日 経	11.2
丸ごと一冊いしいひ さいち 「よけいな こと、たくさん」	小川 雪 朝	日	7.4	津田直+石川直樹 「幸せ」だけじゃない プータンを撮る		芸術新潮	747
父のこと〔石井壬子 夫〕	石井 克	ガス 燈	95	創刊750号記念大特 集 古事記 日本の 原風景を求めて 下 甕島の夜	石川 直樹	〃	750
祖国に響けヒバクの 現実 米国人監督 北米の写真展、反応 を撮影〔石内都〕	田玉 恵美 朝	日	8.15	写真の秘密 ロジェ ・グルニエ著 宮下 志朗訳 老作家が綴 る言葉のアルバム	〃	朝 日	2.19
ピンと張った背の軸 石岡瑛子さんを悼む	小池 一子	〃	1.31	写真の読み方 初期 から現代までの世界 の大家写真家67人 イ アン・ジェフリー (著) 挑発的に響き 合う 熱い含意	〃	〃	3.11
追悼 アートデザイ ナー 石岡瑛子さん 厳格さの裏に底なし のやさしさ	坂田栄一郎	産 経	2.2	視線 世界を見に行 く。 石川直樹著	北澤 憲昭	〃	4.1
石岡瑛子さん死去 衣装でアカデミー賞 受賞 73歳		日経夕刊	1.27	ぎやらりいモール 武蔵野市立吉祥寺美 術館「石川梵写真展 THE DAYS AFTER 東日本大震災の記憶」 から 石川梵	菅沼万里絵	読売夕刊	4.24
追想録 石岡瑛子さ ん(デザイナー) 変 身続けた「美の求道 者」	小林 明	〃	3.23	沖縄に生きる人々見 つめ 石川真生の写 真展		朝日夕刊	2.8
国際的アートデザイ ナー 石岡瑛子さん 死去		毎日夕刊	1.27	茶話マンガ とぼけ た日常、小粋に〔石 黒正数〕	伊藤 剛	〃	7.21
新作ふすま絵 32面 生き生き 京都・妙 法院公開〔石踊達哉〕		東京夕刊	10.31	特集 アートの力を 考える! PART 2 きずな―再生美術の 力 石阪春生 無限 運動	高山 淳	美術の窓	348
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 050 石垣栄太郎 腕	土方 明司	美術手帖	967	民俗 明治期の四国 遍路絵馬〔石崎嘉吉〕	今村 賢司	歴博だよ り	68
言葉の「信」喪失、信 頼崩れる 手書き減 り人間関係にも影響 書家 石川九楊さん	富田 律之	日経夕刊	5.2	一葉の世界生きる人 形 ゆかりの東京下 町に工房、資料頼り に忠実に再現	石崎真葵政	日 経	5.15
特集 アートの力を 考える! PART 3 石川茂 輝く地球、 そして日本人として	石川 茂	美術の窓	348	レビュー ツボ・ミ ソ・ヘソ―取り合わ せの妙― 押忍!手 芸部と豊嶋秀樹『自 画大絶賛(仮)』〔石 澤彰一〕	大橋 広子	R E A R	28
コミック 吉祥寺キ ャットウォーク1 いしかわじゆん(作) ギャグの絵柄に叙情 を託す	南 信長 朝	日	9.2				

平成24年定期刊行物所載文献(近/作イ)

「京都名所五十景」 [石田有年]		京都府立総合資料館だより	171			特集 未来のスターを探せ！ 新人大図鑑2012 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト10 石山浩達	山下 裕二	美術の窓	344
視点 省略美～石谷孝二すみ絵展～	石谷 孝二	美術の窓	347			石渡風古 生涯と画業	佐藤 美子	川崎市市民ミュージアム紀要	24
デザイン季評 反俗から体制への接近 [石津謙介]	生井 英考	読 売	5.24			大館市郷土博物館所蔵 伊勢正義「漁夫達」の保存修復	森 直義 大場詩野子	東北芸工大保存修復センター年報*	3
コミック 三等星スピカ1 イシノアヤ(作) ありふれた実感丁寧に追う	ササキバラ・ゴウ	朝 日	5.20			新収蔵品紹介 備前焼 伊勢崎淳	福富 幸	岡山県立美術館ニュース	96
幻のカラー漫画複製「沙漠の魔王」 赤塚や藤子(A)らも愛読 [石ノ森章太郎]	加来 由子	"	9.26			〈作品調査覚書〉磯江毅のデッサン	南城 守	奈良県立美術館紀要	27
名作マンガ再始動 作者の遺志継ぎ「最期の戦い」サイボーグ009 石ノ森章太郎	岩本 哲生	朝日夕刊	5.19			表紙解説 磯崎新によるセラミックパークMINO(岐阜県多治見市)の茶室「懸舟」(2002年)と藤村庸軒による西翁院(京都市・金戒光明寺塔頭の茶室「観看席」(1685、86年頃)	原田 平作	美術フォーラム21	25
特集 アートの力を考える！ PART2 きずな―再生美術の力 石丸康生 瀬戸内海	高山 淳	美術の窓	348			追悼 写真家 石元泰博さん 日本的美意識「つかみ撮る」	磯崎 新 産 経	2.15	
pop style vol. 324 石本藤雄 自然と想像の融合 デザイナーが語る作品の魅力	市原 尚士 皆川 明 川上 元美	読売夕刊	11.7			東京トリビア 摩天楼並ぶ新宿に… 幻の「低層」都庁案があった 磯崎新さん「権威」への対抗	井上 幸一	東 京	11.28
INFORMATION MEMORIAL 追悼 石元泰博	森山 明子	美術手帖	966			「復興後」の姿 描く必要 建築家は戦略家的発想を 建築家 磯崎新さん	窪田 直子 聞き手	日経夕刊	3.28
モダンズムを貫徹 写真家石元泰博さんを悼む	(談)	朝 日	2.8			イタリアの陶芸展 磯崎真理子展	唐沢 昌宏	陶 説	717
追悼 写真家 石元泰博さん 日本的美意識「つかみ撮る」	磯崎 新 産 経	2.15				日中連携型デザインビジネスの生成と展開―青島海高設計製造公司(QHG)の設立・運営をめぐって	黒田 宏治 磯村 克郎 伊坂 正人 佐井 国夫 迫 秀樹 木下 理郎	静岡文化芸術大学研究紀要	12
喪友記 石元泰博さんを悼む 許せぬ理不尽	内藤 廣 日 経	2.10				ワークショップによるプロダクトデザイン作品	磯村 克郎	" "	" "
追想録 石元泰博さん(写真家) モダンズムの純粋さ体现		日経夕刊	4.6			注目の版画 井田照一 版画の概念についての(版画)	河本 信治	版画芸術	155
石元泰博さんを悼む 刹那と永遠を焼き付けて	飯沢耕太郎	毎日夕刊	2.13			井田照一作品についての覚書	奥村 一郎	視 る	460
津波の記憶 町に残す 建築家ら、住民と模索 気仙沼「鎮魂の森」構想 女川災害遺構を保存[石山修武]	窪田 直子 日 経	6.9				美の美 伊丹万作と仲間たち 上、中、下	古賀 重樹	日 経	2.5、12、19
藤森照信の茶室学 藤森照信著	石山 修武	"	6.24						
建築季評 社会から発想する設計[石山修武]	中川 理 読 売	6.28							



特集 拡大・縮小美術館 立体編 伊多呂 一木作りのユーモラスなミニカー		美術の窓	350	上級者に贈る 創作への道9 池に溺没することなく大海を自由に泳ぎ回る	"	"	285
お手本画&秀作集 其ノ十 市川皓《白雪浄浄》	市川 皓	水墨画*	275	新聞をよむ女たちの図像を追って—伊藤小坡「つづきもの」を中心に	星野 鈴	東京造形大学研究報	13
日本マンガ学会第11回大会における研究発表	市毛 史朗	大阪成蹊大学芸術学部紀要	8	Go! Artists Go! 51 伊藤純代	編集部	美術手帖	976
市島桜魚 2010年作品の解説	市島 桜魚	金沢学院大学紀要*	10	表紙 館蔵品紹介《Picnic》伊藤存	中井 康之	国立国際美術館ニュース	190
一條成美考	岩切信一郎	一寸	50	報告 ワークショップ「顔が顔に会うための顔をつくる」[伊藤存]	藤吉 祐子	"	"
「顔ハメ」にハマり500体 観光地の撮影用パネル、間抜けな風情・味を撮る	いぢちひろゆき	日 経	5.16	正直な画家[伊藤大仁]	太田 治子	ギャラリー一*	324
実験と求道の画家 一原有徳 無垢な実験制作・偶然は必然	平賀 麻子	版画芸術	156	東日本大震災 被災窯業地からの報告 前篇 被災報告 益子より	伊藤 丈浩	陶 説	713
BEAUTIFUL DAYS 市原織江著		日 経	2.12	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術第13回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展 コミッショナーは伊東豊雄氏に決定		美術の窓	340
座談会「第四十四回 日展審査を終えて—一魅力ある日展に向けて—」	中山 忠彦、寺坂 公雄、奥田 小由女、岩倉 祥一郎、市村 緑郎、新井 森脇 司会	日展ニュース	147	前衛と伝統ひとつに 建築家・菊竹清訓さんを悼む	伊東 豊雄	朝 日	1.9
コミック 同人少女 JB1 一本木蛮(作) オタク文化は夜明けでも熱い	南 信長	朝 日	1.22	被災地みんなの家 ベネチアで最高賞 建築展設計過程展示に評価[伊東豊雄]	大西 若人	"	8.30
視点 落石[おちいし]計画第五期について[井出創太郎]	高浜 利也	美術の窓	347	ひと ベネチアの建築展で日本館を最高賞に導いた 伊東豊雄さん	"	"	8.31
第25回奨学者のレポート 回帰現象	伊東 遠平	アクリラート(別冊)	2012	被災者の心が帰る家 ベネチアで金獅子賞の「みんなの家」 地元の提案も取り入れ 展示とのバランス評価[伊東豊雄]	"	"	9.3
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 080 伊藤久三郎 合歓の木	天野 一夫	美術手帖	967	「みんなの家」5棟に 宮城・岩手に相次ぎ 完成[伊東豊雄]	"	"	12.11
この人 鎮魂をテーマに福島で陶芸展 伊藤慶二さん 社会との関係を作品に残したい	畑間 香織	東 京	10.1	思潮 あれから1年 「みんな」のための建築 伊東豊雄 被災地の住宅提案 街や自然とのかかわり求め	"	朝日夕刊	3.7
研究ノート 伊藤慶之助の東京時代—「風景」(1923年作)受贈を契機に	内村 周	西宮市大谷記念美術館 NEWS	25	被災地から建築のあり方問う ベネチア国際展、明日開幕 [伊東豊雄]	"	"	8.28
収蔵作品から 伊藤公象《木の肉・土の刃》	若松 基	どおむ	119				
作家通信 個展を開いて	伊藤 昌	水墨画*	274				

平成24年定期刊行物所載文献(近/作イ)

追悼 建築家 菊竹清訓氏 大胆な発想にいつも希望 天才型の衝撃デザイン	伊東 豊雄 産 経	1.11	「伊勢神宮の桜」写真展—ワシントン DC にて—	稲田 美織 瑞 垣	222
仮説住宅の集会所、上棟式 陸前高田に「みんなの家」[伊東豊雄]	伊東 豊雄 産 経	8.23	教員は語る 芸大への期待・抱負・提言 第16回	菅 乾 英三子 久美子 芸大通信	24
3・11後の表現 2 建築「みんなで集い作る」[伊東豊雄]	窪田 直子 日 経	3.7	被災地みんなの家 ベネチアで最高賞 建築展設計過程展示に評価[乾久美子]	大西 若人 朝 日	8.30
あとがきのあと 「あの日からの建築」伊東豊雄氏 震災後の活動を振り返る	伊東 豊雄 産 経	10.28	被災者の心が帰る家 ベネチアで金獅子賞の「みんなの家」地元への提案も取り入れ 展示とのバランス評価[乾久美子]	伊東 豊雄 産 経	9.3
菊竹清訓氏を悼む 60年代の建築 今も輝く	伊東 豊雄 読 売	1.10	「みんなの家」5棟に宮城・岩手に相次ぎ完成[乾久美子]	伊東 豊雄 読 売	12.11
建築季評 社会から発想する設計[伊東豊雄]	中川 理	6.28	「みんなの家」被災地に続々 復興語り合う 憩いの場 建築家の思い広がる[乾久美子]	高野 清見 読 売	12.20
「みんなの家」被災地に続々 復興語り合う 憩いの場 建築家の思い広がる[伊東豊雄]	高野 清見	12.20	アメリカアート事情 20世紀前半の米国で肖像画に高い評価 犬飼恭平の回想録	後藤トキ子 美連協ニュース	116
日々好日 『古事記』 逍遙	伊藤 裕司 新美術新聞	1282	震災前のくらし伝えたい 仙台ですすむ 取り組み 子ども発がれきでオブジェ [犬飼とも]	朝 日	10.12
追悼特集 福王寺法林氏を偲ぶ 先生の心を感じる作品「落葉」	伊藤 彰耳	1277	がれきオブジェ 石巻で常設展示へ カケラのチカラ 目標2万点 子どもが制作 [犬飼とも]	朝 日	10.12
洋画家・伊東美砂代	美術屋・百兵衛	22	INFORMATION 岡本太郎生誕100年記念。アートピース第2集と太郎像が登場! 『岡本太郎アートピースコレクション第2集』約1/140スケール岡本太郎像	東 京	5.9
クリエイターズワーク&ソウル SOL style[伊藤裕]	A X I S	156	INFORMATION 巨匠たちのポートレート集『画家の肖像』著者・伊野孝行による紹介文	伊野 孝行 美術手帖	962
第16回手塚治虫文化賞 新生賞 「シュトヘル」伊藤悠さん 少年と女戦士「文字」守る旅	宮本 茂頼 朝 日	4.23	版画に摺り出す少年の心 棟方志功に共鳴、医療少年院で創作を半世紀指導	井上 勝江 日 経	6.13
秋の読書特集 マンガ 時代も国も超え 辺境の異民族に心寄せて 「シュトヘル」伊藤悠さん	星野 構成 学	10.27	売れてる本 中国嫁日記(一・二) 井上純一(著) オタクが他者と出会うとき	齋藤 環 朝 日	4.29
近代美術の眼 imagery72 850007 72コマ 常識に挑む[伊藤義彦]	増田 玲 読 売	7.13	日中友好を越えて 中 オタクが変えるかも	井上 純一 安藤 淳 東 京	9.29
お手本画&秀作集 其ノ十一 稲垣三郎 《Beyond Landscape 11 山揺れる》	稲垣 三郎 水墨画*	276			
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 024 稲垣仲静 鶏頭	天野 一夫 美術手帖	967			

対談 写真芸術の新しい可能性	梅原 猛 井上 隆雄	美術京都	43	作品「だらしねえなあ」	猪瀬 季里	秋田公立美術工芸短期大学紀要	16
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 1 GALLERY 技巧にま ずは驚く[井上雄彦]	山下 裕二	美術手帖	974	お手本画&秀作集 其ノ十二 《ロンド》	猪俣 須美	水墨画*	277
みんなのマンガ学 「青春の一冊」リクエ スト編 1 SLAMDUN K 選手たちの感覚 生々しく[井上雄彦]	伊藤 遊	朝日夕刊	1.5	時が流れる風景 3、 6、9	伊庭新太郎	新美術新聞	279、282、 285
井上雄彦『pepita』 刊行	道丸 麻耶	産 経	3.1	追悼特集 織田廣喜 氏を偲ぶ 二科の一 番の宝物を失った思 い	伊庭新太郎	新美術新聞	1285
お手本画&秀作集 其ノ十二 井上千里 《滔滔》	井上 千里	水墨画*	277	追悼 織田廣喜先生 を悼む	伊庭新太郎	連盟ニュー ース	444
戦中から戦後へ作家 をたどる 7 井上長 三郎、鶴岡政男、安 孫子真人	笹木 繁男	美術運動 史研究会 ニュース	127	写真化学研究所第1 回作品『ほろよひ人 生』と伊原宇三郎《ト ーキー撮影風景》	矢野 進	世田谷美 術館紀要	13
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 093 井上長三郎 東 京裁判	原田 光	美術手帖	967	山下裕二の今月の隠 し球95、96 井原信 次 フェルメールが 描いた冷蔵庫(上、 下)	井原奈津子	美術の窓	350、351
戦後の巨匠18[井上 長三郎]	林 紀一郎	美術屋・ 百兵衛	22	くせ字の味は人柄の 味 18歳から500人 以上収集、まねて理 解深める	井原奈津子	日 経	10.31
美の美 証言する絵 画—戦争の時代3 [井上長三郎]	宝玉 正彦	日 経	8.26	今井兼次共同研究報 告II	岸本 章	多摩美術 大学研究 紀要	26
追悼 井上博道さん 司馬遼太郎記念館 上村洋行館長 仏師 の心も読み取れる写 真家	坂下 芳樹 上村 洋行	産 経	12.20	美の美 日本のガウ ディ・今井兼次 上、 下	古賀 重樹	日 経	7.8、15
現代作家紹介 井上 廣子—「森」に向か って	小勝 禮子	美術フォ ーラム21	25	制作ノート いまま でとこれから	今井 俊介	武蔵野美 術大学研 究紀要	42
数寄の文化誌 デタ ラメ書き[井上有一]	熊倉 功夫	聚 美	4	第80回記念独立展 80回展を迎える独立	今井 信吾	新美術新 聞	1293
お手本画&秀作集 其ノ十四 井上和泉 《田舎(里帰り)》	井上 和泉	水墨画*	279	文化功労者 今井政 之氏を祝して	編集部	陶 説	708
館藏品紹介 7 今来 て見られる この逸 品 猪熊弦一郎「ニ ースの女」	香川県立 ミュージ アムニュー ース	18	赤絵師の矜持と責任 十四代今泉今右衛門 さん	鳥居 明雄	日 経	714	
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 117 猪熊弦一郎 Snake Line	三田 晴夫	美術手帖	967	十四代今泉今右衛門 氏の陶芸	鈴田由紀夫	日 経	18
視点 猪熊さんとの 思い出[猪熊弦一郎]	速水 史朗	美術の窓	343	「十三代・十四代今 泉今右衛門一色鍋島 の粹」展に寄せて	島崎 慶子	日 経	18
美の履歴書270 なぜ 顔ばかりなのか 「顔80」猪熊弦一郎	西岡 一正	朝日夕刊	9.5	ぎやらしいモール 智美術館「十三代・ 十四代今泉今右衛門 一色鍋島の粹」から 「色絵薄墨墨はじき 石榴文蓋付瓶」十 四代今右衛門	今岡紫雲英	読売夕刊	12.18
				作家通信 元気のヒ ミツ 自然の中に住 む	今岡紫雲英	水墨画*	274

平成24年定期刊行物所載文献(近/作イ)

クリエイターズワーク&ソウル 今津康夫		A X I S	156	ぎやらりいモール 笠間日動美術館「やきものの里のネコ 岩合光昭写真展」から「茨城県笠間市」 岩合光昭	亀山 浩一	読売夕刊	5.15
受賞学生インタビュー 第7回 富山水辺の映画祭2011 グランプリ	今林 由佳	芸大通信	24				
ろう者の心 ろう者が撮る ドキュメンタリー映画通じ現状を多くの人に	今村 彩子	日 経	2.23	パブリック・アート 散歩 (シリーズ No.1)熊本市/高橋公園と千葉城公園の彫刻[岩越末雄]	古家 良一	V i e w	142
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近代美術の傑作150 017 今村紫紅 熱国 之巻	古田 亮	美術手帖	967	ちひろを訪ねる旅44~47[いわさきちひろ]	竹迫 祐子	安曇野ちひろ美術館 美術館だより	69~72
明治・大正におけるパンカラ旅行の系譜 一大観・観山・紫紅・未醒の東海道五十三次旅行(大正4年)の背景として[今村紫紅]	佐藤 志乃	横山大観記念館館報	28	特集 いわさきちひろ Love, Love, Love		芸術新潮	751
遙かなもの	入江 観	新美術新聞	1280	人生篇 女として、母として、人として 愛し、生きた人生	橋本 麻里		
古色大和路 入江泰吉記念奈良市写真美術館編		日 経	11.18	思い出を訪ねて	編集部		
SPECIAL FEATURE Chim ↑ Pom プレゼンツ REAL TIMES GALLERY & INTER-VIEWS THEORY & PRACTICE スーパーラットの『種の起源』をたどる 論考01 アーティヴィズム・ナウ! たのしいアーティヴィズムと野生のアート	イルコモンズ、成田圭祐 編著	美術手帖	964	秘められた強さに迫る 初のドキュメンタリー映画	"		
いま風 水曜日 モビール 楽しく揺れる[いろけん]	宮木 優美	読売夕刊	3.14	特集 いわさきちひろ Love, Love, Love 作品篇 美術史から読み直す いわさきちひろ試論	"	"	"
クリエイターズワーク&ソウル 色部義昭		A X I S	160	「紫陽花いろ」の画家 日本近代絵画史のなかのいわさきちひろ	北澤 憲昭		
第16回手塚治虫文化賞 マンガ大賞 「ヒストリエ」 岩明均さん 異文化の交わり鮮やかに	宮本 茂頼 朝	日 経	4.23	“にじみ”が語ること いわさきちひろと宗達	仲町 啓子		
あきらめずに、やりぬく。その一心だった。[岩岡ヒサエ]	立古 和智	女子美	173	「女」たちの場所 ちひろとローランサン	天野 知香		
座談会「第四十四回 日展審査を終えて一魅力ある日展に向けて」	中山 忠彦、寺坂 公雄、奥田小由女、岩倉 寿、塗師 祥一郎、市村 緑郎、新井 光風、森協 正人 司会	日展ニュース	147	特集 いわさきちひろ Love, Love, Love ちひろを語る	"	"	"
				独学の尊さ	安野 光雅		
				私たちの時代	堀 文子		
				母との時間	松本 猛		
				無意識の伏線	イクムレイコ		
				東京どんぶらこ 527 石神井 ちひろ平和への願い[いわさきちひろ]	早乙女勝元	東 京	6.2
				事務室のいわさきちひろ 未発表のパスセル原画だった! 長野・塩尻		読売夕刊	12.19

「リョーマの休日」酷似彫刻家作品と高知県ポスター[岩崎祐司]			読	売	5.5	特集 未来のスターを探せ! 新人大図鑑2012 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト10 上田葉介	宮下規久朗	美術の窓	344	
神は、楯円を創造するののか!	岩澤 有徑	新美術新聞			1284	REVIEW とり結ばれ、発揮された力[上田義彦]	諏訪 敦	美術手帖	971	
本よみうり堂 岩瀬禎之著 岩瀬禎之写真集 海女の群像	星野 博美	読	売	9.9	特集 未来のスターを探せ! 新人大図鑑2012 次世代トップアーティスト インタビュー 岩田壮平	本よみうり堂 佐藤卓・総合企画 上田義彦・写真「JO-MONESE」	(井)	読	売	6.24
山下裕二の今月の隠し球87、88 岩田俊彦 漆のインテリアが震災を癒す(上、下)	山下 裕二	"			342、343	特集 模写から学ぶ 絵画の技法 第三研究室座談会 古典の模写から学び取るもの	窪井 裕美 繭山 桃子 永井 健志 松下 雅寿 上野 高	美術の窓	349	
特集 アートの力を考える! PART2 きずな一再生美術の力 岩永勝彦 めくもり	高山 淳	"			348	幕末の写真師 激動みつめたレンズ「上野彦馬の世界」出版	小川 雪	朝日夕刊	9.10	
展覧会時評 ex-chamber museum-offline 第2回「絵画の庭」を今更ながら振り返ってみる、の巻 [岩永忠すけ]	幕内 政治	ファウンテン			2	インタビュー・シリーズ 夢プロジェクト 世界に発信するアーティストたち		ギャラリー*	332	
						特別編 上前智祐 世界へ				
						No.5 上前智祐				
(ウ)						視点 BB プラザ美術館開館三周年記念一卒寿を超えて「上前智祐の自画道」	坂上義太郎	美術の窓	350	
植木金矢の“似顔絵”活劇天下御免		芸術新潮			747	父の教え 日本画家 上村淳之さん 人生、3度壁に当たって乗り越える	山上 直子	産 経	12.12	
銀幕の名優 劇画で競演「風雲鞍馬秘帖」ヒットから半世紀、今も新作描く	植木 金矢	日 経			1.23	こころの玉手箱 日本画家 上村淳之 1~5	上村 淳之	日経夕刊	5.14~18	
ぎやらりいモール 弥生美術館「伝説の劇画家 植木金矢展」から「風雲鞍馬秘帖」 植木金矢	松本 品子	読売夕刊			3.6	特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 上村篁月韻	上村 篁月	水墨画*	282	
手から手へ 池井昌樹〈詩〉 植田正治〈写真〉		朝 日			10.21	作家通信 元気のヒミツ 篁月青春まつり 只中! 更なるこれから展	"	"	283	
近代美術の眼 パパとママと子供たち 家族写真に構図の妙 [植田正治]	増田 玲	読 売			10.12	上村松園の作品における落款について	中村 麗子	東京国立近代美術館研究紀要	16	
本よみうり堂 池井昌樹 写真・植田正治 企画と構成・山本純司 「手から、手へ」	(金)	"			11.4	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 091 上村松園 晩秋	加藤 弘子	美術手帖	967	
あすから「第31回 損保ジャパン美術財団選抜奨励展」平面作品部門 秀作賞 上田とも子氏「昼下りの街角」札幌の「見えない風景」	上田とも子	産 経			3.2	父の教え 日本画家 上村淳之さん 人生、3度壁に当たって乗り越える [上村松園]	山上 直子	産 経	12.12	

SPECIAL FEATURE Chim ↑ Pom プレゼンツ REAL TIMES GALLERY & INTER-VIEWS 世界各国の22組が登場! スーパーラットな表現者たち ARTIST INTERVIEW 宇川直宏 ファイナルメディア DOMMUNE とは何か?	三田 格、 エリイ、 林靖高 聞き手 阿部謙一 構成	美術手帖	964	第43回日展 新入選者寄稿一喜びと抱負一 彫刻への思い	内 ゆき	日展ニュース	144
REVIEWS01 榎木野衣 月評第50回 アナーキズムのサーカス 「FREEDOM-MUNE 0 (ZERO) A NEW ZERO 2012」 [宇川直宏]	榎木 野衣	〃	974	特集 アートの力を考える! PART 3 内田青虹 英雄哀歌	高山 淳	美術の窓	348
茶話マンガ 侵される大人との境界[うさくん]	伊藤 剛	朝日夕刊	2.25	照明デザイナー 内原智史さん 街も心も幸せ色に照らす	鈴木 康浩	日 経	12.15
宇佐美圭司インタビュー	林 道郎 松浦 寿夫 岡崎乾二郎	ART TRACE PRESS	2	平成23年度 内間安理作品等調査報告	大城 仁美	沖縄県立博物館美術館博物館紀要*	2
ことば 宇佐美圭司さん(画家)	白石 明彦	朝 日	3.28	霧・霞・雲煙の表現を極める	打矢 恵	水墨画*	276
描くこと最期まで手放さず 画家・宇佐美圭司さんを偲ぶ会	大西 若人	朝日夕刊	12.26	特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 打矢恵 大雪山	〃	〃	282
追想録 理知と柔軟な感受性 宇佐美圭司さん(現代美術家)	宝玉 正彦	東京夕刊	12.7	論点スペシャル サッカーと日本人 ツイ海外で成長 宇都宮徹哉 写真家・ジャーナリスト	鶴原 徹也 聞き手	読 売	10.10
梅を知り、梅を描き、梅に学ぶ	宇佐美江中	水墨画*	274	特集 耽美な世界へようこそ 対談 宇野亜喜良×沢渡朔 モチーフとしての少女、絵と写真からのアプローチ	宇野亜喜良、 朔 対談	美術の窓	342
作家通信 玉堂・江中師弟展に思う	〃	〃	276	あの日の大阪閉じ込めた 江戸川 宇野マサシさん 個展「西成、飛田界限」	丹治早智子	東 京	11.5
新収蔵品紹介 牛島義弘《化石の磁場》	井上 正敏	V i e w	140	思い出す本忘れない本 授業中にこっそり読んだ COJI—COJI 1~4 さくらもこく(作)	梅 佳代 談 加来 由子 構成	朝 日	9.23
「お接待小屋」89ヶ所めざす 四国霊場巡るお遍路さんに、地元の人々と憩いの場	歌 一陽	日 経	5.28	本よみうり堂 ビタミンBOOK 日常の情景に胸熱くなる [梅佳代]	益田 ミリ	読 売	3.11
江戸博蔵めぐり 東京名勝図会 ホテル館庭上の図 「和」取り込んだ西洋建築 [歌川広重(三代)]	小山 周子	読 売	5.11	総特集 永野護『ファイブスター物語 [ストーリーズ]』の普遍、『花の詩女ゴティックメード』の衝撃 「アモルマニア」へ至る道 神はデザインする 永野護をめぐるトライフクス	武井 宏之 西島 大介 梅沢 和木	ユリイカ	619
江戸博蔵めぐり 七福人宝の入船 幸多き年へ 願い込めて [歌川房種]	吉田奈緒子	〃	12.21	タマミの御霊一椽図かずお「赤んぼ少女」、鎮魂をめぐる諸問題	高橋 明彦	金沢美術工芸大学 紀要	56
北川民次の絵画技法(2)一名古屋市美術館所蔵作品の自然科学的調査一	白河 宗利 歌田 眞介 森田 恒之 木島 隆義 森田 直人 増田 直人 山田 元論 田中 鈴鴨 富士子 杉原 朱美	愛知県立芸術大学 紀要	41	若手育成事業「アニメミライ」の提案 「ベテランに学ぶ」へ 回帰を [梅田俊作]	三沢 典丈	東京夕刊	2.29

大庭大介連載対談 「ペインティングの 可能性」第3回 大野智史 梅津庸一	ファウン テン	3	榎倉康二の写真作品 について	熊谷伊佐子	明星大学 研究紀要	20	
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 087 梅原龍三郎 北 京秋天	田中 淳	美術手帖	967	特集 耽美な世界へ ようこそ 現代のフ ァム・ファタル[魔 性の女] 江畑芳	江畑 芳	美術の窓	342
特集 未来のスター を探せ! 新人大図 鑑2012 評論家・ジ ャーナリストが選ぶ 注目の新人アーティ スト10 梅村圭	ワシオ・ト シヒコ	美術の窓	344	ながさわつかひろの 「に・褒められたく て」Vol.22「蛭子能 収に褒められたく て」	ながさわ つかひろ	美術手帖	966
美術学部教員展図録 陶磁	梅本 孝征	愛知県立 芸術大学 紀要	41	そして、水の波紋の 裏側からそっと(イ ンスタレーション)	海老塚耕一	多摩美術 大学研究 紀要	26
メビウスさんを悼む 常に新しかったその 線	浦沢 直樹	毎日夕刊	4.5	視覚障害者に対する 芸術鑑賞の方法	"	"	"
(エ)				小津安二郎、東郷青 児らの寄せ書き屏風 映画「新しき土」上映 にあわせ展示[海老 原喜之助]	山根 聡	産 経	4.5
瑛九《失題》	熊田 司	えむえむ	2	自由席 小杉勇と芸 術家の交遊屏風[海 老原喜之助]	(古)	日経夕刊	4.18
瑛九のリトグラフ 再現制作に基づく分 版の仕組みの分析	城山 萌々	芸術学研 究(筑波)	17	画集刊行記念 移ろ いの象形 江本智美 日々の歌のように	高山 淳	美術の窓	344
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 108 瑛九 ながれ れいめい	田中 淳	美術手帖	967	話題の人 巻頭イン タビュー 江里康慧 さん(仏師)	江里 康慧 談 集 部	目 の 眼	427
クリエイターズワー ク&ソウル h.o		A X I S	159	SPECIAL FEATURE 荒木飛呂彦 人間賛 歌一謎めく美しき世 界 MESSAGE アー ティストが語るジョ ジョ02 エリイ (Chim↑Pom)	エ リ イ	美術手帖	975
第25回奨学者のレポ ート 300の手紙	江川 純太	アクリラ ート(別 冊)	2012	セザンヌからの多く の発見	遠藤 彰子	新美術新 聞	1280
自作再見 栄久庵憲 司「キッコーマン しょうゆ卓上瓶」 モノや美の民主化目 指した	大西 若人 聞き手	朝日夕刊	11.7	読んでみて! 列島 にマイクロバスで描 いた軌跡[遠藤一郎]	渋谷 和彦	産 経	2.8
彫刻家の現場から 87 江口週	武田 厚	美術の窓	347	被災地に力 美術家 の試み「東北画」理 解と励まし[遠藤一 郎]	小川 敦生	日経夕刊	1.23
2012年日本建築学会 作品選奨 長崎市子 育ての駅「てくてく」 十千秋が原南公園十 信濃川桜つつみ遊歩 道[江尻憲泰]		建築雑誌	1635	特集 アートの力を 考える! PART3 遠藤賢太郎 自然の 深い眼差し	高山 淳	美術の窓	348
茶話マンガ セカイ 系からさらに先へ [えすのサカエ]	伊藤 剛	朝日夕刊	1.21	連載 ケンチク脳の 活かし方 ツバルに 学び、先進国のライ フスタイルを革新す る	遠藤 秀一	建築雑誌	1633
作家訪問429 ガラス 作家 江波富士子さ ん	編 集 部	目 の 眼	431	評 建築 福良港津 波防災ステーション /淡路人形座 津波 を想定した曲面壁 [遠藤秀平]	五十嵐太郎	毎日夕刊	10.18
全美フォーラム04 もっと野生を「榎 忠展 美術館を野生 化する」	池上 司	ZENBI	1				

平成24年定期刊行物所載文献(近/作エ、オ)

幕末明治初期住吉派における復古派としての遠藤廣宗、遠藤貫周と住吉廣賢	梶岡 秀一	愛媛県美術館年報・研究紀要	11	特集 アートの力を考える! PART 3 大久保正子 姫島盆踊り	”	”	”
彫刻家の現場から 91 遠藤幹彦	武田 厚	美術の窓	351	追悼特集 織田廣喜氏を偲ぶ 織田廣喜先生に感謝を込めて	大隈 武夫	新美術新聞	1285
(オ)							
水墨の最前線 6 水にまつわる表現を深めて 及川聡子	立島 恵	水墨画*	276	天才外科医 波乱の青春 ブラックジャック、来年で40周年 医学生時代を描き「継承」[大熊ゆうご]	岩本 哲生	朝日夕刊	12.1
新人賞展 及川裕介さんの作品について	田中シンタロウ	自由美術	2012	アクリリックス・ワールド69 大小島真木	石井 芳征	美術手帖	966
青春プレイバック 大井錦亭 余韻となつて表われる空間の筆意	宗像 克元	新美術新聞	1295	ぎゃらりいモール 練馬区立美術館「人間国宝大坂弘道展」から「黒柿蘇芳染宝相華文嵌荘花形盒子」 大坂弘道	加藤 陽介	読売夕刊	12.25
特集 アートの力を考える! PART 3 大石久美江「絆II」世界を一つに!	大石久美江	美術の窓	348	研究ノート 「世に隠れた超一流画家列伝2 大沢三之助」	上山 陽子	練馬区立美術館ニュース	16
時代の証言者 写真で伝える 大石芳野 1~28	永井 一顕	読 売	1.4、5、7、9~12、14、16~19、21、23~26、28、30~2.2、4、6~9、11	水彩画家の足取りをたどって~大下藤次郎がめぐった福島~	中川原有紀	郡山市立美術館研究紀要	7
記憶の地層を掘る 「大浦一志一自然と人間一雲仙普賢岳との20年」に寄せて	中村 誠	ソカロ	58	資料紹介 島根県立石見美術館所蔵 大下藤次郎日記(第5回・最終回)	川西 由里	島根県立石見美術館研究紀要	6
作家訪問426 陶芸家 大江志織さん	編集部	目の眼	428	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 007 大下藤次郎 秋の雲	田中 淳	美術手帖	967
特集 アートの力を考える! PART 3 大河原隆則 再生を導く意思	小池伊欧里	美術の窓	348	近代美術の眼 穂高山の麓 自然との交感 繊細に[大下藤次郎]	都築千重子	読 売	5.18
水墨の最前線 4 人物表現を深める墨 大河原典子・阿部清子	立島 恵	水墨画*	274	SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3 Artist Files 大島成己 無数の視線が織り込まれたありふれた風景	タカザワケンジ	美術手帖	971
作家通信 墨の奏でる音	大河原典子	”	285	月刊ギャラリー創刊25周年記念 小川英晴のアート縦横 No.19、20 現代美術の展望(前・後編)	小川 英晴、O JUN 談	ギャラリー一*	324、325
表紙解説 「坪内逍遙肖像」大木豊平画制作年不明 ©大木興二		早稲田大学図書館紀要	59	REVIEWS 棚田康司の矛と盾	O JUN	美術手帖	976
美博なう 太郎の色と形に浸る夜? 岡本太郎記念館[大口遼]		朝日夕刊	9.26	平成23年度 大城皓也作品および資料調査報告	吉田 祥子	沖縄県立博物館美術館博物館紀要*	2
フォーカス・アイ 大久保澄子 色彩の豊饒の海	松山 龍雄	版画芸術	157				
特集 アートの力を考える! PART 2 きずな一再生美術の力 大久保澄子 心の源泉	高山 淳	美術の窓	348				



東京美術学校西洋画 科卒業制作作品・自画 像の技法材料、保存 修復に関する基礎的 研究 IX[太田喜二 郎]	佐藤 一郎 木島 隆康 桐野 文良 土屋 裕子 中右 恵里子 作間 美智子 金 鐘旭	東京芸術 大学美術 学部紀要	50	この世界とわたしの どこか 日本の新進 作家 VOL.11 下 大塚千野 過去と現 在の自分、一枚に	笠原美智子	東京夕刊	12.13
マチエールから探る 日本画とその表現の 可能性—表面型・浸 透型・裏面型の3タ イプをもとにして—	太田 圭	筑波大学 芸術研究 報告	59	野の花図鑑24~26	大月 紅石	水墨画*	274~276
新収蔵品紹介 太田 三郎	廣瀬 就久	岡山県立 美術館ニ ュース	96	お手本画&秀作集 其ノ十 大月紅石 《静春》	"	"	275
コラム 大高正人と 福島三春の街づくり	二瓶 博厚	建築雑誌	1626	コツをおさえて描く 花の水墨画速習帖3、 6、9	"	"	279、282、 285
お手本画&秀作集 其ノ十七 大滝美芳 《爽涼》	大滝 美芳	水墨画*	284	作家通信 東日本の 被災地へ 墨彩の絵 うちわを贈る	"	"	283
art news 1980年、 ニューヨーク 大竹 昭子の熟成写真		芸術新潮	755	美の履歴書256 異世 界がのぞくわけ 「陳列窓」 大辻清司	西岡 一正	朝日夕刊	5.30
ニューヨーク1980 大竹昭子著		日 経	12.2	大特集 大友克洋の 衝撃		芸術新潮	748
SPECIAL REVIEW 大竹伸朗《モン・シ ェリ：スクラップ小 屋としての自画像》 コラージュ、脱出と 抵抗	藪前 知子	美術手帖	976	ロング・インタヴ ュー 大友克洋を つくったものと大 友克洋がつくった もの	中条 省平 聞き手		
特集 秋の制作シー ズンに贈る18作家の 水墨世界 大竹卓 介	大竹 卓	水墨画*	282	マンガ篇 マンガ 史を呑み込む「空 白」	村上 和彦		
特集 広島[ヒロシ マ]・長崎[ナガサ キ] 第1部 イン タビュー 建築家は 平和に、広島にどう 向き合ったか—平和 都市建設の思想	大谷 幸夫 初田 香成 砂本 文彦 聞き手	建築雑誌	1635	ただいま新作製作 中! アトリエ+ スタジオ訪問記	編集部		
お手本画&秀作集 其ノ十一 大谷南栴 《菜の花》	大谷 南栴	水墨画*	276	映像篇 なめらか なる映像世界 (全て)を見る演出 の視線	柳下毅一郎		
作家通信 元気のヒ ミツ 趣味の野菜作 り	"	"	284	USAレポート 海 を越える『AKIRA ショック』	バトリック ・マシアス 文 町山 智浩 訳・構成		
セザンヌの静物画	大津 英敏	新美術新 聞	1280	絵画篇 近代美術 史を包括する絵画 性	榎木 野衣		
追悼特集 織田廣喜 氏を偲ぶ 輝ける織 田廣喜先生の画業	"	"	1285	大特集 大友克洋の 衝撃 私が見る大友 克洋	"	"	
トビックス 大津英 敏、初のバリ個展開 催	小森佳代子	美術の窓	340	1 1979年の大友 克洋	山本 直樹		
水墨の最前線5 淡 い墨のグラデーショ ンの下に「毒」を潜め る 大塚怜美	野地耕一郎	水墨画*	275	2 日本人には作 れなかった距離感	中島 哲也		
				3 いきなりアシ スタントですか?	高寺 彰彦		
				SPECIAL FEATURE 大友克洋 Genga 展	美術手帖	967	
				『AKIRA』全ペー ジと原画3000点公開 !	内田 伸一		
				名和晃平が見る Genga 展	名和 晃平		

平成24年定期刊行物所載文献(近/作オ)

マンガが内破される瞬間	高橋 瑞木				日々好日 NiHOn-gA?	大野 廣子	新美術新聞	1275
マンガの地平広がった メビウスさんを悼む	大友 克洋	朝 日	4.4		茶話マンガ 幼いころの夢と不安と[大庭賢哉]	伊藤 剛	朝日夕刊	5.26
大友克洋の原画一挙 3000枚展示「壮大な 想像世界」震災復興 の糧に」	富田 律之	日経夕刊	4.23		日々好日 深夜の愉しみ	大場 再生	新美術新聞	1272
わたしの宝もの81 料理—遊び—芸術	大成 哲	新美術新聞	1273		追悼抄 漆芸家(人間国宝) 大場松魚(本名・勝雄)さん「職人」称し作業に没頭	三歩一真希	読売夕刊	8.25
インタビュー 豊福 知徳氏に聞く	建畠大成 開き手	哲、浩	442		大庭大介連載対談「ペインティングの可能性」		ファウンテン	
九段下ビルの壁画保存へ 仏芸術家復興 願い描く 解体業者も協力 最後の住人「美術館に」[大西信之]	小国 智宏	東京	2.1		第2回 川上幸之介			2
「みんなの家」被災地に 続々 復興語り合う 憩いの場 建築家の 思い広がる[大西麻貴]	高野 清見	読 売	12.20		第3回 大野智史 梅津庸一			3
Limited Nature(テキ キスタイル)	大野 亜紀	多摩美術 大学研究 紀要	26		逆境から跳んだ虎の 画家 孤高の巨匠、 大橋翠石の生涯とど り再評価	村田 隆志	日 経	4.23
追悼特集 福王寺法 林氏を偲ぶ 福王寺 法林先生を偲ぶ	大野 逸男	新美術新聞	1277		フェイス21世紀155 大原央聡 重圧や重 力から少し解放され たかたち	窪田 元彦	新美術新聞	1268
大野一雄の手の動き —『O氏の肖像』と『ラ ・アルヘンチーナ頌』 の映像分析—	藤田 明史	人文論究	62-3		大樋長左衛門 2010 —2011年 作品の解 説	大樋長左衛門	金沢学院 大学紀要*	10
舞踏における「重力」 —土方巽と大野一雄 による身体表現の共 通点と差異—	〃	美学論究	27		大樋十二景	〃	淡 交	812~824
大庭大介連載対談 「ペインティングの 可能性」 第3回 大野智史 梅津庸一		ファウン テン	3		文化勲章受章 大樋 長左衛門氏に聞く	十代大樋長 左衛門 孝一 森 孝一 聞き手	陶 説	707
アトリエ訪問 大野 俊明—人物から風景 へ、古典との対話を 進めながら、洋風リ アリズムと論理的な 空間構成を意識しつ つ達した、鮮やかな 色彩としなやかな線、 そしてゆったりとし た構成。それは現代 日本画のひとつの様 態と思われる	原田 平作	美術フォー ラム21	25		日々好日 旅	大見 伸	新美術新聞	1280
『大日本魚類画集』の 「解説」の再録II[大 野夙風]	田島奈都子	姫路市立 美術館研 究紀要	12		INFORMATION VO- ICE 3.11後の写真 表現を問う 写真家 は東北で何を見たの か?(上、下)	大森 克己	美術手帖	962、963
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 129 大野徹高 華巖	天野 一夫	美術手帖	967		大森克己写真展「すべ ては初めて起こる」 ものを「見る」行為を 疑って		産 経	1.12
					本よみうり堂 文・ 千葉惣次、写真・大 屋孝雄「東北の伝 承切り紙」	湯本香樹実	読 売	10.14
					青春プレイバック 日本画家大藪雅孝 善通寺での原体験、 仏神への強い意識	窪田 元彦	新美術新聞	1292
					香川文化考 風土が 育んだ美術家たち 大藪雅孝/木村素子 /藤澤珠玉		美術屋・ 百兵衛	20

特集 ジョン・ケー ジ 鳴り続ける〈音 生誕一〇〇年/没後 二〇年 音楽のアス テリズム ☆チェス ときのこは☆顔見知 りの挨拶を交わす	大山エンリ コイサム	ユリイカ	617	宇佐見圭司インタビ ュー	林 道郎 松浦 寿夫 岡崎乾二郎	" "	" "
特集 横尾忠則 ア ンファンテリブルの みる夢 天地縦横無 辺のフィギュール	横尾 忠則 大山エンリ コイサム 聞き手	"	618	特集—一九〇〇年パ リ万国博覧会出品作 (四) 紹美栄祐「嵐 山宇治川図花瓶」な らびに岡崎雪聲「田 村麿置物」について	五味 聖	三の丸尚 蔵館年報 ・紀要	17
批評 レター・レイ サーズ—ラメルジー と武装文字の空気力 学	大山エンリ コイサム	R E A R	28	S&O DESIGN のコ ンティニューアスデザ イン[岡田栄造]	土田 貴宏	A X I S	159
特集 アートの力を 考える! PART 3 大山和子 それでも、 オブティミスト	大山 和子	美術の窓	348	岡田三郎助《水浴の 前》—「理想画」にお ける花の象徴性—	高山 百合	美術史	172
研究報告 岡鹿之助 《セーヌ河畔》、1927 年のパリ風景	貝塚 健	ブリヂス トン・石 橋美術館 報*	60	佐賀文化考 日本女 性の美を描いた色彩 の画家 岡田三郎助		美術屋・ 百兵衛	23
王宮の四季を日本画 で表現 ソウルで展 覧会[岡信孝]		朝 日	10.11	特集 染織コレクシ ョンの形成 コラム 岡田三郎助の染織品 コレクション	水上嘉代子	歴 博	174
特集 蛭川実花 映 画『ヘルタースケル ター』の世界 〈女 優〉の表象		ユリイカ	612	愛知県立芸術大学芸 術資料館蔵品紹介 (36)	岡田 修二	愛知県立 芸術大学 紀要	41
下題上[ヘルター スケルター] 岡 崎京子と蛭川実花 をめぐる、二つの 「ヘルタースケル ター」と五人の女 優	榎木 野衣			懐かしい童謡・唱歌 の世界を絵にする	岡田 潤	水墨画*	275
岡崎京子から蛭川 実花へと受け継が れるもの 映画 『ヘルタースケル ター』にみる岡崎京 子の世界	杉本 章吾			お手本画&秀作集 其ノ十二 岡田潤 《Kenji》	"	"	277
思い出す本忘れない 本 みんな主役でみ んなワキ役 カトゥ ーンズ 岡崎京子 (著)	しまおまほ	朝 日	6.3	特集 デッサン力を 磨く ⑧技法講座 VOL. 25 人気作家8 名の制作プロセス公 開 岡田高弘 形を とらえる:水彩・パ ステルで動きのある デッサンを	岡田 高弘	美術の窓	340
活字の海で 漫画家 ・岡崎京子の軌跡 再評価試みる書籍相 次ぐ	諸岡 良宣	日 経	9.2	武田薬品研修所の全 体景と石庭—九山八 海の庭—	岡田 憲久	名古屋造 形大学紀 要	18
トピック 岡崎京子 輝き増す現感性 映 画化、関連書籍の刊 行相次ぐ	待田 晋哉	読 売	7.20	自邸は曼茶羅、増殖 中「ウルトラパロ ック」に着想、タイ ルで異文化融合	尾形 優	日 経	12.3
特集1 石子順造 座談会 キッチュと は何か、あるいは 〈価値真空状態〉の芸 術—石子順造を読む	成相 肇 岡崎乾二郎 林 道郎 松浦 寿夫	ART TRACE PRESS	2	歌舞伎を絵本にしち やいました[岡田嘉 夫]	橋本 治	芸術新潮	751
				うどんのうーやん 岡田よしとか・作 ストーリーは波瀾万 丈	篠原 知存	産 経	11.11
				マンガ最前線 岡田 屋鉄蔵著『ひらひら 国芳一門浮世譚』 はつらつ浮世絵師列 伝	細萱 敦	東京夕刊	6.5

平成24年定期刊行物所載文献(近/作オ)

江戸博蔵めぐり 日本一ノ画噺[えばなし] モダンな絵、はやりの装丁[岡野栄]	橋石もも子	読 売	9.7	新美術時評 岡本太郎生誕百年を見送る	光田 ゆり	新美術新聞	1268
本の舞台裏 認知症の母との時間[岡野雄一]	高橋美佐子	朝 日	9.22	岡本太郎の「光琳論」—「前衛」の流行と展開—	志賀 祐紀	美術史論集	12
作家通信 元気のヒミツ 無事は貴人	岡原 大嶽	水墨画*	279	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 070 岡本太郎 傷ましき腕	仲野 泰生	美術手帖	967
特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 岡原大嶽 秋日和	"	"	282	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 渋谷駅設置から3年半 岡本太郎「明日の神話」保全作業		美術の窓	345
森ニイマス 美術と教育—ふたつのアート・プロジェクト	岡部 昌生	札幌大谷大学紀要*	42	東京文化考II 東京のパブリックアートとランドマーク[岡本太郎]		美術屋・百兵衛	22
洋画家・岡村泰成		美術屋・百兵衛	22	美の履歴書272 海獣が意味するものは「森の掟」 岡本太郎	西岡 一正	朝日夕刊	9.19
わたしたちの教室へようこそ	小林 東雲 岡村 南紅	水墨画*	275	1年分の大掃除 岡本太郎氏の巨大壁画		産 経	10.28
ようこそ、新しい先生 06 岡村寛生	岡村 寛生	瓜生通信	55	こどもの城 15年3月末閉館 どうなるのこどもの樹 岡本太郎さん作「大衆」と行政に問う	小杉 佳奈	東京	10.22
本よみうり堂 ビタミンBOOK 不完全だからこそ損しない [岡村泰之]	益田 ミリ	読 売	10.14	熱気球[岡本太郎]		"	10.28
岡本一平による思想の集大成としての漫俳運動	角田 晴美	川崎市岡本太郎美術館研究紀要	2	足あと「かの子撩乱」 岡本家の私の部屋	瀬戸内寂聴	東京夕刊	12.12
岡本一平「新水や空俳優の部」—出版物と早稲田大学坪内博士記念博物館所蔵の原画	菊地 由花	美濃加茂市民ミュージアム 紀要	11	入門講座 「東北」への誘い 4 岡本太郎が見た生命力 鎮魂と供養のために	赤坂 憲雄	日経夕刊	3.22
コミック 山賊ダイアリー1 岡本健太郎(作) リアル猟師奮闘記 普通に暮らし鳥獣を食べる	南 信長	朝 日	1.8	美・コレクション “祭り”後も「地道に鮮烈」 岡本太郎「装える戦士」	岸 桂子	毎 日	6.13
茶話マンガ 楽しくておいしい狩猟[岡本健太郎]	伊藤 剛	朝日夕刊	12.1	江戸博蔵めぐり 太陽の塔絵はがき よみがえる「黄金の顔」 [岡本太郎]	松井かおる	読 売	2.17
座談会 「唐津焼の未来」を語る	岡本 作礼、 梶原 靖元、 坂本 直樹、 鈴木由紀夫、 中川自然坊、 中里太郎右衛門 森 孝一 司会	陶 説	706	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 051 岡本唐貴 争議団の工場襲撃	喜多 孝臣	美術手帖	967
美の美 大正100年 京都日本画の浪漫 上[岡本神草]	小川 敦生	日 経	4.22	写真の流通とジャンルの横断—岡本東洋の「美術資料写真」「生態写真」「観光宣伝写真」に注目して	高橋 千晶	大正イマジユリイ	7
岡本太郎と宮本常一の写真と文章からみるオシラサマ観についての考察	中野 泰生	川崎市岡本太郎美術館研究紀要	2	薩摩藩のガラス技法書について(7)	岡本 文一	明星大学研究紀要	20

野見山暁治 絵とことば きょうも描いて、あしたも描いて、90年。90年のはなし 描きつづけるエトランゼのあゆみ	野見山暁治 小川格 聞き手	ユリイカ	613	小木曾登 2010-2011 金箔上のアクリル絵具およびメディウムの定着追求	小木曾 登	金沢学院 大学紀要*	10
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 034 小川芋銭 夕風	足立 元	美術手帖	967	特集 模写から学ぶ 絵画の技法 CASE 3 小木曾誠 大学院での模写の授業実践を例に	"	美術の窓	349
茨城県近代美術館所蔵作品から 小川芋銭「野狐禪」	舟木 力英	遊 美	69	コミック ジジゴク 1 沖田次雄(作) 老極道の衰えない反骨精神	南 信長	朝 日	4.8
芋銭の顔 鼻・口に山の部分 隠し絵か		読売夕刊	10.5	コミック 毎日やらかしてます。沖田×華(作) 発達障害の日常カラッと	山脇 麻生	"	6.10
小川一眞の「光筆画」—美術品複製の極み	岡塚 章子	近代画説	21	点描画「奥の細道」時空旅 芭蕉の足跡たどり、荘厳な光景を光の点で	沖津 信也	日 経	6.22
小川一眞印刷・発行による『日露戦役写真帖』『日露戦役海軍写真帖』について	"	東京都江戸東京博物館紀要	2	荻原守衛の「生命の芸術」	武井 敏	ART LIBRARY	13
小川幸治さん文京で絵画展 三匹獅子舞に魅せられて 庶民が守る芸能「自由で面白い」	竹上 順子	東 京	12.23	100年後の未来にバトンタッチ! 保存と修理情報11 荻原守衛作「女」のブロンズ像公開	神庭 信幸	東京国立博物館ニユース	713
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! ARTIST FILE まだまだいる! 注目超絶技巧作家たち01 小川真治「ありうるかもしれない」世界の現出	平芳 幸浩	美術手帖	974	荻原守衛《女》におけるミケランジェロの影響	丸尾 リサ	美術運動史研究会 ニュース	128
特集 模写から学ぶ 絵画の技法 もうひとつの「模写」—世界の断片としての絵画	小川 信治	美術の窓	349	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 012 荻原守衛 女	千田 敬一	美術手帖	967
コツをおさえて描く 花の水墨画速習帖2、5、8	小川 夕星	水墨画*	278、281、284	荻原守衛・青春日記(十・最終回)『つくまのなべ』—新注釈つき—	榊原 好恭	碌山美術館報	32
第25回奨学者のレポート 裏山から月へ	小川 直樹	アクリラート(別冊)	2012	美術講座 ストーブを囲んで《北條虎吉像》を語る[荻原守衛]	柳沢 廣敏 武井 敏	"	"
茶話マンガ 少年の心を繊細に描写[小川麻衣子]	伊藤 剛	朝日夕刊	8.25	荻原守衛の未発表書簡 翻刻と注釈	武井 敏	"	"
特集2 現代陶芸と造形		R E A R	27	高山辰雄と奥田元宋 生誕100年 ふたりの日本画家に思う—自然と人間を起点に良きライバルとして	野地耕一郎	新美術新聞	1299
レポート: 対談 「作家の見た小川待子」李禹煥×小川待子 『二つのはじめの一步』	安藤 雅信			座談会「第四十四回 日展審査を終えて—魅力ある日展に向けて—」	中山 忠彦、 寺坂 公雄、 奥田小由女、 岩倉 寿、 塗師祥一郎、 市村 緑郎、 新井 光風、 森協 正人 司会	日展ニユース	147
《連載》戦時下日本の美術家たち 第48、49回 小川原脩(1、2)	飯野 正仁	あいだ	189、190				

樹木の一年写真で凝縮 北海道に自生する150種、輝く命をカラーージュに	奥田 實 日 経	2.28	SPECIAL FEATURE 荒木飛呂彦 人間賛歌—謎めく美しき世界 MESSAGEアーティストが語るジョジョ03 奥村雄樹	奥村 雄樹	"	975
エクス=アン=プロヴァンスのアトリエ	奥谷 博	新美術新聞	1280	レビュー 奥村雄樹 《ジュン・ヤン 忘却と記憶についての短いレクチャー》上映会+トーク	石崎 尚	REAR 28
11・6-8 国立京都国際会館 世界遺産条約採択40周年記念最終会合が開催 奥谷博氏の世界遺産作品が展示される 奥谷博画伯と世界遺産	松浦晃一郎	"	1297	特集3 所蔵作品展 寿ぎの「うつわ」—工芸館の漆工コレクションから— 天然漆の特性と表現—《乾漆割貝蒔絵飾箱 半夏生》について—	小椋 範彦	現代の眼 597
特集 アートの力を考える! PART2 きずな—再生美術の力 奥谷博	高山 淳	美術の窓	348	絶滅危惧種かもしれない画家として 白川昌生とイルコモンズの対談を読んで	尾崎 愛明	あいだ 189
綴じ込み カイカイキキギャラリー「A Nightmare Is A Dream Come True: Anime Expressionist Painting」展を開催! 参加作家による座談会 カオス*ラウンジの後、僕らはどこを目指すのか	S T A G J N T H E D N a B a B a お ぐ ち Mr.	美術手帖	967	INFORMATION EVENT 日本発の油絵展を浅草寺境内に再現 よってらっしゃいみてらっしゃい! 浅草寺でお茶を飲みながら油絵を油絵茶屋再現[小沢剛]	福住 廉	美術手帖 962
特輯 女性画家 図版七 奥原晴湖筆 春色嬌艶図	児島 薫 国 華	1397	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術日本で初めて油絵展示が行われた場を再現 「油絵茶屋再現」東京・浅草寺で盛況[小沢剛]			美術の窓 340
奥原晴湖画室「繡水草堂」復元模型	加藤 誠洋 泉 石	10	4 [読ん]で知るアート 食と現代アート 食が生み出す「関係性の美学」[小沢剛]			
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 086 奥村土牛 遅日	古田 亮	美術手帖	967	3・11後の表現 5 美術 歴史の記憶 作品に刻む 自省の念映像に 失った風景「再生」[小沢剛]	小川 敦生 富田 律之	日 経 3.10
水墨の最前線12 墨の効果で生み出された桃源郷の世界 奥村美佳	立島 惠	水墨画*	282	磁器に関する「表現技法」を求めて スイス、ニヨン磁器の歴史博物館での展示より	小塩 薫	名古屋造形大学紀要 18
特集 デッサン力を磨く 秘技法講座 VOL.25 人気作家8名の制作プロセス公開 実践編 人気作家が教えるデッサンのコツ 奥村美佳 画面の奥行きを意識した風景スケッチ	奥村 美佳	美術の窓	340	フェイス21世紀166 押元一敏 研ぎ澄むフォルム 際立つ造形の美	和田 圭介	新美術新聞 1298
評論の眼 奥村雄樹 「ジュン・ヤン 忘却と記憶についての短いレクチャー」(「東京藝術大学大学院美術研究科博士審査展2011」より)	小金沢 智	ギャラリー一*	321	特集 拡大・縮小美術館 インタビュー 切り絵師・尾関幹人 紙とカッターで作出す「身体[BODY]」	尾関 幹人	美術の窓 350
WORLD NEWS ワルシャワ グローバルなマーケットに連動し成長中! ワルシャワのアートシーン [奥村雄樹]	藤高 晃右	美術手帖	971			

文化の扉 はじめてのONE PIECE「友情・努力・勝利」王道を行く年重ねて分かる良さも[尾田栄一郎]	中村真理子	朝 日	1.30	あすから「第31回 損保ジャパン美術財団 選抜奨励展」平面作品部門 損保ジャパン美術賞 小野さおり氏「ハジマリノザワザワ」大きな存在の自然と一緒に	小野さおり	産 経	3.2
ONE PIECE 止まらぬ快進撃[尾田栄一郎]	溝上 健良	産 経	4.5				
作家訪問427 九谷焼作家 織田恵美さん	編 集 部	目 の 眼	429	小野佐世男書誌掲載リスト	吉田 成志	川崎市岡本太郎美術館研究紀要	2
A La Meiji—mura 板戸の絵に注目[織田杏斎]		明治村だより	67	わたしの宝もの89 故郷のキオク	小野 仁良	新美術新聞	1295
追悼特集 織田廣喜氏を偲ぶ	長谷川徳七 大津 英敏 鷹山ひばり 有江 俊哉 林 修 田中 良 伊庭新太郎 大隈 武夫 吉野 毅 月館 れい 末光 利夫 須藤 愛子	新美術新聞	1285	SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近代美術の傑作150 063 小野忠重 瓦斯工場	滝沢 恭司	美術手帖	967
追悼 織田廣喜先生を悼む	伊庭新太郎	連盟ニュース	444	特集 模写から学ぶ 絵画の技法 CASE 4 小野月世 水彩画の模写	小野 月世	美術の窓	349
お手本画&秀作集 其ノ十一 小田柿寿郎《通りの商店》	小田柿寿郎	水墨画*	276	総特集 永野護『ファイブスター物語 [ストーリーズ]』の普遍、『花の詩女ゴティックメード』の衝撃 エフェメラルに、エターナルに 肩、袖、腰… ラインが語り出す物語	蘆田 裕史 小野 原誠	ユリイカ	619
ブロック報告 四国ブロック 芸術祭以後の四国・瀬戸内 [小谷元彦]	中田 耕市	ZENBI	1	ブロック報告 中国ブロック 広島から発信する、オノ・ヨーコの新作メッセージ	神谷 幸江	ZENBI	1
INFORMATION MOVIE Cocco×塚本晋也新作映画 親愛なる内なるストーカー「KOTOKO」	小谷 元彦	美術手帖	967	特集 ジョン・ケージ 鳴り続ける〈音〉 生誕一〇〇年/没後二〇年 ジャパン・ミックス 沈黙と真空 ジョン・ケージを批判するオノ・ヨーコ	木村 覚	ユリイカ	617
特集2「現代の座標—工芸をめぐる11の思考—」について 満たされた光—ガラスを通して見えてくるもの—	小田橋昌代	現代の眼	596	「書」の販売で震災孤児支援 オノ・ヨーコさん		産 経	2.12
新聞錦絵の絵画的表現—恵斎芳幾による「東京日日新聞」を中心に—[落合芳幾]	原山 詠子	美学論究	27	震災遺児に「夢」を オノ・ヨーコさんの書販売		毎日夕刊	2.13
資料報告 仮名垣魯文・文 落合芳幾・画 心学身之要慎	小川祐貴子	明治大学 博物館研究報告	17	SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近代美術の傑作150 084 オノサト・トシノブ 黒白の丸	横山 勝彦	美術手帖	967
日々好日 饅頭茶漬	小堤 良一	新美術新聞	1293	佳作賞展 自由美術 佳作賞展を観て	小野田志津代	自由美術	2012
特集 拡大・縮小美術館 立体編 小野耕石 版画の技法から立体を生み出す		美術の窓	350				

あすから「第31回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」立体作品部門 新作優秀賞 小野寺英克氏「空に溶け込む動物2」ネズミをモチーフに

小野寺英克 産 経 3.2

みんなのマンガ学 こどものおもちゃ 子どもの気持ちに寄り添う[小花美穂]

倉持佳代子 朝日夕刊 2.23

『覽海魚譜』について

小濱亜由美 鹿兒島大学総合研究博物館ニュース\* 31

特集 模写から学ぶ 絵画の技法 CASE 2 小尾修 ルーヴル美術館でのレンプルアント模写

小尾 修 美術の窓 349

SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近代美術の傑作150 060 小茂田青樹 虫魚画卷(部分)「夜霧」

野地耕一郎 美術手帖 967

SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近代美術の傑作150 112 小山田二郎 鳥女

原田 光 " "

横尾忠則 ラッピング電車 故郷を走る 横尾忠則ほか著[織作峰子]

日 経 12.16

第14回岡本太郎賞受賞 オル太 インタビュー

内田 伸一 たまび 57

特集 大正時代の版画誌『月映[つくはえ]』の青春 田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎

版画芸術 157

『月映』前史—回覧雑誌『密室』から私輯『月映』まで

公刊『月映』の木版画

『月映』その後

『月映』という宇宙 井上 芳子

SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近代美術の傑作150 019 恩地孝四郎 あかるい時

西山 純子 美術手帖 967

詩と版画の融合試み 抽象絵画の意義主張 現代美術のパイオニア 恩地孝四郎

桑原 規子 東京夕刊 10.31

近代美術の眼 あるヴァイオリニストの印象(諏訪根自子像) 大胆に「天才」を表現 [恩地孝四郎]

保坂健二郎 読 売 6.15

(カ)

惜別 海道園男さんを偲んで

森田 六男 主体美術 92

第六十五回全国大会 研究発表要旨 大正期におけるレオナルド・ダ・ヴィンチの受容の側面—甲斐庄楠音を中心に—

富田真理子 美術史 173

美の美 大正100年 京都日本画の浪漫 中[甲斐庄楠音]

小川 敦生 日 経 4.29

加賀屋武 1953-2012 の仕事 60年に及ぶ 創作活動の記録第1~3回

ギャラリー 330~332

昭和初期に出品された同時代女性像の成立背景の考察—鑄木清方門下の作品を中心に—[柿内青葉]

矢頭英理子 鹿島美術財団年報・別冊 29

特集 アートの力を考える! PART 3 垣内宣子 愛する風景

刃刀 知子 美術の窓 348

マネキンに意匠着せる 時代の息吹を反映、300体を超える原型制作

欠田 誠 日 経 2.3

夢二と彦乃の作品同時寄贈 金沢へ肉筆画など150点[笠井彦乃]

田嶋 豊 東京夕刊 1.21

フォーカス・アイ 笠井正博 「光」に満ちた静謐なブルー

栗本 寛子 版画芸術 156

キュレトリアル・スタディーズ04 笠原恵実子—inside/outside—新収蔵品を中心に

牧口 千夏 京都国立近代美術館研究論集 4

水墨の最前線13 夜の水面そのものになるまで墨を塗りこむ 梶岡俊幸

野地耕一郎 水墨画\* 283

特集 耽美な世界へようこそ 檜木知子

檜木 知子 美術の窓 342

フランス寓話と浮世絵 P.バルブトーの挿絵本たち[梶田半古]

高山 晶 国立国会図書館月報 612

資料研究 梶田半古筆《釈迦帰郷》について

浦木 賢治 埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要 6



座談会「唐津焼の未来」を語る	岡本 作礼、 梶原 靖元、 坂本 直樹、 鈴木 由紀夫、 中川 自然坊、 中里 太郎、 中里 右衛門、 森 孝一、 森 司会	陶 説	706	思うままに クライ スバーグの芸術 自然破壊を告発[加藤 昭男]	梅原 猛	東京夕刊	2.27
見ること、描くこと の諸相 山本大貴と 柏本龍太		芸術新潮	755	展覧会時評 ex-cha- mber museum- off- line 第2回 「絵画 の庭」を今更ながら 振り返ってみる、の 巻[加藤泉]	幕内 政治	ファウン テン	2
THIS IS A FILM 一 柏原えつとむの映像 作品一	森下 明彦	国立国際 美術館ニ ュース	193	丁亥印社リレー投稿 8 売印生活のスス メ	加藤 雨人	書道界	276
「社会化された女性 像」の記号化 一梶 原緋佐子の大正期作 品にみられる「口を 開く女」から「古い へ」	尾崎 真人	京都市美 術館年報	H22年度	陶と花	加藤 清之	陶 説	711
追悼・片岡伸介氏 片岡伸介抄	中山 忠彦	新美術新 聞	1279	ミロが絶賛した加藤 重高作の花瓶	鶴 勲	"	713
義足を越える私の存 在 若手発掘のアー ト展グランプリ・片 山さん[片山真理]	大西 若人	朝 日	5.22	お手本画&秀作集 其ノ十一 嘉藤大峻 《堀川遊覧》	嘉藤 大峻	水墨画*	276
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 088 香月泰男 水鏡	牧野研一郎	美術手帖	967	青春プレイバック 彫刻家加藤豊 彫刻 家への階段を一步一 歩	窪田 元彦	新美術新 聞	1287
ぎやらりいモール ちひろ美術館・東京 「ちひろと香月泰男」 から「父と子」 香 月泰男	松方 路子	読売夕刊	4.3	加藤芳信の3.11ジャ ポニスム曼荼羅 第 1~6回		ギャラリー 一*	322~327
味わいのある作風に 光 漫画家・故勝又 進氏の2作品集	(間)	東京夕刊	3.1	文人清遊 香取秀真 と入山辺	細萱 禮子	松本市美 術館紀要 エクラン	3
所蔵品紹介224 鋭角 からの円-Ring Sun 勝本富士雄		石川県立 美術館だ より	343	第43回日展 新入選 者寄稿一喜びと抱負一 日展に入選、そ こで見えたもの	金井 大輔	日展ニユ ース	144
特集 拡大・縮小美 術館 絵画編 桂典 子 ほとばしる生命 の集合体		美術の窓	350	内田百閒特集		実践女子 大学文芸 資料研究 所年報	別冊13
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 071 桂ゆき 作品	光田 由里	美術手帖	967	画本『冥途』につい て	金井田英津 子		
お手本画&秀作集 其ノ十五 門紀美子 《往き日》	門 紀美子	水墨画*	280	座談会「ことばと 映像、そして内田 百閒の文学のこと など」	金井田英津 子 栗原 敦、 河野 龍也 聞き手		
照明器具デザイン一 あかりの提案一	小井土 満 谷 浩二 角 文平	武蔵野美 術大学研 究紀要	42	特別企画「百閒先 生の思い出」一新 資料・第二十一回 摩阿陀会録音テー プ翻刻一	金井田英津 子、 多田 杉彦、 多田 毅、 栗原 敦、 河野 龍也 聞き手		
				お手本画&秀作集 其ノ十四 金澤徹 《播州秋祭り》	金澤 徹	水墨画*	279
				神戸ビエンナーレ アート イン コン テナ国際展奨励賞受 賞作品「Polyphonic Jump!」における芸 術表現構造としての ファンタジー性 制 作ノート	金澤麻由子	横浜美術 大学教育・研究 紀要	2

平成24年定期刊行物所載文献(近/作カ)

インタビュー・シリーズ 夢プロジェクト 世界に発信するアーティストたち No.4 金丸悠児		ギャラリー一*	331	ひと「石垣焼」の世界進出を目指す陶芸家 金子晴彦さん	竹谷 俊之 朝 日	1.7
フェイス21世紀158 金丸悠児 古代の記憶がつむぎ奏でる生命の讃歌	和田 圭介	新美術新聞	1276	東京都写真美術館寄贈の金坂健二写真作品・写真資料、映像作品および関係資料について	遠藤みゆき 金子隆一 田坂博子	東京都写真美術館 紀要 11
日々好日 悠久の宙	金森 良泰	〃	1298	金重有邦 ひいきのひきたおし	中野 徹	陶 説 708
学芸員の視点 金山平三の人と芸術—今後のために	西田 桐子 相良 周作	ART RAMBLE	35	菊池寛実記念智美術館「金重有邦 生まれてくるもの」展に寄せて 金重有邦作陶概観—十年の創意	花里 麻理	〃 〃
東京美術学校西洋画科卒業制作作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 IX[金山平三]	佐藤 一郎 木島隆康 桐野文良 土屋裕子 中右恵里子 作間美智子 金 鐘旭	東京芸術大学美術学部紀要	50	戌も歩けば beau(ボー)に当たる 第二十九回 土の行者 [金重有邦]	竹田 博志	美術の窓 342
中特集 心の風景 金山平三 原風景		美術の窓	349	交遊抄 ラスクの縁 [金田石城]	原田 義人	日 経 5.15
文化往来 金山平三、風景画以外の魅力も紹介		日 経	5.10	あすから「第31回 損保ジャパン美術財団 選抜奨励展」 立体作品部門 新作秀作賞 金巻芳俊氏「刻・剋ディレンマ」 人間の迷い、感情表現	金巻 芳俊	産 経 3.2
収蔵作品から 金山康喜《食前の祈り》	杉野 秀樹	ど お む	118	第25回奨学者のレポート 描く事、旗越え	鹿野震一郎	アクリラート(別冊) 2012
戦中から戦後へ作家をたどる 9 高田博厚、木内克および金山康喜、野見山暁治	笹木 繁男	美術運動史研究会 ニュース	129	特集 未来のスターを探せ! 新人大図鑑2012 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト10 鹿野震一郎	清水 敏男	美術の窓 344
SPECIAL FEATURE 荒木飛呂彦 人間賛歌—謎めく美しき世界 MESSAGE アーティストが語るジョジョ01 金氏徹平	金氏 徹平	美術手帖	975	わたしたちの教室へようこそ	狩野 紘信 高橋 英男	水墨画* 276
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 037 金子九平次 C嬢の像	田中 修二	〃	967	狩野晴阜研究 序	関根 佳織	下関市立美術館研究紀要 13
吉田初三郎・金子常光の鳥瞰図等について—平成23年度購入資料の紹介—	佐藤 良宣	青森県立郷土館研究紀要	36	フランス寓話と浮世絵 P.バルブトーの挿絵本たち[狩野友信]	高山 晶	国立国会図書館月報 612
江戸博蔵めぐり 東京山手急行電鉄線路図 幻の第2「山手線」計画[金子常光]	沓沢 博行	読 売	6.8	狩野芳崖の後期作品とフェノロサ	石田 智子	東アジア文化交渉研究 5
スペインの初等美術教育—現地調査をもとにして—	金子 亨 佐藤みちる	東京学芸大学紀要	64	美の美 マドンナの系譜3 [狩野芳崖]	窪田 直子	日 経 5.27
素描に関する一考察—リアリズム絵画を中心に—	金子 亨 速水敬一郎 西川 正恒 村辺奈々恵 佐藤みちる	〃 〃	〃 〃	近代美術の眼 仁王捉鬼図 西洋の色彩 新たな日本画[狩野芳崖]	鶴見 香織	読 売 11.9
作家通信 ガロン第2回展「日本背景」	金子 朋樹	水墨画*	278	鑄木清方の「社会画」をめぐって—美人画家えがく麗しき文明批評	篠原 聡	美術運動史研究会 ニュース 130

SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 056 楠木清方 三遊亭円朝像	角田 拓朗	美術手帖	967	作家通信 玉堂・江中師弟展に思う[川合玉堂]	宇佐美江中	水墨画*	276
ひとえきがたり 仏生山駅 整備士気質写真に刻む [GABOMI]	辻村 碧	朝日夕刊	11.6	丁亥印社リレー投稿 7 資料紹介 河井荃蘆「背臨鏡盤名」について	川内 伯豊	書道界	275
車両再生工場の営み 写真集に GABOMI さん『ことでん』	手塚さや香	毎日夕刊	10.18	震災モチーフ大賞に受賞の2人「いま描かないと」都美術館と上野の森美術館 [川井雅樹]	川崎 宏三	東京	5.9
追悼特集 福王寺法林氏を偲ぶ 秋田の院展にお伴して	鎌倉 秀雄	新美術新聞	1277	川内倫子 照度 あめつち 影を見る	石田 哲郎 聞き手	E Y E S	73
国際野外制作会(ロシア)―シベリアの大地に立って―	鎌田 俊夫	連盟ニュース	444	川内倫子が見た丹波やきものと布、めぐる命	川内 倫子	芸術新潮	749
香川文化考 水墨画家・釜野みわ(芝映)		美術屋・百兵衛	20	川内倫子 写真を生きる	鈴木 理策	〃	751
カバーインタビュー / トラフ建築設計事務所 [禿真哉]	谷口真佐子、 編集 部 インタビュー・文	A X I S	155	ARTIST INTERVIEW 川内倫子	能勢 陽子	美術手帖	971
〈亀井家伝来資料〉の概要と意義 [亀井至一]	中山 恵理	郡山市立美術館研究紀要	7	SPECIAL FEATURE 奈良美智 SPECIAL PHOTO SESSION	川内 倫子	〃	973
特集 耽美な世界へようこそ 濃密な時間 亀井徹	亀井 徹	美術の窓	342	視線 照度あめつち 影をみる 川内倫子 著	保坂健二郎	朝 日	6.3
制作ノート 地震後美術	亀井 佑二	武蔵野美術大学研究紀要	42	特集 人物をいかして生き生きした風景画を制作する	川浦みさき	水墨画*	283
AFRIKA WAR JOURNAL 亀山亮	(存)	産 経	11.24	大庭大介連載対談 「ペインティングの可能性」 第2回 川上幸之介		ファウンテン	2
所蔵品紹介227 ÉTUDE (A) 鴨居玲		石川県立美術館だより	347	新・旧刊案内 [川上冬崖]	青木 茂	一寸	
新人賞展 深谷榮樹氏の作品について	嘉屋重順子	自由美術	2012	49 いわゆる「黄遵憲事件」と冬崖の死			49
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 121 加山又造 春秋波瀾	勝山 滋	美術手帖	967	50 陸軍省の冬崖・川上寛			50
みんなのマンガ学 怪奇版画男 すべて版画、真摯な情熱 [唐沢なをき]	表 智之	朝日夕刊	3.29	51 二万分一迅速 図と冬崖の死			51
コミック 強風記 カラスヤサトシ(作) 三文文士の笑い泣きの人生	南 信長	朝 日	9.16	pop style vol. 324 石本藤雄 自然と想像の融合 デザイナーが語る作品の魅力	市原 尚士 皆川 元美 川上	読売夕刊	11.7
学生企画 芸術とかかわって暮らす こだわらない、というコンセプトを持つ	かわこうせい 談	瓜生通信	55	川喜田煉七郎の「型」の概念と「科学」「技術」―家具の標準化から―	敷田 弘子	美学	240
祝 画業二十五周年 絵師 河合絵一		美術屋・百兵衛	21	海外通信 @パリ 時を越え異邦人が競演 バレンシアガ展 コム・デ・ギャルソン展 [川久保玲]	飯田 真美	朝日夕刊	9.26

平成24年定期刊行物所載文献(近/作カ)

「おもちゃ絵」本物の 芸術 洒脱な筆、ナ ニワの趣味人・川崎 巨泉の実像追う	森田 俊雄	日 経	4.4	パーツから学ぶ 水 墨画風景画独習帖 第四～六回	川端 豊次	水墨画*	274~276
交遊抄 若者の道し るべ[川島猛]	平井 卓也	〃	6.28	作家通信 墨華—現代 女流水墨画展—	〃	〃	283
SPECIAL FEATURE 奈良美智 MESSAGE 1 奈良美智の魅力 恩師・友人が語る！ 川島秀明	岡澤浩太郎 構成	美術手帖	973	赤とんぼに異変感じ る	川幡 瑞穂	東京	10.16
川島理一郎の東アジ ア旅行と「旅人の眼」	蔡 家丘	近代画説	21	SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近 代美術の傑作150 057 川端龍子 草炎	加藤 弘子	美術手帖	967
砧が一番！	川瀬 忍	陶 説	707	お手本画&秀作集 其ノ十五 川淵水豊 《路傍の譜》	川淵 水豊	水墨画*	280
学芸員ノート 川瀬 巴水と埼玉	浦木 賢治	埼玉県立 歴史と民俗の博物 館だより	18	特輯 女性画家 図 版十 河邊青蘭筆 青緑松蔭楼観図	宮崎 法子	国 華	1397
美の履歴書283 水を 描いた理由は「木 場の夕暮」(「東京十 二題」より) 川瀬巴 水	増田 愛子	朝日夕刊	12.5	川俣正「通路」—変転 する制作と普遍的批 評性—	山口 祥平	カリスタ	19
美の美 川瀬巴水— 詩情の風景 上、中、 下	吉田 俊宏	日 経	9.23、30、 10.7	アートは問いかけか ら 世界中で制作、 現地の人巻き込む 美術家 川俣正さん	川俣 正 吉田 俊宏 聞き手	日経夕刊	11.21
江戸博蔵めぐり 日本 橋(夜明) 清澄な朝 すっきり美しく [川瀬巴水]	我妻 直美	読 売	6.22	トピック タワーが 時代を創る 隅田川 から[川俣正]		読 売	4.13
時が流れる風景2、 5、8	川添 早苗	水墨画*	278、281、 284	特集 制作の現場か ら…「自作を語る」・ II 自作を語る	川村 晃夫	自由美術	2012
お手本画&秀作集 其ノ十六 川添早苗 《幽玄》	〃	〃	281	心華雄録(一)[川村 清雄]	丹尾 安典	一 寸	52
第六十五回全国大会 研究発表要旨 河鍋 暁斎筆「地獄極楽め ぐり図」に見る転換 期の追善供養—法隆 寺天保出開帳、極楽 行き列車、そして五 代目尾上菊五郎—	曾田めぐみ	美術史	173	“油絵師”川村清雄の 品格		芸術新潮	755
美の美 マドンナの 系譜3 [河鍋暁斎]	窪田 直子	日 経	5.27	今月の一冊 国立国 会図書館の蔵書から 川村清雄 作品と其 人物 画家への傾倒 が書かせた本	藤田 壮介	国立国会 図書館月 報	613
フランス寓話と浮世 絵 P.バルブトーの 挿絵本たち[河鍋暁 翠]	高山 晶	国立国会 図書館月 報	612	川村清雄氏揮毫油絵 展覧会日誌 ~資料 の翻刻と解説~	落合 則子	東京都江 戸東京博 物館紀要	2
〈川西英コレクション 〉に見る、川西英 と竹久夢二	山野 英嗣	京都国立 近代美術 館研究論 集	4	目は語る アート道 遥 10月 在野の画 家 川村清雄 激動 の近代史照らし出す	高階 秀爾	毎日夕刊	10.25
川西英コレクション を調査して	金井 紀子	視 る	457	江戸博蔵めぐり[川 村清雄]		読 売	
特集—一九〇〇年パ リ万国博覧会出品作 (四) 川端玉章「四 時ノ名勝」について —当初の屏風形式か ら探る制作意図—	齊藤 全人	三の丸尚 蔵館年報 ・紀要	17	江戸城明渡の帰途 (勝海舟江戸開城 図) 背後狙う将 官 生々しく	落合 則子		10.19
				ジャポニスム欧州 で流行 川村清雄 宛マルティン・リ ーコ書簡	田中 裕二		11.16
				川村清雄宛徳川家 達書簡 「兄」の恋 に興味津々	落合 則子		11.23

二条城展から 徳川慶喜像 川村清雄画 將軍の苦悩映す	早川 保夫	読売夕刊	8.22	菊竹清訓氏を悼む 60年代の建築 今も輝く	読 売	1.10
昭和残る町 小菅 魅力を語る 写真家の川村さん あす葛飾で講演「残したい光景を紹介」[川村 容一]	村松権主磨	東京	9.7	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 052 菊池契月 桜	尾崎 真人	美術手帖 967
「三国志」の人物一同に 川本喜八郎ギャラリー		毎日夕刊	6.19	この世界とわたしのどこか 日本の新進作家 VOL.11 上 菊地智子 葛藤、悩みに寄り添い描く	笠原美智子	東京夕刊 12.11
美術学部教員展図録 彫刻	神田 每美	愛知県立芸術大学 紀要	41	市がよい1~7	菊地 信義	目の眼 429~435
『風景と造形—素材・感動・想像・創造』	〃	〃	〃	平成二十三(二〇一一)年度日本及び東洋美術の調査研究報告 論文 福井月齋 縮図《容齋歴史畫譜》 [菊池容齋]	中山 創太	関西大学 博物館紀 要 18
「十勝の美術クロニクル」展と日勝、およびその周辺—雑感— [神田日勝]	藪部 容子	神田日勝 記念美術館 だより	29	お手本画&秀作集 其ノ十二 菊地喜三 《松川浦風景》	菊地 喜三	水墨画* 277
寄稿文 神田日勝 永遠の生命	吉田宏太郎	〃	30	3・11後の創造力 上 漫画「あったことを描くしかない」 [喜国雅彦]	森本 昌彦	産 経 3.9
作品「GRAPHIC WORKS 2011」	官能 右泰	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	16	毎日芸術賞53回 画家 菊畑茂久馬		〃 1.12
特集 制作の現場から…「自作を語る」・ II 自作を語る 《ひと》に夢中…	神庭 明	自由美術	2012	第53回毎日芸術賞 受賞者7人の業績 画家 菊畑茂久馬さん 無類の新境地示す	三田 晴夫	毎日 1.1
レポート墨 神戸智行イノセント・ワールド 太宰府天満宮 アートプログラム vol.7		水墨画*	277	被災地支援広めたい 毎日芸術賞 坂さんが抱負語る [菊畑茂久馬]	鈴木 英生	〃 1.26
(キ)						
コラム 菊竹清訓と盛岡	若松 信行	建築雑誌	1626	毎日芸術賞の人々 上 菊畑茂久馬さん 堂々たる叙情をつかむ	米本 浩二	毎日夕刊 1.10
INFORMATION MEMORIAL 追悼・菊竹清訓	藤村 龍至	美術手帖	965	アール・デコ 光のエレガンス 4 アマルリック・ワルター 花文パフューム・ランプ 子守唄のような懐かしさ	岸田 夏子	東京夕刊 7.20
前衛と伝統ひとつに 建築家・菊竹清訓さんを悼む	伊東 豊雄	朝 日	1.9	《斎藤与里氏像》と岸田劉生の1913年	浅野 徹	愛知県美術館研究 紀要 18
惜別 建築家 菊竹清訓 高度成長と歩み、都市の「新陳代謝」提唱	大西 若人	朝日夕刊	2.25	美人画 再見 [岸田劉生]		日本美術 新聞 5
追悼 建築家 菊竹清訓氏 大胆な発想にいつも希望 天才型の衝撃デザイン	伊東 豊雄	産 経	1.11	第六十五回全国大会 研究発表要旨 岸田劉生《童女舞姿》—造形と「画因」をめぐって—	田中純一朗	美術史 173
内なる炎、論理で律す 建築家・菊竹清訓さんをしのぶ	内藤 廣	東京夕刊	1.16			
菊竹清訓さんを悼む 並外れた感性の人	伊東 豊雄	毎日夕刊	1.17			

SPECIAL FEATURE  
頂上バトル! 日本近代美術の傑作150  
020 岸田劉生 道路と土手と塀(切通之写生)

篠 雅廣 美術手帖 967

特集 アートの力を考える! PART2  
きずな—再生美術の力 岸田劉生

美術の窓 348

東京文化考 岸田劉生 銀座生まれの銀座育ち

美術屋・百兵衛 21

中国通信 「満鉄總裁邸の庭」劉生、どこ描いた?

多田 俊明 美連協ニュース 116

岸田劉生の作品 51年ぶりに確認

朝日夕刊 3.28

岸田劉生の油彩 51年ぶりに発見

産 経 3.22

東京どんぶらこ 522代々木 起伏が生んだ名画、名曲[岸田劉生]

山下 柚実 東 京 4.28

続・百年の手紙 20世紀の日本を生きた人々30 才能ある弟子への心遣い[岸田劉生]

梯 久美子 " 8.27

予想上回る3600万円で落札[岸田劉生]

日 経 3.25

美の美 文人って何だ? 下 岸田劉生

宮川 匡司 " 11.25

51年ぶりに発見の岸田作品高額落札

毎 日 3.25

日々好日 雪の向こうに

岸野 圭作 新美術新聞 1270

特集 アートの力を考える! PART2  
きずな—再生美術の力 岸野圭作 安曇野

高山 淳 美術の窓 348

北川民次の絵画技法(2)—名古屋美術館所蔵作品の自然科学的調査—

白河 宗利  
歌田 眞介  
森田 恒之  
木島 隆康  
森田 義直  
増田 義人  
山田 論  
田中 元偉  
鈴鴨 富士子  
杉原 朱美  
愛知県立芸術大学紀要 41

今井兼次共同研究報告II

岸本 章 多摩美術大学研究紀要 26

ナルト親と過ごす幸せ 「NARUTO」原作者 岸本斉史 映画9作目を初主導 連載クライマックスへ

岩本 哲生 朝日夕刊 6.23

特集 アートの力を考える! PART2  
きずな—再生美術の力 北久美子 花鳥曼荼羅

高山 淳 美術の窓 348

Book 木版画を卒業した木田安彦の集大成 一刀の無限 木田安彦版画集成

芸術新潮 752

一刀の無限 木田安彦木版画集成 木田安彦著

(け) 毎 日 9.9

本よみうり堂 木田安彦木版画集成 「一刀の無限」

(未) 読 売 7.29

白河 宗利  
歌田 眞介  
森田 恒之  
木島 隆康  
森田 義直  
増田 義人  
山田 論  
田中 元偉  
鈴鴨 富士子  
杉原 朱美

愛知県立芸術大学紀要 41

北川民次の絵画技法(2)—名古屋美術館所蔵作品の自然科学的調査—

この1点 北川民次 《女の肖像》

NT Corridart 9

北園克衛発橋本平八書簡2 1931年から1935年まで

野田 尚稔 世田谷美術館紀要 13

特集 画材大百科 定番から新製品まで! 日本画 絵画用膠の転換期を考える

北田 克己 美術の窓 343

写真の飛躍 日本の新進作家展 VOL.10 中 34人分の眼力重ねる[北野謙]

丹羽 晴美 東京夕刊 1.17

questions 8 北野武

日 経 7.5

pop style vol. 300 北野武 鑑賞者試す仕掛け

村上 隆 読売夕刊 5.23

レポート墨 第15回岡本太郎現代美術賞展に北村章氏の巨大墨画が入選

水墨画\* 278

この人 女性として初めて大型ねぶたを制作 北村麻子さん 色づかい 100%自分のカラーを出せた

中田 良太 東 京 8.2

特集3 「織」を極める 北村武資—経錦 現代の職匠 北村武資

今井 陽子 現代の眼 592

小笠原小枝 視 る 456

SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! [北村辰夫]

美術手帖 974

PART 1 GALLERY 技巧にまずは驚く	山下 裕二 談				特別対談 青柳正規 絹谷幸二 記紀万葉 の神話世界を描いた 新作も 奈良県立美 術館と高島屋の2会 場で同時開催	新美術新聞	1294
PART 2 ATELIER 神技テクニクを徹底解剖3「雲龍庵」北村辰夫世界が求める漆の制作工房	北村 辰夫、 山下 裕二 対談				PREVIEW 飛鳥ア ートプロジェクト[絹 谷幸二]	小森佳代子 美術の窓	340
第25回奨学者のレポート 不思議なものでいつの間にか抽象を描くことになろうとは	北本 真隆	アクリラ ート(別 冊)	2012		転機。話そう、話し ましょう 76 画家 絹谷幸二さん 安住 を避け、好機呼び込 む 伊でアフレスコ 画極め、国内の開拓 者に	渋谷 和彦 産 経	9.15
2012年日本建築学会作品選奨 祐天寺の連結住棟[北山恒]		建築雑誌	1635		交遊抄 目力の[絹 谷幸二]	川上 義博 日 経	9.20
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近代美術の傑作150 073 北脇昇 独活	大谷 省吾	美術手帖	967		色は食べられる 見 る人に心の栄養を 画家 絹谷幸二さん	田村 広済 聞き手 日経夕刊	11.14
日々好日 昔ムカシの漫画雑誌	木津 文哉	新美術新聞	1290		第4回絹谷幸二賞贈 呈式 力強さと緻密 さ、前途に期待 絹 谷幸二さん	絹谷 幸二 談 毎日夕刊	3.26
線描の超人 吉川靈華、復活		芸術新潮	751		戦中から戦後へ作家 をたどる 9 高田博 厚、木内克および金 山康喜、野見山暁治	笹木 繁男 美術運動 史研究会 ニュース	129
特集1 吉川靈華展 近代にうまれた線の探求者		現代の眼	594		この本この人『最後 のマリア・カラス』 音楽写真家 木之下 晃さん 芸術の神が 撮らせてくれた	三品 信 東 京	2.5
吉川靈華と吉田包春	松尾 良樹				あの人に迫る どん な人か知りたくて描 く 木下晋 画家	今宮 久志 東京夕刊	5.11
吉川靈華にまつわることごとく市田儀一郎氏に聞く	市田儀一郎 談 香織 構成・文責				木下晋画文集 祈り の心 木下晋著		日 経 4.15
知られざる日本美術究極の線を求めて [吉川靈華]	鶴見 香織	美術の窓	346		青春プレイバック 洋画家寺井重三 師 ・木下孝則への想い	袴田 智彦 新美術新聞	1270
丹青閑話 第十七話 吉川靈華「離騒」	島尾 新	"	347		2012年日本建築学会 各賞(作品) 真壁伝 承館[木下庸子]		建築雑誌 1635
美の季想 天上の月 清らかに地でも輝く [吉川靈華]	高階 秀爾	朝日夕刊	8.29		『甕海魚譜』について [木脇啓四郎]	小濱亜由美 鹿児島大 学総合研 究博物館 ニュース*	31
お手本画&秀作集 其ノ十六 木戸玉章《放課後》	木戸 玉章	水墨画*	281		魚類学的視点から見 た『甕海魚譜』[木脇 啓四郎]	木村 浩之 "	"
交遊抄 「型破り」な人生[城戸孝充]	戸谷 成雄	日 経	3.31		『甕海魚譜』と画師木 脇啓四郎について	小濱亜由美 デアルテ	28
日本人画家作品を米で展示[城戸わこ]		東京夕刊	4.4		学会活動報告 第八 五回大会 『甕海魚 譜』と画師木脇啓四 郎について	" " "	"
特集 アートの力を考える! PART 3 鬼頭恭子 構成の妙	高山 淳	美術の窓	348				
月刊ギャラリー創刊25周年記念 小川英晴のアート縦横 No.27 生命の賛歌をうたう	絹谷 幸二、 小川 英晴 談	ギャラ リ*	332				

平成24年定期刊行物所載文献(近/作キ、ク)

特集 デッサン力を磨く ⑧技法講座 VOL.25 人気作家8名の制作プロセス公開 木原和敏 黒と木炭、鉛筆で女性の物思ふ雰囲気を出す	木原 和敏 木原 和敏	美術の窓	340
時代の証言者 人間を写す 田沼武能 [木村伊兵衛]	池田 正一	読 売	
6 「雲上人」に弟子入り			7.18
7 会話30分 表情が自然に			7.19
8 2台のライカ 勝負は歴然			7.21
9 工場撮影 何でもやった			7.23
22 心の支え 木村先生逝く			8.9
第25回奨学者のレポート 自己を放す	きむらかおり	アクリラート(別冊)	2012
第43回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負—そして、これから	木村 好一	日展ニュース	144
追憶の風景 反逆の書家[木村三山]	福島 泰樹	東 京	3.3
木村清兵衛と益田鈍翁による二席の燈心亭写し茶室—諦聴寺「花雲」と旧久邇宮別邸「花雲亭」について—	中村 琢巳	建築史学	58
21世紀のアーティスト 木村太陽		ギャラリー一*	328
館蔵品紹介 8 今来て見られる この逸品 木村忠太「ヴァンス Vence」		香川県立ミュージアムニュース	19
笹 KODAMA 木村肇 著		日 経	11.4
2012年日本建築学会作品選奨 長崎市子育ての駅「てくてく」+千秋が原南公園+信濃川桜づつみ遊歩道[木村博幸]		建築雑誌	1635
作家通信 個展「どすこい」	木村 浩之	水墨画*	277
《阿房劫火》は木村武山の代表作か?	中田 智則	茨城県近代美術館だより	91
特輯 岡倉天心生誕百五十年記念 木村武山 祇王祇女	高階絵里加	国 華	1400

香川文化考 風土が育んだ美術家たち 大蔵雅孝/木村素子/藤澤珠玉		美術屋・百兵衛	20
卒業生に聞く。連載第三回 自前のメディアで作品を発表七年以上続く「センネン画報」	今日マチ子	芸大通信	24
評論の眼 清塚紀子の常設館 迫力みなぎる鑄造の新作群	三田 晴夫	ギャラリー一*	324
第一回聖徳太子奉賛記念展と五代目清水六兵衛作《大礼磁仙果文花瓶》(1926) —純粹芸術としての陶磁器制作	後藤結美子	京都市美術館年報	H22年度
アクリリックス・ワールド67 極並佑	小吹 隆文 取材・文	美術手帖	962
特集 アートの力を考える! PART3 金登美 静かに輝く色彩	高山 淳	美術の窓	348
金城次郎作品論にむけて ~個人蔵「緑釉掛牡丹文搔落瓶」について~	倉成 多郎	壺屋焼物博物館紀要	13

(ク)

第25回奨学者のレポート 集積されたもの	久後 育大	アクリラート(別冊)	2012
明治期視覚文化から読み解く「横浜写真」の女性表象—金兵衛写真を中心に[日下部金兵衛]	脇田 美央	近代画説	21
わたし一人の美術時評 第24回 いまの草間彌生は本当にスゴイのか?	藤田 一人	芸術新潮	752
「草間彌生 永遠の永遠」展によせて	樋口ヒロユキ	国立国際美術館ニュース	189
ブロック報告 北信越ブロック —走るアート・クサマヤヨイ《水玉乱舞》号の底力	不動 美里	ZENBI	3
戦中から戦後へ作家をたどる 10 草間彌生	笹木 繁男	美術運動史研究会ニュース	130
SPECIAL FEATURE 草間彌生		美術手帖	965
INTERVIEW 草間彌生インタビュー	建島 哲 聞き手 編集部 構成		



CRITIQUE 草間彌生論 オブセッションを飲み込んだ人類最初の芸術家	長谷川祐子			SPECIAL FEATURE 草間彌生 PART 2 草間彌生ドキュメント 1973-1988 帰国後、コラージュ作品と小説界へ進出	" "
SPECIAL FEATURE 草間彌生 PART 1 テート・モダン「YAYOI KUSAMA」開幕	" "	" "	" "	§ 前文 §	福住 簾 文中島 水緒 年譜作成
フランシス・モリス/グレン・スコット・ライト インタビュー	伊東 豊子 聞き手・構成			小説の展開 文学界における評価	福住 簾
草間彌生 in ロンドン リポート	伊東 豊子			当時のテキストから知る 4 70~80年代のメディアと草間批評	"
SPECIAL FEATURE 草間彌生 PART 2 草間彌生ドキュメント 1929-1956 渡米前。松本での作家活動	" "	" "	" "	SPECIAL FEATURE 草間彌生 PART 2 草間彌生ドキュメント 1989-1999 ヴェネチア・ビエンナーレと国際的再評価	" "
§ 前文 §	福住 簾 文中島 水緒 年譜作成			§ 前文 §	福住 簾 文中島 水緒 年譜作成
当時のテキストから知る 1 西丸四方、瀧口修造との出会い	澁田 見彰			Curator Interview リン・ゼレヴァンスキー 再評価を導いたキュレーターに聞く	藤森 愛実
SPECIAL FEATURE 草間彌生 PART 2 草間彌生ドキュメント 1957-1965 ニューヨーク初期。代表作「無限の網」の誕生	" "	" "	" "	Cross talk デミアン・ハーストが聞く、草間彌生の作家観	伊東 豊子
§ 前文 §	福住 簾 文中島 水緒 年譜作成			当時のテキストから知る 5 再評価の契機となった展覧会	由本みどり
Report from NY ニューヨークアート界と草間彌生	藤森 愛実			SPECIAL FEATURE 草間彌生 PART 2 草間彌生ドキュメント 2000- パブリック・アートと野外彫刻の展開	" "
当時のテキストから知る 2 ニューヨークを「無限の網」で圧巻する	由本みどり			§ 前文 §	福住 簾 文中島 水緒 年譜作成
SPECIAL FEATURE 草間彌生 PART 2 草間彌生ドキュメント 1966-1972 パフォーマンス・アートからファッションへの展開	" "	" "	" "	Gallerist Interview 太田秀則 オオタファインアーツ代表に聞く	内田 伸一 聞き手・文
§ 前文 §	福住 簾 文中島 水緒 年譜作成			Market Report 海外マーケットにおける草間作品の評価とは	藤森 愛実
当時のテキストから知る 3 ハプニングとファッション	由本みどり			SPECIAL FEATURE 草間彌生 PART 3 草間彌生の現在	" "
				スタジオ訪問	永峰 美佳
				「草間彌生 永遠の永遠の永遠」 わが永遠の魂	澁田 見彰

平成24年定期刊行物所載文献(近/作ク)

ルイ・ヴィトン× 草間彌生	編集部			読解絵画鑑賞講座16 [鯨井洪]	ワシオ・ト シヒコ	美術屋・ 百兵衛	20
WORLD NEWS キエ フ 東欧最大の公立 美術館の設立を目指 すウクライナ発、ピ エンナーレが開幕！ [草間彌生]	かないみき	美術手帖	971	お手本画&秀作集 其ノ十三 楠泰雲 《静か》	楠 泰雲	水墨画*	278
SPECIAL FEATURE 奈良美智 LETTERS 草間彌生と奈良美智 の往復書簡		〃	973	丁亥印社リレー投稿 5 粹人・教奇者 楠瀬日年 上、下	抱蘭室主人	書道界	273,274
INFORMATION 草間 彌生とルイ・ヴィト ン、最強のコラボ	児島やよい	〃	〃	工藤哲巳入門4~9	島 敦彦	国立国際 美術館ニ ュース	188~193
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 六本木アートナイト 2012 六本木のあち こちに、草間の作品 が出現、クサマカフ ェも登場！		美術の窓	342	東京スカイツリー UNDER CONSTRU- CTION 工藤政志著		日 経	5.20
特集 横尾忠則 Discours, figure YOKOO avec KU- SAMA	松本 卓也	ユリイカ	618	LAで開花した大胆 かつ繊細な画家 工 藤村正		美術屋・ 百兵衛	20
ニューヨークのアー トシーン2 「ここよ り永遠に一ホイット ニー美術館の草間彌 生展」	日影 眩	連盟ニ ュース	444	3・11後の創造力 上 漫画「あったこ とを描くしかない」 [国樹由香]	森本 昌彦	産 経	3.9
水玉×LV[草間彌生]		朝 日	7.21	国沢新九郎の帰朝後 の活動に関する研究	安永 幸史	鹿島美術 財団年報 ・別冊	29
10メートルヤヨイチ ちゃん 六本木にお目 見え 24・25日「アー ト・ナイト」[草間彌 生]	大室 一也	朝日夕刊	3.23	特集 アートの力を 考える！ PART 3 国安瑠子 柔らかな 光	高山 淳	美術の窓	348
海外通信 @ニュー ヨーク 草間彌生回 顧展 時代が追い付 き、魅力全開	富井 玲子	〃	7.25	インスタレーション ：課程と考察	國安 孝昌	筑波大学 芸術研究 報告	59
ファッションってな に？ 愛と平和をも たらすもの 前衛芸 術家 草間彌生	高橋 牧子	〃	8.2	SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近 代美術の傑作150 092 国吉康雄 跳び 上がるとうする頭 のない馬	廣瀬 就久	美術手帖	967
83歳の創作意欲[草 間彌生]	木村 正人	産 経	3.28	視点 日本近代美術 を超える国吉康雄	鐸木 道剛	美術の窓	344
大波小波 パワー全 開の草間彌生	(蝶)	東京夕刊	5.21	美の履歴書252 故 国の節句を描いたわ け「鯉のぼり」 国吉 康雄	西田 健作	朝日夕刊	5.2
草間彌生 82歳・新 たな挑戦 ほとぼし る創作意欲	田村 広済	日経夕刊	1.4	教育実践報告 プ ランディングデザイ ンの学習における実 践—地域アンテナシ ョップをプランディ ングする—	久保 洋子	横浜美術 大学 教育・研究 紀要	2
草間彌生展 内外の 主要美術館制覇 果 敢な戦いの軌跡見 せる	建島 哲	毎日夕刊	3.1	特集 模写から学ぶ 絵画の技法 第三研 究室座談会 古典の 模写から学び取るも の	窪井 裕美 繭山 桃子 永井 健志 松下 雅寿 上野 高	美術の窓	349
草間彌生さん 世界 で日本で 回顧展 4か国巡回 痛みを 創作に昇華	三木あき子	読 売	2.16	特集 未来のスター を探せ！ 新人大図 鑑2012 評論家・ジ ャーナリストが選ぶ 注目の新人アーティ スト10 久保木桂子	立島 惠	〃	344
前衛芸術家 草間彌 生さん 芸術も服も 同じ表現	竹之内知宣	読売夕刊	9.5	あらゆるビットがか たちになる：情報形 態可逆変換法	久保田晃弘	多摩美術 大学研究 紀要	26

ロシアの親日家散逸危機救う「幻の染め物」故久保田一竹コレクション 来月から「恩返し」の全国巡回展		東京	4.25	美の履歴書238 アゲハが浮かぶわけ「鬼百合に揚羽蝶」熊谷守一	西 正之	朝日夕刊	1.25
中特集 久保田勝巳詩人的画家のヒューマニズムという道程	高山 淳	美術の窓	341	フロントライン 豪の現代文学傑作選を刊行 昆虫や植物の画集[熊田千佳慕]		日 経	4.15
ビデオ・アーティスト 久保田成子についての調査ノート	濱田真由美	新潟県立近代美術館研究紀要	11	特集 制作の現場から…「自作を語る」・II「自作を語る」	隈部 直臣	自由美術	2012
2011年度海外研修報告「ビデオ・アーティスト 久保田成子」展(仮)のためのアメリカ調査	"	美連協ニュース	115	不明作品との邂逅 久米桂一郎「夕潮」		久米美術館館報	29
染色画家・久保田すみ子		美術屋・百兵衛	21	Book これであなかも嘶家萌え? ドタバタ落語入門マンガ 雲田はるこ 昭和元禄落語心中		芸術新潮	756
当館所蔵 久保田忠和の彫刻 彫刻における具象と抽象について	深谷 聡	奈良県立美術館紀要	26	特集 BL[ボーイズラブ]オン・ザ・ラン! すべての男性は受けである!? 一くもはる流 BL スタディーズのスズメ	雲田はるこ 金田 淳子 聞き手	ユリイカ	620
特集 アートの力を考える! PART 3 久保田洋子 モニュマン	高山 淳 久保田洋子	美術の窓	348	新人賞展 2012新人賞展	公文 淳子	自由美術	2012
特集 東日本大震災1周年 リジエント・ソサエティ 第一部 リジエント・ソサエティとは 座談会 リジエント・ソサエティー東日本大震災を踏まえて	隈 研吾 土原 聡 中島 正愛 藤井 聡 布野 修司	建築雑誌	1629	作家通信 篆刻作家とコラボレーション	久山 一枝	水墨画*	281
2012年日本建築学会作品選奨 下関市川棚温泉交流センター[隈研吾]		"	1635	特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 久山一枝 牡丹	"	"	282
建築 隈研吾「浅草文化観光センター」家型パターンで伝統を表現	五十嵐太郎	毎日夕刊	4.26	特集 アートの力を考える! PART 2 きずな一再生美術の力 倉敷和文 よい日	倉敷 和文	美術の窓	348
「みんなの家」被災地に続々 復興語り合う憩いの場 建築家の思い広がる[隈研吾]	高野 清見	読 売	12.20	研究ノート 蔵田周忠と民俗学—1920~30年代における民家研究と民俗博物館との関わりめぐって—	丸山 泰明	年報非文字資料研究	8
作品 「変塗蒔絵螺鈿箱「かたくり」」「変塗蒔絵螺鈿箱」	熊谷 晃	秋田公立芸術工芸短期大学紀要	16	思い出す本忘れない本 曹操の實在感にひかれた 三国志 吉川英治(著)	倉田真由美 鈴木 繁 構成	朝 日	7.15
作品 「ゆるやかな活動」(巻)	熊谷 峻	"	"	私だけのふるさと 青い空白い雲 一家で歩いた海 倉田真由美さん	穴戸 護 聞き手	毎日夕刊	4.5
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 118 熊谷守一 あかんばんを	岡崎乾二郎	美術手帖	967	美術学部教員展図録 油画	倉地比沙支	愛知県立芸術大学紀要	41
				「版画アートコレクション」の作家 倉地比沙支 イメージの皮膚感覚	松山 龍雄	版画芸術	157
				クリエイターズワーク&ソウル 倉本仁		A X I S	157

交遊抄 AOSのテー プ	久里 洋二	日 経	1.3	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 003 黒田清輝 大磯 鳴立庵	山梨絵美子	美術手帖	967
あとがきのあと「ボ クのつぶやき自伝」 久里洋二氏 短編ア ニメと歩んだ生涯		”	4.1	浅井忠こそ日本近代 洋画の父[黒田清輝]	太田 治子	美連協ニ ュース	115
21世紀のアーティス ト 栗林隆		ギャラリ ー*	325	被災地に力 美術家 の試み「東北画」理 解と励まし[黒田征 太郎]	小川 敦生	日経夕刊	1.23
「せんぐう館」の設計 にかかわって	栗生 明	瑞 垣	223	特集 制作の現場か ら…「自作を語る」・ II 自作を語る	黒田 孝	自由美術	2012
みんなのマンガ学 聖闘士星矢 聖闘士、 女性読者も魅了[車 田正美]	伊藤 遊	朝日夕刊	3.22	特集 アートの力を 考える! PART 3 黒田真由美 声明の ように	高山 淳	美術の窓	348
黒川紀章代表作、さ いたまへ	大西 若人	朝 日	1.17	フェイス21世紀157 桑久保徹「絵画は 身体の痕跡」ニュー アンスの豊かさに魅力	松崎 祐子	新美術新 聞	1273
黒川さんの「中銀カ プセルタワービル」		東京夕刊	1.16	お手本画&秀作集 其ノ十三 桑原逸安 《一枚の彩葉》	桑原 逸安	水墨画*	278
黒川紀章氏の作品引 っ越し カプセル構 造のビルー室 東京 →埼玉の公園に設置		日経夕刊	1.16	(ケ)			
2012年日本建築学会 作品選奨 3331 Arts Chiyoda[黒川泰孝]		建築雑誌	1635	クリエイターズワー ク&ソウル SOL style[剣持良美]		A X I S	156
江戸博蔵めぐり 東 京名所両国川開き之 光景 はじまりは「鎮 魂の花火」[黒木半 之助]	橋本由起子	読 売	7.27	(コ)			
特集 横尾忠則 Operation ARTs デ ータベースと死の絵 画の意味	黒瀬 陽平	ユリイカ	618	上級者に贈る 創作 への道3 知識、技 術頼みで創造力は生 まれぬ	呉 斉旺	水墨画*	279
After 3.11	黒田 光一	産 経		特集 秋の制作シー ズンに贈る18作家の 水墨世界 呉斉旺 八つ手	”	”	282
20 宮城県気仙沼 市 そこに散在す る希望			2.29	中村彝・曾宮一念・ 小泉清 會津八一と 早稲田中学の画家た ちー早稲田中学・高 等学校所蔵作品を中 心にー	大島 幸代 町田つかさ	早大會津 八一記念 博紀要*	13
26 福島県広野町 生きものの記録			5.23	研究資料 早稲田大 学時代の會津八一・ 小泉清・安藤更生一 落穂ひろいの資料紹 介ー	丹尾 安典	”	”
32 福島県飯舘村 途方に暮れるため の装置			8.8	秋田の美術によせて 7 ー小泉淳作画伯 (1)ー	河野 元昭	秋田美術	48
38 福島県川内村 本当に知ることは 少ない			10.31	追悼 小泉淳作先生 「中札内村で龍は生 まれた」	小田 豊	新美術新 聞	1272
ボン・タヴェン派残 党遺聞[黒田重太郎]	丹尾 安典	近代画説	21	喪友記 小泉淳作さ んを悼む 銘を残さ ぬ巨匠	上野 道善	日 経	1.12
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 031 黒田重太郎 一 修道僧の像	林 洋子	美術手帖	967				
黒田清輝筆《昔語り》 と京都	植田彩芳子	朱 雀	24				

追想録 小泉淳作さん(日本画家) 織細と大胆 絵筆に乗せ	中沢 義則	日経夕刊	3.2	中沢啓治さん死去73歳 漫画「はだしのゲン」原爆の悲惨さ訴え[この史代]		読売夕刊	12.25
Atlas(インスタレーション)	小泉 俊己	多摩美術大学研究紀要	26				
バングラの現代美術国際展 小泉さんが最優秀賞[小泉明郎]		東京夕刊	12.15	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近代美術の傑作150 021 河野通勢 裾花川の河柳	田中 淳	美術手帖	967
Topics 小窓		神戸市立小磯記念美術館だより		レポート墨 第5回日経日本画大賞決まる 大賞の鴻池朋子氏はじめ水墨画三作品が受賞		水墨画*	280
「開館20周年記念 生誕100年 小磯良平の世界展」によせて 小磯良平が暮らしたバリ	辻 智美		36	3・11後の表現 5美術 歴史の記憶 作品に刻む 自省の念映像に 失った風景「再生」[鴻池朋子]	小川 敦生 富田 律之	日 経	3.10
小磯良平と神戸の版画家たち	金井 紀子		37				
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近代美術の傑作150 038 小出楯重 蔬菜静物	原田 光	美術手帖	967	第5回東山魁夷記念日経日本画大賞 壮大な幻想 濃密な色彩 鴻池朋子「シラ一谷の者 野の者」	宝玉 正彦	〃	4.30
美の履歴書255 逆光に浮かぶものは「屋根の都」小糸源太郎	大西 若人	朝日夕刊	5.23	コミック 博士の白衣女子 攻略論1 香日ゆら(作) 理系の生態 フツの目線で	南 信長	朝 日	11.11
照明器具デザイン—あかりの提案—	小井土 満 谷 浩二 角 文平	武蔵野美術大学研究紀要	42	特集 制作の現場から…「自作を語る」・I デューラーに心躍らせて	光山 茂	自由美術	2012
大杉栄らの「近代思想」挿絵は日本初のアニメ作家[幸内純一]	宮代 栄一	朝日夕刊	9.24				
追悼特集 福王寺法林氏を偲ぶ 常に近くて遠い存在だった。	郷倉 和子	新美術新聞	1277	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近代美術の傑作150 053 古賀春江 海	大谷 省吾	美術手帖	967
被災地に力 美術家の試み 「東北画」理解と励まし[鴻崎正武]	小川 敦生	日経夕刊	1.23	一九二〇年代のシュルレアリスム受容と川端康成—『弱き器』『火に行く彼女』『鋸と出産』ほか[古賀春江]	川勝 麻里	立教大学日本学研究所年報	9
トーマス・デマンドのバルブ・ノンフィクション写真術	光嶋 裕介 聞き手	芸術新潮	751	主題の表出に適した描画行程についての詳述	児島新太郎	金沢学院大学紀要*	10
みんなのマンガ学 世直し源さん ステテコ姿の総理大臣 [業田良家]	吉村 和真	朝日夕刊	2.16	今月の読書 児島善三郎・レゾネ画集の監修を終えて	志賀 秀孝	新美術新聞	1280
コミック ぼおるペン古事記 一天の巻 この史代(作) 豊潤なイメージ まさに神業	南 信長	朝 日	6.17	お手本画&秀作集 其ノ十三 児島貞次郎(赤城閑村)	児島貞次郎	水墨画*	278
この史代が漫画化 ボールペン 古事記に親和	瀬崎久見子	日経夕刊	10.16	「米寿記念 古谷蒼韻展」に寄せて 古谷蒼韻・心境を凝視する墨線	小嶋 悠司	新美術新聞	1292

明治・大正における パンカラ旅行の系譜 一大観・観山・紫紅 ・未醒の東海道五十 三次旅行(大正4年) の背景として[小杉 放菴]	佐藤 志乃	横山大観 記念館館 報	28	特集 アートの力を 考える! PART3 小沼和喜子 輝くよ うに	高山 淳	美術の窓	348
作品紹介 近年の五 姓田派コレクション の拡充について[五 姓田義松]	角田 拓朗	神奈川県 立歴史博 物館だよ り	191	お手本画&秀作集 其ノ十五 小島堯 《早春》	小島 堯	水墨画*	280
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 001 五姓田義松 五 姓田一家之図	〃	美術手帖	967	交遊抄 写真で元気 を	小林 紀晴	日 経	3.17
小瀬村真美 トーク &作品上映 東京都 現代美術館		水墨画*	284	お手本画&秀作集 其ノ十八 小林紀美 子《薔薇》	小林紀美子	水墨画*	285
特集 拡大・縮小美 術館 絵画編 児玉 香織 食べ物の輪郭 から作られる形		美術の窓	350	美術評 小林耕平個 展 死を疑似体験さ せる装置	古谷 利裕	東京夕刊	12.7
児玉康兵 《知多の とろけ石》、《知多の 波塔》	児玉 康兵	尾道大学 芸術文化 学部紀要	11	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 030 小林古径 出湯	中村 麗子	美術手帖	967
特集 耽美な世界へ ようこそ 物語の中 の世界 後藤温子	後藤 温子	美術の窓	342	いま風 水曜日 粋 ナビゲーター 和紙 デザイナー 小林順 子さん 和紙が織り なすやさしい光	矢子 奈穂	読売夕刊	9.12
追悼特集 福王寺法 林氏を偲ぶ 福王寺 法林先生のこと	後藤 純男	新美術新 聞	1277	江戸博蔵めぐり 日 本一ノ画嘶[えばな し] モダンな絵、 はやりの装丁[小林 鍾吉]	楯石もも子	読 売	9.7
特集 制作の現場か ら…「自作を語る」・ II 自作を語る～冷 たい白と温かい白～	後藤 拓哉	自由美術	2012	特集 未来のスター を探せ! 新人大図 鑑2012 評論家・ジ ャーナリストが選ぶ 注目の新人アーティ スト10 小林千紗	武田 厚	美術の窓	344
作品 「青と嘯く」	後藤 岬	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	16	わたしたちの教室へ ようこそ	小林 岡村	東雲 南紅	水墨画* 275
レポート墨		水墨画*		小林徳三郎一生涯と 芸術に関する研究ノ ート一	平泉 千枝	芸術研究	25
後藤靖香「床書き 原寸」大阪カン ヴァスプロジェク ト			275	小林徳三郎の日記・ 書簡資料紹介 一昭 和17年から昭和22年 までの画家のくらし 一	〃	ふくやま 美術館・ 書道美術 館紀要*	6
第4回絹谷幸二賞 に後藤靖香氏			279	第24回「京都美術文 化賞」受賞者のこと ば	小林 尚美	美術京都	43
第4回絹谷幸二賞贈 呈式 力強さと緻密 さ、前途に期待 絹 谷幸二賞 後藤靖香 さん	後藤 靖香	後藤 靖香 談	3.26	調査研究ノート vol.13 75年前の小 林萬吾一野見山暁治 氏(画家 国の文化 功労者)にお話をう かがいました。	窪美西嘉子	香川県立 ミュージ アムニュ ース	19
茶話マンガ うつと 青春正面から[琴葉 とこ]	伊藤 剛	朝日夕刊	10.27	特集 制作の現場か ら…「自作を語る」・ II 「自作について」	小林 美穂	自由美術	2012
制作ノート RT OF THE WIND、TL OF THE WINDについて	小西 俊也	武蔵野美 術大学研 究紀要	42	お手本画&秀作集 其ノ十三 小林萌 《鎮魂》	小林 萌	水墨画*	278
なぜ私は建築を選ん だか no.4 一番身 近な仕事に	小西 泰孝	建築雑誌	1637				

受け継がれる江戸切子の伝統—小林淑郎氏に聞く	町田市立博物館年報/紀要	2010年度	コミック シリウスと繭1 小森羊仔(作) ささいな出来事眩しく	山脇 麻生 朝 日	7.15
湯浅譲二と駒井哲郎—オートスライド「レスピュージュ」をめぐって—	永山多貴子	ザ・ルーフ 39	特集 拡大・縮小美術館 絵画編 小柳景義 何が描かれているかを探して楽しむ		美術の窓 350
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 106 駒井哲郎 樹	林 洋子	美術手帖 967	特集 制作の現場から…「自作を語る」・II 自作を語る	小山 雅子	自由美術 2012
福原コレクション 駒井哲郎1920—1976		東京夕刊			
上 東の間の幻影 読み取れる自然の気配	馬場 駿吉	5.10	作品 「乾漆輪花盛器「木通の花」	金 千鶴	秋田公立美術工芸短期大学 紀要 16
中 花 強靱な圧力の芸術	山本 容子	5.12	現代美術の歩き方 今月の一品 今義典 「父と息子」	東谷 隆司	美術の窓 351
下 星座 神秘と豊穡の宇宙	清水 真砂	5.14			
実験工房から60年 駒井哲郎と歩んだ日々 魅せられた連作イメージ	湯浅 譲二	" 5.25	所蔵品紹介228 秋宵 紺谷光俊		石川県立美術館だより 348
作家通信 一本の枯れ葦に	小松 欽	水墨画* 280	SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! ARTIST FILE まだまだいる! 注目超絶技巧作家たち07 近藤智美 元「マンパ」の描くニュー・ポップ	岡澤浩太郎	美術手帖 974
石彫における「むしり仕上げ」に関する一考察 黒御影石を用いた制作を軸として	小松 俊介	芸術学研究(筑波) 17	園遊会之図について 2~4 [近藤樵仙]	三宅 秀和	永青文庫 77,78,80
百兵衛インタビュー 小松美羽 信州の風や匂いを、アートで世界に届けたい		美術屋・百兵衛 23	視点 京都・京町家ステイ・アートプロジェクト Vol.1 —アートと暮らす出会う京町家2012	近藤 高弘	美術の窓 341
神宮名品解説 工芸「江戸小紋着尺」「二ツ割竹縞」[小宮康助]	本多 久子	瑞 垣 223	東北一命のウツワープロジェクト	"	目の眼 427
学芸員ノート 長板中形を極める—小宮康正氏の世界—	水上嘉代子	遠山記念館だより 43	洋画家・近藤伸子		美術屋・百兵衛 21
お手本画&秀作集 其ノ十六 小村欣也(艶)	小村 欣也	水墨画* 281	浮上する風景(油彩画)	今野 治	多摩美術大学研究紀要 26
雪岱デザイン[小村雪岱]	山田 俊幸	一寸 52			
作品 「蜃気楼—mirage—」	小牟禮尊人	秋田公立美術工芸短期大学 紀要 16	日中連携型デザインビジネスの生成と展開—青島海高設計製造公司(QHG)の設立・運営をめぐって	黒田 宏治 磯村 克郎 伊坂 正人 佐井 国夫 井迫 秀樹 木下 理郎	静岡文化芸術大学 研究紀要 12
蔵出し 水墨画の逸品7 小室翠雲《青山白雲・虞山溪嵐図》	青木 忍	水墨画* 283	ランプの肖像 第1~9回	雑賀 雄二	芸術新潮 748~756
青春プレイバック 彫刻家能島征二 彫刻家の生きざま 小森邦夫との出会い	袴田 智彦	新美術新聞 1289	斎藤佳三研究—1910年~1930年の資料における「芸術」概念—	島津 京	鹿島美術財団年報・別冊 29

(サ)

特集 模写から学ぶ 絵画の技法 武蔵野 美術大学造形学部油 絵学科・絵画組成室 の試み 齋藤國靖教 授インタビュー	齋藤 國靖	美術の窓	349	INFORMATION EX- HIBITION 坂口恭平 がベルリンフェステ イバルに参加「0 円ハウス」「モバイル ハウス」を提唱する 坂口恭平の展覧会が 開催!	河合 純枝	美術手帖	976
カラヴァッジョ・關 のなりたち	〃	武蔵野美 術大学研 究紀要	42	ドキュメンタリー映 画「モバイルハウスの つくりかた」「動 く家」で探る住の可 能性[坂口恭平]			
第80回記念独立展 崖に眼を描いた画家	齋藤 研	新美術新 聞	1293	あとがきのあと「独 立国家のつくりかた」 坂口恭平氏「新しい 生き方」を提示	黒沢 綾子	産 経	7.4
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 054 齋藤素巖 荷重	森 仁史	美術手帖	967	「0円」で社会問い直 す『独立国家のつ くりかた』著者で建 築家 坂口恭平さん	手塚 さや香	毎日夕刊	6.18
作家通信 勢至堂に て	齋藤 隆	水墨画*	277	建築季評 社会から 発想する設計[坂口 恭平]	中川 理 読 売		6.28
歳・月・人 齋藤隆 モノクロームの中の 真実	〃	〃	278	日々好日 色と形に ついて	坂口 國男	新美術新 聞	1269
ゴルゴ13 人気の秘 密は… 累計2億部 /10人の脚本家集団 あきらめない緻密で 徹底な取材[さいと うたかを]	岡本 耕治	産 経	1.16	クリエイターズワー ク&ソウル OSA[坂 田泉]		A X I S	160
特集 アートの力を 考える! PART 3 齋藤俊子 曼荼羅	高山 淳	美術の窓	348	追悼 アートデザイ ナー 石岡瑛子さん 厳格さの裏に底なし のやさしさ	坂田 栄一郎	産 経	2.2
齋藤義重 1980年代 以降を中心に 齋藤 義重氏をめぐる思い 出	薬科 英也	千葉市美 術館ニュ ース C'n	63	人と作品 坂田一男 一生涯前衛にして 前衛は無位無冠一	妹尾 克己 紫 明		30
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 113 齋藤義重 WORK	小清水 漸	美術手帖	967	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 039 坂田一男 キュ ビズム的人物像	速水 豊	美術手帖	967
人生相談 あすへの ヒント うるさい隣 人のせいで体調崩し た 回答者・柴門ふ み	柴門 ふみ	産 経	12.1	特集 めくもりの表 現 触れなくなる絵 画 ⑧技法講座 VOL. 26 CASE 6 坂本藍子 優しい陽 の光	坂本 藍子	美術の窓	345
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 046 佐伯祐三 新聞 屋	林 洋子	美術手帖	967	2012年日本建築学会 作品選奨 加古川の オフィス[坂本昭]		建築雑誌	1635
作家訪問431 木工作 家 さかいあつしさん	編 集 部	目の眼	433	パブリック・アート 散歩 (シリーズNo. 2)山鹿市/坂本善 三の壁画と細川護立 の書一温泉プラザ山 鹿界限	古家 良一	V i e w	143
美の季想 雪国の想 い出 囲炉裏を囲む 静寂[酒井三良]	高階 秀爾	朝日夕刊	2.15	展覧会時評 ex-cham ber museum-offline 第2回 「絵画の庭」 を今更ながら振り返 ってみる、の巻[坂本 夏子]	幕内 政治	ファウン テン	2
お手本画&秀作集 其ノ十五 酒井勝風 《霧の中の沐浴》	酒井 勝風	水墨画*	280				
物に執して156[榊莫 山]	鈴木 皓詞	目の眼	429				



SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近代美術の傑作150 047 坂本繁二郎 放水路の雲	田中 淳	美術手帖	967	手塚治虫先生と会津そして笹川ひろし先生のこと	白井 祥隆	ザ・ルー	40
野見山晁治 絵とことば きょうも描いて、あしたも描いて、90年。野見山青年と坂本画伯の西欧絵画談義 フランスの絵から何を学ぶべきか	坂本繁二郎 野見山晁治	ユリイカ	613	特集 制作の現場から…「自作を語る」・II 自作を語る	佐々木三枝子	自由美術	2012
美の履歴書251 馬を通して見たものは「放牧三馬」坂本繁二郎	増田 愛子	朝日夕刊	4.25	インタビュー 中根寛氏に聞く 画家は70代80代が勝負	佐々木 豊 聞き手	連盟ニュース	444
坂本万七による美術・工芸分野の写真について—一九三〇—五〇年代を中心に	白政 晶子	近代画説	21	文化庁芸術家海外研修と高島屋個展を終えて その所感	佐々木里加	女子美術大学研究紀要	42
作家通信 自分自身への「檄」	坂元 洋介	水墨画*	281	現代美術の歩き方 今月の一品 「uneil」笹口敦	天野 太郎	美術の窓	348
視覚像と残像—「美術における『見えないもの』—	作間 敏宏	明星大学研究紀要	20	街角アート 写実がもつ強さ[笹戸千津子]	星野 清一	新美術新聞	1289
東京都写真美術館寄贈の佐久間兵衛写真資料および関係資料について	藤村 里美 高瀬 八一	東京都写真美術館紀要	11	本だな 家族のきずなが深まる『お父さん、牛になる』[ささめやゆき]		読売夕刊	6.23
思い出す本忘れない本 授業中にこっそり読んだ COJI—COJI 1~4 さくらもこ(作)	梅 佳代 加来 由子 構成	朝 日	9.23	著者に会いたい 笹本恒子さん 好奇心ガール、いま97歳 転んでも起きてまたやる	西 秀治	朝 日	12.4
山形美術館所蔵 桜井浜江「象」の保存修復	森 直義 大場詩野子	東北芸工大保存修復センター年報*	3	特集 耽美な世界へようこそ 魅惑的な少女 笹本正明	笹本 正明	美術の窓	342
セザンヌ展を見て	桜井 寛	新美術新聞	1280	特集 拡大・縮小美術館 絵画編 対談 指田菜穂子×山下裕二 事象を描く—「総合性」という方法論	指田菜穂子 山下 裕二	”	350
視線 FISHING 笹岡啓子著	大西 若人	朝 日	11.18	茶話マンガ 現代音楽こちよく[さそうあきら]	伊藤 剛	朝日夕刊	6.23
After 3.11	笹岡 啓子	産 経		特集 拡大・縮小美術館 絵画編 佐藤明日香 奇妙な生き物だらけの世界地図		美術の窓	350
25 福島県飯館村山里に残された犬の合唱			5.9	日々好日 萬鉄五郎の自画像	佐藤 一郎	新美術新聞	1294
31 福島県南相馬市小高区 せめて自分たちの布団で寝たい			7.25	軒下はアートだらけ 商品陳列、農家の裏口…、美をジオラマで再現	佐藤 英治	日 経	4.16
37 東京都三宅島 自然の業とともに			10.17	学びのふるさと「うまくなくていい、大きく描こう」小学校の図工の“ピカソ”から助言 アートディレクター 佐藤可士和さん	鱈 正人 聞き手	日経夕刊	5.11
この世界とわたしのどこか 日本の新進作家VOL.11 中 笹岡啓子 清冽さ際立つ理想の風景	笹原美智子	東京夕刊	12.12	現代美術の印象を絵に 個展鑑賞後に挑戦[佐藤可士和]	高村 眞生	読売夕刊	2.25
作家通信 地方都市でぜいたくな水墨画の祭典	笹川 春艸	水墨画*	279	視線 東京—天空樹 佐藤信太郎著	大西 若人	朝 日	2.5

平成24年定期刊行物所載文献(近/作サ)

東京   天空樹 佐藤信太郎著	日 経	2.19	平成22年度 公開シンポジウム「画家のアトリエと美術館」第1部 基調講演 アトリエ建築の美術館への再生の可能性ー建築家佐藤秀三の作風とその魅力ー	内田 青蔵	小金井市立はげの森美術館年報	H18-22年度
本よみうり堂 佐藤信太郎写真集「東京   天空樹」	(前) 読 売	2.5	震災モチーフ大賞に受賞の2人「いま描かないと」都美術館と上野の森美術館 [佐藤英行]	川崎 宏三	東京	5.9
2012年日本建築学会作品選奨 3331 Arts Chiyoda [佐藤慎也]	建築雑誌	1635	特集 アートの力を考える! PART 2 きずなー再生美術の力 佐藤緋呂子 私の人生の旅は花恋	佐藤緋呂子	美術の窓	348
山下裕二の今月の隠し球85、86 佐藤草太 昭和レトロを体現する優しき怪人(上、下)	山下 裕二	美術の窓	340,341	佐藤 善男	主体美術	92
聖地巡礼ーセザンヌのアトリエ	佐藤 泰生	新美術新聞	1280	佐藤 善男	主体美術	92
神宮名品解説「富貴花」「喜久」[佐藤太清]	中村 潔	瑞 垣	221	稲川 哲浩	日 経	1.28
REVIEW とり結ばれ、発揮された力 [佐藤卓]	諏訪 敦	美術手帖	971	佐藤 理恵	アクリラート(別冊)	2012
地方ブランドアートに発信 グラフィックデザイナー・佐藤卓 「もの」生み出す仕組みから関わる	増田 愛子	朝 日	10.23	佐藤 理恵	アクリラート(別冊)	2012
本よみうり堂 佐藤卓・総合企画 上田義彦・写真「JO-MONESE」	(井)	読 売	6.24	遠藤 亮平	ど お む	115
戦後の巨匠19 [佐藤多持]	林 紀一郎	美術屋・百兵衛	23	佐藤和貴子	秋田公立美術工芸短期大学紀要	16
佐藤忠良と舟越保武ー2人の彫刻家に思うー 老友2人100歳	星野 清一	新美術新聞	1298	土方 明司	美術の窓	343
佐藤忠良と絵本創作ー名作誕生の背景と工夫されたイラストレーションー	藤本 朝巳	フェリス学院大学文学部紀要	47	熊倉 一紗	大正イマジュリイ	7
交遊抄 忠良先生の言葉	山根 基世	日 経	8.11	佐野寿美子	日展ニュース	144
視点「芸術」は「農業」、「農業」は「芸術」	佐藤 俊郎	美術の窓	345	山本 耀司、佐野 ぬい	女子美	172
美術学部教員展図録デザイン	佐藤 直木(直樹)	愛知県立芸術大学紀要	41	佐野 ぬい	新美術新聞	1280
nendo の実験と柔軟さが意味すること [佐藤ナオキ]	土田 貴宏	A X I S	156	佐野 ぬい	日 経	11.30
特集 ぬくもりの表現 触れたいくなる絵画 ⑧技法講座 VOL. 26 CASE 1 佐藤令奈 ふっくらとした赤ちゃん	佐藤 令奈	美術の窓	345	前田 岳究	国立国際美術館ニュース	193
月の名前 高橋順子〈文〉 佐藤秀明〈写真〉		朝 日	10.21			

コミック 春はあけぼの月もなう空もなおサメマチオ(作)枕草子 今の生活感覚で再現	南 信長 朝 日	10.7	模写によるヴェロッキオ工房作「キリストの洗礼」の研究—イタリアルネサンス絵画技法の変遷と空間構造の変化の考察—	武蔵野美術大学研究紀要	42		
ARTIST INTERVIEW さわひらき	小池 一子 聞き手	美術手帖	969	先輩を訪ねて「塩野麻理先生」	東京芸大保存修復彫刻年報*	2011年度	
視線 これ、わたしさわだともこ著	森村 泰昌 朝 日	4.8	歳・月・人 潮見冲天 出会いあってこそその人生	潮見 冲天	水墨画*	279	
不在の建築/建築の不在—喪失へのまなざしと縁の設計	澤田 航	ファウンテン	3	特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 潮見冲天霧立ち昇る図	” ”	282	
特集 耽美な世界へようこそ 対談 宇野亜喜良×沢渡朔 モチーフとしての少女、絵と写真からのアプローチ	宇野亜喜良、沢渡朔 対談	美術の窓	342	学生企画 ちょっとだけマンガでできている スペシャルインタビュー マンガ×志賀公江	志賀 公江	瓜生通信	56
特集 耽美な世界へようこそ 夢想 三田尚弘	三田 尚弘	”	”	《インタビュー》Before and After the Deluge 1、2	志賀理江子	あいだ	194、195
(シ)							
植物図鑑 東信、椎木俊介著		日 経	9.2	美の美 伊丹万作と仲間たち 中 重松鶴之助	古賀 重樹	日 経	2.12
綴じ込み カイカイキキギャラリー 「A Nightmare Is A Dream Come True : Anime Expressionist Painting」展を開催! 参加作家による座談会 カオス*ラウンジの後、僕らはどこを目指すのか	S T A G J N T H E D N a B a B a お ぐ ち Mr.	美術手帖	967	お手本画&秀作集 其ノ十七 重村紀子 《旅のスケッチ》	重村 紀子	水墨画*	284
所蔵品紹介223 乾漆蓋物「輪々」 塩多慶四郎		石川県立美術館だより	341	日本庭園の革命児 生涯たどる展覧会 神宮前 重森三玲、代表作の庭再現	菅野みゆき	朝 日	2.16
アートフェアに塩田千春さん新作 アートの中に住んでみる!?	黒沢 綾子	産 経	2.22	重森三玲の目指した美を堪能 昭和の作庭家	渋谷 和彦	産 経	2.15
見る人とつながる感覚 作品は記憶を呼び起こす媒介に 美術家 塩田千春さん	田村 広濟 聞き手	日経夕刊	4.25	「庭園は地上の絵画」 東京で重森三玲展	永田 晶子	毎 日	2.8
一DOMANI・明日展に寄せて—「私の写真絵画とは?」—問われた1年	塩谷 亮	新美術新聞	1269	穴戸清孝 Home 美しき故郷よ	(存)	産 経	3.31
特集 模写から学ぶ絵画の技法 CASE1 塩谷亮 イタリアルネサンス絵画の模写	”	美術の窓	349	特集 アートの力を考える! PART3 志田誠信 希望への翼	高山 淳	美術の窓	348
				SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! ARTIST FILE まだまだいる! 注目超絶技巧作家たち03 篠田教夫 鉛筆と消しゴムで描く、色彩豊かな異次元世界	降旗千賀子	美術手帖	974
				特集 拡大・縮小美術館 絵画編 篠田教夫 顕微鏡を覗いたような世界		美術の窓	350
				現在通信 From NEW YORK 篠原ポプス! [篠原有司男]	富井 玲子	新美術新聞	1292

平成24年定期刊行物所載文献(近/作シ)

「実験するから面白い」篠原有司男、NYの美術館で個展	大西 若人	朝日夕刊	12. 12	美術学部教員展図録 デザイン	柴崎 幸次	愛知県立 芸術大学 紀要	41
篠原有司男 前衛の半世紀 米での評価確立へ回顧展	池上 裕子	読売夕刊	10. 18	柴田是真一粋に隠された超絶技巧	安村 敏信	淡 交	819
作家通信 ヴェネツィアで個展	篠原 貴之	水墨画*	280	展覧会とアーティスト2「ドローイングとは何か」展 大賞 柴田高志 僕のものであって、僕のものではない感覚		ギャラリー一*	321
上級者に贈る 創作への道6 創作の源泉は対象と自己との間にある物語	〃	〃	282	マイ・フェイバリッツ 私の好きな作品 辰野登恵子×柴田敏雄	南 雄介	国立新美術館ニュース	24
大特集 篠山紀信		芸術新潮	754	2011年毎日デザイン賞 受賞者の横顔 多くの人に小さな幸せ 柴田文江さん	永田 晶子	毎日夕刊	4. 11
「写真力」ってなんだ!?	篠山 紀信			お手本画&秀作集 其ノ十七 澁谷玉麗 《巳年のバングル》	澁谷 玉麗	水墨画*	284
破格の写真家篠山紀信	タカザワケンジ			作品 「黒い旋律I, II」	渋谷 重弘	秋田公立美術工芸短期大学紀要	16
写真力の50年				特集 アートの力を考える! PART 3 島榮里子 連帯	高山 淳	美術の窓	348
新美術時評 肖像と時間 2点の《モナ・リザ》と篠山紀信	光田 ゆり	新美術新聞	1295	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 040 島成園 上海にて	天野 一夫	美術手帖	967
篠山紀信による2冊の写真集 『THE SIXTIES by KISHIN』 『ATOKATA』	北川フラム	美術手帖	962	コミック アルキヘンロズカン(上・下) しまたけひと(作) 仕事と人生への葛藤 切実に	南 信長 朝 日		7. 22
東京 JAZZ 2012 写真もジャズも即興アートだから、相性がいい インタビュー Part 1 篠山紀信 小曽根真		日経夕刊	7. 4	思い出す本忘れない本 みんな主役でみんなワキ役 カトウーンズ 岡崎京子(著)	しまおまほ	〃	6. 3
中村勘三郎さんを悼む 各界から悼む声 歌舞伎を広く伝え	篠山 紀信	毎日夕刊	12. 6	こころに玉手箱 女優 真野響子 1 島岡達三作の湯飲み 父の思い出重なる青色	真野 響子	日経夕刊	7. 30
本よみうり堂 「THE SIXTIES by KISHIN」[篠山紀信]	(前)	読 売	2. 19	特集 アートの力を考える! PART 2 きずな—再生美術の力 嶋田明子 世界全体と一隅	高山 淳	美術の窓	348
本人が語る 上、中、下—篠山紀信展 写真力	篠山 紀信 談	〃	10. 30、31、11. 2	自作再見 島田章三 「はなかたちひとかたち」 常識を捨て 「かたち」に挑んだ	増田 愛子	朝日夕刊	9. 19
篠山紀信 勘九郎の写真集 襲名までの苦闘 汗粒まで	塩崎淳一郎	読売夕刊	5. 7	お手本画&秀作集 其ノ十五 清水恵峰 《白いファンタジー》	清水 恵峰	水墨画*	280
pop style vol. 309 中西美帆 篠山紀信 撮影	市原 尚士	〃	7. 25				
ぎやらりいモール 東京オペラシティ アートギャラリー 「篠山紀信展 写真力」から「歌舞伎役者 曼茶羅」 篠山紀信	福士 理	〃	11. 13				
作家通信 元気のヒミツ いつも好奇心を 水墨画以外に興味を	芝 龍郎	水墨画*	276				

美の履歴書284 暗闇 にうごめくのは 「ニューヨーク、夜 のチャイナタウン」 清水登之	西岡 一正	朝日夕刊	12.12	美の履歴書237 のぼ る炎に込めたのは 「火の祈り」 荘司福	新谷 祐一	朝日夕刊	1.18
S&O DESIGNのコン ティニューアスデザイ ン[清水久和]	土田 貴宏	A X I S	159	特集—一九〇〇年パ リ万国博覧会出品作 (四) 紹美栄祐「嵐 山宇治川図花瓶」な らびに岡崎雪聲「田 村麿置物」について	五味 聖	三の丸尚 蔵館年報 ・紀要	17
幻の花影十選 1~10	志村 節子	日 経	11.29、30、 12.3~7、 11、13、14	アシュラ 作品貫く 普遍的な力強さ[ジ ョージ秋山]	(鈴) (金) (広) (勝) (渡)	毎日夕刊	9.28
作家訪問432 花月寮 志村睦彦さん・宮岡 麻衣子さん	編 集 部	目 の 眼	434	コラム 白井晟一の 秋田の建築	安原 盛彦	建築雑誌	1626
自宅を人形ギラリ ーに 日の出の作家 ・下川さん 大病き っかけに決意[下川 明子]	横井 信洋	毎日夕刊	7.12	美術館としての原爆 堂に関する覚え書— 丸木位里・俊夫妻と 白井晟一の交流につ いて—	石崎 尚	武蔵野美 術大学研 究紀要	42
新収蔵品紹介 下田 悌三郎 《TO-MO- ROW 2009》	井上 正敏	V i e w	143	白髪一雄のフット・ ペインティングの変 遷 1955—1964	出原 均	兵庫県立 美術館研 究紀要	6
特輯 岡倉天心生誕 百五十年記念 下村 観山 嗣信最期	清水 緑	国 華	1400	歳・月・人 白澤恵 舟 予期しない人生 は出会いから	白澤 恵舟	水墨画*	282
第六十五回全国大会 研究発表要旨 下村 観山筆「魔障図」をめ ぐる考察	椎野 晃史	美術史	173	作家通信 「秋田県 墨絵芸術協会第四十 回記念展」開催	〃	〃	284
明治・大正における バンカラ旅行の系譜 —大観・観山・紫紅 ・未醒の東海道五十 三次旅行(大正4年) の背景として	佐藤 志乃	横山大観 記念館館 報	28	死を恐れず、冒険者 であれ しりあがり 寿「オーイ♥メメン トモリ」生のはかな さと喜び表現	伊佐 恭子	朝 日	9.18
作家通信 大自然阿 蘇の草原に咲く花	下村 朱杏	水墨画*	285	みんなのマンガ学 あの日からのマンガ 震災以後 混迷の時 代を描く[しりあが り寿]	伊藤 遊	朝日夕刊	3.1
INFORMATION BOOK junaida の作 品集が発売に クリ スマスに大切な誰か と読みたくなるビジュ アルブック[ジュ ナイダ]	小吹 隆文	美術手帖	976	水墨の最前線15 古 典に学んで個性が出 るまで墨と向き合う 新恵美佐子	野地耕一郎	水墨画*	285
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART3 HISTORY 倉本美津 留さんと行く!超絶 技巧の聖地巡礼 MUSEUM TOUR 1 清水三年坂美術館 超絶技巧のルーツ! 明治工芸の宝庫[正 阿弥勝義]	倉本美津留、 山下 裕二 談 編集部 文	〃	974	山形美術館蔵 新海 竹蔵作「トルソー(メ ディチのヴィーナス )」の保存修復処 置	藤原 徹	東北芸工 大保存修 復センタ 一年報*	3
特集 アートの力を 考える! PART3 城ヶ崎 悟 「印」と 「絆」	城ヶ崎 悟	美術の窓	348	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 081 新海竹蔵 砧	榊田 倫広	美術手帖	967
特集 制作の現場か ら…「自作を語る」・ II 自作を語る	庄司多津男	自由美術	2012	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 009 新海竹太郎 ゆ あみ	児島 薫	〃	〃
				思うままに クライ スパーグの芸術 自 然破壊を告発[新宮 晋]	梅原 猛	東京夕刊	2.27

造形作家・新宮晋、被災地で共作 復興へ「元気のぼり」子どもの創作力満開	吉田 俊宏	日経夕刊	5.2	作家通信 バリ個展を終えて	菅原 健彦	水墨画*	282
新しい芸術発信 自然のアトリエ[陣崎草子]	横山 就平	読 売	10.14	話題の人 巻頭インタビュー 杉浦康平さん(グラフィック・デザイナー)	杉浦 康平 談 集 部	目の眼	424
本よみうり堂 辛酸なめ子	辛酸なめ子	〃	〃	REVIEWS01 横木野衣 月評第44回 描かれた甲殻類 杉浦千里「博物画に観るエビとカニの美」展	榎木 野衣	美術手帖	965
妖怪萬画 vol.1〜2 和田京子編			6.24	本よみうり堂 美しきエビとカニの世界 杉浦千里画 朝倉彰解説	畠山 重篤	読 売	7.1
図説 死因百科 マイケル・ラルゴ 著			8.12	愛媛県美術館所蔵杉浦非水コレクション—整理・分類に関する報告と資料紹介—	鳴原 悠 長 井 健	愛媛県美術館年報・研究紀要	11
万引きの文化史 レイチェル・シユタイア 著	〃	〃	11.11	Report 杉浦非水作品資料調査	鳴原 悠	カンフオロ	43
田村セツコ 内田静枝編	〃	〃	12.9	江戸博蔵めぐり 日本一画斬(えばなし) モダンな絵、はやりの装丁[杉浦非水]	橋石もも子	読 売	9.7
特集 耽美な世界へようこそ 魅惑的な少女 真条彩華	真条 彩華	美術の窓	342	インタビュー・シリーズ 夢プロジェクト 世界に発信するアーティストたち No.2 杉澤友佳	杉澤 友佳 談	ギャラリー*	329
SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 2		美術手帖	971	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 058 杉田禾堂 用途を指示せぬ美の創案 原始期・過渡期・完成期	藤井 素彦	美術手帖	967
Special Edition 新津保建秀『\風景』	池上 高志			日々の思い出を託す—ことばをそえて9、11、12	杉谷 隆志	水墨画*	274~276
Critique 2 情報/欲望のアレンジメント[新津保建秀]	星野 太			作家通信 東京都美術館での墨美展	〃	〃	279
アクリリックス・ワールド71 新藤杏子	石井 芳征	〃	973	SPECIAL FEATURE 奈良美智 MESSAGE 1 奈良美智の魅力 恩師・友人が語る! 杉戸洋	岡澤浩太郎 構成	美術手帖	973
(ス)				寄稿 私の書学研究と書画の揮毫—第二回寄菴杉村邦彦書画展ギャラリートークをもとにして—	杉村 邦彦	書道文化	8
作家通信 三上登先生を偲ぶ	翠 酒湖	水墨画*	281	茶話マンガ クイズ研の熱い青春[杉基イクラ]	伊藤 剛	朝日夕刊	9.29
連載(87、88) 近代美術資料 吹田草牧『渡欧日記』(続)	吹田 草牧	視 る	454、456	現代美術激戦区に口を開いた異次元への通路、彼岸へ誘う杉本博司のNY喫茶室	橋本 麻里	芸術新潮	745
所蔵品紹介229 天窓の上の獅子座 末政哲夫		石川県立美術館だより	349				
戦中から戦後へ作家をたどる 6 関連美術団体(その3)および末松正樹	笹木 繁男	美術運動史研究会 ニュース	126				
追悼特集 織田廣喜氏を偲ぶ 織田廣喜先生を偲ぶ	末光 利夫	新美術新聞	1285				
中特集 心の風景 菅久 懐かしさ	高山 淳	美術の窓	349				
写真がもっと好きになる。写真を観る編。写真の本質 思い起こさせる[菅原一剛]	竹内 薫	日経夕刊	5.23				
彫刻家の現場から 81 菅原二郎	武田 厚	美術の窓	341				

Movie 売れっ子現代美術家が素顔チラ見せ仕事を語る[杉本博司]		"	748	小津安二郎、東郷青児らの寄せ書き屏風映画「新しき土」上映にあわせ展示[鈴木信太郎]	山根 聡 産 経	4.5
大特集 縄文の歩き方 エッセイ 縄文と私3 縄文の魂	杉本 博司	"	755	自由席 小杉勇と芸術家の交遊屏風[鈴木信太郎]	(古) 日経夕刊	4.18
ブロック報告 四国ブロック 芸術祭以後の四国・瀬戸内 [杉本博司]	中田 耕市	ZENBI	1	展覧会とアーティスト2 VOCA展2012 現代美術の展望—新しい平面の画家たち VOCA賞鈴木星亜 何かを描くことよりも、描くこと自体がテーマ	ギャラリー一*	323
INFORMATION MOVIE 作品制作のドキュメンタリー 見えない精神を物質化する、杉本博司の舞台裏 映画『はじまりの記憶 杉本博司』	丹羽 晴美	美術手帖	964	作家訪問428 陶芸家鈴木隆さん	編集部 目の眼	430
人間の起源をアートでたどる 自然との一体感 未来開く 現代美術作家 杉本博司さん	富田 律之 聞き手	日経夕刊	4.4	追悼特集 福王寺法林氏を偲ぶ 類を見ない大胆な山の作品	鈴木 竹柏 新美術新聞	1277
メトロポリタン美術館展 大地、海、空—4000年の美への旅 人類史 自然との歩み 源泉の感情	杉本 博司	読 売	9.27	特集 アートの力を考える! PART2 きずな—再生美術の力 鈴木竹柏	高山 淳 美術の窓	348
下町の陰影描き出す 消えゆく木造家屋の美しさ、細密なペン画に	杉山 八郎	日 経	6.7	作品 「さくら1104K」	鈴木 司 秋田公立美術工芸短期大学紀要	16
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 109 杉山寧 仮象	天野 一夫	美術手帖	967	土が描く森羅万象 和紙を埋め100日、掘り出すと生命力帯びた作品に	鈴木寅二啓之 日 経	8.27
守り、伝え、遺す—《点音[おとだて] in 白川公園》のその後 [鈴木昭男]	清家 三智	アートペーパー	91	絵本「しごとば 東京スカイツリー」作者 鈴木のりたけさん(36) 現場の熱意を伝えたい	産 経	5.31
特集 アートの力を考える! PART3 鈴木英子 ユニークな仲間達	高山 淳	美術の窓	348	特集 クリストファー・ノーラン 『メメント』から『インセプション』、そして『ダークナイトライジング』へ 遠近法の曲がり角 クリストファー・ノーランとグリッド	鈴木 一誌 ユリイカ	614
茶碗に思う	鈴木 藏	陶 説	710	作家通信 和紙・墨・筆に感謝	鈴木 墨章 水墨画*	284
座談会 現代陶芸の在り方を問う	乾 鈴木中島森野森司会 由明 藏宏 泰明 孝一	"	"	女川 佐々木写真館 鈴木麻弓著	日 経	3.18
小林一三の愛した画家・鈴木華邨	宮井 肖佳	阪急文化研究年報	1	益子焼破片でカラフル砂利 震災がれきヒント 陶器再利用 栃木の陶芸家 町の復興にも一役[鈴木稔]	内田 淳二 東京夕刊	8.7
日本画家・鈴木國男		美術屋・百兵衛	22	まばたきの記憶 第10~15回	鈴木 康広 A X I S	155~160
作家通信 中国水墨画交流展・上海	鈴木 昇岳	水墨画*	275	制作ノート 脚を描く	鈴木 泰裕 武蔵野美術大学研究紀要	42

SEE-SEA-SAW 3つのS(映像)	鈴木 余位	多摩美術 大学研究 紀要	26	綴じ込み カイカイ キキギャラリー 「A Nightmare Is A Dream Come True : Anime Expression- ist Painting」展を開 催! 参加作家によ る座談会 カオス* ラウンジの後、僕ら はどこを目指すのか	S T A G J N T H E D N a B a B a お ぐ ち Mr.	美術手帖	967
川内倫子 写真を生 きる	鈴木 理策	芸術新潮	751				
鈴木理策の写真集に おける編集の手法に ついて『KUMA- NO』と『PILES OF TIME』を中心に	FROGER Lilian	芸 叢	27	追悼特集 織田廣喜 氏を偲ぶ “いつも いる”	須藤 愛子	新美術新 聞	1285
特集 セザンヌには どう視えているか Etude 記憶に依らず に見ること	鈴木 理策	ユリイカ	609	特集 アートの力を 考える! PART 3 須藤愛子 命のダイ ナミズム	高山 淳	美術の窓	348
コダック破綻、とう とう来たか やわら かい色調好きだった [鈴木理策]		朝 日	1.25	21世紀のアーティ スト 須藤由希子		ギャラリ ー*	327
カバーインタビュー /トラフ建築設計事 務所[鈴野浩一]	谷口真佐子、 編集 部 インタビュー 一・文	A X I S	155	あすから「第31回 損 保ジャパン美術財団 選抜奨励展」平面 作品部門 秀作賞 須藤由希子氏(仙川 の畑—斜面) 鉛筆 で描く独特の質感	須藤由希子	産 経	3.2
企画展 Topics 須田 国太郎展—没後50年 に顧みる—		石川県立 美術館だ より	345	アイヌ・アートの現 在—その豊かさを共 有するために[砂澤 ビッキ]	池田 忍	美術運動 史研究会 ニュース	129
Focus 須田国太郎展 没後50年に顧みる	尾崎 真人	京都市美 術館ニュ ース	204	彫刻家が求めた理想 の村 北海道、音威 子府村へ移住した砂 澤ビッキ、創作で地 域に活力	河上 實 日 経		4.2
作品研究 須田国太 郎が《書齋》の影に込 めた想いとは?	大谷 省吾	現代の眼	593	美・コレクション 風雪という鑿に委ね て 砂澤ビッキ「四 つの風」	岸 桂子 毎 日		8.15
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 074 須田国太郎 書 齋	榎田 倫広	美術手帖	967	「音」テーマに街おこ し 芸術家と市民連 携イベント 千住で 10-12月[スプツニ 子!]		産 経	10.3
戊も歩けば beau[ボ ー]に当たる 第三 十二回 底光り[須 田国太郎]	武田 厚	美術の窓	345	インスピレーション グラフィック 生活 を可視化するグラフ ィックの試み—「ラ イフストライプ」 [SPREAD]	深沢 慶太	A X I S	156
「愚茶」へのいざない [須田剋太]	鈴木 皓詞	陶 説	716	空に泳ぐ 澄毅著		日 経	10.7
物に執して(最終回) [須田剋太]	〃	目の眼	435	SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! ARTIST FILE まだまだい る! 注目超絶技巧作家 たち02 鷺見磨 正 確無比であり、コン セプトチュアルな絵画	福住 廉	美術手帖	974
須田悦弘の木彫—そ の制作プロセスに迫 る	水沼 啓和	千葉市美 術館ニュ ース C'n	64	不思議なそりのある かたち	澄川 喜一	絲綢之路	68
特集 拡大・縮小美 術館 立体編 対談 須田悦弘×水沼啓和 近づいて見る? 遠く から見る? 「空間」 と融合するアート	須田 悦弘 水沼 啓和	美術の窓	350				



東京スカイツリー® ×そりのあるかたち 澄川喜一彫刻展	新美術新聞	1279	SPECIAL FEATURE 松井冬子 諏訪敦 インタビュー 絵描き による絵描きの肖像 画	福住 廉	美術手帖	963
特別対談 東京ス カイツリーに見る 江戸と東京の不思 議	澄川 喜一 竹内 誠		REVIEW とり結ば れ、発揮された力	諏訪 敦	〃	971
日本の美と技術を 世界に向けて情報 発信	中村 光男		特集 耽美な世界へ ようこそ インタビ ュー 諏訪敦	諏訪 敦 談	美術の窓	342
「澄川喜一彫刻展」 開催に寄せて	根津 嘉澄		HEADLINE 09 アー ティスト22名による 精緻な作品群を展示 — 蠱惑〜巧術其之参 [諏訪敦]		ファウン テン	3
そりのあるかたち と東京スカイツリ ー	逢坂恵理子					
都市再生—とうきよ うスカイツリー駅オ ープンと東京電機大 学千住キャンパス開 設 澄川喜一「TO THE SKY」墨田区と 宮田亮平「飛躍」北千 住 足立 4月20日、 2地域で記念式典と 彫刻作品除幕が同時 披露	〃	1280	近代美術の眼 さま よう蝶 画面構成が 浮遊感生む[清宮質 文]	榊田 倫広	読 売	3.16
転機。話そう、話し ましょう 56 彫刻家 澄川喜一さん 好き なことを続ければ夢 かなう 少年時代に 見た橋の美をスカイ ツリーに	渋沢 和彦	産 経	日々好日 「くつつ く」	関 出	新美術新 聞	1279
東京新聞フォーラム 匠の技の先端と伝統 東京スカイツリー 基調講演 澄川喜一 氏 彫刻家・元東京 芸術大学学長 世界 に誇る芸術品	澄川 喜一	東 京	文房四宝のおはなし 4 文房四宝に欠か せない素材 膠[関 出]	永田 真紀	水墨画*	275
スカイツリーの「不 思議」な魅力 デザ イン監修者澄川喜一 さんに聞く そりが 生み出す美 天候で 変化する白	三沢 典丈	東京夕刊	批評 1937年の長谷 川利行 一人称絵画、 光りてすべる水すま し	関 智生	R E A R	28
学びのふるさと「絵 が上手だね」小学校 の恩師、余白の似顔 絵見て 彫刻家 澄 川喜一さん	棗田 省吾 聞き手	日経夕刊	制作ノート 「見る」 という行為について	関 ひとみ	武蔵野美 術大学研 究紀要	42
幕末明治初期住吉派 における復古派とし ての遠藤廣宗、遠藤 貫周と住吉廣賢	梶岡 秀一	愛媛県美 術館年報 ・研究紀 要	都市蝶 関洋著		日 経	7.1
4〔読ん〕で知るアー ト 食と現代アート 一粒に込めた愛の形 [three]	岡部あおみ	朝日夕刊	作品 「vitro flos 03 vita」	関 由美	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	16
絵画は“渴望”を刻む —高橋由一の新発見 肖像画	諏訪 敦	芸術新潮	フェイス21世紀160 関口光太郎 天衝く 素朴の塔 観るもの の肝を抜く	和田 圭介	新美術新 聞	1281
			COMPETITION TARO 賞決定! 第 15回岡本太郎現代芸 術賞[関口光太郎]	石井 芳征	美術手帖	965
			岡本太郎現代芸術賞 受賞作決まる 太郎 賞には新座の関口さ ん 敏子賞には厚木 の千葉さん	山本 哲正	東 京	2.4
			この人 新聞紙を素 材にする現代アート の造形作家 関口光 太郎さん 身近なも のを使えば美術の敷 居下がります	権谷 哲夫	〃	8.17

(セ)

平成24年定期刊行物所載文献(近/作セ〜タ)

「図工」の喜び 天まで届け 古新聞貼って貼って巨大オブジェ[関口光太郎]

富田 律之 日経夕刊 4.2

特集 アートの力を考える! PART 3 関口聖子 生まれいずるもの

高山 淳 美術の窓 348

SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 025 関根正二 信仰の悲しみ

蔵屋 美香 美術手帖 967

「みんなの家」5棟に宮城・岩手に相次ぎ完成[妹島和世]

大西 若人 朝 日 12.11

ルーブル分館お披露目 日本人が設計、来月開館[妹島和世]

三井 美奈 読 売 11.1

「みんなの家」被災地に続々 復興語り合う憩いの場 建築家の思い広がる[妹島和世]

高野 清見 " 12.20

日々好日 匂い

瀬戸 剛 新美術新聞 1291

佐藤春夫の新聞小説「極楽から来た」における芹沢銈介作挿絵の図様変化について—芹沢銈介宛 小川龍彦師書簡を通して—

福地佳代子 芹沢銈介 3  
濱田 淑子 美術工芸館年報\*

町工場の町 息づくモダン 東京・蒲田、時代の先端追い求める心引き継がれ[芹沢銈介]

鍋谷 孝 日 経 3.26

特集 未来のスターを探せ! 新人大図鑑2012 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト10 仙石裕美

本江 邦夫 美術の窓 344

中特集 絵画のある旅を楽しもう 軽井沢千住博美術館と南軽井沢アートスポット 自然の息吹に耳を傾けることができる空間

千住 博 水墨画\* 280

ボナノッテさん、千住博さんと対談 創作を語る 表現したいのは「人の内面」

産 経 10.31

メトロポリタン美術館展—私の1点 乱開発 危機感伝わる

千住 博 読 売 11.9

仙田満氏 復興に子どものアイデアを

" 3.8

お手本画&秀作集 其ノ十六 仙洞田文彦《近江寺境内》

仙洞田文彦 水墨画\* 281

作家通信 写生への思い

" " 284

(ソ)

創刊750号記念大特集 古事記 日本の原風景を求めてなぜ古事記?

五月女ケイ子 芸術新潮 750

第25回奨学者のレポート 結露

s o k a m i アクリラート(別冊) 2012

サグラダ・ファミリア「生誕の門」日本人彫刻家が扉を制作へ[外尾悦郎]

産 経 9.24

サグラダ・ファミリアの扉を外尾悦郎さん製作へ「生誕の門」に取り付け

毎日夕刊 9.24

邦人彫刻家 世界遺産の扉制作 サグラダ・ファミリアで2015年完成見込み[外尾悦郎]

読 売 9.20

水墨の最前線8 墨と水、そして、こころのおきどころ 園家誠二

立島 恵 水墨画\* 278

中村彝・曾宮一念・小泉清 曾津八一と早稲田中学の画家たち—早稲田中学・高等学校所蔵作品を中心に—

大島 幸代 早大曾津八一記念博紀要\* 13  
町田つかさ

(タ)

佳作賞展「公募団体ベストセレクション美術2012」展

醍醐イサム 自由美術 2012

作家通信 近況 2012.5.9

" 水墨画\* 279

3・11後を生きる 非核×芸術案内 市民が描く原爆への怒り[大道あや]

岡村 幸宣 東 京 7.26

東京タワーで似顔絵 半世紀で10万枚、子供なら大きな瞳に少し“お化粧”

平 二郎 日 経 5.3

写真そっくり 超絶技巧 平久弥展

大西 若人 朝日夕刊 2.15

フェイス21世紀159 平良美樹 書と人形で息づく日本の昔話

松崎 裕子 新美術新聞 1279

第43回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負— これからの制作	高井 将行	日展ニュース	144	評伝 高橋秀(2) —イタリアと日本の間で—	谷藤 史彦	ふくやま美術館・書道美術館紀要*	6
作家通信 ほろりほろりこてん	高岡 暁	水墨画*	284				
高岡典男「SUMMIT」	谷 哲夫	Wave II	4	「大津絵」の魂色あせず 文明開化で途絶の危機救った曾祖父、庶民の民画継承	高橋 松山	日 経	1.31
第25回奨学者のレポート 作る風景	高岡 美岐	アクリラート(別冊)	2012				
高岡陽 《おのみちしぐさ》、《Thinkinary》、《妃—kisasi シリーズ「白の雫」》、《おのみち朝擁ぎいちじく》	高岡 陽	尾道大学芸術文化学部紀要	11	2011 P01(シルクスクリーン)	高橋 正	多摩美術大学研究紀要	26
特集 未来のスターを探せ! 新人大図鑑2012 注目の若手日本画家 高木優子インタビュー	高木 優子	美術の窓	344	特集 耽美な世界へようこそ 高橋天山	高橋 天山	美術の窓	342
特集 耽美な世界へようこそ 物語の中の世界 高島圭史	高島 圭史	〃	342	作家通信 第二十回記念展と出版と	高橋 英男	水墨画*	274
河村コレクション 「欧州交友名刺帖」をめぐって—高島北海によってフランス滞在中に収集された名刺を中心に	鶴飼 敦子	下関市立美術館研究紀要	13	わたしたちの教室へようこそ	狩野 紘信 高橋 英男	〃	276
高島北海とアメリカ	〃	潮流	109	本づくし 「未来を考えるための起点として」『平成24年度版 食糧・農業・農村白書 一東日本大震災からの復興1年—』農林水産省編	高橋 正実	A X I S	160
第25回奨学者のレポート 風景	高田 理美	アクリラート(別冊)	2012	彫刻家の現場から 89 高橋栞旺	武田 厚	美術の窓	349
戦中から戦後へ作家をたどる 9 高田博厚、木内克および金山康喜、野見山暁治	笹木 繁男	美術運動史研究会ニュース	129	のんべんだらりの記 [高橋由一]	丹尾 安典	一寸	50
高田冬彦 バカラッチのように「EMERGING/MASTER 1 会田誠 『美術であろうとなかろうと』展より		芸術新潮	745	長谷川竹葉の錦絵—高橋由一や山形・日光の名所風景をめぐって—	岩切信一郎	〃	51
土門拳賞に高梨豊さん		読 売	4.5	荒縄と尾鱗の話—高橋由一《鮭》をめぐって	歌田 眞介	近代画説	21
交遊抄 富士山と猫 [高波壮太郎]	佐藤 公明	日 経	7.27	絵画は“渴望”を刻む—高橋由一の新発見肖像画	諏訪 敦	芸術新潮	749
特集 デッサン力を磨く ⑧技法講座 VOL.25 人気作家8名の制作プロセス公開 高野卯港のデッサン 執拗に描きつづられた生活の匂い	岸野 裕人	美術の窓	340	美人画 再見[高橋由一]		日本美術新聞	4
追憶の風景 せんべい雲[鷹野ゆき子]	福島 泰樹	東 京	11.17	論文要旨《修士》『画遊席珍』について [高橋由一]	大西 晶子	美術史論集	12
特集 アートの力を考える! PART 2 きずな—再生美術の力 高橋英生 星空を見るように	高山 淳	美術の窓	348	L'oeil 美は語る13 高橋由一 実を求め続けた日本近代洋画のバイオニア インタビュー 古田亮	古田 亮 談	美術の窓	344
				欧人異聞 ガリバルディと西郷どん[高橋由一]	樺山 紘一	日 経	6.10
				目は語る アート道遥 6月 高橋由一の油彩画 優れた手業と鋭い知的精神	高階 秀爾	毎日夕刊	6.6

近代洋画の開拓者 高橋由一展 甲冑図 (武具配列図)=1877 年、靖国神社遊就館 蔵 古い時代脱ぎ捨て てて新境地	河原 啓子	読 売	6.10	近代美術の眼 No. 273(影) 視覚 を幻感 想像ふくら む[高松次郎]	蔵屋 美香	読 売	9.14
「高橋由一」展		読売夕刊		SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 044 高村光太郎 鯨	榎田 倫広	美術手帖	967
渾身のミスマッチ 「花魁」	前田 恭二		5.1	高村光太郎《裸婦坐 像》	仁科 惇	碌山美術 館報	32
武具への鎮魂歌 「百万塔と鎧袖[が いしゅう]図(鎧袖 塔)」	〃		5.2	水墨の最前線14 緊 張感に貫かれた墨に よる刺青の表現 高 村総次郎	立島 恵	水墨画*	284
身や皮に質感 「鮭」	高野 清見		5.8	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 045 高村豊周 挿花 のための構成	横溝 廣子	美術手帖	967
難事業雄々しく 「栗子山隧道」	〃		5.9	高山辰雄と奥田元生 誕生100年 ふたり の日本画家に思う一 自然と人間を起点に 良きライバルとして	野地耕一郎	新美術新 聞	1299
ぎやらしいモール 東京芸術大学大学美 術館「近代洋画の開 拓者 高橋由一」か ら「甲冑図(武具配 列図)」 高橋由一	古田 亮	読売夕刊	5.22	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 126 高山辰雄 食べ る	〃	美術手帖	967
論点スペシャル サ ッカーと日本人 現 実が「翼」追い越す 高橋陽一氏 漫画家	大塚 隆一 聞き手	読 売	10.10	特集 アートの力を 考える! PART 1 高山辰雄 生きる力 と謎		美術の窓	348
「見る」超えたアート 語る・聞く 全盲の 芸術家と学生、対話 し制作 触る・かぐ 香りつき・大きさ違 う粒で「スナエ」[高 橋りく]	小川 雪	朝日夕刊	1.30	野見山暁治 絵とこ とは きょうも描い て、あしたも描いて、 90年。 絵筆とペン 野見山暁治の思い出	高山 登	ユリイカ	613
発表要旨 第八回全 国大会・第二十二回 研究会 高島華苺の 子ども絵—アリスと の同質性をめぐって	高島 麻子	大正イマ ジュリイ	7	思うままに クライ スバーグの芸術 自 然破壊を告発[高山 登]	梅原 猛	東京夕刊	2.27
視点 落石[おちい し]計画第五期につ いて	高浜 利也	美術の窓	347	「失業すれば元のの らいぬ」…除隊後の 「のらくろ」復刻[田 河水泡]	宮本 茂頼 朝 日		5.9
2012年日本建築学会 作品選奨 小布施町 立図書館 まちとし よテラス[高間三郎]		建築雑誌	1635	本づくし 「創造性 の放棄か、新たな建 築のあり方か。3.11 後の建築」『建築の 大転換』伊東豊雄、 中沢新一著	多木 陽介	A X I S	158
高松次郎 形/原始 No. 1382	神田 直子	WaveII	3				
作品研究 影と遠近 法—荒川修作と高松 次郎	蔵屋 美香	現代の眼	594				2.14~16、 18.20~ 23.25.27 ~3.1.3、 5~8.10、 13~15、 17.19~ 21
所蔵品から 高松次 郎《No. 297(“Photog rapher”)》	神山 亮子	府中市美 術館だより	35	時代の証言者 寺を 建てる 瀧川昭雄 1~26	河合 敦	読 売	
特集1 批評家はど こにいるのか 高松 次郎と「影」の論争— 予備的スケッチ (Ver. 1.5)	土屋 誠一	R E A R	27	瀧口修造とマルセル ・デュシャン	水沼 啓和	千葉市美 術館ニュ ース C'n	61

対照的な2人の交流 瀧口修造とマルセル・ デュシャン展	大西 若人	朝日夕刊	1.18	総特集 永野護 『ファイブスター物語 [ストーリーーズ]』の 普遍、『花の詩女 ゴティックメード』の 衝撃 「アモルマニア」 へ至る道 神はデザイン する 永野護をめぐる トラブルイクス	武井 宏之 西島 大介 梅沢 和木	ユリイカ	619
美術評 瀧口修造と マルセル・デュシャン レンズとしての レディメイド	古谷 利裕	東京夕刊	1.24				
規制の潮流を超越 「瀧口修造とマルセル・ デュシャン」展	宝玉 正彦	日 経	1.12				
人が自由に悲しみを 表現できる場所に、 興味があった 瀧澤 明子個展「Over the Parched Field」	大坂絨一郎	ファウン テン	2	旧李王家東京邸内の 武石弘三郎作大理石 浮彫について	高 晟峻	新潟県立 近代美術 館研究紀 要	11
現代美術の歩き方 今月一品 瀧下和 之「火の国風神雷神」	富澤 治子	美術の窓	343	第六十五回全国大会 研究発表要旨 明治 期後半の竹内栖鳳の 活動一高島屋の海外 万国博覧会への染織 作品に注目して一	廣田 孝	美術史	173
著者に会いたい 瀧 波ユカリさん はる まき日記偏愛的育児 エッセイ ぼこぼこ 連なる面白い発見	鈴木 繁 朝 日	7.29		SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 010 竹内栖鳳 雨霽	加藤 弘子	美術手帖	967
お手本画&秀作集 其ノ十七 田口曉華 《夕暮れの街並み— ヨーロッパの旅よ り》	田口 曉華	水墨画*	284	作家訪問433 九谷焼 作家 竹内瑠璃さん	編 集 部	目の眼	435
作家通信 元気のヒ ミツ 干支を描く	詫間 夢鳳	”	285	武腰敏昭 2010-2011 年 作品の解説	武腰 敏昭	金沢学院 大学紀要*	10
INFORMATION PRODUCT takram による新プロダクト takram が提案する 100年後の人工臓器 群 第13回ドクメン タにて発表	猪飼 尚司	美術手帖	971	コミック 電氣ぶら んこ 武島波(作) 男も絡める親子の螺旋 物語	南 信長	朝 日	3.18
特集 広島[ヒロシ マ]・長崎[ナガサ キ] 第1部 座談 会 建築家は長崎に どう向き合ったか— 長崎水族館と長崎市 公会堂建設の試み [武基雄]	高津 昭生、 竹山 実、 渡辺 満、 砂本 文彦、 初田 香成、 聞き手	建築雑誌	1635	美術教育活動とアート セラピーの共同研究	竹田 光幸	多摩美術 大学研究 紀要	26
導入教育としての「美 術リテラシー」の役割 と意義(1)—「美術 リテラシー」に関する アンケート—	杉山 倫也 長谷川 昇 中野 昇 浅川 正 武井 樹文	横浜美術 大学 研究 育 紀要	2	特集 武富健治 『鈴木先生』が教える マンガの豊饒		ユリイカ	606
江戸博蔵めぐり コ ドモノクニ 第五巻— 第十二号童謡号— 流志向 幼児向け雑 誌[武井武雄]	式 淳子	読 売	1.27	対談 鬱屈を引き 受けるひと パッ ションとしての憂 い顔	武富 健治 安彦 良和		
本よみうり堂 CO- CHAE 企画・著 「武井武雄のこけし」	(井)	”	3.18	鈴木先生の白熱マ ンガ授業「演ずる こと」と“キャラ” の相克	斎藤 環		
				ひきつった笑いを 忘れるな 今日 僕たちはマンガを 読み続ける	伊藤 剛		
				倫理=ことばを教 えるということ 若きソクラテスと しての鈴木先生	伊藤 氏貴		
				鈴木先生にあだ名 をつけてあげよう	千葉 聡		
				徹底討議 『鈴木 先生』を饒舌に語っ てしまう理由[わけ] 反時代的マンガの 同時性	武富 健治 宮本 大人 伊藤 剛		

平成24年定期刊行物所載文献(近/作タ)

資料 武富健治作 品解題	想田 充 三輪健太郎			夢二作 未確認の茶 屋娘 大正初めころ 肉筆画 静岡旧家で 学芸員が発見	天田 優里	〃	2.6
特集 武富健治 『鈴木先生』が教える マンガの豊饒 (演 技)の真実を生きる		ユリイカ	606	美の美 竹久夢二一 叙情の革命 上、中、 下	内田 洋一	日 経	7.22、29、 8.5
『鈴木先生』と演劇 的リアリティ	吉田 大介			夢二の「美人画」発見 静岡市美術館「茶 屋の娘」と命名	平塚 雄太	毎 日	2.5
(私)を乗りこなす ための免許	松井 周			第43回日展 新入選 者寄稿一喜びと抱負 一 日展と私	武満俊一郎	日展ニユ ース	144
世界は舞台だ	篠儀 直子			図画教育者列伝(五) 竹村耕靄	金子 一夫	一 寸	49
特集 武富健治 『鈴木先生』が教える マンガの豊饒 武富 健治の世界		〃	〃	匠の技 可動自在菩薩 藏・走・投・座 [竹谷隆之]	佐々木紀明	読 売	11.11
『鈴木先生』の作り 方、あるいは成長 し続ける物語	宮本 大人			蔵出し 水墨画の逸 品6 田崎草雲(秋山 暉暉図)	大澤 伸啓	水 墨 画*	282
武富健治の中の「娯 楽」「文芸漫画家」 登場まで	ヤマダトモ コ			「工芸な人」に聞く 第十三回「竹紙作 家」 田崎博和さん	八橋 知美 聞き手	五風十雨	66
鈴木先生の不安な 日常	野田 謙介			パブリック・アート 散歩 (シリーズ No.1)熊本市/高橋 公園と千葉城公園の 彫刻[田島龜彦]	古家 良一	V i e w	142
『鈴木先生』と知的 エンターテインメ ント	蔓葉 信博			SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! ARTIST FILE まだまだいる !注目超絶技巧作家 たち04 田嶋徹「細密 画の大三角」の旅人	内田 伸一	美術手帖	974
『江霧巢主人大全』 と鬼畜系の伏流水	永山 薫			一増殖装置— 銅版 画の制作2005—2011	田島 直樹	筑波大学 芸術研究 報告	58
きみはペットなん かじゃない	さやわか			特集 アートの力を 考える! PART 3 田代久美子 心象的 な街	高山 淳	美術の窓	348
特集 制作の現場か ら…「自作を語る」・ II 自作について	竹永 亜矢	自由美術	2012	お手本画&秀作集 其ノ十四 多田早苗 《希望》	多田 早苗	水 墨 画*	279
鼎談・茶の湯と文房 具を中心に[竹中浩]	筒井 絢一 荒川 正明 竹中 浩	陶 説	715	街角アート 銀色の 輝きの魅力[多田美 波]	星野 清一	新美術新 聞	1287
2012年日本建築学会 作品選奨 大川の家 [竹原義二]		建築雑誌	1635	続・百年の手紙 20 世紀の日本を生きた 人々34 紙ナブキン に書いた便り[立原 道造]	梯 久美子	東京夕刊	8.31
(川西英コレクション) に見る、川西英 と竹久夢二	山野 英嗣	京都国立 近代美術 館研究論 集	4	INFORMATION PEOPLE 第37回木 村伊兵衛写真賞 受 賞・田附勝一 写真家 ・田附勝一「東北」と いう被写体に何を 見るか	山内 泰宏	美術手帖	967
第六十三回美学会全 国大会報告 発表要 旨 竹久夢二の生涯 における人形制作活 動の位置づけ	王 文萱	美 学	241				
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 041 竹久夢二 十字 架(散らし絵)	森 仁史	美術手帖	967				
京都からの夢二	寺口 淳治	視 る	457				
夢二と彦乃の作品同 時寄贈 金沢へ肉筆 画など150点	田嶋 豊	東京夕刊	1.21				

木村伊兵衛賞に田附さん[田附勝]	朝 日	2.18	田中敦子《Spring 1966》—《電気服》はいかに平面へ変換されたか—	加藤 瑞徳	フィロカリア	29
ひと 第36回木村伊兵衛写真賞を受賞した 田附勝さん	西岡 一正	〃 〃				
「日常の裏 写す力」木村伊兵衛賞「東北」受賞の評[田附勝]	〃	〃	目は語る アート逍遥 2月 環嘯と田中敦子 感覚呼び覚ました前衛芸術	高階 秀爾	毎日夕刊	2.23
木村伊兵衛写真賞を受賞 田附勝さん 東北を見つめるきっかけに	篠原 知存	産 経	東アジアの王権と宗教 「桃鳩」イメージの変容—王権の表象から平和の象徴へ [田中一光]	板倉 聖哲	アジア遊学	151
むきだしの「東北」語る 写真家、田附さんと民俗学者、赤坂さん[田附勝]	手塚さや香	毎日夕刊	美の履歴書282 直線なのになぜ柔らか 「Nihon Buyo」 田中一光	大西 若人	朝日夕刊	11.28
次世代 人 濃密な東北 切り取る 田附勝さん	井上 晋治	読売夕刊	アルファベットは冗舌 国や時代を映す書体[田中一光]	窪田 直子	日 経	2.9
特集 耽美な世界へようこそ 魅惑的な少女 龍口経太	龍口 経太	美術の窓	田中一村と海上派—呉昌碩に魅せられたものと《クワズイモとソテツ》	森下麻衣子	美学芸術学	27
佐賀文化考 辰野金吾の遺産 武雄温泉と旧唐津銀行		美術屋・百兵衛				23
決断の日本史 145 1872年10月 唐津藩士・辰野金吾の旅立ち 「東京駅の建築家」への道	渡部 裕明	産 経	美の履歴書241 なぜ署名がないのか 「アダンの海辺」 田中一村	新谷 祐一	朝日夕刊	2.15
マイ・フェイバリッツ 私の好きな作品 辰野登恵子×柴田敏雄	南 雄介	国立新美術館ニュース	入門講座 南島と文学5 日本人の意識文化・歴史膨らむ多様性[田中一村]	小野 正嗣	日経夕刊	8.30
新人賞展 龍輪恵子さんの作品を観て	足立 龍男	自由美術	美・コレクション 動員のみで測れぬ展覧会成果 田中一村 「アダンの海辺」	岸 桂子	毎 日	2.8
特集 まるごと「具体[GUTAI]」! 東京で生まれた前衛美術とは 田名網敬一の語る1950—1970と現在		美術の窓	部品再生 廃車アート エンジンでテーブル 排気管のオブジェ 立川の自動車整備工場主「車は生き物」[田中梅夫]	北爪 三記	東 京	11.13
コミック ネオ・ボーター1・2 ひじかた憂峰(作) たなか亜希夫(画) 平安末期舞台の「現代ドラマ」	ササキバラ・ゴウ	朝 日	Editor's Eye 『月映』と結核、あるいは「死に至る病」[田中恭吉]	松山 龍雄	版画芸術	157
「MOTコレクション」展開連シンポジウム 「現代美術史をいかに語るか—クロニクル/アナクロニクル」採録 講演II 林道郎「アレゴリーとしての『人質』:アンフォルメルと『具体』についての話」[田中敦子]	藤井 亜紀	東京都現代美術館年報・研究紀要	特集 大正時代の版画誌『月映〔つくはえ〕』の青春 田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎		〃 〃	
			『月映』前史—回覧雑誌『密室』から私輯『月映』まで			
			公刊『月映』の木版画			
			『月映』その後			
			『月映』という宇宙	井上 芳子		

SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近代美術の傑作150 018 田中恭吉 生ふるもの 去るもの	井上 芳子	美術手帖	967	路地写真家が撮る秘密の大都市の36年 田中長徳『屋根裏プラハ』		芸術新潮	747
講演会「田中恭吉のひみつ」坂本雅美(紙本保存修復家)	〃	和歌山県立近代美術館ニュース	73	洋画家・田中真砂子		美術屋・百兵衛	21
INFORMATION NEWS 世界最大の国際美術展日本代表選出 第55回ヴェネチア・ビエンナーレ、日本館の作家は田中功起、キュレーターは蔵屋美香に決定	内田 伸一	美術手帖	969	作家通信 スケッチは日々へのまなざしを深める	田中みぎわ	水墨画*	283
WORLD NEWS ワルシャワ グローバルなマーケットに連動し成長中!ワルシャワのアートシーン [田中功起]	藤高 晃右	〃	971	愛知県立芸術大学芸術資料館蔵品紹介(36)[田中光義]	岡田 修二	愛知県立芸術大学紀要	41
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術2013年開催予定 ヴェネツィア・ビエンナーレ日本代表作家・日本館キュレーター決定[田中功起]		美術の窓	346	北川民次の絵画技法(2)一名古屋市美術館所蔵作品の自然科学的調査一	白河 宗利 歌田 眞介 森田 恒之 木島 隆康 森田 義之 増田 直人 山田 論 田中 元偉 鈴鴨 富士子 杉原 朱美	〃	〃
日本館出品作家は田中功起さん 来年のベネチア・ビエンナーレ国際美術展		産 経	7.5	追悼特集 織田廣喜氏を偲ぶ 絵描きのあるべき姿を教えてくださいました先生	田中 良	新美術新聞	1285
出品者に田中功起さん 来年のベネチア・ビエンナーレ	岸 桂子	毎日夕刊	5.17	踏影会について 一田中良の舞台装置を中心に	岡本 光代	文化継承学論集	8
ベネチア・ビエンナーレ日本館出品の田中功起さん「震災にふれたい」	〃	〃	11.22	棚田康司「年齢そして傷。木には人に近いところがあるんです」		芸術新潮	755
日々好日 時空散歩	田中 茂	新美術新聞	1292	彫刻家・田辺光彰氏、オーストラリアで「種の保全」を提唱する長さ82メートルの石彫作品を制作中	窪田 元彦	新美術新聞	1295
新人賞展 及川裕介さんの作品について	田中シンタロウ	自由美術	2012	照明器具デザイナーあかりの提案一	小井土 満 谷 浩二 角 文平	武蔵野美術大学研究紀要	42
新美術時評 田中信太郎アトリエ訪問 逆光で「もの派」を再考する	光田 ゆり	新美術新聞	1278	アクリリックス・ワールド68 谷口真人	石井 芳征 取材・文	美術手帖	964
キャラクターデザインとその展開(版画)	田中 新兵	多摩美術大学研究紀要	26	建築家・谷口吉郎の記述にみる「材料」の言説について	柴田ちひろ 河内 浩志	日本建築学会計画系論文集	682
わたしの宝もの82 汚い花	田中 武	新美術新聞	1276	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近代美術の傑作150 064 谷中安規 街の本 シネマ銀座	滝沢 恭司	美術手帖	967
フェイス21世紀165 田中武 人間の欲望に潜む闇 美しく光を照らす	松崎 裕子	〃	1295	人生の贈りもの 写真家 田沼武能 1~5	大庭 牧子 聞き手	朝日夕刊	2.13~17
作家通信 画材と表現	田中 武	水墨画*	285	時代の証言者 人間を写す 田沼武能 1~26	池田 正一	読 売	7.11、12、14、16~19、21、23~26、28、30~8.2、4、6~9、11、13~15



彩・美・風	種田 陽平	朝日夕刊	3.7、14、21、28	日々好日 我が人生に想うこと	田村 鎮男	新美術新聞	1283
特集 美女と幽霊 束芋と観る 大阪・謎の幽霊画	束 芋	芸術新潮	752	中特集 心の風景 田村鎮男 昼の夢	高山 淳	美術の窓	349
第五回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館報告(二)[束芋]	植松 由佳	国立国際美術館ニュース	188	ぎやらいいモール 弥生美術館「田村セツコ展」から「ベストフレンド」田村セツコ	内田 静枝	読売夕刊	10.23
特集 2012 年末回顧 日中美術展に寄せて	田淵 俊夫	新美術新聞	1299	視線 ソローニュの森 田村尚子著	保坂健二郎	朝 日	8.12
いのちの煌めき 田淵俊夫展	田淵俊夫	東京夕刊		仏精神医療の現場撮る	田村 尚子	日 経	8.22
上 「ヨルバの花」 生命力への感動そのまま	岩下 志麻		6.13	みんなのマンガ学 「青春の一冊」リクエスト編4 BASARA 普通の女の子が追い求めた和平[田村由美]	倉持佳代子	朝日夕刊	1.26
中 「泊」 観る者の戸惑い意図か	草薙奈津子		6.14	丹下健三「広島計画」と原爆ドーム—旧産業奨励館が「焼け野原」から「平和の象徴」へ至った経緯について—	越前 俊也	文化学年報	61
下 850年の歴史を集約「鶴岡八幡宮絵巻」(部分)	吉田 茂穂		6.15	群像としての丹下研究室 戦後日本建築・都市史のメインストリーム 豊川斎赫(著)[丹下健三]	山形 浩生	朝 日	7.1
戦後の巨匠16[田淵安一]	林 紀一郎	美術屋・百兵衛	20	オランダ人建築家レム・コールハースさん来日会見 戦後日本のメタボリズム 丹下健三の役割大きく	手塚さや香	毎日夕刊	7.4
新刊紹介 壺中の響き やきものとうたと 玉置保夫/久野治著	小野 公久	陶 説	715				
玉那覇正吉『竜 浮彫』について—彫刻と絵画のはざままで—	小林 純子	沖縄県立芸術大学紀要	20				
〈報告書〉玉那覇正吉『竜 浮彫』型取り及び複製制作	濱元 朝和	” ”	”				
沖縄近代彫刻の礎 玉那覇正吉 玉那覇彫刻の起源と絵画の変遷について	仲里 安広	沖縄県立美術館博物館紀要*	2				
神宮名品解説 染色「芭蕉布帯末広に沢瀉文様」[玉那覇有公]	本多 久子	瑞 垣	222				
これからの田舎暮らし 手ぶらはダメ 何してるの 不審な視線	玉村 豊男	日経夕刊	4.4				
〜ダムタイプ『S/N』と九〇年代京都『アーカイブ』〜	八巻 真哉	国立国際美術館ニュース	191				
ぎやらいいモール 東京都写真美術館「田村彰英 夢の光」から「シリーズ『名もなき風景のために』より『座礁船、三重県津市』1994年」田村彰英	関次 和子	読売夕刊	7.31				
廃校になった中学活用 ギャラリーやアトリエ 地域に開放、身近にアート[タムラサトル]	大室 一也	朝 日	2.14				

(チ)

アイヌ・アートの現在—その豊かさを共有するために[チカップ美恵子]

特集 耽美な世界へようこそ 和風耽美 智内 兄助 美術の窓 342

作家通信 子どもに伝える水墨画 千野 曜生 水墨画\* 275

歳・月・人 千野曜生 伝えていきたいものづくりの楽しさ ” ” 280

特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 千野曜生 樹間に光る湖面 ” ” 282

COMPETITION TA-RO 賞決定! 第15回岡本太郎現代芸術賞[千葉和成]

「良き明日への神話  
：福島第一原子力発電所」岡本太郎記念館で千葉和成さん特別展「自分が作品にしないでする」

岡本太郎現代芸術賞受賞決定決まる 太郎賞には新座の関口さん 敏子賞には厚木の千葉さん[千葉和成]

わたしたちの教室へようこそ

特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 千葉玄象 湯田中雪景

上級者に贈る 創作への道7 自己表現のためなら画風の変化もいとわぬ

本よみうり堂 文・千葉惣次、写真・大屋孝雄 「東北の伝承切り紙」

みんなのマンガ学 「青春の一冊」リクエスト編3 あしたのジョー 衝撃のラストに胸熱く「ちばてつや」

昭和史再訪 マンガ新文化のゴング 45年(1970年)3月24日力石徹告別式 証言「あしたのジョー」作者ちばてつやさん 大男のイメージドラマ生む

秋の叙勲 ちばてつやさんから3940人 受章者喜びの声 漫画家ちばてつやさん 人間賛歌を描きたい

風刺の精神永遠に コマ漫画故千葉督太郎さん 新聞博28日~後進の展示会 遺作は原発テーマ

野見山暁治 絵とことば きょうも描いて、あしたも描いて、90年。 絵筆とペン 画家と長生きー野見山暁治の絵を考えつつ考えたこと

SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 055 鳥海青児 うずら(鳥)

SPECIAL FEATURE Chim ↑ Pom プレゼンツ REAL TIMES " 964

§ 前文 § 岡田 将孝

TEXT スーパーラット論 溶融する現代美術 増殖する突然変異 卯城 竜太

SPECIAL FEATURE Chim ↑ Pom プレゼンツ REAL TIMES GALLERY & INTERVIEWS 世界各国の22組が登場! スーパーラットな表現者たち ARTIST INTERVIEW " "

VOINA 今ロシアで何が起きているのか? Chim ↑ Pom 聞き手 アンドレイ・ボルド、編集部 構成

宇川直宏 ファイナルメディア DOMMUNE とは何か? 三田 格、エリイ、林 靖高 聞き手 謙一 構成

ゼウス ヴィジュアル・キッドナッピンングとは何だったのか? Chim ↑ Pom 聞き手 松下 構成

「Chim ↑ Pom 展」/ 西野達作品 無意識・無自覚暴き出す 大西 若人 朝日夕刊 10.3

3・11後の表現 5 美術 歴史の記憶 作品に刻む 自省の念映像に 失った風景「再生」[Chim ↑ Pom] 小川 敦生 日 富田 律之 経 3.10

(ツ)

黒姫 司 修 " 12.30

3・11後の表現 2 建築 「みんなで集い作る」[塚本由晴] 窪田 直子 " 3.7

月岡芳年と「江戸」一大判二枚続作品と掛物絵判を中心 菅原 真弓 浮世絵研究 3

資料紹介 水野年方旧蔵・月岡芳年下絵 日野原健司 " "

月岡芳年 幕末・明治を生きた奇才浮世絵師 太陽(別冊) 196

最後の浮世絵師 月岡芳年 岩切友里子

初期の諸相一國芳の継承・習作期 "

江戸から明治へー 激動の時代を写す	〃	インタビュー・シリ ーズ 夢プロジェク ト 世界に発信する アーティストたち No.1 土田康彦	土田 康彦	ギャラリ ー*	328
新たな様式の展開 ー芳年風の形成	〃				
明治浮世絵界の泰 斗としての晩年ー 円熟した作品群	〃	特集 秋の制作シー ズに贈る18作家の 水墨世界 土端羊石 貫ヶ岳	土端 羊石	水墨画*	282
近代を併呑し浮世 絵師を全うす	山口 晃	彫刻家の現場から 83 土屋勝	武田 厚	美術の窓	343
初公開! 幻の版下 絵「看虚百覧怪」	岩切友里子	本よみうり堂「聞 耳の森:土屋仁応」	(清)	読 売	12.9
芳年・血みどろ絵 に見る「救い」	横尾 忠則	ときの人34 土屋禮 一 水墨に再挑戦、 深遠なる墨の世界を 探る		新美術新 聞	1269
芳年の「目」、その 凄み	佐野 史郎				
芳年肉筆画の魅力 について	西井 正氣	土屋禮一の「鯉」を観 て	油井 一人	〃	1283
最先端のメディア に携わった芳年	庵原理絵子	水墨の最前線9 軟 水で摩り下ろした墨 にまかせる 土屋禮 一	野地耕一郎	水墨画*	279
美の履歴書280「江 戸」からにじむのは 「芳流閣両雄動」 月 岡芳年	増田 愛子	日本画壇の風雲児 中村正義 下 うし ろの人 穏やかさに じむ遺作	土屋 禮一	東京夕刊	2.22
作家通信 元気のヒ ミツ 笑顔で元気!	月居 和子	水墨画*			280
追悼特集 織田廣喜 氏を偲ぶ 織田廣喜 先生の思い出	月館 れい	新美術新 聞			1285
淡々と素材そのまま の凄み 貧困旅行記 つけ義春	柳沢きみお	朝 日			4.8
てくてく 漫画家の 心を撃った奥多摩 都心に近い「仙境」 [つけ義春]		毎 日			9.12
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 065 津田青楓 犠牲 者	足立 元	美術手帖			967
津田直+石川直樹 「幸せ」だけじゃない プータンを撮る		芸術新潮			747
ローカル・ガイド 古代スコットランド 紀行 5000年前の遺 跡にふれる、もぐる	津田 直	〃			753
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 035 土田麦僊 舞妓 林泉	加藤 弘子	美術手帖			967
美の美 大正100年 京都日本画の浪漫 上[土田麦僊]	小川 敦生	日 経			4.22
		3・11後の表現 5 美術 歴史の記憶 作品に刻む 自省の 念映像に 失った風 景「再生」[椿昇]	小川 敦生 富田 律之	日 経	3.10
		全美フォーラム07 「地方」の光と影[坪 内晃幸]	平井 章一	ZENBI	2
		特集 耽美な世界へ ようこそ 物語の中 の世界 鶴友那	鶴 友那	美術の窓	342
		戦中から戦後へ作家 をたどる 7 井上長 三郎、鶴岡政男、安 孫子真人	笹木 繁男	美術運動 史研究会 ニュース	127
		SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 100 鶴岡政男 人間 気化	原田 光	美術手帖	967

作家通信 透明な白  
さを求めて 鶴巻 謙郎 水墨画\* 274

(テ)

美の美 勅使河原若  
風 前衛の花 上、 富田 律之 日 経 10.28、  
下 11.4

現代書における水墨  
表現の受容—一九五  
〇年代の思索[手塚  
右卿] 笠嶋 忠幸 出光美術  
館研究紀  
要 17

第43回日展 新入選  
者寄稿—喜びと抱負  
— 日展と自身の表  
現について 手銭 吾郎 日展ニユ  
ース 144

『ブッダ』における  
「捨身」とその作品内  
における意味—冒頭  
のエピソードをめぐ  
って[手塚治虫] 橋本 章彦 京都精華  
大学紀要 40

手塚治虫先生と会津  
そして笹川ひろし先  
生のこと 白井 祥隆 ザ・ルー  
フ 40

若き手塚治虫 未発  
表作? 闇市を活写  
「ヒゲオヤジ」も 岩本 哲生 朝 日 11.3

手塚作品の魅力、次  
世代に[手塚治虫] 西岡 一正 朝日夕刊 6.13

天才外科医 波乱の  
青春 ブラックジャ  
ック、来年で40周年  
医学生時代を描き「継  
承」[手塚治虫] 岩本 哲生 " 12.1

『手塚治虫創作ノ  
ートと初期作品集 2』  
手塚治虫14歳 天才  
の原点 プロとして  
最初の1枚 復刻 溝上 健良 産 経 2.6

広角 時代を投影  
眺めて楽しい 小  
さなアート 宝くじ  
デザイン 手塚漫画の  
キャラクターも起用  
[手塚治虫] 伊藤 洋一 " 7.19

10代後半手塚漫画  
未発表19ページ同級  
生60年保管 終戦  
描ける解放感[手塚  
治虫] 東京夕刊 11.2

「大人漫画」試みようか  
がえる 手塚治虫さ  
ん未発表作品 " "

入門講座 身体表現  
の革新者たち4 シ  
ェルカウイ あらゆ  
る所作 世界中から  
[手塚治虫] 三浦 雅士 日経夕刊 2.23

手塚治虫さん未発表  
作品 終戦直後描く  
同級生が保管 毎日夕刊 11.2

本よみうり堂 コミ  
ック館 新刊立ち読  
み 『手塚治虫 創  
作ノートと初期作品  
集 2』 川村 寛 読売夕刊 2.27

ぎやらしいモール  
世田谷文学館『地上  
最大の手塚治虫』展  
から 『『スター名  
鑑』肉筆本』 手塚治  
虫 中垣 理子 " 5.29

追悼特集 福王寺法  
林氏を偲ぶ 福王寺  
法林先生を悼む 手塚 雄二 新美術新聞 1277

特集 横写から学ぶ  
絵画の技法 東京藝  
術大学日本画第三研  
究室—古典日本画の  
横写— " 美術の窓 349

青春プレイバック  
洋画家寺井重三 師  
・木下孝則への想い 袴田 智彦 新美術新聞 1270

特集 デッサン力を  
磨く 技法講座  
VOL.25 人気作家8  
名の制作プロセス公  
開 寺久保文宣 パ  
ステルと木炭、水彩  
で薔薇の花をスケッ  
チ 寺久保文宣 美術の窓 340

座談会「第四十四回  
日展審査を終えて—  
魅力ある日展に向け  
て—」 中山 忠彦、  
寺坂 公雄、  
奥田 小由女、  
岩倉 寿、  
市村 祥一郎、  
新井 緑郎、  
森脇 光風  
司会 正人 日展ニユ  
ース 147

特輯 岡倉天心生誕  
百五十年記念 寺崎  
廣業 瀟湘八景 山本 丈志 国 華 1400

シルヴァーホワイト  
の媒材研究2 寺田栄次郎 金沢美術  
工芸大学  
紀要 56

テラダモケイと建築  
家・寺田尚樹 編集 部  
谷口真佐子 A X I S 158

美博なう 100分の1  
の世界を体感 ワタ  
リウム美術館[寺田  
尚樹] 朝日夕刊 9.12

添景 心とます紙人  
形の世界 五輪競技  
や動物園いきいきと  
[寺田尚樹] 産 経 8.30

山下裕二の今月の隠  
し球91、92 照沼敦  
朗 「自画・自刻・  
自撰」のアニメーシ  
ョン(上、下) 山下 裕二 美術の窓 346、347

TOP NEWS 2012  
天明屋尚がギャラリ  
ーを全面プロデュー  
ス 天明屋 尚 ギャラリ  
ー\* 332

INFORMATION NEWS 東京・中目黒にギャラリーオープン 天明屋尚プロデュース! BASARAの息吹をつなぐギャラリー「TENGAJ」	福住 廉	美術手帖	971	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 026 徳岡神泉 狂女	中村 麗子	美術手帖	967
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 BASARAスピリットで若手作家を育成 現代美術作家・天明屋尚がギャラリープロデュース開始		美術の窓	346	課外授業 美術のお時間 18時間目[徳富光造]	安井 収蔵	美術屋・百兵衛	22
				松楓蒔絵文台硯箱と戸鴛光宇	小松 大秀	学習院大学史料館 紀要	18
				「工芸な人」に聞く 第十五回 「ポーセリン・ペインティング作家」 戸田揖子さん	八橋 知美 聞き手	五風十雨	68
(ト)				作家訪問424 陶芸家 戸田浩二さん	編集部	目の眼	426
制作記録 “めぐる水”制作と展示	土井 宏二	金沢美術工芸大学 紀要	56	コミック 音楽と漫画と人 戸田誠二(作) 夢追う葛藤、喜び 69編	山脇 麻生 朝 日		4.1
第25回奨学者のレポート REAL	土井奈々恵	アクリレート(別冊)	2012	ときの人40 戸恒浩人さん 最新技術で江戸の情緒を表現	川島 保彦	新美術新聞	1285
野菜の味な姿撮ったぞ 山形・庄内の在来種を写真に、けなげさ守りたい	東海林晴哉	日 経	9.24	カスピ海沿岸諸国の風土 写真集『対岸』を刊行 「混じり合えないもの」を撮る [百々新]	篠原 知存 産 経		4.19
東郷青児の本	山田 俊幸	一 寸	51	カバーインタビュー トネリコ	谷口真佐子	A X I S	160
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 023 東郷青児 パラソルさせる女	山西 健夫	美術手帖	967	没後20年・殿敷侃		潮 流	110
小津安二郎、東郷青児らの寄せ書き屏風映画「新しき土」上映にあわせ展示	山根 聡	産 経	4.5	表紙の作品 殿敷侃《作業着》	(H)	”	111
自由席 小杉勇と芸術家の交遊屏風[東郷青児]	(古)	日経夕刊	4.18	パレスホテルロビーに1000年の伝統誇る型染め[鳥羽美花]		産 経	5.9
思い出の井戸	東野 光生	日 経	11.18	型染めに映すベトナム 千年の伝統技法、変貌する社会や風景から新たな表現	鳥羽 美花	日 経	8.16
対談録「東松照明と沖縄 太陽へのラブレター」展 関連シンポジウム 1	新里 義和	沖縄県立博物館美術館 博物館紀要*	2	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 036 戸張孤雁 煌めく嫉妬	千田 敬一	美術手帖	967
自作再見 東松照明「嘉手納1969」撮った瞬間ひっくり返った	西岡 一正	朝日夕刊	5.23	收藏品紹介—富岡永洗の肉筆画《雪月花美人図》(右幅)を同種の作品からみる	石井 絵美	長野県信濃美術館 紀要	6
こころの玉手箱 写真家 東松照明 1~5	東松 照明	日経夕刊	7.23~27	被災地に慈悲 わらべ地蔵 各地で映像会、参加者全員の善意が形に	富田 睦海	日 経	7.23
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 114 堂本印象 風神	天野 一夫	美術手帖	967	展覧会 スポットライト 富張広司近作木版画展	栗本 寛子	版画芸術	158
近代美術の眼 Kanashi—11 哀と愛 柔らかな緊張[堂本右美]	保坂健二郎	読 売	2.10				

平成24年定期刊行物所載文献(近/作ト、ナ)

こども工芸館/おとな工芸館 植物図鑑 富本憲吉の植物モチーフについて	三上 美和	現代の眼	595	「みんなの家」被災地に続々 復興語り合う憩いの場 建築家の思い広がる[内藤廣]	高野 清見 読 売	12.20
美の美 富本憲吉 モダンへのまなざし 上、下	松岡 資明	日 経	4.8、15	観覧「写」 幸せの原風景 よみがえる幼心・昭和の香り…、日本各地訪ね撮影	直嶋 航 日 経	3.30
第43回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負— 自身の表現について	富元 秀俊	日展ニュース	144	「版画アートコレクション」の作家 永井研治 リトグラフの輝き	松山 龍雄 版画芸術	156
京都の伝統 最後までわからないのが面白い 絞裏庵 創業者/工芸家 富山英樹さんへのインタビュー	築出瑛理子	瓜生通信	56	「車の渋滞見て着想」マジンガーZ・永井豪	岩本 哲生 朝日夕刊	6.23
美術学部教員展図録 陶磁	友岡 秀秋	愛知県立芸術大学紀要	41	特集 模写から学ぶ 絵画の技法 第三研究室座談会 古典の模写から学び取るもの	窪井 裕美 繭山 桃子 永井 健志 松下 雅寿 上野 高	美術の窓 349
出石焼・籠目小鳥細工花瓶について[友田安清]	谷口 弘美	阡 陵	65	瀬戸蔵ミュージアム「ルス(呂宋)とよばれたやさしい—近世瀬戸の新たな試み」展に寄せて 瀬戸のルス	長江 惣吉 陶 説	707
本だな 驚きに満ちた海底世界『すごいぞ!「しんかい6500」』[友永たろ]			読売夕刊 6.23	国鳥の四季 中尾謙治著	日 経	4.8
WORLD NEWS キエフ 東欧最大の公立美術館の設立を目指すウクライナ発、ピエンナーレが開幕! [戸谷成雄]	かないみき	美術手帖	971	特集 アートの力を考える! PART 3 中尾廣太郎 自分に出ること	中尾廣太郎 美術の窓	348
そぎ落とされ残ったもの 戸谷成雄展	大西 若人	朝日夕刊	3.14	特別レポート 「工芸」はどこへ向かうのか 後編 産業としての工芸 ナガオカケンメイ よりよい「暮らし」と「もの」をつなげる	橋本 麻里 芸術新潮	753
交遊抄 「型破り」な人生	戸谷 成雄	日 経	3.31	青春プレイバック 書家仲川恭司 世界に発信する「象書」の原点	宗像 克元 新美術新聞	1273
第25回奨学者のレポート みたことのない迷い方	戸谷 森	アクリラート(別冊)	2012	特集 茶の湯—スキの芸術 第2部 茶の湯の表現 茶の湯を撮る	中川 邦昭 美術フォーラム21	25
レビュー ツボ・ミソ・ヘソ—取り合わせの妙— 押忍! 手芸部と豊嶋秀樹『自画大絶賛(仮)』	大橋 広子	R E A R	28	座談会 「唐津焼の未来」を語る	岡本 作礼、 梶原 靖元、 坂本 直樹、 鈴木由紀夫、 中川自然坊、 中里太郎、 右衛門 孝一 森司会	陶 説 706
インタビュー 豊福知徳氏に聞く	建畠 哲、 大成 浩、 聞き手	連盟ニュース	442	視線 ドングリトプスとマックロサウルス カラーージュとフロッタージュのおはなし 中川淳著	森村 泰昌 朝 日	6.17
3・11後の創造力 上 漫画「あったことを描くしかない」[とり・みき]	森本 昌彦	産 経	3.9			
(ナ)						
内なる炎、論理で律す 建築家・菊竹清訓さんをしのぶ	内藤 廣	東京夕刊	1.16			
喪友記 石元泰博さんを悼む 許せぬ理不尽	〃	日 経	2.10			

本だな 愉快な恐竜 が生まれる『ドン グリトプスとマック ロサウルス』[中川 淳]		読売夕刊	6.23	核廃絶ゲンに託す 中沢啓治さん死去 73歳 漫画、18カ国 で翻訳 福島第一事 故でも訴え 人間、 制御できない		〃	12.25
姫路伝統の技12 驚 脚焼—永世舎のその 後、竹べら一本の魔 術師がいた—[中川 勇次郎]	岡 崎	五風十雨	65	「反核」描き語る 中 沢さん死去 思い次 世代に[中沢啓治]	中里 顕	毎 日	12.26
INFORMATION ME- MORIAL 追悼 中川 幸夫 孤高のいけ花 作家—中川幸夫	内田真由美	美術手帖	967	平和と怒りゲンに託 す 中沢さん死去 原爆に鋭い批判 核 のない世界空から願 っている[中沢啓治]	中里 松本 顕 博子	毎日夕刊	12.25
追悼 前衛生け花の 中川幸夫さん 多く の表現者と共振	大西 若人	朝日夕刊	4.11	中沢啓治さん死去 広島で被爆「はだし のゲン」		〃	〃
追想録 中川幸夫さ ん(生け花作家) 型 破りの美、貫いた孤 高		日経夕刊	6.8	ゲン通し平和伝える 中沢啓治さん 原爆 リアルに 筆曲げず		読 売	12.26
中川幸夫氏を悼む 花の生と死に寄り添 う	北川フラム	読 売	4.12	中沢啓治さんを悼む 満ちあふれた生気 まさに「ゲン」	吉村 和真	〃	12.27
eye 9年ぶりに訪れ たコンボ ザビット 一家のいま	長倉 洋海	毎日夕刊	11.29	中沢啓治さん死去 73歳 漫画「はだし のゲン」 原爆の悲 惨さ訴え		読売夕刊	12.25
特集 アートの力を 考える! PART 3 中畔千嘉 矢原先生	中畔 千嘉	美術の窓	348	21世紀のアーティ スト 中沢研		ギャラリー 一*	322
コミック Ebony and Irony 長崎訓子(作) 名作を新たな輪郭で 鮮やかに	山脇 麻生	朝 日	11.4	視線 新装版デッサ ン・ド・モード 美 しい人を描く 長沢 節著	保坂健二郎	朝 日	4.22
座談会 「唐津焼の 未来」を語る	岡本 作礼、 梶原 靖元、 坂本 直樹、 鈴木由紀夫、 中川自然坊、 中里太郎右 衛門 孝一 森 司会	陶 説	706	ながさわわかひろの 「に・褒められたく て」18~29	ながさわ わかひろ	美術手帖	962~967、 969、971、 973~976
作品 「記憶2011」 「gift」	長沢 圭	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	16	10人目の選手 絵で フル出場 ヤクルト の全試合描く画家 夢は「監督の胴上げ」 [ながさわわかひろ]	山本 亮介	朝日夕刊	12.27
中沢啓治さん死去 広島で被爆「はだし のゲン」73歳 原爆 の証言活動に強い意 欲		産 経	12.26	收藏品解説 中ザワ ヒデキ《脳波ドロー イング》	神山 亮子	府中市美 術館研究 紀要	16
中沢啓治さん死去 「ゲン」は怒ってるぞ 戦争と原爆に、こん 畜生	二井 理江	東 京	12.26	「版画アートコレク ション」の作家 中 路規夫 版画という 純粋な「平面」	松山 龍雄	版画芸術	158
「はだしのゲン」作者 ・中沢啓治さん 帰 郷して語る被爆 絵 本版原画展始まる 原爆資料館		東京夕刊	7.19	中路融人 2010-2011 年 作品の解説	中路 融人	金沢学院 大学紀要*	10
				「米寿記念 古谷蒼韻 展」に寄せて 米寿 記念 古谷蒼韻展を 拝見して	〃	新美術新 聞	1292
				山口華楊展 「黒豹」 を見て	〃	〃	1295
				追悼・室井東志生氏 室井東志生さんの想 い出	〃	〃	1297

知られざる中野の偉人 特集 中島菊夫		しいのき	62	中西夏之の絵画場の研究 土方巽との協働からの影響を中心に	小田原のどか	芸術学研究(筑波)	17
美術学部教員展図録デザイン	中島 聡	愛知県立芸術大学紀要	41	アートの風 6月「背面」展と「フラワースケープ」展 発見されたもう一つの身体[中西夏之]	三田 晴夫	毎日夕刊	6.13
今秋10月都美術館で第1回展、若手作家の積極応募を期待 Artist Group 一風一が記者会見し趣旨説明[中島千波]		新美術新聞	1283	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150004 長沼守敬 老夫	田中 修二	美術手帖	967
退任記念展 中島千波 人物図鑑 に寄せて 絵画上での身体遊戯	天野 一夫	"	1296	インタビュー 中根寛氏に聞く 画家は70代80代が勝負	佐々木 豊 聞き手	連盟ニュース	444
人物表現にかけた想いの描跡 退任記念展 人物図鑑 中島千波 ライフワークの形而上的作品53作品を一室に展示	油井 一人 中島 千波	"	"	導入教育としての「美術リテラシー」の役割と意義(1)―「美術リテラシー」に関するアンケート―	杉山 倫也 長谷川 昇 中野 滋 浅川 正樹 武井 文	横浜美術大学・研究紀要	2
日々好日 至福の刻	中島 敏明	"	1277	総特集 永野護 『ファイブスター物語[ストーリーズ]』の普遍、『花の詩女ゴティックメード』の衝撃		ユリイカ	619
特集 アートの力を考える! PART 3 中島敏明 蘇生	高山 淳	美術の窓	348	ロング・インタビュー まだまだスゴいのは見せてないよ 「踏み外す」ことからすべては始まる	永野 護 飯田 一史 聞き手		
座談会 現代陶芸の在り方を問う	乾鈴木 中島 森野 森司会	由明、藏、宏、泰明 孝一 陶 説	710	『GTM』見参! 荒地の歌 『花の詩女ゴティックメード』論	藤田 直哉		
お手本画&秀作集 其ノ十五 中島穂波 《茅花流し》	中島 穂波	水墨画*	280	「アモルマニア」へ至る道 神はデザインする 永野護をめぐるとラフィクス	武井 宏之 西島 大介 梅沢 和木		
誰か故郷を…飯館の未来描きたい[中島盛夫]	蒲 敏哉	東京	3.11	資料 永野護   FSS   GTM 年表	飯田 一史		
故郷・飯館の里山祈りのペンキ絵に 練馬の銭湯絵師・中島さん[中島盛夫]	佐藤 直子	東京夕刊	3.14	七七七七年の愉楽 生きていく神話をどう読むか	新城カズマ 伊藤 盡		
お化け作りに魂奪われ 手がけて70年以上、表情に美しさ・おかしみも求める	中田 市男	日 経	8.10	七七七七年の愉楽 傀儡[くぐつ]は宙[そら]を跳ね回る	佐藤 俊樹		
マンガ書籍に深い愛情 内記稔夫さんを悼む	長谷 邦夫	東京夕刊	6.7	七七七七年の愉楽 人形はどうして動いてしまうのか	中田健太郎		
收藏品から 《母と子》中谷泰	橋本 善八	世田谷美術館だより	88	七七七七年の愉楽 年表を生きる者 永野護は何を表現しているのか?	さやわか		
美術学部教員展図録デザイン	長谷 高史	愛知県立芸術大学紀要	41	永野護へのオード 『ファイブスター物語』という謎	穂村 弘		
美の履歴書281 何を見ているのか 「彫刻と女」 中西利雄	西岡 一正	朝日夕刊	11.21	永野護へのオード AMX-004 キュベレイ	古野まほろ		
特集 画廊とアーティストの繋がり gallery 21 yo-j×中西夏之		ギャラリー*	331				



『FSS』解析事始め 絵画的マンガ論の ほうへ『FSS』と キャラを描く快樂	伊藤 剛 中田健太郎	永野後の世界 ア ーカイブと戦争の 日本的性格『ファ イブスター物語』と 戦後日本サブカル チャー史	福嶋 亮太		
『FSS』解析事始め Schwingungen ブ ランドとしての永 野護 『ファイブ スター物語』小論	飯田 一史	永野後の世界 永 野護の視点	小田切 博		
『FSS』解析事始め 構築される「歴史」 とフィクション 『ファイブスター 物語』を中心に	玉井 建也	永野後の世界 ラ イトノベルに息づ く『F. S. S.』の遺 伝子	山中 智省		
『FSS』解析事始め 神話と伝説のあい だ 古典文学の現 代的パラフレーズ としての『ファイ ブスター物語』	木村 朗子	今秋10月都美術館で 第1回展、若手作家 の積極応募を期待 Artist Group 一風一 が記者会見し趣旨説 明[中野嘉之]		新美術新 聞	1283
『FSS』解析事始め 神はいないが、花 を着る	西川 サキ	上級者に贈る 創作 への道5 墨に魅せ られ、墨を魅せる 紙の違いによる墨色 の美	中野 嘉之	水墨画*	281
『FSS』解析事始め 永野護と奇想のエ ンターテインメン ト	蔓葉 信博	岐阜県美術館所蔵 ルドンとその周辺 中 神秘的で深奥な 黒	中林 忠良	東京夕刊	1.31
エフェメラルに、 エターナルに 肩、 袖、腰… ライン が語り出す物語	蘆田 裕史 小野 原誠	浅丘ルリ子を変えた 中原淳一 挿絵に似 た顔 運命的	浅丘ルリ子 談 山内 則史 聞き手	読売夕刊	9.21
エフェメラルに、 エターナルに『フ ァイブスター物語』 の服飾世界 服飾 的異教習合とポス トヒューマニズム	樋口ヒロユ キ	SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近 代美術の傑作150 027 中原梯二郎 若 きカフカス人	千田 敬一	美術手帖	967
女たちの永野ワー ールド 『FSS』はこ この男に萌えろ！ 女子たちのための 『FSS』(再)入門	金田 淳子 岡田 育	明治期京都の工芸— 中原哲泉についての 覚書	畑 智子	朱雀	24
女たちの永野ワー ールド 神は表層に 宿る	金田 淳子	ぼくの採点症 第13 ~24回	中原 昌也	芸術新潮	745~756
永野護とアニメ 星団歴2988年、西 暦2015年、昭和20 年 悔恨の記号と しての「年号」	宮 昌太郎	SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近 代美術の傑作150 059 中原實 昼の星 雨	弘中 智子	美術手帖	967
永野護とアニメ ファティマの瞳は 何色なのか	高瀬 司	特集1 石子順造 「アルガママ」の交差 —石子順造・李禹煥 ・中原佑介・中平卓 馬	林 道郎	ART TRACE PRESS	2
永野後の世界 星 団史を改竄する想 像力 二次創作の 時代から読む 『FSS』	さやわか 村上 裕一	本よみうり堂 中平 卓馬写真集「サー キュレーション—日 付、場所、行為」	(前)	読 売	4.29
		中町力 2010—2011 年 作品の解説	中町 力	金沢学院 大学紀要*	10
		人生の贈りもの 水 中写真家 中村征夫 1~5	伊藤恵里奈 聞き手	朝日夕刊	7.2~6

平成24年定期刊行物所載文献(近/作ナ)

写真家たちの世界遺産 水越武・中村征夫ほか著		日 経	5.6	中村彝・曾宮一念・小泉清 曾津八一と早稲田中学の画家たち—早稲田中学・高等学校所蔵作品を中心に—	大島 幸代 町田つかさ	早大會津八一記念博紀要*	13
特集 アートの力を考える! PART2 きずな—再生美術の力 中村英 時代の深部を照らす	高山 淳	美術の窓	348	インスピレーショングラフィック 数十画素で織りなす、豊かな表現—『どっとこどうぶつえん』[中村至男]	深沢 慶太	A X I S	158
研究ノート 《マインドセンス》—ふきだしによる「ことばにする」の可視化計画—	中村 恭子	大学院諸究	8・9	しごと図鑑 ビルや家提案する建築家 NAP建築設計事務所 中村拓志さん チームで作る理想の建物	坂田 保治	日 経	3.24
20世紀後半 現代陶芸の50年—ナラティブ/自分史/展望	中村 錦平	多摩美術大学研究紀要	26	戌も歩けば beau[ポ一]に当たる 第三十六回 神の字、天使の字[中村不折]	竹田 博志	美術の窓	349
平成22年度 開館5周年記念特別展トークイベント「小金井に来るまでの中村/はけの森での研一」		小金井市立はけの森美術館年報	H18—22年度	碌山忌記念講演会 中村不折の生涯と芸術	鍋島 稲子	碌山美術館報	32
「戦争と美術 中村研一を通して見る」	河田 明久			ぎやらりいモール 台東区立書道博物館「この人、どんな字?—近代日本の文豪たち」から「述志之詩 [じゅつしのし]」 森嶋外[中村不折]	中村 信宏	読売夕刊	7.24
「小金井に来てからの研一」	馬目世母子 荒木 和 聞き手			2012年日本建築学会作品選奨 七沢希望の丘初等学校[中村勉]		建築雑誌	1635
平成20年度 福岡県における中村研一作品についての調査記録	大野 玲 中村 ひの	〃	〃	受賞教員インタビュー 第6回 「アーツ千代田3331」の開設と運営により 平成二十二年度芸術選奨 文部科学大臣新人賞 (芸術振興部門)を受賞。	中村 政人	芸大通信	25
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 069 中村研一 瀬戸内海	喜寿 孝臣	美術手帖	967	3・11後の創造力 上 美術 「作品になるか…ましていやいつ」 [中村政人]	渋沢 和彦	産 経	3.9
わたしの宝もの90 九州にて	中村 賢次	新美術新聞	1298	中村正義作品に纏わるエピソード—笹木繁男著[中村正義の生涯]に寄せて	大野 俊治	美術運動史研究会 ニュース	125
「黄河」本場も称賛 北京で中村貞夫展	渡辺 亮一	毎日夕刊	6.5	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 122 中村正義 爽爽 [風景]	山田 論	美術手帖	967
雪の桜 中村龍生著		日 経	10.14	Loeil 美は語る 11 中村正義 真実を追うものは美しい	野地耕一郎	美術の窓	342
Book 殺した女と殺させた女の限りなく純愛に近い逃亡劇 中村珍『羣青』		芸術新潮	752	日本画壇の風雲児 中村正義		東京夕刊	
コミック アヴァール戦記1 中村珍(作) 「マンガとお金」に向き合う	山脇 麻生 朝	日	1.15				
中村彝作 1916年の《静物》と作風展開について	加藤 寛史	芸術学研究(筑波)	17				
資料紹介 中村彝(風景)	大森 潤也	市民と博物館	104				
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 014 中村彝 友の像	小泉 淳一	美術手帖	967				

上 町絵師の精神 貫く	武重 邦男		2.20	思うままに クライ スバーグの芸術 自然 破壊を告発[流政 之]	梅原 猛	東京夕刊	2.27
中 初個展唯一の 「人物」	中村 倫子		2.21				
下 うしろの人 穏やかさにじむ遺 作	土屋 禮一		2.22	3・11後の創造力 上 美術 「作品に なるか…ましていや いつ」 [流麻二果]	洪沢 和彦	産 経	3.9
東京スカイツリー® ×そりのあるかたち 澄川喜一彫刻展 日本 の美と技術を世界 に向けて情報発信	中村 光男	新美術新 聞	1279	花のレッスン帖4～ 6	南雲 稔也	水墨画*	274～276
交遊抄 名匠の大声 [中村義明]	下山 雄司	日 経	1.13	特集 デッサン力を 磨く ⑧技法講座 VOL.25 人気作家8 名の制作プロセス公 開 名古屋剛志 鉛 筆で、質感の違いを 表現する	名古屋剛志 名談	美術の窓	340
おじさん図鑑 なか むらみ著		芸術新潮	748				
インタビュー・シリ ーズ 夢プロジェクト 世界に発信する アーティストたち No.3 中本智絵	中本 智絵	ギャラリ ー*	330	美博なう 合唱団の 活動を映像作品に 東京都現代美術館 [ナデガタ・インス タント・パーティー]		朝日夕刊	9.19
第25回奨学者のレポ ート アトリエ	永山 真策	アクリラ ート(別 冊)	2012	コミック はるまげ 1 なにわ小吉(作) 笑い健在驚きと脱力 が交錯	南 信長	朝 日	7.8
追悼特集 現代書壇 の代表作家・かな書 の巨星 杉岡華郵氏 を偲ぶ 杉岡華郵先 生の遺産	中山 忠彦	新美術新 聞	1278	綴じ込み カイカイ キキギャラリー 「A Nightmare Is A Dream Come True : Anime Expressi- onist Painting」展を 開催! 参加作家に よる座談会 カオス* ラウンジの後、僕ら はどこを目指すのか	S T A G J N T H E D N a B a B a お ぐ ち Mr.	美術手帖	967
追悼・片岡伸介氏 片岡伸介抄	"	"	1279				
座談会「第四十四回 日展審査を終えて一 魅力ある日展に向け て」	中山 忠彦、 寺坂 公雄、 奥田小由女、 岩倉祥一郎、 市村 緑郎、 新井 光風 森協 正人	日展ニュー ース	147				
特集 アートの力を 考える! PART3 中山雅子 魂の故郷	高山 淳	美術の窓	348	SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART3 HISTORY 倉本美津 留さんと行く! 超絶 技巧の聖地巡礼 MUSEUM TOUR 2 並河靖之七宝記念館 世界中で愛された七 宝の制作工房	倉本美津留、 山下 裕二 談 集 部 編 文	"	974
中山正實とその壁面 制作について	西田 桐子	兵庫県立 美術館研 究紀要	6	小特集 奈良美智、 “初挑戦”彫刻ととも に凱旋		芸術新潮	753
Fieldworker【絵画】 「積み重なる『存在』 へのまなざし」	永山 優子 大島 直行 インタビュー	噴火湾文 化	6	対談 奈良美智× 町田康 すべての 道は粘土に通ず	奈良 美智 町田 康		
特集 横尾忠則 アン ファンテリブルの みる夢 人の夢を食 べるバク	永山 祐子	ユリイカ	618	作品論 奈良美智 一淋しい饒舌家	高階 秀爾		
交遊抄 開いている 人	"	日 経	11.24	SPECIAL FEATURE 奈良美智		美術手帖	973
自作再見 流政之 「雲の砦」永遠に変 わらぬ平和を表現	増田 愛子	朝日夕刊	6.20	SPECIAL PHOTO SESSION	川内 倫子		
				INTERVIEW ロン グ・インタビュー	加藤 珠枝 聞き手		

SPECIALTALK 対談：荒木経惟×奈良美智 少女から闊達なバンクロック少年へ!?	宮村 周子	ティム・ブラム+ジェフ・ポー	奈良美智の10代の頃、僕はレコードジャケットで美術を学んだ。第1～3回	奈良 美智	〃	974~976
REPORT ブロンズ彫刻の創作現場レポート	内田 伸一					
奈良美智のアトリエ風景						
レコード・ジャケットセレクション	奈良 美智		特集 岩井俊二『Love Letter』『スワロウテイル』『リリイ・シュシュのすべて』から『ヴァンパイア』へ、未知なる映像を求めて 創作の現場から 両極のあいだの浮遊感『ヴァンパイア』の根底にあるもの	岩井 俊二 奈良 美智	ユリイカ	616
LETTERS 草間彌生と奈良美智の往復書簡						
SPECIAL 温泉対談：村上隆×奈良美智 11年後のふたり旅	岩瀬 貞哉 開き手 岡澤浩太郎 構成		若者よ 美術部に集え 奈良美智さん「本気なら十和田に」	鶴沼 照都	朝日夕刊	9.26
REVIEW 君や僕はちよつとしか似ていない だから一緒にここにいる	榎木 野衣		奈良美智さん「君や僕にちよつと似ている」展「震災で失った創作意欲 母校での制作で戻った」	(典)	東京夕刊	7.24
世界に立ち向かうNO NUKES ガールたち	宮村 周子		文化往来 奈良美智、震災後に見せた作風の変化		日 経	8.30
24時間テレビ 奈良美智×大野智コラボチャリTシャツ						
SPECIAL FEATURE 奈良美智 MESSAGE 1 奈良美智の魅力 恩師・友人が語る!	岡澤浩太郎 構成	美術手帖 973	読書日和 奈良美智さん NARA LIFE ナラ・ライフ 奈良美智の日々 ブログとツイッターまとめ 初のエッセー集 苦悩経て見つけた「連帯感」	岸 桂子	毎日夕刊	8.21
檀田伸也			ぎやらりいモール 横浜美術館「奈良美智：君や僕にちよつと似ている」から「春少女」	木村絵理子	読売夕刊	8.21
柴田元幸						
杉戸洋			手のなかの空 奈良原一高 1954—2004		日 経	12.16
村瀬恭子						
福井篤						
川島秀明						
森北伸						
丸山もゝ子						
中島英樹						
SPECIAL FEATURE 奈良美智 MESSAGE 2 奈良美智の魅力 海外キュレーター・ギャラリストが語る!	近藤 亮介 構成	〃 〃	SPECIAL FEATURE Chim ↑ Pom プレゼンツ REAL TIMES GALLERY & INTER-VIEWS THEORY & PRACTICE スーパーラットの『種の起源』をたどる 論考01 アーティヴィズム・ナウ! たのしいアクティヴィズムと野生のアート	イルコモンズ、 成田 圭祐 編著	美術手帖	964
アピナン・ポーサーヤーン			NEWS コムデギャルソンの新展開[名和晃平]	新川 貴詩	〃	966
ルーベン・キーハン						
アーニー・グリムシャー			SPECIAL FEATURE 大友克洋 Genga 展 名和晃平が見る Genga 展	名和 晃平	〃	967

SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近代美術の傑作150 110 難波田龍起 発生	堀 元彰	〃	〃	特集1 所蔵品ギャラリーのリニューアルについて 整理と表面一所蔵品ギャラリーリニューアルで、建築家と美術館が考えたこと	西澤 徹夫 蔵屋 美香	現代の眼	597
神宮名品解説 「線のプレリュードI」「線のプレリュードII」[難波田龍起]	中村 潔	瑞 垣	221	建築の視点×美術の視点 西澤徹夫・蔵屋美香	島 貴 泰介	美術手帖	967
美の履歴書239 空飛ぶ船に何を託した「宇宙船がくるよ」 難波田史男	大西 若人	朝日夕刊	2.1	MOMAT コレクション リニューアルレポート 最終回 リニューアルを振り返る	蔵屋 美香、 西澤 徹夫、 談 島 貴 泰介	〃	976
(ニ)				なぜ私は建築を選んだか no.3 旅行の話	西 沢 立 衛	建築雑誌	1634
特集 画廊とアーティストの繋がり Gallery HAM×新美泰史		ギャラリー	331	2012年日本建築学会各賞(作品) 豊島美術館[西沢立衛]		〃	1635
特集 制作の現場から…「自作を語る」・II 自作を語る	新村 稔	自由美術	2012	WORLD NEWS イスタンプール「無題(第12回イスタンプールビエンナーレ)2011」展 南米のキュレーターチームが企画。西沢立衛の会場構成が映えるビエンナーレ	三木あき子	美術手帖	963
特輯 岡倉天心生誕百五十年記念 新納忠之介 百済観音	佐藤 道信	国 華	1400	「みんなの家」5棟に宮城・岩手に相次ぎ完成[西沢立衛]	大西 若人 朝 日	12.11	
作家訪問423 陶芸家二階堂明弘さん	編 集 部	目の眼	425	ルーブル分館お披露目 日本人が設計、来月開館[西沢立衛]	三井 美奈 読 売	11.1	
『覽海魚譜』について [二木直喜]	小瀧亜由美	鹿児島大学総合研究博物館ニュース*	31	「みんなの家」被災地に続々 復興語り合う憩いの場 建築家の思い広がる[西沢立衛]	高野 清見	〃	12.20
魚類学的視点から見た『覽海魚譜』[二木直喜]	木村 浩之	〃	〃	総特集 永野護『ファイブスター物語 [ストーリーズ]』の普遍、『花の詩女ゴティックメード』の衝撃 「アモルマニア」へ至る道 神はデザインする 永野護をめぐるトラフィクス	武井 宏之 西島 大介 梅沢 和木	ユリイカ	619
月岡芳年 幕末・明治を生きた奇才浮世絵師 芳年肉筆画の魅力について	西井 正氣	太陽(別冊)	196	特集 耽美な世界へようこそ 西田俊英	西田 俊英	美術の窓	342
SPECIAL FEATURE 荒木飛呂彦 人間賛歌一謎めく美しき世界		美術手帖	975	西田伸一 2010-2011年 作品の解説	西田 伸一	金沢学院大学紀要*	10
REPORT 西尾康之さんと行く!!「ジョジョ展 in S市杜王町」展	編 集 部			特集 アートの力を考える! PART3 西田伸一 過去・現在・未来	磯部 靖	美術の窓	348
Essay ジョジョと美術餓鬼	西尾 康之			お手本画&秀作集 其ノ九 西田壽夫 《夢と幻》	西田 壽夫	水墨画*	274
文化往来 宮大工・西岡常一へのドキュメンタリー映画		日 経	1.23				
フォーカス・アイ 西岡文彦 純正合羽刷の復興	西岡 文彦	版画芸術	158				
西川比呂夫先生の事 作家通信 河童	小沢 清人	現童通信	49				
西川比呂夫先生の事 作家通信 河童	西川 芳孝	水墨画*	281				
お手本画&秀作集 其ノ十六 西里青穂 《まつりの夜》	西里 青穂	〃	〃				

平成24年定期刊行物所載文献(近/作ニ)

上級者に贈る 創作への道4 至福のときへ誘う	西田 壽夫	水墨画*	280	思うままに クライスパークの芸術 自然破壊を告発[西村公朗]	梅原 猛	東京夕刊	2.27
作家通信 アクリル絵具をうまく使ってみましょう	〃	〃	282	本だな いろいろ不思議な姿に『ようちえんがばけますよ』[西村繁男]		読売夕刊	4.14
一寸の虫にミクロの美 走査電子顕微鏡に熱中、千差万別な動植物の世界撮影	西永 奨	日 経	5.21	佳作賞展 自由美術 佳作賞展 平面作品を観て	西村 幸生	自由美術	2012
写真の飛躍 日本の新進作家展 VOL.10 上 都市のダイナミックな力[西野壮平]	丹羽 晴美	東京夕刊	1.16	第1回トーキョー・アート・ナビゲーション コンペティション 審査結果発表!![西村有未]	佐久間 恵	美術手帖	964
World News New York「西野達 コロンブス発見」展 特設リビングルームでコロンブスさん、こんにちは	鈴木 芳雄	芸術新潮	755	第1回トーキョー・アート・ナビゲーション・コンペティション受賞作品展開催[西村有未]	編集部	〃	966
「Chim ↑ Pom展」/西野達作品 無意識・無自覚暴き出す	大西 若人	朝日夕刊	10.3	書家/水墨画家・西山麗雲		美術屋・百兵衛	23
NY 円形広場 囲まれたコロンブス像 西野達・作 注目集める空中の「居間」	朽木ゆり子	読 売	10.4	彫刻家の現場から 82 二田原英二	武田 厚	美術の窓	342
美術作家による 震災遺児支援 チャリティオークション「3・11きずな展」開催へ 3~5月、東京・盛岡・京都3都市を巡回、入札方式で 次の行動起こることを期待	西野 陽一	新美術新聞	1271	特集 蛭川実花 映画『ヘルタースケルター』の世界		ユリイカ	612
日々好日 「すき」	〃	〃	1281	対談 美しき闘争 東京/芸術/批評	村上 隆 蛭川 実花		
視点 3・11きずな展	〃	美術の窓	343	インタビュー Blossoming of NinaMika 蛭川実花の〈成熟/開花〉	蛭川 実花 松井みどり 聞き手		
日々好日 ローマ人からの手紙	西房 浩二	新美術新聞	1285	〈女優〉の表象 下剋上[ヘルタースケルター] 岡崎京子と蛭川実花をめぐる、二つの「ヘルタースケルター」と五人の女優	榎木 野衣		
特集 デッサン力を磨く ④技法講座 VOL.25 人気作家8名の制作プロセス公開 西房浩二 現場の空気を感じさせる デッサン	西房 浩二	美術の窓	340	〈女優〉の表象 溶岩とパービー人形	斎藤 環		
第43回日展 新入選者寄稿一喜びと抱負一 私と彫刻	西見 智之	日展ニュース	144	〈女優〉の表象 岡崎京子から蛭川実花へと受け継がれるもの 映画『ヘルタースケルター』にみる岡崎京子の世界	杉本 章吾		
特集 制作の現場から…「自作を語る」・II 自作を語る 絵を描くことについて	西宮 寛人	自由美術	2012	虹色の、あるいはトランスペアレントな 周縁から永遠へ 蛭川実花とキャンプ、そして『ヘルタースケルター』への道	松井みどり		
一九四九年・神戸 [西村元三朗]	熊田 司	えむえむ	2				
日々好日 彫禅一如	西村 公泉	新美術新聞	1287				
彫刻家の現場から 86 西村公泉	武田 厚	美術の窓	346				

虹色の、あるいはトランスペアレントな 蛭川実花の写真世界 ガーリー・フォト進化論	飯沢耕太郎	ヘルシンキの新たな交流の場に、「クルットウーリサウナ」プロジェクト[ネネツボイ]	川上典李子	A X I S	160
虹色の、あるいはトランスペアレントな「キャンプ」の果て 蛭川実花の変容	清水 穰	(ノ)			
エッセイ 残酷と哀しみと、少女性ではなくガーリーと	戸川 純	わたしたちの教室へようこそ	千葉 玄象 野方 翠芳	水墨画*	274
エッセイ ガーリーの孤島から、情熱の大陸へ	安全ちゃん	作家通信 元気のヒミツ 墨友養晩一好奇心を貫く	野方 翠芳	"	282
ニナミカさんのお仕事 コレボレーション、デコレーション!	金子ありさ 泊 貴洋 聞き手・構成	作家訪問425 陶芸家野上薫さん	編集部	目の眼	427
ニナミカさんのお仕事 監督とプロデューサーの二人三脚術 映画『ヘルタースケルター』の実現まで	宇田 充	この人 風刺漫画集を自費出版 野口志行さん 地方の話題も世界情勢とつながっている	曾布川 剛	東京	7.20
ガーリー進化論 九〇年代ガーリー文化の狂騒と不安	樋口ヒロユキ	特輯 女性画家		国 華	1397
ガーリー進化論 さよなら魔法少女の日	吉田 アミ	図版八 野口小蕨 筆 設色美人図	山盛 彌生		
(ヌ)		図版九 野口小蕨 筆 平安長春図	伊藤 紫織		
座談会「第四十四回 日展審査を終えて一魅力ある日展に向けて」	中山 忠彦、 寺坂 公雄、 奥田小由女、 岩倉 寿、 塗師 祥一郎、 市村 緑郎、 新井 光風 森脇 正人 司会	美博ピックアップ 野口久光 シネマ・グラフィックス うらわ美術館	横田麻生子	朝日夕刊	5.23
広告特集 画材ガイド03 ターレンス アムステルダムアクリリックカラー×沼田月光	杉瀬 由希	レビュー 野口里佳「光は未来に届く」	中村 史子	REAR	28
お手本画&秀作集 其ノ十 根岸嘉一郎《WALL 縄文》	根岸嘉一郎	世界と向き合う視線 野口里佳展/安田佐智種展	大西 若人	朝日夕刊	1.18
特集 アートの力を考える! PART 3 根岸正 魂を迎え、送る	高山 淳	2012年日本建築学会作品選奨 立川市庁舎[野沢正光]		建築雑誌	1635
		紙芝居「瀧口修造の少年時代」	野島 清治 野島 一子	橄 欖	2
		青春プレイバック 彫刻家能島征二 彫刻家の生きざま 小森邦夫との出会い	袴田 智彦	新美術新聞	1289
		活動報告:野島康三展/ジュゼッペ・パニーニ写真美術館、モデナ(イタリア)		京都国立近代美術館研究論集	4
		はじめに	池田 祐子		
		野島コレクションの位置	河本 信治		
		野島康三一光画	キアラ・ダ ッローリオ 永田 絵里 翻訳		
		ようこそ、新しい先生 01 野田涼美	野田 涼美	瓜生通信	55
		特集 制作の現場から…「自作を語る」・II 自作を語る	野田勢津子	自由美術	2012

注目の作家 野田哲也 映像による「日記」の背後には	松山 龍雄	版画芸術	158	90年のはなし 描きつづけるエトランゼのあゆみ	野見山暁治 小川 格 聞き手		
模倣からの創造 近世と近代の日本美術十選 1~10	野田 哲也	日 経	5.8、10、11、14、15、17、18、21、24、25	野見山青年と坂本画伯の西欧絵画談義 フランスの絵から何を学ぶべきか	坂本繁二郎 野見山暁治		
野田裕示 「WORK 1766」	神田 直子	Wave II	1	生き抜いた時代 散文の名手—野見山暁治さんの文章	中村 稔		
野田裕示 絵画のかたち/絵画の姿 1995年の野田裕示	安来 正博	国立新美術館ニュース	21	生き抜いた時代 根源と抽象	栗津 則雄		
青春プレイバック 洋画家野田弘志 リアリズム絵画の精神—探求の道程	松崎 裕子	新美術新聞	1281	生き抜いた時代 「生き残る」ということ—野見山暁治の戦争観	窪島誠一郎		
美術学部教員展図録 デザイン	野田 理吉	愛知県立芸術大学 紀要	41	画家の正体 灰色の群れ	小川 国夫		
美の美 大正100年 京都日本画の浪漫 中[野長瀬晚花]	小川 敦生	日 経	4.29	画家の正体 手の動き—ぼくのノミヤマさん	池内 紀		
調査研究ノート vol.13 75年前の小林萬吾—野見山暁治氏(画家 国の文化功労者)にお話をうかがいました。	窪美西嘉子	香川県立ミュージアムニュース	19	画家の正体 野見山暁治とカタチチのぼく	田中小実昌		
大震災から1年を経て 瓦礫の風景が教えるもの	野見山暁治	新美術新聞	1276	絵筆とペン 鉦山と海と野見山さん	村田喜代子		
大正から100年—我が心を語る 絵を描きはじめた頃	〃	〃	1299	絵筆とペン 野見山暁治の思い出	高山 登		
戦中から戦後へ作家をたどる 9 高田博厚、木内克および金山康喜、野見山暁治	笹木 繁男	美術運動史研究会 ニュース	129	絵筆とペン 絵かきのおじさん	田中 りえ		
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 130 野見山暁治 冷たい夏	原田 光	美術手帖	967	絵筆とペン 画家と長生き—野見山暁治の絵を考えつつ考えたこと	千葉 正也		
アトリエ日記 98~109	野見山暁治	美術の窓	340~351	私の一点「セザンヌ—パリとプロヴァンス」展 2 「トロネの道とサント=ヴィクトワール山」 描いたのは「力」	野見山暁治	日経夕刊	5.9
戌も歩けば beau[ボー]に当たる 第三十五回 生きた言葉 [野見山暁治]	竹田 博志	〃	348	読書日和 注目ですベテラン画家の足跡まるごと [野見山暁治]	岸 桂子	毎日夕刊	7.24
読解絵画鑑賞講座17 [野見山暁治]	ワシオ・トシヒコ	美術屋・百兵衛	21	特集 制作の現場から…「自作を語る」・I Frolic in Stone	野村 和弘	自由美術	2012
特集 セザンヌにはどう視えているか 感覚の氾濫 映るものと移ろうもの	野見山暁治 編集部 聞き手	ユリイカ	609	ようこそ、新しい先生 05 野村誠司	野村 誠司	瓜生通信	55
野見山暁治 絵とことば きょうも描いて、90年。	〃	〃	613				
				光十選 1~10	(ハ)		
				21世紀のアーティスト 舘島伸彦	ハービー・山口	日 経	2.16、17、20、21、23、24、27、28、3.1、2
					ギャラリ		326



欧州最大の書籍見本市に特別招待 萩尾望都さん、綿矢りささんら22人バリへ	産 経	3.8	SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 1 GALLERY 技巧にま ずは驚く[橋本雅也]	山下 裕二	"	974	
春の褒章674人に 漫画家・萩尾望都さん 根っから好きな 世界	東 京	4.28	作家通信 墨を得て 水を得て 和紙を得 て	蓮村 泰子	水墨画*	282	
大波小波 少女マン ガ VS アングラ文 化[萩尾望都]	(望卿)	東京夕刊	3.23	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 066 長谷川潔 二つ のアネモネ	水沢 勉	美術手帖	967
読書日記 4『マン ガのあなた SF のわ たし』錚々たる作家 たちのパワー[萩尾 望都]	日暮 雅道	日経夕刊	3.21	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 098 長谷川三郎 狂 詩曲 漁村にて	敷前 知子	"	"
第25回奨学者のレポ ート 制作について	箱嶋 泰美	アクリラ ート(別 冊)	2012	長谷川竹葉の錦絵一 高橋由一や山形・日 光の名所風景をめぐ って一	岩切信一郎	一寸	51
クリエイターズワー ク&ソウル 箱瀬淳 一		A X I S	155	日々好日 光と影の 記憶	長谷川 侑	新美術新 聞	1286
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! ARTIST FILE まだまだいる !注目超絶技巧作家 たち08 John Hath way 1枚の絵に縫合 される、科学とマン ガとアート	岡澤浩太郎	美術手帖	974	特集 アートの力を 考える! PART 3 長谷川侑 光と影	高山 淳	美術の窓	348
「髪梳ける女」(橋口 五葉版画)考一故ス ティープ・ジョブズ 氏に捧ぐ一	岩切信一郎	一寸	49	特集 立川談志 現 代落語畸人傳 立川 談志・落語的目ン玉	長谷川踏太	ユリイカ	607
若者と向き合う 橋 口譲二さんに聞く 取り繕わず目をそら さず 人間には人間 が必要	小林 省太	日経夕刊	12.8	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 049 長谷川利行 赤 い汽罐車庫	山梨絵美子	美術手帖	967
訳注 橋本閑雪旧蔵 「倪元璐書贈黄道周 詩軸」跋訳注	弓野 隆之	中国近現 代文化研 究	13	批評 1937年の長谷 川利行 一人称絵画、 光りてすべる水すま し	関 智生	R E A R	28
〈資料紹介〉野崎家コ レクションより一王 治春「四季山水図」・ 橋本青江「董法山水 養蚕紡絲之図」一	古川 文子	岡山県立 美術館紀 要	4	東京美術学校西洋画 科卒業制作作品・自画 像の技法材料、保存 修復に関する基礎的 研究 IX[長谷川昇]	佐藤 一郎 木島 隆康 桐野 文良 土屋 裕子 中右恵子 作間美智子 金 鐘旭	東京芸術 大学美術 学部紀要	50
CG ARTIST・橋本利 夫のCG 3番勝負 vol. 3、4		美術屋・ 百兵衛	20、21	蹴轆轤をつくる	長谷川 昇	横浜美術 大学 教育・研究 紀要	2
橋本平八の木彫作品 に関する一考察 彫 刻における精神・理 論・実践の統合	小嶋 慧	芸術学研 究(筑波)	17	導入教育としての「美 術リテラシー」の役割 と意義(1)―「美術 リテラシー」に関する アンケート―	杉山 倫也 長谷川 昇 中野 滋 浅川 正樹 武井 文	"	"
北園克衛発橋本平八 書簡2 1931年から 1935年まで	野田 尚稔	世田谷美 術館紀要	13	長谷川町子と桜新町 商店街	橋本野乃子	SAZAE 通信	26
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 048 橋本平八 石に 就て	沓沢 耕介	美術手帖	967	辛口サザエさん 長 谷川町子さん、自己 採点表	増田 愛子	朝日夕刊	10.6

平成24年定期刊行物所載文献(近/作ハ)

美の美 長谷川瀨二 郎の静かな世界 上	田村 広済	日 経	9.9、16	旅の途中で 青木九 仁博/服部美樹	美術屋・ 百兵衛	20	
美の美 大正100年 京都日本画の浪漫 下[秦テルヲ]	小川 敦生	"	5.6	展覧会時評 ex-cha- mber museum- off- line 第2回 「絵画 の庭」を今更ながら 振り返ってみる、の 巻[花澤武夫]	幕内 政治 ファウン テン	2	
被災地みんなの家 ベネチアで最高賞 建築展設計過程展 に評価[畠山直哉]	大西 若人 朝	日	8.30	収蔵品から 《暮らし の手帖》表紙原画》花 森安治	矢野 進 世田谷美 術館だよ り	89	
被災者の心が帰る家 ベネチアで金獅子賞 の「みんなの家」地 元の提案も取り入れ 展示とのバランス評 価[畠山直哉]	"	"	9.3	視線 花森安治のデ ザイン 暮らしの手 帖社編	森村 泰昌 朝	日 1.22	
視線 気仙川 畠山 直哉著	"	"	9.9	東日本大震災 被災 窯業地からの報告 後篇 被災報告 笠 間より	羽石 修二 陶	説 714	
被災した故郷撮り続 け 写真家 畠山直 哉さん	篠原 知存 産	日 経	3.8	被災者勇気づけたい ろうけつ染め南相馬 で展示へ 杉並の馬 場さん[馬場章子]	鈴木 学 東	京 5.29	
仮説住宅の集会所、 上棟式 陸前高田に 「みんなの家」[畠山 直哉]	"	"	8.23	2012年日本建築学会 作品選奨 3331 Arts Chiyoda[馬場兼伸]		建築雑誌 1635	
土曜訪問 被災の陸 前高田を撮る 畠山 直哉さん(写真家) 荘厳な悲しみの光景	三沢 典丈	東京夕刊	3.17	羽場文彦 2011年 作品の解説	羽場 文彦	金沢学院 大学紀要* 10	
気仙川 畠山直哉著		日 経	9.9		室伏 古川 濱岡 榎本 金子 唐澤 森司 会	英治、 拓郎、 満明、 徹、 賢治、 昌宏、 孝一 陶 説	717
畠山直哉さん個展 「ナチュラル・スト ーリーズ」 国際巡 回始まる		読 売	1.5	第五十九回日本伝統 工芸展受賞者に聞く			
本よみうり堂 畠山 直哉 「気仙川」	(井)	"	9.2				
「みんなの家」被災地 に続々 復興語り合 う憩いの場 建築家 の思い広がる[畠山 直哉]	高野 清見	"	12.20		池上 司	美術手帖 975	
今秋10月都美術館で 第1回展、若手作家 の積極応募を期待 Artist Group 一風— が記者会見し趣旨説 明[畠山光亨]		新美術新 聞	1283		幕内 政治 ファウン テン	2	
「38年目のインドで の個展」報告記 絵 画は世界中また時代 も超える	畠中 光亨	"	1296		宝玉 正彦	日 経 4.30	
マンガ家・畑中純氏 を悼む 一枚絵に光 る才能	呉 智英	東京夕刊	6.21	浜田知明の近作デッ サンについて	橋 秀文	神奈川県 立近代美 術館年報	2010年度
追想録 畑中純さん (漫画家) 俗な人間、 いとおしく描く		日経夕刊	8.24	浜田知明《聖馬》	林田 龍太	熊本県立 美術館研 究紀要	12
2011年毎日デザイン 賞 受賞者の横顔 ルールを斜めに壊し 服部一成さん	永田 晶子	毎日夕刊	4.11	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 099 浜田知明 初年 兵哀歌(風景)	橋 秀文	美術手帖	967

作家通信 ふるさとの山口で山田大作先生と対談・席画会を開催	濱中 応彦	水墨画*	274	アートの力を考える！ PART2 きずな一再生美術の力 速水史朗 石が浮いた	〃	〃	348
追悼・早川義孝氏	安井 堀川	收藏 新美術新聞	1289	原町山車人形「神武天皇」文化財指定される〔三代原舟月〕	塩 野	飯能文化財時報	140
課外授業 美術のお時間 19時間目〔早川義孝〕	安井 收藏	美術屋・百兵衛	23	環/Nature Spirit	原 すがね	明星大学研究紀要	20
フェイス21世紀164 林晃司 「人」を表す 理性的に、効果的に	和田 圭介	新美術新聞	1292	日々好日 物理と美術	原 透	新美術新聞	1295
フォーカス・アイ 林孝彦 「信念」のもの作り人	栗本 寛子	版画芸術	155	特集2 原弘と東京国立近代美術館		現代の眼	
思うままに クライスパークの芸術 自然破壊を告発〔林武史〕	梅原 猛	東京夕刊	2.27	近美専属のアートディレクター的役割を果たされた原弘先生	富山 秀男		592
ぎゃらりいモール たばこと塩の博物館「林忠彦写真展 紫煙と文士たち」から「太宰治」	岩崎 均史	読売夕刊	2.14	デザインワークを通して見えてくるもの 講演会「パウハウスとグラフィックデザイン」	原 弘 大谷 省吾 文字起こし		593
本よみうり堂 林ナツミ 「本日の浮遊」	(井)	読 売	8.19	SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近代美術の傑作150 008 原撫松 裸婦	児島 薫	美術手帖	967
お手本画&秀作集 其ノ十一 林裕紀子《郷村にて》	林 裕紀子	水墨画*	276	特集 拡大・縮小美術館 絵画編 原雅幸 どこか懐かしい光溢れる風景		美術の窓	350
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! ARTIST FILE まだまだいる！注目超絶技巧作家たち09 葉山有樹 青い器の舞台上で編まれた物語世界	岡田 勉	美術手帖	974	21世紀のアーティスト 原游		ギャラリー一*	332
SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近代美術の傑作150 028 速水御舟 舞妓	古田 亮	〃	967	この人 彫刻家・原裕治さんの遺作展を開く美術館館長 木本文平さん 各地の作家を全国に紹介し記録にとどめる	川崎 宏三	東京	8.20
美の美 大正100年 京都日本画の浪漫 上〔速水御舟〕	小川 敦生	日 経	4.22	21世紀のアーティスト 原良介		ギャラリー一*	329
視点	速水 史朗	美術の窓		特集 アートの力を考える！ PART3 原田規美恵 祈る	高山 淳	美術の窓	348
銀座の個展とその周辺			340	「復活」へ決意の絵巻 パーキンソン病のCM 演出家 30日から浦安で個展 長さ21メートル、50日かけ完成〔原田徹〕	石川 修巳	東京夕刊	6.26
新年の旅			342				
猪熊さんとの思い出			343				
水の石庭(前・後編)			345、346				
シャガール展を見る			347	原田直次郎一新出書簡など五つのこと一	鍵岡 正謹	岡山県立美術館紀要	4
豊かな大空間			348	森鷗外 近代文学界の傑人 生誕一五〇年記念 鷗外という鉱脈 『独逸日記』より 原田直次郎のこと	安野 光雅	太陽(別冊)	193
大自然の中の教育			349				
下関の二つの彫刻			350				
相模への旅			351				

SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近代美術の傑作150 002 原田直次郎 靴屋の親爺	山梨絵美子	美術手帖	967	ニュー YORK のアートシーン2 「ここより永遠に一ホイトニー美術館の草間彌生展」	日影 眩	連盟ニュース	444
学生企画 芸術とかかわって暮らす 毎日のなかに「楽しい」を見つけていく	原田 祐馬 談	瓜生通信	55	INFORMATION NEWS ツリーに込めた希望の光 2人のアーティストのコラボレーションツリーが登場！ 「The Light of Happiness 一ハビネスの光を灯そう」チャリティープログラム[東恩納裕一]	中山 真理	美術手帖	962
パラモデル×豊中市		美術屋・百兵衛	20	京都の伝統 発想を豊かにしてつくる 東端制作所 漆芸家 東端唯さんへのインタビュー	築出瑛理子	瓜生通信	57
パラモデルと豊中パラレルエアライン 現代美術と公募参加者による新しいアートのカタチ		〃	21	研究ノート 東山魁夷の制作過程について一昭和三〇年代の写真撮影の問題から	高田 紫帆	長野県信濃美術館 紀要	6
パラモデルと豊中パラレルエアライン		〃	22	SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近代美術の傑作150 096 東山魁夷 道	天野 一夫	美術手帖	967
写真の飛躍 日本の新進作家展 VOL.10 下 「見る」を再考する機会[春木麻衣子]	丹羽 晴美	東京夕刊	1.18	美的履歴書275 日本の新たな風景画なのか 「花明り」 東山魁夷	西岡 一正	朝日夕刊	10.10
INFORMATION EXHIBITION 日本が世界に誇る特撮 館長庵野秀明による「特撮博物館」が開館！	パルコキノシタ	美術手帖	973	あとがきのあと 「ヒキタさん！ご懐妊ですよ」 ヒキタクニオ氏 不妊治療の現実を軽妙に			7.15
毎日芸術賞53回 建築家 坂茂		産 経	1.12	追悼抄 イラストレーター 日暮修一さん 「顔」描き続けた41年	山田 佳代	読売夕刊	8.25
3・11後の表現 2 建築 「みんなで」集い作る[坂茂]	窪田 直子	日 経	3.7	学びのふるさと「絵は好きに描けばいい」中学の美術教師、自由な発想尊重 自分で考える大切さ教わる	ヒサクニヒコ	日経夕刊	7.27
第53回毎日芸術賞受賞者7人の業績 建築家 坂茂さん 大胆な発想で挑戦	高階 秀爾	毎 日	1.1	コミック ノブナガン1 久正人(作) 戦う少女の右腕は、信長で銃	南 信長	朝 日	3.4
被災地支援広めたい 毎日芸術賞 坂茂さんが抱負語る[坂茂]	鈴木 英生	〃	1.26	特集 アートの力を考える！ PART 2 きずな一再生美術の力 飛澤龍神 凡心論的な世界	高山 淳	美術の窓	348
特集 アートの力を考える！ PART 3 番洋 歌うように、奏でるように	磯部 靖	美術の窓	348	論考 土方巽の実験精神はなぜうまれたのか	森下 隆	慶応義塾大学アート・センター 年報	19
女子だって欲しくなる キュートなお尻写真集 伴田良輔 HIPS 球体抄		芸術新潮	753	中西夏之の絵画場の研究 土方巽との協働からの影響を中心に	小田原のどか	芸術学研究(筑波)	17
バリ「藤田派」に繊細な画家 帰国しなかった板東敏雄、作風に引かれ研究続ける	ヘレン・ザーディ	日 経	6.15				
(ヒ)							
視線 『crosspoint』 P. M. Ken 著	大西 若人	朝 日	3.11				
日々好日 麒麟	稗田 一穂	新美術新聞	1299				

舞踏における「重力」 —土方巽と大野一雄 による身体表現の共 通点と差異—	藤田 明史	美学論究	27	展覧会記録2011(油 彩画)	日野 之彦	多摩美術 大学研究 紀要	26
アートの風 6月 「背面」展と「フラウ ースケープ」展 発 見されたもう一つの 身体[土方巽]	三田 晴夫	毎日々刊	6.13	地域活性化における 街かど美術館の役割 と可能性(新生大田 原街かど美術館)	日原 公大	連盟ニュ ース	444
第I部 土方久功日 記IV 土方久功日記 第19~24冊	土方 久功	国立民族 学博物館 調査報告	108	ことば アーティス ト 日比野克彦	大西 若人	朝 日	11.20
第II部 附論『土 方久功日記』と、も う一つのフィールド 「ノート」	清水 久夫	" "	" "	真珠の耳飾りの少女 と私 日比野克彦さ ん アーティスト	日比野克彦	朝日夕刊	7.19
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 095 土方久功 瓶カ ラ飲み子供	後小路雅弘	美術手帖	967	論点スペシャル サ ッカーと日本人 いやりと強気で 日比野克彦氏 アー ティスト	大塚 隆一 聞き手	読 売	10.10
菱田春草先祖の才能 と堀飯田藩仕官の歴 史的背景	鈴川 博	飯田市美 術博物館 研究紀要	22	終わりのない繰り返 しのプロセス(日本 画)	日比野拓史	多摩美術 大学研究 紀要	26
特輯 岡倉天心生誕 百五十年記念 菱田 春草 寡婦と孤児	古田 亮	国 華	1400	ドローイング	日比野ルミ	名古屋造 形大学紀 要	18
天心一大観・春草に おける西洋近代美術 史観(下)[菱田春草]	天野 一夫	豊田市美 術館紀要	5	新収蔵資料から 百 武兼行「裸婦」	岡 泰正	神戸市立 博物館だ より	101
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 011 菱田春草 落葉	古田 亮	美術手帖	967	造本有理	平出 隆	日 経	11.25
こころの玉手箱 日 本画家 上村淳之 4 菱田春草の「仏御 前」描けない日々 脱出の光	上村 淳之	日経夕刊	5.17	青春プレイバック 洋画家平岡靖弘 納 得のゆく絵が描きた い—49歳、安井賞作 家になるまで	袴田 智彦	新美術新 聞	1279
本よみうり堂 コミ ック館 マイ・ヒー ロー 藤津亮太さん ロック 聖悠紀「超 人ロック」30年を超 えてなお「現役」	藤津 亮太	読売夕刊	1.30	特集 ギャラリスト とアーティストの関 係 米山馨(Bambi nart Gallery)・平川 恒太(アーティスト)	K・T	とつぶら いと	93
街角アート 鳥の歌 [日高頼子]	星野 清一	新美術新 聞	1295	ARTIST INTERVIEW 平川典俊	阿部 一直 聞き手	美術手帖	967
平成二十四年新作名 刀展 日本美術刀剣 保存協会会長賞 野 晒図譚 銘 模金家 左一光作 壬辰 春	飯田 俊久	刀剣美術	665	特輯 岡倉天心生誕 百五十年記念 平櫛 田中 五浦釣人	柳沢 秀行	国 華	1400
SPECIAL FEATURE 奈良美智 MESSAGE 1 奈良美智の魅力 恩師・友人が語る! 檀田伸也	岡澤浩太郎 構成	美術手帖	973	「天心」—平櫛田中—	関根 秀吉	陶 説	710
コミック 放課後カ ルテ1日生マユ(作) 病因を見抜く 尊大な 新校医	山脇 麻生	朝 日	2.19	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 029 平櫛田中 転生	藤井 素彦	美術手帖	967
				画家・平澤熊一 1936~45年の日記で 読む	上山 陽子	美術運動 史研究会 ニュース	131
				SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3 Artist Files 平澤賢 治 生命を撮るサー モグラフィー写真	伊東 豊子	美術手帖	971

平成24年定期刊行物所載文献(近/作ヒ、フ)

社会を見つめる・画家の眼 平澤重信の視点第1～3回	平澤 重信	ギャラリー 一*	330～332	人生の贈りもの 漫画家 弘兼憲史 1 ～5	鈴木 繁 開き手	朝日夕刊	3.5～9
被災地みんなの家 ベネチアで最高賞 建築展設計過程展示 に評価[平田晃久]	大西 若人	朝 日	8.30	研究発表(要約) 廣 島晃甫の画業—大正 期個性表現の行く末	森 芳功	近代画説	21
被災者の心が帰る家 ベネチアで金獅子賞 の「みんなの家」地 元の提案も取り入れ 展示とのバランス評 価[平田晃久]	"	"	9.3	廣村正彰のJunglin' 第3～8回	廣村 正彰	A X I S	155～160
「みんなの家」5棟に 宮城・岩手に相次ぎ 完成[平田晃久]	"	"	12.11	(フ)			
「みんなの家」被災地 に続々 復興語り合 う憩いの場 建築家 の思い広がる[平田 晃久]	高野 清見	読 売	12.20	現代美術の歩き方 今月の一品 「夜は 遊ぶのに都合がい い」[風能奈々]	高橋 瑞木	美術の窓	347
平田郷陽《風船》	才藤あずさ	熊本県立 美術館研 究紀要	12	本づくし	深澤 直人	A X I S	
東京美術学校で学ん だ平田善吉	瑞慶山 昇	沖縄県立 博物館美 術館 博 物館紀要*	2	「揺るぎない真理」 『超訳 ニーチェ の言葉』			155
特集 制作の現場から …「自作を語る」・ II 自作を語る	平田 寛子	自由美術	2012	「経験を通してし か生まれてこない 名言」『森正洋の言 葉。デザインの言 葉。』森正洋を語 り・伝える会著/ ナガオカケンメイ 企画			157
WORLD NEWS ワル シャワ グローバル なマーケットに連動 し成長中! ワルシャ ワのアートシーン[平 田実]	藤高 晃右	美術手帖	971	「組み合わせられた 全体美」『表現者・ 堀口捨己 —総合 芸術の探求』藤岡 洋保著			158
六〇周年シンボルマ ークについて 東京 国立近代美術館開館 六〇周年シンボルマ ークのコンセプトと 造形の根拠	平野 敬子	現代の眼	592	「考えない練習を しなければ」『考え ない練習』小池龍 之介著			159
表紙の作品 平野遼 《重い白(シシフォ ス)》	(H)	潮 流	112	「彼の生き方その ものから生まれた デザイン」『Desig ning Interactions』 ビル・モグリッジ 著	深澤 直人	"	156
美の履歴書247 なぜ 目を閉じるのか 「昼と夜と」 平野遼	西 正之	朝日夕刊	3.28	深澤直人の考える 「Found MUJI」	深澤 直人	"	159
特別展 平山郁夫 シルクロードの軌跡 —人類の遺産にかけ た画家の人生— 三 輪館長に聞く 画面 から伝わる、静かな 怒りと情熱	三輪 嘉六	Asiage	24	深澤直人の考える日 本民藝館は、「じわ じわと自分の力で感 じる場」	川上典李子 インタビュ ー・文	"	753
平山親子 合作『い ちりんの花』画伯 の遺言から生まれた 絵本[平山美知子]	渋谷 和彦	産 経	3.28	INFORMATION NEWS 日本民藝館 新館長就任 深澤直 人が民藝とデザイン をつなぐ	土田 貴宏	美術手帖	974
				4 [読ん]で知るアー ト デザインの読み 方	深澤 直人	朝日夕刊	6.27,7.4, 11,18

追悼 工業デザイナー 柳宗理さん 手で作り込む「人間のかたち」	〃	産 経	2.1	印象時評 291 document 第2、3回	福居 伸宏	フアウンテン	2,3
文化往来 日本民芸館館長にデザイナー 深沢直人氏		日 経	7.27		加藤 貞雄 富山 秀男 福井 爽人 加藤 千明 吉村 美栄子 安部 三郎 清原 慶子 花田 美穂 郷倉 和子 鈴木 純男 後藤 伊藤 伊藤 手塚 吹田 文明 大野 逸男 鎌倉 秀雄	新美術新聞	1277
こころの玉手箱 プログラクトデザイナー 深澤直人 1~5	深澤 直人	日経夕刊	12.3~7	追悼特集 福王寺法林氏を偲ぶ			
顔 日本民芸館の館長に就任した工業デザイナー 深澤直人さん	高野 清見	読 売	7.27				
「版画対談」深澤幸雄 米寿記念特別企画		版画芸術					
銅版画技法の革新者たち	深澤 幸雄 渡辺 達正		156	追悼 福王寺法林先生のご逝去を悼む	角田信四郎	連盟ニュース	442
「人間嫌いの」画家が「人間」を描く	深澤 幸雄 相笠 昌義		157	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 094 福沢一郎 敗戦群像	速水 豊	美術手帖	967
新人賞展 依田元明氏の世界	深澤 義人	自由美術	2012	世界の多様性と表現	福島さやか	女子美術大学研究紀要	42
美術家・深堀さん 立体金魚アート 生き写し[深堀隆介]	井上 幸一	東 京	9.26	特集 アートの力を考える! PART 3 福島隆壽 スタンドグラス的	高山 淳	美術の窓	348
そびえ立つすがた [深見陶治]	横山 俊夫	陶 説	714	幻のカラー漫画復刻 「沙漠の魔王」 赤塚や藤子(A)らも愛読 [福島鉄次]	加来 由子	朝 日	9.26
焼かなければ生み出しえない美について—深見陶治の陶芸—	前崎 信也	〃	〃	『沙漠の魔王』完全復刻版[福島鉄次]	内藤麻里子	毎日夕刊	6.7
深見東州の深奥の世界とは? 第1~7回		ギャラリー	325~331	戦後漫画の原点 復刻へ 「沙漠の魔王」 宮崎アニメにも影響 [福島鉄次]		読 売	5.12
新人賞展 深谷栄樹氏の作品について	嘉屋重順子	自由美術	2012	追悼・新藤兼人氏 新藤兼人先生との出会い	福島 瑞穂	新美術新聞	1284
追悼特集 福王寺法林氏を偲ぶ 巨星への献花	吹田 文明	新美術新聞	1277	特集 制作の現場から…「自作を語る」・I 私だけの宇宙	福田 篤	自由美術	2012
SPECIAL FEATURE 奈良美智 MESSAGE 1 奈良美智の魅力 恩師・友人が語る! 福井篤	岡澤浩太郎 構成	美術手帖	973	福田太華《孔雀図》	金子 岳史	熊本県立美術館研究紀要	12
平成二十三(二〇一一)年度日本及び東洋美術の調査研究報告 論文 福井月斎 縮図《容斎歴史畫譜》	中山 創太	関西大学博物館紀要	18	顔 歌舞伎を撮って半世紀の車いす写真家 福田尚武さん	越村 格	読 売	10.25
わたしの宝もの79 竜と出会う	福井江太郎	新美術新聞	1268	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 101 福田平八郎 雨	野地耕一郎	美術手帖	967
追悼特集 福王寺法林氏を偲ぶ 福王寺先生のご逝去を悼む	福井 爽人	〃	1277	美の履歴書258 何をいかにみたのか 「漣」 福田平八郎	大西 若人	朝日夕刊	6.13
手十選 1~10	〃	日 経	1.9、10、13、16、17、19、20、23、24、26				
紀行の賦 福井爽人画文集	〃	〃	7.8				

平成24年定期刊行物所載文献(近/作フ)

作品ひとつ[福田美蘭]	相良 浩	群馬の森美術館ニユース	147	水墨画入門講座 第10～12回	藤崎 千雲	水墨画*	274～276
美の美 マドンナの系譜3 [福田美蘭]	窪田 直子	日 経	5.27	作家通信 連載を終えて	〃	〃	277
お手本画&秀作集 其ノ十八 福富永峰《水の響》	福富 永峰	水墨画*	285	香川文化考 風土が育んだ美術家たち 大藪雅孝/木村素子/藤澤珠玉		美術屋・百兵衛	20
視線 ON THE CIRCLE 普後均著	森村 泰昌	朝 日	9.2	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150	児島 薫	美術手帖	967
土曜訪問 廃棄おもちやでアート 藤浩志さん(美術家) 捨てない思想を発展	三沢 典丈	東京夕刊	7.7	061 藤島武二 東海旭光			
青春プレイバック 洋画家藤井多鶴子人と出会い切り拓いた 抽象絵画の道	松崎 裕子	新美術新聞	1298	おやじのせなか 2・26事件の日も会社目指す 藤城清治さん	岡 雄一郎 聞き手	朝 日	2.23
水墨の最前線10 ルイボスティーとエンジンオイルで水墨表現 フジイフランソワ	立島 恵	水墨画*	280	思い出す本忘れない 本心が洗われるロバへの語り プラテロとわたし J・R・ヒメーネス(著)	藤城 清治 加来 由子 構成	〃	12.2
特集 新人発掘		日本美術新聞		土曜訪問 自選の代表作で米寿記念展 藤城清治さん(影絵作家) 今の現実を後世に	森村 陽子	東京夕刊	9.15
藤井雅一(黄稚)一 中国と日本の美的昇華			3	本よみうり堂「藤城清治 光と影の世界」	湯本香樹実	読 売	5.13
藤井雅一(黄稚)一 天に加護された美の創造			4	日々好日 骨の折れる事	藤田 潤	新美術新聞	1271
藤井雅一(黄稚)の 牡丹—典雅なる花冠			5	日々好日 セザンヌが描いたもの	藤田 新	〃	1288
特集 未来のスターを探せ! 新人大図鑑2012 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト10 藤笠砂都子	外館 和子	美術の窓	344	特集:「近代日本工芸 1900—1930 一伝統と変革のはざまに」展記念国際シンポジウム「東西文化の磁場」レオナルド・フジタ(藤田嗣治)と日本	尾崎 正明	京都国立近代美術館研究論集	4
スケッチブックから見える作品の背景〜藤川栄子の調査より〜	稲葉麻里子	香川県立ミュージアムニユース	19	フジタをめぐる図像の継承と変容	村上 哲	熊本県立美術館研究紀要	12
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 042 藤川勇造 詩人M	田中 修二	美術手帖	967	作品紹介 フジタ以前の藤田嗣治—渡仏前・1910年代初頭の油彩画とその周辺—	〃	〃	13
山下裕二の今月の隠し球89、90 伏黒歩すべては絵を描くための、孤獨な持ち家(上、下)	山下 裕二	美術の窓	344,345	平成二十三年度西支部例会「藤田嗣治と戦争」研究序説—未公開書簡をめぐって—	林 洋子	美術史	172
転機。話そう、話しましょう 87 漫画家藤子不二雄(㊤)さん 日常楽しむ工夫が熱意生む 37年目「互いに好きにやろう」…独立を決断	戸谷 真実	産 経	12.1	第六十五回全国大会研究発表要旨 藤田嗣治の舞台美術作品—九五一年スカラ座『蝶々夫人』に関する一考察	佐野 勝也	〃	173



SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近代美術の傑作150 085 藤田嗣治 猫	林 洋子	美術手帖	967						「みんなの家」5棟に宮城・岩手に相次ぎ完成[藤本壮介]	12.11
美の美 証言する絵画—戦争の時代3 [藤田嗣治]	宝玉 正彦	日 経	8.26						仮説住宅の集会所、上棟式 陸前高田に「みんなの家」[藤本壮介]	産 経 8.23
藤田嗣治の遺作 仏に寄贈 永眠するランス市に遺族 美術館で常設展示へ		毎日夕刊	10.24						3・11後の表現 2 建築 「みんなで」集い作る[藤本壮介]	窪田 直子 日 経 3.7
藤田嗣治の35作品寄贈 永眠の仏ランス市に		読売夕刊	10.23						「みんなの家」被災地に続々 復興語り合う憩いの場 建築家の思い広がる[藤本壮介]	高野 清見 読 売 12.20
特集3 所蔵作品展 寿ぎの「うつわ」—工芸館の漆工コレクションから— 新たな漆芸「前衛」の流れ	藤田 敏彰	現代の眼	597						韓国民俗の粋を撮る 工芸あふれる日常テーマに42年、「五十年誌」夢見て	藤本 巧 日 経 9.14
月刊ギャラリー創刊25周年記念 小川英晴のアート縦横 No.26 現代美術の現状	藤浪理恵子、小川 英晴	ギャラリー一*	331						特集 大正時代の版画誌『月映[つくはえ]』の青春 田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎	版画芸術 157
特集 デッサン力を磨く ④技法講座 VOL.25 人気作家8名の制作プロセス公開 藤沼多門 色でデッサンする:有色地による水彩、鉛筆表現	藤沼 多門	美術の窓	340						『月映』前史—回覧雑誌『密室』から私撰『月映』まで 公刊『月映』の木版画 『月映』その後 『月映』という宇宙	井上 芳子
表紙解説 束編花籃「気」 藤沼昇作	近藤都代子	文化財*	588						近代建築 デイテールの美 建築は“細部より入れ”	藤森 照信 アプローチ* 200
藤平伸さんを偲ぶ	林屋 晴三	陶 説	717						建築と美術館 「平屋」「白壁」「ガラス」建物の存在感を消す設計	美連協ニュース 113
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近代美術の傑作150 067 藤牧義夫 隅田川兩岸画卷	加藤 弘子	美術手帖	967						藤森照信の茶室学 藤森照信著	石山 修武 日 経 6.24
AKB 美術部 Vol.1 ~5 [藤村克裕]	山内 泰宏	966,967、969,971、973							学びのふるさと「お前のは南方的だな」 気質見抜いた高校の恩師 制度に頼らぬ姿勢支える 建築史家 藤森照信さん	江口 博文 日経夕刊 11.2
INFORMATION MEMORIAL 追悼・菊竹清訓	藤村 龍至	965							特集 制作の現場から…「自作を語る」・II「自作を語る」	藤山 深諦 自由美術 2012
再開発進む「渋谷」テーマに語り合う 建築家と社会学者[藤村龍至]	手塚さや香	毎日夕刊	5.8						私たちは国土と民を失った 水俣病、そして原発事故 政治生命かけるべきものは	藤原 新也 朝 日 7.4
被災地みんなの家 ベネチアで最高賞 建築展設計過程展示に評価[藤本壮介]	大西 若人	朝 日	8.30						クリエイターズワーク&ソウル 藤原徹平	A X I S 157
被災者の心が帰る家 ベネチアで金獅子賞の「みんなの家」 地元の提案も取り入れ 展示とのバランス評価[藤本壮介]	9.3								フェイス21世紀156 藤原伸之 丸に丸と丸 探求する己自身	和田 圭介 新美術新聞 1270

平成24年定期刊行物所載文献(近/作フ〜ホ)

上級者に贈る 創作への道8 琴線に触れる画を生み出す	藤原六間堂	水墨画*	284					2012年日本建築学会作品選奨 3331 Arts Chiyoda[古澤大輔]	建築雑誌	1635	
こころの玉手箱 彫刻家 舟越桂 1〜5	舟越 桂	日経夕刊	11.5〜9					第25回奨学者のレポート 投げ返されてもなお	古畑 智気	アクリラート(別冊)	2012
佐藤忠良と舟越保武—2人の彫刻家に思う— 老友2人100歳	星野 清一	新美術新聞	1298					特集 横尾忠則 外延、あるいは描く、書くことの漏出、冥界と身体、冥界の身体『ゼーガペイン』と横尾忠則	古谷 利裕	ユリイカ	618
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近代美術の傑作150 116 舟越保武 長崎26殉教者記念像	田中 修二	美術手帖	967					美術評	"	東京夕刊	
あすへの話題 舟越保武の祈り	高橋 温	日経夕刊	5.22					ジャクソン・ポロック展 具象イメージを希求			2.24
こころの玉手箱 彫刻家 舟越桂 1 父の道具 手作り・加工、手になじむ工夫 [舟越保武]	舟越 桂	"	11.5					大エルミタージュ美術館展 「赤い部屋」 分離する三層が共存			6.1
講演会 「父・船田玉樹」解題	永井 明生	広島県立美術館研究紀要	15					浅見貴子展 反転のプロセスが生むリズム			8.31
美の履歴書266 何の花を描いたのか 「花の夕」 船田玉樹	大西 若人	朝日夕刊	8.8					小林耕平個展 死を疑似体験させる装置			12.7
はしの端まで宿る知恵 「ものづくり」の要素凝縮 集めて研究、自ら手づくり	船津 邦夫	日経	10.22					2012年日本建築学会作品選奨 小布施町立図書館 まちとしようテラソ[古谷誠章]		建築雑誌	1635
横浜に舟橋さん作防風板 機関車などモチーフに[舟橋全二]	高橋 咲子	毎日々刊	2.13					「版画アートコレクション」の作家 古谷博子 「沈黙の音」を聞け	松山 龍雄	版画芸術	155
コミック さきくさの咲く頃 ふみふみこ(作) 10代の3人の青春叙情的に	山脇 麻生	朝日	12.9					(へ)			
コミック マスタード・チョコレート 冬川智子(作) 無愛想が少しずつ魅力的に	南 信長	"	5.13					特集 アートの力を考える! PART3 逸見有 生命[いのち]の輝き	磯部 靖	美術の窓	348
特集 制作の現場から…「自作を語る」・II 自作を語る 技法について	古川 邦彦	自由美術	2012					(ホ)			
旭日小綬章 アニメーション作家 古川タクさん 無我夢中で面白さ探究		読売	11.3					展覧会時評 ex-chamber museum-offline 第2回 「絵画の庭」を今更ながら振り返ってみる、の巻[法貴信也]	幕内 政治	ファウンテン	2
第五十九回日本伝統工芸展受賞者に聞く	室伏古川 英治、拓明、濱岡 徹、賢治、榎本 昌孝、金子 唐澤 森司	陶	説	717				『四つの月の物語 EXHIBITION』『BOX 美術館展 10』『七夕の箱 EXHIBITION 2』巡回の記録	星野高志郎	大阪成蹊大学芸術学部紀要	8
								広角 時代を投影眺めて楽しい 小さなアート 宝くじデザイン 手塚漫画のキャラクターも起用 [星野はるか]	伊藤 洋一	産 経	7.19
								本よみうり堂	星野 博美	読 売	

テキヤ稼業のフォークロア 厚香苗著	4.29	神山名品解説 染織「綴織帯『晨』」染織「紗交織夏帯『渚の月』」[細見華岳]	小山 朝子 瑞 垣	223
レ・ブルー黒書ヴァンサン・デュリュック著	7.1	第76回新制作展を迎えて	細谷 泰茲 新美術新聞	1290
評伝ナンシー関横田増生著	7.29	コミック 式の前日穂積(作) 何げない感情を射抜く職人技	山脇 麻生 朝 日	9.23
探検家、36歳の憂鬱 角幡唯介著	9.2			
岩瀬禎之著 岩瀬禎之写真集 海女の群像	9.9	次元を超えた光たち	穂積 毅重 筑波大学芸術研究報告	58
舟越保武全随筆集 巨岩と花びら ほか 舟越保武著	9.23	光の造形表現とその受容傾向に関する地域比較研究―日韓中台の芸術系学生を対象に一	" "	59
現代台湾 鬼譚 伊藤龍平/謝佳静著	9.30			
東京満蒙開拓使 東京満蒙開拓団を知る会(代表・今井英男)著	10.28	所蔵品紹介225 高原堀友三郎	石川県立美術館だより	344
ニッポン人・脈・記 日英新世紀3 大英博に怪人あらわる[星野之宣]	沢村 互 朝日夕刊 7.9	特集 いわさきちひろ Love, Love, Love ちひろを語る 私たちの時代	堀 文子 芸術新潮	751
ようこそ、新しい先生 03 細井雄二	細井 雄二 瓜生通信 55	人生の贈りもの 日本画家 堀文子 1~5	青山 祥子 朝日夕刊	1.23~27
写真家・細江英公をめぐる他土濟々『細江英公人間写真集 創世記 若き日の芸術家たち』	芸術新潮 751	自作再見 堀文子「仮面と老婆」 異国での衝撃迷い無く	西岡 一正 "	11.21
創世記 若き日の芸術家たち 細江英公著	日 経 7.15	読書日和 堀文子さん 堀文子画文集 名もなきものの力 未発表絵画も収録した画文集 衰えることにも興味津々	岸 桂子 毎日夕刊	5.29
写真家・細江英公 創作の源泉 自然でない人 風景と相乗効果	富田 律之 日経夕刊 2.14	INFORMATION COMPETITION AAC2011受賞者決定 学生時代に社会の現場で鍛えられるコンペ[堀康史]	編集部 美術手帖	964
本よみうり堂 細江英公人間写真集「創世記」	朝吹真理子 読 売 7.1	闇の奥の人間舞台 堀井英男 画家であり続けた版画家	永松 左知 版画芸術	157
美術学部教員展図録 デザイン	細川 修 愛知県立芸術大学紀要 41			
彫刻家細川宗英の塑造表現に関する一考察 メキシコ研修以後の具象作品を中心に	樽井 美波 芸術学研究(筑波) 17	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 123 堀内正和 箱は空へかえってゆく No.5	長門 佐季 美術手帖	967
月刊ギャラリー創刊25周年記念 小川英晴のアート縦横 No.23 名品に学び名品に挑む	細川 護熙、小川 英晴 ギャラリー一* 328	ウルトラ怪獣審査会 金沢のデザイナー作「ドグドンドン」に最優秀賞[堀内美幸]	布施谷 航 東京夕刊	11.10
特別展細川家の至宝 一珠玉の永青文庫コレクションシヨナー記念鼎談	細川 細川 川畑 亜衣 護光 憲子 Asiage 23	特集 まるごと「具体[GUTAI]」! Interview 堀尾貞治「あたりまえのこと」を表現する	堀尾 貞治 美術の窓	347

インタビュー 新潟現代美術家集団GUNの夜明け	前山 忠 堀川 紀夫	雪椿通信	39	第43回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負—よろこびの初入選	前田 勉	日展ニュース	144
「最悪の修復」に前例キリスト画騒動に思う	堀越 千秋	朝 日	9.12	前田守一《遠近のものさし》に至る人的交流とその作品への影響	川谷 承子	アマリリス	107
本よみうり堂 東京都写真美術館編「幻のモダニスト—写真家堀野正雄の世界」	(前)	読 売	4.1	美の随想 色の画家前田千寸のこと	池内 紀 紫 明		30
特集 アートの力を考える! PART 3 本田久一郎 網想(復興)	本田久一郎	美術の窓	348	SPECIAL FEATURE 超絶技巧!!		美術手帖	974
新・旧刊案内52 本多錦吉郎と陸軍の地図・画学・図学教科書	青木 茂 一 寸		52	PART 1 GALLERY 技巧にまずは驚く[前原冬樹]	山下 裕二		
視線 里山のきのこ 本田尚子著	北澤 憲昭	朝 日	11.4	PART 2 ATELIER 神技テクニックを徹底解剖1 前原冬樹 一本の木に時間を留める	福住 廉		
おしゃれのレシビ 継ぎ当て 気に入ったもの同士、合体!	本田 葉子	東 京	2.6	インタビュー 新潟現代美術家集団GUNの夜明け	前山 忠 堀川 紀夫	雪椿通信	39
	(マ)			特集 アートの力を考える! PART 3 真壁輝男 南画的な力	高山 淳	美術の窓	348
前史雄 2011年 作品の解説	前 史雄	金沢学院大学紀要*	10	特集 耽美な世界へようこそ 物語の中の世界 牧弘子	牧 弘子	〃	342
アントニン・レーモンド「カトリック新発田教会」[前川國男]	峰村 一彦	Wave II	5	レビュー 牧ゆかり展	宮永 郁恵	REAR	28
コラム 前川國男を受け止めた弘前の自信	北原 啓司	建築雑誌	1626	制作ノート 反応すること	牧野 光一	武蔵野美術大学研究紀要	42
戦中から戦後へ作家をたどる 8 戦前・戦後の渡航事情の変化および前田寛治	笹木 繁男	美術運動史研究会ニュース	128	ミリ単位で刻む小宇宙 つまようじの木片で仏像など制作、全神経研ぎ澄ませ	牧野 良香	日 経	2.10
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 043 前田寛治 裸婦	原田 光	美術手帖	967	実在の核を残す原初の力	馬越 陽子	新美術新聞	1280
特集 アートの力を考える! PART 2 きずな—再生美術の力 前田省三 風土と祈り	磯部 靖	美術の窓	348	想像力の解放十選1~10	〃	日 経	3.29、30、4.2、3、5、6、10、12、13、16
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 072 前田青邨 観画	野地耕一郎	美術手帖	967	あすから「第31回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」立体作品部門 新作秀作賞 正田典子氏「ゆきくも」 青空を縦のスリットで	正田 典子	産 経	3.2
現代美術の流れ	前田 岳究	国立国際美術館ニュース	193	制作ノート Kinesis No.316 hydrometeor	間島 秀徳	武蔵野美術大学研究紀要	42
神宮名品解説 「縞紋花籃」[二代前田竹房斎]	長谷川明輝	瑞 垣	221	特集 拡大・縮小美術館 絵画編 増子博子 成長し増殖していく絵画 細密画の描き方		美術の窓	350

現代童画会の作家を訪ねて 22 増田欣子「山岳画家」	糸井 邦夫	現童通信	49	黒い猫から白い犬へ 松井冬子 痛みを生 みなおす筆先	芸術新潮	747
北川民次の絵画技法 (2)一名古屋市美術 館所蔵作品の自然科 学的調査一	白河 宗利 歌田 眞介 森田 恒之 木島 隆康 森田 義之 増田 直人 山田 論 田中 元偉 鈴嶋 富士 杉原 朱美	愛知県立 芸術大学 紀要	41	わたし一人の美術時 評 第20回 “松井 冬子現象”にみる日 本画のマニエリスム	藤田 一人	748
第43回日展 新入選 者寄稿一喜びと抱負 一 日展と自身の表 現について	梶田 真美	日展ニュー ース	144	Book 自作解説で画 業を振り返る 松井 冬子の最新画集 松 井冬子 世界中の子 と友達になれる		753
本よみうり堂 ビタ ミンBOOK	益田 ミリ	読 売		小特集 松井冬子、 九州で九相図を観る 松井冬子×山本聡美 描かれた“死”に探る 中世絵画のテクニッ ク	松井 冬子 山本 聡美	754
日常の情景に胸熱 くなる			3. 11			
「あしたがある」ド ールハウス			5. 13			
生きる気力湧く恋 愛物語			6. 10	石仏とファッション と松井冬子 KAZU'S 10th ANNIVERSARY COUTURE COLLE- CTION: An Elegant Cultural Bridge		756
高齢者から生きる 力をもらう			8. 12			
不完全だからこそ 損しない			10. 14	レポート墨 クロス ・トーク 松任谷由 実氏×松井冬子	水墨画*	276
「うふふ」静かな心 はいいもの			11. 11			
柳澤桂子さん「い のち」の教え			12. 9	SPECIAL FEATURE 松井冬子	美術手帖	963
増山長三郎「羅漢図 金銀象嵌大飾皿」の 図像について	高田 未羽	PATIO	29	GALLERY 松井冬 子の解説による新 作紹介	松井 冬子	
特集 デッサン力を 磨く ⑧技法講座 VOL. 25 人気作家8 名の制作プロセス公 開 間瀬静江 和紙 に水彩・色鉛筆で野 ブドウをスケッチ	間瀬 静江	美術の窓	340	SPECIAL TALK 1 対談1 青柳正規 ×松井冬子	内田 伸一 聞き手・構 成	
展覧会時評 ex-cha- mber museum- off- line 第2回 「絵画 の庭」を今更ながら 振り返ってみる、の 巻[町田久美]	幕内 政治	ファウン テン	2	INTERVIEW ロン グ・インタビュー	松井みどり 聞き手・文	
視線 町田久美画集 町田久美著	大西 若人	朝 日	8. 5	REPORT 陸前高 田 一本松を訪れ る	編 集 部	
町田久美画集 町田 久美著		日 経	7. 22	CHRONOLOGY 松井冬子の軌跡 作品とポートレイ トでたどる	中島 水緒	
毎月着せ替えの小便 小僧写真展[町田忍]		読 売	11. 9	COLUMN “解剖図” を描く	”	
ニュースクール イ ラストレーター 町 山耕太郎さん 心に 響く絵、世界の人へ	柳下 朋子	日 経	9. 22	SPECIAL TALK 2 対談2 石黒浩× 松井冬子	内田 伸一 聞き手・構 成	
				COLUMN 創作を 支えるもの	編 集 部	
				諏訪敦インタビュ ー 絵描きによる 絵描きの肖像画	福住 廉	

CRITIQUE ジェンダーアートの新しい回路	斎藤 環				フェイス21世紀162 松岡歩 院展に生きるその誇りと覚悟	和田 圭介	新美術新聞	1287
特集 デッサン力を磨く ⑩技法講座 VOL.25 人気作家8名の制作プロセス公開 松井冬子の写生の魅力 真実に向き合う切実な時間	八柳 サエ	美術の窓	340		松岡映丘の画稿紹介	平瀬 礼太	姫路市立美術館研究紀要	12
特集 耽美な世界へようこそ 松井冬子の痛み・狂気・ナルシズム	編集部	〃	342		東日本大震災 連続ルポ1 動き出す被災地 滋賀の森から舞根の海へ/舞根集会所	松岡拓公雄	建築雑誌	1632
ことば 松井冬子さん(画家)	大西 若人	朝 日	1.18		お手本画&秀作集 其ノ十三 松川いずみ《響き合う》	松川いずみ	水墨画*	278
「松井冬子展」身体から紡ぎ出す「痛み」共有できたら	新谷 祐一	朝日夕刊	2.8		第25回奨学者のレポート 制作、around girlsシリーズによせて	松川 朋奈	アクリラート(別冊)	2012
美術評 松井冬子展おぞましさの美	児島やよい	東京夕刊	2.10		日々好日 陰影礼賛	松澤 茂雄	新美術新聞	1278
松井冬子さんが横浜で個展 絹本着色による作品など展示	岸 桂子	毎日夕刊	3.5		復興祈る百人百色 神奈川の女性 パリで撮影 フェイスブックで毎日1枚公開 [松沢真紀]	加藤 文	東京夕刊	7.5
ぎやらいいモール 横浜美術館「松井冬子展—世界中の子と友達になれる」から「盲犬図」 松井冬子	八柳 サエ	読売夕刊	1.24		作家通信 蓮とロウソク 2012	松下 黄沙	水墨画*	280
コツをおさえて描く 花の水墨画速習帖1、4、7	松井 陽水	水墨画*	277、280、283		特集 模写から学ぶ 絵画の技法 第三研究室座談会 古典の模写から学び取るもの	窪井 裕美 磯山 桃子 永井 健志 松下 雅寿 上野 高	美術の窓	349
特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 松井陽水 碧海静奏	〃	〃	282		コミック すみれファンファーレ1 島直子(作) フェアですがすがしい世界	南 信長	朝 日	4.22
第43回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負— 新入選をうけて	松浦 藍	日展ニュース	144		特集 制作の現場から…「自作を語る」・II ささやきシリーズ(自作を語る)	松島 秀樹	自由美術	2012
特集 アートの力を考える! PART 3 松浦安弘 無音の稲妻	高山 淳	美術の窓	348		現代美術の歩き方 今月の一品 「Untitled」松田啓祐	清水 穰	美術の窓	350
SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 1 Focus 3 松江泰治	楠本 亜紀	美術手帖	971		わたしの宝もの87 猿の惑星の島	松谷千夏子	新美術新聞	1289
時の余白に「形あるものは滅びます」 [松尾多英]	芥川 喜好	読 売	10.27		昭和なかあさん 松永えりか(イラスト)	朝 日		12.16
追悼特集 現代書壇の代表作家・かな書の巨星 杉岡華郎氏の偲ぶ 杉岡華郎先生追憶	松尾 敏男	新美術新聞	1278		真珠の耳飾りの少女と私 松永真さん グラフィックデザイナー	松永 真	朝日夕刊	7.13
大正から100年—我が心を語る 自らを皮剥き 新しい何かを探る	〃	〃	1299		本よみうり堂 松永高寛写真集「海を渡る蝶」	(前)	読 売	2.12
神宮名品解説 日本画「アッシジの聖堂」 [松尾敏男]	中村 潔 瑞 垣		222		なぜ私は建築を選んだか no.2 建築学の懐は深かった	松原 斎樹	建築雑誌	1632
					日々好日 四季のうつろい	松村 公嗣	新美術新聞	1296
					わたしの宝もの84 絵の栄養(もと)	松村 公太	〃	1281

新指定物件に関する寄稿論文 八幡浜市立日土小学校の保存再生[松村正恒]	花田 佳明	文化財*	591	アクリリックス・ワールド70 マリアーネ	小吹 隆文 取材・文	美術手帖	969
建築季評 社会から発想する設計[松村正恒]	中川 理	読 売	6.28	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近代美術の傑作150 077 丸木位里 ラクダ	天野 一夫	"	967
コレクション通信 町の空白 松本英一郎	(K・T)	とつぶら いと	93	美術館としての原爆堂に関する覚え書—丸木位里・俊夫妻と白井威一の交流について—	石崎 尚	武蔵野美術大学研究紀要	42
コミック 謎のあの店1 松本英子(作)意を決し、突撃してみた	山脇 麻生	朝 日	8.19	3・11後を生きる 非核×芸術案内 見えない驚異あばく [丸木位里/丸木俊]	岡村 幸宣	東 京	7.19
作品「感情列席—その2」	松本 研一	秋田公立美術工芸短期大学紀要	16	3・11後を生きる 非核×芸術案内 市民が描く原爆への怒り [丸木スマ]	"	"	7.26
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近代美術の傑作150 089 松本竣介 立てる像	水沢 勉	美術手帖	967	生誕100年 丸木俊・絵本原画展—いのちへのまなざし—	中 村 潮	流	111
視線 松本竣介 線と言葉 コロナ・ブックス編集部編	北澤 憲昭	朝 日	8.19	本よみうり堂 丸々もとお/丸田あつし 著「最新版 日本夜景遺産」	(井)	読 売	11.11
特集 制作の現場から…「自作を語る」・II 自作を語る	松本正一郎	自由美術	2012	視線 眠る鉄道 SLEEPING BEAUTY 丸田祥三著	北澤 憲昭	朝 日	7.15
特集 アートの力を考える! PART 3 松本信子 憂愁	高山 淳	美術の窓	348	棄てられたものへの想像力を 無言の問いかけを撮る 写真家 丸田祥三さん	吉田 俊宏 聞き手	日経夕刊	7.4
特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 松本深雪 秋の虫	松本 深雪	水墨画*	282	編集長対談 丸茂湛祥	一井 建二 丸茂 湛祥	美術の窓	350
文化の扉 はじめての宮沢賢治 幸せ求める純粋な魂の世界 少年の夢と希望の原点	松本 零士	朝 日	7.23	作家通信 元気のヒミツ すべてが力	丸山 東子	水墨画*	278
食の履歴書 創作の旅 ビフテキが汽笛 松本零士さん 上京決意、出発前に食べた思い出の味「食わざれば力なし」父の教え	河野 俊	日 経	12.29	歳・月・人 丸山東子 自由な造形表現をめざして	"	"	281
こころ 松本零士さんに聞く 大きな夢 若者の特権 自分の道は自分で決める	佐藤 光展	読売夕刊	11.8	特集 アートの力を考える! PART 3 丸山東子 逝った人、在る人への贈り花	ワシオ・ト シヒコ	美術の窓	348
特集 アートの力を考える! PART 3 的場繁子 ワヤン人形幻想	磯部 靖	美術の窓	348	SPECIAL FEATURE 奈良美智 MESSAGE 1 奈良美智の魅力 恩師・友人が語る! 丸山もゝ子	岡澤浩太郎 構成	美術手帖	973
お手本画&秀作集 其ノ十八 真鍋宣子《コタンの堅琴》	真鍋 宣子	水墨画*	285	(ミ)			
特集 模写から学ぶ 絵画の技法 第三研究室座談会 古典の模写から学び取るもの	窪井 裕美 繭山 永井 永井 健志 松下 雅寿 上野 高	美術の窓	349	思うままに クライスパークの芸術 自然破壊を告発[三浦景生]	梅原 猛	東京夕刊	2.27
				広告特集 画材ガイド01 ホルベインヴェルネ×三浦高宏	杉瀬 由希	美術手帖	976
				中特集 心の風景 三浦智子 詩情	高山 淳	美術の窓	349

上級者に贈る 創作への道1 生命の源、命の輝きを追及 感情の昇華	三浦ひろみ	水墨画*	277	一服の絵 隅田川の水で「あぶり出し」[水川千春]	東京	7.20
特集 アートの力を考える! PART2 きずな—再生美術の力 三浦裕子	三浦 裕子	美術の窓	348	3・11後を生きる 非核×芸術案内 不気味な異形で描く「パイプの森の放浪者」 水木しげる 1979年「珊瑚礁の怪物」 ベン・シャーン 1957年	岡村 幸宣	8.2
お手本画&秀作集 其ノ九 三上登《麗日》	三上 登	水墨画*	274	写真家たちの世界遺産 水越武・中村征夫ほか著	日 経	5.6
作家通信 三上登先生を偲ぶ	翠 酒湖	〃	281	綴じ込み カイカイ キキギャラリー「A Nightmare Is A Dream Come True: Anime Expressionist Painting」展を開催! 参加作家による座談会 カオス*ラウンジの後、僕らはどこを目指すのか	S T A G J N T H E D N a B a B a お ぐ ち Mr.	美術手帖 967
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 125 三上誠 作品	天野 一夫	美術手帖	967	作家通信『洋子の田舎日記子育て日記』を自費出版しました	水野 洋子	水墨画* 275
建築 みかんぐみ 下条茅葺きの塔 柔軟な姿勢のシンボル	五十嵐太郎	毎日夕刊	8.28	レポート墨 第22回 タカシマヤ美術賞に 三瀬夏之介氏ら三氏	〃	276
アートの風 6月 「背面」展と「フラワースケープ」展 発見されたもう一つの身体[三木富雄]	三田 晴夫	〃	6.13	被災地に力 美術家の試み 「東北画」理解と励まし[三瀬夏之介]	小川 敦生	日経夕刊 1.23
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 068 三岸好太郎 海と射光	大谷 省吾	美術手帖	967	特集 アートの力を考える! PART2 きずな—再生美術の力 一枚の思い出の絵 溝江勘二の「滞船」 存在という謎	高山 淳	美術の窓 348
三岸好太郎の芸術思想—前衛画家の弁証法	速水 豊	兵庫県立美術館研究紀要	6	お手本画&秀作集 其ノ十 溝口墨道 《墨人》	溝口 墨道	水墨画* 275
特集 画廊とアーティストの繋がり 高輪画廊×三岸好太郎・節子・黄太郎		ギャラリー*	331	特集 アートの力を考える! PART3 三谷青子 時間という謎	高山 淳	美術の窓 348
特集 アートの力を考える! PART2 きずな—再生美術の力 三岸節子		美術の窓	348	日々好日 藝術の力	三田村有純	新美術新聞 1274
21世紀のアーティスト 三沢厚彦		ギャラリー*	331	SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! ARTIST FILE まだまだいる! 注目超絶技巧作家たち10 見附正康 伝統と現代性を融合させた赤絵の宇宙	秋元 雄史	美術手帖 974
街角アート[三島喜美代]	星野 清一	新美術新聞		「見る」超えたアート 語る・聞く 全盲の芸術家と学生、対話し製作 触る・かぐ 香りつき・大きき違う粒で「スナエ」[光島貴之]	小川 雪	朝日夕刊 1.30
現代社会への批判精神			1281			
屑籠も中身次第で			1284			
SPECIAL FEATURE Chim ↑ Pom プレゼンツ REAL TIMES GALLERY & INTER-VIEWS 世界各国の22組が登場! スーパーラットな表現者たち COLUMN 中国現代美術の現在 北京在住のアーティストからの発言	Mz	美術手帖	964			



『Qualiaへ至る、存在論・写真論ノート』	三橋 純	横浜美術大学 教育・研究 紀要	2	特集—一九〇〇年パリ万国博覧会出品作(四) 宮川香山の一九〇〇年パリ万博	岡本 隆志	三の丸尚蔵館年報・紀要	17
人生の贈りもの 漫画家 みつはしちかこ 1~5	大庭 牧子 聞き手	朝日夕刊	11.5~9	『世界に愛されたやきもの 真葛焼 初代宮川香山作品集』	山下 裕二 紫 明		31
特集 アートの力を考える! PART 3 三森知恵子 想像力	高山 淳	美術の窓	348	光と影を生む彫刻としてのプロダクト 「陰翳 IN-EI ISSEY MIYAKE」[三宅一生]	川上典李子 A X I S		158
特別展示「緑川洋一の写真」解説文集成	廣瀬 就久	岡山県立美術館紀要	4	「国立デザイン美術館をつくる会」設立次世代に可能性示す場に 三宅一生さんから「決起」実現ヘシンポジウム	黒沢 綾子 産 経		12.5
pop style vol. 324 石本藤雄 自然と想像の融合 デザイナーが語る作品の魅力	市原 尚士 皆川川上 元美	読売夕刊	11.7	小説家 平野啓一郎が見た美術展 「アーヴィング・ペンと三宅一生 Visual Dialogue」展	平野啓一郎 日 経		1.12
縄文の造形美の現代彫刻への展開・応用への研究—縄文の造形を「源流シリーズ:日本人のルーツを探る旅」への展開と実際	皆川 嘉博	秋田公立芸術短期大学 紀要	16	デザイナーと写真家創造の過程を探る 六本木で「ペンと一生」展	岸 桂子	毎日夕刊	3.5
掌の縄文 港千尋著			日 経 4.22	「国立デザイン美術館」設立を 三宅一生さんから「つくる会」結成	永田 晶子	読 売	11.26
本よみうり堂 港千尋著 「掌の縄文」	三浦 佑之	読 売	5.20	国立デザイン美術館を造ろう 三宅一生さんから呼びかけ		読 売	11.3
東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 IX[南薫造]	佐藤 一郎 木島隆康 桐野文良 土屋裕子 中右恵里子 作間美智子 鐘旭	東京芸術大学美術学部紀要	50	モードUPDATE みんなのプリーツ 20年[三宅一生]	竹之内知宣	読売夕刊	1.11
視線 本人伝説 南伸坊著	森村 泰昌	朝 日	10.7	木彫刻のアニミズム	三宅 一樹	多摩美術研究	1
南川三治郎さん 写真集「推理作家の家」大好きな被写体 伝わる素顔	渋沢 和彦	産 経	9.24	三宅克己の画業と生涯(二) 御田小学校時代の一年	森 芳功	徳島県立近代美術館研究紀要	13
編集長対談 南口清二 生きている絵と画家の心	南口 清二	美術の窓	347	21世紀のアーティスト ミヤケマイ		ギャラリー一*	321
特集 アートの力を考える! PART 3 三原捷宏 希望の海	高山 淳	読 売	348	特集 アートの力を考える! PART 3 宮崎曠代 時間もまた旅人	高山 淳	美術の窓	348
みんなのマンガ学 「青春の一冊」リクエスト編2 はみだしっ子 愛に飢える少年像時代先取り[三原順]	表 智之	朝日夕刊	1.12	自作再見 宮崎進 「壁(忘れえぬ人)」シベリア体験今につなげる	大西 若人 聞き手	朝日夕刊	7.25
特集 アートの力を考える! PART 3 三村浩二 生活と信仰	高山 淳	美術の窓	348	第25回奨学者のレポート 自分の立ち位置	宮崎 雄樹	アクリラート(別冊)	2012
イカの絵魅力やいかに	宮内 裕賀	日 経	8.2	所変われば台所変わる 70カ国の庶民の家を訪問、暮らしぶり垣間見る	宮崎 玲子	日 経	2.1
作家訪問432 花月窈 志村睦彦さん・宮岡麻衣子さん	編 集 部	目の眼	434				

お手本画&秀作集  
其ノ十六 宮下外茂  
子《ハマダイコンの  
花咲く頃》

宮下外茂子 水墨画\* 281

彫刻家の現場から  
85 宮瀬富之

武田 厚 美術の窓 345

作家通信 元気のヒ  
ミツ “歳”相応に暮  
らす

宮田 記朱 水墨画\* 277

ワークショップの参  
加者の活動を支える  
デザインの検討—  
「メル・プラッツ  
ショーケース」の事  
例から

宮田 雅子 札幌大谷  
大学紀要\* 42

都市再生—とうきよ  
うスカイツリー駅オ  
ープンと東京電機大  
学千住キャンパス開  
設 澄川喜一「TO  
THE SKY」墨田区と  
宮田亮平「飛躍」北千  
住 足立 4月20日、  
2地域で記念式典と  
彫刻作品除幕が同時  
披露

新美術新  
聞 1280

なかそらの話

宮永 愛子 国立国際  
美術館ニ  
ューズ 192

本だな 森の静かな  
一日を描く『くま  
のごろりん あまや  
どり』[ミヤハラヨウ  
コ]

読売夕刊 4.14

特集 残されしもの、  
生かされしもの 第  
2部 生かされし有  
象無象 取材「ゼ  
ンカイ」ハウスから  
「福島第一原発神社」  
へ跳躍する「生かさ  
れし」価値観—宮本  
佳明氏インタビュー

脇坂 圭一 建築雑誌 1631

2012年日本建築学会  
作品選奨 澄心寺庫  
裏[宮本佳明]

” 1635

街角アート 空中の  
線描画[宮脇愛子]

星野 清一 新美術新  
聞 1270

宮脇晴・綾子夫妻の  
人と作品について—  
福本まさ子氏へのイ  
ンタビュー—

成瀬 美幸 豊田市美  
術館紀要 5

東京土木 LIFE 第2  
~7回

御代田和弘 A X I S 155~160

百兵衛インタビュー  
MireiHIROKI (現代  
美術アーティスト)

美術屋・  
百兵衛 21

日々好日 樹々とと  
もに

三輪 晃久 新美術新  
聞 1289

(ム)

向井潤吉『模写に就  
いての手記』—翻刻  
II 1928年10月16日  
から1929年2月23日  
まで

橋本 善八 世田谷美  
術館紀要 13

向井良吉との縁 大  
作守る 建築とコロ  
ボの先駆け、解体免  
れ世田谷美術館が受  
贈

” 日 経 2.14

美・コレクション  
転居先探した企業の  
志 向井良吉「花と  
女性」

岸 桂子 毎 日 4.11

土曜訪問 「祈り」の  
陰影空間を写す 六  
田知弘さん(写真家)  
発する気配感じ取る

黒谷 正人 東京夕刊 3.31

石と光—シトーのロ  
マネスク聖堂 六田  
知弘著

日 経 6.3

本よみうり堂 六田  
知弘写真集 「石と  
光 シトーのロマネ  
スク聖堂」

読 売 5.6

胸中花~棟方志功の  
眼~第19~30回

石井 頼子 目の眼 424~435

版画に摺り出す少年  
の心 棟方志功に共  
鳴、医療少年院で創  
作を半世紀指導

井上 勝江 日 経 6.13

危機と日本人16 日  
本の「芸業」苛烈に追  
求 棟方志功の「師  
殺し」

山折 哲雄 ” 6.17

ぎやらりいモール  
日本民芸館「東北の  
工芸と棟方志功」か  
ら 「『東北経鬼門譜  
[きょうきもんぷ]』  
のうち『真黒童子[ま  
つくろどうじ]』」  
棟方志功

新井美香子 読売夕刊 4.17

視点 日本人の基層  
心理 1~7

宗雪 孝夫 美術の窓 345~351

作品探訪 ムラカズ  
ユキのエッチングの  
世界第1~5回

ギャラリ  
ー\* 325~329

SPECIAL FEATURE  
頂上バトル! 日本近  
代美術の傑作150  
078 村井正誠 CITE

野田 尚稔 美術手帖 967

人と作品 村井正誠  
一色とかたち心に心  
をたくして—

植野比佐見 紫 明 31

SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 082 村上華岳 巖山松樹之図	野地耕一郎	美術手帖	967	レビュー記者会 見レポート オークション1週間前、ガゴシアン・ギャラリーにて開催	藤高 晃右		
日本美術のススメ 今月の逸品 村上華岳「太子樹下禪那」	内田真紀子	美術の窓	345	エイミー・カペラツツオ「New Day」を実現に導いたクリスティーズのチアマン	藤森 愛実		
美の美 大正100年 京都日本画の浪漫下[村上華岳]	小川 敦生	日 経	5.6	井上光司 クリスティーズの窓口を担った日本生まれのスペシャリスト	藤高 晃右		
まだ村上隆がお嫌い ですか?		芸術新潮	749	渡辺謙 世界に向けて宮澤賢治の「雨ニモマケズ」を朗読。オークションの場を整えた	〃		
21世紀の乱世にカツ! 《五百羅漢図》全部見せます				村上隆インタビュー	藤高 晃右 聞き手		
辻惟雄×村上隆 「ニッポン絵合わせ」総集編? 《五百羅漢図》へと突き抜けた激闘21ラウンドの軌跡				カタールでの村上隆 個展 MURAKAMI— EGO 五百羅漢とは 誰か	榎木 野衣	〃	965
I 砂漠の國に出現 したアート遊園地 「Murakami—Ego」 展レポート				綴じ込み カイカイ キキギャラリー「A Nightmare Is A Dream Come True: Anime Expressionist Painting」展を開催! キュレーター村上隆 によるステートメント 「A Nightmare Is A Dream Come True: Anime Exp- ressionist Painting」 =「AKA: 悪夢のど りかむ」	村上 隆	〃	967
Interview ジャン =ボール・エレン ゲン(QMA デイレ クター) 「タカシ の作品はあらゆる レベルの人が楽し める」	ジャン=ボ ール・エレ ンゲン 談			SPECIAL FEATURE 奈良美智 SPECIAL 温泉対談: 村上隆× 奈良美智 11年後の ふたり旅	岩渕 貞哉 聞き手 岡澤浩太郎 構成	〃	973
Takashi's Chron- icle 1962 村上隆 の半世紀	編 集 部			特集 蛭川実花 映画『ヘルタースケルター』の世界 対談 美しき闘争 東京/芸術/批評	村上 隆 蛭川 実花	ユリイカ	612
II ムラカミによる ムラカミ 代表作 でたどる20年	村上 隆			世界でトップをとる 3.11で社会変化 芸術家も動くとき だえ苦しみ作る[村上隆]	池田洋一郎	朝 日	1.17
III 茶のない茶会 千宗屋、村上コレ クションを観る	村上 隆 千 宗屋			村上隆 鎮魂画が開く 地平 ドーハ 「Ego」展 批評家榎 木野衣が見る	榎木 野衣	朝日夕刊	4.11
IV After 3.11 ア ート愛国放談 対 談 村上隆×榎木 野衣	村上 隆 榎木 野衣			「New Day」の煌め き 歴史に刻まれた チャリティーオーク ション、現地 レポート	藤森 愛実		
特別レポート 「工 芸」はどこへ向かう のか 前編 表現と しての工芸 村上隆 さん、なぜいま「工 芸」に注目している のですか?	橋本 麻里	〃	752	おたく文化、現代の 浮世絵 厄災下の芸術 「方便」で真実伝える 現代美術家 村上 隆さん	白木 緑 聞き手	日経夕刊	6.6
SPECIAL FEATURE チャリティーオーク ション「New Day」 [村上隆]		美術手帖	962				

平成24年定期刊行物所載文献(近/作ム)

斉藤環の東北 5月 ドーナにて被災地を 祈る[村上隆]	斉藤 環	毎日夕刊	5.17	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 022 村山槐多 尿す る裸僧	蔵屋 美香	美術手帖	967
災後の風景 4 美術 画一化の中 少数派 の視点 説得力のある 態度[村上隆]	高野 清見	読 売	3.8	特集 デッサン力を 磨く 秘技法講座 VOL.25 人気作家8 名の制作プロセス公 開 村山槐多のデッ サン 「大正」という 時代そのものの鮮烈 な体臭を伝えるのは 生の証	窪島誠一郎	美術の窓	340
震災の衝撃 直球で 大作に ドーナで個 展 村上隆さん	前田 恭二	"	6.7	槐多の作風決めた大 作 「日曜の遊び」真 の作者確定	窪田 直子	日経夕刊	1.16
pop style vol.300 北野武 鑑賞者試す 仕掛け	村上 隆	読売夕刊	5.23	「日曜の遊び」やはり 槐多作 岡崎市での 回顧展 定説覆す	岸 桂子	毎日夕刊	1.26
復興に創造的プラス α 美術家・村上タ カシさんの実践	三沢 典丈	東京夕刊	4.4	特集 秋の制作シー ズに贈る18作家の 水墨世界 村山峯風 焼香	村山 峯風	水墨画*	282
十代、こんな本に出 会った 村上もとか さん 漫画家『チ ップス先生』と梶井 基次郎 「いつか漫 画で」憧れた世界観	安里麻理子 ライター	朝 日	9.30	村山知義の内田昇三 宛書簡	石井 幸彦	世田谷美 術館紀要	13
秋の読書特集 マン ガ 時代も国も超え 江戸文化と庶民の文 化 「JIN-仁-」村 上もとかさん	鈴木 繁 構成	"	10.27	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 033 村山知義 美し き少女等に捧ぐ	水沢 勉	美術手帖	967
わたし一人の美術時 評 第28回 高度経 済成長世代のノスタ ルジー[村上裕二]	藤田 一人	芸術新潮	756	「すべての僕が沸騰 する-村山知義の宇 宙」展開連イベント 「やなぎみわ演劇プ ロジェクト 1924 人 間機械」東京公演こ ぼれ話	石井 幸彦	美連協ニ ュース	116
After 3.11	村越としや	産 経		村山知義の生の哲学	滝沢 恭司	視 る	459
24 福島県須賀川 市 変わってしまった 故郷で			4.18	村山知義の童画をめ ぐる断片的考察	牧野 裕二	" "	" "
30 福島県須賀川 市 「普通」が怖く なる			7.11	村山知義の変節に何 をみるか-やなぎみ わ演劇プロジェクト 『1924 人間機械』	正木 喜克	"	460
35 福島県須賀川 市 いつかは消え てゆくことを			9.26	文化往来 再評価さ れる村山知義の多彩 な活動	日 経		8.14
40 福島県飯舘村 人の気配のない山 で			11.28	特集 拡大・縮小美 術館 絵画編 村山 春菜 温かい街に根 付く生活		美術の窓	350
SPECIAL FEATURE 奈良美智 MESSAGE 1 奈良美智の魅力 恩師・友人が語る! 村瀬恭子	岡澤浩太郎 構成	美術手帖	973	川ガキ 村山嘉昭著		日 経	8.5
村田省蔵 2008-2010 年 作品の解説	村田 省蔵	金沢学院 大学紀要*	10	本よみうり堂 村山 嘉昭著 「川ガキ」	(佑)	読 売	9.23
グラデーションフィ ールド	村田 直哉	名古屋造 形大学紀 要	18				
特集 耽美な世界へ ようこそ 現代のフ ァム・ファタル[魔 性の女] 村田英子	村田 英子	美術の窓	342				
貼り抜き一貫による 素地造りの可能性	村谷 総志	金沢学院 大学紀要*	10				

## INFORMATION

NEWS ツリーに込めた希望の光 2人のアーティストのコラボレーションツリーが登場! 「The Light of Happiness—ハビネスの光を灯そう」チャリティプログラム[村山留里子]

中山 真理 美術手帖 962

あすから「第31回 損保ジャパン美術財団 選抜奨励展」 平面作品部門 秀作賞 室井公美子氏「ドクサ」 見る人で変わる抽象画

室井公美子 産 経 3.2

コミック 秋津1 室井大資(作) 捨て身の表現 奇妙な迫力に

ササキバラ 朝 日 11.18

追悼・室井東生志氏 室井東生志さんの思い出

中路 融人 新美術新聞 1297

日々好日 祐天桜

室瀬 和美 " 1276

制約越えた漆 素材感を堪能「アール・デコ 光のエレガンス」展

" 東 京 7.2

第五十九回日本伝統工芸展受賞者に聞く

室伏 英治、古川 拓郎、濱岡 満明、榎本 徹、金子 賢治、唐澤 昌宏、森 孝一 陶 説 717

特集 未来のスターを探せ! 新人大図鑑2012 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト10 室町克代

中村 隆夫 美術の窓 344

## (モ)

SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 102 毛利武士郎 シーラカンズ

梶田 倫広 美術手帖 967

彫刻家の現場から 88 最上壽之

武田 厚 美術の窓 348

Go! Artists Go! 49 杵谷圭章

編集部 美術手帖 965

彫刻家の現場から 90 望月菊磨

武田 厚 美術の窓 350

所蔵品から 元田久治《Kabukicho 2》

武居 利文 府中市美術館だより 36

## SPECIAL FEATURE

頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 111 元永定正 作品1

出原 均 美術手帖 967

人生の贈りもの 真家・映画監督 橋成一 1~4

児林もとみ 朝日夕刊 3.19、21~23

第25回奨学者のレポート 絵画をめぐって 絵画・画布・フレーム

本村 誠 アクリラート(別冊) 2012

作品「roots #1」「roots #2」

森 香織 秋田公立美術工芸短期大学紀要 16

タカマチ商人の「顔」 『最後の天幕』より一写真: 森浩二

門伝 仁志 見世物 5

SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! ARTIST FILE まだまだいる!

!注目超絶技巧作家たち06 森淳一 精緻を極めた造形で、個を超える地平をひらく

敷前 知子 美術手帖 974

特集 拡大・縮小美術館 立体編 森淳一 水流を木彫で彫り抜く

美術の窓 350

大漁旗、人の思いも大量「譲れない」に粘り強く交渉、20年かけ200枚を収集

森 庄平 日 経 2.7

美術学部教員展図録 デザイン

森 真弓 愛知県立芸術大学紀要 41

INFORMATION 森万里子《プライマルリズム》6大陸を結ぶ、森万里子の壮大なプロジェクト

編集部 美術手帖 964

異才列伝 森康二 穏やかで上品「アニメの神様」

福田 淳 読 売 2.5

戦後の巨匠17[森芳雄]

林 紀一郎 美術屋・百兵衛 21

中特集 心の風景 森相賢

高山 淳 美術の窓 349

SPECIAL FEATURE 奈良美智 MESSAGE 1 奈良美智の魅力 恩師・友人が語る! 森北伸

岡澤浩太郎 構成 美術手帖 973

特集 耽美な世界へようこそ 和風耽美 森口裕二

森口 裕二 美術の窓 342

顔 ホスピタルアートの普及を目指す美術家 森口ゆたかさ

高梨ゆき子 読 売 10.6

平成24年定期刊行物所載文献(近/作モ)

本よみうり堂 コミック館「となりの関くん」森重拓真さん 日常のシュールな笑い	佐藤 憲一	読売夕刊	8.27	真珠の耳飾りの少女と私 森村泰昌さん 美術家	朝日夕刊	7.10
森田慶一の「エウパリス」との邂逅	田路 貴浩	日本建築学会計画系論文集	680	美術家森村泰昌が見た映画	日 経	
わたしの宝もの83 入学	森野 彰人	新美術新聞	1279	「果てなき路」		1.12
座談会 現代陶芸の在り方を問う	乾 由明、鈴木 藏、中島 宏、森野 泰明、森司会	陶 説	710	「ピラミッド 5000年の嘘」		2.9
第24回「京都美術文化賞」受賞者のことば	森村 泰昌	美術京都	43	「ピナ・バウシュ 夢の教室」		3.8
森村泰昌的 非比較文化論	〃	美術屋・百兵衛	21	「少年と自転車」		4.12
視線	〃	朝 日		「ル・アーヴルの靴みがき」		5.17
花森安治のデザイン暮らしの手帖 社編			1.22	「ミッドナイト・イン・パリ」		6.14
深読み! 日本写真の超名作100 飯沢耕太郎著			3.4	「オロ」		7.5
これ、わたし さわだともこ著			4.8	「ジョルダニー家の人々」		8.9
俵屋相伝 受け継がれしもの 佐藤年著			5.13	「最強のふたり」		9.13
ドングリトプスとマックロサウルス コラージュとフロッタージュのおはなし 中川淳著			6.17	「ル・コルビュジエの家」		10.11
大阪新名所 新世界・通天閣写真帖 復刻版 橋爪紳也 監修・解説			7.22	「危険なメソッド」		11.8
ON THE CIRCLE 普後均著			9.2	「僕の中のオトコの娘(こ)」		12.13
本人伝説 南伸坊 著			10.7	3・11後の表現 5 美術 歴史の記憶 作品に刻む 自省の念映像に 失った風景「再生」[森村泰昌]	小川 敦生、富田 律之	〃 3.10
LABYRINTH 森山大道著			11.11	災後の風景 4 美術画一化の中 少数派の視点 説得力のある態度[森村泰昌]	高野 清見	読 売 3.8
BOOKS ON JAPAN 1931-1972 日本の対外宣伝グラフィ誌 森岡督行著			12.16	画壇で活躍した工芸官(ミニ展『お札の美の背景—森本コレクションから—』から)[森本茂雄]	松村記代子	お札と切手の博物館ニュース 31
文化の扉 はじめての肖像画 別人説あっても教育の場で定着 人生の虚実も描き出す	〃	〃	8.13	特集 アートの力を考える! PART 3 森本紫雪 温もり	高山 淳	美術の窓 348

視線 LABYRINTH 森山大道著	森村 泰昌	朝 日	11.11	特集 めくもりの表 現 触れなくなる絵 画 ④技法講座			
questions 8 森山大道		日 経	10.11	VOL. 26 CASE 2 安田育代 現代の聖 母子像	安田 育代	美術の窓	345
日本の現代美術 海外展から下 東西 写真家の対話に焦点 「ウィリアム・クラ イン+森山大道」展	大竹 昭子	日経夕刊	12.28	作品ひとつ[保田春 彦]	田中 龍也	群馬の森 美術館ニ ユース	150
森山大道さん 高まる 国際評価 「スナック 色」の現実進行形	前田 恭二	読 売	5.31	評論の眼 玉川大学 芸術学部卒展「保田 万理加編集インタビ ュー本」卒業女子 が放つ勇気ある紙爆 弾	ワシオ・ト シヒコ	ギャラリー 一*	323
「荒れ・ブレ・量け [ぼけ]」の劇薬化 60年代日本 森山大道 のモダニズム写真	清水 穰	〃	11.8	館藏品紹介 安田鞞 彦「風神雷神図」		遠山記念 館だより	43
視点 ストアフロント、 そして「森山太郎 イメージの縁— ここにあり、ここ ではないどこか」	山内 舞子	美術の窓	346	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 079 安田鞞彦 孫子 勲姫兵	川口 直宜	美術手帖	967
不二子が主役!?「ル パン三世」27年ぶり 新シリーズ[モンキ ーパンチ]		産 経	4.3	第六十五回全国大会 研究発表要旨 安田 老山の生涯と芸術	村田 隆志	美術史	173
				特集 アートの力を 考える! PART 3 安富信也 信仰と救 済	磯部 靖	美術の窓	348
	(ヤ)			コミック 赤パン先 生! 1・2 安永知 澄(作) 何げない日 常繊細に美しく	安永 知澄	朝 日	12.16
特集2 「現代の座標 —工芸をめぐる11の 思考—」について 選路	八木 明	現代の眼	596	特集 武富健治 『鈴木先生』が教える マンガの豊饒 対談 鬱屈を引き受けるひと と パッションとし ての憂い顔	武富 健治 安彦 良和	ユリイカ	606
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 103 八木一夫 ザム ザ氏の散歩	富田 康子	美術手帖	967	コミック 天の血脈 1 安彦良和(作) スケールの大きな歴 史の渦に	ササキバラ ・ゴウ	朝 日	9.9
2012年日本建築学会 作品選奨 小布施町 立図書館 まちとし ょテラソ[八木佐千 子]		建築雑誌	1635	川を越えて、出会っ た—「青デ」の同土た ちについて思い出す こと	矢田 卓	あいだ	196
特集展示 描かれた ダリア [安井曾太 郎]	保坂健二郎	現代の眼	592	作品 「銀蛇の余雪」	矢田目真希 子	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	16
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 075 安井曾太郎 承 徳の喇嘛廟	山梨 俊夫	美術手帖	967	作家通信 フランス ・ナンシー 巡回展 の旅	谷頭 紅苑	水墨画*	282
謎解きは設計図と共 に ミステリー小説 の舞台、建物の形を 推測し図に	安井 俊夫	日 経	6.21	工業デザイナー・柳 宗理さんを悼む 柔 らか日本的モダニズ ム	柏木 博	朝 日	1.4
特別寄稿 安井仲治 研究 これからのた めに	光田 由里	ART RAMBLE	34	追悼 工業デザイナ ー 柳宗理さん 手 で作り込む「人間の かたち」	深澤 直人	産 経	2.1

平成24年定期刊行物所載文献(近/作ヤ)

追想録 柳宗理さん(デザイナー) 体で感じ、作品生み出す		日経夕刊	2.10	PROJECT 新時代を切り拓く「ULTRA AWARD 2012」[ヤノベケンジ]	神田真巳子	瓜生通信	57
現代の名工 都内17人 緻密な仏画世界的に評価 腐しよく彫刻工 柳富治さん		読 売	11.8	INFORMATION EVENT 茨木市にヤノベ作品《サン・チャイルド》出現[ヤノベケンジ]	小吹 隆文	美術手帖	966
ようこそ、新しい先生 02 やなぎみわ	やなぎみわ	瓜生通信	55	WORLD NEWS キエフ 東欧最大の公立美術館の設立を目指すウクライナ発、ピエンナーレが開幕！[ヤノベケンジ]	かないみき	〃	971
「すべての僕が沸騰する—村山知義の宇宙」展開連イベント「やなぎみわ演劇プロジェクト 1924 人間機械」東京公演こぼれ話	石井 幸彦	美連協ニュース	116	巨大子ども像で福島を元気に ヤノベケンジさん計画	増田 愛子	朝日夕刊	6.20
1924/二〇〇一 同期と暗号[やなぎみわ]	尾崎信一郎	視 る	455	放射能汚染ない未来子どもらに 高さ6.2メートルの現代アート 来月1日まで江東 第五福竜丸展示館前に[ヤノベケンジ]	小林 由比	東京	6.23
村山知義の変節に何をみるか—やなぎみわ演劇プロジェクト『1924 人間機械』	正木 喜克	〃	460	3・11後の表現 5 美術 歴史の記憶 作品に刻む 自省の念映像に 失った風景「再生」[ヤノベケンジ]	小川 敦生 富田 律之	日 経	3.10
文化往来 やなぎみわや維新派、大阪で「駅の劇場」		日 経	10.26	災後の風景 4 美術画一化の中 少数派の視点 説得力のある態度[ヤノベケンジ]	高野 清見	読 売	3.8
やなぎみわさんの演劇「人間機械」来月上演 東京・世田谷美術館	岸 桂子	毎日夕刊	7.24	日々好日 一本松	藪内佐斗司	新美術新聞	1268
世界をつづる劇場 美術作家やなぎみわの「1924」3部作が完結 関東大震災後の前衛芸術家たちを見詰め 美術館の展示と照射し合う舞台	高橋 豊	〃	8.28	東大寺蔵伎楽面「酔胡王」模刻研究報告	藪内佐斗司 仲 裕次郎 藤曲 隆哉 高林 弘実 松島 朝秀	東京芸術大学美術学部紀要	50
ブックマーク やっかいな朗読	やなぎみわ	〃	12.18	日本木彫史概説	藪内佐斗司	東京芸大 保存修復彫刻年報*	2011年度
淡々と素材そのままの凄み 貧困旅行記 つけ義春	柳沢きみお	朝 日	4.8	セザンヌ展を見て	藪野 健	新美術新聞	1280
2012年日本建築学会作品選奨 えんばく(塩尻市市民交流センター)[柳澤潤]		建築雑誌	1635	茶話マンガ 優しい空気の読みあい[山内泰延]	伊藤 剛	朝日夕刊	3.24
お茶は、流れるように 萩に「茶室」を作ってみて…	柳原 睦夫 沢田眉香子 聞き手	陶 説	706	After 3.11	山内 悠	産 経	
この1点 柳原義達《バルザックのモデルたりし男》	T.S.	Corridart	10	21 岩手県陸前高田市 真っ白な静寂の中で			3.7
SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近代美術の傑作150 128 柳原義達 風の中の鴉	高橋 幸次	美術手帖	967	27 福島県南相馬市 闇と向き合えば			5.30
SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近代美術の傑作150 032 柳瀬正夢 底の報復	足立 元	〃	〃	33 福島県楢葉町 呼吸と相反していた「豊かさ」			8.22



39 福島県楢葉町 命と光のうつろい				11.14	特集 めくもりの表 現 触れなくなる絵 画 ②技法講座 VOL.26 CASE 4 山口裕子 カラフル な生命力	山口 裕子	美術の窓	345
夜明け 山内悠著		日 経		4.1				
作品 「色・木箱」	山岡 惇	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要		16				
月岡芳年 幕末・明 治を生きた奇才浮世 絵師 近代を併呑し 浮世絵師を全うす	山口 晃	太陽(別冊)		196	若手育成事業「アニ メミライ」の提案 「ベテランに学ぶ」へ 回帰を[ヤマサキオ サム]	三沢 典丈	東京夕刊	2.29
特集 拡大・縮小美 術館 山口晃の描く 「まち」を見よう		美術の窓		350	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 090 山崎隆 続戦地 の印象(其五)	天野 一夫	美術手帖	967
山口晃さん 平等院 に襖絵奉納 機関車 で極楽へ 現代風の 来迎図	木村 未来	読 売		11.22	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 013 山崎朝雲 龍	児島 薫	" "	" "
山口華楊展 「黒豹」 を見て	中路 融人	新美術新 聞		1295	顔 合格の文字をか たどった鉛筆芯ア ートで人気の彫刻家 山崎利幸さん	小高 広樹	読 売	2.16
美の現場から 山口 勝弘とイマジナリウ ム	山崎 均	紫 明		30				
お手本画&秀作集 其ノ十四 山口広峰 《劇瀧》	山口 広峰	水墨画*		279	思い出す本忘れない 本 無機質の向こう からの生の声 方舟 さくら丸 安部公房 (著)	ヤマザキマ リ	朝 日	10.14
第43回日展 新入選 者寄稿一喜びと抱負 一 感謝の心	山口 大夢	日展ニュ ース		144	読書日和 ヤマザキ マリさん 「テルマ エ・ロマエ」第4巻 映画公開を待つ500 万部超の風呂漫画 おじいちゃんのデッ サンが好き			
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 119 山口長男 割	土方 明司	美術手帖		967	となりのアートさん vol.1~3	内藤麻里子	毎日夕刊	4.17
わたしの宝もの86 孔黎翔さんの印	山口 英紀	新美術新 聞		1287	人と人つながるのが デザイン 地域再生 へ新たな解決策「最 適解」はそれぞれに [山崎亮]	ヤマザキム ツミ	美術屋・ 百兵衛	21~23
水墨の最前線7 水 墨による写真模写一 黒と白、疎密の計算 が決め手 山口英紀	野地耕一郎	水墨画*		277	建築季評 社会から 発想する設計[山崎 亮]	諸永 裕司	朝 日	6.6
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!!		美術手帖		974	読書日和 山下和美 さん 「教習です!」 式 教習屋を建てた 体験を漫画に 季節 感分かる「和の世界」	中川 理	読 売	6.28
PART1 GALLERY 技巧にまずは驚く [山口英紀]	山下 裕二 談				発掘一画家山下菊二 の東宝争議ドキュメ ント	永田 晶子	毎日夕刊	6.5
PART2 ATELIER 神技テクニックを 徹底解剖2 山口 英紀 現代の水墨 表現を追及	永峰 美佳					江川 佳秀	芸術新潮	748
SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 062 山口蓬春 市場	野地耕一郎	"		967	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 104 山下菊二 新ニ ッポン物語	足立 元	美術手帖	967
折り紙で笑顔に 愛 好家ら交流[山口真]		東 京		8.17	ローカル・ガイド 平成みなかみ紀行 [山下清]	編 集 部	芸術新潮	748
いろんな人と出会い、 いろんな考え方に触 れよう。[山口裕子]	立古 和智	女子美		171				

平成24年定期刊行物所載文献(近/作ヤ)

視線 山下清の放浪 地図 昭和の日本を ぶらりぶらり 山下 浩監修	大西 若人 朝 日	5.20	カンボジア初の全国的 美術コンクール開 く 山田隆量さん	黒谷 正人 東 京	2.2	
ざらりいモール 泉屋博古館分館「近 代日本洋画の魅惑の 女性像」から「読書 の後」 山下新太郎	川口 直宜	読売夕刊	9.4	特集 アートの力を 考える! PART 2 きずな一再生美術の 力 山田展也 危機 の中の詩情	高山 淳	美術の窓 348
特集 BL[ボーイズ ラブ]オン・ザ・ラン! インタビュー 恋愛を超える絆を求 めて	ヤマシタト モコ 周子 横井 聞き手	ユリイカ	620	横浜美術大学の校地 と構内動線の変遷 わかりやすいキャン パス内サインデザイ ンのための既存建築 計画分析	山田 弘知	横浜美術 大学 教育・研究 紀要 2
2012年日本建築学会 作品選奨 長崎市子 育ての駅「てくてく」 +千秋が原南公園+ 信濃川桜づつみ遊歩 道[山下秀之]		建築雑誌	1635	お手本画&秀作集 其ノ十八 山田博子 《湿原の朝》	山田 博子	水墨画* 285
静岡ハリストス正教 会 麗しのイコノス タス 最後の年の瀬 [山下りん]		芸術新潮	745	特集 2 山田正亮		ART TRACE PRESS 2
信仰見守る日本のイ コン 震災・被災越 え 千葉の田園に[山 下りん]		日 経	11.3	山田光枝さん(山 田正亮夫人)イン タビュー	神山 亮子 聞き手 杉田美奈子、 松浦 寿夫 出演者	
特集 未来のスター を探せ! 新人大図 鑑2012 評論家・ジ ャーナリストが選ぶ 注目の新人アーティ スト10 山城知佳子	小勝 禮子	美術の窓	344	山田正亮自筆文献 抄	神山 亮子	
特別展示『生きる形』 『いのち』と『形』の物 語	山田 昭順	Ouroboros	44	山田正亮を括弧で くくってみません か	峯村 敏明	
第278回水曜講演会 三代山田常山、その 作陶と人生—四代山 田常山先生に聞く—	山田 常山 柏木 麻里	出光美術 館館報	159	大地を紡ぎ、空気 と光を織る	早見 堯	
三代山田常山の急須 制作における古典研 究	柏木 麻里	出光美術 館研究紀 要	17	絵画の体系、ある いはアナクロニス ムについて	松浦 寿夫	
常山さんの思い出	津村 節子	陶 説	706	山田貢の友禅小下図 ・原寸大図を読み解 く	村山 由美	世田谷美 術館紀要 13
名人ではなくて職人 じゃ —三代常山さ んを偲んで	村上 信夫	” ”	” ”	視線 沖縄写真家シ リーズ 琉球烈像 第1巻 山田實写真 集 故郷は戦場だっ た 山田實著	大西 若人 朝 日	10.14
山田常山さんのこと	弓場 紀知	” ”	” ”	水墨画家・山田三耀		美術屋・ 百兵衛 23
出光美術館「三代山 田常山—人間国宝、 その陶芸と心」展に 寄せて	柏木 麻里	” ”	” ”	クリエイターズワー ク&ソウル 山田良		A X I S 155
作家通信 元気のヒ ミツ 元気のヒミツ ?そんなのないよ	山田 大作	水墨画*	275	山中さとゑ 世田谷 区立桜小学校 作品 寄贈	ワシオ・ト シヒコ	美術の窓 350
水墨画入門講座 墨 色の妙味を知ろう! 1~8	” ”	” ”	277~281、 283~285	お手本画&秀作集 其ノ十 山根峰雲 《耶馬溪ヤンサ祭》	山根 峰雲	水墨画* 275
				特集 拡大・縮小美 術館 立体編 山野 千里 皆が寄り添っ て暮らす小さな世界		美術の窓 350

インスピレーション グラフィック 禁止 から推奨へ—Donny Grafiksによる愛犬マ ナーのサイン案[山 本和久]	深沢 慶太	A X I S	155	『なぞる』と云う「作 品」に就いての考察	山本 浩生	多摩美術 大学研究 紀要	26
新収蔵品紹介 山本 鼎《デッキの隅》	林田 龍太	V i e w	141	コミック Sunny Sunny Ann! 山本 美希(作) 体形はド ーン 腋毛ボーボー	南 信長 朝 日		8.12
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 115 山本丘人 夕焼 け山水	野地耕一郎	美術手帖	967	素材の塩 閉幕後は 海へ 山本基個展「し ろきもりへ」鑑賞者 が持ち帰り	井上 晋治	読 売	3.1
実況レポート不定期 連載 内田樹 実践 的すまいづくり論6 能舞台をつくる[山 本浩二]	内田 樹	芸術新潮	745	ぎやらりいモール 彫刻の森美術館「山 本基 しろきもりへ」 から「常世の杜」 山本基	黒河内卓郎	読売夕刊	2.21
炭鉱の記録画家・山 本作兵衛の絵が生れ る場所を探して	牧野伊三夫	〃	〃	第24回「京都美術文 化賞」受賞者のこと ば	山本 容子	美術京都	43
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 127 山本作兵衛 明 治筑豊 セナ	正木 基	美術手帖	967	美しいものを作るた めに、まず自分が強 くなるということ	山本 耀司、 佐野 ぬい	女子美	172
作兵衛絵巻 突然の 「記憶遺産」 上、中、 下		朝日夕刊	1.10~12	フォーカス 画家デ ビュー、美人画19点 を東京・青山店に展 示 山本耀司氏 幼 いころの夢「体力が あるうちに」	小林 明	日経夕刊	6.25
記憶遺産の街に住ん でみる2 福岡県田 川市 息子の戦死 山本作兵衛の原点 炭坑画描き寂しさし のぐ	須貝 道雄	日経夕刊	1.14	時代の証言者 モー ドに挑む 山本耀司 1~20	宮智 泉	読 売	6.12~14、 16、18~ 21、23、25 ~28、30、 7.2~5、7、 10
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! ARTIST FILE まだまだいる ! 注目超絶技巧作家 たち05 山本タカト 神秘主義的細密描写 の解剖学	川合 健一	美術手帖	974	受賞学生インタビュ ー第8回 第15回文 化庁メディア芸術祭 「アート部門」大賞受 賞	山本 良浩	芸大通信	25
特集 耽美な世界へ ようこそ 和風耽美 山本タカト	山本タカト	美術の窓	342	地域社会取り戻す復 興を 建築家・山本 理顕さんに聞く	高野 清見	読 売	4.5
原爆の火守り平和祈 る 広島から福岡に 持ち帰った父の遺志 を継ぐ	山本 拓道	日 経	8.1	「みんなの家」被災地 に続々 復興語り合 う憩いの場 建築家 の思い広がる[山本 理顕]	〃	〃	12.20
窓を閉ざして窓が開 いた	山本 貞	新美術新 聞	1280	2012年日本建築学会 作品選奨 長楽寺納 骨堂[山本良介]		建築雑誌	1635
特集 制作の現場か ら…「自作を語る」・ II 自作を語る	山本 哲生	自由美術	2012	(ユ)			
読解絵画鑑賞講座19 [山本東陽]	ワシオ・ト シヒコ	美術屋・ 百兵衛	23	街角アート 焼きも のの街のユーモア陶 彫[結城美栄子]	星野 清一	新美術新 聞	1292
所蔵品から 山本日 子士良《青年像》	武居 利文	府中市美 術館だよ り	34	この人 放射能物質 の汚染描いた「あか いつぶつぶの絵」作 者 柚木ミサトさん より幸せな世界 作 品契機に考えてくれ たら	谷口 大河	東 京	7.24
見ること、描くこと の諸相 山本大貴と 柏本龍太		芸術新潮	755				

コミック 瞬きのソ ーニャ1 弓月光(作) 気迫伝わる骨太な逃 走活劇	ササキバラ ・ゴウ	朝 日	2.5
彫刻家の現場から 80 湯村光	武田 厚	美術の窓	340
SPECIAL FEATURE 女子アート☆文化祭 01 夢眠ねむ	石井 芳征	美術手帖	975

(ヨ)

資料紹介 楊洲周延 「東錦昼夜鏡」	日野原健司	浮世絵研 究	2
歴戦の浮世絵師 楊 洲周延の合戦図		芸術新潮	755

今月の一冊 国立国 会図書館の蔵書から 世界第一チャリ子 [ネ]大曲馬廻り寿語 六[すごろく] 蘆原 英了コレクションの サーカス関係資料か ら[楊洲周延]	邊見由起子	国立国会 図書館月 報	618
---	-------	-------------------	-----

月岡芳年 幕末・明 治を生きた奇才浮世 絵師 芳年・血みど ろ絵に見る「救い」	横尾 忠則	太陽(別冊)	196
--	-------	--------	-----

夢遊する読書12~17	"	ユリイカ	606~608、 610、611、 616
-------------	---	------	-----------------------------

特集 横尾忠則 ミ シンとコウモリ傘	"	"	618
-----------------------	---	---	-----

遅れてきた邂逅 シンクロシティ の幸福と驚異につ いて	横尾 忠則 山田 洋次		
--------------------------------------	----------------	--	--

世界をコラージュ する横尾忠則	辻 惟雄		
--------------------	------	--	--

オペラティックス 横尾忠則の「まし き手法」	高山 宏		
------------------------------	------	--	--

宇宙・兵庫・西脇 「へそ」の力と黄色 魔術絵画	樋口ヒロユ キ		
-------------------------------	------------	--	--

彼の愛した宝塚	川崎 賢子		
---------	-------	--	--

特集 横尾忠則 ア ンファンテリブルの みる夢	"	"	"
-------------------------------	---	---	---

天地縦横無辺のフ ィギュール	横尾 忠則 大山エンリ コイサム 聞き手		
-------------------	-------------------------------	--	--

感性のベル・エポ ック	美輪 明宏		
----------------	-------	--	--

人の夢を食べるバ ク	永山 祐子		
---------------	-------	--	--

黒い武士、赤い頬	和合 亮一		
----------	-------	--	--

特集 横尾忠則 Operation ARTs	"	"	"
---------------------------	---	---	---

金で買える夢 覚 書	丹生谷貴志		
---------------	-------	--	--

コラージュを切り 開く 横尾忠則の 《Operation》と解 剖学	河本 真理		
---	-------	--	--

Y字路の経験	石岡 良治		
--------	-------	--	--

データベースと死 の絵画の意味	黒瀬 陽平		
--------------------	-------	--	--

絵の意味を問うの はなにのためか	中田健太郎		
---------------------	-------	--	--

特集 横尾忠則 Discours, figure	"	"	"
-----------------------------	---	---	---

「記載の場所」を巡 って アーカイヴ と横尾忠則(印刷 された問題)	上崎 千		
---	------	--	--

昭和元禄のデッド ボール『新宿泥 棒日記』の横尾忠 則	成相 肇		
--------------------------------------	------	--	--

YOKOO avec KUSAMA	松本 卓也		
----------------------	-------	--	--

東野芳明と横尾忠 則の一九六〇年代 ポップ・アートの ディスクール	松井 茂		
--	------	--	--

特集 横尾忠則 外 延、あるいは描く、 書くことの漏出	"	"	"
-----------------------------------	---	---	---

横尾忠則のエクリ チュール	加治屋健司		
------------------	-------	--	--

冥界とユートピア 横尾忠則の小説作 品をめぐって	石橋 正孝		
--------------------------------	-------	--	--

冥界と身体、冥界 の身体『ゼーガ ペイン』と横尾忠 則	古谷 利裕		
--------------------------------------	-------	--	--

特集 横尾忠則 endless waltz with Y +T 横尾忠則主要 作品解題	暮沢 剛己	"	"
--	-------	---	---

朝日賞のみなさん 美術家横尾忠則さん 時代を映す「自画像」	大西 若人	朝 日	1.1
-------------------------------------	-------	-----	-----

読書	横尾 忠則	"	
----	-------	---	--

乱歩彷徨 なぜ読 み継がれるのか 紀田順一郎(著) 創造と人生の闇 謎鮮やかに			1.15
---	--	--	------

フクロウ その歴史・文化・生態 デズモンド・モリス(著) 知恵か邪悪か 魔術的象徴として	2.5	高倉健インタビュー 野地秩嘉 (文・構成) 演技の核の「気」解明に挑戦			9.30
芸術家の家 作品の生まれる場所 G.ルメール(文)J.アミエル(写真) 謎と秘密をバラしてほしい	2.26	この一年に出会った本 書評委員お薦め「今年の3点」			12.23
昭和の怪談実話 ヴィンテージ・コレクション 東雅夫(編) 幽霊、化け物…あゝ「怪」だらけ	3.18	4賞 受賞者スピーチ 独自の世界切り開く 朝日賞 絵も人間と同じ未完でいい	森本 俊司	〃	1.28
長寿と性格 なぜ、あの人は長生きなのか H.S.フリードマン、L.R.マーティン(著) ジョギングよりも勤勉性	3.25	横尾忠則さんの個性、凝縮 美術館、神戸に11月開館	大西 若人 聞き手	朝日夕刊	4.18
黒澤明の遺言[いげん] 都築政昭(著) シンプルで一貫した創造哲学	4.15	横尾忠則ワールド、故郷に島に 神戸と香川・豊島		〃	9.26
魂にふれる 大震災と、生きている死者 若松英輔(著) 「生ける死者」と共生するとは?	4.29	2011年度朝日賞 美術家 横尾忠則	産 経		1.12
仕事をつくる 私の履歴書 安藤忠雄(著) そのエネルギーの源泉は何?	5.6	コンパス 横尾さんの熱意[横尾忠則]	(岩)	東京夕刊	8.18
アートを生きる 南條史生(著) 熱い現代美術愛34年の回想	6.3	装丁に創る劇場的空間 横尾忠則 初のブックデザイン展	横尾 忠則 岩岡 千景	〃	11.19
レディー・ガガ メッセージ ブランドン・ハースト(著) 生肉ドレスも謎も 全部アート	6.10	横尾忠則 コラージュ 1972—2012 横尾忠則著		日 経	9.16
続々アトリエ日記 野見山暁治(著) 「老人じゃない」90歳の自由	7.8	交遊抄 開いている人[横尾忠則]	永山 祐子	〃	11.24
魂の詩人パゾリーノ ニコ・ナルディーニ(著) 左翼で異端背德的想像力の源	7.29	横尾忠則 ラッピング電車 故郷を走る 横尾忠則ほか著		〃	12.16
寅さんとイエス 米田彰男(著) 実は意外と似ています	9.2	特輯 岡倉天心生誕百五十年記念 横山大観 生々流転	藤本 陽子 国 華		1400
		横山大観筆「或る日の太平洋」研究	足立 千尋	哲学会誌	36
		天心一大観・春草における西洋近代美術史観(下)	天野 一夫	豊田市美術館紀要	5
		SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 016 横山大観 柳蔭 図屏風	古田 亮	美術手帖	967
		ミュージアム・コレクション 大観の滞欧中制作	池田 博子 本 郷		100

平成24年定期刊行物所載文献(近/作ヨ)

明治・大正における バンカラ旅行の系譜 一大観・観山・紫紅 ・未醒の東海道五十 三次旅行(大正4年) の背景として	佐藤 志乃	横山大観 記念館報	28	インスピレーション インテリア オルセ ー美術館の絵画と響 き合う光のペンチ 吉岡徳仁の「ウオー ター・ブロック」	川上典季子	A X I S	155
横山大観記念館蔵 「依頼画控」一昭和10 年から14年まで一	池田 博子	〃	〃	from the World 衣食 住を包括的に扱うメ ゾン&オブジェの提 案[吉岡徳仁]	編集部 上條 昌宏	〃	156
美の履歴書273 サリ ーに隠されたもの 「流燈」 横山大観	増田 愛子	朝日夕刊	9.26	日々好日 40年間の 夏	吉岡 正人	新美術新 聞	1297
「大観の富士」は真作 警視庁所蔵 孫の記 念館長断定		東 京	10.30	ようこそ、新しい先 生 04 ヨシカワゴ エモン	ヨシカワゴ エモン	瓜生通信	55
時代の証言者 人間 を写す 田沼武能12 荷風の私生活 凝縮 の1枚[横山大観]	池田 正一	読 売	7.26	第43回日展 新入選 者寄稿一喜びと抱負 一 憧れの想い	吉川友里子	日展ニュ ース	144
ざらりいモール 講談社野間記念館 「横山大観と再興院 展の仲間たち展」か ら「大正大震災大 火災」 横山大観	豊田 和平	読売夕刊	11.20	レビュー「娘たちの 居るところ 吉田秋 生「海街 diary」	永瀬 恭一	ART TRACE PRESS	2
古写真に見る春日大 社の風景(3) 東京 国立博物館所蔵壬申 検査関係写真にみる 明治五年の春日大社 1 建物[横山松三 郎]		春 日	87	21世紀のアーティ スト 吉田夏奈		ギャラリ ー*	324
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 105 横山操 溶鋳炉	野地耕一郎	美術手帖	967	所蔵品紹介222「波」 吉田三郎		石川県立 美術館だ より	340
SPECIAL FEATURE 荒木飛呂彦 人間賛 歌一謎めく美しき世 界 MESSAGE アー ティストが語るジョ ジョ04 横山裕一	横山 裕一	〃	975	「我を忘れて書を」 吉田菁風さんにサン スター国際賞	桐山 正寿	毎日夕刊	1.25
《連載》戦時下日本の 美術家たち 第50~ 53回 「吉井忠日記」 注解 1~4	飯野 正仁	あ い だ	191~193、 195	リレーおびにおん 漫画家吉田戦車さん 散歩中だってネタ探 し	太田 啓之 聞き手	朝 日	2.8
美・コレクション 苦境から開いた可能 性 吉井忠「麦の穂 を持つ女」	岸 桂子	毎 日	9.12	おやじのせなか 初 めは激怒いまは応援 吉田戦車さん	岡 雄一郎 聞き手	〃	5.10
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 083 吉岡堅二 馬	野地耕一郎	美術手帖	967	作品と場あるいは空 間との関係 4 場が 作品に影響し作品が 場を刺激する。 作 品を設置すること により空間に異なる気 配を創る。	吉田 晃良	大阪成蹊 大学芸術 学部紀要	8
季を思い 季を染め る 彩りと暮らす 吉岡幸雄	吉岡 幸雄	東京夕刊	5.16	吉田初三郎・金子常 光の鳥瞰図等につい て一平成23年度購入 資料の紹介一	佐藤 良宣	青森県立 郷土館研 究紀要	36
				資料紹介 吉田初三 郎《長野県之温泉と 名勝》	林 誠	長野県立 歴史館研 究紀要	18
				画家吉田博が写した 戦争 油彩、水彩画 など 埼玉で戦後初 公開	佐々木泰造	毎日夕刊	9.24

特集1 吉川靈華展 近代にうまれた線の 探求者 吉川靈華と 吉田包春	松尾 良樹	現代の眼	594	コミック リーチマン 1 米田達郎(作) 家事能力抜群の主夫の 日常	南 信長 朝 日	10.21	
追悼特集 織田廣喜 氏を偲ぶ 絵筆が一本	吉野 毅	新美術新聞	1285	WORLD NEWS キエフ 東欧最大の公立 美術館の設立を目指す ウクライナ発、ピ エンナーレが開幕! [米田知子]	かないみき	美術手帖	971
生老病死の旅路 吉 野辰海さん 青空の 下 当たり前前に表現	井上 晋治 聞き手	読売夕刊	3.12	特輯 岡倉天心生誕 百五十年記念 米原 雲海 清宵	田中 修二 国 華	1400	
特集 制作の現場から 「自作を語る」・ I 私の戦争体験(満 州開拓団)	吉野 誠	自由美術	2012	特集 アートの力を 考える! PART 2 さずな—再生美術の 力 米山郁生 津波 と対[む]かう	高山 淳	美術の窓	348
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 120 吉原治良 黒地 に赤い円	出原 均	美術手帖	967	特集 ぬくもりの表 現 触れたいくなる絵 画 ⑧技法講座 VOL. 26 CASE 5 蓬田阿哉 夢の中の ような情景	蓬田 阿哉	〃	345
吉原英雄再考 「吉 原英雄—画家のドラ マ」を契機に	奥村 泰彦	和歌山県 立近代美 術館ニユ ース	69	新人賞展 依田元明 氏の世界	深澤 義人	自由美術	2012
水の記憶 吉原悠博 映像プロジェクト 吉原悠博氏インタビ ュー	藤田 裕彦 聞き手	雪椿通信	38	特集 制作の現場から 「自作を語る」・ II 「自作を語る」	依田 元明	〃	〃
お手本画&秀作集 其ノ十 吉見公子 《薄雪化粧》	吉見 公子	水墨画*	275	日々好日 萬鉄五郎 の自画像	佐藤 一郎	新美術新聞	1294
特集 拡大・縮小美 術館 立体編 吉見 普光 手のひらサイ ズの物語		美術の窓	350	日韓共同シンポジウ ム特輯 創作と評価 —萬鉄五郎《風船を 持つ女》を中心に—	田中 淳	美術研究	405
編集長対談 吉村誠 司 空間のクオリテ ィ	吉村 誠司、 一井 健司 対談	〃	341	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 015 萬鉄五郎 無題	蔵屋 美香	美術手帖	967
調査報告 日本にお けるサウンド・アー トの展開—『Sound Garden』展(1987-94) と吉村弘の作品分類	中川 克志 金子智太郎	京都国立 近代美術 館研究論 集	4	カジュアル美術館 裸体美人 萬鉄五郎 東京国立近代美術館 日本洋画の転換期	三沢 典丈	東京	10.21
漫画『さんてつ』9日 刊行 吉本浩二さん 被災した岩手の鉄道 を描く ドキュメント の新境地	鈴木 英生	毎日夕刊	3.8				
特集 淀井彩子に寄 せて	イワタルリ	Corridart	9				
3・11後の創造力 上 美術 「作品に なるか…ましていや いつ」[淀川テクニ ック]	渋沢 和彦	産 経	3.9	伝統の否定こそが伝 統 世間の価値観破 る「ちゃわんや」陶 芸作家 樂吉左衛門 さん	内田 洋一	日経夕刊	6.20
彫刻家の現場から 84 米坂ヒデノリ	武田 厚	美術の窓	344	第16回手塚治虫文化 賞 短編賞 「酒の 細道」など ラズウ エル細木さん 飲ん だら止まらない	宮本 茂頼	朝 日	4.23
「工芸な人」に聞く 第十二回 「草工芸 作家」 米田敬子さ ん	田 村 聞き手	五風十雨	65	一九四九年・神戸 (承前)[蘭繁之]	熊田 司	えむえむ	3

(ラ)

	(ル)			2012年日本建築学会 作品選奨 立川市庁 舎[和田直]	建築雑誌	1635
作家訪問422 金属造 形家 留守玲さん	編集部	目の眼	424	作家通信 墨と黒と 麻布	和田 宏子	水墨画* 281
	(ワ)			特集 ベン・シャーン 「世直し画家」の 真実 特別インタビ ュー 和田誠さん、 ベン・シャーンの魅 力を教えてください	芸術新潮	745
カバーインタビュー /WOW	上條 昌宏 インタビュー ・文	A X I S	156	美人画と浮世絵：渡 辺幾春の場合	保崎 裕徳	アートペ ーパー 90
ボイスの足型取り、 あれこれ	若江 漢字	国立国際 美術館ニ ュース	190	読解絵画鑑賞講座18 [渡辺香菜]	ワシオ・ト シヒコ	美術屋・ 百兵衛 22
ART+ 美術家がひ たすら走る[若木く るみ]	(清)	読売夕刊	1.16	特集 アートの力を 考える！ PART 3 渡邊祥行 地域との つながりを重視して	渡邊 祥行	美術の窓 348
お手本画&秀作集 其ノ十七 若狭若州 《世界文化遺産 飛 騨の民家》	若狭 若州	水墨画*	284	フェイス21世紀161 渡部直 かたちのみ ずみずしさを大切に していきたい	松崎 裕子	新美術新 聞 1284
高山祭の「顔」守る職 人魂 からくり人形 修理・復元し38年、 江戸の知恵に驚き	若林 繁夫	日 経	9.27	特集 拡大・縮小美 術館 絵画編 渡辺 妥翁子 一粒一粒描 き込まれた宝石の輝 き		美術の窓 350
寺社の装飾彫刻 若 林純著		〃	1.15			
After 3.11	鷲尾 和彦	産 経				
19 宮城県山元町 たった「1枚」の中 に			2.8	「版画対談」深澤幸雄 米寿記念特別企画 銅版画技法の革新者 たち	深澤 幸雄 渡辺 達正	版画芸術 156
23 神奈川県逗子 市 記憶は私を試 している			4.4	特集 制作の現場か ら…「自作を語る」・ II 自作を語る	渡辺 知平	自由美術 2012
29 宮城県気仙沼 市 海を眺める人 たちと			6.27	2012年日本建築学会 各賞(作品) 真壁伝 承館[渡邊眞理]		建築雑誌 1635
36 宮城県山元町 眺めただけでは分 からない			10.3	フェイス21世紀163 渡抜亮 古典と向き 合い模索する(絵画) の可能性	松崎 裕子	新美術新 聞 1289
41 福島県福島市 阿武隈川 未来へ パンをまく少年			12.12	特集 模写から学ぶ 絵画の技法 渡抜亮 による鉛筆模写実践 於・東京国立博物館	渡抜 亮	美術の窓 349
中特集 心の風景 早稲田郁子 刻まれ た時	編集部	美術の窓	349	名作マンガ再始動 映画化で「新アイデ ィアわいた」るろ うに剣心 和月伸宏	岩本 哲生	朝日夕刊 5.19
わたしの宝もの80 工房一ず!	和田 的	新美術新 聞	1270			
この夏秋、あるいは 和田英作も装幀活動 若干	岩切信一郎	一 寸	52	海 外		
お手本画&秀作集 其ノ九 和田光珀 《黒いストール》	和田 光珀	水墨画*	274		(ア)	
源氏物語全編を書写 2年半で100万字 葛飾の仏画・書家 和田さん[和田大諷]	丹治早智子	東 京	2.24	21世紀のアーティスト ト 亜真里男	ギャラリ ー*	323
				PLAY IT AGAIN, AI WEI WEI—その 後の艾未未	宮本真左美	あいだ 192



特集 画廊とアーティストの繋がり  
MISA SHIN GALLERY×艾未未

ギャラリー 331

あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第84回  
ハリコ・アダッチオの夢世界 あるアマチュア日曜陶藝家の生活と意見

稲賀 繁美 あいだ 189

美・コレクション 研究と支援の相乗効果  
トーマス・アナン 古い小路、ハイ・ストリートの裏通り

岸 桂子 毎日 1.11

夢とは何かを追い求めた記憶『夢の本』  
マリーナ・アブラモヴィッチ《夢の家》約10年の軌跡

吉田 宏子 美術手帖 973

World News Cambridge 「写真と科学 本質的な調和」展  
自然現象と格闘したベレニス・アボットのガチンコ科学写真

前橋 重二 芸術新潮 750

ぎやらりいモール 森美術館「アラブ・エクスプレス展：アラブ美術の今を知る」  
から「シャドウ・サイト I」 ジャナーン・アル・アーニ

近藤 健一 読売夕刊 8.14

INFORMATION EVENT  
パヴェウ・アルトハメル来日  
フィクションとリアリティーが交差する  
パフォーマンス+ビデオ上映会「スター・シテイ」+パフォーマンス

岡村 恵子 美術手帖 962

from the World 蘇る伝説の「ヨーゼフ・アルパースの窓」

小町 英恵 A X I S 156

アルベルティの建築理論における lineamentum の基本的性質について  
絵画理論・彫刻理論における lineamentum とそれに関係するほかの概念に関する考えを参照して「レオン・バッティスタ・アルベルティ」

三木 勲 日本建築学会 計画系論文集 674

1452年の『教皇ニコラウス五世によって新たに承認された都市施政管理官に関する法規』へのアルベルティの関与について

岡北 一孝 679

クリエイターズワーク&ソウル ダン・アレクサンダー

A X I S 158

特集 アートの力を考える！ PART 1  
ジェームズ・アンソール 仮面劇  
ジェームズ・アンソールとアンソールからはじまる「さかのぼり美術史」

小林 晶子 美術の窓 348

ジェームズ・アンソール—写真と幻想の系譜—

東京夕刊

上 シニカルに笑う画家の精神  
イーゼルに向かう自画像

坂井 真紀 9.26

中 生の実相問い続ける瞳  
絵を描く骸骨

小池 寿子 9.27

下 絶妙なチープ感  
陰謀

辛酸なめ子 9.28

第六十三回美学会全国大会報告 発表要旨  
アントネッロ・ダ・メッシーナ作《受胎告知のマリア》の凶像源泉をめぐって

衣傘 弥生 美 学 241

(イ)

ARTIST INTERVIEW  
イ・ブル

片岡 真実 美術手帖 965

現代美術の歩き方  
今月の一品 イ・ブル  
ブルーノ・タウトに倣って(物事の甘きを自覚せよ)(部分)

美術の窓 342

4「読ん」で知るアート  
食と現代アート  
醜い姿、それもまた作品【イ・ブル】

岡部あおみ 朝日夕刊 6.6

印刷文化のルーツを守る鋼鉄のプライド  
金属活字匠 林仁鎬  
【イム・イノ】

朴 炫淑 コリアナ 19-2  
金 明順 訳

(ウ)

INFORMATION MEMORIAL 追悼  
ダヴィッド・ヴァイス  
「長い間、僕の姿を見ていない人々は、僕が消えちゃったって思うかな？」(ヴァイスのノートより)

北出智恵子 美術手帖 969

V・ヴァザルリの色彩特性[ヴィクトル・ヴァザルリ]	金 尾頸	九州産業大学芸術学会研究報告	43	アジアから世界へ文化部門 シビル・ウェッタシンハ氏(スリランカの絵本作家) 子ども心失わず極上の物語描く	岩城 聡 日 経	5.4
海外通信 「中国におけるアニエス・ヴァルダの浜辺」展 世界を「見る」象徴	多田 麻美	朝日夕刊	3.28	美少女をつれ去る「死の天使」超新古典主義的センチメンタリズム[オラース・ヴェルネ]	森川もなみ 国立新美術館ニュース	22
收藏品から 《無題》 クロード・ヴィアラ	野田 尚稔	世田谷美術館だよ	90	特集 美術と検閲 原典資料紹介 パオロ・ヴェロネーゼの異端審問調書	水野 千依 西洋美術研究	16
ブッサンとヴィーリクス[ヒエロニムス・ヴィーリクス]	木村 三郎	日本大学芸術学部紀要	56	論文要旨《修士》 パオロ・ヴェロネーゼ研究	鹿子島安希 美術史論集	12
3・11後の創造力 上 美術 「作品になるか…ましていやいつ」[ビル・ヴィオラ]	渋谷 和彦	産 経	3.9	SPECIAL FEATURE Chim ↑ Pom プレゼンツ REAL TIMES GALLERY & INTERVIEWS 世界各国の22組が登場! スーパーラットな表現者たち		美術手帖 964
SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART 2 アート界を動かすキーパーソン COLUMN 1 ARTIST イーフラックス[アントン・ヴイドクル]	藤森 愛実	美術手帖	962	ARTIST INTERVIEW VOINA 今ロシアで何が起きているのか?	Chim ↑ Pom 聞き手 アンドレイ・ボルド、編集部構成	
例会発表要旨 第121回例会: イタリアの光 知的表象の試みとしてのブッサン受容—18世紀半ばのローマにおける風景面制作[リチャード・ウィルソン]	金沢 文緒	日仏美術学会会報	31	COLUMN 戦争の幕開け ロシア社会におけるヴォイナ	アニヤ・パントウエヴァ	
from the World ワイマール芸術祭「ペレリナージュ」舞台芸術の巨匠とデザイン学生の異色のコラボ[ロバート・ウィルソン]	小町 英恵	A X I S	160	アンディ・ウォーホルの研究ノート—1966年の転機をめぐって	安河内宏法 京都市美術館年報	H22年度
World News Forli 「ヴィルト ミケランジェロからクリムトにいたる魂とフォルム」展 アドルフォ・ヴィルト 古典と反古典を止揚した彫刻家	高橋 恵里	芸術新潮	748	春爛漫アートのスポット開花宣言! 日牟禮 ヴィレージ たねや・クラブハリエ[ウィリアム・メレル・ヴォーリス]		芸術新潮 749
World News Paris 「モイ・ウェール 見開き」展 知られざるパリの街角写真家モイ・ウェールの見開き構成術	羽生のり子	取材	755	コラム 岩手・宮城・福島を訪れた3人の外国人建築家[ウィリアム・メレル・ヴォーリス]	大沼 正寛 建築雑誌	1626
INFORMATION MEMORIAL 追悼フ란ツ・ヴェスト 伝統の継承、幸福の希求—フ란ツ・ヴェスト追悼	ピエル・ルイジ・タツツイ 文 編集部 訳	美術手帖	974	レヒネル・エデンの建築デザインにおけるハンガリー性の表象とベルリン体験—郵便貯金局を中心に—	足立 純子 建築史学	58

(エ)

2012夏・秋 名画に会いに行く 一歩進んだ展覧会ガイド Case 6 エル・グレコ マニエリスムの巨匠、このねじれを見よ		美術の窓	346	ヴィクトール・オルタ作《オルタ邸》—食堂のデザインに関する一考察—	小田 藍生	美術史研究	50
イリヤ・エレンブルグの写真集 『私のパリ』におけるベルヴィルの表象について(1)	椎原 伸博	実践女子大学文学部紀要	54	消費優先社会への警鐘 ミラノ[ルーシ・オルタ/ジョージ・オルタ]	矢島みゆき	読売夕刊	4.11
				コンテンポラリー・ファインアート 第5回 ガブリエル・オロスコとメキシコ性	大森 俊克	美術手帖	962
(オ)							
作家通信 郎世寧の肖像画	王 凱	水墨画*	276	(カ)			
歳・月・人 王子江	王 子江	〃	277	Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情第5回 何家英	梶川 強	ギャラリー一*	327
特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 王子江 清水寺の冬	〃	〃	282	表紙作品・作家解説(表)何家英《秋冥》	原田 平作	美術フォーラム21	26
現代美術の歩き方 今月の一品 「Double Bed (Two Curtains Together)」リチャード・オードリッチ	梶田 倫広	美術の窓	346	トマス・ガーティン《エクセター大聖堂》の創意をめぐって	富岡 進一	郡山市立美術館研究紀要	7
半歩遅れの読書術 砂を集める趣味 虚飾のない美しさに陶酔[ジョージア・オキーフ]	稲葉 真弓	日 経	4.1	不思議な出会い。三つの作品をめぐって[フリーダ・カーロ]	深谷 克典	アートペーパー	89
メトロポリタン美術館展から 夫婦それぞれの感性[ジョージア・オキーフ]	高野 清見	読売夕刊	10.16	ギュスターヴ・カイユボットのジャポニスム	及川 茂	浮世絵芸術	164
特集 西洋美術とジェンダー—視ることの制度 現代美術における《蒐集》の技法とジェンダー—コレクションの主観性/作家性[アンナ・オッパーマン]	香川 檀	言語文化	29	研究報告 ギュスターヴ・カイユボット《ピアノを弾く若い男》	新畑 泰秀	ブリヂストン・石橋美術館報*	60
SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3 Artist Files リサ・オッペンハイム デジタル・イメージとプリント要素の混合	藤森 愛実	美術手帖	971	建築家アントニ・ガウディと美学者マヌエル・ミラの諸思想の関係について 建築家アントニ・ガウディの建築論的言説に関する研究(2)	山村 健之 入江 正之	日本建築学会計画系論文集	672
ガラス玉で夢をつむぐ ジャン=ミシェル・オトニエル		芸術新潮	747	井上雄彦 『pepita』 刊行[アントニオ・ガウディ]	道丸 麻耶 産 経		3.1
現代美術の歩き方 今月の一品 「Kokoro」ジャン=ミシェル・オトニエル	あおのかずこ	美術の窓	345	お手本画&秀作集 其ノ十一 郭朝勇 《高山流水自成音》	郭 朝勇	水墨画*	276
クリエイターズワーク&ソウル OSA[ディック・オランゴ]		A X I S	160	眼と脳がアートを創造[つく]る 第9、10回 メアリー・カサットの場(前・後編)	深作 秀春	美術の窓	348, 349
				新収蔵作品 ヴィンチェンツォ・カテーナ《聖母子と幼い洗礼者ヨハネ》	高梨 光正	国立西洋美術館報	46

World News New York 「マウリツィオ・カテランの全て」イタリア現代美術界のお騒がせ男 マウリツィオ・カテランの宙吊り回顧展	由本みどり 取材	芸術新潮	745	特集1 越境する日本人 東アジア圏のトランスナショナルデザイン史に向けて：顔水龍の工芸デザイン運動	菊池 裕子	現代の眼	593
現在通信 From NEW YORK カテランの「すべて」?	富井 玲子	新美術新聞	1268	お手本画&秀作集 其ノ九 関乃平《シヤングリヲの人々—望—》	関 乃平	水墨画*	274
18世紀ロンドンの表象と都市景観画—カナレットを中心として—	保谷 朋子	日本女子大学大学院文学研究科紀要	18	お手本画&秀作集 其ノ十四 寒梅人《希望》	寒 梅人	〃	279
World News Hannover 「イリヤ・カバコフ 絵画への回帰」展 カバコフはやっぱり絵画がお好き?	かないみき 取材	芸術新潮	749	通信 J to A アジアへ42 不屈の「現代美術」—ミャンマーのガンゴ・ヴィレッジ[ガンゴ・ヴィレッジ・アート・グループ]	黒田 雷児	新美術新聞	1301
カラヴァッジョ・闇のなりたち	斎藤 國靖	武蔵野美術大学研究紀要	42	ジョセフ・ガンディの幻想的建築画《伏魔殿》Pandemoniumにおける“ピクチャレスク”と崇高	日下 洋平	文化学年報	61
残照—ダニ・カラヴァン回顧展	酒井 忠康	世田谷美術館紀要	13	研究報告 芸大所蔵カンディンスキー《白樺(森の中の女たち)》の来歴と画面構造の多義性[ヴァシリー・カンディンスキー]	黒田 和士	東京芸術大学美術館年報	H22年度
宮城県美術館蔵 Dani Karavan 作「マアヤン」の保存修復 [ダニ・カラヴァン]	藤原 徹	東北芸工大保存修復センター年報*	3	from the World 衣食住を包括的に扱うメソッド&オブジェの提案[カンバーナ・ブラザーズ]	編集部 上條 昌宏	A X I S	156
彫刻家 ダニ・カラヴァンさんの魅力 作品に込める土地の歴史 世田谷美術館館長 酒井忠康さん	渋沢 和彦	産 経	7.11	ロベール・カンパンの「聖三位一体/父なる神のピエタ/恩寵の御座」—初期ネーデルラント絵画におけるその位置づけ—	鈴木 伸子	鹿島美術財団年報・別冊	29
平成二十三年度東支部例会 アンニバレ・カラッチによる版画の利用—ファルネーゼ宮“カメリーノ”天井装飾をめぐる—	渡辺 晋輔	美術史	172				
作品調査報告—ルドヴィーコ・カラッチ《ダリウスの家族》	高梨 光正	国立西洋美術館研究紀要	17				
美の履歴書265 何を考えているのか 「想い」 ウジェーヌ・カリエール	高橋 昌宏	朝日夕刊	8.1				
カルティエ=ブレッソンをめぐる言説—20世紀写真の受容研究—[アンリ・カルティエ=ブレッソン]	佐々木悠介	鹿島美術財団年報・別冊	29			美術の窓	348
ガレのジャポニズム再考—着想源としての自然観察—[エミール・ガレ]	三谷 史	文化学年報	61			コリアナ	19-3
修士論文概要 アンドレイ・カレーリンの写真—演劇と絵画のあいだ—	栗本 麻央	早稲田大学大学院文学研究科紀要	57	特集1 21世紀の無形文化遺産 胸を熱くする打楽五重奏 陶器匠：キム・イルマン[金一万]	朴坂野 訳 炫淑 慎治	〃	19-4
				巨匠 木の家具を「宝石」で飾る豆錫匠 金克千	朴 金 炫淑 明順 訳	〃	19-4

(キ)

特集1 21世紀の無形文化遺産 宇宙の原理に沿った作業 輪匠匠：キム・ジョンデ[金鍾岱]	朴坂野 炫淑 慎治	19-3	第六十三回美学会全国大会報告 発表要旨 クラーナハ(父)の《メランコリー》連作に関する一考察—一五三〇年前後の「愛の教訓」との関連を中心に—[ルーカス・クラナハ]	伊藤 麻衣 美 学	241
アート・レビュー 息を紡ぎ人生を縫う 金守子の「ツー・プレス展」[キム・スジヤ]	高金 美錫 明順	19-4	收藏作品から グラビュス《後期のピカソ1953—1973展》	片岸 昭二 ど お む	117
巨匠 保存と修復の芸術—箱貼匠・金杓永	朴金 炫淑 明順	19-1	建築家ラルフ・アダムス・クラムの津田塾大学キャンパス計画に関する研究	横手 義洋 日本建築学会 学計画系 論文集	671
ぎやらりいモール 多摩美術大学美術館「エリック・ギルのタイポグラフィ」から「キリストの埋葬」(「四福音書」より) エリック・ギル	吉田 公子	読売夕刊 1.17	4 [読ん]で知るアート 挿絵 挿絵を超える独創性[グランヴィル]	鹿島 茂 朝日夕刊	10.10
連載 フレスコ八景 第四景[ドメニコ・ギルランダイオ]	宮下 孝晴	フレスコ壁画研究センター ニュース* 4	19世紀イタリアにおける美術品流通—カメリーフ由来のカルロ・クリヴェッリ作祭壇画をめぐる—	上原 真依 鹿島美術財団年報・別冊	29
作家通信 チベット旅行	金 醒石	水墨画* 278	平成二三年度哲学会春季大会 研究発表要旨 グスタフ・クリムトの《哲学》について	園田恵梨果 関西大学 哲学	30
特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 金醒石 窺	〃	〃 282	グスタフ・クリムトにおける素描の役割：1880年代後半から1890年頃にかけて	前田 朋美 美学美術史研究論集	26
荒川修作・M.ギンズ著『意味のメカニズム』を読む(1)—視覚言語体系の確立のために[マドリン・ギンズ]	森田 恒之 藤井 真希 須貝 真旭	愛知県立芸術大学 紀要 41	特集 耽美な世界へようこそ グスタフ・クリムト生誕150周年	松井 隆夫 美術の窓	342
(ク)					
特集 アートの力を考える! PART 1 3C ニューペインティング・魂を描く フランチェスコ・クレメンテ エンツォ・クッキ サンドロ・キア		美術の窓 348	歐人異聞 ふたりのグスタフ、世紀末の不満[グスタフ・クリムト]	樺山 紘一 日 経	7.29
特集 アートの力を考える! PART 1 アントニー・クラッベ 光とインスピレーション		〃 〃	〈イーゼンハイム祭壇画〉《キリスト復活》に関する一考察—「オランス型」キリストの機能をめぐって— [マティアス・グリューネヴァルト]	大杉 千尋 美術史	173
思うままに クライスバーグの芸術 自然破壊を告発[フランス・クライスバーグ]	梅原 猛	東京夕刊 2.27	論文要旨《修士》 グリューネヴァルト研究—(イーゼンハイム祭壇画)《キリスト復活》におけるキリストの形態とその意義	〃 美術史論集	12
日本の現代美術 海外展から 下 東西写真家の対話に焦点「ウィリアム・クライン+森山大道」展	大竹 昭子	日経夕刊 12.28	美の履歴書286 男は何をしているのか「行為」(連作(手袋)より) マックス・クリンガー	大西 若人 朝日夕刊	12.26

SPECIAL FEATURE

写真2.0 PART 1  
Focus 2 アンドレアス・グルスキー 河合 純枝 美術手帖 971

パウル・クレール・センターを訪れて 原沢 暁子 アートペーパー 88

絵画と音楽の絆『クレールの日記』から(その1)[パウル・クレール] 林 紀一郎 WaveII 6

特別寄稿 船と都市、子供と夢 ―パウル・クレール小論 後編 池澤 夏樹 芸術新潮 745

中特集 心の風景  
パウル・クレール 背後にある現実 美術の窓 349

特集 アートの力を考える! PART 1  
3C ニューペインティング・魂を描く  
フランチェスコ・クレメンテ エンツォ・クッキ サンドロ・キア 美術屋・百兵衛 20

海外アーティストインタビュー イヴォンヌ・クレルジュリ 美術屋・百兵衛 20

ポール・クローデルと関大ゆかりの人びと ―パリ・東京・千里山をつなぐ人脈 浜本 隆志 関西大学年史紀要 21

この一点「ドビュッシー 音楽と美術」展 中 カミーユ・クローデル「ワルツ」 悲劇的な男女の情愛 馬淵 明子 日経夕刊 8.24

(ケ)

Cage→Today [ジョン・ケージ] 大友 良英 A A C 72

from the World 建築との親和性を体現する新たなパフォーミングアーツの殿堂[フランク・ゲーリー] 吉田 実香 A X I S 156

from the World ヴェネチアからのイメージ カーテン・インスタレーション「レブリカ」[ゲアハルト・ケラーマン] 小町 英恵 160

WORLD NEWS ロサンジェルス アート・モンスター、進撃の後に死の虹のかなたへ―追悼 マイク・ケリー 廣 里果 美術手帖 966

視線 それ行け!! 珍バイク ハンス・ケンプ著 大西 若人 朝 日 7.1

(コ)

上級者に贈る 創作への道2 自然と融合し、新たな表現を創り出す 呉 一騏 水墨画\* 278

丹青閑話 第十八話 吳冠中「逍遥遊」 島尾 新 美術の窓 348

呉昌碩書画の長崎における受容について 松村 茂樹 大妻女子大学紀要 44

日本における呉昌碩の受容―大正・昭和編(四) 中国近現代文化研究 13

田中一村と海上派―呉昌碩に魅せられたものと《クワズイモとソテツ》 森下麻衣子 美学芸術学 27

ポール・ゴーガンとフランス人コレクター―作品の創造と蒐集をめぐる政治学、一八八〇―一九一〇年 小泉 順也 実践女子大学美学美術史学 26

展覧会評 「ポール・ゴーガン、近代性への突破」展 「ポール・ゴーガン、神話の創造者」展 西洋美術研究 16

ゴーギャンの《浅瀬(逃走)》における意味の多重性について 田中可手奈 美学論究 27

箱に詰めた物語[ジョセフ・コーネル] 綱島 雄太 日 経 4.12

ゴームリーの彫刻が葉山に[アントニー・ゴームリー] 朝日夕刊 9.5

人々を映し支える天使 彫刻家ゴームリー 西岡 一正 11.28

メトロポリタン美術館展―私の1点 乱開発 危機感伝わる [トマス・コール] 千住 博 読 売 11.9

著者に会いたい レム・コールハースさん プロジェクト・ジャパン メタポリズムは語る 日本の建築家から聞き取り 大西 若人 朝 日 4.29

オランダ人建築家レム・コールハースさん来日会見 戦後日本のメタポリズム 丹下健三の役割大きく 手塚さや香 毎日夕刊 7.4

from the World ショップを立ち上げたボンチェとコクセッジ[ポール・コクセッジ]	中島 燕子	A X I S	158	SPECIAL FEATURE デミアン・ハースト PART 2 : INTERVIEW マット・コリショー アーティスト	マット・コリショー 談 伊東 豊子 取材・文	美術手帖	969
この人 トヨタ研究の仏人芸術家 ジェラルディン・コジアックさん 織物から出発し、伝統とモダンを兼備	石屋 法道	東京	5.12	SPECIAL FEATURE ライアン・マッキングレー ニュー YORK の若きスーパースター 自由と躍動、生命の輝きあふれる理想郷 INTERVIEW 2 ダン・コレン	藤森 愛実	〃	976
PARIS 発 ゴッホと広重	安部 雅延	新美術新聞	1299	フランソワ・ブーシェによるタピスリー連作(オペラの断章) —シャルル・コワペルとの対抗関係をめぐって—	小林亜紀子	東京芸術大学美術学部論叢	8
視点 ファン・ゴッホ「農夫」の真相に迫る! 非破壊科学調査の内容について	重藤 嘉代	美術の窓	345	作品 「Colorful DAEGU」 「Beautiful DAEGU」	孔 鎮烈	秋田公立美術工芸短期大学紀要	16
眼と脳がアートを創造[つく]る 第7、8回 ゴッホの場合(前・後編)	深作 秀春	〃	346、347	4 [読ん]で知るアート 食と現代アート 一粒に込めた愛の形 [フェリックス・ゴンザレス=トレス]	岡部あおみ	朝日夕刊	6.20
彩・美・風 ゴッホのすさまじい使命感	林 綾野	朝日夕刊	1.11	A La Meiji-mura 一丁倫敦の記憶[ジョサイア・コンドル]		明治村だより	69
ゴッホ作でした 絵の具・筆遣い 最新 X線調査で判明	野島 淳	〃	3.21	(サ)			
ゴッホの作品だった X線で別の顔 顔料など一致 オランダで約40年所蔵		東京夕刊	3.22	作家通信 齊夢章先生をしのぶ	沈 和年	水墨画*	276
欧人異聞 セザンヌとゴッホの岐路	樺山 絃一	日 経	5.13	ARTIST INTERVIEW アンリ・サラ	植松 由佳 聞き手 松浦 直美 翻訳・構成	美術手帖	963
記者ノート ゴッホ「農婦」の制作意図	木村 未来	読 売	4.5	須磨コレクションのスペイン近代絵画三作品に関する調査報告[エミリオ・サラ]	川瀬 佑介	長崎県美術館研究紀要	5
「糸杉」ペール脱ぐ [フィンセント・ファン・ゴッホ]		〃	10.4	from the World 実現可能なユートピアとしての空中都市 トマス・サラセーノの「クラウド・シティーズ」	小町 英恵	A X I S	155
メトロポリタン美術館展から ゴッホ流 賛美の模写	高野 清見	読売夕刊	10.13	World News New York 「トマス・サラセーノ クラウド・シティ」展 NY夏の風物詩、メトの屋上にトマス・サラセーノのジャングルジム出現	由本みどり 取材	芸術新潮	752
ぎやらしいモール 東京都美術館「メトロポリタン美術館展」から「糸杉」 フィンセント・ファン・ゴッホ	中原 淳行	〃	10.30	ARTIST INTERVIEW トマス・サラセーノ	難波 祐子 聞き手	美術手帖	973
コラム ゴヤは本当に恐ろしい—【ロマンの系譜 怪奇幻想玉手箱】に寄せて[フランシスコ・デ・ゴヤ]	雪山 行二	ど お む	119				
美の履歴書235 本当に「下町の女」か 「着衣のマハ」 フランシスコ・デ・ゴヤ	西岡 一正	朝日夕刊	1.4				
欧人異聞 ゴドイが愛した「裸のマハ」 [フランシスコ・デ・ゴヤ]	樺山 絃一	日 経	6.17				

ぎやらりいモール  
ワタリウム美術館  
「歴史の天使 アイ  
・ラブ・アート」12  
写真展から「失業  
中の水夫」アウグ  
スト・ザンダー  
森 亜希子 読売夕刊 9.25

街角アート 彫刻に  
絵を描く彫刻家[ニ  
キ・ド・サンファル]  
星野 清一 新美術新  
聞 1276

(シ)

World News New  
York 「サラ・ジー  
無限の線」展 サラ  
・ジーの切り絵イン  
スタレーション山水  
由本みどり  
取材 芸術新潮 747

SPECIAL FEATURE  
写真2.0 PART 3  
Artist Files クリス  
ティーナ・シーリー  
光が写し出す、ソー  
シャル・ランドスケ  
ープ  
藤森 愛実 美術手帖 971

特集 アートの力を  
考える! PART 1  
エゴン・シーレ 死  
と対[むか]いあう青  
春  
美術の窓 348

SPECIAL FEATURE  
Chim ↑ Pom プレゼ  
ンツ REAL TIMES  
GALLERY & INTER  
VIEWS 世界各国の  
22組が登場! スーパ  
ーラットな表現者た  
ち ARTIST TALK  
JR スピーチ アー  
トを通して世界をひ  
っくり返す  
編集 部  
構成 美術手帖 964

エッセイ ジャン＝  
レオン・ジェローム  
の「仏陀」と「獅子」  
稲賀 繁美 ジャポニ  
スム研究 32

ARTIST INTERVIEW  
沈崇道[シェン・チ  
ョンタオ]  
手嶋 剛 美術手帖 975  
聞き手

特集 西洋美術とジ  
ェンダー— 視ること  
の制度 「偉大さ」と  
女性芸術家の神話  
[アルテミジア・ジ  
ェンティレスキ]  
米村 典子 言語文化 29

研究報告 アルフレ  
ッド・シスレー《森  
へ行く女たち》  
賀川 恭子 ブリヂス  
トン・石  
橋美術館  
報\* 60

大特集 永遠のイス  
タンブル 東西の  
美と出会う都 第V  
章 ドームとアーチ  
の巨匠 ミーマール  
・シナンの建てまく  
り一代記  
ジラルデッ  
リ青木美由  
紀 芸術新潮 753

シニャックの水彩素  
描—茨城県近代美術  
館蔵の4点[ポール  
・シニャック]  
舟木 力英 茨城県近  
代美術館  
だより 93

ゴットフリート・シ  
ャードゥ作《マルク  
伯爵》に関する一考  
察—死と眠りの狭間  
で—  
尾関 幸 東京学芸  
大学紀要 64

World News New  
York 「シンディ・シ  
ャーマン」展 いろ  
んな人に化けてきた  
シャーマン総ざらい  
由本みどり  
取材 芸術新潮 749

REVIEWS02 清水 穰  
月評第46回 可笑し  
くて、やがて哀しき  
マダムたち 「シン  
ディ・シャーマン」  
新作展  
清水 穰 美術手帖 969

特別展 ベン・シャ  
ーン クロスメディ  
ア・アーティスト—  
写真・絵画・グラフ  
ィックアート—  
高嶋雄一郎 岡山県立  
美術館ニ  
ュース 96

特集 ベン・シャ  
ーン 「世直し画家」の  
真実  
芸術新潮 745

第一章 ベン・シ  
ャーンからのメッ  
セージ 3.11後福  
島で考える  
荒木 康子

特別インタビュー  
和田誠さん、ベン  
・シャーンの魅力  
を教えてください

第二章 ヘタウマ  
写真家のまなざし  
増田 玲  
答える人

第三章 ベン・シ  
ャーンの声が聴こ  
える たどり着い  
たグラフィック・  
ワーク  
沼辺 信一

ローカル・ガイド  
1960年、京都にて  
編集 部

特集 世界をさわる  
手法を求めて ユニ  
バーサル・ミュー  
ジアムの可能性 ベン  
・シャーンをさわる、  
見る、聞く—平面作  
品への重層的なア  
プローチ  
真下 弥生 みんなく 418

3・11後を生きる  
非核×芸術案内 不  
気味な異形で描く  
「パイプの森の放浪  
者」 水木しげる  
1979年「珊瑚礁の  
怪物」 ベン・シャ  
ーン 1957年  
岡村 幸宣 東京 8.2



①展覧会 ベン・シャーン クロスメディア・アーティスト 思索の軌跡伝える写真	岸 桂子	毎日夕刊	1.10	19世紀における自然科学の作品化と「崇高」—アーダルベルト・シュティフターの文学—	中野 逸雄	芸術研究	25
「ベン・シャーン クロスメディア・アーティスト」難解な中に見える誠実	前田 恭二	読 売	1.12	海外通信 @北京 沈遠「天梯」程大鵬「可楽樂園」急速な発展に冷めた視線	多田 麻美	朝日夕刊	8.29
視点 シャガール展を見る[マルク・シャガール]	速水 史朗	美術の窓	347	お手本画&秀作集 其ノ十 沈強《巖壑秋色図》	沈 強	水墨画*	275
ジャコメッティと詩人たち(2) 空虚を抱く手(今、空虚)—ポヌフォアとジャコメッティ(1)[アルベルト・ジャコメッティ]	桑田 光平	ART TRACE PRESS	2	ダヤニータ・シン ある写真家の冒険	畠山 直哉	美術手帖	963
特集 セザンヌにはどう視えているか Etude ジャコメッティの林檎	〃	ユリイカ	609	水墨再見 技	沈 和年	水墨画*	
美の履歴書263 どこまでが作品なのか「無題 No. 306」ドナルド・ジャッド	大西 若人	朝日夕刊	7.18	与謝蕪村《鴛鴦図》のうち《鴛鴦図》			274
現代美術の歩き方 今月の一品 ハッサン・シャリフ「Weaving」	清水 敏男	美術の窓	349	酒井抱一《紅梅図》			275
短期集中連載 シャルダン 知られざる巨匠がやってくる 1~4 [ジャン=バティスト=シメオン・シャルダン]		芸術新潮	751~754	岡田半江《春鶯起鴉図》			276
静物と人物のあいだ シャルダンの「語らない風俗画」の魅力	大野 芳材	〃	755	作家通信	〃	〃	
Loeil 美は語る 14 シャルダン 静謐で奥深い世界	安井 裕緒	美術の窓	349	齊夢章先生をしのぶ			〃
戌も歩けば beau[ボー]に当たる 第三十七回 平凡のなかの非凡 [ジャン=バティスト=シメオン・シャルダン]	竹田 博志	〃	350	水墨画世界へ著者の参入に注目			285
目は語る アート逍遥 11月 シャルダンの絵画世界 感情で描かれた静謐な輝き	高階 秀爾	毎日夕刊	11.28	論考の主題にみるルドルフ・シンドラーの空間構成の方針と手法	末包 伸吾	日本建築学会計画系論文集	673
アール・デコ 光のエレガンス 3 ビエール・シャロー 椅子 シンプルでも漂う贅沢さ	海野 弘	東京夕刊	7.19	(ス)			
作家通信 日本と中国の芸術をつなぐ大連の「江屹芸術空間」[ジャン・イー]	江 屹	水墨画*	275	ARTIST INTERVIEW ス・ドホ	飯田志保子	美術手帖	974
				Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情	梶川 強	ギャラリー*	
				第1回 薛松[スエ・ソン]			323
				第3回 中国、台湾、香港の主要オークション落札価格[薛松]			325
				海外通信 @ベルン ショーン・スカリー 展 「窓」が生み出すエネルギー	里信 邦子	朝日夕刊	5.2
				World News Venezia 「カルロ・スカルパ ヴェネーニ 1932-1947」展 ヴェネツィアの新名所「ガラスの部屋」 柿(こけら)落としは建築家スカルパのヴェネツィアン・グラス	持丸 文恵	芸術新潮	756

コミック 闇の国々 B. ベーターズ(作) F. スカイテン(画) 精緻な異世界が招く 抽象性[フランソワ ・スカイテン]	ササキバラ ・ゴウ	朝 日	3.11	水俣 時を超えて写 す 悲劇伝えた写真 家のび、三十数年 越しの再訪[ユー ジ・スミス]	石川 武史	日 経	11.2
ブロック報告 中国 ブロック 広島から 発信する、オノ・ヨ ーコの新作メッセ ージ[サイモン・ス ターリング]	神谷 幸江	ZENBI	1	初期ロバート・スミ ッソン	小西 信之	愛知県立 芸術大学 紀要	41
特集1 開館六〇周年 記念企画「夏の家」 スタジオ・ムンバイ と越境する可能性	ケン・タダ シ・オオシ マ	現代の眼	595	ルイ・フィリップの スペイン・ギャラ リー—グルノーブル 美術館所蔵のスル バランの《受胎告知》、 《羊飼いの礼拝》、 《東方三博士の礼拝》、 《割礼》に関する調査 —[フランシスコ・ スルバラン]	石井美佐子	鹿島美術 財団年報 ・別冊	29
実物で味わう建築展 示 震災後の住まい、 職人と探る インド の「スタジオ・ムン バイ」	大西 若人	朝日夕刊	9.12	スルバラン研究— 《ナザレトの家の聖 母とキリスト》につ いて—	中込 恵	哲学会誌	36
メトロポリタン美術 館展から 夫婦それ ぞれの感性[アルフ レッド・ステイーグ リッツ]	高野 清見	読売夕刊	10.16	スルバランの様式発 展と「ラス・クエバ ス三部作」	坂本 龍太	美術史研 究	50
World News Paris 「ルイ・ステール 斬新さの揺さぶり」 展 アル・ブリュ ットから解放された 素描家ルイ・ステ ール再評価	羽生のり子 取材	芸術新潮	753	不思議な出会い。三 つの作品をめぐって [ジョン・スローン]	深谷 克典	アートペ ーパー	89
ピークオド号、薔薇 薔号に遭う フラン ク・ステラ		KENBI LETTER	77	(七)			
World News Paris 「マルセル・スト ール 未来を見る建 築者」展 マルセル ・ストール 塔に魅 せられた森の掃除夫	羽生のり子 取材	芸術新潮	747	SPECIAL FEATURE Chim ↑ Pom プレ ゼンツ REAL TIMES GALLERY & INTER- VIEWS 世界各国の 22組が登場！スー パラットな表現者 たち ARTIST INTER- VIEW ゼウス ヴィ ジュアル・キッドナ ッピングとは何だ ったのか	Chim ↑ Pom 聞き手 松下 構成	学 美術手帖	964
美の履歴書250 この コマを選んだ理由 「タイムズスクエア、 ジェームス・ディ ーン、1955」 デニス ・ストック	西岡 一正	朝日夕刊	4.18	現代中国巧藝事情67 長安画派三傑の一人 ・石魯1~4	仲 佑樹	書道界	266, 268 ~270
「フランチェスコ1 世のストゥディオ オーロ」におけるフ ラントル絵画の影 響について—ジョ ヴァンニ・ストラ ダーノを中心に—	嶋本亜未子	鹿島美術 財団年報 ・別冊	29	リズモロジーの方 へ2—セザンヌリ ズム 上[ポール・ セザンヌ]	佐藤 雄一	ART TRACE PRESS	2
NAVI & navi テーマ 「雨」心に潤いを 与えてくれる 逃 げ込めば何が 始まる [ピーター ・スピア ー]	飯田 有美 塩野 米松	読売夕刊	6.23	特集 西洋美術と ジェンダー—視 ることの制度 オランピア、 ナナ、そして 永遠の女性— マネ、ゾラ、 セザンヌにお ける絵の中の 女の眼差し	吉田 典子	言語文化	29
				セザンヌのバリ 滞在の意味	永井 隆則	国立新 美術館 ニュース	22

セザンヌ展特集 現代を代表する10名の洋画家による「セザンヌ観」	入江 観 藤 彰子 遠 英 津 敏 奥 博 谷 寛 桜井 泰 佐藤 生 野 ぬい 馬 陽子 越 健 野 貞 山本	新美術新聞	1280	天使と闘うクロード『制作』におけるゾラとセザンヌ	福田 美雪		
日々好日 セザンヌが描いたもの	藤田 新	"	1288	特集 セザンヌにはどう視えているか 絶対の探求	"	"	
美術への新視点 セザンヌと蒸気鉄道3~5	秋丸 知貴	日本美術新聞	3~5	思考するイメージ、イメージする思考 セザンヌと解釈者たち	岡田 温司		
特集 セザンヌにはどう視えているか Nature vivre! 絵筆の一振り セザンヌとともに考えるために	松浦 寿夫 林 道郎	ユリイカ	609	描かれた知覚論 メルロ=ポンティのセザンヌ解釈	横山 奈那		
特集 セザンヌにはどう視えているか Eclogae		"	"	非-感覚の論理 ジョン・リウオールドの理性	星野 太		
セザンヌの絵の前で	與謝野文子			ジュールダンの小屋	荒川 徹		
庭師ヴァリエのいるテラス	末永 照和			特集 セザンヌにはどう視えているか Etude	"	"	
セザンヌの描いた女性像	永井 隆則			セザンヌ・ヴァリアント 芸術はいかに鳴りうるか	山口 一郎 編集部 聞き手		
初期セザンヌの暴力とエロティシズム	荻野 厚志			記憶に依らずに見ること	鈴木 理策		
特集 セザンヌにはどう視えているか 感覚の氾濫		"	"	ジャコメッティの林檎	桑田 光平		
映るものと移ろうもの	野見山 暁治 編 集 部 聞き手			両手を組み合わせる仕草 ユイレとストローブの映画『セザンヌ』	持田 睦		
テーブル絵画論序説	松浦 寿夫			4〔読ん〕で知るアート 画家のパートナー 冷えきったセザンヌの夫婦仲	千足 伸行	朝日夕刊	5.23
多重周期構造 セザンヌのクラスター・ストローク	平倉 圭			美の美 セザンヌ再発見 上、中、下	宝玉 正彦	日 経	3.18、25、4.1
セザンヌの中間地帯	池田 剛介			文化往来 セザンヌの魅力読み解く雑誌・書籍続々	"	"	4.27
具体的な抽象 セザンヌ主要作品解題	荒川 徹			欧人異聞 セザンヌとゴッホの岐路	樺山 紘一	"	5.13
特集 セザンヌにはどう視えているか Correspondances		"	"	私の一点「セザンヌ一パリとプロヴァンス」展		日経夕刊	
詩人リルケ渾身のセザンヌ接近 リルケ『セザンヌ書簡』	神品 芳夫			1 「大きな松の木と赤い大地」 みなぎる緊張感	荒川 詔四		5.8
自然が与えるモデルニテ セザンヌとマラルメ	熊谷 謙介			2 「トロネの道とサント=ヴィクトワール山」 描いたのは「力」	野見山 暁治		5.9
				目は語る アート逍遥 4月 セザンヌと二つの土地 パリと南仏 風土のたまもの	高階 秀爾	毎日夕刊	4.18

ぎやらりいモール  
ブリヂストン美術館  
「パリへ渡った『石橋  
コレクション』1962  
年、春」から「サン  
ト=ヴィクトワール  
山とシャトール・ノワ  
ール」ポール・セ  
ザンヌ

田所 夏子 読売夕刊 2.7

平成二十三年度『美  
術史』論文賞選考結  
果及び選評 須網美  
由紀「セバスティアー  
ノ・ルチアーニ作  
《サン・ジョヴァン  
ニ・クリストモ祭壇  
画》に関する一解  
釈—聖堂再建時にお  
ける図像プログラム  
を視座に入れて—[セ  
バスティアーノ・デ  
ル・ピオンボ]

中村 俊春 美術史 173

モーリス・センダッ  
クさんを悼む 絵本  
の新時代をリードし  
た巨人

神宮 輝夫 読売夕刊 5.12

(ソ)

お手本画&秀作集  
其ノ十八 曾勤《敦  
煌夢シリーズ・観自  
在》

曾 勤 水墨画\* 285

お手本画&秀作集  
其ノ十八 曾黎  
《ALOHAの心》

曾 黎 " "

現在通信 From  
NEW YORK ソト  
[ヘスス・ソト]

富井 玲子 新美術新聞 1270

特集1 21世紀の無  
形文化遺産 木を植  
える大工 小木匠:  
ソル・ソクチョル  
[薛石鉄]

朴坂野 炫淑 慎治 コリアナ 19-3

特集1 21世紀の無  
形文化遺産 記憶の  
中の父ソン・ジュア  
ン 螺鈿匠:ソン・  
バンウン[宋周安/  
宋芳雄]

" " "

(タ)

特集 アートの力を  
考える! PART 1  
ヘンリー・ダーガー  
清澄な組曲

美術の窓 348

JMW ターナーの風  
景画における主題と  
連想[ウィリアム・  
ターナー]

出羽 尚 鹿島美術財団年報・別冊 29

World News London  
「ターナー・インス  
パイアード クロー  
ドの光の中で」展  
ターナーが遺言で  
“お隣”を望んだクロ  
ード・ロランの光

前橋 重二 芸術新潮 749

J.M.W. ターナーの  
アルプス主題に関す  
る一考察—《サン・  
ゴタル峠の下り道》  
における描かれた場  
所と主題—

富岡 進一 郡山市立美術館研究紀要 7

ターナーの絵画制作  
における詩の役割

出羽 尚 国学院大学紀要 50

学会活動報告 第八  
五回大会 J.M.W.  
ターナーの「洪水」観  
—《光と色彩》《影と  
闇》—

岩永 重季 デアルテ 28

第六十五回全国大会  
研究発表要旨 J.M.  
W.ターナーの《光と  
色彩》—J.W.v.ゲー  
テの『色彩論』受容と  
記録者モーゼの意義  
—

" 美術史 173

メトロポリタン美術  
館展から 水の都創  
意交え[ウィリアム  
・ターナー]

高野 清見 読売夕刊 10.11

作品紹介 旧ジョセ  
フ・ロビンソン所蔵  
のヴァン・ダイク作  
《改悛のマグダラの  
マリア》[アンソニー  
・ヴァン・ダイク]

中村 俊春 京都美学美術史学 11

第六十三回美学会全  
国大会報告 発表要  
旨 ヴァン・ダイク  
作《ペンブルック伯  
爵の家族肖像》再考  
—初期ステュアート  
朝宮廷仮面劇との関  
連を中心に—

二宮 洋輔 美学 241

第六十五回全国大会  
研究発表要旨 ヴァ  
ン・ダイク作《馬上  
のチャールズ一世と  
サン・アントワヌの  
領主》に関する一  
考察—同時代の英国  
宮廷におけるイタリ  
ア絵画コレクション  
との関連を中心に—

柏 智久 美術史 173

2012夏・秋 名画に  
会いに行く 一歩進  
んだ展覧会ガイド  
Case 5 ヴァン・ダ  
イク イングランド  
国王を魅了した外国  
人画家

美術の窓 346

カレル・タイゲの一連の論稿に見る建築思想とその変遷カレル・タイゲ研究(1)	岩澤 錠児 入江 正之	日本建築学会 計画系論文 集	680	INFORMATION MEMORIAL 追悼・ジョン・チェンバレン「軽さ」という帰結—追悼ジョン・チェンバレン	沢山 遼	〃	964
アーサー・ダウ(Arthur Wesley Dow)の滞在日記—横浜観光—	岡崎 昭夫	筑波大学 芸術研究 報告	59	REVIEWS01 榎木野衣 月評第46回「クッシュユする彫刻史」ジョン・チェンバレン「Choices」展	榎木 野衣	〃	967
コラム 岩手・宮城・福島を訪れた3人の外国人建築家[ブルーノ・タウト]	大沼 正寛	建築雑誌	1626	SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3 Artist Files アダム・ブルームバーグ&オリバー・チャナリン ファウンド・フォトで対テロ戦争時代の報道写真に挑戦	伊東 豊子	〃	971
ドイツ田園都市の研究 その(13) スラヴ民族主義からみたブルーノ・タウトの田園都市の本質	長谷川 章	東京造形 大学研究 報	13	3・11後を生きる 壁画に復興の願い重ね 岩手・大槌 台湾の芸術家ら 河北新報から[張家銘]	東 京	〃	8.17
『宇宙建築師』に見るブルーノ・タウトのユートピア的建築形態の生成方法	赤木 良子 杉本 俊多	日本建築 学会計画 系論文 集	672	Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情第5回 曲豊国[チュウ・フェングオ]	梶川 強	ギャラリー 一*	328
『アルプス建築』第5章に見られるブルーノ・タウトのユートピア的アイデアと形態群の生成方法	〃	〃	677	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 107 曹良奎[チョ・ヤンギョ] マンホールB	光田 由里	美術手帖	967
『アルプス建築』第3章に見られるブルーノ・タウトのユートピア的風景のデザイン法	〃	〃	679	お手本画&秀作集 其ノ十 張曉文《月夜》	張 曉文	水墨画*	275
現代美術の歩き方 今月一品 イ・ブルブルーノ・タウトに倣って(物事の甘さを自覚せよ)(部分)		美術の窓	342	現代中国書法事情 250[張有清]	種谷 萬城	書道界	276
コンテンポラリー・ファインアート 第6回 スタン・ダグラスとナラトロジー	大森 俊克	美術手帖	965	お手本画&秀作集 其ノ十一 趙龍光《黄山》	趙 龍光	水墨画*	276
INFORMATION MEMORIAL 追悼 アントニ・タビエス	松田 健児	〃	966	特集1 21世紀の無形文化遺産 丹誠と根気で結って組んだ花 メドゥップ匠: チョン・ボンソプ[程鳳燮]	朴坂野 愼治	コリアナ	19-3
特別掲載 ショーン・タン、別世界の創りかたを語る	小野 耕世	ユリイカ	606	サンドイッチ+スキヤナー=スキヤンウイッチの誘惑 ジョン・チョンコ著/三角和代訳『LOVE♡サンドイッチ』		芸術新潮	752
(チ)				エドワード・チリーダへのセミナー・オマージュに参加して	吉本 由江	芸術研究	25
インタビュー「わたしが求めた芸術の究極は愛である」彫刻家・崔鍾泰[チェ・ジョンテ]	崔金 泰晩 明順 訳	コリアナ	19-1	植民地期台湾美術のアイデンティティ—陳澄波と劉錦堂を中心に—	羽田ジェシ カ	鹿島美術 財団年報 ・別冊	29
「芸術」の解体と新しい劇場 「荒川匠&サージ・チェレブニン」展	松井みどり	美術手帖	965				

二〇一〇年度同志社  
大学大学院修士論文  
梗概 台湾植民地時  
代の画家 陳澄波に  
関する一考察—《日  
本二重橋》と《私の家  
庭》を事例として—

許 詩瑩 美学芸術 27

特集 中国と東アジ  
ア—近代のコレクシ  
ョン形成と研究の背  
景 第3部 中国美術  
と東アジア 陳澄  
波の画業に見る東ア  
ジア美術交流

山梨絵美子 美術フォーラム21 26

(ツ)

第24回「高松宮殿下  
記念世界文化賞」受  
賞者決まる 絵画:  
蔡國強氏、彫刻:チ  
ェッコ・ボナノッテ  
氏ら5部門5氏 日  
本人では演劇・映像  
部門で森下洋子氏が  
選ばれる[ツァイ・  
グオチャン]

新美術新聞 1292

ことば 蔡國強さん  
(美術家)

大西 若人 朝 日 12.19

蔡さん「本当に光栄」  
NYでも笑顔[蔡國強]

産 経 9.13

芸術表現を追求 文  
化発展に貢献 第24  
回「高松宮殿下記念  
世界文化賞」受賞者  
の素顔 絵画部門  
蔡國強

〃 9.13

話の肖像画 火薬と  
創造 上、中、下  
世界文化賞受賞 現  
代美術家 蔡國強

海老沢 類 〃 10.16~  
18

世界文化賞受賞の蔡  
國強さんら会見

毎日夕刊 10.25

「尖閣」克服できる  
[蔡國強]

読 売 11.1

広告特集 画材ガイ  
ド02 クサカベ ゼ  
ファ×蔡國華

杉瀬 由希 美術手帖 976

INFORMATION  
AUTHOR この本の  
著者に会いたい 一  
人旅で体感した「あ  
の国」の現代[パトリ  
ック・ツァイ]

内田 伸一 〃 971

視線 モダンタイム  
ス パトリック・ツ  
ァイ著

北澤 憲昭 朝 日 6.10

モダンタイムス パ  
トリック・ツァイ著

日 経 6.17

(テ)

海外通信 @北京  
沈遠「天梯」程大鵬  
「可楽樂園」急速な  
発展に冷めた視線

多田 麻美 朝日夕刊 8.29

カバーインタビュー  
シュテファン・ディ  
ーツ

小町 英恵  
インタビュー  
ー・文 A X I S 159

震災復興支援展覧会  
「生誕110周年記念  
ウォルト・ディズニ  
ー展」より「蒸気船  
ウィリー」

大平 剛 茨城県近  
代美術館  
だより 92

ぎやらしいモール  
茨城県天心記念五浦  
美術館「生誕110周  
年記念 ウォルト・デ  
ィズニー展」から  
『ピノキオ』ポスタ  
ー

〃 読売夕刊 9.18

新収蔵作品 ティツ  
ィアーノ・ヴィチェ  
ェリオ 《洗礼者ヨ  
ハネの首を持つサロ  
メ》

渡辺 晋輔 国立西洋  
美術館報 46

報告 2011年度新収  
蔵作品について[テ  
ィツィアーノ・ヴェ  
チェリオ]

〃 ゼフュロ  
ス 52

4「読ん」で知るア  
ート 食と現代ア  
ート 食が生み出す「関  
係性の美学」[リクリ  
ット・ティラバーニヤ]

岡部あおみ 朝日夕刊 5.30

REVIEWS02 清水穰  
月評第49回 多重  
性の政治 ヴォルフガ  
ング・ティルマン  
ス作品集『Neue Welt  
新しい世界』

清水 穰 美術手帖 974

メトロポリタン美術  
館展から 風景が自  
己主張[ティントレ  
ット]

高野 清見 読売夕刊 10.10

ローマにおけるジョ  
ルジョ・デ・キリコ  
とメタフィジカ絵画  
—1918年から1925年  
までを中心に—

市川 直子 鹿島美術  
財団年報  
・別冊 29

須磨コレクションの  
スペイン近代絵画三  
作品に関する調査報  
告[アントニオ・ム  
ニョス・デグライン]

川瀬 佑介 長崎県美  
術館研究  
紀要 5

クリエイターズワー  
ク&ソウル デパー  
トメント・オブ・ア  
ーキテクチャー

A X I S 158

トーマス・デマンドのバルブ・ノンフィクション写真術	光嶋 裕介 聞き手	芸術新潮	751	規制の潮流を超越 「瀧口修造とマルセル・デュシャン」展	宝玉 正彦 日 経	1.12
SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3 Artist Files トーマス・デマンド		美術手帖	971	制約越えた漆 素材感を堪能 「アール・デコ 光のエレガンス」展[ジャン・デュナン]	室瀬 和美 東 京	7.2
SPECIAL INTERVIEW 虚実の風景が示すイメージのライブラリー	トーマス・デマンド 談 長谷川祐子 聞き手 河野 晴子 翻訳・構成			特集 アートの力を考える! PART 1 ジャン・デュビュッフェ アール・プリュット	美術の窓	348
COLUMN 《大統領》より作品へのアプローチに迫る	編 集 部			美の履歴書276 乙女たちのいるのはどこ「エペソスの集いII」 ポール・デルヴォー	増田 愛子 朝日夕刊	10.17
ぎやらりいモール 東京都現代美術館「トーマス・デマンド」から「踊り場」トーマス・デマンド	吉崎 和彦	読売夕刊	6.5	ぎやらりいモール 府中市美術館「ポール・デルヴォー 夢をめぐる旅」から「会話」ポール・デルヴォー	音 ゆみ子 読売夕刊	10.16
デューラー「築城論」草稿の試訳(2)[アルブレヒト・デューラー]	下村 耕史	九州産業 大学芸術 学会研究 報告	43	大特集 永遠のイスタンブール 東西の美と出会う都 インタヴュー 書 ウル・ベイ 「私が20歳で書を始めた時、仲間はほとんどいませんでした」	ムスタファ・ウウル・デルマン 談 ジラルデッリ青木美由紀 通訳	芸術新潮 753
アルブレヒト・デューラーの芸術様式—その内面における二極性について	青山 愛香	国立西洋 美術館研 究紀要	16	作家通信 個展を開いて	田 建平 水墨画*	278
平成二十三年度東支部例会 書物芸術としてのデューラーの『聖母伝』—その物語構造と修道院人文主義の影響をめぐって—	新藤 淳	美術史	172			
美の履歴書260 眼力の強さ、何伝える「ヤーコブ・ムッフェルの肖像」アルブレヒト・デューラー	西田 健作	朝日夕刊	6.27	小特集 パリと生きた写真家 ロベール・ドアノー	平松 洋子 芸術新潮	748
ガスパール・デュゲ《サビーニの山羊飼い》	南 美幸	アマリス	106	ロベール・ドアノー Rétrospective ロベール・ドアノー著	日 経	5.13
マルセル・デュシャンのレディメイド、《泉》をどのように語るか	河本 信治	京都国立 近代美術 館研究論 集	4	文化往来 ドアノーと緒形拳の交流捉えた映像	川上典李子 A X I S	160
瀧口修造とマルセル・デュシャン	水沼 啓和	千葉市美 術館ニユ ース C'n	61	ヘルシンキの新たな交流の場に、「クルットウーリサウナ」プロジェクト[トウオマス・トイヴォネン]	村上 博哉 国立西洋 美術館報	45
対照的な2人の交流 瀧口修造とマルセル・デュシャン展	大西 若人	朝日夕刊	1.18	新収作品 オノレ・ドーミエ《果物を取り合う二人の童子》	齋藤 達也 日仏美術 学会会報	31
美術評 瀧口修造とマルセル・デュシャン レンズとしてのレディメイド	古谷 利裕	東京夕刊	1.24	エドガー・ドガにおける切断の技法—絵画表現、同時代受容、写真との関係をめぐって		

(ト)

例会発表要旨 第117 回例会：近代美術史 研究の諸相—生成か ら受容まで エドガ ー・ドガとモチーフ の切断	齋藤 達也	日仏美術 学会会報	31	画面の深度—バー ネット・ニューマンの 絵画における空間認 識の変容—	吉田 侑季	美術史	172
眼と脳がアートを創 造〔つく〕る 第2、 3回—ドガの場合 (前・後編)	深作 秀春	美術の窓	341、342				
フィリッポ・ドブリ ッラ、2011年—ヴ ェネツィア・ピエン ナーレを含む—連の 展覧会—	瀬分 甲斐	緑 教行	五浦論叢 19				
美・博ビックアップ 社会が動いた静かな 訴え 東京都写真美 術館「ストーリー ・ライフ」ジョン ・トムソン「徘徊者 たち」	河瀬 久美	朝日夕刊	1.11				
ドラクロワ作『墓地 のハムレットとホレ ーシオ』諸作品をめ ぐって—演劇の豊饒 さから絵画独自の効 果へ—[ウジェーヌ ・ドラクロワ]	西嶋 亜美	美術史	172				
様式と自由：アンド レ・ドランの《木立》	阿部 真弓	国立新美 術館ニュ ース	22				
クリストファー・ド レッサー 色絵椿文 龍花瓶(一対)	佐藤 秀彦	ザ・ルー フ	39				
REVIEWS06 ダリル ・ウィー 新人月評 第8回 植民地アー カイブの解放 クリ スチャン・トンブソ ン「私たち自身の葬 送」展	ダリル・ウ イ 近藤 亮介	美術手帖	975				
追悼 建築家 ニー マイヤー氏 新天地 に築いた理想の造形 美[オスカー・ニー マイヤー]	馬場 璋造	産 経	12.9				
顔 第5回国際漫画 賞最優秀賞を受賞し た日系スペイン人漫 画家 JM ケン・ニ イムラさん	藤原 善晴	読 売	3.9				
作品ひとつ[ベン・ ニコルソン]	松下 由里	群馬の森 美術館ニ ュース	149				
バーネット・ニュー マン—形成期の作品 に関して	塩津 青夏	愛知県美 術館研究 紀要	18				
				from the World ミッ ドセンチュリーの巨 人、ジョージ・ネル ソンの回顧展	吉田 実花	A X I S	160
				特集1 21世紀の無 形文化遺産 20歳で 嫁いで学んだ綿織物 セッコルナイの人間 文化財：ノ・ジンナ ム[魯珍男]	朴 坂野 眩淑 眞治	コリアナ	19-3
				SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近 代美術の傑作150 097 イサム・ノグチ かぶと	高橋 幸次	美術手帖	967
				カジュアル美術館 真夜中の太陽 イサ ム・ノグチ 横浜美 術館 穴の奥 何か が潜む	三沢 典丈	東京	11.18
				21世紀のアーティ スト ハ・サンリム		ギャラリー 一*	330
				SPECIAL FEATURE デミアン・ハースト		美術手帖	969
				PART 1 : EXHI- BITION テート・ モダンでの大回顧 展開幕	伊東 豊子		
				担当キュレーター アン・ギャラガー	〃		
				REVIEW 芸術家 デミアン・ハース トの第一幕	〃		
				「コンプリート・ スポット・ペイン ティング 1986— 2011」展	藤森 愛実		
				DIALOGUE 最新 インタビュー デ ミアン・ハースト ×ニコラス・セロ ータ テート館長	デミアン・ ハースト 談 ニコラス・ セロータ 聞き手 奥村 雄樹 翻訳		
				PART 2 : INTER- VIEW マット・コ リショー アーテ ィスト	マット・コ リショー 談 伊東 豊子 取材・文		



PART 2 : INTERVIEW ティム・マ ーロウ ギャラ リー・ディレクター	ティム・マ ーロウ 談 伊東 豊子 取材・文	2 ペレウスの饗 宴 招かれざる客 の訪れ	高橋 裕子	7.10
PART 2 : INTERVIEW ランキン 写真家	ランキン 談 三宅 由希 取材・文	3 F.S.エリス編 纂「チャーサー著 作集」空間埋め 尽くす意匠	林 望	7.11
PART 3 : CHRONOLOGY 年表 デミアン・ハースト の軌跡 1965— 2012	伊東 豊子 監修 熊倉 晴子 編集・文	4 聖杯堂の前で 見る騎士ランスロ ットの夢 美青年 の疲れた寝顔	太田 治子	7.12
PART 4 : ANALYSIS ハンス・ウル リッヒ・オブリス ト キュレーター ×デミアン・ハ ースト	デミアン・ ハースト 談 ハンス・ウ ルリッヒ・ オブリスト 聞き手 奥村 雄樹 翻訳	5 眠り姫—連作 「いばら姫」美し い文明への予感	森下 洋子	7.13
PART 4 : ANALYSIS スチュアート ・モーガン 美術 評論家	スチュアート ・モーガ ン	お手本画&秀作集 其ノ十七 培靈《懐 古》	培 霊 水墨画* 284	
海外通信 @ロンドン ダミアン・ハ ースト展 生と死 四 半世紀を回顧	菅 伸子	連載 1、2 James Lee Byars “Days in Kyoto”[ジェームス ・リー・バイヤース]	坂上しのぶ あいだ	197、198
World News Berlin 「シークレット・ユ ニヴァース3 モー トン・パートレット」 展 もう一人のヘン リー・ダーガー？ 少年少女人形との秘 かな戯れ	かないみき 取材	特集 デッサン力を 磨く ⑩技法講座 VOL.25 人気作家8 名の制作プロセス公 開 ロバート・ハイ ンデルのデッサン わずか数本の線が肉 体を捉える	米田 耕司	美術の窓 340
連載 再建への意志 ：図面のなかの都市 復興 no.12 サンフ ランシスコの震災復 興計画[ダニエル・ バーナム]	阿部 祐子	ピッティ宮のベルジ ーノ作《哀悼》にお けるフランドル絵画 の影響—ディルク・ パウツ作《フォスカ リアの祭壇画》との 関係について	江藤 匠	日仏美術 学会会報 31
第六十三回美学会全 国大会報告 発表要 旨 エドワード・バ ーン=ジョーンズ作 《ペルセウス・シリ ーズ》にみるキリス ト教世界	久保 美枝	SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3 Artist Files バク・ スノウ 写されたも のの真偽を再考し超 越する	中森 康文	美術手帖 971
2012夏・秋 名画に 会いに行く 一歩進 んだ展覧会ガイド Case 8 エドワード ・バーン=ジョーン ズ 夢の世界を描き 続けた画家	加藤 明子	お手本画&秀作集 其ノ九 白浪《壺と 果实》	白 浪	水墨画* 274
バーン=ジョーンズ 展 装飾と象徴		SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3 Artist Files トレヴ オー・パグレン 見 えるもの/見えない ものを露にするポリ ティカルな風景	藤森 愛実	美術手帖 971
1 運命の車輪 奇妙に実体のない 肉體	青柳いづみ こ	特集 アートの力を 考える！ PART 1 ジャン=ミシェル・ バスキア ジャズの ように生命を歌う		美術の窓 348
		完璧なフォルムを目 指すアルド・バッカ ーのデザインプロセ ス	土田 貴宏	A X I S 157

2020年五輪の舞台に？ 新国立競技場デザイン決定[ザハ・ハディド]	東京	11.16		二十世紀美術断想2〜9 ピカソI-VIII	栗津 則雄	美術の窓	344〜351
2012夏・秋 名画に会いに行く 一歩進んだ展覧会ガイド Case 3 フランス・ハルス 見るべきはその筆致！	美術の窓	346		ピカソ最大作品展示へ 大きすぎてやっとな収容		東京夕刊	4.27
特集 アール・デコのエレガンス ジョルジュ・バルビエとジャン＝エミール・ラブルー	版画芸術	155		ぎやらりいモール 小杉放菴記念日光美術館「ジョルジュ・ピゴーと日光」から「三陸大津波 大船渡の惨状」 ジョルジュ・ピゴー	迫内 裕司	読売夕刊	1.10
ジョルジュ・バルビエのファッション・プレート				ピサネッロ作ブレントォーニ家墓碑装飾をめぐる一考察	鈴木 幸野	美術史学	33
ジョルジュ・バルビエのいとも豪華な挿絵本				ショート・エッセイ カミュー・ピサロと印象派—永遠の近代	鈴木 慈子	ART RAMBLE	36
グラフィック・アートの黄金時代	鹿島 茂			カミュー・ピサロ作《収穫》に見られる技法について	高嶋 美穂	国立西洋美術館研究紀要	16
SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3 Artist Files ジュリアン・パロン 検閲の執行者を写真で逆センサーシップ	伊東 豊子	美術手帖	971	ピュリツァー賞 受賞写真 全記録 ル・ビュエル著		日 経	1.22
ジェフリー・パワ研究 その3 パワの「ランドスケープ」における「人為の介在」の意味	高取 愛子	日本建築学会計画系論文集	674	九段下ビルの壁画保存へ 仏芸術家復興願い描く 解体業者も協力 最後の住人「美術館に」[ピラト]	小国 智宏	東京	2.1
街角アート まるで水島の親子のように [マルタ・パン]	星野 清一	新美術新聞	1279	(フ)			
ジャン・パオロ・パニーニの風景画に描かれた古代彫刻の同定	飯塚 隆	国立西洋美術館研究紀要	17	アルド・ファン・アイクの建築思想における時間概念について—「経験」の構造に関する分析を通して	朽木 順綱	日本建築学会計画系論文集	676
新収作品 ジョヴァンニ・パオロ・パニーニ《古代建築と彫刻のカプリッチョ》	高梨 光正	国立西洋美術館報	45	ぎやらりいモール ニューオータニ美術館「ヨーロッパ絵画に見る、永遠の女性美」から「愛しの小鳥」 アドルフ・ウイリアム・ブーグロ	太田美喜子	読売夕刊	3.27
彫刻家シモーネ・ピアンコに関する研究—研究動向と今後の問題点	石井 元章	芸術文化研究	16	フランソワ・ブーシェによるタピスリー連作(オペラの断章)—シャルル・コワペルとの対抗関係をめぐって—	小林亜紀子	東京芸術大学美術学部論叢	8
平成二十三年度東支部例会 アレッツォ・サン・フランチェスコ聖堂内陣装飾の考察—ピエロ・デッラ・フランチェスカとフランチェスコ会—	池上 公平	美術史	172	美の履歴書271 空が広いのはなぜ 「トルーヴィル近郊の浜」 ウジェーヌ・ブーダン	大西 若人	朝日夕刊	9.12
所蔵作品調査レポート パブロ・ピカソの『流砂』(1966年刊)について	友井 伸一	徳島県立近代美術館研究紀要	13	ガストン・フェビュスの『狩猟の書』—パリ、マザリーヌ図書館 ms. 3717の図像に関する一考察—	高木麻紀子	鹿島美術財団年報・別冊	29

蘇るフェルメール・ブルー 《手紙を読む青衣の女》修復物語[ヨハネス・フェルメール]	林 綾野	芸術新潮	745	フェルメール作品来日ラッシュ 謙虚な美 日本人魅了	小川 敦生	日経夕刊	1.10
わたし一人の美術時評 第25回 フェルメール・ブームの編られ方	藤田 一人	"	753	いま風 火曜日 名画礼賛のマナー 画家の旅路を旅する 福岡伸一 生物学者 [ヨハネス・フェルメール]	福岡 伸一	読売夕刊	1.24
ヨハネス・フェルメールへの慕情—一九五三年、ブルースタ著『失われた時を求めて』における最初の出会いから—	上原 和	成城文芸	221	「MOTコレクション」展開連シンポジウム 「現代美術史をいかに語るか—クロニクル/アナクロニクル」採録 講演Ⅱ 林道郎 「アレゴリーとしての『人質』:アンフォルメルと『具体』についての話」[ジャン・フォートリエ]	藤井 亜紀	東京都現代美術館年報・研究紀要	14
2012夏・秋 名画に会いに行く 一歩進んだ展覧会ガイド Case 1 フェルメール 光の輝きに魅せられる		美術の窓	346	特集 アートの力を考える! PART 1 ジャン・フォートリエ レジスタンスの芸術		美術の窓	348
文化の扉 はじめてのフェルメール 謎めく人生と作品に酔う	大西 若人	朝 日	2.27				
ののちゃんの自由研究 「マウリッツハイス美術館展」編[ヨハネス・フェルメール]	西岡 一正	"	5.9	第六十五回全国大会 研究発表要旨 ルーチョ・フォンターナのネオン作品と未来派の記憶—エンリコ・ブランボリーニによる展示装置との関係を中心に—	巖谷 睦月	美術史	173
ニュースを読み解く ウェブサイト WEB-RONZAから「耳飾りの少女」人気のわけ [ヨハネス・フェルメール]	矢田 義一	"	8.21				
福岡伸一×田中三蔵 仮説を語る 想像ふくらむフェルメール顕微鏡の観察画を描く?スピノザと親交? ハイライトで問いかける 光の科学 知っていた ジャンル超え広く交遊	福岡 伸一 田中 三蔵	朝日夕刊	1.11	日本におけるルチオ・フォンターナの受容とその影響	谷藤 史彦	ふくやま美術館・書道美術館紀要*	6
フェルメールからのラブレター展 よみがえる光		"	1.16	ARTIST INTERVIEW サイモン・フジワラ	長谷川祐子	美術手帖	962
オランダ社会の成熟描く41作品	ダニエル・ローキン	談		漫画「チェルノブイリ」著者来日 「福島」のストレス 似ている [ナターシャ・ブストス]		読 売	3.29
鮮やかな色と細部修復の成果	大西 若人			ニコラ・ブッサンにおける素描と彩色の問題—色彩論争と「モードの理論」を手がかりに—	望月 典子	鹿島美術財団年報・別冊	29
彩・風・美 フェルメールとの対話	林 綾野	"	1.25	ブッサンの歴史風景画の意味構造に関する研究	栗田 秀法	"	"
4 [読ん]で知るアート 映画に見る絵画 狙われるフェルメール	滝本 誠	"	12.12	ブッサンとヴィーリクス	木村 三郎	日本大学芸術学部紀要	56
美の扉 フェルメールの名画 来日ラッシュ 真珠をめぐる謎		産 経	7.15	研究ノート ブッサン作《アルカディアの牧羊たち》(ルーブル美術館蔵)—「知恵」と「恒心」のテーマをめぐる—	栗田 秀法	美学美術史研究論集	26

ピサのカンポサントの《最後の審判と地獄》—教訓を垂れる審判図—[フオナミーコ・ブッフアルマッコ]	絹川 陽子	美術史	172	淡い色彩と「手の知性」[モニック・フリードマン]		読 売	2.23
不在の建築/建築の不在—喪失へのまなざしと縁の設計[アルベルト・ブッリ]	澤田 航	ファウンテン	3	エクスペリメンタ・デザイン2011レポート「ユースレス」に込めた意図 ポルトガルのブルーノ・ムナリー、フェルナンド・ブリジオ	中島 恭子	A X I S	155
本だな 心ってよく分からない『こころの家』[イヴォナ・フミエレフスカ]		読売夕刊	4.14	特別寄稿 新発見! ブリュージェルの超大作《聖マルティンのワイン祭り》が語るもの 前・後篇[ピーテル・ブリュゲル]	森 洋子	芸術新潮	747、748
第六十五回全国大会研究発表要旨 ヘンリー・フュースリの詩的模倣論と人体造形—視相学による身体デザイン化—	松下 哲也	美術史	173	民衆の叫び赤裸々 ブリュージェル「聖マルティンのワイン祭り」 「発見された大作」画家の新たな一面	〃	朝日夕刊	1.18
北ホラント公文書館所蔵の製本手引書に関する考察: 画家デ・ブライの描いた『ビブリア/製本の手引き』について[ディルク・デ・ブライ]	野村 悠里	文化資源学	10	コンテンポラリー・ファインアート 第7回 リチャード・プリンス(アプロプリエーションと収集)	大森 俊克	美術手帖	974
寄付報告と購入作品 [フランク・ブラングイン]	大屋 美那	ゼフュロス	52	SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3 Artist Files アダム・ブルーームバーグ&オリバー・チャナリン ファウンド・フォトで対テロ戦争時代の報道写真に挑戦	伊東 豊子	〃	971
特集 美術と検閲		西洋美術研究	16	論考 ハミッシュ・フルトンの彫刻性について	渡部 葉子	慶応義塾大学アート・センター年報	19
研究ノート ブランクーシとアメリカ 1927-28年、《空間の鳥》をめぐる裁判[コンスタンティン・ブランクーシ]	野田 弥生			現代美術の歩き方 今月の一品 ルボシユ・プルニー「無題」	松岡 剛	美術の窓	344
原典資料紹介 C・ブランクーシ対アメリカ合衆国《空間の鳥》をめぐる裁判の速記録抄訳	野田 弥生 解題・訳			現在通信 From NEW YORK フレイヴィンの素描[ダン・フレイヴィン]	富井 玲子	新美術新聞	1284
INFORMATION MEMORIAL 追悼 ヘレン・フランケンサラー	沢山 遼	美術手帖	965	特集 アートの力を考える! PART 1 ルシアン・フロイド存在(肉体)の輝き		美術の窓	348
第六十五回全国大会研究発表要旨 ルーチョ・フォンターナのネオン作品と未来派の記憶—エンリコ・ブランボリーニによる展示装置との関係を中心に—	巖谷 睦月	美術史	173	不思議な出会い。三つの作品をめぐる [ルシエンヌ・プロック]	深谷 克典	アートペーパー	89
現代美術の歩き方 今月の一品 モニック・フリードマン カレイドスコープ	白坂 ゆり	美術の窓	340				
						(へ)	
				作品 「come to see akita【1】」 「come to see akita【2】」	裏 鎮夷	秋田公立美術工芸短期大学紀要	16

史料紹介と研究 日本関係初期ベアト(Beato)写真の史料学的研究—在外写真コレクションを中心に—[フェリーチェ・ベアト]	谷 昭佳	東大画像史料解析センター通信*	58	アンтониオ・ベルッチのイギリス時代の下絵—旧松方コレクション2作品の作者の同定	河上 眞理	国立西洋美術館研究紀要	16
美の履歴書246 頭巾の女性の正体は「冬着姿の女性」 フェリーチェ・ベアト	西岡 一正	朝日夕刊	3.21	World News Paris 「フェデリコ・ベルトラン=マッセス」展 忘れられた画家 マッセスのエロスよ、再び	羽生のり子 取材	芸術新潮	750
生麦事件150年 横浜で企画展 殺害英国人の手紙初公開[フェリーチェ・ベアト]	早川 保夫	読 売	9.5	World News New York 「ベルニーニ スカルプティング・イン・クレイ」展 粘土でこそ実力がわかる 圧巻!ベルニーニの驚異テク[ジャン・ロレンツォ・ベルニーニ]	前橋 重二	"	756
INFORMATION PEOPLE オリバー・ペイン、世界初個展を東京で開催	工藤 キキ	美術手帖	969	小説家 平野啓一郎が見た美術展 「アーヴィング・ペンと三宅一生 Visual Dialogue」展	平野啓一郎	日 経	1.12
特集 アートの力を考える! PART 1 フランシス・ベーコン 実存	保坂健二郎	美術の窓	348	デザイナーと写真家創造の過程を探る 六本木で「ペンと一生」展	岸 桂子	毎日夕刊	3.5
ピカソと並ぶ美の巨匠 フランシス・ベーコン展—没後アジア初の回顧展		日 経	12.16	眼と脳がアートを創造[つく]る 第12回 ポール・ヘンリーの場合	深作 秀春	美術の窓	351
須磨コレクションのスペイン近代絵画三作品に関する調査報告[マヌエル・ベネディート]	川瀬 佑介	長崎県美術館研究紀要	5				
World News New York 「カールステン・ヘラー 体験」展 カールステン・ヘラー アートという名の遊園地	由本みどり 取材	芸術新潮	746				
戊も歩けば beau[ボー]に当たる 第三十八回 プラドの怪 [ディエゴ・ベラスケス]	竹田 博志	美術の窓	351	ボイスの足型取り、あれこれ[ヨーゼフ・ボイス]	若江 漢字	国立国際美術館ニュース	190
展覧会評 シャルロット・ベリアンと日本	藤原 貞朗	ジャポニスム研究	32	現代中国巧藝事情76~78 緑緑堂主人・豊子愷1~3	仲 佑樹	書 道 界	275~277
ピッティ宮のベルギーノ作《哀悼》におけるフランドル絵画の影響—ディルク・パウツ作《フォスカリ家の祭壇画》との関係について	江藤 匠	日仏美術学会会報	31	『護生画集』解題(1) —豊子愷の仏教婦依から第一集まで—	大野 公賀	東洋文化研究所紀要	162
アードルフ・ヘルツェルの画面構成理論について	青木 加苗	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	56	from the World ショップを立ち上げたポーンチェとコクセッジ[トード・ポーンチェ]	中島 恭子	A X I S	158
例会・研究発表会要旨 アードルフ・ヘルツェルの色彩理論とその位置づけについて	"	美 学	240	from the World ヴェネチアからのイメージ カーテン・インスタレーション「レプリカ」[アイジット・ボスタン]	小町 英恵	"	160
				第六十三回美学会全国大会報告 発表要旨 デイヴィッド・ホックニーの《劇中劇》(一九三〇年)—一九六〇年代に描かれたカーテンの連作の文脈から—	田中 麻帆	美 学	241

(ホ)

デイヴィッド・ホックニーと《時》のパー スペクティブ—マル セル・ブルースト 『失われた時を求め て』との関わりから —	田中 麻帆	美術史	172	ボナノッテさん、千 住博さんと対談 創 作を語る 表現した いのは「人の内面」	〃	10.31
海外通信 デービッ ト・ホックニー大個 展 風景画に新境地	菅 伸子	朝日夕刊	3.7	追悼 イタリア陶芸 界の奇才 フェデリ コ・ボナルティ	柴辻 政彦 陶 説	716
建築家ジュゼッペ・ ボッジによるミケラ ンジェロ広場の形態 と機能 フィレンツ ェの近代都市改造に 関する研究	會田 涼子	日本建築 学会計画 系論文集	678	マッテオ・ボネキの サンテジーディオ聖 堂装飾試論	甲斐 教行 五浦論叢	19
ポッティチェリ作 《柘榴の聖母》—公的 注文としての円形画 の聖母子像—[サン ドロ・ポッティチェ リ]	江尻 育世	京都美学 美術史学	11	SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケ ット PART 2 アー ト界を動かすキーバ ーソン COLMUN 3 ARTIST ウィリアム ・ボハイダ	藤森 愛実 美術手帖	962
美の履歴書278 灯台 が意味するのは「ト ウライツの灯台」 エドワード・ホッパ ー	西岡 一正	朝日夕刊	10.31	古着の山が暗示 人 間の運命 被災地歩 いた仏作家が新作[ク リスチャン・ボルタ ンスキー]	窪田 直子 日経夕刊	8.20
鏡をもつ女 フェル ナンド・ポテロ	奥野 克仁	KENBI LETTER	78	ジャクソン・ポロッ ク再考	岡崎乾二郎 松浦 寿夫 ART TRACE PRESS	2
ピエール・ボナール の《男と女》と世紀 転換期の室内空間を めぐって	永澤 桂	女子美術 大学研究 紀要	42	ジャクソン・ポロッ クと近代の伝統②③	ウィリアム ・ルービン 野田 吉郎 訳	〃 〃
例会発表要旨 第117 回例会：近代美術史 研究の諸相—生成か ら受容まで ピエー ル・ボナールの風景 画の作品生成—バン ベルグ財団美術館所 蔵《松の森》(1924) を中心に	吉田 映子	日仏美術 学会会報	31	ポロックの余白に (2)—ダンス、ドラ イブ、プリヴェンシ ョン	林 道郎	〃 〃
特集 画廊とアーテ ィストの繋がり ヒ ロ画廊×チェッコ・ ボナノッテ		ギャラリー 一*	331	展評 生誕100年 ジャクソン・ポロッ ク展	深谷 克典 山田 典論	アートペ ーパー 88
第24回「高松宮殿下 記念世界文化賞」受 賞者決まる 絵画： 蔡國強氏、彫刻：チ ェッコ・ボナノッテ 氏ら5部門5氏 日 本人では演劇・映像 部門で森下洋子氏が 選ばれる		新美術新 聞	1292	特集 生誕100年 ピカソよりメチャク チャ? でも世界一 高い抽象画家ポロッ クの見方教えます。 Jackson Pollock		芸術新潮 747
芸術表現を追求 文 化発展に貢献 第24 回「高松宮殿下記念 世界文化賞」受賞 者の素顔 彫刻部門 チェッコ・ボナノッ テ 人間を主題に希 望の光を		産 経	9.13	手も目も偶然も裏 切る	朝吹真理子	
				Lesson 1 まずは 来日中の話題作で 鑑賞のツボをおさ えましょう。	大島 徹也	
				Lesson 2 西部に 生まれニューヨーク で格闘す	〃	
				Lesson 3 絵画の 歴史を変えたポロ ック「5つの革命」	〃	
				Lesson 4 開拓者 ポロックにつづけ ! 多彩なる後継 者たち	〃	
				Lesson 5 ポロッ クは国策で作られ たアメリカン・ヒ ーローか?	〃	

ポロック値上がり史	編集部			前田ジョン インタビュー「クリエティビティとはリスクを取ることに」	石橋 勝利	A X I S	159
特集1 生誕100年ジャクソン・ポロック展		現代の眼	592	美の履歴書277 顔つきより雄弁なのは「徴税吏たち」クエンティン・マセイス	大西 若人	朝日夕刊	10.24
Reading Jackson Pollock, Literally	尾崎信一郎			戌も歩けばbeau[ボ-]に当たる 第三十八回 プラドの怪 [ファン・パウティスタ・マルティネス・デル・マソ]	竹田 博志	美術の窓	351
日本初の回顧展という役割	中西 園子			INFORMATION MEMORIAL 追悼ジョルジュ・マチウ 仏蘭西のサムライージョルジュ・マチウ追悼	芳賀 徹	美術手帖	974
新美術時評 ポロックは潑墨の画家!!	島尾 新	新美術新聞	1283	ジョルジュ・マチウを悼む「身ぶりの絵画」日本にも影響	岸 桂子	毎日夕刊	7.12
全美フォーラム05 ポロック展を終えて	大島 徹也	ZENBI	2	仏漫画 マチューさん新作『3秒』高い推理性 読み手を刺激[マルク=アントワヌ・マチュー]	森本 昌彦	産 経	4.5
特集 アートの力を考える! PART1 ジャクソン・ポロック 混沌と秩序		美術の窓	348	《FLUXUS Now》3 「補遺」 マチューナスによるマニフェスト 1965	ジョージ・マチューナス 小野寺奈津訳	あいだ	192
美術評 ジャクソン・ポロック展 具象イメージを希求	古谷 利裕	東京夕刊	2.24	World News London 「ポール・マッカーシー 王、島、列車、家、船」展 ポール・マッカーシー「裸の王様」の祀り方	伊東 豊子 取材	芸術新潮	746
ジャクソン・ポロック展 1 内なる不安 描く「無題 自画像」1930~33年頃 ポロック=クラズナー財団蔵	前田 恭二	読売夕刊	2.14	SPECIAL FEATURE ライアン・マッギンレー ニューヨークの若きスーパースター 自由と躍動、生命の輝きあふれる理想郷		美術手帖	976
不在の建築/建築の不在一喪失へのまなざしと縁の設計[レイチェル・ホワイトリード]	澤田 航	ファウンテン	3	GALLERY NEW WORKS			
新刊紹介 洪成潭 『光州「五月連作版画一夜明け」ひとがひとを呼ぶ』		あいだ	197	INTERVIEW ロング・インタビュー	ライアン・マッギンレー 談 伊東 豊子 取材・文		
通信 J to A アジアへ39 「新しい社会を夢見て芸術で答えを出すのが芸術家だ」[洪成潭]	黒田 雷児	新美術新聞	1294	REVIEW ライアン・マッギンレー— その写真にみる「絆」	大森 俊克		
Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情第2回 洪凌[ホン・リン]	梶川 強	ギャラリー二*	324	マッギンレー、東京での1週間			
(マ)				INTERVIEW 1 ホセ・フレイレ	藤森 愛実		
お手本画&秀作集 其ノ十二 馬艶《千年樹》	馬 艶	水墨画*	277	INTERVIEW 2 ダン・コレン			
作家通信 朗読ユニットと水墨画のコラボ	〃	〃	278				
特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 馬駿 氷河の音	〃	〃	282				
Twelfth NightにおけるViolaのフィギュレンポジツィオン[ニコラース・マース]	滝川 睦	名古屋大学文学部研究論集	172				

INTERVIEW 3 キ ャシー・ライアン	藤森 愛実			19世紀消費社会にお ける女性のイメージ —エドゥアール・マ ネの《フォリーニベ ルジュールのパー》 とカフェ・コンセー ル主題の作品—	井方真由子	鹿島美術 財団年報 ・別冊	29
HISTORY アーテ ィストの半生と作 品 1977—2012	伊東 豊子 文・構成			1879年のマネとゾラ —共和派政権の誕生 と市庁舎壁画プラン を中心に	吉田 典子	近代	107
写真集で迫るマッ ギンレーの世界	桐谷麗了子			特集 西洋美術とジ ェンダー—視ること の制度 オランピア、 ナナ、そして永遠の 女性—マネ、ゾラ、 セザンヌにおける絵 の中の女の眼差し	〃	言語文化	29
GALLERY 音楽、 広告、雑誌の仕事	佐久間裕美 子			特集 美術と検閲		西洋美術 研究	16
ライアン・マッギ ンレーのお気に入り 写真集	藤森 愛実			マネ、政治、検閲 《皇帝マクシミリ アンの処刑》をめ ぐって	三浦 篤		
CONVERSATION 対談：ガス・ヴァ ン・サント×ライ アン・マッギンレ ー	ガス・ヴァ ン・サント、 ライアン・ マッギンレ ー 対談 奥村 雄樹 訳			原典資料紹介 マ ネ作《皇帝マクシ ミアンの処刑》 に関する資料	寺田 寅彦		
ESSAY クリス・ クラウス 偽フィ クション、神話、 偶発性	クリス・ク ラウス 梅宮 典子 訳			例会発表要旨		日仏美術 学会会報	31
World News Paris 「マティス 対とシ リーズ」展 同じモ ティーフ、でもちよ っと違う、一粒で二 度おいしいマティス [アンリ・マティス]	羽生のり子 取材	芸術新潮	749	第117回例会：近 代美術史研究の諸 相—生成から受容 まで エドゥアー ル・マネとエミール ・ゾラ—1868年 のサロン批評に見 る画家とモデル	井口 俊		
World News Caracas アンリ・マティス 《赤いパンタロン のオダリスク》の盗難 事件をめぐる 贋 作を拝み続けて幾年 月 マティスもびっ くりの最長記録	前橋 重二	〃	754	第120回例会：美 術批評の言語—エ ミール・ゾラと「タ シュ」の概念を中 心に マネの筆致 をどう記述するか —「タシュ tache」 とゾラの撞着語法	藤原 貞朗		
論文要旨《修士》ア ンリ・マティスのモ ロッコ作品について	大久保 優	美術史論 集	12	研究報告 エドゥア ール・マネ《自画像》 (下)	島田 紀夫	ブリヂス トン・石 橋美術館 報*	60
美術評 大エルミタ ージュ美術館展「赤 い部屋」 分離する 三層が共存[アンリ ・マティス]	古谷 利裕	東京夕刊	6.1	アルベール・マルケ 《ヴィレンヌのセー ス川、朝》		上原近代 美術館だ より	54
学会活動報告 第八 四回大会 マナンサ ラ作《最初の十字架 がたてられる》—フ ィリピン近代美術に おけるキュビズムと 歴史画—[ヴィンセ ンテ・マナンサラ]	古沢ゆりあ	デアルテ	28	失われたパリの復元 I マルシアル『いに しえのパリ』との出 会い[アドルフ・マル シアル=ボテモン]	鹿島 茂	芸術新潮	745
マネ《オランピア》に おける近代性と古典 性[エドゥアール・ マネ]	松田冬桜子	学習院大 学哲学会 会報	25	資料紹介 ウィリア ム・マルリディ素描 複製画—東京国立博 物館蔵「石版画」より —	遠藤 楽子	MUSEUM	637



イザベッラ・デステによる君主称揚—マンテーニャ作《パルナッソス》における特異な図像表現の再解釈[アンドレア・マンテーニャ]	神谷久美子	芸術学	15	巨匠への挑戦 —ジョン・エヴァレット・ミレイの絵画技法と《あひるの子》の模写について—	羽鳥あゆみ	大学院諸 究	8・9
マンテーニャ作サン・ジョルジョ城内礼拝堂祭壇画再考	小松原 郁	美学芸術学	27	カジュアル美術館種をまく人 ジャン・フランソワ・ミレー 山梨県立美術館歴史を刻んだ農民画	三沢 典丈	東京	9.16
宗教都市マントヴァ—君主ルドヴィーゴ・ゴンザーガの野心とマンテーニャによるその視覚化—	〃	文化学年報	61	(ム)			
(ミ)				思い出す本忘れない本 懐かしい「今」が見える 赤ずきん シャルル・ペロー (原作) サラ・ムーン (写真)	市川実和子	朝 日	6.10
収蔵作品から ルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエ	三木 敬介	ど お む	115	エクスペリメンタ・デザイン2011レポート 「ユースレス」に込めた意図 ポルトガルのブルーノ・ムナーリ、フェルナンド・ブリジオ	中島 恭子	A X I S	155
ミース・ファン・デル・ローエの煉瓦造田園住宅案のペースと平面図の関係	佐野 潤一	日本建築学会計画系論文集	672	作品ひとつ[エドワルド・ムンク]	徳江 康行	群馬の森 美術館ニ ュース	148
ミケランジェロのピエタ：そこに見るキリスト教信仰の変容	篠原 治道	ART LIBRARY	13	World News New York ムンク《叫び》、オークションで落札もはや美術館には“高値”の花!? 史上最高額で落札されたムンク《叫び》をめぐる嘆き	前橋 重二	芸術新潮	751
翻訳 ミケランジェロの《二人の公爵》	カルロ・デル・ブラーヴォ 甲斐 教行 訳・注解	五浦論叢	19	眼と脳がアートを創造[つく]る 第4～6回 ムンクの場合(前・中・後編)	深作 秀春	美術の窓	343～345
ミケランジェロ作サンタ・マリア・ソプラ・ミネルヴァ聖堂の《キリスト》再考—再発見されたパッサーノ作品との比較を通じた造形分析	新倉 慎右 美	学 術	240	ムンク「叫び」96億円落札	柳沢 亨之	読 売	5.4
ミケランジェロ作《コロンナ・ピエタ》の図像学とそのコピーの問題	嶋谷 昭彦	文化学年報	61	秘蔵の「叫び」5月競売へ[エドワルド・ムンク]		読売夕刊	2.22
学芸員コラム vol.1 《メディア》と『サンチャマン—音楽と身振り—』[アルフォンソ・ミュシヤ]	新谷 式子	ミュシヤ・ミュージアム・ニュース*	1	多様な文化の翻訳/介入を行う芸術家、アントニ・ムンタダス	浅倉 協子	A X I S	158
堺市所蔵アルフォンソ・ミュシヤコレクション概要と近年の調査報告	作花 麻帆	堺市博物館研究報告	31	(メ)			
土居君雄氏によるミュシヤ・コレクション収集の経緯と目的	新谷 式子	〃	〃	特集 西洋美術とジェンダー—視ることの制度 現代美術における(蒐集)の技法とジェンダー—コレクションの主観性/作家性[アネット・メサジェ]	香川 檀	言語文化	29
欧人異聞 故郷チェコで連作描いたミュシヤ	樺山 紘一	日 経	7.1				

本づくし「感性に直接訴えるメッセージ」『エデナの世界』メビウス著/原正人訳	安次富 隆	A X I S	155	ぎやらりいモール ポーラ美術館「印象派の行方—モネ、ルノワールと次世代の画家たち」から「国会議事堂、バラ色のシンフォニー」クロード・モネ	島本 英明	読売夕刊	5.1
マンガの地平広がった メビウスさんを悼む	大友 克洋	朝 日	4.4	まなざしの変革—大戦間期のドイツにおける写真の状況とモホイ＝ナジ—[モホイ＝ナジ・ラースロー]	中田 耕市	視 る	455
大波小波 メビウスの影響の輪	オ ー ム	東京夕刊	4.13	震災によって潰えた幻の展覧会図録 岡田温司監修『ジョルジョ・モランディ』			
文化往来 仏コミックの巨匠、メビウスしのぶ特集		日 経	9.3	ウィリアム・モリス—芸術と政治(3)	勝俣 好充	純心人文研究	18
メビウスさんを悼む常に新しかったその線	浦沢 直樹	毎日夕刊	4.5	本だな 愛用の楽器が語ります『はばたけ、レイ!』[フランク・モリソン]		読売夕刊	4.14
眼と脳がアートを創造(つく)る 第11、12回 シャルル・メリヨンの場合(前・後編)	深作 秀春	美術の窓	350、351	作家通信 中国画と日本画を原典に表現を広げて	文 問	水墨画*	277
(モ)							
from the World インタラクティブデザイン の生みの親、ビル・モグリッジ逝く	瀧口 範子	A X I S	160				
下田津波 ロシア人が描く 幕末来航偶然に遭遇 港の惨状 震災ほうふつ[アレクサンドル・モジヤイスキー]	福田 大展	東京夕刊	7.25	美の扉 ヤコブセン生誕110年「セブチエア」リニューアル無着色で豊かな色彩[アルネ・ヤコブセン]	篠原 知存	産 経	1.8
ぎやらりいモール 松岡美術館「情熱と愛恋」から「若い女の胸像(マーサ嬢)」アメデオ・モディリアーニ	小林真由美	読売夕刊	6.19	塑像家としてのヤコポ・デッラ・クエルチャルネサンス塑像研究再考—	松本 悠子	美術史	172
モネと日本趣味 その一側面—《ラ・ジャポネーズ》の衣裳から見えるもの—[クロード・モネ]	横山 昭	美術史論集	12	ジバング体感 余白が生み出す美[イラン・ヤニツキー]	中沢 穰	東 京	4.16
眼と脳がアートを創造(つく)る 第1回 モネの場合	深作 秀春	美術の窓	340	評論の眼 奥村雄樹「ジュン・ヤン 忘却と記憶についての短いレクチャー」(「東京藝術大学大学院美術研究科博士審査展2011」より)	小金沢 智	ギャラリ	321
4 [読ん]で知るアート 画家のパートナー 多難なモネ支えた女たち[クロード・モネ]	千足 伸行	朝日夕刊	5.16	世界の中の韓国人 常にチャレンジするアーティスト、梁慧圭	高 美錫 趙 祥恩 訳	コリアナ	19-3
カジュアル美術館 睡蓮 クロード・モネ 国立西洋美術館 日本の美学自ら解釈 絵に包まれ感じる光や、水、空気	三沢 典丈	東 京	7.15				
(ユ)							
				お手本画&秀作集 其ノ九 游筆基《心静自然》	游 筆基	水墨画*	274

(ラ)				ラファエロ 輝く晩年 ルーブル美術館企画展	三井 美奈 読 売	12.20
作家訪問430 陶芸家デレック・ラーゼンさん	編集部	目の眼	432	アンリ・ラブルーストの青年期と師匠たち—18世紀の革新性の継承—	白鳥 洋子	名古屋造形大学紀要 18
第24回「高松宮殿下記念世界文化賞」受賞者決まる 絵画：蔡國強氏、彫刻：チエッコ・ボナノッテ氏ら5部門5氏 日本人では演劇・映像部門で森下洋子氏が選ばれる[ヘニング・ラーゼン]		新美術新聞	1292	特集 アール・デコのエレガンス ジョルジュ・バルビエとジャン＝エミール・ラブルール		版画芸術 155
芸術表現を追求 文化発展に貢献 第24回「高松宮殿下記念世界文化賞」受賞者の素顔 建築部門ヘニング・ラーゼン光と空間の効果 周到に計算		産 経	9.13	J=E・ラブルールの都市風景 グラフィック・アートの黄金時代	鹿島 茂	
高松宮殿下記念世界文化賞 建築部門ヘニング・ラーゼンさん「光のドラマ」に魅せられて	岸本 佳子	〃	10.3	批評 レター・レイサーズ—ラメルジーと武装文字の空気力学	大山エンリコイサム	REAR 28
ピーテル・ファン・ラール(通称バンボッコ)の風景表現：その様式の源泉と人的交流	千葉麻衣子	成城美学美術史	17・18	第六十五回全国大会研究発表要旨 ルネ・ラリックの宝飾作品に見る十九世紀末女性幻想—装身具から装飾芸術へ—	樋田 麻純	美術史 173
美の履歴書257 二つの光が意味するのは「外から見た鍛冶屋の光景」 ライト・オブ・ダービー[ジョゼフ・ライト]	増田 愛子	朝日夕刊	6.6	アール・デコ 光のエレガンス		東京夕刊
夢遊する読書13 ラウシェンバーグの軽やかな芸術[ロバート・ラウシェンバーグ]	横尾 忠則	ユリイカ	607	1 ルネ・ラリック カーマスコット《勝利の女神》スピード感溢れる力強さ	天野 知香	7.17
PARIS 発 「最晩年のラファエロ」展	安部 雅延	新美術新聞	1296	5 ルネ・ラリック テーブル・センターピース《三羽の孔雀》 ガラスに浮く光と影	石井 幹子	7.21
二〇一〇年度同志社大学大学院修士論文梗概 豪華王キージの誉れとラファエロ作《ガラテアの勝利》—ヴィットラ・ファルネジーナの装飾プログラム 図像解釈—	藤井あゆみ	美学芸術学	27	ぎやらりいモール箱根ラリック美術館「ラリックの鳥の世界」から「櫛『孔雀』」ルネ・ラリック	大塚 梓	読売夕刊 6.26
はみ出し歴史ファイル ラファエロ ルネサンス巨匠、放蕩の果て	青木 裕司	朝日夕刊	2.2	SPECIAL FEATURE デミアン・ハースト PART 2： INTERVIEW ランキン 写真家	ランキン 談 三宅 由希 取材・文	美術手帖 969
欧人異聞 アリストテレス、経験を知に [ラファエロ・サンツィオ]	樺山 紘一	日 経	12.30	(リ)		
				特集1 石子順造「アルガママ」の交差—石子順造・李禹煥・中原佑介・中平卓馬	林 道郎	ART TRACE PRESS 2
				李禹煥の芸術論とメルロ＝ポンティの哲学	川瀬 智之	カリスタ 19

特集2 現代陶芸と造形 レポート:対談「作家の見た小川待子」李禹煥×小川待子 『二つのはじめの一歩』	安藤 雅信	REAR	27	平成二十三年度西支部例会 フィリップ・リッピの描いた岩山をめぐる一考察[フィリップ・リッピ]	颯持あずさ	美術史	172
美・コレクション本というオブジェ 李禹煥「作品」	岸 桂子	毎日	10.10	World News Berlin 「ゲルハルト・リヒター パノラマ」展 現代アートを牽引し続けるリヒター傘寿の全貌展	かないみき	芸術新潮	749
お手本画&秀作集 其ノ十一 里燕《神々の山》	里 燕	水墨画*	276	PARIS 発 リヒターの大回顧展	安部 雅延	新美術新聞	1285
現代中国巧藝事情72~75 美の伝道師一弘一法師1~4 [李叔同]	仲 佑樹	書道界	271~274	ゲルハルト・リヒターの冷戦期のフォト・ペインティングと《一九七七年十月十八日》	福田 千秋	美術史論集	12
お手本画&秀作集 其ノ十三 李鉄君《大地之陽》	李 鉄君	水墨画*	278	おやすみ、はたらくくるまたち シェリー・ダスキー・リンカー文、トム・リヒテンヘルド絵、福本友美子訳 ぼうやもすやすやと眠りに	加納 裕子	産 経	9.16
表紙図版解説 楽焼 駆兎文皿[バーナード・リーチ]	月森 俊文	陶 説	712	ダニエル・リベスキンドによるドイツ連邦軍軍事歴史博物館のリデザイン	小町 英恵	A X I S	155
土の「可能と不可能」性—バーナード・リーチの造形思考	金子 賢治	〃	〃	不思議な出会い。三つの作品をめぐる [ディエゴ・リベラ]	深谷 克典	アートペーパー	89
バーナード・リーチの窯	鈴木 禎宏	〃	〃	植民地期台湾美術のアイデンティティ—陳澄波と劉錦堂を中心に—	羽田ジェシカ	鹿島美術財団年報・別冊	29
バーナード・リーチは正しく伝えられてきたか? —エマニュエル・クーバー著『バーナード・リーチ生涯と作品』に見る	西 マーヤ	〃	〃	World News New York 「リン・ティエンミャオ パウンド・アンパウンド」展 人工の髪で覆われたリン・ティエンミャオの表情なき女たち [林天苗]	由本みどり	芸術新潮	756
日本民藝館「作陶100年記念 バーナード・リーチ展」に寄せて	月森 俊文	〃	〃				
新刊紹介 日本民芸館所蔵 バーナード・リーチ作品集 日本民芸館学芸部編 杉野孝典・撮影 水尾比呂志・監修	唐沢 昌宏	〃	713				
愉しみの骨董18[バーナード・リーチ]	豊島 愛子	目の眼	429				
ニッポン人・脈・記 日英新世紀10「実用の美」を受け継ぐ[バーナード・リーチ]	吉田美智子	朝日夕刊	7.19				
修士論文概要 アンリ・リヴィエール《エッフェル塔三十六景》再考	古屋 梨奈	早稲田大学大学院文学研究科紀要	57	ルソーからセラフィーンスヘーヴィルヘルム・ウーデ研究ノート[セラフィーン・ルイ]	遠藤 望	世田谷美術館紀要	13
SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3 Artist Files ダグ・リカード ストリート・ビューが捉えたアメリカの格差社会	伊東 豊子	美術手帖	971	批評 THERMOMETERS SHOULD LAST FOREVER—エドワード・ルーシエイの液体語(後編)	イヴ=アラソン・ボワ 近藤 学 訳	REAR	27
				交遊抄 自然体の芸術家[ジョルジュ・ルース]	岡部あおみ	日 経	7.28

(ル)

- World News London  
「ルーベンスと英国」  
展 英国王も公爵も  
籠絡する和平使節ル  
ーベンスのしたたか  
絵画社交術[ピーテ  
ル・パウル・ルーベ  
ンス]
- 前橋 重二 芸術新潮 747
- 特集 美術と検閲  
対抗宗教改革期の裸  
体表現批判とルーベ  
ンス 芸術的審判の  
あり方をめぐって
- 中村 俊春 西洋美術  
研究 16
- 2012夏・秋 名画に  
会いに行く 一歩進  
んだ展覧会ガイド  
Case 4 ルーベンス  
ドラマティックな肉  
感派
- 美術の窓 346
- 美の履歴書267 下絵  
が物語ることは「聖  
母被昇天(下絵)」  
ペーテル・パウル・  
ルーベンス
- 西岡 一正 朝日夕刊 8.15
- Bonjour! Georges 第  
16~18話[ジョルジ  
ュ・ルオー]
- (増子) Shiodome  
Museum  
Revue 18~20
- 日本におけるジョル  
ジュ・ルオーの紹介、  
あるいはその受容に  
ついて
- 金澤 清恵 成城美学  
美術史 17・18
- ジョルジュ・ルオー  
サーカス 道化師
- 日 経 11.25
- 渡英後のアルフォン  
ス・ルグローロダン  
作品のプロモーション  
とアイオニディス・  
コレクシヨンの形  
成—
- 安藤 智子 鹿島美術  
財団年報  
・別冊 29
- チャンディガール州  
都計画におけるル・  
コルビュジエの住宅  
構想に関する研究—  
土着的な要素を取り  
入れた住宅設計—
- 大野 隆司 日本建築  
学会計画  
系論文集 671  
川向 正人
- コルビュジエの「小  
さな家」 親への深  
い愛情[ル・コルビ  
ュジエ]
- 綱島 雄太 日 経 1.12
- ルソーからセラフィ  
ーンヘーヴィルヘル  
ム・ウーデ研究ノー  
ト[アンリ・ルソー]
- 遠藤 望 世田谷美  
術館紀要 13
- 美の履歴書242 「恋  
敵」を描いた理由  
「フリュマンヌ・ピ  
ッシュの肖像」 ア  
ンリ・ルソー
- 増田 愛子 朝日夕刊 2.22
- 第六十三回美学会全  
国大会報告 発表要  
旨 クロード=ニコ  
ラ・ルドゥの理想的  
都市構想における労  
働、教育、性愛
- 小澤 京子 美 学 241
- オディロン・ルドン  
「蜘蛛」
- 木村 一貫 WaveII 2
- ルドンのオルフェウ  
ス作品
- 六人部昭典 実践女子  
大学文学  
部紀要 54
- コレスボンダンスの  
核—ルドンの《目を  
閉じて》に見る象徴  
主義—
- 喜多崎 親 成城文芸 219
- 第六十三回美学会全  
国大会報告 発表要  
旨 オディロン・ル  
ドン作版画集《聖ア  
ントワヌの誘惑》  
の隠喩的構成と換喩  
的構成
- 中村 泰士 美 学 241
- 第六十五回全国大会  
研究発表要旨 オデ  
イロン・ルドン作  
《仏陀》再考
- 堀切 春水 美術史 173
- 美の履歴書240 なぜ  
パステル画なのか  
「グラン・ブーケ」  
オディロン・ルドン
- 西岡 一正 朝日夕刊 2.8
- 岐阜県美術館所蔵  
ルドンとその周辺
- 東京夕刊
- 中 神秘的で深奥  
な黒
- 中林 忠良 1.31
- 下 定められない  
解釈
- 喜多崎 親 2.1
- 平成二十三年度東支  
部例会 ルノワール  
と印象派展とサロン  
[ビエール=オーギ  
ュスト・ルノワール]
- 賀川 恭子 美術史 172
- 4 [読ん]で知るアー  
ト 画家のパートナ  
ー 古風と質素尊ぶ  
ルノワール
- 千足 伸行 朝日夕刊 5.9
- SPECIAL FEATURE  
写真2.0 PART 1  
Focus 1 トーマス  
・ルフ
- トーマス・  
ルフ 談  
かないみき  
聞き手  
桐谷麗了子  
構成
- 美術手帖 971
- ルンゲの『一日の諸  
時間(Die Zeiten)』  
における〈天使〉と  
〈子ども〉[フリッ  
プ・オットー・ルン  
ゲ]
- 松友知香子 比較文化  
論叢 27
- (レ)
- 第六十三回美学会全  
国大会報告 発表要  
旨 レンブラントと  
リユーカス・ファン  
・レイデン—「エッ  
ケ・ホモ」を中心  
に—
- 山田今日子 美 学 241

多様化する現代アートにおける写真と差異 シェリー・レヴィーンのシミュレーション画像	鉢呂 光恵	藤女子大学紀要	49-2	第六十五回全国大会研究発表要旨 大正期におけるレオナルド・ダ・ヴィンチの受容の側面—甲斐庄楠音を中心に—	富田真理子	美術史	173
日本におけるイリヤ・レーピンの受容史	初山 昌夫	神奈川県立近代美術館年報	2010年度	視点 苦行の聖人とダンス!—「レオナルド・ダ・ヴィンチ展 in シアター」公開によせて	池上 英洋	美術の窓	344
2012夏・秋 名画に会いに行く 一歩進んだ展覧会ガイド Case 7 レーピン これぞロシア・リアリズム		美術の窓	346	模写によるヴェロッキオ工房作「キリストの洗礼」の研究—イタリアルネサンス絵画技法の変遷と空間構造の変化の考察—[レオナルド・ダ・ヴィンチ]	塩谷 亮	武蔵野美術大学研究紀要	42
美の履歴書268 憤怒の形相なのは「皇女ソフィア」イリヤ・レーピン	西田 健作	朝日夕刊	8.22	ダビンチ幻の壁画 発見へ高まる期待 後の壁には何が…		産 経	3.21
ぎやらりいモール Bunkamuraザ・ミュージアム「国立トレチャコフ美術館所蔵レーピン展」から「作曲家モDESTO・ムソルグスキーの肖像」	宮沢 政男	読売夕刊	9.11	「若きモナリザは本物」 専門家、今後論争も[レオナルド・ダ・ヴィンチ]		毎 日	9.28
アントニン・レーモンド「カトリック新発田教会」	峰村 一彦	Wave II	5	映画「ダ・ヴィンチ展 in シアター」公開 展覧会の舞台裏紹介	岸 桂子	毎日夕刊	5.7
World News London 「レオナルド・ダ・ヴィンチ ミラノの宮廷画家」展 空前規模のレオナルド展に行方不明となっていた《救世主》あらわる!	前橋 重二	芸術新潮	745	第2のモナリザ 真贋論争 「ダ・ビンチ作」至難の鑑定 工房で制作/多数の模写 歴史・科学的に作者調査	高野 井上 清見 晋治	読 売	10.4
Movie レオナルド揃い踏みスクリーンでどうぞ		〃	749	20代「第2のモナリザ」 スイスの財団発表 真贋論争も[レオナルド・ダ・ヴィンチ]		読売夕刊	9.28
World News Firenze ウルトラ修道院跡の発掘調査 イタリアのお騒がせ野郎、モナ・リザのモデルの遺体発掘! [レオナルド・ダ・ヴィンチ]	前橋 重二	〃	754	追悼 世界文化賞受賞 建築家 リカルド・レゴレッタ氏 「光の国」のルーツを表現	田野 陽子	産 経	1.22
PARIS 発 モナ・リザの話題性[レオナルド・ダ・ヴィンチ]	安部 雅延	新美術新聞	1274	コラム 岩手・宮城・福島を訪れた3人の外国人建築家[ヤン・レッツェル]	大沼 正寛	建築雑誌	1626
新美術時評 肖像と時間 2点の《モナ・リザ》と篠山紀信[レオナルド・ダ・ヴィンチ]	光田 ゆり	〃	1295	リチャード・レッドグレイヴの絵画とデザイン	竹内 有子	フィロカリア	29
フロイトにおける必然—レオナルド・ダ・ヴィンチ論をめぐって—	上尾 真道	人文学報	102	World News London 「ピーター・レリーリリカリ・ヴィジョン」展 英国宮廷画家ピーター・レリーの気になる裸身	前橋 重二	芸術新潮	756
				連載 Architect Politician 建築的政治家 ジャイメ・レルネル	南篠 洋雄	建築雑誌	1632

World News Amsterdam レンブラント・ファン・レイン 《髭をはやした老人》 真贋解決の切り札 新出レンブラントを透視した元素マップ 画像解析とは？	前橋 重二	芸術新潮	746	美の履歴書245 何を叫んでいるのか「書籍」(国立出版社レニングラード支部のための広告ポスター)アレクサンドル・ロトチェンコ	大西 若人	朝日夕刊	3.14
紙の万華鏡 Vol. 2 レンブラントが使った紙	増田 勝彦	聚 美	2	美の履歴書249 なぜかくも明るいのか「マルクス・アウレリウス騎馬像、トラヤヌス記念柱、神殿の見える空想のローマ景観」ユベール・ロペール	" "	" "	4.11
第六十三回美学会全国大会報告 発表要旨 レンブラントとリュウカス・ファン・レイデン—「エック・ホモ」を中心に—	山田今日子	美 学	241	ユベール・ロペール—時間の庭—		東京夕刊	
2012夏・秋 名画に会いに行く 一步進んだ展覧会ガイド Case 2 レンブラント 肉迫する人物表現		美術の窓	346	上 ヴェルサイユのアポロンの水浴の木立 自然と人工調和の美	池田理代子		4.25
		(口)		中 アルカディアの牧人たち 死ぬ運命こそこの「今」	ドラ・トーザン		4.26
				下 凱旋橋 絵の中を空想旅行	木村 泰司		4.27
アドルフ・ロースにおける素材と空間—ツアラ邸以降の家屋建築を中心に—	岸本 督司	美 学	241	目は語る アート遺 遥 3月 「廃墟の画家」ロペール「永遠の都」ローマへの郷愁	高階 秀爾	毎日夕刊	3.21
マルチェロ・ローゼンバウムによるブラジルのスラム改善プロジェクト	中島 恭子	A X I S	156	NY アントニオ・ロペスの新鮮さ	森 光世	読売夕刊	10.3
特集 いわさきちひろ Love, Love, Love 作品篇 美術史から読み直す いわさきちひろ試論 「女」たちの場所 ちひろとローランサン[マリナー・ローランサン]	天野 知香	芸術新潮	751	美の美 フレスコに息づく夢4 [アンブロジーノ・ロレンツェッティ]	宝玉 正彦	日 経	1.29
						(ワ)	
特集 アートの力を考える! PART 1 マーク・ロスコ 折りの空間		美術の窓	348	研究ノート 「チャールズ・ワーグマン」という画家の位相—神奈川県立歴史博物館所蔵水彩画群と『イラストレイテッド・ロンドン・ニューズ』の比較検証を中心として—	角田 拓朗	神奈川県立博物館 研究報告	38
研究ノート 蔵書から立ち現れるロダン [オーギュスト・ロダン]	南 美幸	アマリリス	104	生麦事件150年 横浜で企画展 殺害英国人の手紙初公開[チャールズ・ワーグマン]	早川 保夫	読 売	9.5
渡英後のアルフォンス・ルグロ—ロダン作品のプロモーションとアイオニディス・コレクションの形成—	安藤 智子	鹿島美術財団年報・別冊	29	NAVI & navi テーマ「雨」心に潤いを与えてくれる 逃げ込めば何かが始まる[レナード・ワイスガード]	飯田 有美 塩野 米松	読売夕刊	6.23
ロダン 研究 VII—マルセル・ティレルのロダン	高橋 幸次	日本大学芸術学部紀要	55				

平成24年定期刊行物所載文献(近/外ワ)

益子の被災者照らす 光を ハンガリーの 彫刻家故ワグナー氏 代表作展示 妻 続 く災害 「勇気与え たい」[ワグナー・ナ ンドール]	石井紀代美	東京夕刊	5.17
アール・デコ 光の エレガンス 4 アマ ルリック・ワルター 花文パフューム・ラ ンプ 子守唄のよう な懐かしさ	岸田 夏子	〃	7.20
お手本画&秀作集 其ノ九 王俊宇瀟 《日記 2011.JUN.羽 化-C》	王俊 宇瀟 [ワンジュ ン・ウシヨ ウ]	水墨画*	274
特集 秋の制作シー ズンに贈る18作家の 水墨世界 王俊宇瀟 深山鳴泉	〃	〃	282



その他  
美術関係者

日本

(ア行)

會津八一の様本	角田 勝久	早大會津八一記念博紀要*	13	全美フォーラム06「的世界」で考えたこと[石子順造]	成相 肇	ZENBI	2
會津八一の様本の制作年と晩年の制作	〃	奈良美術研究	13	「石子順造的世界」展	加治屋健司	美術手帖	965
著者に会いたい 青木保さん「文化力」の時代 21世紀のアジアと日本 共通の現代文化圏が今や出現	四ノ原恒憲	朝 日	2.5	昭和40年代に切り込んだ目 評論家・石子順造の回顧展 キッチュから芸術再考	西岡 一正	朝日夕刊	1.25
KEY PERSON INTERVIEW 急接近 アジアに急増する文化施設、対抗策は？ 日本への関心を生かせ 国立新美術館館長 青木保さん アートの社会性認識を	青木 保 談 岸 桂子 聞き手	毎 日	2.25	アートの風 1月 石子順造の世界展 評論家にちなんだ問題提起	三田 晴夫	毎日夕刊	1.10
こころの玉手箱 国立西洋美術館館長 青柳正規 1～5	青柳 正規	日経夕刊	2.6～10	美術 「石子順造的世界」展 芸術と非芸術 両にらみ	前田 恭二	読 売	2.2
あすへの話題	〃	〃	7.6、20、8.3、17、24、31、9.21、28、10.19、26、11.9、30、12.7、14、21、28	デザイン季評 関東大震災後の明るさ[石子順造]	生井 英考	〃	2.23
とぎの人38 東北学は第2章へ 赤坂憲雄さん	新美術新聞		1280	「偉大な遺跡」見守り50年 アンコールワット修復の研究者 石澤良昭さん 皇太子さまの案内役		読売夕刊	6.22
秋元洒汀と明治の日本画(二)	塩谷 純	美術研究	407	特集 コレクターの存在と役割 松原昌美(MA 2 gallery)・石鍋博子(ワンピース倶楽部)		ファウンテン	3
学生企画 芸術とかかわって暮らす 地道なライフワークで社会を少し変える	蘆田 裕史	瓜生通信	55	伊勢彦信さん寸描	林屋 晴三	陶 説	709
新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第63回 福島県立美術館学芸員 荒木康子	斉藤 博美	ギャラリー	325	關士あるいは風流人—伊勢彦信さんを文章でスケッチする	米原 範彦	〃	〃
(小委員会活動報告) 戦後建築史家の軌跡(第八回) 飯田喜四郎	戦後建築史学研究会	建築史学	59	人生の贈りもの イセ文化基金理事長 伊勢彦信 1～5	米原 範彦 聞き手	朝日夕刊	8.20～24
父の心血 南蛮美術 大空襲乗り越えたコレクション、神戸に[池長孟]	池長 潤	日 経	4.17	特集 ニッポンの赤絵 鶏と赤絵を愛した父のお話[磯ヶ谷正道]	編 集 部	目の眼	435
				特集 いま、活躍している女性[なでしこ]ギャラリスト 万画廊 オーナー 伊藤愛		ギャラリー	326
				交遊抄 律義な悪友	伊藤 善章	日 経	10.17
				伊藤延男先生のガッゾーラ賞受賞	矢野 和之	建築史学	59
				特集 ギャラリストとアーティストの関係 伊藤悠(island JAPAN)		ファウンテン	2
				特集1 近代数寄者のセンスにふれる“生涯小僧”が駆け抜けた戦前戦後の美の世界	井上 康弘 森田 武夫	目の眼	431
				特集 茶の湯—スキの芸術 第1部 茶の湯の系譜 今泉雄作の美術史と茶の湯	依田 徹	美術フォーラム21	25

SPECIAL FEATURE

東京アートガイド  
2012 INTERVIEW  
私の東京アートめぐり02 植原亮輔、渡邊良重×クレマチスの丘

石井 芳征 美術手帖 966

幻の堅笛 息吹返せ  
大倉喜七郎考案の「オークラウロ」、70年ぶり復活へ尽力

田中知佐子 日 経 2.16

追悼太田幹二さんを悼む

浮世絵芸術 164

故太田幹二氏を偲んで

竹内 誠

太田さんお世話になりました

稲垣 進一

太田幹二館長の思い出

河野 元昭

館長太田幹二氏のこと

鈴木 浩平

太田幹二館長へ

市川 信也

山口さんと太田さんを悼む[太田幹二]

菊地 貞夫 " "

アートディレクター：太田英茂の仕事—花王時代の新聞・雑誌広告を中心に—

渡辺 美保 長野県信濃美術館紀要 6

特別レポート 「工芸」はどこへ向かうのか 前編 表現としての工芸 現代美術ギャラリーだって「工芸」を扱いたい

大田 秀則 芸術新潮 752  
小山登美夫

新・学芸員の企画術キュレーションの壺第66回 葦崎大村美術館館長 大村智

斉藤 博美 ギャラリー\* 328

特集 中国と東アジア—近代のコレクション形成と研究の背景 第2部 コレクション形成の背景 完顔景賢と大村西崖

下田 章平 美術フォーラム21 26

岡倉天心 The Book of Tea のコード—ルネサンス的伝統と画期的創造への挑戦—

東郷登志子 五浦論叢 19

特輯 岡倉天心生誕百五十年記念

国 華 1400

西洋主義者としての天心

高階 秀爾

岡倉天心の世界観と歴史観—近代日本の美術の定位—

佐藤 道信

明治仏像模刻論—岡倉天心の模造観の形成—

浅井 和春

特集 茶の湯—スキの芸術 第1部 茶の湯の系譜 美術による茶の湯の再発見—『茶の本』の歴史的役割と今日的意義 [岡倉天心]

田中 秀隆 美術フォーラム21 25

上野の柱の12の物語 第十一章[岡倉天心]

中野 中 美術屋・百兵衛 21

岡倉天心の生涯映画化へ 被災・茨城を日本を元気に 流失・六角堂「再建」も一コマ 松村克弥監督 資金寄付募る「復興シンボルにしたい」

吉岡 逸夫 東京夕刊 1.23

アートシーン時評 MAGIC通信 第3回 コレクターの憂鬱

岡田 聡 ファウンテン 3

エッセイ 美術史家の覚書(2)

小佐野重利 西洋美術研究 16

(カ行)

4 [読ん]で知るアート 挿絵

鹿島 茂 朝日夕刊

フランス挿絵本を日本へ

9.19

「転落」へと誘う美しさ

9.26

話題の人 巻頭インタビュー 金子啓明さん

金子 啓明 目 の 眼 435  
談 集 部

交遊抄 浅草の先輩

河合 正朝 日 経 8.31

川上貢先生のご逝去を悼む

高橋 康夫 建築史学 59

新・学芸員の企画術キュレーションの壺第70回 東京都美術館専門調査員 川越仁恵

斉藤 博美 ギャラリー\* 332

追悼—川田哲也さんのこと—

瀧 梯三 美術の窓 351

交遊抄 火やけ長次郎

河田 昌之 日 経 11.1

大地をデザインする北川フラムさんに聞く 過疎の里山に人呼ぶ作品 手間かけ協働培う

嶋沢 裕志 日経夕刊 9.8

私のいる風景 駅前男性裸体像 「陰」に光を 木下直之さん 文化資源学者

井上 晋治 読 売 12.15

ときの人44 串田光子さん 文化の薫りを放ち新人育成を続けて半世紀

新美術新聞 1296

新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第67回 青森県立美 術館学芸員 工藤健 志	齊藤 博美	ギャラリー 一*	329	小林忠先生最終講義 および古稀祝賀会の ご報告	藤澤 紫	浮世絵芸 術	164
戦没画学生の自己表 現に学ぶ 痛みに寄り 添う想像力を「無 言館」館主 窪島誠 一郎	富田 律之 聞き手	日経夕刊	8.15	江戸絵画の奇跡鮮や かに 小林忠教授、 最終講義「海外の影 響色濃く」	大西 若人	朝日夕刊	2.1
匍蝓書牢由来 并日 向ポッコ 披露の口 上	熊田 司	えむえむ	2	江戸絵画の魅力 最 終講義で語る[小林 忠]		日経夕刊	2.16
新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第59回 東京国立近 代美術館学芸課長 蔵屋美香	齊藤 博美	ギャラリー 一*	321	鑑賞録 真贋	小林 秀雄	国華清話 会会報	19
VIEW〈阪神間モダニ スム〉 近代実業家 達美術コレクション ～黒川幸七と藤井 善助～	仙海 義之	阪急文化	3	特集 いま、活躍し ている女性[なでし こ]ギャラリー 番町画廊 オーナー 小林玲子、松宮郁子		ギャラリー 一*	326
VIEW〈阪神間モダニ スム〉 近代実業家 達美術コレクション ～黒川幸七と藤井 善助～	仙海 義之	阪急文化	3	特別レポート 「工 芸」はどこへ向かう のか 前編 表現と しての工芸 現代美 術ギャラリーだって 「工芸」を扱いたい	大田 秀則 小山登美夫	芸術新潮	752
特集 中国と東アジ ア—近代のコレクシ ョン形成と研究の背 景 第1部 関西にお ける中国書画近代 コレクションの形成 二代黒川幸七の書画 蒐集—その来歴と人 物交流	竹浪 遠	美術フォ ーラム21	26	特集 ギャラリスト とアーティストの関 係 小和田愛(AI KOWADA GALLERY)		ファウン テン	2
黒川節司の美術活動 —昭和戦前期の広島 における美術家支援 と美術館構想—	藤崎 綾	広島県立 美術館研 究紀要	15	乱反射を生み出す新 たな光—二〇一〇— 秋、青森[今和次郎]	天内 大樹	大正イマ ジュリイ	7
黒川節司の美術活動 —昭和戦前期の広島 における美術家支援 と美術館構想—	藤崎 綾	広島県立 美術館研 究紀要	15	芸術の力で地域活性 化に挑む 2期目の 近藤誠一・文化庁長 官	木村 尚貴	朝 日	10.11
小島島水西洋版画コ レクション研究ノー ト1 輸入問題に関 わる資料を中心に	沼田 英子	横浜美術 館研究紀 要	13	(サ行)			
美童如是我聞録[小 杉一雄]	丹尾 安典	一寸	49	この人 世界のたこの 博物館を運営 阪 井田茂さん 自宅を 増築し開館、72カ国 分を所蔵	高木 梨恵	東 京	2.22
特集 いま、活躍し ている女性[なでし こ]ギャラリー ギャラリーゴトウ オーナー 後藤真理 子		ギャラリー 一*	326	特集 いま、活躍し ている女性[なでし こ]ギャラリー ギャラリーアートも りもと ディレクタ ー 佐々井智子		ギャラリー 一*	326
図解でたどる第23回 茶の湯あれこれ茶人 編 小林逸翁	八尾 嘉男	淡 交	823	凄腕つとめにん 作 品の魅力 調査重ね て表現 シンワア ートオークション オ ークション事業部マ ネージャー 佐藤江 梨子さん 解説を書 く美術品 年に600 点	石山 英明	朝 日	5.21
VIEW〈茶道〉		阪急文化	2	都美術館「生みの親」 佐藤慶太郎 美術愛 した「石炭の神様」 新装開館式典で講演 社会貢献に私財「日 本の恩人」	榎本 哲也	東 京	4.17
小林一三(逸翁)と 生形貴一(自徹斎)	生方 貴重						
逸翁の茶会	中川 憲一						
VIEW〈阪神間モダニ スム〉 近代実業家 達美術コレクション ～黒川幸七と藤井 善助～[小林逸翁]	仙海 義之	〃	3				

作り手の技、着る人の心を想う 白洲正子の着物	皆川 明	芸術新潮	749	漁師の住む村 究めた男 40年にわたる漁村集落研究者の遺稿まとめる[地井昭夫]	重村 力 日 経	10.30
特集 コレクターの存在と役割 杉田鐵男(GALLERY MoMo)		ファウンテン	3	特集 いま、活躍している女性[なでしこ]ギャラリスト B-gallery オーナー長はるこ		ギャラリ 326
特集 中国と東アジア—近代のコレクション形成と研究の背景 第1部 関西における中国書画近代コレクションの形成 もう一つの住友コレクション—住友春翠と中国画	実方 葉子	美術フォーラム21	26	追悼 辻佐保子先生	高階 秀爾 木俣 元知 天野 知香	日仏美術学会会報 31
特集 ギャラリストとアーティストの関係 染谷卓郎(Takuro Someya Contemporary Art)		ファウンテン	2	悼む 辻佐保子さん 美術史家、作家辻邦生の妻 夫邦生の同志として	井上 卓弥	毎 日 2.5
(タ行)				連載 奇想の発見 ある美術史家の回想 第1~6回	辻 惟雄	芸術新潮 751~756
文化勲章 美術評論家 高階秀爾さん 「作者の思いを伝えたい」		産 経	11.7	辻惟雄氏記念講演会 「江戸絵画と現代アート」(抄録)	〃	美連協ニュース 113
文化勲章・文化功労者 喜びの声 文化勲章 高階秀爾さん 分野認められたい	岸 桂子	毎日夕刊	10.30	交遊抄 いのちの電話[辻惟雄]	山下 裕二	日 経 5.19
文化勲章 高階秀爾さん 美術史家 西洋美術研究で業績		読売夕刊	10.30	ときの人39 鶴岡真弓さん ケルトと日本を結ぶ「美の文明交流史」を語る		新美術新聞 1282
近代数寄者たちの客振り、亭主振り[高橋箒庵]	淡交社編集局	淡 交	822	顔 纏向学研究センター初代所長に就任した 寺沢薫さん	守川雄一郎	読 売 5.4
図解でたどる第22回茶の湯あれこれ茶人編 高橋箒庵	八尾 嘉男	〃	821	話題の人 巻頭インタビュー 富沢信明さん(東北民藝館館主・良寛研究者)	富沢 信明 富沢 信明 編 集 部	目 の 眼 426
終わらない宿題[瀧口修造]	島 敦彦	橄 欖	2	(ナ行)		
小論 「ふるさと」をめぐる瀧口修造と堀田善衛	向井 嘉之	〃	〃	特集 いま、活躍している女性[なでしこ]ギャラリスト 純画廊 オーナー 内藤純子		ギャラリ 326
瀧口修造と小樽 一詩「カヒガラ」をめぐる	土淵 信彦	〃	〃	交遊抄 北京 寅の会	内藤 規夫	日 経 6.14
特集 いま、活躍している女性[なでしこ]ギャラリスト 新宿眼科画廊 オーナー たなかちえこ		ギャラリ	326	思い出す本忘れない本 極限の中、何十回も読んだ 人間の条件 五味川純平(著)	中島誠之助 大上 朝美 構成	朝 日 8.12
美しく豊かに住む 田中恒子さんに聞く 「自分が主人公」自覚して まずは整理整頓から	宮内 禎一	日経夕刊	12.1	話題の人 巻頭インタビュー 永田生慈さん	永田 生慈 永田 生慈 編 集 部	目 の 眼 433
				話題の人 巻頭インタビュー 中根千枝さん	中根 千枝 中根 千枝 編 集 部	〃 429

新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第68回 神奈川芸術 文化財団・美術部門 学芸員 中野仁詞	齊藤 博美	ギャラリー 一*	330	特集 中国と東アジ ア—近代のコレクシ ョン形成と研究の背 景 第1部 関西に おける中国書画近代 コレクションの形成 観峰コレクションの 収集と特徴[原田観 峰]	瀬川 敬也	美術フォ ーラム21	26
幻の「古瓦類雑考 (三)」と大正年間の 金印論争[中山平次 郎]	赤坂 亨	福岡市博 物館研究 紀要	22	とくの人41 原田マ ハさん ルソーを題 材に満を持してのア ート・ミステリー		新美術新 聞	1288
新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第60回 府中市美術 館学芸員 成相肇	齊藤 博美	ギャラリー 一*	322	ひと 中国美術品の 収集を通じて日中友 好を図る 左明貴子 さん	五十嵐倫義	朝 日	2.29
キュレーターが語る 本 南條さん 面白 さ読者に伝えたい 長谷川さん 作家入 口に視点提示[南條 史生]	増田 愛子	朝日夕刊	4.18	特別レポート 「工 芸」はどこへ向かう のか 後編 産業と しての工芸 日野明 子 産地と消費者を つなぐ「ひとり間屋」	橋本 麻里	芸術新潮	753
交遊抄 先生の予言	新関 公子	日 経	12.15	新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第62回 国立新美術 館情報資料室長主任 研究員 平井章一	齊藤 博美	ギャラリー 一*	324
特集 染織コレクシ ョンの形成 野村正 治郎衣裳コレクシ ョン—古美術商による コレクション	澤田 和人	歴 博	174	研究者紹介58 平川 南 出土文字資料を 追う—古代国家の実 像を求めて—	平川 南	歴 博	170
(ハ行)				TOP NEWS 2012 平野古陶軒三代目・ 平野龍一がサザビ ーズに転身	平野 龍一	ギャラリー 一*	332
天職ですか 美術館 学芸員 拝戸雅彦さん アートと街つな ぐ	境田 未緒	東 京	7.27	特集 いま、活躍し ている女性[なでし こ]ギャラリスト ギャルリー志門 オ ーナナ 深井美子		"	326
新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第64回 宇都宮美術 館主任学芸員 橋本 優子	齊藤 博美	ギャラリー 一*	326	VIEW(阪神間モダニ スム) 近代実業家 達の美術コレクション 〜黒川幸七と藤井 善助〜	仙海 義之	阪急文化	3
キュレーターが語る 本 南條さん 面白 さ読者に伝えたい 長谷川さん 作家入 口に視点提示[長谷 川祐子]	増田 愛子	朝日夕刊	4.18	近代数寄者たちの客 振り、亭主振り[藤 田平太郎]	淡交社編集 局	淡 交	822
HEADLINE 05 コレ クターが所有する作 品群「コレクターズ アイ」展—KASHIWA ART DAYLIGHT[秦 明生]		フアウン テン	3	大特集 縄文の歩き 方 エッセイ 縄文 と私4 縄文建築団	藤森 照信	芸術新潮	755
次世代 人 フノリ が壁画守る 早川典 子さん	辻本 芳孝	読売夕刊	4.14	新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第65回 ひろしま美 術館学芸部長 古谷 可也	齊藤 博美	ギャラリー 一*	327
彩・美・風 食が伝 える画家の生き様	林 綾野	朝日夕刊	1.4	忘れがたき文士たち 複眼で「乱世」見つめ る 堀田善衛	浦田 憲治	日 経	1.29
茶席で語る名碗への 思い 陶磁史研究の 重鎮 林屋晴三さん が出版		読 売	2.16				

眠れる美術作品大集合 個人コレクター連携、展覧会や画集で名画並べる	堀 良慶 日 経 7.30			追悼・森稔氏 森美術館創設者森稔氏の冥福を祈る	南條 史生	〃	1278
	(マ行)			視点 故森稔氏を偲んで	デヴィッド・エリオット	美術の窓	344
新・学芸員の企画術キュレーションの壺第69回 埼玉県立近代美術館主席学芸主幹 前山裕司	斉藤 博美 ギャラリー 一*	331			(ヤ行)		
図解でたどる第21回茶の湯あれこれ茶人編 益田鈍翁	八尾 嘉男 淡 交	820		新・学芸員の企画術キュレーションの壺第61回 横浜美術館主任学芸員 八柳サエ	斉藤 博美 ギャラリー 一*	323	
近代数寄者たちの客振り、亭主振り[益田鈍翁]	淡交社編集局	〃	822	発表要旨 第八回全国大会・第二十二回研究会 柳宗悦の工藝理論における(個人作家)の位置付け——一九二〇年代を中心にして	入江 繁樹 大正イマジユリイ	7	
図解でたどる第24回茶の湯あれこれ茶人編 松下幸之助	八尾 嘉男	〃	824	足裏の記憶—思想家を旅する 第四回 柳宗悦×丹波 兵庫県	北川フラム 文峰 美佳 編集	美術手帖	962
特集 コレクターの存在と役割 松原昌美(MA 2 gallery)・石鍋博子(ワンピース倶楽部)		ファウンテン	3	追悼山口桂三郎先生を悼む		浮世絵芸術	164
特集 いま、活躍している女性[なでしこ]ギャラリスト 番町画廊 オーナー 小林玲子、松宮郁子		ギャラリー 一*	326	追悼山口桂三郎先生	小林 忠		
ときの人37 東京都美術館館長真室佳武さん 美術の未来へ、懸け橋となるために		新美術新聞	1277	山口桂三郎先生を偲ぶ	本田 正明		
特集 いま、活躍している女性[なでしこ]ギャラリスト ユカリアート オーナー みつまゆかり		ギャラリー 一*	326	故山口桂三郎会長を偲んで	小澤 弘		
南方熊楠と和歌山城保存運動	雲藤 等	地方史研究	355	国立の「うなちゃん」の味	浅野 秀剛		
ときの人36 峯村敏明さん 和服姿で颯爽と展覧会を駆け巡る		新美術新聞	1275	山口先生との出会い	鈴木 浩平		
北緯43度 絵画の旅に幕 各国の作品集めた私営美術館、15年で区切り	宮田 勝 日 経		12.5	「君ねえ。どうしてこんなこともわからないの〜。」	渡邊章一郎		
村山龍平記念館についての一考察	塩田 昌弘	大手前大学論集	12	山口桂三郎先生の思い出	セバスチャン・イザード		
森鷗外 近代文学界の傑人 生誕一五〇年記念 鷗外という脈 鷗外と美術芸術をめぐる交流と活動	川西 由里 太陽(別冊)		193	山口桂三郎先生との思い出	小池満紀子		
ときの人43 森英恵さん 野外美術館に新しい風を		新美術新聞	1293	「ウキヨエ」と「オノウ」—亡き父・山口桂三郎を想う。	山口 桂		
				山口さんと太田さんを悼む[山口桂三郎]	菊地 貞夫 談	〃	〃
				山口桂三郎先生を偲ぶ会報告	渡邊章一郎	〃	〃
				交遊抄 いのちの電話	山下 裕二 日 経	5.19	

特集 中国と東アジア—近代のコレクション形成と研究の背景 第1部 関西における中国書画近代コレクションの形成 山本二峯(梯二郎)と澄懷堂コレクション [山本梯二郎]	伊藤みのり	美術フォーラム21	26	SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART 2 アート界を動かすキーパーソン イヴァン・ヴィルト 既存の常識へ果敢に挑戦する早熟の天才ギャラリスト	大森 俊克	美術手帖	962
特集 いま、活躍している女性[なでしこ]ギャラリスト 山本現代 オーナー 山本裕子		ギャラリー一*	326	SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART 2 アート界を動かすキーパーソン ギャラリー・ウォーターストン ロンドン支店ディレクターに聞く“ガゴシアン帝国”の知られざる舞台裏	伊東 豊子 取材・文	”	”
特集 染織コレクションの形成 発信するコレクション—吉川観方コレクションの形成と活用状況から	飯島 礼子	歴 博	174	SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART 2 アート界を動かすキーパーソン ラリー・ガゴシアン ガゴシアン・エフェクト	ケリー・クロウ 藤森 愛実、 編集部 訳	”	”
視点 残るもの 残らないもの—国立のギャラリストとして思うこと—	吉田 史崇	美術の窓	349	エミール・ギメの日本宗教への探究	フレデリック・ジラル	東 方 学	124
交遊抄 茶室の数寄な縁 [吉村裕]	石田 智園	日 経	1.7	グリーンバーグとシュルレアリスム [クレメント・グリーンバーグ]	筒井 宏樹	愛知県立芸術大学 紀要	41
米内山庸夫の南宋官窯址探索の足跡を追って	関口 広次	陶 説	707	フォーカス ティファニー財団評議長、日本文化の保護活動を表彰 フェルナンダ・ケロック氏 デザインでの着想に恩返し		日経夕刊	11.19
(ラ行)				PARIS 発 「ミシア、パリの女王」展他 [マリア・ゴデブスカ]	安部 雅延	新美術新聞	1287
なぜ私は建築を選んだか no.5 興味のかけらをつないで	笠 真希	建築雑誌	1639	SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART 2 アート界を動かすキーパーソン チャールズ・サーチ 英国の大衆をアートホリックにしたスーパー・コレクター	伊東 豊子	美術手帖	962
(ワ行)				SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART 2 アート界を動かすキーパーソン アラン・シユワルツマン 大規模なコレクションを導く気鋭のアートアドバイザー	藤高 晃右	”	”
SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 INTERVIEW 私の東京アートめぐり02 植原亮輔、渡邊良重×クレマチスの丘	石井 芳征	美術手帖	966				
特集 いま、活躍している女性[なでしこ]ギャラリスト GALLERY APA オーナー 渡邊見美		ギャラリー一*	326				
追悼 ワタリウム美術館館長 和多利志津子さん 現代美術家のお母さん	渋沢 和彦	産 経	12.5				
海 外							
ウィリアム・アンダーソンと『仏像図彙』—(日本美術史)形成期における欧文日本研究書の位置—	村角 紀子	美術史	173				

洪沢・クローデル賞  
受賞者 下 フラン  
ス側本賞 マチュー  
・セゲラさん (「リ  
セ・フランコ・ジャ  
ボネ・ド・東京」教  
員) 「ジョルジュ・  
クレマンソーと極東」  
(博士論文) 神社の  
骨董市が発端

植田 滋 読 売 8.9

SPECIAL FEATURE  
世界のアートマーケ  
ット PART 3 沸騰  
するアジアマーケッ  
ト ブディ・テック  
アジアの伸長と成熟  
を象徴する大型コレ  
クターがついに出現  
!

編 集 部 美術手帖 962

SPECIAL FEATURE  
世界のアートマーケ  
ット PART 2 アー  
ト界を動かすキーパ  
ーソン COLUMN 2  
COLLECTOR ピータ  
ー・ノートン

藤森 愛実 " "

SPECIAL FEATURE  
世界のアートマーケ  
ット PART 2 アー  
ト界を動かすキーパ  
ーソン オリバー・  
バーガー デミアン  
・ハーストの大躍進  
を支えた敏腕のオー  
クシオニア

伊東 豊子 " "

「被災者の心を励ま  
したい」ブライス  
氏、若冲など東北で  
公開[ジョー・ブラ  
イス]

産 経 6.25

文化往来 江戸絵画  
収集家のブライス氏、  
東北で美術展

日 経 5.4

アンドレ・ブルトン  
『黒いユーモア選集』  
におけるイラストの  
役割—「神話」との関  
わりを中心に

進藤 久乃 学習院大  
学文学部  
研究年報 58

思想の言葉 ブルト  
ンとアンチ・ナルシ  
ス

松浦 寿輝 思 想 1062

アンドレ・ブルトン  
とアナキスム

永井 敦子 " "

「誰のものでもない  
都市」—ブルトン『ナ  
ジャ』と精神分析的  
都市論—

宇多 瞳 文化学年  
報 61

SPECIAL FEATURE  
世界のアートマーケ  
ット PART 2 アー  
ト界を動かすキーパ  
ーソン イーライ・  
ブロード 美術館設  
立から都市開発まで  
「現代のメディチ」

藤森 愛実 美術手帖 962

特集 ギャラリスト  
とアーティストの関  
係 レベッカ・メイ  
・マーストン(Limo-  
ncello)

大坂紘一郎 ファウン  
聞き手 テン 2

顔 ゴヤ展を監修し  
たスペイン国立ブラ  
ド美術館の研究者  
マヌエラ・メナ・マ  
ルケスさん

高野 清見 読 売 1.17

SPECIAL FEATURE  
世界のアートマーケ  
ット PART 2 アー  
ト界を動かすキーパ  
ーソン ムグラビ・  
ファミリー マーケ  
ットをも左右する  
世界最大級のウォー  
ホル・コレクター

藤森 愛実 美術手帖 962

ひと 自慢の美術品  
と来日するリヒテン  
シュタイン皇太子  
アロイスさん[アロ  
イス・フォン・リヒ  
テンシュタイン]

大西 若人 朝 日 10.1

エッセイ ルーモー  
ルと、その評価をめ  
ぐって[カール・フ  
リードリヒ・フォン  
・ルーモール]

加藤 哲弘 西洋美術  
研究 16

例会・研究発表会要  
旨 ルーモールのイ  
タリア旅行(一八〇  
五—〇六年)—食文  
化哲学と美術史研究  
のあいだで—

" 美 学 241

顔 「シャルダン展」  
を監修したルーブル  
美術館名誉館長 ピ  
エール・ローザンベ  
ールさん

井上 晋治 読 売 10.5

書 評

和 書

『アートの起源』杉本  
博司著

朝 日 3.25

『アートを生きる』南  
條史生著

南條 史生 インタビュ  
ー 美術の窓 348

"

横尾 忠則 朝 日 6.3

"

日 経 4.29

『艾未未読本』牧陽一  
編著

編 集 部 あいだ 193

『愛と魂の美術館』立  
川昭二著

後藤 正治 朝 日 11.18

『飛鳥藤原木簡の研  
究』市大樹著

本庄 聡子 史 林 493

"

川崎 晃 歴史学研  
究 890



- 『アダムとイヴ』岡田 朝 日 11.18  
温司著
- 『あの日からの建築』伊東豊雄著 日 経 10.28
- 『アルフレッド・パー  
とニューヨーク近代美術館誕生』大坪 暮沢 剛巳 " 4.15  
健二著
- 『アルベルティ イタリア・ルネサンスの  
構築者』アンソニー・グラフトン著 岡田 温司 読 売 10.21
- 『安藤忠雄 仕事を作る 私の履歴書』  
安藤忠雄著 横尾 忠則 朝 日 5.6
- 『イタリア文化事典』イタリア文化事典編  
集委員会編、日伊協会監修 陣内 秀信 日伊文化  
研究 50
- 『イメージの前で  
美術史の目的への問い』ジョルジュ・デ  
イディニユベルマン著、江澤健一郎訳 岡田 温司 読 売 3.18
- 『印象派という革命』木村泰司著 美術の窓 342  
" 岩岡 千景 東 京 3.25
- 『ビデオー再帰的  
メディアの美学』イ  
ヴオンヌ・シュピ  
ルマン著、海老根剛  
監訳、柳橋大輔・遠  
藤浩介訳 岡田 温司 読 売 2.5
- 『浮世絵に映える困  
基文化』薬科満治著 千駄木 遊 産 経 11.25
- 『喪われたレーモン  
ト建築—東京女子大  
学東寮・体育館』東  
京女子大学レーモン  
ト建築 東寮・体育  
館を活かす会編著 " 読 売 6.28
- 『棋図かずおと怪奇  
マンガ』細川涼一著 中条 省平 東 京 7.22
- 『SF挿絵画家の時代』  
大橋博之著 日 経 11.25
- 『江戸最盛期の神田  
祭絵巻 文政六年御  
雇祭と附祭』福原敏  
男著 丹治早智子 東 京 5.9
- 『江戸時代に描かれ  
た鳥たち 輸入され  
た鳥、身近な鳥』細  
川博昭著 日 経 3.11
- 『江戸城大奥と立山  
信仰』福江充著 原口志津子 仏教史学  
研究 54-2
- 『古城俊秀コレクシ  
ョンより 絵はがきの  
別府』古城俊秀監  
修、松田法子著 三浦 佑之 読 売 7.1
- 『絵本作家という仕  
事』講談社編 朝 日 6.17
- 『絵本作家のアトリ  
エ1』福音館書店母  
の友編集部編 湯本香樹実 読 売 9.16
- 『絵本 地獄』宮次男  
監修 (藤) 東 京 10.14
- 『絵本の庭へ 児童  
図書館基本蔵書目録  
1』子ども図書館編 尾崎真理子 読 売 6.24
- 『エロスとグロテス  
クの仏教美術』森雅  
秀著 芸術新潮 745
- 『老いのくらしを変  
えるたのしい切り紙』  
井上由季子著 保坂健二郎 朝 日 2.12
- 『王朝のかたち 宮  
廷文化を伝える風物  
たち』猪熊兼樹著 産 経 2.26
- 『大阪新名所 新世  
界・通天閣写真帖  
復刻版』橋爪紳也監  
修・解説 森村 泰昌 朝 日 7.22
- 『大野一雄・舞踏と  
生命 大野一雄国際  
シンポジウム2007』  
岡本章編 日 経 9.16
- 『岡田三郎助 1869—  
1939』松本誠一著 松本 誠一 デアルテ 28
- 『阿蘭陀が通る 人  
間交流の江戸美術史』  
タイモン・スクリー  
チ著、村山和裕訳 水墨画\* 276
- 『恩地孝四郎 一つ  
の伝記』池内紀著 松永 美穂 朝 日 7.1
- " " ワシオ・ト 産 経 6.3  
シヒコ
- " " 長谷川郁夫 東 京 6.17
- " " 芳賀 徹 日 経 6.10
- 『絵画と私的世界の  
表象』中村俊春編 高岸 輝 美術フォー  
ラム21 26
- 『海峡と古代蝦夷』小  
口雅史編 中澤 寛将 法政史学 77
- 『籠と竹のよもやま  
ばなし』池田瓢阿著 小野 公久 陶 説 707
- 『画室の中から』小倉  
遊亀著 酒井 順子 東 京 10.14
- 『勝川春章と天明期  
の浮世絵美人画』内  
藤正人著 芸術新潮 750
- 『葛藤する形態 第  
一次世界大戦と美術』  
河本真理著 小黒 昌文 人文学報 102
- 『「かぶき」の時代—  
近世初期風俗画の世  
界—』守屋毅著 和田 誠 毎 日 9.9

平成24年定期刊行物所載文献(他/書評)

『画文共鳴—『みだれ髪』から『月に吠える』へ—』木股知史著	山田 俊幸	大正イマジユリイ	7	〃	横尾 忠則	朝 日	2.26
『関東の仏像』副島弘道編		産 経	8.15	『ゲルニカーピカソ、故国への愛』アラン・セール著、松島京子訳	松山 巖	読 売	6.24
『気になるガウディ』磯崎新著	光嶋 裕介	芸術新潮	753	『遣隋使がみた風景』氣賀澤保規編	杉山 正明	〃	5.6
『きこの絵』パインターナショナル編		〃	756	『建築意匠論』岸田省吾著	小林 克弘	学 鏡	109-3
〃	湯本香樹実	読 売	11.18	『建築の大転換』伊東豊雄・中沢新一著	多木 陽介	A X I S	158
『境界域からみる西洋世界』田中きく代、中井義明、朝治啓三、高橋秀寿編著	阿部 拓児 西山 喬貴 福元 健之 南雲 泰輔	史 林	496	『高句麗壁画古墳と東アジア』門田誠一著	篠原 啓方	古代文化	587
『京狩野三代 生き残りの物語 山楽・山雪・永納と九条幸家』五十嵐公一著		日 経	12.23	『企画展示 侯爵家のアルバム—孝允から幸一にいたる木戸家写真資料—』人間文化研究機構国立歴史民俗博物館編	華名 ふみ	国立国会図書館月報	611
『共同研究 ポルノグラフィ—』京都大学人文科学研究所共同研究班・大浦康介編	小池 隆太	人文学報	102	『興隆・発展する仏教 新アジア仏教史 中国Ⅱ 隋唐』沖本克己編	佐藤 裕亮	仏教史学研究	54-2
『近世の学校建築』箱崎和久著	山岸 常人	建築史学	58	『股間若衆 男の裸は芸術か』木下直之著		芸術新潮	749
『近世の芸能施設とその空間』上野勝久著	〃	〃	〃	〃	田中 優子	朝 日	6.19
『近世の寺社建築—庶民信仰とその建築—』熊本達哉著	〃	〃	〃	〃	高橋 咲子	毎日夕刊	5.15
『近世の住まいと屋敷構え』村田健一著	〃	〃	〃	『国宝 熊野御幸記』三井記念美術館・明月記研究会編	高木 徳郎	古文書研究	73
『近代広告の誕生 ポスターがメディアだった頃』竹内幸絵著	鹿島 茂	毎 日	3.18	『国宝神護寺三像とは何か』黒田日出男著		芸術新潮	753
『近代ニッポン「しおり」大図鑑』山田俊幸監修、羽鳥知之・竹内貴久雄編	(前)	読 売	1.29	〃	佐多 芳彦	立正史学	112
『国指定 史跡事典』学生社編集部編、協力者代表磯村幸男・坂井秀弥		毎日夕刊	5.2	〃	柏木 博	日 経	8.5
『1971→1991 倉俣史朗を読む』鈴木紀慶編著	渋谷 和彦	産 経	3.31	『古寺巡礼』和辻哲郎著	小橋 弘之	日経夕刊	3.31
『『黒いアテナ』批判に答える』マーティン・パナール著、金井和子訳	岡田 温司	読 売	11.4	『個人はみな絶滅危惧種という存在 彫刻家・舟越桂の創作メモ』舟越桂著	塩田 純一	産 経	1.8
『芸術家の家 作品の生まれる場所』ジェラルドニョルジュ・ルメール著、ジャン＝クロード・アミエル写真、矢野陽子訳		芸術新潮	748	『『国華余芳』写真帖』明治美術学会編		芸術新潮	746
				『ゴッホ契約の兄弟 フィンセントとテオ・ファン・ゴッホ』新関公子著	山口 泰二	美術運動史研究会ニュース	127
				『後鳥羽院政の展開と儀礼』谷昇著	岩田 慎平	古代文化	587
				〃	長村 祥知	古文書研究	73
				『後鳥羽上皇』五味文彦著	村尾 誠一	東 京	7.22
				『古墳文化の成立と社会』今尾文昭著	小野里了一	歴史学研究	889

- 『コロニアリズムと文化財—近代日本と朝鮮から考える』荒井信一著 藤原 貞朗 日 経 8.12
- 『こんにちは美術』福永信著 芸術新潮 750
- ” 朝吹真理子 読 売 7.22
- 『今和次郎「日本の民家」再訪』瀝青会著 山形 浩生 朝 日 5.27
- 『再発見 日本の民藝』なかやまあきこ 三浦 展 読 売 1.23
- 『寺社の装飾彫刻 宮彫り—壮麗なる超絶技巧を訪ねて』若林純著 北澤 憲昭 朝日夕刊 2.19
- 『市井展の全貌 戦前編(淡交会、珊瑚会、尚美展から東京会まで)』東京美術倶楽部編 浅木 正勝 新美術新聞 1296
- ” 日 経 10.2
- ” 前田 恭二 読 売 10.18
- 『七代目小川治兵衛山紫水明の都にかへさねば』尾崎博正著 矢ヶ崎善太郎 史迹と美術 822
- 『写真がもっと好きになる。写真を観る編。』菅原一剛著 竹内 薫 日経夕刊 5.23
- 『写真の裏の真実 硫黄島の暗号兵 サカイタイゾーの選択』岸本達也書 西木 正明 日 経 1.15
- 『写真の読み方 初期から現代までの世界の大写真家67人』イアン・ジェフリー著、内藤憲吾訳 石川 直樹 朝 日 3.11
- 『聚美 vol.5 Autumn 2012 特集古九谷珠玉の色絵磁器』 小野 公久 陶 説 716
- 『少数民族の染織文化図鑑』カトリーヌ・ルグラン著、福井正子訳 日 経 6.10
- 『肖像画の時代 中世形成期における絵画の思想的深層』伊藤大輔著 津田 徹英 美術研究 407
- ” 宮島 新一 美術フォーラム21 25
- ” 荒俣 弘 朝 日 2.19
- 『生老病死の図像学 仏教説話を読む』加須屋誠著 芸術新潮 748
- ” 田中 貴子 朝 日 3.18
- 『初期肉筆浮世絵』岸田劉生著 和田 誠 毎 日 9.9
- 『スクール・アート』中川素子著 日 経 8.12
- 『墨の美に学ぶ水墨画 基礎から創作まで』根岸嘉一郎著 水墨画\* 275
- 『西欧古代神話図像大鑑 全訳『古人たちの神々の姿について』』ヴィンツェンツォ・カルターリ著、大橋喜之訳 荒俣 宏 朝 日 11.11
- 『惜櫛荘だより』佐伯泰英著 逢坂 剛 ” 8.12
- ” 日 経 7.29
- 『前衛の遺伝子—アナキズムから戦後美術へ』足立元著 澤田 佳三 あいだ 192
- 『せんだいノート ミュージアムって何だろう?』仙台市教育委員会監修、仙台・宮城ミュージアムアライアンス編 芸術新潮 745
- 『続々アトリエ日記』野見山暁治著 横尾 忠則 朝 日 7.8
- 『染付 てっさい堂』貴道裕子著 橋本 麻里 芸術新潮 748
- 『ゾンビ日記』押井守著 松永 美穂 朝 日 7.22
- 『孫文の机』司修著 ワシオ・トシヒコ 産 経 11.11
- 『高橋由一—日本洋画の父』古田亮著 松山 巖 読 売 5.27
- 『田能村竹田基本画譜 図版篇・解説篇』宗像健一編著 橋爪 節也 美術フォーラム21 25
- 『田村セツコ HAPPYをつむぐイラストレーター』内田静枝編 辛酸なめ子 読 売 12.9
- 『父 高山辰雄』高山由紀子著 水墨画\* 274
- 『中国と茶碗と日本と』彭丹著 田中 優子 朝 日 9.30
- ” 中島誠之助 産 経 11.24
- 『中世京都の空間構造と礼節体系』桃崎有一郎著 久水 俊和 歴史学研究 888
- 『中世興福寺の門跡』高山京子著 安田 次郎 古文書研究 73
- 『通観鍋島青磁 初期から末期まで』神村英二著 山本真由美 陶 説 716
- 『ディアギレフ 芸術に捧げた生涯』シエンク・スハイエン著、鈴木晶訳 長野 由紀 日 経 3.18

平成24年定期刊行物所載文献(他／書評)

『デザインの教科書』 柏木博著	三浦 展 読 売	1.23							
『掌の縄文』港千尋著	北澤 憲昭 朝 日	5.6							『日本の笑い 遊び、洒落、風刺の日本美術』コロナ・ブックス編集部編
〃	(存) 産 経	4.21							水墨画* 276
『天下の茶道具、鑑定士・中島の眼』『へうげものの名品名席』実見記』中島誠之助著	小野 公久 陶 説	714							『ニューヨークの高校生、マンガを描く彼らの人生はどう変わったか』マイケル・ビッツ著、沼田知加訳
『東京スカイツリー論』中川大地著	酒井 隆史 日 経	7.1							竹内オサム 日 経 3.18
『道具と人類史』戸沢充則著	三浦 佑之 読 売	9.9							『ネンドノカンド 脱力デザイン論』佐藤オオキ著
『蕩尽王、パリをゆく 薩摩治郎八伝』鹿島茂著	黒沢 綾子 産 経	1.15							〃
〃	井上 章一 日経夕刊	1.18							『脳は美をどう感じるか』川畑秀明著
『等伯 上・下』安部龍太郎著		10.14							朝 日 11.18
〃	縄田 一男 日経夕刊	10.24							『能面の世界』西野春雄監修、見市泰男解説
『ドキュメント 時代と刺し違えた画家 中村正義の生涯』笹木繁男著	笹木 繁男 Wave II	3							多川 俊英 産 経 11.10
〃	三上 豊 jaic 会 報	24							『ノーマン・フォスター 建築とともに生きる』ディヤン・スジック著、三輪直美訳
『土偶・コスモス』MIHO MUSEUM 編	保坂健二朗 朝 日	10.21							『パーディタ メアリ・ロビンソンの生涯』ポーラ・バーン著、桑子利男・時実早苗・正岡和恵訳
〃		9.23							富山太佳夫 日 経 5.20
〃	(早) 読 売	9.30							『鹿島茂コレクション2 パルビエメラブルール アール・デコ、色彩と線描のイラストレーション』鹿島茂著
『都市と寺社境内一江戸の三大寺院を中心に』光井渉著	山岸 常人 建築史学	58							『東アジアの日本人建築家 世紀末からの日中戦争』西澤泰彦著
『トリノー夢とカタストロフィーの彼方へ』多木浩二著	岡田 温司 読 売	10.28							鈴木 博之 東 京 1.8
『西村画廊35年+』		751							『ピゴーの150年 異色フランス人画家と日本』清水勲編著
〃		11.11							酒井 忠康 産 経 1.15
〃	岸 桂子 毎日夕刊	6.19							『被災地の博物館に聞く 東日本大震災と歴史・文化資料』国立歴史民俗博物館編
『日本近代美術史論』高階秀爾著		3							上野 純一 〃 4.21
『日本古代出土木簡の研究』八木充著	渡辺 晃宏 歴史学研究	894							〃 日 経 6.24
『日本古代の外交儀礼と渤海』浜田久美子著	榎本 淳一 法政史学	77							〃 五味 文彦 毎 日 4.8
『日本古代の僧侶と寺院』牧伸行著	佐藤 文子 古代文化	587							『美術「心」論 漱石に学ぶ鑑賞入門』古田亮著
『にほんの建築家 伊東豊雄・観察記』瀧口範子著	(清) 読 売	10.14							〃 藤田 一人 東 京 7.1
『日本のデザインー美意識がつくる未来』原研哉著	三浦 展 〃	1.23							『100のモノが語る世界の歴史 1・2・3』ニール・マクレガー著、東郷りか訳
									深澤 直人 A X I S 158

- 『評伝ナンシー関「心に一人のナンシーを」』横田増生著 中島 岳志 朝 日 7.15
- 『プロジェクト・ジャパン メタボリズムは語る…』レム・コールハース、ハンス＝ウルリッヒ・オプリスト著、太田佳代子、ジェームス・ウエストコット、AMO編 大西 若人 A X I S 156
- 『「瓢鮎図」の謎—国宝再読ひょうたんなまずをめぐる』芳澤勝弘著 芸術新潮 756
- 『フェルメール 静けさの謎を解く』藤田令伊著 杉山 正明 読 売 3.18
- 『フェルメールの仮面』小林英樹著 石屋 法道 東 京 10.14
- 『フェルメールの食卓 暮らしとレシビ』林綾野著 水墨画\* 274
- 『深読み! 日本写真の超名作100』飯沢耕太郎著 森村 泰昌 朝 日 3.4
- 『複数形のプラハ』阿部賢一著 岡田 温司 読 売 2.26
- 『富豪への道と美術コレクション—維新後の事業家・文化人の軌跡』志村和次郎著 水墨画\* 275
- 『富士幻影—近代日本と富士の病』小原真史監修・著 (前) 読 売 3.11
- 『BOOKS ON JAPAN 1931—1972 日本の対外宣伝グラフィック誌』森岡督行著 森村 泰昌 朝 日 12.16
- 『仏像のかたちと心 白鳳から天平へ』金子啓明著 小滝ちひろ " 9.2
- 『舟越保武全随筆集 巨岩と花びら ほか』舟越保武著 星野 博美 読 売 9.23
- 『ブリューゲルへの旅』中野孝次著 (井) 読売夕刊 1.30
- 『プロイセン・ドイツが観た幕末日本 オイレンブルク遠征団が残した版画、素描、写真』セバステイアン・ドブソン、スヴェン・サーラ編著 産 経 5.31
- 『紛争と文化外交 平和構築を支える文化の力』福島安紀子著 伊奈 久喜 日 経 6.10
- 『偏愛!! カルト・コミック100』 読売夕刊 10.29
- 『へんな日本美術史』山口晃著 渋谷 和彦 産 経 11.28
- 『望遠ニッポン見聞録』ヤマザキマリ著 楊 逸 朝 日 4.29
- 『HOMETOWN EXPRESS 「祝! 九州」写真集』HOMETOWN EXPRESS 製作委員会著 (前) 読 売 5.27
- 『ボクのつぶやき 自伝 @yojikuri』久里洋二著 日 経 4.1
- 『ぼくらの近代建築 デラックス!』万城目学・門井慶喜著 朝 日 12.2
- 『ホテル博物誌』富田昭次著 日 経 5.13
- 『マティス 知られざる生涯』ヒラリー・スパーリング著、野中邦子訳 小倉 孝誠 東 京 9.9
- " 宮下規久朗 日 経 7.1
- 『マンガ/キッチン 石子順造サブカルチャー論集成』石子順造著 新川 貴詩 産 経 2.19
- 『マンガのあなた SFのわたし 萩尾望都対談集 1970年代編』萩尾望都著 芸術新潮 748
- 『無限の網 草間彌生自伝』草間彌生著 酒井 順子 東 京 10.14
- 『村上隆完全読本 美術手帖全記事1992—2012』村上隆著 芸術新潮 752
- 『村山知義 劇的尖端』岩本憲児著 出久根達郎 朝 日 8.5
- 『群れない生き方』絹谷幸二著 柚月 裕子 産 経 1.29

平成24年定期刊行物所載文献(他／書評、時評)

『明治初期日本政府蒐集船舶建築書の研究』池上重康著	石田潤一郎	日本歴史	774				
『明治版画史』岩切信一郎著	山田 俊幸	大正イマジユリイ	7				
『名碗を觀る』林屋晴三ほか著	保坂健二郎	朝 日	1.8				
『眼と風の記憶 写真をめぐるエッセー』鬼海弘雄著	角田 光代	読 売	12.2				
『森正洋の言葉。デザインの言葉。』森正洋を語り・伝える会著、ナガオカケンメイ企画	深澤 直人	A X I S	157				
『薬師寺伽藍の研究』宮上茂隆著	藤井 恵介	建築史学	58				
『遊環構造 BOOK SENDA MAN 1000』仙田満・環境デザイン研究所著、藤塚光政写真		芸術新潮	747				
『夢さめみれば 日本近代洋画の父・浅井忠』太田治子著		産 経	2.26				
『夢二 異国への旅』袖井林二郎著	暮沢 剛巳	日 経	11.4				
『夢みる美術館計画 ワタリウム美術館の仕事術』和多利志津子・和多利恵津子・和多利浩一著		芸術新潮	754				
〃	岸 桂子	毎日夕刊	11.6				
『妖怪萬画 1・2』和田京子編	辛酸なめ子	読 売	6.24				
『夭折画家ノオト 20世紀日本の若き芸術家たち』窪島誠一郎著		産 経	6.3				
〃		東 京	7.22				
『常盤山文庫中国陶磁研究会 会報4 米内山陶片II』常盤山文庫中国陶磁研究会編	川島 公之	陶 説	707				
『琉球王国の自画像 一近世沖縄思想史』グレゴリー・スミッツ著、渡辺美季訳	屋良健一郎	非文字資料研究	28				
『琉球出土陶磁社会史研究』吉岡康暢・門上秀敬著	中澤富士雄	陶 説	708				
『ルネサンスの演出家 ヴァザーリ』野口昌夫編著、権山紘一・石川清・稲川直樹・桑木野幸司・赤松加寿江著	渡辺マユミ	建築史学	58				

〃	黒田 泰介	日伊文化研究	50				
『冷泉家時雨亭叢書別巻一 翻刻明月記紙背文書』冷泉家時雨亭文庫編	大村 拓生	古文書研究	73				
『魯山人と星岡茶寮の料理』柴田書店編集		芸術新潮	746				
『倭国史の展開と東アジア』鈴木靖民著	杉山 正明	読 売	5.6				
『和紙の里 探訪記—全国三百カ所を歩く』菊池正浩著		日 経	11.11				

海外刊行書

Matthew Philip McKelway, <i>Capitalscapes: Folding Screens and Political Imagination in Late Medieval Kyoto</i> (Honolulu: University of Hawaii Press, 2006).	佐藤 康宏	美術史論叢	28				
Lars Erik Holmquist, <i>Grounded Innovation: Strategies for Creating Digital Products</i> (Massachusetts: Morgan Kaufmann Publishers, 2012).	稲蔭 正彦	A X I S	159				
『昭陵墓誌通釈』胡元超著	松浦 典弘	東アジア石刻研究	4				
『長安新出墓誌』西安市長安博物館編	江川 式部	〃	〃				

時 評

前年度分

ブロック報告 東京ブロック 善戦・苦戦・奮戦—2011年度前半の展覧会を振り返って	松本 透	ZENBI	1				
アートシーン時評 MAGIC 通信 第2回 東京アートイベント月間と F. E. S.	岡田 聡	ファウンテン	2				

当年度分

2012年前半(1~6月)大型企画展の話題から「草間彌生展」21万人超(大阪・国立国際美)は一つの“事件”		新美術新聞	1284				
新美術時評 2012年と「中国書画展の流れ」	島尾 新	〃	1299				

2012年後半の主な展覧会の話から フェルメール『青いターバンの少女』で人気最高潮76万人 国内ものでは「奈良美智展」(横浜美)、「出雲一聖地の至宝」(東博)など健闘!	” ”								
受賞・美術賞									
from the World メディアアートの最先端 第15回文化庁メディア芸術祭								A X I S	155
第23回「倫雅美術奨励賞」決まる 美術史研究部門 平瀬礼太氏 美術評論部門 山口洋三氏 野中明氏								新美術新聞	1268
30回を迎える上野の森美術館大賞展に よせて 純粋に「絵画」そのものを見つめた 公募展							剣持 邦弘	”	1278
第24回国華賞に2氏 決まる 肥田路美氏 と塚本麿充氏								”	1297
中学生たちの「アート甲子園」入賞作 決定! 第5回アートグランプリ in SA-KAI							竹見洋一郎	美術手帖	964
第2回トーキョー・アート・ナビゲーションコンペティション開催決定!								”	971
文化庁メディア芸術祭 神戸展							竹見洋一郎	”	975、976
パラミタ陶芸大賞展をふりかえる							湯浅 英雄	美術フォーラム21	25
HEADLINE								ファウンテン	
シェル美術賞2011 表彰式およびアーティストトークーシェル美術賞									2
宮川佑理子さんら 8名の受賞者を発表!!—ポコラート 全国公募展 vol. 2									”
関口光太郎氏の立体作品「感性ネジ」に決定—第15回岡本太郎現代芸術賞									”
「選抜奨励展」から「損保ジャパン美術賞」展へ—第31回損保ジャパン美術財団「選抜奨励展」Final									3
グランプリは金澤 麻由子作「巢—Nest—」が受賞—第1回Kawaii+大賞展									”
ブロック報告	ZENBI	2							
東北ブロック 被災地から震災復興支援展あれこれ	三上 満良								
東京ブロック 東京：震災の余波は続く	近藤 健一								
これからの東京とクリエイティブを考える 対談 伊藤直樹×後藤繁雄	西野 基久	美術手帖	963						
REVIEWS02 清水穰 月評第43回 制作展の翳り 京都市立芸術大学「作品展」、京都精華大学、京都嵯峨芸術大学「卒業・修了制作」展	清水 穰	”	965						
回顧2012「〇〇とは」 本質問う 芸術・命・情報…足元見つめ	大西 若人	朝日夕刊	12.19						
回顧 美術 平成24年 加速する「地域振興」	渋谷 和彦	産 経	12.26						
美術この1年 傷んだ国土、人の心に「復興アート」が輝き	三沢 典丈	東京夕刊	12.21						
回顧2012 美術 震災後の役割再考	窪田 直子	日 経	12.17						
この1年		毎日夕刊							
文化財 震災復興で問われる意義	伊藤 和史		12.18						
美術 研究成果生かすスピード感も	岸 桂子		12.19						
回顧2012		読 売							
文化財 最古の「戸籍」など 文字資料続々	早川 保夫		12.12						
美術 被災地での活動 継続と質 3氏が選ぶ展覧会ベスト4	高野 清見		12.13						
本よみうり堂 コミック館 回顧2012 担当記者が振り返る1年 目立ったリバイバル作品	「佐」「藍」	読売夕刊	12.17						

受賞者が個展・グループ展を開催—GEISAI#16開催、および GEISAI Galleryオープン				3	東京美術倶楽部のいま—浅木正勝氏聞き書き	小林 忠 聞き手	国華清話 会報	20
マンガの魅力 再確認 手塚治虫文化賞贈呈式	宮本 茂頼	朝 日	5.28		アートマーケット情報	桂木 紫穂	新美術新聞	1269
あすから「第31回 損保ジャパン美術財団選抜奨励展」審査講評 本江邦夫審査員長 女性の受賞者多く作品に迫力	本江 邦夫	産 経	3.2		5 11月・ニューヨーク—躍進するコンテンポラリー・アートのセール—			1273
文化 日本写真協会賞に石川さんら決まる			東京夕刊	5.16	6 2月のロンドン市場—18年間で15倍になったムアの彫刻—			1276
第5回東山魁夷記念日経日本画大賞 選評 高階秀爾選考委員長 豊かな創造活動伝える	高階 秀爾	日 経	4.30		7 2011年2大オークション会社の業績—過去2番目の快挙			1281
毎日広告デザイン賞先を見つめ	冠木 雅夫	毎 日	3.19		8 ムンク「叫び」・フィーバー 5月のニューヨーク市場			1284
第4回絹谷幸二賞贈呈式 力強さと緻密さ、前途に期待	岸 桂子 永田 晶子	毎日夕刊	3.26		9 2大オークション会社の業績 1989—2011—ピークは07年			1288
講社社漫画賞に遠山えまさんら		読 売	5.2		10 6月のロンドン市場—ミロ、イヴ・クライン、バスキアの世界最高価格—			1291
読売あをによし賞 本賞 手漉和紙の用具製作、修理 山本忠義さん 特別賞 財団法人美術院			7.19		11 独走するクリスティーズ			1294
ポスタートリエンナーレ グランプリに福島治さん					12 シュルレアリスム美術ブーム			1298
<b>美術市場</b>					13 11月のニューヨーク市場を席捲するコンテンポラリー・アート			
報告 平成二十三年の浮世絵オークション	長井 裕子	浮世絵芸術	164		美術作家による 震災遺児支援 チャリティーオークション「3・11きずな展」開催へ 3～5月、東京・盛岡・京都3都市を巡回、入札方式で 西野陽一、森田りえ子、藤井勉氏ら 日・洋・彫・工の121名			1271
特集 2011—2012 国内アートフェアの動き		ギャラリー*	321		アートフェア東京 2012 直前特集 —日本美術の価値観をシャッフル—	山下 裕二	〃	1274
Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情第7回 SH Contemporary 2012	梶川 強	〃	330		特集 2012 年末回顧 景気回復の道筋いまだ見えず	夏目 進	〃	1299
わたし一人の美術時評 第17回 不況に漂う美術市場	藤田 一人	芸術新潮	745		レポート墨 美術作家による震災遺児支援 3・11きずな展 チャリティーオークション		水墨画*	278
年間成約額1368億円! 中国美術オークションを牽引する王雁南女史に訊く		〃	747					
現地特別レポート クリスティーズ香港で知る 美術オークションのいま		〃	752					



時評	日本美術 新聞	3	WORLD NEWS クリスティーズ香港 安定した成長で2011年の 落札総額は過去最高に	エリック・ チャン レポート 編集部 構成	〃	963
ピカソが中国の画家に抜かれた!?						
劉生の幻の名作、51年ぶりに現る			アートステージ・シンガポール2012	ダリル・ウィー	〃	964
SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART 1 2000年以降のアートマーケットの動向	美術手帖	962	ART KYOTO 2012 京都から、世界水準の市場を創出	杉瀬 由希	〃	966
数字で知る、アートマーケットの規模	藤高 晃右 文 カイカイキ キ 特集協力		REVIEWS02 清水 穣 月評第51回 アート フェアの余白に「フ リーズ・アートフェア ・ロンドン」「フ リーズ・マスターズ」	清水 穣	〃	976
年表でたどるアートマーケットの発展史	藤高 晃右、 藤森 愛実 文 カイカイキ キ 特集協力		現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 「超京都」：時空を超 えるウルトラ性を魅 力にしたアートフェア	太田 垣實	美術の窓	340
アートマーケット概論	伊東 豊子		視点 FIAC アートフェア	フィリップ ・コトニエ 福永 博子	〃	341
SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART 2 アート界を動かすキーパーソン 『アートレビュー』誌の「パワー100」解析	〃	〃	アートフェア東京 2012		美術屋・ 百兵衛	20
			六本木アートナイト 2012		〃	〃
			課外授業 美術のお時間 17時間目	安井 収蔵	〃	21
SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART 3 沸騰するアジアマーケット	〃	〃	HEADLINE		ファウン テン	
クリスティーズ香港 アジアアートマーケットを確立した立役者	エリック・ チャン ダリル・ジ ングウエン ・ウィー 取材・文		街ぐるみで東京ブランドの再生を図る—「TOKYO SP-RING」記者会見、およびアートフェア東京2012			2
アート香港 世界最高峰のアートフェアへ虎視眈々	マグナス・ レンフリユ ー ダリル・ジ ングウエン ・ウィー 取材・文		入場者数、出店数ともに減少—プリュス・ジ・アートフェア2011			〃
ガゴシアン・ギャラリー香港 2011年1月、満を持してのアジア進出	ニック・シ ムノヴィク 編集部 取材・文		会場規模を拡大し、入場者数、出展・協力ギャラリー数など過去最高—アートフェア東京2012			3
『アート・アジア・パシフィック』誌 グローバル視点からアジア美術を発信	エレイン・ ン ダリル・ジ ングウエン ・ウィー 取材・文		トップギャラリーによる見応えある展示—G—tokyo 2012			〃
			日本の現代アートギャラリーによるニュー・ヨーク初、そして唯一の試みとしてのアートフェア—NEW CITY ART FAIR	戸塚憲太郎 他	〃	2

ART KYOTO 2012  
国立京都国際会館と  
ホテルモントレ京都  
の2会場を中心に京  
都市内各所で関連イ  
ヴェントも多数開催

レポート 2011 東美  
アートフェア開催報  
告

話題の人 巻頭イン  
タビュー 金島隆弘  
さん

特集1 春の骨董フ  
ェア完全ガイド

骨董市から注目の  
アートイベントま  
で春~初夏のお出  
かけ案内

主催者にきく1  
東京アート&アン  
ティーク

主催者にきく2  
目白コレクション

主催者にきく3  
TOKYO ANTIQUE  
FAIR

渋谷ヒカリエは古  
美術企画が目白押  
し

特別座談会 京都で  
美しいと出会う

レポート 東京アン  
ティークフェア2012

特集 これからの“骨  
董”を語ろう 10年先、  
20年先の古美術界を  
考える

市場と出会う美大生  
5美大の卒展 ギャ  
ラリーオーナーと歩  
く

美術品売却 オーク  
ションで 東電「よ  
り高値で」透明性も  
向上

ヒトラーの「海」320  
万円 20代作品ネッ  
トで落札

美術市場 安定成長  
へ 中国、透明な取  
引環境を

石橋圭吾他	ファウン テン	3	
編集部	目の眼	424	
金島 隆弘 編 集 部	”	428	
”	”	429	
西川 英治 談	”	430	
沼野 国典、 河野 齊光 談	”	432	
藤城彰太郎、 小西 基仁、 前坂 規之 談	”	433	
川嶋 涉 小池 一範 善田 喜正 島田 嗣嗣 三喜 信宏 松本 憲一 早川 憲一	”	432	
川島 公之 関 隆 平野 龍一	”	433	
大西 若人	朝日夕刊	2.29	
産 経		6.4	
東京夕刊		1.30	
菅原 教夫	読 売	1.24	

美術館・博物館・画廊

一 般

大谷光瑞「国家の前  
途」を考える 第二  
部 大谷光瑞とアジ  
ア-帝国の拡がりど  
ともに

韓国(大谷コレク  
ション)の現代史

大谷探検隊入蔵者  
資料と最近の研究  
動向

館長の独り言 美術  
館の地震対策

デジタルデバイスを  
用いた展示の実践

研究発表(要約) 災  
害と美術館の役割

わたし一人の美術時  
評

第18回 いまこそ、  
官製美術館の本質  
を問う

第19回 日本人の  
美術観と美術館

第26回 高額「ツ  
タンカーメン展」  
の異例の盛況ぶり

研究報告 サウスケ  
ンジントン博物館と  
東京大博物館構想

平成22年度 公開シ  
ンポジウム「画家の  
アトリエと美術館」  
第III部 ディスカ  
ッション

記録 災害と博物館  
I 一東日本大震災に  
おける埼玉県内博  
物館施設の被災と  
対応状況

博物館展示環境に  
おけるLED照明と  
排熱設計

特別講義報告 博  
物館・美術館にお  
ける“和”の空間・  
光のデザイン

大震災を機に“歴  
史・文化が地域社会  
の基盤”明らかに  
新たに「全国歴史民  
俗系博物館協議会」  
(歴民協)が発足 情  
報共有のネットワー  
ク化めざす 全国から  
660館が会員参加

アジア遊 学	156
山本 浄邦	
高本 康子	
竹内 順一	永青文庫 77
木野戸 直	大阪文化 財研究 40
伊藤 由美	近代画説 21
藤田 一人	芸術新潮
	746
	747
	754
藪 亨	芸術文化 研究 16
内田 青蔵 薩摩 登八 橋本 善万 村山 介	小金井市 立はけの 森美術館 年報 H18-22 年度
井上 尚明	埼玉県立 歴史と民 俗の博物 館紀要 6
和田 浩	女子美術 大学研究 紀要 42
木下 史青	書道学論 集 9
	新美術新 聞 1289

学芸員や研究者の立ち位置についての素描—パブリック考古学と関連分野のモデルに注目して—	村野 正景 朱 雀	24	近畿ブロック 近畿圏、近年の動向から	奥村 泰彦	〃	
ブロック報告	ZENBI		中国ブロック 地域の文化資源と結びつく美術館	前田 淳子	〃	
北海道ブロック 街全体を舞台にした展覧会と作家の連携	吉崎 元章	1	四国ブロック 高松、丸亀、久万、そして徳島	吉川神津夫	〃	
東北ブロック 福島からの報告	荒木 康子	〃	全美フォーラム		〃	
美術館の存在意味を問われる—3・11以後、2011年春夏の美術館活動について	小勝 禮子	〃	「博物館倫理規定に関する調査研究報告書」についての報告	安田 篤生	2	
近畿ブロック 関西の美術(館)事情	菅谷 富夫	〃	日本美術を海外に紹介する一より良い英訳を作成するためのヒント—	白原由起子	3	
九州ブロック 面筋的な情報発信は可能か?—連携進む九州の美術館	山口 洋三	〃	アメリカの博物館における教育事情の調査	宇野 柿崎 慶孝 博孝	9	玉川大学教育博物館紀要
北海道ブロック 北海道の美術館文化	岩崎 直人	2	歴史学と博物館のありかたを考える会8月例会 「2008年に行われた博物館法の改正を考える」参加記	桑原 功一	355	地方史研究
関東ブロック 第二世代美術館の行方、など	前山 裕司	〃	動向 日本歴史学協会		〃	357
東海ブロック コレクション展に見る時代の気分	川谷 承子	〃	博物館法制定60周年記念シンポジウムを聞いて	田辺 龍太		
中国ブロック 知恵を絞って	柳沢 秀行	〃	地域博物館は誰のものか? 「博物館法制定60周年記念シンポジウム 地域博物館の現状と今後の課題」に参加して	竹村 到		
九州ブロック 美術館の原点へ/拡張する美術館へ—九州の活動から—	坂本 顕子	〃	ミュージアム・ミュージアム	ラワンチャイケン 寿子	28	デアルテ
北海道ブロック 一小規模間から見た動静	菅 訓章	3	研修報告 多文化国家の博物館政策—シンガポールの国立博物館における取り組み—	竹内 有理	6	長崎歴史文化博物館研究紀要
東北ブロック 被災地の美術館と美術館家、その後	大野 正勝	〃	事例報告 美術館と学校教育の連携—子ども学芸員の取組—	野村 宏毅	11	新潟県立近代美術館研究紀要
関東ブロック 美術館の初心 関東ブロックから	水沢 勉	〃	公立歴史博物館における通史展示の展示シナリオと展示設計	増田 確田 谷 亜樹 智子 直樹	671	日本建築学会計画系論文集
東京ブロック 再生・ボーダレス・初	保坂健二朗	〃	シリーズ 新自由主義時代の博物館と文化財 災害展示の方法を考える—災害展示の現状をふまえて—	兒玉 州平	604	日本史研究

展覧会評 北斎展 ホノルル美術館所蔵 葛飾北斎生誕二五〇 周年記念	日本美術 新聞	3	21世紀の民族学博物 館の行方 機関研究 「マテリアリティの 人間学」領域 民族 学資料の収集・保存 ・情報化に関する実 践的研究：ロシア民 俗学博物館との国際 共同研究	佐々木史郎	民博通信	138	
SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 東京を熱くす るオルタナティブス ペース	岡澤浩太郎	美術手帖	966				
特集 模写から学ぶ 絵画の技法 美術館 と模写	青柳 談	正規	美術の窓	349	川口 幸也	ムゼイオ ン	58
視点 いじわるチェ ック…旅先で	武田 厚	〃	351	中国博物館最新事情	北里 晋	目の眼	427
東京文化考		美術屋・ 百兵衛		話題の人 巻頭イン タビュー 藤原工さ ん	藤原 工 談 編 集 部	〃	432
長谷川栄のミュー ゼオロジー—美 術館大学の無い日 本、文化国家なの になぜ?—	長谷川 栄		21	博物館における展示 形態の再検討—提示 型展示・説示型展示 ・教育型展示につい て—	山田 磯夫	早大會津 八一記念 博紀要*	13
東京スカイツリー と周辺のアートを スポット			〃	愛蔵品持ち寄り展示 個人収集家が巡回	増田 愛子	朝 日	10.29
II 上野の杜は、 アートの森 上野 の美術館・博物館			22	西洋の名作見られる 機会 「美術館展」大 入りだけど 役割割 られる美術館 学芸 員の意義とは	近藤康太郎	〃	12.12
II 百兵衛セレク ション 銀座ギャ ラリーガイド			〃	歴史民俗系の博物館 が協議会	木村 尚貴	朝日夕刊	6.25
佐賀文化考 時代を 超えて… 歴史ロマ ンの地、佐賀。		〃	23	「出前」で伝える博物 館の魅力 土器づく り教室や移動展示	宮代 栄一	〃	8.27
リレーエッセイ		美連協ニ ュース		4「読ん」で知るア ート 映画に見る絵 画 展示まで続く気 苦勞	滝本 誠	〃	12.19
44「アートの眼」 の普及 巷にいっ ぱい おもしろア ート	吉田 俊英		115	表現や鑑賞の喜び得 やすい美術館に 聴 覚障害者向け NPO 法人が初の取り組み	村島 有紀	産 経	2.21
45 美術館に影を 落とす「クラウド」 —「もの」とデータ 流れる雲に寄せて	熊田 司		116	アートな街 六本木 相次ぎ話題の美術館 進む環境づくり	渋谷 和彦	〃	3.14
特集・日本の地域博 物館シンポジウム9		MUSE- OLOGIST	27	20年目の「画廊から の発言 新世代への 視点」若手が羽ば たく 銀座 老舗の 心意気	〃	〃	7.18
第9回日本の地域 博物館シンポジウ ムについて	吉田 優						
これまでの議論を ふりかえって	外山 徹			金曜討論 オピニ オン 美術館内での撮 影 酒井忠康氏静か な環境で鑑賞したい 美術活動の活性化に 有効 青柳正規氏 「許可」に61%が YES	渋谷 和彦 黒沢 綾子	〃	8.17
これからの博物館 共同調査研究につ いて	吉田 優						
特集 世界をさわる 手法を求めて ユニ バーサル・ミュー ジアムの可能性	小山 修三、 広瀬浩二郎	みんぱく	418	文化往来 歴史民俗 系博物館の全国組織 が発足		日 経	6.26

文化 文学館逆風 軒並み経営難、集客 へ苦心 作家招き朗 読会・絶版を復刊	干場 達矢	〃	11.24	香川文化考 香川が 誇る世界一の銘石 庵治石[イサム・ノ グチ庭園美術館]	美術屋・ 百兵衛	20
美術のなぜ、ITで 体感 創作過程を一 目で 金剛鈴の音再 現	窪田 直子	日経夕刊	5.1	ブロック報告 北信 越ブロック 目の前 を行き来する潜在的 鑑賞者たち[石川県 立美術館]	二木伸一郎	ZENBI 2
あすへの話題	小山 修三	〃				
博物館のこれから			10.18	香川文化考 香川が 誇る世界一の銘石 庵治石[石の美術館 ストーンミュージア ム/石の民俗資料館]	美術屋・ 百兵衛	20
さわって楽しむ			12.13			
らいふプラス 夜の 美術館へ アート探 訪 昼とは別の顔 しっとり鑑賞	古山 和弘	日経夕刊	10.27	復興の風景 下 ヒ ーローで 石ノ森萬 画館 未来に向かっ て共に	岩岡 千景	東京夕刊 3.8
教育ルネサンス リ ケジョを増やせ! 4 博物館で「学芸 員」体験	金来ひろみ	読 売	3.21	復興レッツゴー!! 石巻・石ノ森萬画館 が再開 1年8ヵ月 ぶり、ヒーロー集合		日 経 11.18
記者ノート 古美術 展示 スマートに	前田 恭二	〃	4.20			
「非正規」増加 学芸 員シンボ 将来描け ず、企画に影響も	木村 未来	〃	5.17	特集 中国と東アジ ア近代のコレクシ ョン形成と研究の背 景 第1部 関西に おける中国書画近代 コレクションの形成 久保惣コレクション と中国美術[和泉市 久保惣記念美術館]	河田 昌之	美術フォー ラム21 26
全国の歴史民俗系博 物館が連携 協議会 設立、危機管理など 議論		〃	7.18			
遊ぶ、楽しむ 体験 展示	竹之内知宣	〃	8.22			
「美術」見て 触れて 感じて 作家の感動 を子供たちに	井上 晋治	〃	8.23	新規会員館紹介 no.1 一関市博物館 地域の歴史と文化を 取り上げる人文系博 物館	大衡 彩織	ZENBI 2
日 本						
(ア行)						
リレーエッセイ42 「ジャクソン・ボロ ック展」開催におも うこと 日本初 生 誕100年を期に実現 [愛知県美術館]	村田 眞宏	美連協ニ ュース	113	全美フォーラム04 二年後。自然と芸術。 そしてレクイエム。 [茨城県近代美術館]	市川 政憲	〃 3
青森県立郷土館の小 ・中学校を対象とし た移動博物館につい てIII	佐藤 琢	青森県立 郷土館研 究紀要	36	ルーヴルーDNP ミ ュージアムラボワー クショップ「くらべ てみよう、見てみよ う」東北三県巡回 ルーヴルー美術館展 出展作品鑑賞ワーク ショップ[岩手県立 美術館]	伊部 玉紀	美術手帖 969
museum 北から南80 「美の再発見」の時代 アサヒビル大山崎 山荘美術館	芦刈 歩	新美術新 聞	1287	視点 東北三都市巡 回展「ルーヴルー美術 館からのメッセージ ：出会い」が開くま で[岩手県立美術館]	吉田 敬子	美術の窓 345
日本史のひろば 彦 岐市立一支部博物館 のこと	須藤 正人	歴史と地 理	655	美博なう 組んで刷 って活版体験 印刷 博物館		朝日夕刊 12.5
VIEW 池田文庫 池 田文庫はポスター宝 庫～記憶の喚起装置 としてのポスター～	菅谷 富夫	阪急文化	2	香川文化考 伝統工 芸品 丸亀うちわ[う ちわの港ミュージア ム]	美術屋・ 百兵衛	20

museum 北から南82 開館15周年記念 横 山大観展[宇都宮美 術館]	前村 文博	新美術新 聞	1290	博物館活動 博・学 連携から教育普及活 動の可能性を探る[大 阪府立近つ飛鳥博物 館]	横山 幸子	大阪府立 近つ飛鳥 博物館報	15	
新規会員館紹介 no.3 海の見える杜 美術館 自然との対 話ができる癒しの空 間	森 議弘	ZENBI	2	秋元康流アートのす すめ 第40回ゲスト 高松聡[オオタファ インアーツ]	山内 構成	美術手帖	963	
館長の独り言[永青 文庫]	竹内 順一	永青文庫		SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 東京のアート をめぐる、ベストツ アー ピラミデビル	中島 水緒	〃	966	
モックアップ			78	さまざまなジャンルの アートを満喫できる [オオタファイン アーツ]				
展示におけるハレ とケ			79					
コレスポンダンスー 私の永青文庫— ど んな切り口で企画を 立てても関連する作 品を永青文庫が所蔵 していなかったこと は皆無だ。	石田 佳也	〃	〃	museum 北から南79 名画で体験イタリア めぐり 大塚国際美 術館	岡村 修二	新美術新 聞	1285	
大名家文庫、存在ア ビール 積極的公開、 空港展示や出版も 「生き残りへの発想 の転換必要」[永青文 庫]	小川 宮代	雪一 栄一	朝日夕刊	6.11	探訪ミュージアム32 大友氏遺跡学習体験 館	矢田 宇紀	歴史地理 教育	788
SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 海外メゾンで 最先端のアートを見 る エスパス ルイ ・ヴィトン東京	永峰 美佳	美術手帖	966	画廊の本音 岡崎画 廊 偉大な作家と共 に歩み、育てられ	和田 圭介	新美術新 聞	1286	
探訪ミュージアム33 エドウィン・ダン記 念館(旧北海道庁真 駒内種畜場事務所・ 北海道札幌市南区真 駒内)	佐藤 広也	歴史地理 教育	789	美術館紹介5 おか さき世界子ども美術 博物館	榊原 悟	連盟ニユ ース	444	
美博なう 伝統の技 感じる職人体験 江 戸東京たてもの園		朝日夕刊	10.10	探訪ミュージアム28 岡まさはる記念・長 崎平和資料館(長崎 県長崎市)	末永 浩	歴史地理 教育	784	
東京文化考Ⅱ 隅田 川花火大会と東京都 江戸東京博物館		美術屋・ 百兵衛	22	評論の眼 置戸ぼっ ぽ絵画館「選ばれた 寄贈作品展」北の 大地に寄贈受け入れ 施設オープン	ワシオ・ト シヒコ	ギャラリ ー*	332	
画廊の本音 O ギャ ラリー 作家と分か つ悲喜交々 可能性 を育てる	和田 圭介	新美術新 聞	1272	画廊の本音 オンワ ードギャラリー日本 橋 アーツ事業40年 継続から生まれる信 頼	松崎 裕子	新美術新 聞	1269	
清き一票、展示に一 石 東西の近代美術 館ファンの意思問い かけ[大阪市立近代 美術館]	西岡 一正	朝日夕刊	10.24	香川文化考 香川県 立東山魁夷せとうち 美術館		美術屋・ 百兵衛	20	
時評 大阪人権博物 館のリニューアルを めぐって—学芸員 の思索—	吉村 智博	歴史学研 究	889	報告 史料館展示に おけるアンケート調 査の可能性—「明治 の視覚革命!」展と 「是!」展アンケート から考える—[学習 院大学史料館]	楠本 戸矢	竜崇 浩子	学習院大 学史料館 紀要	18
				museum 北から南81 山口華楊 生命の輝 きを描く 笠岡市立 竹喬美術館	上 蘭 四郎	新美術新 聞	1289	

(カ行)

公益財団法人 日動美術財団 笠間日動美術館開館40周年インタビュー 長谷川徳七館長・智恵子副館長に聞く	〃	1292			展示批評 北区飛鳥山博物館企画展「天明以来ノ大惨事—明治43年水害と岩淵を觀て	吉田 優	地方史研究	355
全美フォーラム06 空間芸術と時間芸術の横断 プロジェクト「アート・コンプレックス」[神奈川県民ホールギャラリー]	中野 仁詞	ZENBI	3		博物館・美術館新時代29 開館三十年とリニューアルを経て[岐阜県美術館]	正村 美里	紫 明	31
博物館展示のいま27 金沢能楽美術館 世界で唯一の能楽専門美術館	山内麻衣子	歴 博	174		探訪ミュージアム37 岐阜市平和資料室	魚次 龍雄	歴史地理教育	793
ミュージアム・ミュージアム ワークショップ わたしのたいせつなもの[嘉麻市立織田廣喜美術館]	大村 五月	デアルテ	28		北欧デザイン家具と現代アート作品のコラボレーション—家具店とギャラリーによる共同展覧会の試み[Gallery 榎]	丸山 篤	ファウンテン	3
資料保存利用施設の紹介—鴨川市郷土資料館— 地域の歴史・文化を次に引き継ぐために	石川 丈夫	千葉県の文書館	17		特別展 美のワンダーランド 十五人の京絵師 伝統を打ち破り、新しい“美”を創った15人の絵師[九州国立博物館]	畑 辻	靖紀 惟雄	Asiage 25
中特集 絵画のある旅を楽しもう 軽井沢千住博美術館と南軽井沢アートスポット 進化する美術館でありたい	品川 恵保	水墨画*	280		体験用資料を活用した視覚障害児童の展示観覧支援について[九州国立博物館]	池内 一誠	東風西声*	7
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術オープニング展は豪華な面々が勢ぞろい 軽井沢に新しい現代美術館がオープン [軽井沢ニューアートミュージアム]		美術の窓	345		平成二十三年度海外展報告[九州国立博物館]		文化財*	584
ニューアートミュージアム 軽井沢 芸術文化の拠点に 最初の展覧会「具体美術」を発信[軽井沢ニューアートミュージアム]					平成二十三年度アジア友好日本古美術展について	齊藤 孝正		
関西ギャラリー再発見 VOL. 16 画廊シャノワール		美術屋・百兵衛	22		滋賀県の文化財、海を渡る—文化庁「海外古美術展」での展示公開—	井上ひろ美		
特集・日本の地域博物館シンポジウム9 川越市立博物館の企画展作業を通じた事例報告	井口 信久	MUSEOLOGIST	27		美術館の展示と意図 II—「没後120年 ゴッホ展」から[九州国立博物館]	山田 磯夫	横浜美術教育・研究紀要	2
museum 北から南86 神田日勝記念美術館 友の会創立20周年協賛 神田日勝と新具象の画家たち 神田日勝記念美術館	菅 訓章	新美術新聞	1296		日本史のひろば 九州歴史資料館	松川 博一	歴史と地理	657
					人気集めるマンガミュージアム 観光施設リニューアルも相次ぐ[京都国際マンガミュージアム]		日経夕刊	2.28
					新規会員館紹介 no.6 清須市はるひ美術館 地域に親しまれる緑豊かな憩いの美術館	喜田早菜江	ZENBI	1
					SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 東京のアートをめぐる、ベストツアー 清澄ギャラリーコンプレックス 有名ギャラリーが一挙に見られるスポット	中島 水緒	美術手帖	966

春爛漫アートのスポット 開花宣言! 清春 芸術村		芸術新潮	749	上野の杜の12の物語 第十章 国立科学博 物館	中野 中	美術屋・ 百兵衛	20
画廊の本音 銀座柳 画廊「全ての家庭 に作品を」2人の理 想の未来をめざして	和田 圭介	新美術新 聞	1291	国立建築資料館を開 設 来月1月 著名 建築家の図面・模型 収集[国立近現代建 築資料館]	木村大 西 尚貴 人	朝日夕刊	12.1
美術館における伝統 ・文化に関する教育 普及活動の取り組み —永青文庫たんけん 隊プログラム実践報 告—[熊本県立美術 館]	犬童 昭久	熊本県立 美術館研 究紀要	12	ブロック報告 近畿 ブロック 関西の美 術館の連携について [国立国際美術館]	島 敦彦	ZENBI	2
海外の若手 支援 文化交流の美術館完 成 千葉・茂原市[グ ローリアミュージア ム]	佐々木香理	東京	10.16	国立新美術館新館長 に青木保氏就任1月 1日付 文化政策に 精通、元文化庁長官、 近著に『文化力』の 時代 就任にあた って	青木 保	新美術新 聞	1269
群馬県立近代美術館 における学校連携に ついての報告	熊谷ゆう子 見城久美子	群馬県立 近代美術 館研究紀 要	7	視点 開館五周年を 迎えた国立新美術館	"	美術の窓	343
常滑に、残った残っ た、テラコッタ「建 築陶器のはじまり館」 オープン		芸術新潮	751	美術館の展示と意図 II—「没後120年 ゴッホ展」から[国立新 美術館]	山田 磯夫	横浜美術 大学 教 育・研究 紀要	2
丸木美術館再び脱原 発 「原爆の図」太陽 光発電で照らせ 東 松山夏導入へ寄付募 る[原爆の図丸木美 術館]		東京	4.21	「日本一」の風景 最 大の展示面積[国立 新美術館]東京・六 本木		産 経	4.23
新ギャラリーオーブ ン KOKIARTS 国内 外の若手から超ベテ ランまで、幅広い世 代の作家を扱う[コ ウキアーツ]	石橋 高基	ファウン テン	2	国立西洋美術館に「橋 本コレクション」の指 輪類805点一括寄贈 — 紀元前2000年～ 現代まで4千年にわた る貴重な文化遺産		新美術新 聞	1288
博物館展示のいま26 豪商の館田中本家博 物館 このすばらしい 文化を残したくて	田中 和仁	歴 博	173	あすへの話題 国立 デザイン美術館	青柳 正規	日経夕刊	12.14
museum 北から南84 開館20周年記念 生 誕100年 小磯良平 の世界 神戸市立小 磯良平記念美術館	辻 智美	新美術新 聞	1293	論点 国立デザイン 美術館構想 創造力 学び育む施設に	"	読 売	12.28
開館30周年記念特別 展 あんな話こんな 話 観覧や学習の支 援となる復元品や模 型—特別展「国宝桜 ヶ丘銅鐸のなぞに迫 る」から—[神戸市立 博物館]	橋詰 清孝	神戸市立 博物館だ より	102	シリーズ歴博三〇周 年[国立歴史民俗博 物館]		歴 博	
研究発表(要約) FU- KUSHIMA のいま一 郡山市立美術館から	中山 恵理	近代画説	21	1 歴博三〇周年 を迎えて	平川 南		172
美術館紹介3 郡山市 立美術館—開館20 周年を迎えます—	永山多貴子	連盟ニユ ース	443	2 遺跡から歴史 をひも解く—発掘 調査による土地の 変遷を求めて—	岡田 茂弘		173
				3 歴博創設当時 の思い出	白石太郎		174
				4 小さな世界の 歴史から—歴博開 館前後から現況ま で	塚本 学		175
				美術館案内 五島美 術館—古経楼・五島 慶太の美の殿堂—	名児耶 明 聚 美		5
				新美術時評 五島美 術館のリニューアル オープンのこと	島尾 新	新美術新 聞	1296



五島美術館リニューアルオープン 新装開館記念名品展 時代の美 五島美術館・大東急記念文庫の精華 ゆとりある展示空間へ	砂澤 祐子	水墨画*	284	サントリー美術館の教育普及活動—本物に触れる感動と「日本美術って面白い!」を伝えたい	常安 順子	サントリー美術館研究紀要	1
画廊の本音 小林画廊 国際舞台で活躍できる作家の発掘と育成を	松崎 裕子	新美術新聞	1297	サントリー美術館のインターネット関連活動報告	吉岡 泉	〃	〃
関西ギャラリー再発見 VOL.15 小山登美夫ギャラリー京都		美術屋・百兵衛	21	サントリー美術館・東京ミッドタウン5周年記念「毛利家の至宝 大名文化の精粹」展 武家の格調「三矢」の英知 雪舟の最高傑作詩興誘う	石田 佳也	朝 日	4.13
(サ行)				国宝、ふれて感じてマルチメディアで変わる「鑑賞」[サントリー美術館]	増田 愛子	〃	8.15
美博なう 家族の思い出募集中 埼玉県立近代美術館			朝日夕刊	7.25			
記録 埼玉県立歴史と民俗の博物館のリノベーション—大規模改修を終了して課題と展望—	高橋 孝夫 濱 興治	埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要	6	「れい感博物館」雑考—博物館における「みる=視覚」情報についての覚書—[滋賀県立安土城考古博物館]	鈴木 康二	滋賀県立安土城考古博物館紀要	20
らいふプラス 自然美・人工美が若者魅了、美術館で相談会も 盆栽はクール 育てて実感[さいたま市大宮盆栽美術館]	林 英樹	日経夕刊	4.21	特集 世界をさわる手法を求めて ユニバーサル・ミュージアムの可能性 「時間」の壁を越えられるか!?—レプリカの可能性[滋賀県立安土城考古博物館]	〃	みんなく	418
佐賀文化考 佐賀県立美術館 郷土ゆかりの作品を中心に収集・展示する		美術屋・百兵衛	23	探訪ミュージアム39 滋賀県立安土城考古博物館(滋賀県近江八幡市)	家長 隆	歴史地理教育	795
新規会員館紹介 no.4 佐久市川村吾蔵記念館 活力ある社会の形成に寄与する美術館	三石 敏政	ZENBI	1	文化財公開による海外交流—文化庁海外古美術展「日本 仏教美術—琵琶湖周辺の仏教信仰—」[滋賀県立琵琶湖文化館]	井上ひろ美	滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要	28
museum 北から南78 彫刻作品に着目して—コレクションの魅力を考える 佐久市立近代美術館	土屋 信	新美術新聞	1281	平成二十三年度海外展報告[滋賀県立琵琶湖文化館]		文化財*	584
新・収蔵品展—平成23年度収蔵 視察報告 佐久市立近代美術館		新美術新聞	1293	平成二十三年度アジア友好日本古美術展について	齊藤 孝正		
関西ギャラリー再発見 VOL.17 桜塚ギャラリー		美術屋・百兵衛	23	滋賀県の文化財、海を渡る—文化庁「海外古美術展」での展示公開—	井上ひろ美		
春爛漫アートのスポット 開花宣言! 郷さくら美術館東京		芸術新潮	749	式年遷宮記念せんぐう館開館	石垣 仁久	瑞 垣	223
探訪ミュージアム34 佐野市郷土博物館(栃木県佐野市)	飯田 進	歴史地理教育	790	「せんぐう館」建設を通して	山内 隆司	〃	〃
美博なう 「不思議」実感するアート 佐野美術館		朝日夕刊	6.20	静岡県立美術館の地震防災体制について	新田 建史	静岡県立美術館紀要	27

平成24年定期刊行物所載文献(他/美博サ、タ行)

museum 北から南83 初公開作品の数々、 まさに「楽園」 静岡 県立美術館	福士 雄也	新美術新 聞	1292	視覚障害者、その美 術鑑賞への提案— 「ミュージアム・セ ッション」とルーヴ ル美術館の触察本に ついて[世田谷美術 館]	渡辺 慎子	世田谷美 術館紀要	13
美博なう やぐらの 上からロダン 静岡 県立美術館		朝日夕刊	9.5				
探訪ミュージアム41 静岡平和資料センタ ー(静岡市)	浅見 幸也	歴史地理 教育	798	平成22年度 公開シ ンポジウム「画家の アトリエと美術館」 第Ⅱ部 事例紹介2 世田谷美術館分館向 井潤吉アトリエ館	橋本 善八	小金井市 立はけの 森美術館 年報	H18-22 年度
新規会員館紹介 no.1 七戸町立鷹山 宇一記念美術館 市 民に支えられるプチ ギャラリー	戸館 昭吉	ZENBI	1				
画廊の本音 至峰堂 画廊 いま、なぜ日 本近代洋画なのか?	松崎 裕子	新美術新 聞	1278	視点 泉屋博古館分 館十周年を迎えて	川口 直宜	美術の窓	342
リレーエッセイ43 大震災影響下の1年 マルセイユ展中止に 副産物[島根県立美 術館]	長谷川三郎	美連協ニ ュース	114	特集 文化による復 興 3.11後の東北 せんだいメディアテ ークの活動	佐藤 泰 高橋 信裕、 齊藤 恵理 聞き手	Cultivate	39
画廊の本音 秋華洞 高い技術と表現性の 融合。それがひとの 心を動かす。	和田 圭介	新美術新 聞	1280	SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 東京のアート をめぐる、ベストツ アー ピラミデビル さまざまなジャンルの アートを満喫でき る[禪フォトギャラ リー]	中島 水緒	美術手帖	966
ぶら〜りキャンパス お宝編 女子美術大 染織コレクション 発想、構成力の勉強 に[女子美術大学]	鈴木 学	東 京	4.23	日本電気硝子「見え ないガラス」[損保ジ ャパン東郷青児美術 館]	杉瀬 由希	"	976
女子美術大学美術館 における染織コレク ションを中心とした ユニバーシティ・ミ ュージアムの実践	深津 裕子 石井 美恵子 須藤 良子 阿部 みよ子 小磯 かおり 佐藤 由佳 内藤 幸江 澤井 智実	女子美術 大学研究 紀要	42				
画廊探訪 新生堂		美術屋・ 百兵衛	23				
特集 世界をさわる 手法を求めて ユニ バーサル・ミュージ アムの可能性 さわ る展示のあり方を求 めて一吹田市立博物 館のこころみ	五月女賢司	みんぱく	418				
探訪ミュージアム38 西南学院大学博物館 (福岡市)	堀川 生哉	歴史地理 教育	794	平成22年度 公開シ ンポジウム「画家の アトリエと美術館」 第Ⅱ部 事例紹介1 台東区立朝倉彫塑館	村山 万介	小金井市 立はけの 森美術館 年報	H18-22 年度
特集 最新!ミュー ジウムグッズ案内 ナディップ店主・芦 野公昭に聞く ミュ ージウムショップと いう場所[セゾン美 術館]	芦野 公昭 インタビュー ー	美術の窓	351	上野の杜の12の物語 第十二章[台東区立 下町風俗資料館]	中野 中	美術屋・ 百兵衛	22
				ぶら〜りキャンパス お宝編 大東文化大 ピーターラビットコ レクション 世界随 一 150冊展示[大東 文化大学ピアトリク ス・ポター TM資料 館]	山内悠記子	東 京	6.4
				秋元康流アートのす すめ 第40回ゲスト 高松聡[タカ・イシ イギャラリー フォ トグラフィー/フィ ルム]	山内 宏泰 構成	美術手帖	963

(タ行)

SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 東京のアート をめぐる、ベストツ アー ピラミデビル さまざまなジャンルの アートを満喫でき る[タカ・イシイギ ャラリー フォトグ ラフイー/フィルム]	中島 水緒	"	966	キャンパスウオーク これが評判! 博物 館で戦後写真展 東 京家政学院大 学生 がコメント[東京家 政学院生活文化博物 館]	平林 由梨	毎 日	9.12
香川文化考 一生に 一度は「こんぴら参 り」[高橋由一館]		美術屋・ 百兵衛	20	東京国立近代美術館 開館六〇周年ご挨拶 選暦を迎えた東近美 の使命	加茂山幸夫	現代の眼	592
香川文化考 高松市 美術館		"	"	特集2 開館六〇周 年をふりかえる[東 京国立近代美術館]		"	597
「田川の子もたち による絵画展」に寄 せて 子どもたちに 親しみのある美術館 目指して20年[田川 市美術館]	佐土嶋洋佳	新美術新 聞	1274	この六〇年に、何 が「名品」として選 ばれてきたか	大谷 省吾		
新ギャラリーオーブ ン TALION GALLE RY 美術は世界の在 り方に介入するため の、たったひとつの 筋道[タリオンギャ ラリー]	上田 剛史	ファウン テン	2	二冊の六〇周年記 念刊行物『60年 史』と『美術家たち の証言—東京国立 近代美術館ニュー ス『現代の眼』選集』 について	水谷 長志		
過去から学ぶ未来へ 伝える 震災の記憶 展示は語る リアス ・アーク美術館 泥 まみれの日用品 復 興を映す地層・瓦 地底の森ミュージアム	小川 雪	朝日夕刊	11.26	MOMAT コレクショ ン リニューアルレ ポート[東京国立近 代美術館]		美術手帖	
彫刻の森美術館の館 長に就任 森英恵さん 幼少の体験 ぜひ親子で	渋沢 和彦	産 経	8.23	Vol.2 コレクショ ンの展示ができる まで	保坂健二郎		973
資料整理と展示活用 —土浦幼稚園資料を 事例として—[土浦 市立博物館]	野田 礼子	土浦市立 博物館紀 要	22	Vol.3 新設! 所蔵 作品のハイライト ・コーナー	島貫 泰介		974
教育普及グッズ「や ちむんトランプ」、 「やちむんトランプ かいせつカード」に ついて[壺屋焼物博 物館]	金城有希乃	壺屋焼物 博物館紀 要	13	Vol.4 ついにオー プン! 新生 MO- MATコレクション	保坂健二郎 談		975
関西ギャラリー再発 見 VOL. 14 DMO ARTS		美術屋・ 百兵衛	20	東京文化考 開館60 周年 東京国立近代 美術館		美術屋・ 百兵衛	21
英国博物館と提携 鉄道博物館 展示用 資料やりとり		日 経	11.28	近代の傑作集「還 暦」2館 東京国立 近代美術館 戦後の 先駆け/絵画から写 真、映画まで プリ ズトン美術館 ポ ロックなど収集/ブ ロガーに説明会	西岡 一正	朝日夕刊	5.30
鉄道博物館 英と提 携 世界最大級「ヨ ーク」と 来月、模 型展示や記念講演		読売夕刊	11.24	国立近代美術館60周 年 記念手帳を無料 配布[東京国立近代 美術館]	(典)	東京夕刊	2.15
				文化往来 東京国立 近代美術館60周年、 1950年代を回顧		日 経	7.23
				建築家ら招いて「夏 の家」イベント 東 京国立近代美術館		毎日夕刊	8.16

「政地」巡礼 終戦の日 惨劇の舞台 旧近衛師団司令部 東京国立近代美術館工芸館	清水 孝幸	東京	7.29	東京国立博物館 140年の歩み	前田 恭二	読 売	5.17
「東京国立博物館 盲学校のためのスクールプログラム」から始める博物館のアクセシビリティ—みんなが楽しむ博物館の第一歩—	鈴木みどり	東京国立博物館紀要	47	森鷗外 未完の論文発見 博物館総長の責務 誠実に[東京国立博物館]	〃	〃	7.4
特集 模写から学ぶ 絵画の技法 東京国立博物館で開催された特別展「模写・模造と日本美術—うつす・まなぶ・つたえる—」を振り返る	井上 洋一	美術の窓	349	ジュニア探検隊 東京国立博物館「国の宝」手作業で修理・保存 カルテを作って記録	ヨミウリ・ジュニア・プレス取材班	読売夕刊	5.26
特集 東京国立博物館140周年・奈良文化財研究所60周年 東京国立博物館		文化財*	587	おかえりなさい、東京ステーションギャラリー		芸術新潮	756
まだ、たった、140年	銭谷 眞美			ときの人42 福田章さん 煉瓦壁の美術館、装いを新たに再出発[東京ステーションギャラリー]		新美術新聞	1290
学芸企画部の過去・現在・未来	松本 伸之			東京ステーションギャラリーが10月1日リニューアルオープン オープニングは現代作家展、来年2月まで開催		〃	1293
学芸研究部の過去・現在・未来	伊藤 嘉章			INFORMATION NEWS 東京駅発！現代美術でリスタート 6年半を経て、東京ステーションギャラリー再始動	斉藤 博美	美術手帖	976
総務部関係の過去・現在・未来	樋口 理央 菅原 康宏			美術館めぐり 東京造形大学附属横山記念マンゾー美術館		ART LIBRARY	13
東京国立博物館 140周年記念事業 —「ブンカのちからにありがとう！」キャンペーン	小林 牧			SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 東京のアートをめぐる、ベストツア— 東京都現代美術館 国内最大級の現代美術館“MOT”をまず訪れよう	中島 水緒	美術手帖	966
表紙解説 東京国立博物館140周年・奈良文化財研究所60周年		〃	〃	SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 東京のアートをめぐる、ベストツア— 東京都写真美術館 バリエーションに富んだ写真・映像表現を見に行こう		〃	〃
報告 東京国立博物館館内ガイドの新しいかたち—スマートフォンによる位置連動型ガイド「とーはくナビ」製作と貸出について—	藤田 千織	MUSEUM	636	目は語る アート逍遥 9月 東京都写真美術館 技術革新と創造力を映す	高階 秀爾	毎日夕刊	9.6
報告 東京国立博物館本館漆工展示室の改修プロセス—展示ケースの設計・監理を中心に—	矢野 賀一	〃	637	特集 広がる公募展 part 2 東京都美術館リニューアル後の行方		ギャラリー*	323
国立博物館140年の歴史 東京・上野で特集展示[東京国立博物館]	小川 雪	朝日夕刊	7.9	特集 1 東京都美術館リニューアル	山田 礼二	主体美術	92
新装の東洋館、アジアの陶磁器充実 東京国立博物館	大西 若人	〃	12.26				
文化往来 東京国立博物館東洋館、体験する展示工夫		日 経	9.28				

東京都美術館 真室佳武館長インタビュー 「都美術館を「アート」の入り口」に聞き手	榎本 香奈子	〃	〃	地域における現代美術考 十和田市現代美術館・Arts Towada 野外芸術文化ゾーンのこころみ	島屋 純晴	秋田公立芸術工芸短期大学紀要	16
新生・東京都美術館と上野公園	真室 佳武	絲綢之路	69				
東京都美術館 4月1日リニューアルオープン フェルメール、レンブラント、ゴッホ…注目の大型展目白押し		新美術新聞	1275	珍獣? 霊獣? ソウが来た! [長崎歴史文化博物館]	有松 有希	長崎れきぶん	21
東京都美術館の新しい試み 都美セレクショングループ展の開催 将来性ある作家の創作活動を支援	小林 明子	〃	1291	春爛漫アートのスポット 開花宣言! 中山道広重美術館		芸術新潮	749
東京文化考 “アートへの入口” 東京都美術館		美術屋・百兵衛	21	学校と美術館の継続的連携をはかる取り組み [長野県信濃美術館]	土屋 宏美	長野県信濃美術館紀要	6
美術館紹介 2 東京都美術館 リニューアル後の東京都美術館—新たな出発に向けて	真室 佳武	連盟ニュース	442	平成22年度 公開シンポジウム「画家のアトリエと美術館」第2部 事例紹介 3 中村研一記念小金井市立はげの森美術館	薩摩 雅登	小金井市立はげの森美術館年報	H18-22年度
「アートへの入り口」 都美術館 4月リニューアルオープン [東京都美術館]	黒沢 綾子	産 経	1.16	新規会員館紹介 no.3 中村研一記念小金井市立はげの森美術館 地域に根ざした森のある美術館	荒木 和	ZENBI	1
美術館が伝統工芸に新風 職人とデザイナー 仲介 [東京都美術館]	窪田 直子	日経夕刊	11.26	美博なう シンボルマーク募集中 名古屋市美術館、市科学館		朝日夕刊	6.27
特別寄稿 東西文化の万華鏡 東洋文庫ミュージアム観覧記	中村 愿	書道界	269	美術館の展示と意図 II—「没後120年 ゴッホ展」から [名古屋市美術館]	山田 磯夫	横浜美術大学・研究紀要	2
活字の海で 東洋文庫が「本の展示」併設のミュージアムで [東洋文庫ミュージアム]	瀬崎久見子	日 経	7.15	秋元康流アートのすすめ 第41回ゲスト片山陽加 [NADiff a/p/a/r/t]	山内 構成	宏泰	美術手帖 964
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術クリエイター・イン・レジデンスとは? トーキョーワンダーサイト「トーキョーストーリー2011」開催		美術の窓	345	探訪ミュージアム29 なまはげ館(秋田県男鹿市)	渡部 豊彦	歴史地理教育	785
美術館案内 徳川美術館	徳川 義崇 編 集 部 聞き書き	聚 美	4	文化財の時間性・重層性とアーカイヴズ—奈良国立博物館における「内なる連携」の試み—	宮崎 幹子	アート・ドキュメンテーション通信	93
museum 北から南77 古い皮袋に新しい酒 栃木県立美術館	杉村 浩哉	新美術新聞	1277	特集 東京国立博物館140周年・奈良文化財研究所60周年 奈良文化財研究所		文化財*	587
ブロック報告 北信越ブロック 常設展の魅力度アップ事業と近隣美術館との連携 [富山県立近代美術館]	杉野 秀樹	ZENBI	1	奈良文化財研究所60周年	松村 恵司		
				企画調整部の現状と展望	難波 洋三		
				文化遺産部の現状と展望	小野 健吉		

都城発掘調査部 (平城地区)の現状 と展望	深澤 芳樹			秋を愉しむアートの スポット特集 箱根美 術館	芸術新潮	755
都城発掘調査部 (飛鳥・藤原地区) の現状と展望	杉山 洋			ヒカリエではアートの 遊戯場「8/」へ GO!	"	750
埋蔵文化財センタ ーの現状と展望	埋蔵文化財 センター			SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 東京のアート をめぐる、ベストツ アー 渋谷ヒカリエ 8/(はち) 注目の アートのスポットが、 今春オープン	中島 水緒	美術手帖 966
奈良文化財研究所 の国際協力につい て	森本 晋					
探訪ミュージアム30 鳴門市ドイツ館(徳 島県鳴門市)	井内 哲也	歴史地理 教育	786			
museum 北から南73 個性の競演新潟の画 家たち 新潟県立万 代島美術館	宮下 東子	新美術新 聞	1268	INFORMATION 渋谷 ヒカリエ「8/(は ち)」が、ついにオ ープン	岡澤浩太郎	美術手帖 967
新規会員館紹介 no.2 新潟市新津美 術館 花と遺跡とア ートの丘	小林 巧	ZENBI	2	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 新たな複合施設「渋 谷ヒカリエ」にギャ ラリースペースオ ープン「8/」		美術の窓 345
学芸員談話室8 教 育の場としての博物 館[新潟市歴史博物 館「みなとびあ」]	並木 晴香	同志社大 学博物館 学年報	43	話題の人 巻頭イン タビュー 藪田尚人 さん[8/]	藪田 尚人 談 編 集 部	目の眼 431
自分の目を信じて「発 掘」ワタリウム美術 館 西村画廊 40年 の活動記録刊行	高野 清見	読 売	10.25	美術館紹介4 浜田 市世界こども美術館	寺尾 堂	連盟ニュー ース 444
博物館展示のいま25 日本郷土玩具博物館	三谷 範子	歴 博	170	メディア造形分野に おける地域文化施設 の貢献活動—浜松科 学館特別企画展「サ イエンスホラースク ール」の事例につい て—	的場ひろし 和田 和美	静岡文化 芸術大学 研究紀要 12
美博なう 進化型「デ コる」塗り絵 めり え美術館		朝日夕刊	6.6			
美術館案内Ⅱ 根津 美術館・受け継がれ る文化発信への情熱	根津 公一 編 集 部 聞き書き	聚 美	2	本物そっくり 鉄道 模型 博物館オープ ン[原鉄道模型博物 館]	ヨミウリ・ ジュニア・ プレス取材 班	読売夕刊 10.6
野田市郷土博物館に おける「政策連携」の 成果と展望	金山 喜昭	野田市郷 土博物館 市民会館 年報紀要*	4	SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 東京のアート をめぐる、ベストツ アー 原美術館 モ ダンな洋館で、ゆっ たりとアートを鑑賞 できる	中島 水緒	美術手帖 966
報告 博物館を拠点 とする市民団体の活 動意識と連携のあり 方について—「むら さきの里 野田ガイ ドの会」の事例から —[野田市郷土博物 館]	柏女 弘道	" "	" "	東京どんぶらこ 530 御殿山 邸宅の風情 アートの舞台に[原 美術館]	谷村 志穂	東 京 6.23
	(ハ行)			変容し成長する美術 館—開館10周年を迎 えた「パラミタミュ ージアム」	田原由紀雄	美術フォ ーラム21 26
美博なう 箱根ガラ スの森美術館		朝日夕刊				
仮面が引き出す別 の顔			4.4	特集・日本の地域博 物館シンポジウム9 東村山ふるさと歴史 館の市民講座につい て—地域学と学芸員 —	宮澤美和子	MUSE- OLOGIST 27
箱根ガラスの森美 術館 太陽光で七 色に輝くツリー			12.19			

広島市まんが図書館における来館者調査—マンガを「図書館」で扱うとは	伊藤 遊 村田麻里子 山中 千恵 谷川 竜一	京都精華 大学紀要	41	(マ行)				
探訪ミュージアム40 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館(福井市)	清水 章孝	歴史地理 教育	796		世界の巨匠から学生 まで様々な版画を展 示 町田市立国際版 画美術館	佐川美智子 談	ギャラリー 一*	322
museum 北から南74 インドを蒐集した人 を、蒐集する 福岡 アジア美術館	五十嵐理奈	新美術新 聞	1270		日本史のひろば 松 江歴史館	西島 太郎	歴史と地 理	660
通信J to A アジア へ31 キッチンを語 りて美術人を戦慄せ しめよ! [福岡アジ ア美術館]	黒田 雷児	〃	1272		新規会員館紹介 no.5 松本市美術館 Think global, Act local	小原 直樹	Z E N B I	1
学会活動報告 第八 四回大会 戦後アジ アにおけるコレクシ ョン形成—福岡アジ ア美術館の活動を手 がかりに—	岸 清香	デアルテ	28		未来へつなげる教育 普及的コレクション 展示の事例と展開[松 本市美術館]	吉澤 裕子	松本市美 術館紀要 エクラン	3
春爛漫アートのスポ ット開花宣言! プリ ヂェストン美術館		芸術新潮	749		マイセン展開催時の 地震対策について[松 本市美術館]	澁田見 彰	〃	〃
近代の傑作集「還 暦」2館 東京国立 近代美術館 戦後の 先駆け/絵画から写 真、映画まで プリ ヂェストン美術館 ポ ロックなど収集/ブ ロガーに説明会	西岡 一正	朝日夕刊	5.30		美術館におけるマナ ーと鑑賞教育[松本 市美術館]	武藤 美紀	〃	〃
文京ふるさと歴史館 特別展「坂道・ぶん きょう展」を開催し て	東條幸太郎	MUSE- OLOGIST	27		視点 みなさまに愛 され親しまれて二十 年[丸亀市猪熊弦一 郎現代美術館]	真鍋 順穂	美術の窓	340
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 建築家・安藤忠雄氏 による基調講演 ベ ネッセアートサイト 直島20年「生成(SEI- SEI)」シンポジウム 開催		美術の窓	348		香川文化考 「いの くまさん」美術館 丸亀市猪熊弦一郎現 代美術館		美術屋・ 百兵衛	20
香川文化考 もうひ とつの四国巡礼 ベ ネッセアートサイト 直島		美術屋・ 百兵衛	20		卒業生による活動報 告 三重県立美術館	原 舞子	MUSE- OLOGY	31
競艇場内に美術館 アートツアー人気[ポ ートレース江戸川ア ートミュージアム]		毎日夕刊	9.20		講演会 美術館の生 成—開館一周年を迎 えた三菱一号館美術 館	高橋 明也	日仏美術 学会会報	31
新規会員館紹介 no.2 公益財団法人 ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館 森に 溶け込む美術館	東海林 洋	Z E N B I	1		全美フォーラム02 あの時の水戸芸術館、 いま、そしてこれか ら	高橋 瑞木	Z E N B I	1
ポーラ美術館10年 コレクター鈴木常司 の美意識 多方面の 秀作、体系的に	三沢 典丈	東京	8.27		「身近な自然につい ての不思議」を「展 示」する 2011年度 「おどろき はっけん みのかも自然展」を 振り返る[美濃加茂 市民ミュージアム]	西尾 円	美濃加茂 市民ミユ ージアム 紀要	11
					ぶらへりキャンパス お宝編 武蔵野美術 大学 近代椅子コレ クション 350点、国 内唯一の品も[武蔵 野美術大学美術館]	北爪 三記	東京	10.22
					INFORMATION NEWS 財政難で「原 爆展」中止に 「原爆 を見る」展の開催中 止が決定 「原爆を 見る1945—1970」展 [目黒区美術館]	編集部	美術手帖	963

社会派アート阻む財政難 目黒区美術館原爆展また中止 企画展予算7割カット	滝沢 学 東京	6.7	museum 北から南76桜・さくら・SAKURA 2012—美術館でお花見!—山種美術館	山崎 妙子	新美術新聞	1276	
SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 海外メゾンで最先端のアートを見る メゾンエルメス 8階フォーラム	永峰 美佳	美術手帖	966	なるほど鑑賞室 ザ・ベスト・オブ・山種コレクション 激しく力強い日本画に圧倒[山種美術館]	小原 俊介	読売夕刊	1.14
日本史のひろば 開館しました! もりおか歴史文化館	遠藤祐太郎	歴史と地理	655	美術館案内 III 大和文華館・自然に調和し、地域に生きる美術館	浅野 秀剛 編集部	聚 美	3
SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 東京のアートをめぐる、ベストツアー 森美術館 最先端の現代アートを扱う企画展が人気	中島 水緒	美術手帖	966	視点 ミレーとともに三十年—山梨県立美術館のミレー・コレクション	和田佐知子	美術の窓	343
街中にアート現る 森美術館 所蔵品を複写、展示 アークヒルズで第1弾 工事現場・空き店舗に展開		日 経	5.9	新ギャラリーオープン Gallery YUKI-SIS 覚えやすい自分の名前と女神・イシスをつなげて、ギャラリー一名に	寺島 由起	ファウンテン	3
大震災から1年を経て 諸橋近代美術館—美術の力を信じて	諸橋 英二	新美術新聞	1277	NEWS 横尾忠則の個人美術館兵庫にオープンへ 横尾忠則現代美術館(仮称)	編集部	美術手帖	965
(ヤ行)							
特集1 所蔵品ギャラリーのリニューアルについて “収蔵品 展覧者不在体質”の克服に向けて[山口県立美術館]	河野 通孝	現代の眼	597	「横尾美術館」オープン 神戸市 絵画など3千点 記念展も[横尾忠則現代美術館]	岩岡 千景	東京夕刊	11.7
視点 作品の底力を引き出す「自然光」LED照明[山口県立美術館]	〃	美術の窓	347	文化往来 横尾忠則現代美術館、神戸に今秋開館		日 経	6.8
特集 ワークショップ進化論 メディアと身体を介した新たな創造性の発露 山口情報芸術センター(YCAM)の取り組み	上條 昌宏	A X I S	158	横尾忠則の軌跡美術館に 回復こそ挑戦 [横尾忠則現代美術館]	窪田 直子	日経夕刊	11.19
いま、僕が思うこと 坂本龍一 2050年のメディアアート 山口から世界に発信[山口情報芸術センター]	坂本 龍一	産 経	1.22	横尾忠則現代美術館神戸に11月オープン	渡辺 亮一	毎日夕刊	6.21
museum 北から南85 山口蓬春が辿った日本画の世界 山口蓬春記念館	笠 理砂	新美術新聞	1295	「横尾忠則現代美術館」誕生 「回復」が生む新表現	木村 未来	読 売	11.22
山種コレクションと画家たち—山種美術館館長山崎妙子氏聞き書き	小林 忠 聞き手	国華清話 会報	19	museum 北から南75 東京湾と「正岡子規と美術」 横須賀美術館	杓沢 耕介	新美術新聞	1271
				美術館の「ラルクアンシエル」展 横須賀 過去最多の集客別の特別企画も[横須賀美術館]	高野 清見	読 売	7.19
				探訪ミュージアム35 横浜開港資料館(神奈川県横浜市)	小宮まゆみ	歴史地理 教育	791



横浜美術館における  
ヨコハマトリエンナーレ2011「キッズ・アートガイド」の実践—その成果と課題について

内山 淳子 横浜美術  
太田 雅子 館研究紀 13

名古屋アートの“いま”を紹介 銀座に進出の画廊で[万画廊]

川崎 宏三 東京 4.14

(ラ行)

全美フォーラム03  
「東日本大震災から、1年を振り返る」[リアス・アーク美術館]

山内 宏泰 ZENBI 2

過去から学ぶ未来へ伝える 震災の記憶 展示は語る リアス・アーク美術館 泥まみれの日用品 復興を映す地層・瓦地底の森ミュージアム

小川 雪 朝日夕刊 11.26

気仙沼の美術館 がれきは「被災資料」 来年再開へ収集作業中 津波の怖さを伝える[リアス・アーク美術館]

東京 3.15

3・11後を生きる 被災地発 がれき展示 震災伝える[リアス・アーク美術館]

7.19

津波の記憶町に残す 建築家ら、住民と模索 気仙沼「鎮魂の森」構想 女川 災害遺構を保存[リアス・アーク美術館]

窪田 直子 日 経 6.8

文化往来 気仙沼の美術館再開場、災害の記憶伝える[リアス・アーク美術館]

9.11

画廊の本音 LIXIL ギャラリー ものづくりの風土—文化の多様性と共に

袴田 智彦 新美術新聞 1283

秋を愉しむアートの スポット特集 龍谷ミュージアム

芸術新潮 755

四季の移ろい 絵画で表現 白谷建設、足立に美術館 季節ごとに入れ替え[六町ミュージアム・フローラ]

日 経 5.17

SPECIAL FEATURE  
東京アートガイド  
2012 東京のアートをめぐる、ベストツアー ピラミデビル  
さまざまなジャンルのアートを満喫できる[ロンドンギャラリー六本木]

中島 水緒 美術手帖 966

(ワ行)

秋元康流アートのすすめ 第40回ゲスト 高松聡[ワコウ・ワークス・オブ・アート]

山内 宏泰 構成 963

SPECIAL FEATURE  
東京アートガイド  
2012 東京のアートをめぐる、ベストツアー ピラミデビル  
さまざまなジャンルのアートを満喫できる[ワコウ・ワークス・オブ・アート]

中島 水緒 966

會津八一記念博物館 館長室から[早稲田大学會津八一記念博物館]

藪野 健 早大會津八一記念博紀要\* 13

ワタリウム美術館の 歩み紹介 現代美術の先端疾走

渋谷 和彦 産 経 9.12

自分の目を信じて「発掘」ワタリウム美術館 西村画廊 40年の活動記録刊行

高野 清見 読 売 10.25

海 外

館長の独り言 他人事ではないリニューアル[アムステルダム国立美術館]

竹内 順一 永青文庫 80

ステデリック・ミュージアムのアイデンティティデザイン[アムステルダム市立美術館]

樋口 歩 A X I S 160

大リーグが大好き！ ASAMAを訪ねて(番外編)[アメリカン・スポーツ美術館兼資料館]

向井万起男 朝日夕刊 7.11

現在通信 From NEW YORK アルドリッチ現代美術館

富井 玲子 新美術新聞 1279

大特集 永遠のイスタンプール 東西の美と出会う都 コラム2 おすすめミュージアム二つ トルコとイスラム美術博物館&イスタンプール考古学博物館

編集部 芸術新潮 753

ドーハの海に浮かぶ イスラム美術の万華 鏡[イスラム美術館]		芸術新潮	749	中国美術の粋 故宮 台北市、新竹市(台 湾)[故宮博物院(台 北)]	南 恵太	毎 日	1.29
長期にわたる自発的 な関心を支援する学 びのデザイン考察— エクスポラトリウム という有機的組織 の考察	栗野 由美	東京造形 大学研究 報	13	戌も歩けば beau[ボ ー]に当たる 第二 十八回「清明上河 図」がやってくる！ [故宮博物院(北京)]	竹田 博志	美術の窓	341
World News Paris オルセー美術館改装 オープン 開館25周 年！ オルセー美術 館 新装印象派ギャ ラリーの評判は？	野口 裕子 取材	芸術新潮	745	故宮 3D映像公開 へ 北京の博物院と 凸版印刷協力 建築 物の形や色再現[故 宮博物院(北京)]	渡部 圭	東京	5.30
ヨーロッパアート事 情 オルセー リニ ューアル 展示の大 胆な改革 時代が求 める美術館に	今津 京子	美連協ニ ュース	113	特集 コレクターの 存在と役割 エレン ・マラ・デ・ヴァヒ ター 受容器から効 果器へ—変わるコレ クションの役割(ザ ブルドウィック・コ レクション)	大坂純一郎 インタビュー	ファウン テン	3
オルセーを変える館 長 多義的展示世界 に問う 他館と協業 /組織を再編	窪田 直子	日 経	8.11	通信 J to A アジア へ34 サンフランシ スコでお目見えのア ジア現代美術[サン フランシスコアジア 美術館]	黒田 雷児	新美術新 聞	1280
絵とドレス並べて展 示 パリ[オルセー 美術館]	今津 京子	読売夕刊	10.17	from the World 地中 に広がる大展示空間 シュテール美術館 の「ガーデンホール」	小町 英恵	A X I S	157
美術館アーカイブズ が守るべき記録とは 何か カナダ国立美 術館の事例を中心に	川口 雅子	国文学研 究資料館 紀要(ア)*	8	ニッポン人・脈・記 日英新世紀3 大英 博に怪人あらわる[大 英博物館]	沢村 互	朝日夕刊	7.9
歴博けんきゅう便第 42回 カナダ文明博 物館の特別展示「伝 統と革新の国日本」 —外国で「日本」を展 示するということ—	久留島 浩	歴 博	171	平成二十三年度海外 展報告[大韓民国国 立中央博物館]		文化財*	584
現代中国書法事情 241[河南博物館]	種谷 萬城	書 道 界	267	平成二十三年度ア ジア友好日本古美 術展について	齊藤 孝正		
特集 茶の湯—スキ の芸術 第2部 茶 の湯の表現 パリ、 ギメ美術館での茶の 湯[ギメ東洋美術館]	尾本 圭子	美術フォ ーム21	25	滋賀県の文化財、 海を渡る—文化庁 「海外古美術展」で の展示公開—	井上ひろ美		
WORLD NEWS シン ガポール 成長を続 けるシンガポールの アートシーンでギル マン・バラックスが ついに始動！	ダリル・ウ イー 近藤 亮介 訳	美術手帖	975	現代中国書法事情 240[中央研究院歴史 文物陳列館]	種谷 萬城	書 道 界	266
フォーカス 米グッ ゲンハイム美術館の 活動 世界に広げる 芸術の社会貢献に国 境なし アリ・ワイ ズマン氏		日経夕刊	2.20	World News Liver- pool 「無垢と経験」 展 '60年代に「涙あ ふれて」 マリアン ヌ・フェイスフルが 選ぶ極私的アート傑 作選[テート・リヴ アプール]	前橋 重二	芸術新潮	751
PARIS 発 「モニユ メンタ」 グラン・ パレの試み	安部 雅延	新美術新 聞	1282	Art Report in Asia 中国・最新アーティ スト事情第9回 天 津博物館と天津美術 館	梶川 強	ギャラリー 一*	332
皇帝文化の象徴 台 湾故宮博物院[故宮 博物院(台北)]	高橋 智	みんぱく	414				

大特集 永遠のイスタンブール 東西の美と出会う都 コラム2 おすすめミュージアム二つ トルコとイスラム美術博物館&イスタンブール考古学博物館	編集部	芸術新潮	753	World News New York アメリカン・ウィング新装オープン 豪華すぎる額縁も再現 メトに返り咲いた司令官ワシントンの勇姿[メトロポリタン美術館]	前橋 重二	芸術新潮	747
勉強会報告 第2回勉強会 ナーブルステック博物館(プラハ)の日本コレクションー日本の伝統芸術に対する中央ヨーロッパの視点ー	鈴木 裕輔	The Newsletter I. J. S	17	メトロポリタン美術館 トマス・P・キヤンベル館長 研究を犠牲にせず財政危機を乗り切った、若きトップの定見と実践	〃	〃	756
ニューヨーク近代美術館による美術鑑賞法ーVisual Thinking Strategyの発祥とその背景	朴 鈴子	京都国立近代美術館研究集	4	現在通信 From NEW YORK 美術館でステイケーション [メトロポリタン美術館]	富井 玲子	新美術新聞	1287
World News Philadelphia バーンズ財団新館オープン より開かれた展示施設へ バーンズ財団、街場に移転[バーンズ・コレクション]	由本みどり 取材	芸術新潮	751	特集 世界をさわる手法を求めて ユニバーサル・ミュージアムの可能性 エデュケーターの役割ーメトロポリタン美術館の事例から	大高 幸	みんなく	418
アメリカアート事情 バーンズ財団美術館新館5月オープン [バーンズ・コレクション]	後藤トキ子	美連協ニュース	114	全美フォーラム03 ケアの場としての美術館ー認知症の方のためのプログラムー [メトロポリタン美術館クロイスターズ]	稲庭彩和子	ZENBI 1	
バーンズ 寸分違わぬ展示 新館オープンで称賛の声[バーンズ・コレクション]	朽木ゆり子	読 売	6.21	Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情第8回 M-50莫干山(モーガンシヤン)	梶川 強	ギャラリー*	331
from the World 芸術家の町に建つ、ヘルツォーク&ド・ムロン設計の美術館 [パリッシュ美術館]	吉田 実香	A X I S	155	SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART3 沸騰するアジアマーケット ジャカルタに設立、ユーズ美術館	牧 信太郎	美術手帖	962
浮世絵600点サイト無料公開 ロシア・プーシキン美術館		東 京	10.23	小特集 リヒテンシュタイン侯爵家 500年にわたる芸術への情熱[リヒテンシュタイン美術館]		芸術新潮	754
ヨーロッパアート事情 モバイル美術館の試み[ボンビドゥーセンター]	今津 京子	美連協ニュース	114	時評 ルーヴル美術館と東芝 LED 照明		日本美術新聞	5
ドイツ・マールブルク大学宗教学研究資料館 (Religionskundliche Sammlung) 創立八十周年記念式典におけるマルティン・クラーツ博士の講演	新田 義之	生活文化研究所年報	25	ルーヴルーDNP ミュージアムラボワークショップ「くらべてみよう、見てみよう」 東北三県巡回ルーヴル美術館展 出展作品鑑賞ワークショップ	伊部 玉紀	美術手帖	969
小特集 デン・ハーグの“宝石箱” マウリッツハイス美術館へ	編集部 文	芸術新潮	751	ルーヴル美術館館長、被災3県巡回展で来日 東北とつながりたい	日 経		4.30

Art Report in Asia  
中国・最新アーティスト事情第6回 紅坊国際文化芸術社区 [レッドタウン]

梶川 強 ギャラリー 329

(カ行)

海外展

(ア行)

チームラボ「We are the Future」展 「懐かしい未来」という仮想 国立台湾美術館で開催！[国立台湾美術館 Digi Ark、5/23-8/12]

編集部 美術手帖 971

大宮BONSAI ループルへ 展示会で職人剪定「ブランド力高める」[カルーゼル・デュ・ループル展示会、ループル美術館別館、12/5-12/9]

” 12.4

INFORMATION NEWS 日本館に金獅子賞 第13回ヴェネチア・ヴィエンナーレ国際建築展 日本館がバウイリオン賞(金獅子賞)を受賞 [ジャルディーニ、アルセナーレほか、8/29-11/25]

五十嵐太郎 ” 975

英国に里帰り 和のロリータ ロンドンの美術館でストリートファッション展 パンクロック・不思議の国のアリスも「吸収」[キティ・アンド・ザ・ブルドッグ：ロリータファッションとその英国文化の影響、ピクトリア&アルバート美術館、4/23-1/27]

増田 愛子 朝 日 6.20

ベネチア国際建築展を歩いて アイディアの源泉を探る 建築生む「場」問い直す

大西 若人 朝日夕刊 10.3

WORLD NEWS ニューヨーク ニューヨークにも芸術の秋到来！映像への注目と日本戦後美術の再評価[具体を巡るひとつの試論、ハウザー&ヴィルト、9/12-10/27]

藤森 愛実 美術手帖 975

日本館の展示 金獅子賞 ベネチア国際建築展 被災地の集会所設計過程

日 経 8.30

現代日本の書代表作家パリ展 世界に伝える精髓 響き合う線と音色 書家とパリ警視庁音楽隊が共演[2012 現代日本の書代表作家パリ展、ギメ東洋美術館、3/14-5/14]

桐山 正寿 毎 日 3.26

ベネチア国際建築展で最高賞 日本館、社会との回路探る

五十嵐太郎 日経夕刊 9.18

SHO1一ギメの挑戦上、下[2012 現代日本の書代表作家パリ展]

” 毎日夕刊 4.3、4

第13回ベネチア・ヴェンナーレ国際建築展報告 金獅子賞の世界に問う 注目された「人間性」

根本 太一 毎日夕刊 9.11

通信 J to A アジアへ41 ネタ切れ？—光州と釜山のヴェンナーレ[第9回光州ヴェンナーレ、光州ヴェンナーレ・ホール、光州市立美術館ほか、9/7-11/11]

黒田 雷児 新美術新聞 1299

ベネチア・ヴェンナーレ建築展 29日開幕 復興の「形」世界に問う 被災住民との対話 わき上がるイメージ

高野 清見 読 売 8.16

WORLD NEWS クアンジュ 6名のキュレーターによる、第9回光州ヴェンナーレ「ラウンド・テーブル」

角 奈緒子 美術手帖 975

日本館展示 金獅子賞 ベネチア・ヴェンナーレ建築展 震災復興テーマ

” ” 8.30

混とんに垣間見える草の根思想 アジアの多様な文化観体现 光州ヴェンナーレを観て

藤田 一人 東京夕刊 11.2

ベネチア・ヴェンナーレ建築展で金獅子賞 「日本館」に人間性への賛辞 災害時の役割 力強く問う

” ” 9.20

展覧会レポート 中国現代版画と杭州版画センター開設[湖上擲英、快意空間、5/26—6/10]

松山 龍雄 版画芸術 157

(サ行)

ワシントンに若沖の「動植綵絵」が渡った [色彩の世界：伊藤若沖 日本花鳥画展 1716—1800、ワシントン・ナショナルギャラリー、3/30—4/29]

河野 元昭 国華清話会会報 20

「色彩の世界：伊藤若沖 日本花鳥画展 1716—1800」「動植綵絵」全30幅展示、海外発

日 経 1.3

「伊藤若沖 日本花鳥画」展 ワシントン桜祭り 日本の美術「色彩の世界：伊藤若沖 日本花鳥画展 1716—1800」

" 1.22

伊藤若沖 日本花鳥画展 ワシントンで開催 [色彩の世界：伊藤若沖 日本花鳥画展 1716—1800]

" 3.18

桜寄贈100周年記念、若沖の花鳥画全30幅を海外初公開 [色彩の世界：伊藤若沖 日本花鳥画展 1716—1800]

日経夕刊 2.2

日本の「戦争画」パネル 旧交戦国オランダで展示 痛み越え相互理解の一步に [1942年のオランダ領東インドの陥落、オランダ、アーネム、国防省蘭印軍博物館ブロンベーク、3/8—12/8]

廣田 生馬 毎日夕刊 5.9

(タ行)

「太陽へのレクイエム：もの派の美術」展 in LA [ブラム&ポー、2/25—4/14]

廣 李果 美術手帖 967

「もの派」輪郭くつきり 世界美術史への定着に挑む 米の展覧会 富井玲子さんが見る [太陽へのレクイエム：もの派の美術]

富井 玲子 朝日夕刊 3.21

新美術時評 MoMAの「東京1955—1970」展 [11/18—2013/2/25]

光田 ゆり 新美術新聞 1298

日本の現代美術 海外展から 上 前衛「モノ」回帰で脚光 MoMA「TOKYO 1955—1970」展

富井 玲子 日経夕刊 12.27

「ドクメンタ13」を見て [カッセル市内各所、6/9—9/16]

清永 修全 潮流 112

SPECIAL ISSUE ドクメンタ13 欧州危機の時の国際展、その風向きはどっちだ?

かないみき 美術手帖 974

世界の今 映す想像力 震災、アラブの春…190組超す作家独・現代美術展「ドクメンタ」

西岡 一正 朝日夕刊 6.26

隕石の視点で見よう 独の現代美術展「ドクメンタ」 多文化主義的アプローチで戦後へ問い

" " 7.4

ドクメンタ13「不可視」を提示 精神の復興が起点 権威的な感性を断罪

南寫 宏 読 売 6.21

(ナ行)

建築 「日台新鋭建築家交流展 自然系建築」展 日台の新たな潮流 [府都 KIAN-TIOK、4/14—8/26]

五十嵐太郎 毎日夕刊 6.21

海外の展覧会 フィレンツェ 日本の美術と工芸展 [日本のわざと美—日本近現代工芸の精華—、ピッティ宮殿パラティ—ナ美術館「白の間」、4/3—7/1]

諸山 正則 陶 説 711

平成二十四年度海外展報告 平成二十四年度日本古美術展について [日本のわざと美—日本近現代工芸の精華—]

齊藤 孝正 文化財\* 590

平成二十四年度海外展報告 フィレンツェ 「近現代工芸の精華」展

諸山 正則 " "

和の精緻 イタリアうならず 伝統工芸の認知度向上へ企画展 [日本のわざと美—日本近現代工芸の精華—]

井上 晋治 読 売 4.26

(ハ行)

通信 J to A アジア  
へ41 ネタ切れ?—  
光州と釜山のビエン  
ナーレ[釜山ビエン  
ナーレ2012、釜山市  
美術館、釜山文化会  
館、釜山鎮駅舎、広  
安里のmeworld ほ  
か、9/22—11/24]

黒田 雷児 新美術新 1299  
聞

(マ行)

WORLD NEWS ポズ  
ナン 都市と歴史と  
芸術が会う 場所  
性が活きたビエンナ  
ーレ[メディエイシ  
ョンズ・ビエンナー  
レ2012: 未知の世界、  
ポズナン市内6会場、  
9/14—10/14]

かないみき 美術手帖 976

(ラ行)

フリーア美術館の羅  
漢図と対面 五百羅  
漢展—米、ワシント  
ンで開催中[羅漢  
慈悲の御仏: 驚くべ  
き釈迦の弟子たち、  
フリーア美術館、サ  
ックラーギャラリー、  
3/10—7/8]

日 経 4.15

# 美術展覧会図録所載文献

企画展				
			バルトロメウス・トラウベック	千崎千恵夫
(ア行)				
アートと音楽 新たな共感覚をもとめて 東京アートミーティング3回 東京都現代美術館			八木 良太	大川真実子
インタビュー 坂本龍一 見ること／聴くことへの未来へー「感覚」に立ち返ったその先にあるもの	富中 実 聞き手		坂本 龍一 高谷 史郎	川崎 広平
(アートと音楽)を 考えるエッセンス 1 宇宙の音一色	岡田 温司	感覚の統合性をとりもどすために	長谷川祐子	田島 史朗
(アートと音楽)を 考えるエッセンス 2 ノイズとサウンド・インスタレーション	池上 高志	「共感覚」はなぜ人を惹きつけてきたかーその研究と実践の歴史を概観する	眞壁 宏幹	ミルク倉庫
(アートと音楽)を 考えるエッセンス 3 物語から離れて漂流する音たち	若尾 裕	アートプログラム青梅2012 存在を超えて 青梅市立美術館／青梅織物工業協同組合施設／吉川英治記念館		戸谷 成雄
§ 作家の言葉 §	カールステイネ・ニコライ	自らを超える	大橋 紀生	間島 秀徳
〃	クリスティーン・エドルンド	アートプログラム 青梅との10年	原田 丕	サクサベ・ウシオ
〃	フロリアン・ヘッカー	雑感ーアートプログラム青梅と私	畑中 茂雄	谷川 渥
〃	池田 亮司	§ 作家の言葉 §	長谷川佐知子	内田あぐり、千崎千恵夫、長谷川佐知子、原 游、パネリスト 森 啓輔
〃	オノ・セイゲン 坂本 龍一 高谷 史郎	〃	原 游	阿久澤 舞 大竹 優子 西大條誠人 梶 彰平 遠藤 良亮 山本 早織 池上宗太郎 仁平 藤樹 匠美
〃	大友 良英 青山 泰知 Sachiko M 堀尾 寛太 毛利 悠子	[Re:]	末永 史尚 麻生 志保	Art Program Ome 2012 4 大学学生展「地への一撃」 学生代表コメント
〃	ステファン・ヴィティエロ	「シェルター(FU-KUSUKE ver.) の為の712文字」	真部 知胤	アートプログラム 青梅の過去・未来
〃	マノン・デ・プール	§ 作家の言葉 §	水上 嘉久	アートプログラム 青梅2012
〃	ザ・サイン・ウェーブ・オーケストラ	線はうまれる 面はつくられる	望月 厚介 楠本 正明 作間 敏宏 原田 丕 藤井 博	愛知の美術60年ー戦後洋画から現代美術へー 安城市民ギャラリー 解説 峯村 敏
〃	大西 景太	§ 作家の言葉 §	山口 啓介	AINU ART 風のかたりべ 松浦武四郎記念館他
		黒い泪、方舟光の樹、悪魔を喰らう、4 oil paintings	池田 龍雄	序 AINU ARTー その創造の力 五十嵐聡美
		「場の位相」について	池田 龍雄	COLUMN 1 松浦武四郎のアイヌコレクション 山本 命
		§ 作家の言葉 §	神 彌佐子	COLUMN 2 奥深いイクバスイの造形 五十嵐聡美
		〃	山岡 敏明	「木彫り熊」物語 〃

COLUMN 3 女 の手仕事	〃	モンゴルの女性ア ーティスト	ウランチメ グ・ツルテ ム 花田 伸一 翻訳	足利尊氏の生涯— それぞれの決断—	峰岸 純夫
COLUMN 4 男 の手仕事	野本 正博			コラム 尊氏の肖 像彫刻三例	
COLUMN 5 ア イス文様—時空を つなぐ紐帯	浅川 泰	沖縄の女性アーテ ィスト—日本(復 婦)を節目に	豊見山 愛	コラム 遊行寺伝 来の二点の後醍醐 天皇像	遠山 元浩
アイスブリーアイ スの心をつなぐ—	秋野 茂樹	台湾における女性 現代美術の発展	ライ・イン イン 岩切 滢 翻訳	コラム 尊氏の名 が記されたもう一 つの仏像	
蒼き海路を統べるもの—古墳時代前 半の日向海岸部— 日向の古墳 1 宮崎県立西都原考古博物館		主張する場—イン ドネシアの女性ア ーティスト	ウラン・デ イルガント ロ 花田 伸一 翻訳	コラム 等持院の 地蔵菩薩立像と尊 氏	
蒼き海路を統べた 日向の首長たち	甲斐 貴充	平行する絵画	シリーン・ ナジリー 花田 伸一 翻訳	足利直義と高師直 三宝院賢俊と尊氏	山田 邦明 永村 眞
赤松円心・則祐 兵庫県立歴史博物 館		真紅のバラを鉄の ストッキングに誰 がした?	ポー・ポー 花田 伸一 翻訳	足利氏の肖像画— 宝篋院蔵足利義詮 像を中心に—	米倉 迪夫
特別寄稿 鎌倉幕 府滅亡から南北朝 内乱期における赤 松氏—その行動の 特色について—	市沢 哲	1970~80年代のフ ィリピン—踏み出 す女性たち	フローデッ ト・メイ・ ダトゥイン 花田 伸一 翻訳	足利尊氏と仏像	山本 勉
概説 南北朝内乱 と赤松円心・則祐 —展示資料の理解 のために—	前田 徹	生成の陰影—シン ガポールの(女性 アーティスト)考	アデル・タ ン 花田 伸一 翻訳	あなたに見せたい絵があります。 ブリヂストン美術館開館60周年記 念 ブリヂストン美術館	
特論 赤松円心の 花押	〃	タイの現代女性ア ーティスト	ソンポー ン・ロドポー ン 花田 伸一 翻訳	「あなたに見せ たい絵があります。 —ブリヂストン美 術館開館60周年記 念」展に寄せて	島田 紀夫
あさごアートコンペティション 2012 あさご芸術の森美術館		険しい道	チャン・ル オン 花田 伸一 翻訳	ギュスターヴ・カ イユボット作《ビ アノを弾く若い男》 について	新畑 泰秀
選考所感	酒井 忠康	バングラデシュ美 術における女性— 1980年代から現在 まで	ララ・ルッ ク・セリム 五十嵐理奈 翻訳	岡鹿之助《セーヌ 河畔》、1927年の パリ風景	貝塚 健
〃	牛尾 啓三	もし進歩というも のを成しとげない といけないなら、 今こそ女性の主体 性にしっかり注目 すべきだ	ナリニ・マ ラニ 黒田 雷児 翻訳	阿武山古墳と牽牛子塚—飛鳥を生 きた貴人たち—開館1周年記念特別 展 今城塚古代歴史館	
〃	重松あゆみ	ネパールの現代女 性アーティストた ち	ディナ・バ ンデル 黒田 雷児 翻訳	律令国家形成過程 における飛鳥の大 王墓—牽牛子塚古 墳・越塚御門古墳 —	西光 慎治
アジアをつなぐ 境界を生きる女た ち 1984—2012 福岡アジア美術 館他		物語を編む—パキ スタンの女性アー ティスト	サリマ・ハ シミ 黒田 雷児 翻訳	秘匿された鎌足墓 森田 克行 アラブ・エクスプレス展：アラブ美 術の今を知る 森美術館	
アジアの、境界を 生きる女たち展— 女たちの多声合唱 [ポリフォニー]	小勝 禮子	足利尊氏 その生涯とゆかりの名宝 栃木県立博物館		アラブの現代美術 展の開催にあつ て	南條 史生
女性たちのアジア 美術—90年代を軸 に	ラワンチャ イクン寿子			アラブ現代美術を 日本で初紹介する ということ	近藤 健一
境界を生きるジレ ンマを抱えて	中尾 智路				
遮られた中のきら めき	ジャイ・ヨ ンミン 堀川 理沙 翻訳				
半分から全体へ、 全体から多様な他 者へ	ベク・ジス ク 金 恵信 翻訳				



アラブ現代美術再考	ナダ・シャ ブート 河野 晴子 翻訳
アラブ美術におけるインフラの現状	サルワ・ミ クダーディ メディア・コ ミュニケー ションズ 翻訳
阿波の名所と観光 博物館	徳島市立徳島城 博物館
論考 阿波踊りを めぐる絵画と絵葉 書—米津直仙《阿 波踊図》をめぐっ て	小川 裕久
生の螺旋 松原遺跡発掘速報 み散居村ミュージアム民具館	とな
生[いき]の螺旋	野原 大輔
発掘の記憶1 だ んだん気合いが入 ってきて雪をかき 分けて発掘したこ とも	但馬 勇一
発掘の記憶2 土 器が出土したとき の嬉しさは大地を 踏み鳴らしたくな る程だった	横山 豊介
松原遺跡99年史	野原 大輔
COLUMN 松原 遺跡を発掘して	阿部 将樹
松原遺跡のあると ころ—縄文遺跡の 立地と分布—	町田 賢一
松原遺跡の縄文土 器	酒井 重洋
五箇山の縄文遺跡 から見た松原遺跡 —矢張下島遺跡を 中心として—	岡田 一広
縄文人の神話的世界観	大島 直行
Arts & Life : 生きるための家 次世代建築家による39の提案 美術館リニューアル記念展 美術館	東京都 東京都
家族の生きるための家—大柱と屋根のつくる、住むための濃度—	山田 紗子
道が通り抜ける家	袁 碩
遺る家	斧田 裕太

階段でつくる家	sky studio kikuchi yamamoto
吹き抜けのある共同生活	竹田 和行
いえんとこ～生きるための家～	中西 昭太
集合しようとする住宅	秦 彩奈
Unfolded Houses —for architectural space	mariko abe
loop	山田健太郎
Forest × House	山本 悠介
イエのようなニワをもつニワのようなイエ	赤堀 彰彦 安藤 一将 斎藤 啓佑
KIRIN	五十嵐理人 南野 友子
生活の距離—角の不在と存在—	稲吉 匠哉
はがされた家	岩木 友佑 松本 晃一
家の中に丘を—時間と空間の変容—	後野 将一
リトル・ニュータウン	内田 陽一
BIG TREE HOUSE	呉 車 顕珍 昇益
つみきの家～積層していく記憶～	太田 絢子
一本の大きな木の中に彫りながら棲む	坂本 尚朗 村口 勇太 邊見 英俊
窪みに住まう～天井のピースがつくる居場所～	佐々木 望
生きてるちから	宍戸 香織
1 block, 1 site, 1 house	瀬戸 基聡
大きな玄関のある家	田中 和沙 工藤 浩平 小幡 友樹
十字柱の家	中園 昌志
自然と自然に棲むイエ	野村 恒司 岸野 亮吾
境界線上のイエとイエと	橋本 剛
審査講評	小嶋 一浩
若き建築家への期待	真室 佳武
雑木林のような空間	小嶋 一浩
人間像について	西沢 立衛

建築、これまでとこれから	平田 晃久
生きるための家について	藤本 壮介
私たちの「生きるための家」のために	河野 佑美
石空間展 7 高島屋(日本橋)	
「石」と「彫刻」について	武田 厚
「私と表現」	大成 浩
§ 作家の言葉 §	緒方 良信
〃	田中康二郎
〃	石井 尚志
〃	岩崎幸之助
「存在の変形していく事実を提示していく」	大成 哲
§ 作家の言葉 §	菅 利光
「石に刻まれた眼は、永遠に開く」	菊地 伸治
§ 作家の言葉 §	きくちまこと
〃	佐々木悦也
〃	芝田 典子
〃	柴山 京子
〃	鈴木 茂
〃	土屋 勝
〃	西村 大喜
〃	原 透
〃	吉原 周
〃	渡辺 忍
〃	藁谷 収
石山寺縁起絵巻の全貌 重要文化財 七巻一挙大公開— 滋賀県立近代美術館	
石山寺縁起絵巻の五〇〇年	相澤 正彦
石山寺の創建—石山寺縁起絵巻の伝承から—	高梨 純次
模写のちから—石山寺縁起絵巻とその模本について—	國賀由美子
出雲—聖地の至宝— 年 出雲大社大遷宮 館	古事記1300 東京国立博物館
古代出雲の魅力	上田 正昭

平成24年美術展覧会図録所載文献(企ア行)

巨大柱の発見と建築史家の挑戦	森田喜久男	インタビュー 堀内紀子	〃	〃	瀬島 匠
出雲の大量青銅器の発見	足立 克己	インタビュー 松枝哲哉	〃	〃	藤下 覚
出雲の仏像彫刻謎の寺院 万福寺	的野 克之	いのちのうた 生命讃歌 箱根・芦ノ湖・成川美術館所蔵品による	〃	〃	坂口 竜太
出雲大社の歴史と文化	森田喜久男	津市近代図書館	〃	〃	呉 梨沙
出雲における青銅器の大量埋納について	井上 洋一	私のコレクション 成川 實	〃	〃	中村 光夫
出雲の社寺と宝物	池田 宏	色めく彫刻 よみがえる美意識 群馬県立館林美術館	〃	〃	長谷川 大
出雲国の源流から 意宇の神仏の宝もの 鳥根県立八雲立つ風土記の丘資料館		黒のモダン—フランソワ・ボンボンのブロンズ作品と鑄造所	神尾 玲子	VOCA2012 現代美術の展望 新しい平面の作家たち 上野の森美術館	
中近世の意宇と神仏	高屋 茂男	極彩色の伝統—江戸時代、寺社の装飾彫刻	〃	選考所感	高階 秀爾
出雲式狛犬の歴史と八重垣神社の参道石造狛犬について	広江 正幸	平櫛田中：彩色への挑戦	沓沢 耕介	〃	酒井 忠康
イタリア・ポーロニャ国際絵本原画展 2012 板橋区立美術館他		いわて創作版画の系譜 近現代木版画展 萬鉄五郎記念美術館		模倣とクリティク	建畠 哲
『La Course』—ポーロニャ発ポーロニャ着の『レース』—	クリスティーン・モロ—	岩手の創作版画 100年	平澤 広	疎外について	本江 邦夫
ページ・チューにきく—2012年3月ポーロニャ・ブックフェア会場にて	ページ・チュー 松岡希代子 聞き手	印象派の行方 モネ・ルノワールと次世代の画家たち ポーラ美術館		映像の記録性に向かう絵画の物語る力	神谷 幸江
糸の先へ いのちを紡ぐ手、布に染まる世界 福岡県立美術館		印象派展以後の印象派とフランス絵画	三浦 篤	震災後に再見する、異界としての絵画	光田 由里
糸の先から糸の先へ	竹口 浩司	「古典の画家」ルノワール—ルノワールの評価形成におけるテオドール・ド・ヴィゼヴァの批評の意義	島本 英明	所感	南畷 宏
糸が布が色彩が創るもの	宮原 香苗	上野の森美術館大賞展30回 上野の森美術館他		浮世絵猫百景—国芳一門ネコづくし— 太田記念美術館	
裂[きれ]のささやき	中谷 至宏	作家の言葉	佐藤 英行	猫の絵の歴史	赤木 美智
インタビュー 上原美智子	竹口 浩司 聞き手	〃	社家間美知子	ニャンコラム 国芳の猫—動物行動学から楽しむ その一—	則武 広和
インタビュー 鈴田滋人	〃	〃	山崎 光雄	ニャンコラム 国芳の猫—動物行動学から楽しむ その二—	〃
インタビュー 関島寿子	〃	〃	荒木みどり	ニャンコラム 江戸っ子と犬	赤木 美智
インタビュー 築城則子	〃	〃	吉田 幸紘	ニャンコラム 鼠という好敵手	〃
インタビュー スイ・プロジェクト	〃	〃	桃田有加里	猫と国芳と五人の門弟	日野原健司
インタビュー 福本繁樹	〃	〃	遠藤 彰子	歌川国芳の役者戯画について—動物を題材とした作例を中心に—	渡邊 晃
インタビュー 福本潮子	〃	〃	小嶋 悠司	ウキヨエ盆栽園 盆栽デ、明治ヲアソブ 大宮盆栽美術館	
		〃	日野耕之祐	ウキヨエ盆栽園—盆栽デ、明治ヲアソブ	田口 文哉
		〃	平松 礼二	描かれた明治の植木屋の庭—江戸の継承—	平野 恵
		〃	福王寺一彦	美人画の道具見立て(盆栽)—その置かれた場から見る	田口 文哉
		〃	保科 豊巳		
		〃	馬越 陽子		

美しきフォルム 川口の匠 vol.2  
川口市立アートギャラリー・アトリア

パッケージデザイン、  
タイプデザイン、カリグラフィ  
の融合 高岡 昌生

美しき自転車との  
出会い 蓮見 孝

盆栽のあゆみと魅力  
依田 徹

美しさの新機軸～日本画過去から  
未来へ～ 東京藝術大学正木記念館

琉球絵画の技法材料  
に関する研究 鷹野佳世子

肌裏紙が絵画に与える  
影響に関する研究—古典絵画(絹  
本)修理時の肌裏紙の選定を中心  
として— 佐々木 益

悉皆金色を中心とする  
彩色技法に関する研究～東京藝  
術大学美術館所蔵「阿弥陀三尊  
来迎図」の想定復元模写を通じて～  
中村 祐子

技法書分析のための  
基礎研究—技法書データベースβ  
版の作成— 染谷 香理

サスポール石窟第3窟  
壁画現状調査および模写研究  
正垣 雅子

平成21年度『古典日本画  
における墨の研究』(国宝「地獄  
草紙」奈良国立博物館蔵(部分)  
の現状模写及び装潢)及び平成  
22年度末時点における『古典  
日本画における墨の研究』の  
成果 宇高健太郎

ゴールドサンドウイッチ  
ガラス碗における截金技法研  
究～大英博物館蔵「金箔入り  
ガラス碗」を中心として～  
並木 秀俊

京都・松尾寺所蔵国宝「普賢  
延命菩薩像」における表現技  
法に関する研究—銀を中心とし  
た截金技法について— 古賀 海人

有志八幡講十八箇院所蔵  
国宝「阿弥陀聖衆来迎図」の  
彩色技法に関する研究—本尊  
における「金色身」表現を  
中心として— 武田 裕子

真長寺本十二天像の  
図像比較及び復元研究 阪野 智啓

東京国立博物館所蔵  
国宝「孔雀明王像」の原  
図像の復元に関する研究 京都 絵美

湖(うみ)を見つめた王 継体大王と  
琵琶湖 滋賀県立安土城考古博物館

継体大王と琵琶湖を  
考える 古墳と舟運 細川 修平

継体大王と琵琶湖を  
考える 継体期の近江の古  
墳—埴輪を中心として— 辻川 哲朗

継体大王の年譜 大槻 暢子

漆—その歴史と文化— 千葉市立郷土博物館

岩手県二戸市浄法寺  
町の漆生産と漆器製作  
について 中村 裕

縄文時代のウルシの  
歴史—漆の考古植物学— 鈴木 三男

縄文時代の技術・生活・  
文化—出土漆の調査から  
見えてくるもの— 永嶋 正春

加曽利貝塚等出土赤彩  
資料の理化学的分析調査  
小澤 清男 永嶋 正春

出土資料から見た房  
総の縄文漆文化 小澤 清男

長野県内出土の漆資料  
水沢 教子

東北日本の縄文漆文化  
岡村 道雄

武器・武具における  
漆の使用 室瀬 和美

近・現代の漆工品～千  
葉市立郷土博物館の資料  
を中心— 永田 智世

漆・うるわしの饗宴 世界の女性  
作家による漆表現の現在 山脇  
ギャラリー他

漆芸表現の特質と  
可能性 外館 和子

日本の漆表現と現在  
松島さくら子 笹井 史恵

中国漆工芸の現在 喬 加

韓国漆工芸の現在 イ・ヒョン  
スン

ベトナムの漆工芸  
について 安藤彩英子

タイの漆工芸につ  
いて チャンタナ・チャン  
ティム

ミャンマーの漆工  
芸について 松島さくら  
子

ヨーロッパにおけ  
る漆表現 カトリーヌ  
・ニコラ

アメリカの漆工芸  
の現在 シャ・シャ  
・ヒグビー

麗しき女性の美 松園・青邨・契月  
・麦俵・不矩 姫路市立美術館他

日本画と女性表現の  
近代 掌と等身大の間で—  
松園・多津の生きた時代  
吉中 充代

秋野不矩《砂上》と  
京都画壇における「ヌード」  
の系譜 後藤結美子

雑感：「美人」を描  
くことについて 平瀬 礼太

日本画表現におけ  
る和・洋モチーフのレイ  
アウト—昭和戦前期にお  
ける橋本明治の制作を  
例として— 直良 吉洋

麗しのマイセン人形 小早川コレク  
ション 岐阜県現代陶芸美術館

マイセン磁器製作所と  
万国博覧会—ドレスデン  
芸術アカデミーとの関係  
性を中心に— 山口 敦子

小早川春夫氏イン  
タビュー 櫻井 裕介、  
立花 昭 聞き手

マイセン関連年表 立花 昭  
山口 敦子

雲州松平家の大名行列 お殿様の道  
中と街道 松江歴史館

コラム 上京行列と  
参勤交代行列の違い 小山 祥子

エヴァンゲリオンと日本刀展 備前  
長船刀剣博物館他

「エヴァンゲリオン  
と日本刀展」によせて 山下いくと

描き継ぐ日本美—円山派の伝統と発展  
宮内庁三の丸尚蔵館

円山派、近世から近代へ 齊藤 全人  
円山応挙から近代へ—新たな絵師の活動と継承 太田 彩  
川端玉章と明治の皇室—作画御用の実態  
栖鳳と春挙—大正、昭和の「悠紀主基屏風」を描いた二人

越境する日本人—工芸家が夢みたアジア 1910s—1945 東京国立近代美術館工芸館

工芸家が夢みたアジア 工芸の「アジア主義」 木田 拓也  
梅原龍三郎の北京時代 様々なモチーフとの出会い 嶋田 華子  
朝鮮に魅せられた兄弟 浅川伯教と巧 日本におけるコリアニスム 鄭 銀珍  
小場恒吉と楽浪漆器文様 文様研究第一人者の「古今独歩」という評価 横溝 廣子  
海を渡った美術商—山中定次郎と繭山松太郎—「道具」から「鑑賞」へと変容した中国古陶磁 川島 公之  
半泥子が愛用した朝鮮の土 名陶を生み出す土を求めて 龍泉寺由佳  
小森忍の中国陶磁研究 現代日本陶芸に残した大きな足跡 服部 文孝  
三和高麗焼 忘れられた復興高麗青磁 朝鮮古陶磁を蘇らせた日本人 岡本 隆志  
中国における吉田璋也の新作民藝運動 中国工芸に見出した「用の美」 木谷 清人  
満洲国宮殿の室内装飾 内藤 裕子  
満洲風俗を描いた幻の画家 伊藤順三と満鉄ポスター 中村俊一郎

絵解きってなあに？ 語り継がれる  
仏教絵画 龍谷大学 龍谷ミュージアム

コラム1 “絵解き”の源流 入澤 崇  
コラム2 当麻曼茶羅とその“絵解き” 石川 知彦  
コラム3 閻魔さま“絵解き”を語る 鷹巣 純  
コラム4 曼茶羅 サバイバル 阿部 美香  
コラム5 わたしの村の蓮如さん—蓮如絵伝の地方展開— 村松加奈子  
コラム6 霊場めぐりと“絵解き” 石川 知彦  
コラム7 長命寺 殺屋の尼僧たち 松岡久美子  
コラム8 熊野観心十界曼茶羅の構造と機能 小栗栖健治  
コラム9 能と参詣曼茶羅二題 大谷 節子  
コラム10 “絵解き”再興—熊野三山の取り組み 山本 殖生  
“絵解き”する人びと 根井 浄  
“絵解き”される絵画—場の力・モノの力— 鷹巣 純  
あらためて、“絵解き”ってなあに？—掛幅説話画の「場」をめぐる小考— 村松加奈子

江戸の粋、印籠 フィンランド・クルスコレクション 九州国立博物館

高円宮コレクションの根付—「江戸の粋、印籠」展に寄せて 西高辻信宏 三輪 嘉六 高円宮妃久子殿下  
印籠—忘れられたものたち エルセ・クレス ハイムズ・クレス  
クレスご夫妻のこと 川畑 憲子

江戸の大名菩提寺 港区立港郷土資料館

論考1 大名家の江戸菩提所 岩渕 令治

論考2 福岡藩主黒田家と江戸の菩提所 宮野 弘樹

論考3 島津家施入の大圓寺の経典について 竹村 到

江戸の旅—たどる道、えがかれる風景 仙台市博物館

風景美への憧れ—記録と絵にみる山水癖— 内山 淳一  
旅日記が語る江戸時代の仙台—風土、名所、旅事情— 坂田 美咲

江戸の風雅 旧きを知り新しきを創った絵師たち 群馬県立近代美術館

雅中の俗—又兵衛・大雅・容斎 佐藤 康宏  
英一蝶の画業初期における風俗画について 野田 麻美

恵比寿映像祭4回 映像のフィジカル 東京都写真美術館／恵比寿ガーデンプレイスセンター広場他

第4回総合テーマ 映像のフィジカル 岡村 恵子  
映像のフィジカル—飼いなせない野生の映像のために 諏訪 敦彦 長谷 正人  
光のなかの闇のなかの光 中村 秀之  
カタストロフの映像は今？ 門林 岳史

MOA 岡田茂吉賞展18回 MOA美術館

座談会「日本の工芸を語る」 田中 信行 外館 和子 樋田 豊次郎 室瀬 和美 内田 篤真

大エルミタージュ美術館展 世紀の顔 西欧絵画の400年 国立新美術館他

世紀の肖像：16世紀から20世紀へ 千足 伸行

イリーナ・アル・テームエフ、ナターリア・グリツエイ、エリザヴェータ・レンネ、ナターリア・ジョーミナ	陽明文庫の沿革	名和 修	大須観音展 古事記1300年	名古屋
瀧井 直子 翻訳	「近衛家の一千年」の一齣—陽明文庫の古記録—	羽田 聡	屋市博物館	
マティスとロシア—ロシア・アヴァンギャルドにおける「東方[オリエント]」	「金毘羅」と呼ばれた器	尾野 善裕	いま開かれる、奇跡の文庫	鳥居 和之
本橋 弥生	陽明文庫所蔵の近世・近代絵画	水谷 亜希	真福寺の創建	稲葉 伸道
黄金の国々—甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山— 山梨県立博物館他	王と首長の神まつり—古墳時代の祭祀と信仰— 大阪府立近つ飛鳥博物館		真福寺大須文庫の成立	阿部 泰郎
総論「黄金の国々—甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山—」	王と首長の神まつり—古墳時代の祭祀と信仰—	白石 太一郎	境内から見る大須観音	木村 慎平
海老沼真治 渡辺 浩二	コラム 古墳における儀礼の変化	森本 徹	大須文庫調査の現在	三好 俊徳
史跡勝沼氏館跡の金加工工房	コラム 神社建築	関本優美子	第一章 大須観音のはじまり column 1 真福寺歴代画像について	伊藤 大輔
湯之奥金山遺跡の発掘調査と博物館活動	コラム 律令的祭祀	鈴 千夏	第二章 中世日本の「知」の拠点 column 1 空海の神秘化はいつからはじまったか	武内 孝善
佐渡金銀山遺跡調査の最前線—鶴子銀山関連遺跡の発掘調査	神まつりのかたち	廣瀬 時習	第二章 中世日本の「知」の拠点 column 2 度会行忠自筆本の発見	岡田 荘司
室伏 徹	古墳祭祀からみた神まつり—石製模造品を中心に—	飯田 浩光	第二章 中世日本の「知」の拠点 column 3 『諸道勘文』の失われた書写奥書の発見	川崎 剛志
金粒子付着遺物からみた金生産技術	青梅アート・ジャム2012 アートがこの地に出来ること 森から響く祈りとくらし All Relationships 青梅市立美術館/吉川英治記念館/ゆずの里勝仙閣		第二章 中世日本の「知」の拠点 column 4 真福寺の浄土教文献	落合 俊典
佐渡金銀山の技術書について	アーティストメッセジ 青梅アートジャム2012に寄せて	ドロシー・フィールド	第三章 大須文庫を調べる column 1 塙保己一	井上和歌子
余湖 明彦	アーティストメッセジ 2012年青梅アートジャムを終えて	チュンボン・タクサボンチャイ	第三章 大須文庫を調べる column 2 真福寺本『古事記』の出自	岡田 荘司
小田由美子	アーティストメッセジ 垣間見えた変化の兆し	藤田 一人	第三章 大須文庫を調べる column 3 榮西自筆文書	稲葉 伸道
鈴木 一義	青梅信用金庫コレクション 市制施行60周年特別展 青梅市立美術館		第三章 大須文庫を調べる column 4 榮西著作の発見と復元	末木文美士
甲斐国(武田氏最大版図)内の産金遺跡	青梅信用金庫コレクションについて	石田 治郎	第三章 大須文庫を調べる column 5 人知れずのこされた文書・紙背文書	福島 金治
選鉱技術について	大倉集古館名品展 豪快なる大倉財閥の美術コレクション 山梨県立美術館		第四章 街に生きる大須観音 column 1 大須観音の「鬼面」	木村 慎平
甲斐金山と佐渡金銀山の鉱石の特徴とその製錬法	大倉集古館—「歴史」としてのコレクション	佐藤 道信	第四章 街に生きる大須観音 column 2 昭和六年の大開帳	〃
井澤 英二	概説 豪快なる大倉財閥の美術コレクション	井澤英理子		
佐渡奉行所跡発掘で出土した焼金土器の特徴				
〃				
正徳後期(享保)佐渡小判の製造工程				
西脇 康				
王朝文化の華 陽明文庫名宝 宮廷貴族近衛家の一千年 京都国立博物館				

大原美術館展 北海道立近代美術館

今を生きる人々にとって意義あること。美術館は生きて成長してゆくもの。文化が汗をかく世紀。  
柳沢 秀行

お伽草子 この国は物語にあふれている サントリー美術館

お伽草子の本地 徳田 和夫

物語の新たな波動、メディアとしての絵 //

妖怪の群れー(化け物尽くし) //

現代語訳『調度歌合』 三浦 億人 草稿 徳田 和夫 監修・補訂

土佐光信と「地藏堂草紙絵巻」 高岸 輝

お伽草子と清水寺 上野 友愛

お伽草子の分類ー研究史概観ー 恋田 知子

おふどうと名乗った家 豪商大木家の350年 山梨県立博物館

甲府の豪商大木家の足跡 齋藤 康彦

大木家の民俗資料 丸尾 依子

大木家資料総目録

Olive 1982-2003 雑誌『オリープ』のクリエイティビティ 金沢21世紀美術館デザインギャラリー

雑誌『オリープ』をめぐって「かわいい」という生き方 高橋 律子

元『オリープ』編集長 淀川美代子トーク 淀川美代子 高橋 律子 進行

元『オリープ』編集長トーク 遠山こずえ+岡戸絹枝 遠山こずえ 岡戸絹枝 高橋 律子 進行

スタイリスト大森仔佑子トーク 大森仔佑子 高橋 律子 進行

尾張氏 志段味古墳群をときあかす 名古屋博物館

特論1 前期志段味古墳群の盛衰 酒井 将史

特論2 東谷山古墳群の造営集団に迫る 深谷 淳

おん祭と春日信仰の美術 奈良国立博物館

おん祭と春日信仰の美術 清水 健

近世期春日社家の文芸的活動 川崎佐知子

描かれた春日若宮祭礼 清水 健

(カ行)

鶴林寺太子堂 聖徳太子と御法の花のみほとけ 兵庫県立歴史博物館

国宝鶴林寺太子堂内陣荘厳画私見 有賀 祥隆

鶴林寺と賀古荘 小林 基伸

風が吹けば桶屋が儲かる MOT ANNUAL2012 東京都現代美術館

もう一度その感覚を取り戻すためのノート 田中 功起

深い沼 田村友一郎

上京の制作、風景の編集ー風が吹けば桶屋が儲かる 西川美穂子

KATAGAMI Style 世界が恋した日本のデザイン 三菱一号館美術館他

日本の型染と型紙染の歴史 長崎 巖

型紙は語る 海を越えた型紙をたずねて 生田 ゆき

英国におけるジャポニスムと型紙 高木 陽子

アメリカにおけるジャポニスムと型紙 馬淵 明子

フランスの美術工芸における型紙の影響 //

ベルギーにおける型紙とジャポニスム 高木 陽子

パリ装飾美術館の型紙コレクション シャンタル・ブション 小泉 順也 翻訳

「型」を求めてードイツにおける型紙受容とその背景 池田 祐子

クレフェルトにおける芸術家による絹織物、型紙そしてジャポニスム クラウディア・デランク 池田 祐子 翻訳

世紀転換期ウィーンにおける日本の型紙の意味について ヨハネス・ヴィーニンガー 池田 祐子 翻訳

型紙とオランダのジャポニスム マリヤン・グロート 長谷川珠緒

受けつがれる“KATAGAMI”デザインー現代の欧米のプロダクトから 阿佐美淑子

楽器は語る 紀州藩主徳川治宝と君子の楽 国立歴史民俗博物館

紀州徳川家伝来楽器コレクションの概要とその価値 日高 薫

徳川治宝の時代の音楽についての一試論 遠藤 徹

音楽室の楽器のピッチをめぐる 加藤富美子

音色についてー音を見るー 内田 順子

音を展示する情報コンテンツ 鈴木 卓治

空間と楽器ーサウンドインスタレーションに関連してー 伊達 伸明

律呂図板をめぐる 高瀬 澄子

絵画にみる徳川治宝の楽器演奏とその意味ー新出資料「赤坂御園積翠池試楽図并記」をめぐる 水野 僚子

楽器師神田大和掾ー「伝統」を売る男 岩淵 令治

伝来楽譜から探る紀州徳川家の雅楽実践 清水 淑子

勝坂縄文展 神奈川県立歴史博物館他

コラム 現代人からみた縄文 縄文土器の手ざわり 桐山 孝司

コラム 現代人からみた縄文 精神の道具 港 千尋

コラム 現代人からみた縄文 縄文の音×現代の音 望月 純

金澤八景いま昔 初公開 楠山永雄コレクション 神奈川県立金沢文庫 金澤八景の変遷 西岡 芳文

楠山永雄コレクション 山地 純  
 鎌倉期の宸筆と名筆—皇室の文庫  
 [ふみくら]から 宮内庁三の丸尚蔵館  
 鎌倉時代の皇室と書流—出品作品をとおして 小森 正明  
 鎌倉密教—将軍護持の寺と僧— 神奈川県立金沢文庫  
 鎌倉密教 永井 晋  
 鎌倉めぐり「武家の古都 鎌倉」世界遺産登録推進 神奈川県立金沢文庫  
 鎌倉めぐり 山地 純  
 「唐入り」の時代～秀吉の大陸出兵と大名たち 徳島市立徳島城博物館  
 帰結としての関ヶ原 森脇 崇文  
 軽井沢の風展 日本の現代アート1950—現在[いま] 軽井沢ニューアートミュージアム  
 「軽井沢の風」展を見る 本江 邦夫  
 カルペ・ディエム 花として今日を生きる 豊田市美術館  
 カルペ・ディエム花として今日を生きる 北川 智昭  
 カルペ・コルプス(Carpe corpus)—観ることにける遠さと近さをめぐって 木俣 元一  
 震災後のアサリ 福田 美蘭  
 供花 〃  
 涅槃図 〃  
 華麗なるインド—インドの細密画と染織の美— 畠中光享コレクション 新潟市新津美術館他  
 インドの美術とそこ 畠中 光享  
 インドミニアチュール絵画 〃  
 初期ミニアチュール 〃  
 ムガール系絵画 〃  
 ラージプト絵画—ラジャスタン 〃  
 ラージプト絵画—パハリ 〃

ラージプト絵画 高橋 尚子  
 染織文化：インド 梶谷 宣子  
 手描・木版捺染 畠中 光享  
 印金・印銀／銅版捺染  
 織 〃  
 絞 〃  
 刺繍 〃  
 インド染織の海外への伝播 〃  
 ガンゴ—ヴィレッジと1980年代・ミャンマーの実験美術 福岡アジア美術館  
 ガンゴ—ヴィレッジの先輩たち開催にあたって チ—ミン・ソー  
 §作家の言葉§ サン・ミン  
 〃 ゼーヤ  
 〃 ボウ・ボウ  
 〃 キン・スウェン・ウィン  
 〃 フラ・トゥ  
 〃 テイト  
 ガンゴ—ヴィレッジ・アート・グループ略史 サン・ミン大野 和則 翻訳  
 33年の夢—美術家たちの終わりのない青春 五十嵐理奈  
 ガンゴ—ヴィレッジ実験美術の社会背景 伊野 憲治  
 ガンダーラ美術とシルクロードの絵画 泉屋博古館  
 平山郁夫と樋口隆康—シルクロード・ガンダーラ美術への貢献—  
 GUN 新潟に前衛[アバンギャルド]があった頃 新潟県立近代美術館  
 (GUN)における国際的同時性—新潟、日本、グローバルに考える 富井 玲子  
 (GUN)の特殊性とその変質 藤田 裕彦  
 グループ(GUN)がデビューするまで—日本地方都市の「前衛」 高 晟竣

紀伊弥生文化の至宝 和歌山県立紀伊風土記の丘  
 論考 和歌山県における銅鐸発見の歴史 萩野谷正宏  
 論考 和歌山県における弥生時代の石器生産と流通 仲原 知之  
 論考 『埋蔵物録』から辿る和歌山県の銅鐸 藤森 寛志  
 北の土偶 縄文の祈りと心 北海道開拓記念館  
 国宝「中空土偶」—生と死の表徴— 阿部 千春  
 国宝「合掌土偶」—祈り 異彩を放つ造形の美— 小笠原善範  
 国宝「縄文のビーナス」と国重文「仮面の女神」 山科 哲  
 北の土偶—縄文の祈りと心— 右代 啓視  
 土偶のなかまたち 鈴木 琢也  
 岐阜県ゆかりの人間国宝 美濃陶芸の系譜 岐阜県現代陶芸美術館  
 岐阜県ゆかりの人間国宝 榎本 徹  
 嬉遊会コレクション—江戸絵画を中心に— 千葉市美術館  
 嬉遊会コレクションについて 小林 忠  
 京都守護職拜命150年と新島八重 若松城天守閣郷土博物館  
 手紙に見る新島襄・八重夫妻 小枝 弘和  
 コラムI：八重とスペンサー銃  
 コラムII：看護婦の八重  
 コラムIII：八重と茶道  
 行列にみる近世 武士と異国と祭礼と 国立歴史民俗博物館  
 行列を読む1 大久保純一  
 行列を読む2 岩淵 令治  
 行列を読む3 深井 甚三  
 行列を読む4 ロナルド・トビ

行列を読む5	ロナルド・トビ	私的なものから公的なものへ	ヘザー・バーチャル 木下 哲夫 翻訳	金鈴塚古墳の金銀装飾大刀はどこで作られたか?	大谷 晃二
行列を読む6	久留島 浩				
行列を読む7	横山 學	英国美術 生動—繊細—抑制	木島 俊介	金鈴塚古墳出土の4組の馬具の検討	宮代 栄一
行列を読む8	日高 薫			金鈴塚古墳出土馬具の復元	〃
行列を読む9	松井 洋子		デイヴィッド・モリス		
行列を読む10	八反裕太郎	「ピクチャレスク」について	木下 哲夫 翻訳	<b>具体 ニッポンの前衛 18年の軌跡</b> 国立新美術館	
行列を読む11	岩崎 均史				
行列を読む12	福原 敏男	清盛と日宋貿易	兵庫県立考古博物館	「具体」—近代精神の理想郷	平井 章一
行列を識る1 回顧される行列	木下 直之			大阪万博というフイナーレへ向かって	山田由佳子
行列を識る2 参勤交代の旅	深井 甚三	文化財から見た、平清盛と源平合戦(「清盛と源平合戦関連文化財群調査検討会」の成果)		芦屋からアムステルダムへ—「具体」の展示空間について	米田 尚輝
行列を識る3 大名行列人形の軌跡—雛形から「温古」の見世物へ—	岩淵 令治				
行列を識る4 行列を迎え、見る作法	久留島 浩	記録は可能か。映像をめぐる冒険 vol.5 東京都写真美術館	テレビは異端を必要としている	久米邦武と能楽展 岩倉具視の能楽再興を支えた人物〔ブレーン〕 久米美術館	
行列を識る5 東海道物の錦絵と大名行列	大久保純一	記録は可能か。	田坂 博子	久米邦武と能楽—特別展(岩倉具視の能楽復興を支えた人物〔ブレーン〕—久米邦武と能楽展)を通して	三浦 裕子
行列を識る6 武器から見た行列図	近藤 好和	幻想の映す戦後社会運動	紙屋 牧子 鷺谷 花		
行列を識る7 天保の琉球ブーム	横山 學	近現代のブックデザイン考I 書物にとっての美	武蔵野美術大学美術館		
行列を識る8 沖繩 八重山のミルク(弥勒)行列—海上彼方から「世」をもたらす来訪神—	松尾 恒一	近現代のブックデザイン考	新島 実	くらべ馬 近代競馬150周年記念馬の博物館	
行列を識る9 国芳が描いた江戸山王祭駿河町踊台	福原 敏男	美しい本を作るために	島本 脩二	古式競馬総論—古式競馬	末崎 真澄
行列を識る10 描かれた蝶々踊	八反裕太郎	堀辰雄の純粹造本	大藤 敏行	<b>群馬青年ビエンナーレ2012</b> 群馬県立近代美術館	
行列を識る11 朝比奈大人形興行差止め	岩崎 均史	一九二七年の壽岳文章と伊藤長蔵	寺山 祐策		
行列を識る12 軍隊のいる行列	木下 直之	あとがき 当館のコレクションから見る「近現代のブックデザイン考」	本庄美千代	審査総評	梅津 元 木ノ下智恵子 伊庭 靖子 高橋 瑞木 豊嶋 秀樹
<b>巨匠たちの英国水彩画展</b> マンチェスター大学ウィットワース美術館所蔵 岡崎市美術館他		近代日本画の名作 描かれた日本画の美	豊橋市美術館	§ 作家の言葉 §	吉田 和生
序文 ウィットワース美術館の所蔵する水彩画	ヘザー・バーチャル 木下 哲夫 翻訳	近代日本画の流れ—伝統と創造と	金原 宏行	〃	八嶋 有司
水彩画—実在するものと心に思い描くもの	ヘザー・バーチャル、 デイヴィッド・モリス 木下 哲夫 翻訳	近代日本画名品展 日本の美を愛した巨匠たち—横山大観から平山郁夫まで— 三越(日本橋)		〃	小沢 裕子
		吉野石膏コレクションの日本画	草薙奈津子	〃	金 光男
		金鈴塚古墳展 甦る東国古墳文化の至宝	木更津市郷土博物館金のすず	〃	久保ガエタン
		金鈴塚古墳の鈴について	田中 裕	〃	百瀬 文
				〃	吉田 理沙
				〃	塚本 智也
				<b>芸術家の肖像—写真で見る19世紀、20世紀フランスの芸術家たち—</b> 三鷹市美術ギャラリー	



写真による芸術家の表象 ナダールからスタイケンまで	大日方欣一	アンケート回答 法貴信也		記念シンポジウム「現代に生きるKATAGAMI」	熊谷 博人、三好 拓夫、好出 忠利、沢田 奈リス、生田 進
解脱上人貞慶 鎌倉仏教の本流 御遠忌800年記念特別展	奈良国立博物館他	アンケート回答 丸山直文		「語られる技・生きる伝統」伊勢型紙オーラルヒストリー	生田 ゆき
貞慶と興福寺	永村 眞	アンケート回答 横内賢太郎		インタビュー 六谷泰英 錐彫り	生田 ゆき 聞き手
解脱上人貞慶の信仰と活動	西山 厚	アンケート回答 和田真由子		インタビュー 宮原敏明 錐彫り	〃
海住山寺の十一面観音像—貞慶との接点を求めて舵手	岩田 茂樹	アンケート回答 渡辺聡		インタビュー 内田勲 突彫り	〃
貞慶をめぐる二つの聖地図像	谷口 耕生	絵画たちはささやく	出原 均	インタビュー 木村正明 突彫り	〃
海住山寺に伝来した一對の浄土図—貞慶の浄土観に関わる新発見—	北澤 菜月	現代の座標—工芸をめぐる11の思考— 東京国立近代美術館工芸館		インタビュー 兼子吉生 道具彫り/紗張り	〃
解脱上人貞慶と興福寺北円堂再興造像をめぐる二、三の問題	瀬谷 貴之	現代工芸を担う11人	諸山 正則	インタビュー 今坂千秋 道具彫り	〃
貞慶の春日信仰—称名寺聖教を通して—	高橋 悠介	工芸未来派 金沢21世紀美術館		インタビュー 佐々木正明 縞彫り	〃
源氏物語 遊興の世界	逸翁美術館	「工芸未来派」の背景となる考え方—今なぜ工芸の現代美術化が必要なのか?	秋元 雄史	インタビュー 坂哲雄 縞彫り	〃
源氏物語の遊興の世界	伊井 春樹	交差する視点とかたち vol. 5 札幌芸術の森美術館他		インタビュー 松井俊子 糸入れ	〃
特別展示「幻の写本 大沢本源氏物語」について	〃	かたちがたちあがるところ—交差する視点とかたち vol. 5に寄せて	佐藤 友哉	インタビュー 藍田正雄 江戸小紋	〃
宝塚歌劇の源氏物語	酒井 利枝	高野山麓 祈りのかたち 和歌山県立博物館		インタビュー 菊池宏美 江戸小紋	〃
雅展Ⅳ 元 禅僧と文人 雅陶堂	瀬津	〈概説〉高野山麓 祈りのかたち	大河内智之	古事記の歩んできた道 古事記撰録 1300年 奈良国立博物館	
元—禅僧と文人—	村重 寧	KORIN 国宝「燕子花図」とメトロポリタン美術館所蔵「八橋図」	根津美術館	コラム1 太安萬侶の墓	吉澤 悟
元時代絵画の美—文人と禅僧—	板倉 聖哲	尾形光琳—「燕子花図」と「八橋図」をめぐって	村瀬実恵子	コラム2 古事記の文章	毛利 正守 中川ゆかり
現代絵画のいま 兵庫県立美術館		八橋図屏風に関する覚書	野口 剛	論説 古事記編纂とその時代	野尻 忠
アンケート回答 石田尚志		小江戸川越 江戸絵画 職人尽絵と三十六歌仙額 川越市立美術館		論説 古事記の伝来とひろがり	嵐 義人
アンケート回答 居城純子		又兵衛世界の基底	河野 元昭	古代ガラス シルクロードを彩る人工の華 天理大学附属天理参考館	
アンケート回答 大崎のぶゆき		岩佐又兵衛《三十六歌仙額》の謎—「小江戸川越江戸絵画」展の理解のために	折井 貴恵	Column 1 もう一つのシルクロード—海を渡るイスラーム・ガラス—	真道 洋子
アンケート回答 奈良美智		極小の宇宙 手わざの絆—伊勢型紙の歴史と展開— 三重県立美術館		Column 2 海のシルクロード	巽 善信
アンケート回答 二艘木洋行		型紙/KATAGAMI 人、モノ、文化の交差点	生田 ゆき	後藤家文書 刀装金工の鑑定と記録 東京藝術大学附属図書館	
アンケート回答 野村和弘				装剣金工後藤家	原田 一敏
アンケート回答 彦坂敏昭				後藤家文書 極帳について	酒井 元樹
アンケート回答 平町公					

この素晴らしき世界 アジアの現代  
美術から見る世界の今 広島市現代  
美術館

世界を映す鏡とし  
ての芸術 角 奈緒子  
《セカンドハンド  
・シティー》 マイケル・  
リー

この世界とわたしのどこか 日本の  
新進作家 vol. 11 東京都写真美術  
館

この世界とわたし  
のどこか—日本の  
現代写真 笠原美智子  
アーティスト・ス  
テートメント 大塚 千野  
" 田口 和奈  
" 笹岡 啓子  
" 蔵 真墨  
" 菊地 智子

中国におけるセク  
シュアリティーの  
変貌 "

古萩 江戸の美意識 山口県立萩美  
術館・浦上記念館

茶の湯における萩  
焼の受容 谷 晃  
徳山藩御用焼物を  
探る 吉積 久年  
古萩を観るために  
—近世期萩焼茶碗  
の造形性から 石崎 泰之  
海外へ渡った古萩 徳留 大輔  
出土状況から見た  
萩焼の流通と消費 "

古筆手鑑 国宝『見努世友』と『藻塩  
草』 出光美術館

古筆手鑑—さまざま  
な手鑑の特徴と  
味わい方— 別府 節子  
古筆手鑑の解体と  
再編 中村健太郎

湖北の観音—信仰文化の底流をさぐ  
る— 長浜城歴史博物館

己高山寺の草創—  
湖北の観音像は、  
なぜ素晴らしいの  
かを考えるために— 高梨 純次  
特別展「湖北の観  
音」よせて 桑田 潔  
北近江観音像の魅  
力を全国に 太田 浩司

暦と怪異—不安な日々の平安貴族—  
齋宮歴史博物館

あとがきにかえて 船越 重伸  
コレクター鈴木常司 美へのまなざ  
し ポーラ美術館開館10周年記念  
第1期ピカソとポーラ美術館の絵画  
ポーラ美術館

鈴木常司の記憶、  
そして、ポーラ美  
術館のこれから 鈴木 郷史

鈴木常司の美術コ  
レクション—その  
端緒、経緯と公開 荒屋鋪 透

コレクター鈴木常  
司—美へのまなざ  
し コレクション、  
文化活動の背景を  
めぐって 岩崎余帆子

(サ行)

再発見 日本書画の美 田原市博物  
館他

長谷川家歴代とコ  
レクション 長谷川吉茂

日本の書画の美を  
再発見する—暮ら  
しに息づく山形・  
長谷川コレクション  
の意義— 村田 隆志

小考 下條桂谷と  
そのコレクション  
について 茨木 恵美

坂田和実の40年 古道具、その行  
き先 渋谷区立松涛美術館

古道具、その行き  
先 坂田 和實

古道具坂田という  
ものさしと「日本  
の眼」 土田 眞紀

展覧会ノート 光田 由里

佐田岬半島と西日本の裂織 愛媛県  
歴史文化博物館

木綿再生—丹後地  
方の裂き織り— 井之本 泰

21世紀の暮らしに  
拓く裂織 深堀 習

愛媛県佐田岬半島  
と西日本の裂織  
付録 佐田岬半島  
の裂織に関する聞  
き書き 今村 賢司

ザ・タワー—都市と塔のものがたり  
— 江戸東京博物館他

塔にまつわるもろ  
もろの雑感 そし  
てわずかばかりの、  
試論 岩城 紀子

大阪における明治  
20年代の展望所を  
持つ施設について 船越 幹央

三国志の時代—2・3世紀の東アジ  
ア— 奈良県立橿原考古学研究所付  
属博物館

三国志の時代—2  
・3世紀の東アジ  
ア— 今尾 文昭

コラム1 土器から  
みた2～4世紀  
の朝鮮半島と日本  
列島の交易 坂 靖

コラム2 大田南  
5号墳出土の土器  
について 川崎 志乃

コラム3 備忘の  
呉鏡—夢野丸山古  
墳出土鏡の複製品  
— 今尾 文昭

コラム4 2・3  
世紀の金属器生産 北井 利幸

コラム5 ホケノ  
山古墳出土土器を  
めぐって 小池香津江

3.11とアーティスト：進行形の記  
録 水戸芸術館現代美術ギャラリー

作家インタビュー トーチカ  
" 日比野克彦

" 藤井 光  
" 椿 昇

" Chim ↑ Pom

" 遠藤 一郎  
" 宮下 マキ

" wah docu-  
ment

" 村上タカシ  
" 荒井 良二

" 開発 好明  
" 北澤 潤

" 山川 冬樹  
" 眞田 岳彦

" ヤノベケン  
ジ  
" ニ シ コ

〃	タノタイガ	自然がつくりだし た色と形	長谷川道明	第18回 JAALA 国 際交流展に参加し て	郭 東榮
〃	高山 明 (Port B)	漆芸 軌跡と未来	東京藝術大学創 立125周年記念事業	メッセージ	Jenny Fra- ser
〃	加藤 翼	東京美術学校から 東京藝術大学への 漆芸教育一資料と 証言の記録	東京藝術大学 大学美術館	ローカリティが生 む国際交流	中野 中
〃	中島 佑太 ビルド・フル ルーガス	〃	〃	〃	〃
〃	小森はるか 瀬尾なつみ	〃	〃	〃	〃
〃	畠山 直哉	実の会2回 美と存在	高島屋(日 本橋)	JAALAシンポジウ ム 表現を追う一 極東の子午線に沿 って	ワシオ・ト シヒコ、 郭 東榮、 陳 世憲、 稲垣 三郎 司会 白 允生 通訳
本展の企画につい ての記録と考察	竹久 侑	§ 作家の言葉 §	赤塚 一三	〃	〃
あえてみずからを ヴァルネラブルに 一震災とアーティ ストたち	鷺田 清一	〃	井手尾拱子	〃	〃
水戸芸術館での雛 形としての「9.30」	榎木 野衣	私の取材先	蛭子真理央	〃	〃
「災害や大規模事 故を受けてアート のできるものがあ るとすれば、それ はどのようなもの だと思いますか」 という問いへの応 答	畠山 直哉	§ 作家の言葉 §	大村 光	〃	〃
三都画家くらべ 京、大坂をみて江 戸を知る 府中市美術館		〃	谷神 健二	〃	〃
「江戸」の絵画の特 質	安村 敏信	〃	福井 洋一	〃	〃
「若沖」はなぜ江戸 で流行しなかった のか	金子 信久	〃	堀江 孝	〃	〃
イタリア三都画家 くらべ	音 ゆみ子	〃	山内 滋夫	〃	〃
シエル美術賞 2012 国立新美術 館		WAITING FOR THE FIRST TRAIN 始発電車を待ちながら 東京駅復元 工事完成記念 東京ステーションギ ャラリー		事務室で来日アー ティスト懇談会	郭 東榮、 陳 世憲、 Jenny Fra- ser、 朴 興淳、 朴 容彬、 Karwan Omar、 Avan Anwar、 稲垣 三郎、 山川 靖夫 ほか 小林 芳雄、 白 允生 通訳
曖昧な現実	本江 邦夫	東京駅と鉄道をめ ぐる現代アート9 つの物語	富田 章	写真の現在4 そのときの光、その さきの風 東京国立近代美術館	
これまでの絵、こ れからの絵	島 敦彦	§ 作家の言葉 §	秋山さやか	世界に出会う持続 的な営為	増田 玲
“絵画のエンター テイメント性”の 証明	木ノ下智恵 子	〃	大洲 大作	有元伸也	増田 玲 構成
四国へんろの旅 絵図・案内記と道 標 愛媛県歴史文化博物館		〃	クワクボリ ヨウタ	本山周平	〃
愛媛の遍路道標考	今村 賢司	〃	〃	中村綾緒	〃
自然と幻想の博物誌 あつめること、 みること、そうぞうすること 豊橋 市美術博物館		重要文化財指定記念一島内地下式横 穴墓郡出土品1029点— えびの市 歴史民俗資料館	〃	廣瀬 通孝	〃
標本化された自然 一標本的美術×美 術的標本	丸地加奈子	解説	中野 和浩	廣村 正彰	〃
		JAALA 国際交流展18回 2012 東 京都美術館		〃	〃
		さらに国境を超え よう！ JAALA美 術家会議	稲垣 三郎	本城 直季	〃
				ヤマガミユ キヒロ	〃
				村越としや	〃
					十一屋コレクションの名品 野口柿 邸をめぐる文人たち 山梨県立美術 館
					甲府の誇り 十一 屋野口家の美術コ レクション
					小林 忠
					十一屋コレクショ ンの書蹟
					笠嶋 忠幸
					十一屋と野口柿邸 をめぐる文人ネッ トワーク
					平林 彰

首里城に魂を！ 国内唯一の赤い城 〔ぐすく〕 20年のストーリー 首 里城公園管理センター	縄文の世界像—八ヶ岳山麓の恵み— 大阪府立弥生文化博物館	〃 入山 南 〃 白田 桃子 〃 藤森 研伍
首里城に魂を！— 海洋博覧会記念公 園管理財団が行っ た復元製作事業に ついて—	上江洲安亨	宸翰 天皇の書—御手が織りなす至 高の美— 京都国立博物館
首里城・漆芸品模 造制作事業—琉球 漆芸の未来に向け て—	室瀬 和美	宸翰 天皇の書— 過去から未来へ— 羽田 聡
将軍家献上の鍋島・平戸・唐津—精 巧なるやきもの— 佐賀県立九州陶 磁文化館	職人のわざ〔技〕とカタ〔型〕と—商品 の誕生— 埼玉県立歴史と民俗の博 物館	神社名宝展—参り・祈り・奉る— 皇學館大學創立130周年記念・再興 50周年記念 皇學館大學佐川記念 神道博物館
将軍家献上の鍋島 ・平戸・唐津	大橋 康二	総説 神々への技 と美の精華伊勢に 岡田 芳幸 集う
全国の遺跡から出 土した鍋島焼きに みる献上と贈遺	山本 文子	新世紀の顔・貌・KAO —30人の自 画像— 最終章 高輪画廊他
正倉院展64回 奈良国立博物館	特別寄稿 伝承の 共有—記憶装置と しての型— 三田村佳子	生きにくい時代だ からこそ—第10回 展を迎えて 中野 中
正倉院宝物とその 公開(概説)	西山 厚	§ 作家の言葉 § 秋元由美子
宝物寸描 正倉院 の染織文様の世界 性	尾形 充彦	〃 伊藤 光悦
宝物寸描 聖語蔵 「神護景雲二年御 願経」と今更一部 経	飯田 剛彦	〃 伊藤 弘之
宝物寸描 金工か ら見た瑠璃杯	内藤 栄	〃 市橋 哲夫
宝物寸描 古代東 アジアを結んだ囲 碁文化	岩戸 晶子	〃 遠藤 力
象徴派 夢幻美の使徒たち—世紀末 美術の巨匠たち 岐阜県美術館他	君のアートを科学 する—美大生のため の論文作成法— 作品制作と研究論 文の違いって何？	〃 笠原 久央
フランス象徴主義 の時代	山本 敦子	〃 紀井 學
モーリス・ドニの やわらかな風景— 自然と抽象のあい だ	平石 昌子	〃 國友 博
ベルギーの象徴主 義	山田真規子	〃 小久保 裕
蕭白ショック!! 曾我蕭白と京の画 家たち 千葉市美術館他	§ 作家の言葉 § 二宮 陽香	〃 硯川 秀人
曾我蕭白とその時 代	小林 忠	〃 須藤 愛子
「唐絵」としての曾 我蕭白と蕭白前史	伊藤 紫織	〃 高橋留三郎
蕭白と伊勢地方— 旧永島家襖絵を中 心に—	道田 美貴	〃 田中 紘子
		〃 塚本 文子
		〃 土田佳代子
		〃 戸谷由紀子
		〃 平岡 潤
		〃 藤田 俊哉
		〃 堀 一浩
		〃 堀岡 正子
		〃 前田 昌彦
		〃 増田 健一
		〃 松宮 直子
		〃 万代 進
		〃 三國 芳郎
		〃 屋敷 妙子
		〃 日吉 洋人

” 柳瀬 雅夫  
 ” 山田 真二  
 ” 山廣 葉子  
 ” 山本 雄三  
 ” 山本 豊  
 ” 吉武 研司

**親鸞 真宗開顕 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念** 大谷大学博物館

別冊 板東本『教行信証』について 三木 彰円  
 真宗開顕

別冊 板東本『教行信証』について 宇都宮啓吾  
 板東本に使用された  
 符号

別冊 板東本『教行信証』について 赤尾 栄慶  
 板東本のすがたと  
 かたち

別冊 板東本『教行信証』について 三木 彰円  
 「板東本」と親鸞の  
 門弟

**神話のこぼれ ブラジル現代写真展** 資生堂ギャラリー

神話—ブラジル現代写真 エーデル・シオデット 藤井 勇人 訳

群島の写真の時代に：ブラジルの新しい写真への共感 後藤 繁雄

**水彩画の現在[いま]～日本水彩画会創立100周年を迎えて～開館30周年記念特別展** 信州新町美術館

水彩画の特別展に寄せて 真壁 輝男

戦後の水彩画について 福島英子と小山田次郎を中心にして 瀬尾 典昭

**スーホの白い馬と草原の民** 馬の博物館

ウマたちと子どもたち 小長谷有紀

**数寄屋大工—美を創造する匠—** ギャラリーA<sup>4</sup>他

数寄屋大工が歩んできた道 中村 昌生

数寄屋の空間デザイン—茶室の構成要素を通して— 日向 進

数寄屋小史—茶の湯の広がり数寄屋建築の展開— 桐浴 邦夫

数寄屋大工の世界—空間に景色を作り出す— 齋藤 光義 インタビュー

近代における数寄屋の展開と大工 桐浴 邦夫

数寄屋大工と図面 松本 康隆

近代数寄屋建築を次世代へ 今里 隆

**墨と紙が生み出す美の世界展** 徳島県立近代美術館

磨墨から生まれ出る美 北見 音丸

墨と紙に関する中国の古典 渡辺 明義

墨—魔法の発墨を求めて 中野 嘉之

墨の可能性 渡辺 明義

筆のあと 高橋 利郎

墨づくりと画家たちの制作をめぐる 森 芳功

**清雅なる仏画 白描図像が生み出す美の世界** 大和文華館

清雅なる仏画—白描図像の集積・解析・再構成に関する一試論— 古川 攝一

**世界ポスタートリエンナーレトヤマ 10回 2012** 富山県立近代美術館

ポスターにできること 永井 一正

ポスターはグラフィックデザイナーの自画像 松永 真

ポスターは死に瀕している、ポスターは死んだ。AAA AAHHHHHOOOU UUUUUUUUUU… (絶望の長い叫び) アラン・ル・ケルネ

溢れるイメージのなかで カリ・ピッポ

**戦国—乗谷の庭園 一伝統と革新の庭園デザイン—** 福井県立—乗谷朝倉氏遺跡資料館

企画展に寄せて—乗谷の庭園と維持管理— 藤井英二郎

**戦国大名尼子氏の興亡** 島根県立古代出雲歴史博物館

特別寄稿 近江の対抗軸・出雲—尼子氏登場の背景— 西島 太郎

特別寄稿 出雲国における尼子氏権力の拡大 長谷川博史

コラム 石見銀山と毛利氏 伊藤 徳広

特別寄稿 戦国期尼子氏の守護職獲得と室町幕府 川岡 勉

鰐淵寺と清水寺の座次相論から 佐伯 徳哉

特別寄稿 富田落城後の尼子氏 藤岡 大拙

コラム「鹿之助」像の変遷 中野 賢治

**創作版画の宝石箱—コレクター 長谷川勝三郎の絵** 鹿沼市立川上澄生美術館

長谷川勝三郎と創作版画の仲間たち 長谷川勝朗

長谷川勝三郎と川西英の交流—川西英の長谷川勝三郎宛書簡を中心に— 白井佐知子

**ソンエリュミエール 物質・移動・時間** 金沢21世紀美術館

§ 作家の言葉 § 鈴木ヒラク

「サンセット—サンライズ—アーク」光庭プロジェクト パトリック・ブラン 日比野克彦

§ 作家の言葉 § 梅田 哲也

時を経て生く創造者 北出智恵子

**尊厳の芸術** 東京藝術大学大学美術館他

メッセージ デルフィン・ヒラスナ

(タ行)

**大出雲展 古事記1300年・出雲大社大遷宮** 京都国立博物館他

古代出雲の魅力 上田 正昭

古代出雲の山寺と社 久保 智康

出雲神話のバリエーション—スサノヲを中心に— 森田喜久男

青木遺跡と出雲の神社 平石 充

山陰地域の青銅器文化と大量埋納 増田 浩太



統一的多元的中国文明—『中国王朝の至宝』の考古学的観察記—	王 軍	コラム 屏風に描かれたチャイナタウン長崎	深瀬公一郎	当世具足 大名とその家臣団の備え(概説)	小西 雅徳
中国文明の起源に関するいくつかの問題	王 巍	コラム 黄髮絵画と唐絵目利	植松 有希	鉄炮の普及と当世具足の出現	宇田川武久
斉と楚の青銅器を比べる—器種構成を中心に—	川村 佳男	抽象と形態 何処までも顕れないもの 川村記念美術館		卯の花のをとしの絲に結はれて—徳川歴代將軍の甲冑と久能山東照宮—	小林 明
平城と建康 みえてきた南北朝時代の二大都市	市元 壘	アンダース・エド ストローム	アンダース・エド ストローム	上田藩松平氏所用 具足の伝来経緯	北村 典子
中国近代絵画と日本館	京都国立博物館	五木田智央	五木田智央	どうぶつ集まれ—ぞうさんの描いた絵と表された動物たち	徳島県立近代美術館
高剣父の山水画に見る折衷主義と日本画影響—山元春峯との関係を中心に—	西上 実	フランシス真悟	フランシス真悟	ぞうさんの描いた絵と表された動物たちのこと—アートの動物園の歩き方	森 芳功
中国絵画の近代化と日本—筆墨と美術のあいだで	呉 孟晋	抽象と形態：何処までも顕れないもの	鈴木 尊志	どうぶつが集まる とき	吉原美恵子
王冶梅と森琴石—近代文人画家と銅版出版事業の関わりについて	西上 実	§ 作家の言葉 §	角田 純	東洋陶磁の美 悠久の光彩 大阪市立東洋陶磁美術館コレクション サントリー美術館	
嶺南画家・方人定の「日本画」—須磨弥吉郎収集の「後園図」をめぐる	呉 孟晋	〃	野沢 二郎	東洋陶磁コレクションのモダニズム	出川 哲朗
須磨ノート 須磨ノート	西上 実 須磨弥吉郎	〃	赤塚 祐二	大阪市立東洋陶磁美術館所蔵の中国陶磁コレクション—中国陶磁研究の現状とその成果から—	小林 仁
中国山水画の20世紀名品選 東京国立博物館	中国美術館	〃	吉川 民仁	近年の高麗陶磁研究と大阪市立東洋陶磁美術館コレクション	鄭 銀珍
20世紀中国山水画 発展概説	王 雪峰	中世の安房と鎌倉—海で結ばれた信仰の道— “渚の駅”たてやまオープン記念特別企画 館山市立博物館		大阪市立東洋陶磁美術館所蔵・朝鮮時代の陶磁と近年の研究成果	樋口とも子
中国福建博物院～長崎文化の源流をたずねて～ 長崎歴史文化博物館		総説 鎌倉と安房のつながり	池田 英真	鑑賞のヒント—「色」から覗く、大阪市立東洋陶磁美術館コレクションとは	安河内幸絵
コラム 墓石が語る国際交流の姿	大石 和久	コラム 鎌倉・三浦半島のやぐらと房総半島のやぐら	杉江 敬	東洋の白いやきもの—純なる世界— 出光美術館	
コラム 蒙古襲来と鷹島	中田 敦之	コラム 里見義弘と太平寺・青岳尼	岡田 晃司	東洋の白いやきもの—純なる世界— 金沢 陽	
コラム 小値賀島の海底で発見された中世期の貿易遺跡	塚原 博	論考 鎌倉と安房の仏像	薄井 和男	東嶺園慈 禅画と墨蹟 龍澤寺・齡仙寺と近江の禅寺所蔵作品 花園大学歴史博物館(ZEN MUSEUM)	
コラム 長崎出土の福建陶磁—考古学からみた長崎と福建—	川口 洋平	珍品ものがたり 宮内庁三の丸尚蔵館		東嶺園慈と禅画・墨蹟 志水 一行	
コラム 東シナ海を往来した船の姿	深瀬公一郎	珍品ものがたり 五味 聖		十果会34回 高島屋(日本橋)他 随想	相田 幸男
コラム 媽祖信仰	藤田 明良	硯箱の技法の違い—X線透過撮影でわかること			
コラム 港市・平戸	久家 孝史	手紙に見る実篤への思い—岸田劉生・長与善郎・千家元麿— 調布市武者小路実篤記念館			
		手紙に見る実篤への思い—岸田劉生・長与善郎・千家元麿	伊藤 陽子		
		桃花の会 5回 高島屋(日本橋)他			
		八年雑録有終美 [さよならだけが じんせいだ]	瀧 悌三		
		当世具足 大名とその家臣団の備え 板橋区立郷土資料館			

随想	今井 信吾	第1章 縄文人の心の世界	八木 勝枝	鳥坂寺再興 柏原市立歴史資料館他
パリ風景画について	大津 英敏	第2章 土偶は何に使う?	〃	鳥坂寺をめぐる 山根 航
黒い太陽—八月六日—	奥谷 博	第3章 土偶のうつりかわり	〃	都市から郊外へ—1930年代の東京世田谷文学館
随想	木津 文哉	第4章 遺跡の中の土偶	〃	一九三〇年代とモダニズム文学 菅野 昭正
随想	絹谷 幸二	第5章 土偶へのまなざし	〃	一九三〇年代の美術の一隅—難波田龍起
こころ	齋藤 研			少年探偵団が駆け抜けた世田谷—一九三〇年代、作品の中の郊外
めだま焼き考(2)	桜井 寛	徳川家康の肖像〔すがた〕	江戸時代	小池 智子
星になる	瀬川富紀男	の人々の家康観	江戸東京博物館	
貌々	林 敬二	“徳川曼茶羅”としての「家康家臣図(家康・信玄・謙信家臣図の内)」	松島 仁	古代への眼差し—難波田龍起と菊池一雄
偶感	平岡 靖弘	「征夷将軍源家康像」について	〃	街の肌合い—桑原甲子雄の一九三〇年代の東京
2012年	松樹 路人	知られざる家康の横顔—駿河臨濟寺僧との関わりから垣間見る—	小林 明	東京・版画・三〇年代—稲垣知雄が刻んだ東京〔まち〕の貌〔かたち〕
DOKIDOKI 陶芸の魅力×アートのドキドキ	滋賀県立陶芸の森陶芸館	家康と浄土信仰	中村 玲	サイレントからトーカーキーへ—東京郊外で誕生した映画と撮影所
他		小野通女の筆跡	〃	矢野 進
「陶芸の魅力×アートのドキドキ」展 1950年代の新しい陶芸の幕開けとアート	三浦 弘子	小野通女の画業	〃	
刻の記憶 龍野アートプロジェクト		浄土宗寺院西谷山観崇院大養寺	〃	流行歌にみる一九三〇年代—古賀政男・西條八十・宮田東峯
2012 龍野市		『徳川家康像』大養寺本をめぐる	〃	郊外住宅地の理想—田園調布と成城を中心に
§作家の言葉§	松谷 武判	増上寺中興・観智国師と家康	〃	都市と郊外の連結点に誕生した消費文化の殿堂—三越と伊勢丹
昇華／記憶の種	山口 敏郎	来迎山峯月院宗仲寺	〃	
§作家の言葉§	今村 遼佑	溝呂木家	〃	
〃	角田 広輔	「東照大権現」の創生	松島 仁	都美セレクション グループ展公募
〃	佐藤 文香	紅葉山稲荷額	〃	1回 東京都美術館
〃	芝田 知佳	「東照大権現像(白描)」について	〃	審査員講評「都美セレクション グループ展公募」に期待する
〃	ジュレミー・アンドレ	東照大権現にみる装束と御神宝装束	田中 潤	審査員講評「都美セレクション グループ展公募 第1回」をふりかえって
〃	マリー・ヴァアルト	夢見る将軍徳川家光と東照大権現霊夢諸本	松島 仁	審査員講評「都美セレクション グループ展公募」に思う
〃	犬丸 暁	東照大権現の祭祀者慈眼大師(天海)とその画像	〃	審査員講評 新たな視座を求めてのエール
土偶・コスモス MIHO MUSEUM		祖父家康との一体化を夢想する家光一家康・家光対面の「東照大権現霊夢像」と「徳川家光像」	田中 潤	審査員講評「新しさ」の対岸で
土偶・コスモス	辻 惟雄	創られる家康像	小宮山敏和	高橋 利郎
縄文土偶の誕生、そして大変身	小林 達雄			
縄文文化における数の観念	西田 泰民			
西アジアの土偶：シリア—パレスチナを中心に	泉 拓良			
現代の土偶現象	ニコル・クーリッジ・ルーマニエール			
土偶まんたら	岩手県立博物館			



審査員講評 新機軸の誕生	建島 哲
ドビュッシー、音楽と美術 印象派と象徴派のあいだで	ブリヂストン美術館
なにか口火を切らねばならないでしょうから	ギ・コジュヴァル 長谷川光明、谷川かおる 翻訳
東京におけるドビュッシー展—印象派と象徴派のあいだで	島田 紀夫
自分の音楽的夢想を書きたい…	ジャン＝ミシェル・ネクトゥー 梅宮 典子 翻訳
「影の側に」—象徴主義者ドビュッシー	ジャン＝ダヴィド・ジユモ＝ラフォン 長谷川光明、谷川かおる 翻訳
音楽は絵のごとく—ドビュッシーと美術／ドビュッシーと日本	新畑 泰秀
ペレアスを探して—ドビュッシーの傑作と舞台の危うさ	ギ・コジュヴァル ステファン・ゲガン インタビュー 長谷川光明、谷川かおる 翻訳
独立芸術[アール・アンデパンダン] 書房をめぐる人々	ドゥニ・エルラン 谷川かおる 翻訳
生の形式としての印象主義—1920年代にドイツ人はドビュッシーをどのように鑑賞したか	マルタン・カルテネッケル 梅宮 典子 翻訳
彩色の極致	ユーク・デュフル 長谷川光明、谷川かおる 翻訳
DOMANI・明日展14回	国立新美術館

作家との対話	山口 牧子、横澤 典、塩谷 亮、綿引 展子、阿部 守、児嶋 サコ、津田 睦美、元田 久治、真住 貴子 聞き手
§ 作家の言葉 §	山口 牧子、横澤 典、塩谷 亮、綿引 展子、阿部 守、児嶋 サコ、津田 睦美、元田 久治
とよかわの美術家たち 豊川の美術史 豊川市桜ヶ丘ミュージアム	星野真吾の背中 大野 俊治 忘れ得ぬ人々(豊川の美術家たち) 山本須美雄 作家との出会い 岩原 良仁 国府から発信する絵画とは…私を含めての述懐 近藤 文雄 古郷豊川と画家への想い 中村 敏子 とよかわの美術家たち 森田 靖久
ドローイングとは何か展2回 公募入選者展 ギャラリー志門	ドローイングとは何か(2) 金澤 毅 審査講評 //
審査講評	中林 忠良
(ナ行)	
内国勲業博覧会—明治美術の幕開け 宮内庁三の丸尚蔵館	美術から見る内国勲業博覧会の時代 岡本 隆志 写された内国勲業博覧会出品作 //
第三回内国勲業博覧会の「開発的」なる日本画—寛政、玉章、雅邦の挑戦	斉藤 全人
名工をささえた人々	岡本 隆志

明治の美術染織	五味 聖
美術館という公共空間	岡本 隆志
内国勲業博覧会にみる蒔絵	五味 聖
大阪であじわう異国気分	岡本 隆志
「彫塑」という概念	//
宮川香山と内国勲業博覧会	//
長崎街道 世界とつながった道 九州歴史資料館	九
総論 長崎街道	一瀬 智
column 1 宿場の恵比寿さま	松川 博一
column 2 江戸時代の長崎貿易	一瀬 智
column 3 牛津宿と「野田家日記」	//
column 4 三国境と筑紫神社	松川 博一
column 5 難所・冷水越	一瀬 智
column 6 内野宿御茶屋跡の発掘調査	岡寺 良
column 7 街道の「起点」大里	一瀬 智
column 8 さいふ参詣道	松川 博一
那須の縄文社会が変わるころ 縄文時代中期から後期へ 栃木県立なす風土記の丘資料館	縄文
縄文社会の変質—関東・中部地方からみた縄文時代中期から後期へ—	山本 暉久
東北からみる那須地域の縄文中・後期文化	阿部 昭典
懐かしうつくし貝細工 土博物館 大田区立郷土博物館	大田区立郷土博物館
I 縄文時代の貝製品	野口 舞
II 螺鈿・青貝・芝山細工	金子 皓彦
III 貝細工見世物	川添 裕
IV 貝で遊ぶ	藤塚 悦司
V 様々な貝細工	金子 皓彦
VI 貝屏風	藤塚 悦司
VII 観光貝細工	//

X 貝ボタン //

鯨絵とボードレール展 コレクター  
気谷誠の世界 神奈川県立近代美術館(鎌倉)

鯨絵とボードレール  
コレクター気谷誠の眼 橋 秀文

南都大安寺と観音さま 祈りと救いの美 パラミタミュージアム

南都大安寺の歴史 赤川 一博

二条城展 江戸東京博物館開館20周年記念 江戸東京博物館

京の江戸 村井 康彦

二条城の障壁画 松本 直子

二条城修築と徳川将軍家 齋藤 慎一

象徴の場、維新後の二条城 中谷 至宏

二条城二の丸御殿と名古屋城本丸御殿 将軍の愛した障壁画 名古屋城天守閣

二条城と名古屋城における各御殿の障壁画について 朝日美砂子

二世五姓田芳柳の世界—近代日本洋画の先駆け— 古河歴史博物館

五姓田家の周辺 永井 路子

日欧のサムライたち—オーストリアと日本の武器武具展— 大阪歴史博物館

16世紀のヨーロッパにおける甲冑と武器 ヨハネス・ラムハルター

激動の時代の武装—グラーツの武器庫 ダニエラ・アセル

日経日本画大賞 東山魁夷記念5回 上野の森美術館

高階 秀爾  
島田 康寛  
草薙奈津子  
尾崎 正明  
菊屋 吉生  
加藤 弘子

審査を終えて

日朝交流の軌跡 対馬宗家文書8万点の調査を終えて 重要文化財新指定記念 九州国立博物館

対馬宗家と宗家文書 田代 和生

対馬宗家文庫史料について 山口 華代

日本・オブジェ 1920—70年代 断章 うらわ美術館

オブジェ考、点描風に 森田 一

《詩人とオブジェ》住人たち、すこし固い部屋の 金澤 一志

関連年表 森田 一、滝口 明子 編

日本画の巨匠たち 名作でたどる日本美術院のあゆみ 近代から現代へ福岡市美術館

近代から現代へ日本美術院の歩み 古田 亮

溪仙の再興院展参加をめぐって—大観、麦僊との関係 古川 智次

日本近代美術の名品展—森鷗外と米原雲海を中心に— 東京藝大美術館所蔵 島根県立石見美術館

東京藝術大学大学美術館—ミュージアムとコレクション— 薩摩 雅登

森鷗外と東京美術学校 川西 由里

米原雲海の人と芸術—木彫等身像(橋本雅邦像)制作にみる— 左近充直美

「日本国」の誕生 古事記が出来たころ 奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

『日本国』の誕生—古事記が出来たころ—

太安萬侶墓誌に関する新知見 重見 泰

三次元CGとレントゲンで見る太安萬侶墓誌 奥山 誠義

平城京左京四条四坊の宅地利用 重見 泰

新羅との交流からみた天武朝 //

『古事記』の“上古”・“今”と発掘された飛鳥(舒明朝) 今尾 文昭

日本の映画ポスター芸術 東京国立近代美術館フィルムセンター他

映画を射抜いた《眼》—日本の映画ポスター試論 岡田 秀則

映画ポスターの制作と印刷—1950—60年代のグラフィックデザインへの憧憬 寺本美奈子

「ATGのブランド・カラーは、黒です」デザイナー・檜垣紀六氏インタビュー 岡田 秀則、寺本美奈子 聞き手

デザインと映画をめぐって—草月アートセンターから『季刊フィルム』へ奈良義巳氏インタビュー 寺本美奈子、岡田 秀則 聞き手

日本の70年代 1968—1982 埼玉県立近代美術館他 埼玉

70年代の気分を読み解くために 前山 裕司

1970年代の再検証のために 平沢 剛

転換点としての70年代美術 建島 哲

実験映画と自主制作の時代 西村 智弘

ラディカリズムとコマーシャルイズムの行方—1970年代の日本写真 飯沢耕太郎

回想の西武美術館 前山 裕司

日本橋 描かれたランドマークの400年 江戸東京博物館開館20周年記念 江戸東京博物館

「熙代勝覧」と「隅田川風物図巻」 我妻 直美

日本橋の特色 竹内 誠

名所絵二題 日本橋と隅田川 我妻 直美

日本ファッションの未来性 東京都現代美術館 東京都

FUTURE BEAUTY 日本ファッションの未来性 深井 晃子

書き換えられたファッションの帝国 〃

バーバラ・ヴンケン 石関 亮 翻訳

脱構築 不可視のものを暴き、体系を揺るがすこと シェール・ポッター 蘆田 裕史 翻訳

INTERVIEW 玉井健太郎 KCI 聞き手

” 長見 佳祐  
KCI 聞き手

マンガ、アニメ、  
コスプレ、フッ  
ション

ヘレン・マ  
ッカーシー  
蘆田 裕史  
翻訳

ネクスト・ジェネ  
レーション

栗野 宏文

日本油彩画二〇〇年—西欧への挑戦  
黒田清輝、佐伯祐三、岸田劉生が求  
めた日本の絵画— 五〇〇万人が感  
動したコレクション 静岡県立美術  
館

日本人の油彩画 泰井 良

日本六十余州図の世界 池田家文庫  
絵図 岡山シティミュージアム

「日本六十余州図  
の世界」解説 倉地 克直

〈猫〉が気になる 北海道立三岸好太  
郎美術館

三岸好太郎の〈猫〉  
が気になる。 苫名 直子

日本の画家による  
猫 ”

信長×信玄 戦国のうねりの中で  
滋賀県立安土城考古博物館

総論「織田信長と  
武田信玄」 高木 叙子

織田信長の統治戦  
略と武田氏 大沼 芳幸

(ハ行)

パール 海の宝石 兵庫県立美術館

1 真珠の本質と  
なりたち ユベール・  
バリ 赤松 蔚  
翻訳

2 真珠の歴史と  
受容 ユベール・  
バリ 木下 哲夫  
翻訳

3 カタールと真  
珠採取の黄金期  
1850~1940年 ユベール・  
バリ 赤松 蔚  
翻訳

4 養殖真珠の誕  
生と隆盛 ”

5 貴婦人の髪飾  
り ユベール・  
バリ 木下 哲夫  
翻訳

6 天然真珠ジュ  
エリーの千年 ”

白隠展 HAKUIN 禅画に込めたメッ  
セージ Bunkamura ザ・ミュージ  
アム

白隠禅画をよむ 芳澤 勝弘

白隠のいる美術史 山下 裕二

白隠の墨跡—形相  
ヲ以テ莊嚴ス可カ  
ラズ 高橋 利郎

博物図譜とデジタルアーカイブ5  
武蔵野美術大学美術館

『博物図譜とデジ  
タルアーカイブ』  
第IV期特別講演  
視覚の冒険—美術  
的水族館史の試み  
—19世紀末におけ  
る博物学と美術の  
融合例としての水  
族館建設—

荒俣 宏  
講師

幕末維新—近代世田谷の夜明け—  
世田谷区立郷土資料館

彦根藩の海防と世  
田谷領 清水 詩織

長州藩若林抱屋敷  
から松陰神社へ 松本剣志郎

『開国始末』序跋お  
よび豪徳寺碑文 重野 宏一

はじまりは国芳 江戸スピリットの  
ゆくえ 横浜美術館

はじまりは国芳 柏木 智雄

静方と英朋—第10  
回鳥合会の頃をめ  
ぐって 内山 淳子

川瀬巴水の風景版  
画—渡邊三郎、  
小島鳥水との関係  
から 片多 祐子

芭蕉 広がる世界、深まる心 名古  
屋市博物館

芭蕉の転生 田中 善信

芭蕉遺愛の「笈」に  
ついて 小川 幹生

名古屋で芭蕉に会  
う 山本 祐子

畠山重忠—横浜・二俣川に散った武  
蔵武士— 横浜市歴史博物館

武蔵御嶽神社蔵の  
赤糸威大鏡—その  
構成部材から見え  
てくるもの— 豊田 勝彦

花開く都城文化 奈良文化財研究所  
飛鳥資料館

I. 東アジアの都  
城 1. 漢唐の都城 今井 晃樹

I. 東アジアの都  
城 2. 百済・新羅  
の都城 庄田 慎矢

I. 東アジアの都  
城 3. 日本の都城 成田 聖

II. さきほこる都  
城文化の華—苑池  
と寺院— 1. 東ア  
ジアの都城と苑 高橋知奈津

II. さきほこる都  
城文化の華—苑池  
と寺院— 2. 都城  
寺院と巨大仏塔 箱崎 和久

II. さきほこる都  
城文化の華—苑池  
と寺院— 3. 造塔  
の土木技術と東ア  
ジア 青木 敬

III. 流花実生—流  
転する文物・技術  
・文化— 1. 金属  
工芸品 中川 あや

III. 流花実生—流  
転する文物・技術  
・文化— 2. 都城  
の土器と東アジア  
世界 小田 裕樹

III. 流花実生—流  
転する文物・技術  
・文化— 3. 石神  
遺跡出土施釉陶器  
をめぐって ”

III. 流花実生—流  
転する文物・技術  
・文化— 4. 唐三  
彩と奈良三彩 丹羽 崇史

III. 流花実生—流  
転する文物・技術  
・文化— 5. ガラ  
ス 田村 朋美

III. 流花実生—流  
転する文物・技術  
・文化— 6. 唐・  
新羅・日本の墳墓 加藤 真二

原弘と東京国立近代美術館 デザイ  
ンワークを通して見えてくるもの  
東京国立近代美術館

原弘と東京国立近  
代美術館—デザイ  
ンワークを通して  
見えてくるもの 木田 拓也

パラレルワールド冒険譚 札幌芸術  
の森

表現される世界と  
現実 佐藤 康平

パリへ渡った「石橋コレクション」  
1962年、春 プリヂストン美術館

「パリへ渡った『石橋コレクション』1962年、春」展に寄せて	島田 紀夫	民博のアフリカビーズコレクション—フィールドでの資料収集と情報収集の実践	池谷 和信	飛驒・美濃の仏像—「一木造り」の巨像を考える	清水 眞澄
「石橋コレクション」とベルナル・ドリヴァル	田所 夏子	つくり手の仕事場から—ナイジェリア、イレ・イフのビーズ細工師たち	緒方しらべ	岐阜県の仏教絵画	有賀 祥隆
記録映画「石橋コレクション・パリ」		東日本の古墳と渡来文化 海を越える人とモノ 松戸市立博物館		ひな人形の世界 徳島市立徳島城博物館	
コレクターとしての酒井億尋		東日本の古墳と渡来文化	土生田純之	狩野時信と菊池容斎の「楠公園」	小川 裕久
ピカソ《女の顔》と石橋正二郎		土器から見た東日本の渡来人	酒井 清治	美の宴 東洋の古美術、印象派と古地図が織りなす珠玉の世界 和泉市久保惣記念美術館	
資料編 ジャック・マレシャルによる洗浄修復		渡来文化の到来と房総の古墳	白井久美子	観比べて、楽しむこと、発見すること…特別展に添えて	河田 昌之
資料編 輸送梱包作業、警備について		金工品からみた5、6世紀の日朝交渉—東日本地域の事例から—	高田 貫太	美のワンダーランド 十五人の京絵師 九州国立博物館	
資料編 パリにおける「石橋コレクション」展関連記事目録—1962(昭和37)年開催当時の記事を中心に—	田所 夏子 編	光あれ！—光と闇の表現者たち 栃木県立美術館	光あれ！—光と闇に託すもの	島 一嘉	プロローグ 京都・十八世紀後半という時空—若冲・大雅・応挙ら躍動する京絵師たち—
資料編 ブリヂストン美術館と1962年パリの「石橋コレクション」展、およびベルナル・ドリヴァル関連略年譜	”	光と影の芸術—写真の表現と技法— [平成24年度東京都写真美術館コレクション展] 東京都写真美術館		コラム 中国からやってきた十六人目の絵師・沈南蘋	山下 善也
版画でしょ？ 境界を広げる4人のアーティスト カナダ大使館 高円宮ギャラリー		第I部 光の造形—操作された写真	藤村 里美	コラム 死してもなお、師とともに—蕪村と呉春—	森實久美子
多義的な空間に明かされる深化と拡張	石川 健二	第II部 自然の鉛筆—技法と表現	鈴木 佳子	コラム 多彩なテクニックの水墨画	畑 靖紀
版画の冒険 ミレー、ドガ、そしてムンクへ 町田市立国際版画美術館		第III部 機械の眼—カメラとレンズ	金子 隆一	コラム 写生の画家、応挙が描く虚構	水谷 亜希
オリジナルはどこへ セゴレーヌ・ル・メン		光と風景 フランス絵画200年 ミレー、コロー、そしてモネ、ルノワールへ 香川県立ミュージアム		コラム うわさの京絵師	畑 靖紀
版画の冒険 和南城愛理		「個」の際立ち 本江 邦夫		エピローグ 絵師たちの京都—美の宝庫の十八世紀—	”
ビーズインアフリカ 国立民族学博物館コレクション 神奈川県立近代美術館(葉山)		ルノワールにみるロココ復興とフランス的イメージ	稲葉麻里子	百椿図 椿をめぐる文雅の世界 根津美術館	根津 雅也
いのち・かたちのつらなり—「ビーズインアフリカ」展の開催にあたって	水沢 勉	西洋と日本の風景画	田口 慶太	解説	野口 剛
ビーズにみるアフリカの文化	吉田 憲司	美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近代美術の100年 東京国立近代美術館		百花繚乱 女性の情景—描かれた多彩な女性像	生きて行く 私 横須賀美術館
		時代はめぐる—東京国立近代美術館の60年	松本 透	女性が描く女性の情景—小倉遊亀と北澤映月をめぐる—	工藤 香澄
		飛驒・美濃の信仰と造形—古代・中世の遺産— 岐阜県博物館		比羅夫がゆく 飛鳥時代の武器・武器・いくさ 奈良文化財研究所飛鳥資料館	古屋 梨奈

I 飛鳥時代の武器と武具	丹羽 崇史	紅型 琉球王朝のいろとかたち 沖縄縄復帰40周年記念 沖縄県立博物館・美術館他	高橋 真作 西岡 芳文 古川 元也
II 比羅夫がみた7世紀の武器とたたかい	加藤 真二	琉球国王尚家の紅型衣裳 志村絵里奈	仏教の来た道 シルクロード探検の旅 龍谷大学 龍谷ミュージアム
コラム 古代の水の上戦?	丹羽 崇史	紅型の意匠と日本の染織 長崎 巖	シルクロード探検の旅へー大谷探検隊の軌跡奪取 入澤 崇
III 唐様大刀をめぐる	〃	紅型—多彩で華やかな夢のような世界 與那嶺一子	ガンダーラから西域、中国へー仏教文化の伝播と発展— 宮治 昭
コラム 俑からみた唐の武人の装い	加藤 真二	琉球王国尚家の紅型衣裳 志村絵里奈	大谷探検隊将来の仏教写本—最新の研究成果— 三谷 真澄
ヒロシマ・オー ヒロシマフクシマ 旧日本銀行広島支店		紅型のいろ 平田美奈子	中国で信仰された西域の宗教—展示品を見るために— 吉田 豊
コンテンツポラリー・アートと進歩	緑川雄太郎	紅型のかたち—型紙 J・フロントリテイリング史料館所蔵松坂屋コレクションについて	ブラティスラヴァ世界絵本原画展 広がる絵本のかたち うらわ美術館 他
§作家の言葉§	諫山 元貴	紅型を愛しむ—岡田三郎助と鎌倉芳太郎	第23回ブラティスラヴァ世界絵本原画展 ヴィエラ・アノシキノヴァー 山根 佳奈 翻訳
〃	石黒 健一	フィンランドのくらしとデザイン ムーミンが住む森の生活 青森県立美術館他	イラストレーションと絵本のかたち—BIB2011 (第23回ブラティスラヴァ世界絵本原画展)と国内展の構成について
〃	岡田 寿枝	「森」と「社会」に根ざし、「社会」と「森」に還元されるデザイン 橋本 優子	遊びを演出するしかけ絵本—国際児童文学館出展のしかけ絵本を中心に
〃	オマル・ロサレス	「ムーミン」と「カレワラ」 エリナ・ボネリウス 古市真由美 翻訳	スロヴァキアのイラストレーションと「新しいメディア」
〃	鹿田 義彦	フェアリー・テイル—妖精たちの物語— 三鷹市美術ギャラリー	個人コレクションと児童文化 篠原 誠司
〃	シャルロット・ボンジュール	なぜ日本人は妖精が好きなのか 井村 君江	身体で読む本—日本のしかけ絵本の現在
作品図解	神馬 啓佑	シェイクスピアの妖精 〃	PRINT Resonance 世界の美術学校の版画集 武蔵野美術大学美術館
§作家の言葉§	園田 昂史	コティングリー妖精事件 〃	版画集のなかの未来 遠藤 竜太
〃	友定 睦	福岡市美術展46回 福岡市美術館	世界の中の版画 Sean Caulfield
〃	中村 有丞	選評 深野 治 川副 了造 津田 三朗 白水 英章 北島 石聊 小河 修次 平井 直樹	デジタル社会の中の版画—武蔵野美術大学版画研究室の一つの挑戦 杉野 秀樹
〃	濱 哲史		
〃	村田宗一郎		
〃	増田 純		
〃	丸橋 光生		
〃	水口 鉄人		
〃	山本 辰典		
〃	ロメイン・ルザー		
〃	黒田 大祐		
垣根を超える—当事者、分有、情態性	有賀 慎吾 加藤 翼 川田 淳 須賀 佑輔 村山 悟郎		
琵琶湖をめぐる近江路の神と仏名宝 三井記念美術館		武家の古都・鎌倉 世界遺産登録推進三館連携特別展 神奈川県立歴史博物館/神奈川県立金沢文庫/鎌倉国宝館	
特別展『琵琶湖をめぐる近江路の神と仏名宝展』概説	清水 眞澄	武家の古都・鎌倉の展示に寄せて 五味 文彦	
コラム 神体山と近江の神々—八王子山・三上山・竹生島—	清水 実		

平成24年美術展覧会図録所載文献(企八行)

ムサビの版画／伝統と現代を見据えた指導体制	高浜 利也	審査総評 常に、表現へのあくなきチャレンジを	斎藤由多加	故宮博物院 名品への誘い 二、中国の工芸(青銅器・玉器)	川村 佳男
アルバータ大学版画プログラム	Sean Caulfield	審査総評「ライブ」と「共感」の新たな体験	寺井 弘典	故宮博物院 名品への誘い 二、中国の工芸(陶磁器)	今井 淳
版画：視覚アートの「室内楽」	Hugo U. Besard	審査総評 世界を巻き込むアニメーション作品が生まれていくためには	古川 タク	故宮博物院 名品への誘い 二、中国の工芸(琺瑯器)	松本 伸之
タイの版画の父	Yanawit kunchaethong	審査総評 人材を育成し、世界へ発信する芸術祭へ	伊藤 有壺	故宮博物院 名品への誘い 二、中国の工芸(漆器)	西岡 康宏
テネシー大学ノックスビル校	Beauvais Lyons	審査総評 完璧な「コピー」の中で、高度な物語が際立つ	押井 守	故宮博物院 名品への誘い 二、中国の工芸(染織)	小山弓弦葉
<b>文化財の保存・修復の半世紀</b>	<b>元興</b>	審査総評 年々進化を遂げる表現技法	杉井キサブロー	コラム1「清明上河図巻」の魅力―「清明上河図巻」と宋代の視覚文化―	塚本 鷹充
<b>寺文化財研究所創立45周年</b>	<b>元興</b>	審査総評 現実を凌駕するパワーを生み出すアニメ	氷川 竜介	清朝の礼制文化―悠久の伝統―	猪熊 兼樹
寺総合収蔵庫		審査総評 最新型のマンガ表現と、変化を続けるメディア芸術祭の未来	さいとうちほ	コラム2 乾隆帝小伝	塚本 鷹充
出土木製品	大国万希子	審査総評 他分野との境界を越える表現に	竹宮 恵子	清朝の文化事業―伝統の継承と再編―	川村 佳男
出土金属製品	山岡奈美恵	審査総評 人間の生きる方向を考えさせる作品が集結	細萱 敦	コラム3 三希堂と乾隆帝	富田 淳
土器・埴輪	江野 朋子	審査総評 選びきれぬ粒ぞろいの作品たち	みなもと太郎	清朝の宗教―チベット仏教がつなぐ世界―	松本 伸之
伝世資料	桃井 宏和	審査総評 多彩な作品群と今後が期待の海外作品	村上 知彦	清朝の国際交流―周辺国との交流―	塚本 鷹充
彩色資料	植田 直見				
記録資料	金山 正子				
開発・分析	川本 耕三				
<b>文化庁メディア芸術祭受賞作品展</b>					
<b>15回 国立新美術館</b>					
審査総評 すべてがメディアアートになる現代と2011年という節目	岡崎乾二郎			ペリーの顔・貌・カオ―「黒船」の使者の虚像と実像―	神奈川県立歴史博物館
審査総評 喪失から生まれた社会へのテーゼ	神谷 幸江			ペリー・イメージの成立と展開―画像資料を素材として	嶋村 元宏
審査総評 あらゆる事象の本質を問う3.11以降のアート	後藤 繁雄				
審査総評 技術に頼らず、表現の意味を問う深みを	関口 敦仁				
審査総評 テクノロジーの進歩によって新たな世界がひらかれる	原 研哉				
審査総評 支配的でもサロンのでもない、自由な表現の場から生まれるシーン	内山 光司				
審査総評 体験の共有をデザインするエンターテイメント	伊藤ガビン				
審査総評「ゲーム」と呼ばない時代が来る	岩谷 徹				
		<b>平家物語画帖</b>	根津美術館		
		根津美術館所蔵「平家物語画帖」と同工作品	松原 茂	<b>ベルリン国立美術館展</b>	学べるヨーロッパ美術の400年 国立西洋美術館他
		<b>北京故宮博物院200選</b>	日中国交正常化40周年 東京国立博物館140周年 東京国立博物館	ヨーロッパの絵画と彫刻：ルネサンスからロココまで	シュテファン・ヴェツペルマン 川合真木子 翻訳
		総論 故宮博物院の歴史と現在	鄭 欣森	珍品陳列室から王立美術館へ―ベルリンの絵画・彫刻コレクションをめぐる初期の歴史(1565-1830)	ルーベン・レーブマン 小林亜起子 翻訳
		一期一会―特別展「北京故宮博物院200選」の開催にあたって	西岡 康宏		
		故宮博物院 名品への誘い 一、中国の書画	富田 淳	「サンドロの友」の憂鬱、《フローラ》の涙	高梨 光正

オランダ絵画のパ ラドックスーレン プラントとフェル メール	尾崎 彰宏	コラム7 米国人 が見た刀剣という 文化	酒井 元樹	コラム1 京極氏 と関ヶ原の戦い・ 大阪の陣	〃
芸術的創意の宝庫 —ベルリン国立素 描版画館とイタリ ア素描コレクション —	ダグマー・ コルパッハ ー 高梨 光正 翻訳	「本の美」装幀と挿絵 小路実篤記念館	調布市武者	コラム2 藩主の 肖像	松岡 明子
イタリア素描の技 法さまざま	高梨 光正	「本の美」—装幀と 挿絵—	福島さとみ	コラム3 丸亀城 跡の構造について	東 信男
ポッティチェッリ の『神曲』素描にお ける煉獄イメージ	石澤 靖典	(マ行)		コラム4 丸亀城 京極家道具帳	御厨 義道
<b>法華経の世界</b> 神奈川県立金沢文庫		<b>マウリッツハイス美術館展 オラン ダ・フランドル絵画の至宝</b> 東京都 美術館他		コラム5 四目結 紋をめぐる	〃
法華経の世界	道津 綾乃	マウリッツハイス 美術館の歴史とコ レクション	レア・ファ ン・デア・ フィンデ	コラム6 大名の 旅	〃
法華経の歴史	〃	日々の暮らしに眼 を向けて—17世紀 のオランダ絵画	エブコ・ル ニア	<b>湖の船が結ぶ絆—天智天皇、信長の 大船—そして うみのこ—</b> 滋賀県 立安土城考古博物館	
法華経の研究	〃	ヨハネス・フェル メール作《真珠の 耳飾りの少女》— オランダのモナ・ リザ	カンタン・ ビュヴェロ アリアーネ ・ファン・ スヒテレン	琵琶湖の湖上交通 —古代から近世ま での舟運史—	太田 浩司
法華経の供養	〃	17世紀オランダ絵 画にみる「笑い」		コラム 信長の水 城	大沼 芳幸
<b>ボストン美術館 日本美術の至宝</b> 東京国立博物館他		17世紀オランダ絵 画を見る作法—人 生を映す鏡として の世界	岡 泰正	コラム 琵琶湖と 海を接続せよ！— 琵琶湖運河計画と 琵琶湖疏水—	辻川 哲朗
ボストン美術館— 東と西の架け橋	アン・ニシ ムラ・モー ス	<b>正岡子規と美術</b> 横須賀美術館		琵琶湖に浮かんだ 大船—天智天皇の 大御船・塩津の船 そして信長の大船 —	横田 洋三
ボストン美術館の 日本絵画コレクシ ョン—西欧に示さ れた日本美術の教 科書—	田沢 裕賀	写生随想	松井 貴子	丸子船	用田 政晴
特別寄稿 ポスト ン美術館の曾我蕭 白コレクションに ついて	辻 惟雄	<b>政宗見参！—仙台藩伊達家と宇和島 藩伊達家—</b> 宇和島市立伊達博物館		蒸気船から現代船 へ	福井 智英
コラム1 フェノ ロサと狩野派の画 家たち	井上 瞳	特筆 伊達政宗の 数寄風流	木村 宗慎	塩津港遺跡から見 る湊の繁栄	濱 修
コラム2 名品絵 画がよみがえる「日 本美術の至宝」修 復作業	フィリップ ・メレディ ス ターニヤ・ ウエダ	特筆 宇和島伊達 家の諱にみる仙台 伊達家との関わり について—宇和島 伊達家4代藩主村 年の諱の変遷を中 心に—	志後野迫希 世	琵琶湖舟運の南の 起点・大津	和田 光生
コラム3「吉備大 臣入唐絵巻」を読 む	金井 裕子	<b>祭 MATSURI—遊楽・祭礼・名所</b>		鉄道敷設と連絡船 の就航	太田 浩司
コラム4 祥啓筆 山水図と夏珪	救仁郷秀明	<b>日本の美・発見 VII</b> 出光美術館		琵琶湖観光と舟— 異世界への誘い—	大沼 芳幸
コラム5 大坂で 買いまくったアメ リカ人、世界に売 りまくった日本人 —フェノロサ、ピ ゲローと古美術商 ・山中—	知念 理	描かれた(祭)の盛 衰—聖地と悪所の 理想像	出光佐千子	うみのこ物語	阿刀 弘史
コラム6 ポスト ン美術館の二つの 山水図屏風	田沢 裕賀	都市と祭礼図—祇 園祭礼図の場合	廣海 伸彦	琵琶湖を駆けた伝 道船—ヴォーリス のガリラヤ丸—	〃
		<b>丸亀京極家—名門大名の江戸時代—</b> 香川県立ミュージアム		神仏を運ぶ船	山下 立
		丸亀京極家 —名 門大名の江戸時代 —	御厨 義道	琵琶湖の船は未来 への絆	大沼 芳幸
				船が運んだ石の文 化—近江における 笏谷石製造品—	山下 立

南九州とヤマト王権一日向・大隅の古墳— 大阪府立近つ飛鳥博物館

古墳からみた南九州とヤマト王権	白石 太一郎
もっと知りたい 円筒埴輪と壺形埴輪	市村 慎太郎
もっと知りたい 同範鏡と同型鏡	〃
もっと知りたい 埴輪製作技法の共通性	鈴 千夏
もっと知りたい 前方後円墳の築造企画	飯田 浩光
もっと知りたい 盾持人埴輪の意味	鈴 千夏
もっと知りたい 鉄器と朝鮮半島との交流	森本 徹
もっと知りたい 貝輪の来た道	関本優美子
もっと知りたい 初期須恵器の生産と流通	森本 徹
もっと知りたい 5世紀の甲冑の広がり	関本優美子
もっと知りたい 蛇行剣と鉄鏃	鈴 千夏
もっと知りたい 蒔屋北遺跡の馬の復元	森本 徹
もっと知りたい 文献に記された隼人	市本 芳三
付論 南九州とヤマト王権とのかかわりを考える 儀礼からみた横穴と地下式横穴	森本 徹
付論 南九州とヤマト王権とのかかわりを考える 南九州と近畿における馬の生産と埋葬	鈴 千夏
特別論考 南九州の古墳時代研究最前線 地下式横穴における埋葬原理と女性への武器副葬	犬木 努
特別論考 南九州の古墳時代研究最前線 地下式横穴墓とはなにか	橋本 達也

特別論考 南九州の古墳時代研究最前線 地下式横穴における埋葬原理と女性への武器副葬	吉村 和昭
MIHO GRANDAMA II 母なる方へ MIHO MUSEUM	母なる方へ
MIHO GRANDAMA II によせて	小山 弘子
慈母のなみだ	金子 直樹
聖なる女神たちの物語	東 容子
魅惑の白 天神萬古の世界 朝日町歴史博物館	朝日町歴史博物館
天神萬古について—四日市萬古との視点を中心に—	竹内 弘光
魅惑の日本の客船ポスター など博物館	横浜みなと博物館
日本の客船ポスターの変遷と展開	志澤 政勝
民俗の宝庫 三遠南信の発見と発信 柳田国男・折口信夫らによる調査研究のあゆみ 飯田市美術博物館	飯田市美術博物館
三信遠国境地帯の民俗と民俗学	福田アジオ
柳田国男・折口信夫の旅と民俗学	小川 直之
民俗雑誌『設楽』を作った人々	伊藤 正英
柳田国男と遠州	名倉慎一郎
三遠南信の祭り・民俗芸能の発見—その特徴と若干の課題—	櫻井 弘人
ムサビのデザイン II デザイナーアーカイブ50s-70s 武蔵野美術大学美術館・図書館	武蔵野美術大学美術館・図書館
デザインの時代—武蔵美とデザイナーアーカイブ	柏木 博
日宣美とシルクスクリーン・ポスター	今井 良朗
デザイン界事始め—1960年、世界デザイン会議	松葉 一清
日宣美と若き日を想う	田名網敬一

自分史のなかの「日宣美展」	小谷 育弘
近代椅子コレクションの三面図製作の授業の意図	島崎 信
50年代から70年代マガジndeザインの黄金時代—エディトリアルデザイン—の成立	寺山 祐策
夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化 神奈川県立歴史博物館	神奈川 県立歴史博物館
夢窓疎石と鎌倉	山家 浩樹
光明寺と二つの宝積寺	川本 慎自
夢窓疎石の頂相について	梅沢 恵
メグロアドレス—都会に生きる作家 目黒区美術館	目黒区美術館
メグロアドレスの考え方	石崎 尚
[Death Song][死の歌]	青山 悟
mental map studies	今井 智己
§ 作者の言葉 §	須藤由希子
えも言われぬ空間	長坂 常
今回の展示について	南川 史門
§ 作者の言葉 §	保井 智貴
制作と発表を切り分け、そのあと、もう一度ひとつにする	田中 功起
メトロポリタン美術館展 大地、海、空—4000年の美への旅 東京都美術館リニューアル記念 東京都美術館	東京都美術館
序論	ピーター・バーネット 中原 淳行 翻訳
自然をみつめて—レンズが捉えた世界のかたち	中原 淳行
毛利家の至宝 大名文化の精粹 サントリー美術館	サントリー美術館
大名毛利家 歴史と文化	その 柴原 直樹



私の雪舟、私の山水長巻	山下 裕二	やまとの地宝—遺物が語る奈良の歴史— 中国陝西歴史博物館「日本考古展」帰国記念奈良県立美術館	ゆく河の流れ 美術と旅と物語 栃木県立美術館
毛利家旧蔵の藁吾山吹蒔絵調度〔つわやまぶきまきえちょうど〕について	小池 富雄	日本の古代文明の揺籃 菅谷 文則	芸術家の旅—「ゆく河の流れ」展に寄せて 木村理恵子
モダンデザインの精華館	松本市美術館	弥生青銅器に魅せられた人々—その製作技術と祭祀の世界— 開館5周年記念 島根県立古代出雲歴史博物館	国立西洋美術館所蔵 ヨーロッパの近代美術 井原市立田中美術館他
デザインとの「出会い」……二つの椅子の思い出	竹内 順一	トピック 木製祭器の世界(南方済生会遺跡)	松方幸次郎と国立西洋美術館の近代美術コレクション 村上 博哉
「デザインとは何か」を知るために	橋本 優子	トピック 高坏土製品による溶解実験	よみがえる古代の煌き 副葬品にみる今城塚古墳の時代 今城塚古代歴史館
“モダン・デザイン”とポスター	細萱 禮子	トピック 三次元形状計測を用いた加茂岩倉銅鐸の検討	コラム 馬具の復元 塚本 敏夫
一日常の風景を変えたデザイン—	大島 浩	トピック 銅剣の研磨実験	コラム 甲冑の復元 北井 利幸
紅葉山御養蚕所と正倉院裂復元のその後 皇后陛下喜寿記念の丸尚蔵館	宮内庁三	コラム 分布図と密度分布 増田 浩太	コラム 大須二子山古墳出土甲冑 初村 武寛 小村 眞理
近代皇室と皇后さまのご養蚕	太田 彩	悠久の美—唐物茶碗から青銅器まで— 出光美術館	コラム 丸山塚古墳出土甲冑 “
あらたな使命と共に—平成の御養蚕所と皇后さま—	藤枝 貴和	『君台観左右帳記』—唐物荘嚴の手引き— 八波 浩一	コラム 坊主山一号墳出土胡籙 福山 博章
正倉院の染織品と模造事業	杉本 一樹	玉と青磁—青玉色へのあこがれ— “	コラム 寺口千塚三号墳出土胡籙 “
調純〔ちょうのあしぎぬ〕について	尾形 充彦	金銀象嵌饗餐文簋—清時代に生み出された復古青銅器— “	コラム 峯ヶ塚古墳出土甲冑 初村 武寛 小村 眞理
正倉院染織品に用いられた染料とその調査	中村 力也	古代中国の世界観—天地の象徴、璧と琮— “	III 解説・考察 6世紀前半の副葬品
紫地鳳唐草丸文錦の復元	尾形 充彦 田中 陽子	古代の陶器と青銅器—完成された造形美— “	III 1. 今城塚古墳出土馬具の調査と復元 塚本 敏夫
「春日権現験記絵」の修理事業—表紙裂と巻緒の復元	太田 彩	龍と鳳凰の源流—饗餐から龍・鳳凰へ— “	III 2. 今城塚古墳出土小札の構造と復元 初村 武寛 小村 眞理
森と湖の国フィンランド・デザイン時代を超える生活の中的美	サントリー美術館他	悠久の美をめぐって—唐物茶陶から青銅器まで— “	III 3. 今城塚古墳出土胡籙の調査と復元製作 福山 博章 小村 眞理 塚本 敏夫
フィンランド・ガラス・デザインの黄金時代	カイザ・コイヴイスト 佐藤 綾子 訳	幽霊・妖怪画大全集 美と恐怖とユーモア 福岡市博物館他	III 4. 今城塚古墳出土鉄籙の調査と復元製作 塚本 敏夫
フィンランドのガラス・デザインそれぞれの現場	土田ルリ子	幽霊画の成立と展開—応挙から観方まで— 中山喜一朗	III 5. 組紐の技術と復元 小村 眞理
(ヤ行)			頼朝と重源 東大寺再興を支えた鎌倉と奈良の絆 奈良国立博物館
柳宗悦と丹波の古陶館	兵庫陶芸美術館		総論 東大寺の鎌倉再興をめぐる信仰と美術 山口 隆介
柳宗悦と丹波焼の出会いから生まれたもの	松岡 千寿		源頼朝文書の自筆説を考える—平盛時の花押と筆跡を手掛かりとして— 林 譲

「大仏像寸法注文」と大仏蓮弁世界図の解釈をめぐる覚書	稲本 泰生	ある侯爵家の収集史	ヨハン・クレフトナー	(ワ行)	
東大寺僧の伊勢神宮参詣と中世的神仏習合	斎木 涼子	バロック：時代・社会・美術	千足 伸行	若狭を撮る 井田家所蔵古写真のまなざし	福井県立若狭歴史民俗資料館
大仏舎利のネットワークとしての三角五輪塔	内藤 栄	ブリュッゲルと一族の画家たち	森 洋子	総説 井田家所蔵古写真のまなざし(上)	垣東 敏博
(ラ行)		リヒテンシュタイン侯爵家コレクションの2人の偉大な立役者—カール・オイゼピウス侯とヨハン・アダム・アンドレアス1世侯	〃	総説 井田家所蔵古写真のまなざし(下)	〃
洛中洛外図屏風と風俗画 都市を描く—京都と江戸—第1部 国立歴史民俗博物館		デキウス・ムス連作—ルーベンス芸術のマニフェーション	宮島 綾子	井田米蔵氏の文化財へのまなざし—上田三平氏の日記『晝翁日記』から—	吉永 壮志
洛中洛外図屏風と風俗画	小島 道裕	龍泉窯青磁展 日本人の愛した中国陶磁 愛知県陶磁資料館他		井田家所蔵古写真のデジタル化について	垣東 敏博
歴博甲本に描かれた内裏	近藤 好和	龍泉窯青磁の展開	森 達也	早稲田をめぐる画家たちの物語 早稲田大学會津八一記念博物館	
舞踊に見る中世の黄昏、近世の曙光—洛中洛外図屏風歴博甲本に描かれる舞いと踊り—	松尾 恒一	楓洞岩窯址の性格について	沈 岳明	早稲田中学の文化的土壌	丹尾 安典
洛中洛外図と風俗画—近世初期風俗画の箱庭—	岩崎 均史	「官器」考—明時代龍泉窯官器の位置づけ—	小林 仁	早稲田をめぐる画家たちの物語のあらすじ	大島 幸代
胸中の都市—江戸名所の心理学—	井田 太郎	中国国内の龍泉窯青磁インパクト—福建地域の動向から—	徳留 大輔	清の絵を愛蔵した安藤更生	
人のいない都市図	大高 洋司	Relation 継がれるもの—語りえぬもの 武蔵野美術大学美術館		若き清と會津八一	
近世遺跡が語る江戸	岩淵 令治	創造的解釈行為としての「リレーション」	田中 正之	リーチさんの手紙	久保佐知恵 古俣 諒
リアル・ジャパネスク 世界の中の日本現代美術 国立国際美術館		ジャスパール・ジョーンズ—三十数年後の答	赤塚 祐二	遅咲きの画家	
ユニークさを求めて	中西 博之	鴨居玲	遠藤 彰子	清の油絵	
泉太郎		§作家の言葉§	〃	東洋の血 西洋の血	
大野智史		制作ノートについて	〃	生きるための絵 食べるための絵	
貴志真生也		麻生三郎と武蔵美	樺山 祐和	清の死	
佐藤克久		彼方のまなざし	小林 孝亘	トナリのオジちゃん小泉清のこと	石井 則孝
五月女哲平		「かげとかげり」を巡って語り継ぐこと	斎藤 國靖	八雲の肖像	
竹川宣彰		秋田蘭画(おくゆき)わたし	長沢 秀之	八雲一家	
竹崎和征		若林奮のこと	袴田京太郎	早稲田中学と巖	
南川史門		“クマガイモリカズ”について	丸山 直文	半調子[ドミ・トーン]の画家内田巖と《止水》	喜寿 孝臣
和田真由子		藤林叡三と私	水上 泰財	落合の画室と津田左右吉	
立体力 仏像から人形、フィギュアまで 札幌芸術の森				一念と會津八一の油絵制作	
日本における人体像の諸相	岩崎 直人			《増子喜一郎像》の行方	
リヒテンシュタイン 華麗なる侯爵家の秘宝 国立新美術館他				彝と「村莊雑事」	

わたしの句読点2 食いろいろ 東京イラストレーターズ・ソサエティのメンバーが描く たばこと塩の博物館

わたしの句読点2 和田 誠  
について

我ら明清親衛隊 大江戸に潜む中国ファン達の群像 板橋区立美術館

江戸における中国 安村 敏信  
画の影響

武家と南蘋派 佐々木英理子

作家展

(ア行)

鬚嘔 ふたたび虹のかなたに 東京都現代美術館他

誰かさんがファウストを揚げ物にした! エメット・ウィリアムス

72点のメモリー 鬚嘔

鬚嘔のエンヴァイラメントとフルクサス・インヴェント 由本みどり

虹のかなたに 前衛アーティスト、鬚嘔の仕事 西川美穂子

《田園》をめぐる 関 直子

会田誠 天才でごめんなさい 森美術館

いかにすれば世界で最も偉大な芸術家になれるか 会田 誠

混沌の日本の会田誠 片岡 真実

「戦争画 RETURNS」シリーズ 会田 誠

「大皇乃敵ル許曾死米」(戦争画 RETURNS) "

「一日一善!」(戦争画 RETURNS) "

「ミュータント花子」(戦争画 RETURNS) "

「たまゆら」(戦争画 RETURNS) "

「巨大フジ隊員 VS キングギドラ」 "

「日本に潜伏中のピン・ラディンと名乗る男からのビデオ」 "

「オルタナティブ人形劇団「劇団☆死期」」 "

「犬」シリーズ "

「アイデア」 "

「ポスター(全18連作)」 "

「新宿御苑大改造計画」 "

「新宿城」 "

「ロンリーブランネット」 "

「エア・プロナンシエーション・イズ・ロング」 "

「一人デモマシーン」 "

「ゲームの国」 "

「ハート」 "

「美学と哲学」シリーズ "

「河口湖曼陀羅」 "

「会田誠+21st Century Gardboard Guild モニュメント・フォー・ナッシング II」 "

「モニュメント・フォー・ナッシング III」 "

偽悪者・会田誠—日本美術史からの確信犯的引用について 山下 裕二

ものごとの表面—会田誠のドン・キホーテの世界 デヴィッド・エリオット

青木野枝 ふりそそぐものたち 豊田市美術館/名古屋美術館

§作家の言葉§ 青木 野枝

青木野枝インタビュー 北谷 正雄、角田美奈子聞き手

記憶に残るできごと 青木 野枝

作家のことは 青木 野枝 角田美奈子編

青木野枝の／への視座 北谷 正雄

ふりそそぐものたち—青木野枝の造形 角田美奈子

青山杉雨の眼と書 書の巨星と中国書画コレクション 東京国立博物館

中国文化への憧れと青山杉雨の書—中国書法を受容と展開 島谷 弘幸

青山杉雨の眼と書、そして素顔。 富田 淳 鍋島 稲子

朝井閑右衛門 横須賀美術館他

朝井閑右衛門の人と作品 石渡 尚

放浪者・朝井閑右衛門 杏沢 耕介

朝井閑右衛門の詩人・学者シリーズ 三谷 渉

吉本直子・久保健史・浅田暢夫 現代郷土作家 姫路市立美術館

§作家の言葉§ 吉本 直子

" " "

" " "

" " "

" " "

ワンダーランドと王様。 久保 健史

§作家の言葉§ " "

" " "

" " "

" " "

内包の布 空間の石 存在の写真 本丸 生野

阿部典英のすべて 北海道立近代美術館

私の原風景 阿部 典英

阿部典英、その創造のヒミツ 佐藤 友哉

ただものではない典英様 秋山祐徳太子

鼎談「ネエ、ダンナサン!」、美術家・阿部典英を語る 阿部 典英、奥岡 茂雄、吉田 豪介、佐藤 友哉 司会

洋画家尼谷良と日本画家本間秀岳 天童市美術館

突き詰めたマティ  
エール 尼谷良 池田 良平

肖像画から創像画  
へ 本間秀岳 //

荒谷直之介と水彩画 佐倉・房総ゆ  
かりの作家たち 佐倉市立美術館

昭和の水彩画家一  
荒谷直之介 木邨かおり

§作家の画業につ  
いて§ //

安藤正子—おへその庭 ハラドキュ  
メンツ9 原美術館

おへその庭—あち  
らとこちら 坪内 雅美

野に叫ぶ 飯野農夫也と奥久慈版画  
会 戦後復興と地方からの文化発信  
大子・街かど美術館

「野に叫ぶ 飯野  
農夫也と奥久慈版  
画会展」開催に寄  
せて 菊地 弘

地方からの文化発  
信、装置としての  
版画運動—飯野農  
夫也と奥久慈版画  
会 竹山 博彦

「西ノ内紙」につ  
いて 石井 聖子

新版画運動につ  
いて 飯野農夫也

飯野農夫也先生の  
めざしたものの 松崎 俊一

人間讃歌に行き着  
いた先生 志賀かう子

あとがきとして 飯野 道郎

石垣定哉 日動画廊他

夢なら正夢 石垣 定哉

深化する色彩世界 井上 隆邦

石元泰博写真展—桂離宮 1953,  
1954— 神奈川県立近代美術館(鎌  
倉)

「桂」誕生のとき 水沢 勉

石元泰博「桂離宮」  
1953—1954—自立  
する写真の力 是枝 開

伊勢崎淳・陶 大地の声を聴く 三  
越(日本橋)

備前陶芸史の王道  
をゆく造形の革新  
者 伊勢崎淳のプ  
リミティズムとモ  
ダニティ 外館 和子

磯野迪子展 LOOKING AT WINDO-  
WS LIXIL ギャラリー

§作家インタビュー 大橋 恵美  
—§ 聞き手

井田照一の版画 京都国立近代美術  
館

『京都国立近代美  
術館所蔵作品目録  
⑩ 井田照一の版  
画』への若干の脚  
註 河本 信治

私と版画制作との  
出会い 井田 照一

試論 井田照一の  
実践 木村 秀樹

落石計画 5期 銅版画試論—つく  
ること、ゆだねること—[井出創太  
郎/高浜利也] 旧落石無線送信所  
(現・池田良ニスタジオ)

社会へ介入し、版  
画を逸脱する思考  
と試行—「銅版画  
試論」をめぐる 石川 健次

「あざやか」の地平  
へ 井出創太郎

その先にある銅版  
画試論 高浜 利也

糸崎公朗作品展 盆栽×写真 VOL.  
2 大宮盆栽美術館

盆栽ツギラマ—糸  
崎公朗と盆栽— 依田 徹

稲員頼子展 北九州市立美術館

今までとこれから  
の永遠の想い 稲員 頼子

稲員頼子—気韻— 奥田亜希子

清親と安治—光線画の時代[小林清  
親/井上安治] 山口県立萩美術館  
・浦上記念館

光線画の時代 吉田 洋子

井上有一—日々絶筆・書の前衛アー  
ト— 軽井沢ニューアートミュージ  
アム

「井上有一—日々  
絶筆・書の前衛ア  
ート—」展への序 海上 雅臣

井上有一と「美術」  
—相反から再びの  
邂逅へ 栗本 高行

猪熊佳子 日本画展—煌めきの森へ  
— 高島屋(京都)他

§作家の言葉§ 猪熊 佳子

イ・ブル展：私からあなたへ、私た  
ちだけに 森美術館

私と宇宙のあいだ  
の何ものかを求め  
て 片岡 真実

メランコリック・  
エコー：イ・ブル  
の体内化[インコ  
ーポレーション  
ズ] リピット水  
田堯

崩壊したユートピ  
アの記憶 ウー・ジョ  
ンア

イ・ブルへのイン  
タビュー ニコラス・  
シャフハウ  
ゼン  
聞き手

十三代・十四代今泉今右衛門 色鍋  
島の粋 菊池寛実記念智美術館

伝統から創造、そ  
して発展—十三  
・十四代今泉今右  
衛門— 三輪 嘉六

色鍋島・今右衛門  
の伝統 今泉今右衛  
門(十四代)

追悼 岩崎巴人 富山県水墨美術館

「おどけ」と「常識  
外れ」と「祈り」—  
破格の画人を偲ぶ 横田 喬

巴人さんと私 長崎 莫人

巴人先生と水墨美  
術館 鈴木 博喬

松本清張作新聞連  
載「清張通史」挿絵  
原画について //

植木蒼悦展 没後30年 孤高にし  
て洒脱…(河童三味)の境地。 北海  
道立函館美術館

植木蒼悦「河童三  
味」の境地を巡つ 大下 智一

上島鳳山と大阪の日本画 笠岡市立  
竹喬美術館

鳳山絵画の魅力—  
官能表現の独自性  
をめぐる— 上菌 四郎

Chiyu Uemae 卒寿を超えて「上前  
智祐の自画道」 BB プラザ美術館

島文と私 上前 智祐

「具体」を超えて  
上前智祐 坂上義太郎

上前智祐 年譜 笹木 繁男  
編

あとがきにかえて ：上前智祐の自画 道	宮本亜津子
上村松園と鏑木清方	平塚市美術館
美人絵、近代美人 画、そして現代へ	草薙奈津子
「美」を求めた画家 ・上村松園	勝山 滋
「情」を求めた画家 ・鏑木清方—その 上村松園評をとお して—	宮崎 徹
上村松篁展 生誕110年記念	茨城 県天心記念五浦美術館
茨城県天心記念五 浦美術館 松篁展 よせて	上村 淳之
上村松篁の世界— (万葉の春)と(燦 雨)をめぐって—	鬼頭美奈子
江口週—漂流と原形—彫刻/デッサ ン 神奈川県立近代美術館(鎌倉)	
原形のあられ 江口週の出発をめ ぐって	水沢 勉
江口週—漂流と原 形「揺れ」を彫る ということ	是枝 開
榎本陽子 Project N 50 東京オペ ラシティアートギャラリー	
当事者になる鑑賞 者 榎本陽子の絵 画について	野村しのぶ
エル・グレコ展 国立国際美術館他	
詩学と宗教：エル ・グレコ、創意と 歴史のはざまに	フェルナン ド・マリー アス 川瀬 佑介 翻訳
日本とエル・グレ コ	孝岡 睦子
参考資料 エル・ グレコの書き込み	
クレタからイタリ ア、スペインへ— ある異邦人画家の 軌跡	ニコス・ハ ジニコラウ 大橋菜都子 翻訳
エル・グレコの肖 像画：いくつかの 新しい展望	リチャード ・L・ケー ガン 安来 正博 翻訳
エル・グレコと絵 画と集団記憶—《オ ルガス伯爵の埋葬》 —	フェリペ・ ペレーダ 久米 順子 翻訳

“奇人”[ピサーロ] エル・グレコ—ウ ィトルウィウスと ヴァザーリへの註 釈に見るその実像	ホセ・リエ ーリョ 松原 典子 翻訳
エル・グレコの絵 画様式をめぐって	レティシア ・ルイス・ ゴメス 豊田 唯 翻訳
エル・グレコの描 いた女性たち：そ れは不在の肖像か ？	マリア・ク ルス・デ・ カルロス・ パローナ 諸星 妙 翻訳
祭壇衝立”建築家” [アルキテクト]エル ・グレコ—その 尽きぬ魅力—	ホアキン・ ベルチエス 楠根 圭子 翻訳
マックス・エルンスト—フィギュア ×スケープ 横浜美術館他	
マックス・エルン ストの「フィギュ アスケープ」をめ ぐるノート	中村 尚明
偽史としてのフィ ギュア×スケープ	副田 一穂
Aloha Amigo! フェデリコ・エレ ロ×関口和之 金沢21世紀美術館	
〈対談〉フェデリコ ・エレロ×関口和 之	フェデリコ ・エレロ 関口 和之 関き手 村田 大輔 構成
愛される楽器、ウ クレレとは〜ウク レレのいくつかの 特徴〜	関口 和之
Aloha Amigo の航 海を振り返る	藤本 美和
Aloha Amigo を彩 るものたち	川岸真由子
Aloha Amigo とい うコスモス—音と 色と優しさ	村田 大輔
iwate コンテンポラリーアート[及 川修次/橋本尚恣/舞良雅子/山本 英二] 萬鉄五郎記念美術館	
日常のなかに在る もの	平沢 広
人間国宝大坂弘道展 正倉院から甦 った珠玉の木工芸 練馬区立美術館	
大坂弘道の木工芸	加藤 陽介

「ダイアグラム教育」展 武蔵野美術 大学のデザイン教育アーカイブ 太 田徹也の教育の軌跡—明日を予測す る情報のカタチとデザイン 武蔵野 美術大学美術館	
第三の記号「ダイ アグラム」	太田 徹也
アートディレクター太田英茂の仕事 長野県信濃美術館	
わが師太田英茂先 生	桜井 佐七
宣伝の本義—太田 英茂の思想と行動	森 仁史
花王時代あとさき	太田 英茂
広告の良心、デザ インの良心	渡辺 美保
大辻清司フォトアーカイブ 写真家 と同時代芸術の軌跡1940—1980 武蔵野美術大学美術館	
大辻清司アーカイ ブの実現	柏木 博
大辻清司フォトア ーカイブ宣言—本 展の構成について —	大日方欣一
モジもじ文字[大原大次郎/鳥海修 /平野甲賀] 武蔵野市立吉祥寺美 術館	
はじめに 文字、 三者三様。	関 香澄
インタビュー 平 野甲賀 かつこよ くない文字	林 さやか インタビュー アー
インタビュー 鳥 海修 あるべきス タイルで書かれた 文字	”
嵯峨本フォントプ ロジェクト	永原 康史
インタビュー 大 原大二郎 名前の つけられていない 文字	林 さやか インタビュー アー
大巻伸嗣 存在の証明 彫刻の森美 術館	
インタビュー	大巻 伸嗣
大藪雅孝—気韻生動—画業50周年 山陽百貨店他	
ごあいさつ	大藪 雅孝
大藪雅孝展に寄せ て	千足 伸行

記憶の島 岡本太郎と宮本常一が撮った日本 川崎市岡本太郎美術館	《Mr. Xとは何か?》 [資料編]	柏原えつとむ	りんこ日記 Rinko Diary 2012	川内 倫子
ふたつの「眼の体力」をめぐる：岡本太郎と宮本常一 戸田 昌子	北斎一風景・美人・奇想―[葛飾北斎] 大阪市立美術館	秋田 達也	川上澄生と棟方志功とゴッホの対決 川上澄生美術館	
普通の人々の創造力―岡本太郎と宮本常一の眼差しの先にあるもの 仲野 泰生	大阪と北斎 北斎の大阪の弟子たち	北川 博子	川上澄生と棟方志功 原田 敏行	
岡本太郎の撮影スタイル 安藤 孝裕	読本挿絵における北斎と上方絵師の交流	中野 志保	川島清 路傍ノート3 ギャルリ一東京ユマニテ	
小川芋銭展―震災後の眼で、いま一茨城県近代美術館	悠久の宙 金森良泰展 高島屋(日本橋)	高島屋(日本橋)	§ 作者の言葉 § 川島 清	
自然の客人、小川芋銭 市川 政憲	ごあいさつ 金森 良泰		川瀬表完<漆>・堀尾泰彦<陶>二人展 高島屋(日本橋)	
芋銭愛好 小泉 淳一	日本の印象派 金山平三 移りゆく時間の中で描く日本の風景 兵庫県立美術館他	兵庫県立美術館他	ごあいさつ 川瀬 表完	
小川芋銭の作品 主題と画賛の一考察 舟木 力英	金山平三の芸術―さらに、謎として	西田 桐子	” 堀尾 泰彦	
芋銭と『老子』 今瀬 佐和	画家・金山平三の土台形成に関わる3つのこと 少年期、東京美術学校、そして渡欧経験	萬木 康博	河鍋暁斎 生誕180年記念 權舟三郎コレクション 古美術 長野	
小沢剛 あなたが誰かを好きなように、誰もが誰かを好きに、誰もが誰かを好きに 豊田市美術館	金山平三と印象派 帝展時代の金山平三	水木 祥子 相良 周作	權舟三郎コレクション「暁斎」展に寄せて 河鍋 楠美	
「ふとん山」のふもとから、ひと夏の終わりに 都筑 正敏	金重有邦 生まれくるもの 実記念智美術館	菊池 寛	現代に甦る『超絶技巧』と『江戸の心』 權 舟三郎	
小野佐世男―モガ・オン・パレード 川崎市岡本太郎美術館	現代の備前焼―金重陶陽、素山そして有邦一	林屋 晴三	川俣 正 Expand BankART Bank-ART Studio NYK	
マリリンが会えなかった男 村田慶之輔	金重有邦私記	中野 徹	発刊によせて 川俣 正	
時代を駆けぬけた父・小野佐世男 小野 耕世	金重有邦陶概観―十年の創意	花里 麻理	§ 作家のことば § ”	
小野佐世男 イメージの反覆について 足立 元	加納光於展 Fuji Xerox Art Space		BankART での制作 ”	
夭折の画家小野元衛 1919-1947 神奈川県立近代美術館(鎌倉別館)	滴りと瞬き 加納光於の「版」についての断章	水沢 勉	Kawamata school again 1 「80年代初期 part 1」 安斎 重男	
貝の火 小野元衛という画家について 水沢 勉	上村松園と鏑木清方 平塚市美術館		Kawamata school again 2 「ボスを語る」 PH スタジオ 村田 真司	
小野元衛のこと 志村ふくみ	Rinko Kawauchi 川内倫子 照度 あめつち 影を見る 東京都写真美術館		Kawamata school again 3 「80年代初期 part 2」 山野 帯金、章郎、正木 基真、村田 司会	
オノサト・トシノブ 生誕100年 大川美術館	川内倫子インタビュー 時間と記憶へのオブセッション	石田 哲朗 聞き手	Kawamata school again 4 「川俣正が語る」 川俣 正	
オノサト・トシノブと差異 本江 邦夫	対談 「中間」のなかで生まれてくるもの 川内倫子×イケムラレイコ	川内 倫子 イケムラレイコ	Kawamata school again 5 「ルーズヴェルト・アイランド」 川俣 正 加藤 義夫	
オノサト・トシノブ 人と作品 小小木美代子	対談 呼吸する写真 川内倫子×鶴岡真弓	川内 倫子 鶴岡 真弓	Kawamata school again 6 「コールマイン田川」 川俣 正 山野 真悟	
(カ行)	テキスト 天地の間―川内倫子論	石田 哲朗	Kawamata school again 7 「横浜トリエンナーレ2005」 川俣 正 横トリ2005 サポーター	
〈私〉の解体へ：柏原えつとむの場合 国立国際美術館				
〈私〉の解体へ 柏原えつとむの場合 橋本 梓				

Kawamata school again 8「美術館での展開」	川俣 正 森 司	加島虎吉が経営する〔至誠堂〕の出版物	和田佐知子 編	「立像(ギリヤーク 尼崎)」	〃	
Kawamata school again 9「工事中」	川俣 正 北川フラム	木田安彦 祈りの道	池田20世紀美術館	「待つ人II(I氏母 堂)」	〃	
Kawamata school again 10「東京芸大同窓会」	川俣 正 東京芸大同窓生	木田安彦「祈りの道」をたどって	村田慶之輔	「追憶IV(和嶋せい) い)」	〃	
Kawamata school again 11	川俣 正 ジル・クデール	北井一夫 いつか見た風景	東京都写真美術館	「憧憬III(川端きん) ん)」	〃	
川村清雄 維新の洋画家	江戸東京博物館他	道を横から撮る— 北井一夫の写真について	増田 玲	「作家の言葉 \$ 送る言葉 無意の姿」	〃	
特別寄稿 歴史のなかの川村清雄	高階 秀爾	普通の生活	藤村 里美	「告発」	〃	
《ヴェニス図》と川村清雄の油画技法	歌田 真介	吉川靈華 近代にうまれた線の探求者	東京国立近代美術館	「祈り」とはいったい何なのか	木下 晋 山折 哲雄 対談	
慶応戊辰の川村家—川村清雄 画家の魂の原点—	落合 則子	吉川靈華について	鶴見 香織	見えない皺を描く	木下 晋 草薙奈津子 対談	
ヴェネツィア美術学校学籍簿—川村清雄のイタリア留学時代(一八七六—一八八—)の考察—	ダニエレ・ラウロ	\$ 作家の言葉 \$	木下 晋	笑う魚 金城次郎 生誕100年	那覇市立壺屋焼物博物館	
日比翁助と川村清雄—土魂商才の経営者と和魂洋才の油絵師—	田中 裕二	〃	〃	金城次郎について	倉成 多郎	
川村清雄作品における「時」の表現について	堀切 正人	「天空之扉下絵(湯殿山注連寺天井画)」	〃	石に描かれた鳥たち ジョン・グールドの鳥類図譜	玉川大学教育博物館	
聴く 歴史画—《建国》《振天府》の聴覚的モチーフについて	村上 敬	木下晋 祈りの心	土方 明司	ジョン・グールドと鳥類図譜	黒田 清子	
文書釈文二(欧文)	田中 裕二 ダニエレ・ラウロ	「無心(桜井哲夫)」	木下 晋	図譜に描かれた鳥たち—描写の工夫と各図譜にみる絵の変遷	〃	
もうひとつの川村清雄展—加島虎吉と青木藤作・二つのコレクション—	目黒区美術館	\$ 作家の言葉 \$	〃	草間彌生 永遠の永遠の永遠	国立国際美術館他	
目黒区美術館と川村清雄の作品	山田 敦雄	「徘徊(母・木下セキ)」	〃	永遠の永遠の永遠	草間 彌生	
青木藤作と川村清雄	長井 裕子	「立像(母・木下セキ)」	〃	みんなのアヴァンギャルド	建畠 哲	
装幀意匠家・川村清雄『新小説』の表紙絵を中心に	岩切信一郎	「21歳の闇(娘・木下麗子)」	〃	永遠の道程—草間彌生のゼロ年代絵画を巡って—	安来 正博	
川村清雄が関わった装幀の仕事—書籍装幀・雑誌表紙絵	和田佐知子 編	「トラの願望II」	〃	花園に舞う永遠の魂	澁田見 彰	
「加島コレクション」から見えてくるもの	降旗千賀子	「鮭」	〃	吉本直子・久保健史・浅田暢夫 現代郷土作家	姫路市立美術館	
		「正眼(義姉・三枝)」「掌握(義姉・三枝)」	〃	スイスの絵本画家 クライドルフの世界[エルンスト・クライドルフ]	Bunkamura ザ・ミュージアム他	
		「視る」	〃	エルンスト・クライドルフと絵本	ローラント・シュタルク 高橋 文子 翻訳	
		\$ 作家の言葉 \$	〃			
		闇から光へ	江尻 潔			
		\$ 作家の言葉 \$	木下 晋			
		「S氏像(洲之内徹)」	〃			
		「職人C」	〃			

画家としてのエルンスト・クライドルフ	バルバラ・シュタルク 高橋 文子 翻訳	空間から／空間へ—葉山のなかの桑山忠明	水沢 勉	本プロジェクトの性格と地域連携	李 美那
コラム 1	皆川 明	「桑山忠明展 HAYAMA」プロジェクト・ノート	三本松倫代	<b>ゴッホ展</b> ハウスステンボス美術館他	
コラム 2	武井 利喜	溪斎英泉 千葉市美術館		写実主義からモダニズムへ—ファン・ゴッホとパリのアヴァンギャルドとの出会い	ルイ・ファン・ティルボルフ 有川 幾夫 訳
操上和美—時のポートレイト	ノス	溪斎英泉私感	小林 忠	何に描かれたのか?	石川 哲子 訳
タルジックな存在になりかけた時間。		英泉における北斎慕倣	大久保純一	どのように描き始めたのか?	塩島 明美 訳
東京都写真美術館		英泉という絵師—魅力の理由と実像	田辺 昌子	絵の下に何が?	尾崎 真人 訳
歓喜と哀しみ—操上和美の写真	椎名 誠	溪斎英泉が描いた京町一丁目「姿海老屋」の人事異動	日比谷孟俊	どんな色だったのか?	石川 哲子 訳
ノスタルジックな存在になりかけた時間。	丹羽 晴美	青色着色料「ペロ藍」の導入に—役買った溪斎英泉—本藍からペロ藍の時代へ—	下山 進	いつ描かれたのか?	尾崎 真人 訳
クリムト 黄金の騎士をめぐる物語		コラム 「浮世風俗美女鏡 一双玉手千人枕」	浅野 秀剛	描かれたパリの屋根は?	塩島 明美 訳
生誕150年 愛知県美術館他		コラム 溪斎英泉が活躍した頃の化粧文化の流行を見る	村田 孝子	誰を描いたのか?	有川 幾夫 訳
黄金の騎士をめぐる物語	古田 浩俊	コラム 狂歌摺物の絵と歌	小林ふみ子	どこを描いたのか?	尾崎 真人 訳
クリムトの《黄金の騎士》と1903年前後に描かれた寓意画	マリアン・ビザンツ=ブラッケン	コラム ゴッホと英泉作「雲龍打掛の花魁」	及川 茂	飛んでいる鳥は?	石川 哲子 訳
「かつて画家の絵筆が描き出した最も不快で嘔吐をもよおすフォルムと事物」グスタフ・クリムトのペート—ヴェン・フリーズ	シュテファン・コーヤ	コラム 「美人東海道」の版下絵	浅野 秀剛	フィンセント・ファン・ゴッホ 年譜	ルイ・ファン・ティルボルフ 村山 智子 訳
「日本」(ジャポン)—グスタフ・クリムトの「ジャポニスム」	ヨハネス・ヴィーニンガー	コラム 馬琴と英泉	服部 仁	<b>ひそやかな眼差し</b> 小林且典 静岡市美術館	
黒木国昭 ガラス作品展 高島屋(日本橋)		小泉癸巳男 昭和震災復興記念 大東京百図絵展 信州新町美術館30周年記念企画展 信州新町美術館		「気配」と「たたずまい」—小林且典 岡田 温司 への手紙	
ごあいさつ	黒木 国昭	復興の風景—小泉癸巳男の《昭和 大東京百図絵》	山田 俊幸	ひそやかなものたち	以倉 新
Venanzo Crocetti ヴェナンツォ・クロチェッティ 彫刻の森美術館他		小泉癸巳男「昭和 大東京百図絵」再検証	前澤 朋美	制作技法について	伊藤 鮎
巨匠(マエストロ)の工房にて	アンナ・インポネンティ	Two Times ふたつの時間 アントニー・ゴームリー—彫刻プロジェクト in 葉山 神奈川県立近代美術館(葉山)		清親と安治—光線画の時代[小林清親/井上安治] 山口県立萩美術館・浦上記念館	
ヴェナンツォ・クロチェッティの芸術—過去との対話、未来へのまなざし—	上村 清雄	アントニー・ゴームリー: TWO TIMES—ふたつの時間	アントニー・ゴームリー	ART TODAY2012 弁明の絵画と小林正人 セゾン現代美術館	
桑田三舟 躍動する線と空間の美 ふうやま書道美術館		複数の時間 プロジェクトを振り返って	水沢 勉	弁明の絵画	難波 英夫
桑田三舟のかな芸術—生活に即したかなを求めて—	西嶋 慎一			作家の言葉	小林 正人
桑山忠明 HAYAMA 神奈川県立近代美術館(葉山)				小村雪岱 大正・昭和のグラフィックデザイン ニューオータニ美術館	
				小村雪岱についての一考察	家田 奈穂
				雪岱の「装幀」を考える	平田 雅樹
				「雪岱装幀本リスト」覚書	〃



(サ行)

斎藤國靖 〈仮説〉としての絵画 武蔵野美術大学美術館

- 退任記念展の開催にあたり 斎藤 國靖
- 「絵画についての絵画」と「仮説としての現実」 田中 正之
- 油絵学科絵画組成室による模写展 斎藤 國靖
- 絵画制作と技法研究の40年をふりかえる //

斎藤芽生 野火賊、夜光族 ギャラリー・アートアンリミテッド

- 野火賊、夜光族 齋藤 芽生
- 火姫遊 //
- 修羅浜 //
- 奈落会 //
- 鶴来野 //
- 野篁駅 //
- 『自由』と『情炎』 //
- 『野火賊』と『夜光族』 //

斎藤義重 1980年代以降を中心に 千葉市美術館

- 1980年代以降の斎藤義重 藁科 英也

佐伯祐三とパリ ポスターのある街角 大阪市立近代美術館(仮称)心斎橋展示室

- 1924/28年、パリの佐伯祐三—大通り(ブルヴァール)と横丁(パサージュ) 熊田 司
- 佐伯祐三が見たパリのポスター 富田 章
- 壁と線—佐伯祐三の「パリ」に見るもの 高柳有紀子

榊莫山展 詩書画が紡ぐ風雅の世界 受贈記念 三重県立美術館

- 生動する韻—書から詩・書・画一如へ 木村 重信
- 遺作展によせて—父のこと母のこと 榊 せい子

彫刻家佐藤忠良展 「人間」を探求し つづけた表現者の歩み 生誕100年 佐川美術館他

- 追悼 私の中的彫刻家 王 貞治
- 追悼 佐藤先生のあしあと 安野 光雅
- 追悼 アトリエの国語辞典 山根 基世
- 追悼 佐藤さんの「手」 澤地 久枝
- 佐藤忠良のリアリズムとヒューマニズム—「その時代に生きていること」の表現を求め続けて— 三上 満良
- 彫刻家の言葉と美術館の使命 井上 英明
- 佐藤忠良の精神を受け継ぐために 佐藤忠良記念子どもアトリエの試み 吉崎 元章
- 彫刻家・佐藤忠良と旭川市民実行委員会 井内佳津恵

佐藤翠 Project N 48 東京オペラシティアートギャラリー

- クローゼットの至福—佐藤翠の世界 堀 元彰
- 沢宏朝 湖北の画人 没後30年 長浜城歴史博物館
- 沢宏朝の生涯 森岡 栄一

Lineament Hiraki Sawa [さわひらき] 資生堂ギャラリー

- 円を描く トム・モートン

椎名純子 大地の棲家 人はなぜこのように棲むのか 武蔵野美術大学美術館

- 展覧会によせて ヴァナキュラーからのまなざし 長谷川 堯
- 対談 快適性と安全性を求めて 自然と人間の関わり 椎名 純子 大山由美子
- 展覧会によせて 調査旅行同行記断簡 小石 新八
- 対談 フィールドワーク・「環境」で育まれること 椎名 純子 森 豪男

国際交流・ワークショップ アジア・アメリカにおける空間演出デザインの交流 自然と人間の関係性の検証

- 椎名ゼミ・学生作品『自然と人間』
- 椎名ゼミ・学生作品 卒業制作作品「残像」 関 泰良
- 椎名ゼミ・学生作品 卒業制作作品「卒業コレクション」 笹川 春之
- 椎名ゼミ・学生作品 卒業制作作品「食卓」 小柴芙美子
- 椎名ゼミ・学生作品 卒業制作作品「良質なコミュニケーションとしての道具」 濱嶋 卓也
- 椎名ゼミ・学生作品 卒業制作作品「One and Only」 田嶋 浩明
- 椎名ゼミ・学生作品 卒業制作作品「無題」 中西 泰代

共同研究・プロジェクト 国内外合同授業

- 2001年度 共同研究「狭小空間・HUT-1」と環具の関わり 社会対応性・機能性・技術・形の研究

2003年度 共同研究「狭小空間・HUT-2」の研究 空間の家具化/ノックダウンシステムの可能性

共同研究・プロジェクト 2006年度 ODCD (Oriental Domestic Culture & Design) テーマ「水空間」

2007年度 ODCD (Oriental Domestic Culture & Design) テーマ「生活に水を取り入れる蛇口とその空間の提案」

篠山紀信 写真力 熊本市現代美術館他

- 篠山紀信の写真の世界 桜井 武

平成24年美術展覧会図録所載文献(作サ行)

駆動する永久機関 篠山紀信の戦い	福士 理	得体の知れないもの—インタビューを終えて	平野 到	鈴木淳 なにもない、ということもない 21世紀の作家—福岡10回 福岡市美術館	
「写真力」の凄み	桐原 浩			なにもない、ということもない	鈴木 淳
篠山紀信インタビュー—写真力をめぐって	河尻 亨一 インタビュー・構成	清水由朗—風の道— 他	高島屋(大阪)	§作家の言葉§	清水 由朗
ZESHIN 柴田是真の漆工・漆絵・ 絵画 根津美術館		マルク・シャガール 愛をめぐる追 想 岡山県立美術館他		§作家の言葉§ (「IE」—家・家屋 ・家族・家庭・家 系・家制度)	〃
柴田是真—時代と 文明の越境者	佐藤 道信	愛する魂の形につ いて—シャガール の絵画世界	鍵岡 正謹	§作家の言葉§ (侵入・介入・再 構築)	〃
二つの業平時絵硯 箱—模造制作の歴 史の一コマ	室瀬 和美	シャガール芸術に おけるアイコンの影 響について	橋村 直樹	§作家の言葉§ (パフォーマンス とコラボレーショ ン)	〃
柴田是真の漆絵	多比羅菜美 子	シャルダン—静寂の巨匠— 号館美術館	三菱一	§作家の言葉§ (「short short」— 多様化する表現)	〃
評伝 柴田是真— その生涯と芸術	高尾 曜	はじめに—東京に おける初のシャル ダン回顧展に寄せ て	高橋 明也	§作家の言葉§ (歴史へのアプロ ーチ)	〃
与えられた形象 辰野登恵子/柴田 敏雄 国立新美術館		シャルダン、制作 と魅力の秘密	ピエール・ ローザンベ ール 大野 芳材 翻訳	§作家の言葉§ (写真とテキスト)	〃
与えられた形象— 序論	南 雄介	シャルダンとその 時代—静物画を中 心に	大野 芳材	§作家の言葉§ (「だけなんなん/ so what?」とその 展開)	〃
偶然と必然、選択 と創造—コスモス ・ファクトリーか ら国立新美術館ま で—	辰野登恵子 柴田 敏雄	日本におけるシャ ルダン受容史	安井 裕雄	§作家の言葉§ (収集)	〃
辰野登恵子 その 展開についての記 述の試み	南 雄介	YASUO JOH[城康夫] あるがまま の彼方に 高島屋(難波)他		§作家の言葉§ (複数のコンセプ トによる複数の表 現)	〃
柴田敏雄の写真	宮島 綾子	城康夫の毬栗につ いて	本江 邦夫	鈴木淳の表現— 2012年までのあゆ みと「なにもない、 ということもない」	山本香瑞子
柴田昌一—版画 ヒロシマ資料より ギャラリー志門		寺尾勝広・新木友行・湯元光男 ア トリエインカーブ3人展 東京オ ペラシティアートギャラリー		鈴木竹柏展—気・韻— 高島屋(横 浜)他	
ヒロシマがいま世 界に語るもの—鎮 魂と人間原罪と時 代精神の新しい構 図—	赤津 侃	一つの世界、もう 一つの夢—寺尾勝 広・新木友行・湯 元光男	堀 元彰	§作家の言葉§	鈴木 竹柏
「版画工房“7”」 から「版17」まで— 神奈川の版画の動 きと柴田昌一のか かわり—	藤嶋 俊會	10年目の展覧会	今中 博之	鈴木力 イタリアの詩 池田20世紀 美術館	
二つのこと	柴田 昌一	杉本貞光陶展 喜寿記念 高島屋 (日本橋)		§作家の言葉§	鈴木 力
渋谷栄一—陶モノクロームモノ ローグ— LIXIL ギャラリー		ごあいさつ	杉本 貞光	須田国太郎展—光と影の生命(いの ち)—没後50年に顧みる 神奈川 立近代美術館(葉山)他	
CERÁMICA IN- TERVIEW	渋谷 英一 大橋 恵美 インタビュー	ヘンリー杉本とその時代 和歌山市 立博物館		追憶	須田 寛
清水晃 漆黒の彼方 埼玉県立近代 美術館	埼玉県立近代	ヘンリー杉本とそ の時代	山下奈津子	画家の横顔	松居 直
降臨する原風景	建畠 哲	ヘンリー杉本談・ 絵画について		須田国太郎 写真 と理想を求めて	橋 秀文
清水晃インタビュー	平野 到 聞き手			須田国太郎の京都	尾崎 真人

須田国太郎の光輝表現—動物は逆光に息づくのか— 二木伸一郎  
 画で立つまでの須田国太郎—深田康算との関係から 井野 功一  
 山陰の風景—「隠国」の世界観— 左近充直美  
 資料紹介「欧州での都鳥英喜との交流を中心に」 林野 雅人

スタジオ・ムンバイ 「夏の家」についての覚書 東京国立近代美術館

そこにあるものから何を学ぶのか—観察とつくること 柴原 聡子  
 「夏の家」よせて ヒジヨイ・ジェイン

連続レクチャーシリーズ「青空教室」—考える、つくる、動く、またつくる 連続レクチャーシリーズ「青空教室」について 柴原 聡子

連続レクチャーシリーズ「青空教室」—考える、つくる、動く、またつくる 第1回 動く「動く、仮の家」坂口恭平+中谷礼二+牧紀男

連続レクチャーシリーズ「青空教室」—考える、つくる、動く、またつくる 第2回 考える「家の条件、人間の生きる場所の条件」塚本由晴+藤森照信+後藤治

連続レクチャーシリーズ「青空教室」—考える、つくる、動く、またつくる 第3回 つくる「建築に造り方」内田祥哉+高橋桃一+戸田穰

須田悦弘展 千葉市美術館  
 インタビュー：須田悦弘—空間をとらえること 水沼 啓和 聞き手

Aloha Amigo! フェデリコ・エレロ×関口和之 金沢21世紀美術館

関口正浩 Project N 49 東京オペラシティアートギャラリー

関口正浩 絵画の蘇生法 福士 理

ニョロの森 関野宏子の世界 横須賀美術館

関野宏子インタビュー 中村 貴絵

セザンヌ パリとプロヴァンス 国立新美術館開館5周年 国立新美術館

セザンヌ—パリとプロヴァンス ドニ・クタンニユ 小泉 順也 翻訳

セザンヌにとっての芸術のバリ マリリーヌ・アサンテ・デイ・パソツィエロ 石谷 治寛 翻訳

セザンヌからマテイイスへ—《3人の水浴の女たち》を手がかりに 長屋 光枝

セザンヌの岩石画をめぐる 工藤 弘二

解剖と変容 アール・ブリュットの極北へ チェコの鬼オルボシュ・ブルニーとアンナ・ゼマーンコヴァー 兵庫県立美術館他

解剖学的変容 バルバラ・シャファー・ジョヴァー

ルボシュ・ブルニー—解剖学[アナトミー]のレッスン //

チェコのアール・ブリュット バルバラ・シャファー・ジョヴァー・テレジェ・ゼマーンコヴァー

アンナ・ゼマーンコヴァーの豊かなる開花 テレジェ・ゼマーンコヴァー

アール・ブリュットの現在—チェコから日本へ 服部 正

(タ行)

高橋由一 近代洋画の開拓者 東京藝術大学大学美術館他

高橋由一の絵画世界、あるいはリアリズムの射程 古田 亮

落石計画 5期 銅版画試論—つくること、ゆだねること—[井出創太郎/高浜利也] 旧落石無線送信所(現・池田良ニスタジオ)

高嶺格のクールジャパン 水戸芸術館現代美術ギャラリー

クールダウン、クールジャパン 吉岡 洋

3.11からクールジャパンへ 高嶺 格

クールジャパンに住むある外国人 イーデン・コーキル

高嶺格のふたりの娘とひとりの息子への手紙 高木 瑞木

高山辰雄展 生誕100年記念 大分市美術館他

前半期 (1934—1968)の高山芸術 大神 健二

後半期 (1970—2007)の高山芸術 吉田浩太郎

高山辰雄 文藝春秋表紙絵 限りなき時の中に 大分県立芸術会館

廻る四季 高山由紀子

絵画の先に在るもの 福島 昌子

限りなき時の中に 浅木 正勝

滝沢具幸—地のうた— 飯田市美術館 博物館

顔料(物質)が生み出す心地良さ 柏木 博

竹内栖鳳—京都画壇の画家たち 山種美術館

教科書に載らない実力派、竹内栖鳳について 山下 裕二

新しきもの、古いもの—竹内栖鳳の造形的源泉— 三戸 信恵

竹久夢二と静岡ゆかりの美術 静岡市美術館

“志田コレクション”竹久夢二—その成立過程を巡って 森谷 紗世

中川雄太郎の画業—静岡の創作版画の中で 吉田 恵理

平野富山の彩色木彫 //

与えられた形象 辰野登恵子/柴田敏雄 国立新美術館

平成24年美術展覧会図録所載文献(作タ行)

建畠大夢 没後70年 和歌山県立近代美術館 大夢についての覚書	田中秀穂さんとの30年	笹山 央	彫刻への「当惑」— 棚田康司のひとつの回答	小野 寛子
田中敦子—アート・オブ・コネクティング 東京都現代美術館 ネットワークの絵画—かくも予言的な	触覚のシャーマン—ファイバー・アーティスト、田中秀穂の思想と軌跡	新見 隆	《たちのぼる—少年の場合》のように	岡本 梓
田中敦子の「絵」—《作品》(ペル)から透視する	教育(造形の基礎) テキスタイルにおける触覚のビジュアル化	田中 秀穂	田淵俊夫展 いのちの煌めき 名古屋市美術館他	名古
田中敦子:魂のカリグラフィー	教育(造形の基礎) 視覚と触覚—触ることから始めよう	榎本 寿紀	画業をふりかえって	田淵 俊夫
より広い視野へ	教育(造形の基礎) 課題で応援	鈴木 純子	「流転」、「刻」田淵俊夫の芸術世界	神谷 浩
田中恭吉展 生誕120年記念 和歌山県立近代美術館	教育(テキスタイルの専門性) 技術を越えて—独自の創造性を育てる教育	下重 泰江	「濃尾平野」作品解説	田淵 俊夫
序にかえて—世紀を隔てて見る田中恭吉の芸術	教育(テキスタイルの専門性) 人間・社会・環境—思想を持つテキスタイルの為に	榎本 寿紀	「尾州八題之内岩屋堂」作品解説	〃
第一章 東京美術学校入学まで 一九〇九—一九一三	社会 EN-VIRONNEMENT	田中 秀穂	「尾州八題之内長久手」作品解説	〃
第二章 夢の周辺、回覧雑誌『密室』 一九一三—一九一四	社会 卒業生との草の根運動—TODAY'S ART TEXTILE—	鈴木 純子	「輪中の村」作品解説	〃
第三章 病める自画像 一九一三—一九一四	教育と社会を繋ぐ青空塾—TEXNET—	中島 良弘	「濃尾三川」作品解説	〃
第四章 『月映』という宇宙 自刻木版画と詩歌 一九一四—一九一五	田中秀穂像 卒業生の寄稿 田中「力」に乾杯	須藤 玲子	「越中冬景」作品解説	〃
第五章 郷里で過ごした最後の一年	田中秀穂像 卒業生の寄稿 エネルギッシュ・クリエーター	梅崎 健	「八達嶺」作品解説	〃
田中恭吉—迷へる夢から覚めた人	田中秀穂像 卒業生の寄稿 「先生、次の会場はじゅうたんスナックですね！」	半谷 学	「大和秋景」作品解説	〃
田中恭吉の表現—底痛みのする革命	田中秀穂像 卒業生の寄稿 ぼくの先生は	榮 良太	「飛鳥川」作品解説	〃
田中太賀志 丹沢美術館	田中秀穂像 卒業生の寄稿 真夏の太陽「田中先生」	伊東直隠枝	「映」作品解説	〃
踊る炭素系	棚田康司「たちのぼる。」 練馬区立美術館	堀江 敏幸	「天山」作品解説	〃
炭の茶室	樹々の高さの想い—棚田康司のために	ロラン・ヘギ	「インド想 霧」作品解説	〃
「水と空気の変容」展	棚田康司—分身の王国の偶像		「放水」作品解説	〃
「割り箸プロジェクト」			「時の移ろい」作品解説	〃
田中秀穂 VANISHING&EMERGING 武蔵野美術大学美術館			「旅立ちの朝」作品解説	〃
忘れられない、ひとこと			「水上雪情」作品解説	〃
			「鶴岡八幡宮絵巻」作品解説	〃
			田淵俊夫の絵画—中国画を通しての	味岡 義人
			黒部峡谷の水景、そして水墨画へ	桐井 昇子
			田淵俊夫、その伝統へのまなざし	増淵 鏡子
			Light of Dreams 田村彰英 夢の光 東京都写真美術館	

音速の夢 上野 修  
 「夢の光」に寄せて 田村 彰英  
 展覧会ノート 田村彰英 夢の光 関次 和子  
**月岡芳年 没後120年記念 太田記念美術館**  
 月岡芳年の画業—江戸の継承者・明治の開拓者 日野原健司  
 月岡芳年と明治の媒体[メディア] 菅原 真弓  
 月岡芳年が描いた悲惨な血の表現 下山 進  
**人間国宝三人 岐阜、染と織の匠たち 山田貢、宗廣力三、土屋順紀 岐阜県博物館**  
 聞き書き1 父・山田貢の人と作品 萩原いづみ談  
 聞き書き3 宗廣力三の制作と周辺 宗廣 波緒談  
 聞き書き4 「色と織」この道を歩き続けて 土屋 順紀談  
 解題  
**土屋禮—行雲流水— 高島屋(日本橋)他**  
 §作家のこぼし§ 土屋 禮—トーマス・デマンド展—紙でできた世界[リアル]。 東京都現代美術館  
 いわくつきのそっけなき—デマンド作品について 長谷川祐子  
 核エネルギーの太古の友人 アレクサンダー・クルーゲ  
 深夜、キンコーズにて トーマス・デマンドと多和田葉子の対話 トーマス・デマンド 多和田葉子  
**寺尾勝広・新木友行・湯元光男 アトリエインカーブ3人展 東京オペラシティアートギャラリー**  
**寺田政明 生誕100年 北九州市立美術館分館他**  
 『生誕100年 寺田政明展』開催にあたって 西村 勇晴  
 「デッサンが出来たらんぞ」 寺田 農  
 寺田政明の画業について 山下 理恵

**ポール・デルヴォー—夢をめぐる旅— 鹿児島市立美術館他**  
 「ポール・デルヴォー展—夢をめぐる旅—」序文 ジュリー・ヴァン・デューン  
 デルヴォー、夢のオデッセイ 沈黙と不在の果ての理想 村松 和明  
 「ベルギー」の画家、ポール・デルヴォー 音 ゆみ子  
**マリー・ローランサンと東郷青児 山梨県立美術館**  
 ローランサンと東郷青児—時代にとり残された雅味[ファンタジー] 和田佐知子  
 ローランサン、愛される理由 吉澤 公寿  
**戸嶋靖昌 恩師と友人たち—画家はひとりでは生まれない— 清澄画廊**  
 記憶の風景 野村 久康  
 戸嶋靖昌とスペインの残像 木下 亮  
 麻生三郎さんと私 サイトオ・ビン  
 師、森芳雄先生 渡辺 勝悦  
 山口長男先生のこと 澤 雅久  
 三雲先生とアネモネ 宮本 秀信  
 むさ美の篝火 サイトオ・ビン  
 辿る思い出からみえる 秋葉 信子  
 戸嶋君の絵のことなど 渡辺 勝悦  
 絵に興味をもった小さな私 佐藤 正雄  
 靖昌と過ごした少年時代 佐藤 弘行  
 毅然一途 森 健  
 戸嶋さんの思い出 澤 雅久  
 絵をかく悲しさ 黒澤 稔  
 戸嶋さんと夫と私 島 文子  
 ひとつのもの・考 岡 楯男  
 私と絵画の繋がり 上野 在森  
 わたしの絵と宇宙感 山根 康壮  
 壱番館の個展を観て 宮本 秀信

**DO HO SUH PERFECT HOM[ス・ドホ] 金沢21世紀美術館**  
 変容する家 黒田 浩美  
 境界を編みなおす家 南後 由和  
 異国の住処、忘れえぬ我が家 パーフェクト・ホーム：ブリッジ・プロジェクト フェリシティ・D・スコット  
**鉄斎—水墨神韻— 鉄斎美術館**  
 鉄斎—水墨神韻—(墨癖あり/墨を選んで苦心 墨顔となる/墨彩と彩色) 柏木 知子  
**モジもじ文字[大原大次郎/鳥海修/平野甲賀] 武蔵野市立吉祥寺美術館**  
 (ナ行)  
**中ザワヒデキ展 脳で視るアート 武蔵野市立吉祥寺美術館**  
 脳で視るアート 中ザワヒデキ  
 素人の、素人による、素人のための中ザワヒデキ 菅沼万里絵  
 作品シリーズ解説  
**中島千波 人物図鑑 東京藝術大学 大学美術館**  
 今、学生たちに伝えたいこと 中島 千波  
 中島千波の人物画は面白い 宮下 真実  
 中島千波の人間模様としての人物画 橋 秀文  
 中島千波の人物画—identityからexistenceへ 草薙奈津子  
**仲條正義展 忘れちゃってEASY 思い出してCRAZY 資生堂ギャラリー**  
 §解説§ 葛西 薫  
 §作家の言葉§ 仲條 正義  
**水絵への情熱 中西利雄と蒼原会の画家たち 茨城県つくば美術館**  
 水絵への情熱—蒼原会 その忘れられた活動 山口 和子

中西夏之 韻 洗濯バサミは攪拌行  
動を主張する 擦れ違い／遠のく紫  
近づく白斑 川村記念美術館

中西夏之 初期作  
品と現在の作品の  
邂逅 谷 新

韻、洗濯バサミは  
攪拌行動を主張す  
る、擦れ違い／遠  
のく紫近づく白斑 赤松 祐樹

ふたつの制作日誌  
から見えてくるも  
の 鈴木 尊志

中村直人 彫刻の時代 小杉放菴記  
念日光美術館他

中村公子さんにき  
く、父・直人の思  
い出 中村 公子  
迫内 祐司  
聞き手・文  
責

中村直人と長野 土屋 信

つかの間のモニユ  
メント—戦時下の  
中村直人 迫内 祐司

1953年の中村直人、  
渡仏直後の書簡か  
ら 山田 敦雄

中村正義の《顔》展 川崎市市民ミユ  
ージアム

中村正義の美術館  
を知っていますか？ 中村 倫子

『父をめぐる旅』の  
制作にあたり“に  
んげん”の言葉 武重 邦夫

中村正義の顔 佐藤 美子

エルネスト・ネト Madness is  
part of Life エスパス ルイ・ヴィ  
トン東京

アーティスト・イ  
ンタビュー エルネスト  
・ネト  
ルイス・カ  
ミーロ・オ  
ソリオ

§作家の言葉§ エルネスト  
・ネト

Madness is part  
of Life(狂気は生  
の一部) //

われわれは生とい  
う体の一部 //

トルスマクロポー  
ルト //

Ferrolho エヴァンド  
ロ・マシャ  
ード

野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿  
国立新美術館

「絵画のかたち／  
絵画の姿」野田  
裕示の歩み 福永 治

絵画とその分身 米田 尚輝

皮膚としてのカン  
ヴァス、絵画の向  
こう側 本橋 弥生

図像の(かたち) 福永 治

切石組積術[ステ  
レオトミア]—野  
田裕示と岡本敦生  
のコラボレーショ  
ン作品群 米田 尚輝

(ハ行)

バーン=ジョーンズ展[エドワード  
・コーリー・バーン=ジョーンズ]  
三菱一号館美術館他

エドワード・バー  
ン=ジョーンズ—  
生涯と芸術 スティーヴ  
ン・ワイル  
ドマン  
河村錠一郎  
訳

バーン=ジョーン  
ズと装飾芸術 スティーヴ  
ン・ワイル  
ドマン  
堀川 麗子

バーン=ジョーン  
ズ様式—すべては  
モリスとの友情か  
ら始まった 河村錠一郎

次世代からみたバ  
ーン=ジョーンズ 加藤 明子

バーン=ジョーン  
ズと近代日本 永山多貴子

iwate コンテンポラリーアート[及  
川修次／橋本尚志／舞良雅子／山本  
英二] 萬鉄五郎記念美術館

長谷川誠 白い森の足跡 岩手町立  
石神の丘美術館

おわりのはじまり 長谷川 誠

個の風景を探しに 齋藤 桃子

花田和治の色と形 北海道立近代美  
術館

花田和治の絵画—  
わがこころの情景 光岡 幸治

きらり、ふわり—想いをのせて[林  
剛人丸／藤原洋次郎]— 川口市立  
アートギャラリー・アトリア

§作家の言葉§ 藤原洋次郎

” 林 剛人丸  
やさしい想いが、  
集まるところ。 秋田 美緒

原裕治展—かたちとしての奔流と止  
水— 碧南市藤井達吉現代美術館

流体の諸相—彫刻  
家・原裕治が遺し  
たもの 馬場 駿吉

彫刻家・原裕治の  
歩み 木本 文平

バルビエ×ラブルール展 鹿島茂コ  
レクション2[ゾルジュ・バルビ  
エ／ジャン=エミール・ラブル  
ール] 練馬区立美術館

モダンの誕生 鹿島 茂

「ペル・エポック」  
から「レ・ザネ・  
フォル」へ—ラブ  
ルールが見た2つ  
の時代 小野 寛子

稗田一穂 春秋日月 高島屋(日本  
橋)他

麒麟 稗田 一穂

蜻蛉 ”

東山魁夷展 北海道立近代美術館他

東山魁夷—人間の  
心の象徴としての  
風景を求めて 横山 勝彦

人間東山魁夷 川崎 鈴彦

カミーユ・ピサロと印象派—永遠の  
近代 宇都宮美術館他

カミーユ・ピサロ  
—「影」へのまなざ  
し— 有木 宏二

カミーユ・ピサロ  
と新印象主義 クリストフ  
・デュヴィ  
ヴィエ  
速水 豊  
翻訳

クレア・デ  
ュラン=リ  
ュエル・ス  
ノレルツ  
鈴木 慈子  
翻訳

平川典俊 木漏れ日の向こうに 群  
馬県立近代美術館

アブジェクション  
について—平川典  
俊の場合 谷内 克聡

《Beyond the Sunbeam through Trees—木漏れ日の向こうに》制作ノート	阿部 一直	平山郁夫と文化遺産保護	前田 耕作	ポール・クロードル著作のなかの藤田	瀬尾 典昭
対談 不／確定の目撃者	平川 典俊、アート・リンゼイ 熊谷 朋哉 翻訳	平山郁夫先生とフン・セン首相の会談—人類の遺産としてのアンコールワット—	石澤 良昭	『海龍』をめぐる—藤田とコクトー、記憶のなかの日本	石尾乃里子
平櫛田中展 ふくやま美術館他		手の痕跡 国立西洋美術館所蔵作品を中心としたロダンとブールデルの彫刻と素描[アントワヌ・ブールデル／オーギュスト・ロダン] 国立西洋美術館		挿絵本の時代	佐藤 幸宏
生誕140年、特別展への思い	平櫛 弘子	序—ロダンとブールデル、彫刻に残る手の痕跡	大屋 美那	エルミース・ダヴィッドとジャン・ジロドゥー	間瀬 幸江
日本近代彫刻史上の平櫛田中	毛利伊知郎	松方幸次郎収集のロダンとブールデルの彫刻	〃	《ダフニスとクロエ》に見る古典への回帰	佐藤 幸宏
平櫛田中のリアリズム—昭和戦前期の肖像彫刻を中心に—	藤井 明	ロダンの《エヴァ》について	〃	愛書都市パリの変容 『タブロー・ド・パリ』から『パリ1937』へ	柳沢 弥生
平櫛田中の作品と仏教—西山禾山の思想との関連を中心に—	濱田 恒志	ロダンの《泣く女》	アントワネット・ル・ノルマン＝ロマン 大谷 公美 翻訳	『タブロー・ド・パリ』(Tableaux de Paris)とエコール・ド・パリ/『パリ1937』(Paris 1937)と万博都市/タブロー・ド・パリの系譜と時代の変容	
モジモジ文字[大原次郎／鳥海修／平野甲賀] 武蔵野市立吉祥寺美術館		深井隆彫刻 気配 高島屋(日本橋)他		ラ・フォンテーヌ 『寓話集』の系譜	石尾乃里子
平松礼二展—日本の美を求めて—箱根・芦ノ湖成川美術館所蔵 新見美術館		§ 作家の言葉 § 深井 隆		きらり、ふわり—想いをのせて—[林剛人丸／藤原洋次郎] 川口市立アートギャラリー・アトリア	
ごあいさつ	平松 礼二	藤井勉 愛する郷土・東北の自然を描く サトエ記念21世紀美術館		船田玉樹 生誕100年 練馬区立美術館他	練馬区立美術館
世界に発信する平松礼二の日本画	成川 実	郷里の自然と人々と共に生きる画家・藤井勉	江口 健	父「玉樹」	船田 奇岑
「師承伝承」から「爆発」へ—横山操と小野竹喬を(旗印)に	石川 健次	雑感	藤井 勉	孤高の画人生—船田玉樹	永井 明生
平山郁夫 シルクロードの軌跡—人類の遺産にかけた画家の人生— 九州国立博物館		昭和モダン 藤島武二と新制作初期会員たち 川越市立美術館		同郷人、船田玉樹との奇縁	山下 裕二
九州国立博物館の平山郁夫展に思う事	平山美知子	藤島武二と新制作初期会員たち	廣田 生馬	斃れし後の水墨実験	野地耕一郎
ユネスコ親善大使平山郁夫先生の思い出	松浦晃一郎	第一回新制作派展について	折井 貴恵	僅かに、しかし強く発光して	北川フラム
平山郁夫シルクロードの軌跡—文化財保護にかけた画家の生涯—	葦信 祐爾	藤田嗣治と愛書都市パリ—花ひらく挿絵本の世界— 渋谷区立松涛美術館他		船田玉樹回想	金田 晉
特別展「平山郁夫シルクロードの軌跡」に寄せて	樊 中田 錦詩 友美 訳	フジタとランス	アドリアン・アザン	解剖と変容 アール・ブリュットの極北へ チェコの鬼オルボシュ・ブルニーとアンナ・ゼマーンコヴァー 兵庫県立美術館他	
		本を読む、本を装う—「愛書都市」パリでの藤田嗣治	林 洋子	ホー・ツーニエン[何子彦] MAM PROJECT 016 森美術館	
				ホー・ツーニエン インタビュー	椿 玲子 聞き手

歴史という物語に おける想像力の役割	椿 玲子	間島の視界・及川 の踊り・千野の音	中村 英樹	墓参記—松本竣介 にふれて	酒井 忠康
松江藩士の息子画家になる。孫写真 家になる。—ニューヨーク、野口英 世の親友堀市郎とその父樺山— 松 江歴史館		6日 山田せつ子 +YAS-KAZ	松崎 未来	書簡・原稿採録 (図版掲載資料)	
総論 知られざる 旧松江藩士の転身 —堀良蔵、樺山、 市郎		「叛乱の夏」	志賀 信夫	白昼夢 松本俊夫の世界	町立久万 美術館
堀文子 命の不思議	長野県信濃美 術館	Kinesis—時空の 基軸：桂由貴子+ à qui avec Gabriel 公演評	小金沢 智	対談 松本俊夫の プロフィールをめ ぐって	松本 俊夫
ご挨拶	堀 文子	永遠へのうつろい —身体と絵画空間 が会う次元 上 杉満代+河合孝治 公演	塚崎 美歩	〈白昼夢〉の場所	神内 有理
展覧会に寄せて	星野 裕一	意味からの解放	徳山 隆	松本俊夫、その限 りなき挑戦	江口 浩
堀文子と信州	石井 絵美	自己を吹き飛ばす	柳川 たみ	エディは映画を葬 るのか—『薔薇の 葬列』に並んで	吉田 拓
水から生まれる絵 堀井英男の版画 と水彩 茨城県近代美術館他		KINESIS 478とKI- NESIS 479の間に あるもの 間島秀 徳「KINESIS—時空 の基軸」展	北里 義之	虚実皮膜論—松本 俊夫と『修羅』	小林 昌廣
水を感じて—堀井 英男の版画と水彩 について	市川 政憲	目玉の冒険「時空 の基軸」展ノート	篠原 聡	実験映像史のなか の松本俊夫	西村 智弘
人間存在の根源を 問いつめる—堀井 英男の色彩銅版画 の世界	魚津 章夫	水平の問題	宮田 徹也	変革する主体 戦 後アヴァンギャル ド芸術と前衛記録 映画	阪本 裕文
水の気質を宿した 画家 堀井英男	永松 左知	増田誠 パリー—人生の哀歎	山梨県 立美術館	松本俊夫の映画音 楽	川崎 弘二
変奏するイメージ 堀井英男の銅版画	川俣 高人	パリを愛し、庶民 を描いたアルディ ザン—増田誠—	小田原賢二	丸木俊 生誕100年記念	一宮市三 岸節子記念美術館
川瀬表完(漆)・堀尾泰彦(陶)二人展 高島屋(日本橋)		増田誠 パリーの人 々を描き続けて	太田 智子	丸木俊—旅する女 性画家	小沢 節子
幻のモダニスト 写真家堀野正雄の 世界 東京都写真美術館		増村益城 人間国宝	漆を極める	〈南洋ノートおよ びモスクワノート について〉	
評伝・堀野正雄	金子 隆一	増村益城の歩み	中松 満始	水彩画家 丸山晚霞	日本水彩画会 創立100周年記念 丸山晚霞記念館
一九三〇年前後の 前衛的芸術潮流に おける堀野正雄の 位置	谷口 英理	増村先生との思い 出	竹内 幸司	〈寄稿〉水彩画家・ 丸山晚霞の芸術	林 誠
「女性美」から大陸 への道程	戸田 昌子	松本竣介 生誕100年 術館他	岩手県立美 術館	丸山晚霞：筆触と 色彩の魔術	岸田 恵理
本田義夫展 北九州市立美術館		松本竣介の生涯と 作品—素描作品を 交えながら	加藤 俊明	「MARUYAMA KENSAKU」との めぐり合い	立岩 寿一
エッセイ	本田 義夫	自彊の画家・松本 竣介	有川 幾夫	晚霞と風土	長岡 克衛
コスモスの庭から 境界へ	重松 知美	廢墟に立っている。 —松本竣介の1940 年代	水沢 勉	マン・レイの京都2012年	ギャラ リーマロニエ(京都)
洋画家尼谷良と日本画家本間秀岳 天童市美術館		松本竣介のカルト ン	加野 恵子	展覧会まで……	石原 輝雄
(マ行)		線の行方—松本竣 介と「童画」	長門 佐季	石原輝雄・純子コ レクション『マン・ レイのパリ 1972 年』	〃
間島秀徳展「KINESIS—時空の基軸」 キッドアイラックアートホール		ブッキッシュな竣 介像—松本竣介の 本・雑誌の仕事に ついて	柳原 一徳	たったひとりの人	〃
時空の基軸に立ち 会う“身体”を垣間 見る	加納 星也	宮沢賢治は有り難 い人だ	原田 光	撤収して……	〃



**三岸黄太郎展 ふたりのミギシコウ  
タロウと節子と** 北海道立三岸好太郎美術館他

三岸芸術の歩み 三岸 太郎  
一表現することの  
原点とは一 増田 幸雄  
黄太郎と好太郎一  
二人の「描く詩人」 苦名 直子  
三岸黄太郎の覚醒  
一節子とともに制  
作した1968年から  
の滞欧期を中心に 堤 祐子

**三嶋りつ恵 ドルチェヴィータ** ぎ  
やらしい思文閣

ドルチェヴィータ 三嶋りつ恵  
花を生ける 〃

**三原研の炆器 心を映すやきもの**  
兵庫陶芸美術館

§作家の言葉§ 三原 研  
三原研の炆器が伝  
えるもの マルテル坂  
本牧子

**宮迫千鶴 ワクワク描いた人生の午  
後** 池田20世紀美術館

生きていることの  
「精神の風景」 柏木 博  
宮迫千鶴による映  
画評 ビクトル・  
エリセ『エル・ス  
ール』—かぎりなく  
美しい『南』の意  
味—

**宮永愛子 なかそら** 国立国際美術  
館

空中空(なかそら) 宮永 愛子  
景色のはじまり—  
金木犀— 〃  
時間を彫琢するこ  
と 福岡 伸一  
優しい手、強靱な  
意志—宮永愛子の  
世界— 建畠 哲  
あなたには何も見  
えないだろう。 ジャン・ド  
=ロワジー  
始まりはあって終  
わりはない—宮永  
愛子の芸術— 中井 康之

**三輪良平回顧展** 近江商人博物館

三輪良平回顧展に  
寄せて 中路 融人  
夫・三輪良平のこ  
と 三輪美恵子

**川上澄生と棟方志功 日本版ルソー  
とゴッホの対決** 川上澄生美術館

**人間国宝三人 岐阜、染と織の匠た  
ち** 山田貢、宗廣力三、土屋順紀

岐阜県博物館

**すべての僕が沸騰する 村山知義の  
宇宙** 神奈川県立近代美術館(葉山)  
他

「すべての僕が沸  
騰する」という現  
象—村山知義の現  
在のために 水沢 勉

「村山知義と建築、  
パウハウス」につ  
いての一断片 山野 英嗣

小英雄はスタイリ  
ッシュ—ファッション  
に見るマヴォイ  
スト村山知義の  
近代性 滝沢 恭司

童画家TOMの誕  
生をめぐって 牧野 裕二

芸術は空間のクリ  
エーションである  
—童画家TOMと  
童話童話作家籌子—  
やまさきさ  
とし

TOMの童画に関す  
るノート—前衛と  
の関係から 山田志麻子

独断的スケッチ—  
村山籌子のほうへ 岩崎 清

「村山知義関係資  
料—内田昇三コレ  
クション」につい  
て 石井 幸彦

**文承根 MOON SEUNG—KEUN—  
終わりなき反復—** 中長小西

ムン・スングン 河崎 晃一  
「終わりなき反復」

**iwate コンテンポラリーアート[及  
川修次/橋本尚恣/舞良雅子/山本  
英二] 萬鉄五郎記念美術館**

(ヤ行)

**柳川貴司彫刻展** ギャラリー志門  
§解説§ 森 千花

**山内滋夫展** 高島屋(日本橋)他

世界でたった一つ  
の静物画様式—山  
内滋夫のなかの西  
洋と日本 ワシオ・ト  
シヒコ

個展に寄せて 山内 滋夫

**山口華楊** 笠岡市立竹喬美術館他

義父・華楊の思い  
出 山口 和子

山口華楊先生と私 中路 融人

山口華楊一人と作  
品 小倉 実子

山口華楊と国画創  
作協会—国展落選  
作『向日葵』をめぐ  
って— 上菌 四郎

**山下了是 退任記念 染織作品展**  
報 東京藝術大学大学美術館陳列館

退任記念展に寄せ  
て 宮田 亮平

**山城知佳子 MAM PROJECT 018**  
森アーツセンターギャラリー

沖縄の素顔を探し  
て：山城知佳子の  
世界 近藤 健一

脱自[エクスタシ  
ス]の倫理[エシ  
ックス] 山城知  
佳子論 新城 郁夫

**三代山田常山—人間国宝、その陶芸  
と心** 出光美術館

コラム1 急須の  
器形 柏木 麻里

コラム2 急須の  
技法 〃

コラム3 三代山  
田常山の急須と登  
窯 〃

三代山田常山の陶  
芸—初公開の出光  
コレクション 〃

**人間国宝三人 岐阜、染と織の匠た  
ち** 山田貢、宗廣力三、土屋順紀

岐阜県博物館

**iwate コンテンポラリーアート[及  
川修次/橋本尚恣/舞良雅子/山本  
英二] 萬鉄五郎記念美術館**

**山本糾 光・水・電気** 豊田市美術  
館

—探求される「水」、  
写真家山本糾— 白川 昌生

ノート：山本糾の  
写真 北谷 正雄

**柚木沙弥郎 村山亜土作『夜の絵』と  
ともに** 神奈川県立近代美術館(鎌  
倉別館)

作者のことば 柚木沙弥郎

夜をうべなう 柚  
木沙弥郎の、思索  
する布 水沢 勉

『夜の絵』をめぐる  
断想 岩崎 清

亜土さんに… 村山 治江

寺尾勝広・新木友行・湯元光男 ア  
トリエインカーブ3人展 東京オ  
ペラシティアートギャラリー

横尾忠則 反反復復反復 開館記念  
展1 横尾忠則現代美術館

横尾忠則のスポンジ 鷺田 清一

二度ある美は、三  
度ある。横尾忠則  
における「反復」に  
ついて 山本 淳夫

ツイッター

横山大観 開館15周年記念 宇都  
宮美術館

無窮の芸術を追い  
求めた一芸術家大  
観 横山 隆

横山大観の《流燈》  
について 佐藤 志乃

横山大観の画業に  
ついて 大正15年  
の記録から 池田 博子

大観と(複製)「巧  
藝画」と「国民精神  
総動員ポスター」  
を中心に 前村 文博

吉野辰海 犬の行方 埼玉県立近代  
美術館

擬犬法の寓意 建畠 哲

人間犬と象少女 三田 晴夫

吉野辰海インタビ  
ュー 平野 到  
聞き手

水のイメージ/水  
の創造力—インタ  
ビューを終えて 平野 到

吉本直子・久保健史・浅田暢夫 現  
代郷土作家 姫路市立美術館

依田洋一朗展 記憶のドラマ 40歳  
の画家が描くニューヨーク40年の  
追憶 三鷹市美術ギャラリー

作家メッセージ 依田洋一朗

舞台からの退場 エリック・  
C・シャイ  
ナー

記憶のドラマ—依  
田洋一朗論のため  
に— 浅倉祐一朗

依田洋一朗による  
依田洋一朗の年譜  
(ドラマ) 依田洋一朗

(ラ行)

ダム・ダン・ライ Color Explo-  
sion—色彩爆発— 札幌芸術の森美  
術館

Essay 佐藤 康平

バルビエ×ラブルール展 鹿島茂コ  
レクション2 [ジョルジュ・バルビ  
エ/ジャン=エミール・ラブル  
ール] 練馬区立美術館

リー・ミンウェイ [李明維] 澄・微  
資生堂ギャラリー

Interview to Lee  
Mingwei リー・  
ミンウェイへのイ  
ンタビュー

リー・ミンウェイ  
の実践にみる喪失  
と縁起の意識化に  
ついて 片岡 真実

母が作ったブロー  
チ リー・ミン  
ウェイ

祖母と一緒に作っ  
た浴衣 //

祖母が作った着物 //

母が作ったレース //

義父と、親しい知  
り合いのおばが作  
ったコート 今が  
一番好きなこのコ  
ート //

祖母が作った着物 //

祖母が作った人形 //

祖母が作った帯 //

母が作った子供服 //

母が作ったキルト //

母が着ていた着物 //

父がアップリケを  
つけたスモック //

祖母が作った人形 //

祖母と母が作った  
子供用着物 //

姉が作ったぬいぐ  
るみ //

母が作った着物 //

母が作ったドレス //

同じ地区のお母さ  
んが作ったポーチ //

母が作ったパッチ  
ワークキルト //

母が作った肌掛け //

祖母が作った襦袢 //

母が作った雑巾 //

母が作った布団カ  
バー //

祖母が作った小袋 //

母が作った水着 //

母が刺繍した袴 //

母が刺繍したナブ  
キン //

母が作ったクリス  
マスツリー //

祖母が作った反物 //

母が作ったクリス  
マスブーツ //

母が作ったパジャ  
マ入れ //

祖母が作ったワン  
ピース //

祖母が作った裂き  
織り //

母と私が作ったエ  
プロン //

母が作ったかぼん //

祖母が作ったルー  
ムシューズ //

母が作ったお手玉 //

祖母が作った着物 //

母が作ったジャケ  
ット //

祖母が作った手提  
げ袋 //

母が作ったバッグ //

父が作ったぬいぐ  
るみ //

祖母が作ったバッ  
グ //

母が作ったドレス //

祖母が作った小豆  
袋 //

母が作った犬の介  
護用ベスト //

祖母が作ったマフ  
ラー //

母が作ったキルテ  
ィングカバー //

レーピン ロシア近代絵画の頂点  
国立トレチャコフ美術館所蔵 [イリ  
ヤ・レーピン] Bunkamura ザ・ミ  
ュージアム他

イリヤ・レーピン  
「爆発する無限  
のエネルギー」を  
持った画家—  
1890年代から1920  
年代のレーピンと  
作品  
国立トレチャコフ  
美術館のコレクシ  
ョンに見るイリヤ  
・レーピンの素描  
と水彩画  
イリヤ・レーピン  
の留学：1873—  
1876—交錯するア  
カデミズム、リア  
リズム、モダニズ  
ム—  
ディーター・ロート Fuji Xerox  
Art Space  
ディーター・ロー  
ト—Die Ro Pe Pr  
Por(Containers) 山田志麻子  
マリー・ローランサンと東郷青児  
山梨県立美術館  
手の痕跡 国立西洋美術館所蔵作品  
を中心としたロダンとブールデルの  
彫刻と素描[アントワヌ・ブール  
デル/オーギュスト・ロダン] 国  
立西洋美術館  
ユベール・ロベール—時間の庭—  
国立西洋美術館他  
ジュリアン=ヴィ  
クトール・ヴェラ  
ンクとヴァランス  
美術館のユベール  
・ロベール作品 陳岡めぐみ  
翻訳  
時間の庭の詩人—  
ユベール・ロベール 陳岡めぐみ  
ユベール・ロベール、石の欲びと歴史  
ダニエル・ラ  
プロ 穠  
翻訳  
イタリアのユベール・ロベール—ピ  
トレスクなものを  
求めて  
ユベール・ロベールとルーヴル 三谷 理華  
**団体展**  
(力行)  
現代童画展38回 東京都美術館

長屋の花見 安井 収蔵  
**行動展67回** 国立新美術館他  
伊藤聰さんの急逝  
を惜しむ 三箇 三郎  
敬愛やまない大谷  
久子へ もろさわよ  
うこ  
田中勇次郎先生を  
偲ぶ 矢野喜久男  
小谷謙先生を偲ん  
で 岡村 正博  
サナダサダヲ氏を  
偲ぶ 馬場 美次

(サ行)

**写実画壇 40周年記念作品集** 上  
野の森美術館  
写実画壇のレゾン ワシオ・ト  
・デートル シヒコ  
里見勝蔵の芸術 土方 明司  
**女流画家協会展66回** 東京都美術  
館  
記憶の中の「あの  
頃」のこと 吉江 麗子  
**新協展55回** 東京都美術館  
想像力こそ“創造  
の母” ワシオ・ト  
シヒコ  
**新制作展76回** 国立新美術館他  
追悼 蝉しぐれ 渡辺 隆根  
[渡辺隆根]  
代76回新制作展新  
作家賞賞牌 贈る 麦倉 忠彦  
ことば  
**創型展60回** 東京都美術館  
創型会随想 斎藤 馨

(タ行)

**東京展38回** 東京都美術館  
鶴澤文次郎大兄を  
偲ぶ 近藤 大理  
特別企画 田所一  
絃『水鏡シリーズ』 田所 一絃  
色彩の海原を自由  
にたゆたう 油野 武藤 順子  
誠一 画家・絵本 加賀美裕子  
作家 竹 佐知子  
**独立展80回** 国立新美術館他  
片岡伸介氏をおく  
る詞 齋藤 研  
土井俊泰先輩に捧  
ぐ 江添栄一郎

三浦洋一氏を偲ん  
で 絹谷 幸二  
創立80周年にあた  
って 昨日、そし  
て明日へ 相田 幸男  
創立80周年にあた  
って 画業80年を  
振り返って 赤星 信子  
創立80周年にあた  
って えのぐの匂  
い 安達 時彦  
創立80周年にあた  
って 初出品 阿部 栄一  
創立80周年にあた  
って カルダー 五十里雅子  
創立80周年にあた  
って 未来のビジ  
ョン 池末 満  
創立80周年にあた  
って 創立80周年  
にあたって 井澤 幸三  
創立80周年にあた  
って 創立80周年  
にあたって 石井 武夫  
創立80周年にあた  
って 80周年に思  
う 石川 和男  
創立80周年にあた  
って 初出品のこ  
ろ 伊藤 清和  
創立80周年にあた  
って 80周年に想  
う 伊藤 弘之  
創立80周年にあた  
って 片岡伸介さ  
んのこと 今井 信吾  
創立80周年にあた  
って 独立美術協  
会創立当時の思い  
出 入江 一子  
創立80周年にあた  
って 創立80年か  
あー 梅野 顕司  
創立80周年にあた  
って 夢の開花、  
三岸好太郎 江添栄一郎  
創立80周年にあた  
って ネクストス  
テージ 大久保宏美  
創立80周年にあた  
って パリでバル  
リュスを知って 大津 英敏  
創立80周年にあた  
って 独立展に思  
う 大地 康雄  
創立80周年にあた  
って 恩師との出  
会い…そしてこれ  
からも 大塚 恵美

平成24年美術展覧会図録所載文献(団タ行)

創立80周年にあたって 今年の夏も暑かったです。	大塚 利典	創立80周年にあたって みえないもの	齋藤 将	創立80周年にあたって 初期の独立にあこがれて	田伏 勉
創立80周年にあたって 初出品のころ	大場 再生	創立80周年にあたって 青春回想—佐久市立近代美術館回顧展を終えて—	桜井 寛	創立80周年にあたって ワタシは権になりたい	多見谷恭子
創立80周年にあたって 初出品の頃	岡田 忠明	創立80周年にあたって 創立80周年によせて	佐々木里加	創立80周年にあたって 不思議な必然の縁	塚本 聰
創立80周年にあたって 80周年に思うこと	奥谷 博	創立80周年にあたって 初入選から25年	島崎 陽子	創立80周年にあたって 土井先生の横顔	津川めぐ美
創立80周年にあたって 80→90への道	乙丸 哲延	創立80周年にあたって 私の住んでいるところ	白鳥 三郎	創立80周年にあたって 初出品から27年	佃 彰一郎
創立80周年にあたって 厳しかった講評の思い出	加藤 啓治	創立80周年にあたって 独立80周年を迎えて	白野 文敏	創立80周年にあたって 恩師 土井先生のこと	出口 佳子
創立80周年にあたって 独立の宝	金井 訓志	創立80周年にあたって 初出品の頃	須藤 美保	創立80周年にあたって 独立展の今	寺島 穰
創立80周年にあたって これから…	金森 良泰	創立80周年にあたって 偶然と必然	瀬川富紀男	創立80周年にあたって 独立の「気」	鳥飼 寿徳
創立80周年にあたって 創立80周年記念展によせて	金子 亨	創立80周年にあたって 里見勝蔵先生の思い出	関口 聖子	創立80周年にあたって 独立80回展と自分	中嶋 明
創立80周年にあたって たかが絵、されど絵	喜多万紀子	創立80周年にあたって 80周年にあたって	瀬島 匠	創立80周年にあたって 今後の独立展	中村 光幸
創立80周年にあたって 創立80周年にあたって、思うこと	北島 治樹	創立80周年にあたって 不自由であること	高沢 哲明	創立80周年にあたって ニューヨークで独立を思う	西田 翔冠
創立80周年にあたって 初出品のころ	木梨 修	創立80周年にあたって 次は100年記念展	高橋 伸	創立80周年にあたって 80年下の地熱	額田 晃作
創立80周年にあたって 今の独立に思うこと	木村 富秋	創立80周年にあたって 創立80周年と生誕110年	高橋 正敏	創立80周年にあたって 描き続ける事	花沢 洋太
創立80周年にあたって 50年前の思い出	久我 修	創立80周年にあたって ゴヤからピカソ	高橋 雅史	創立80周年にあたって 光る星あり	浜松 繁雄
創立80周年にあたって 創立80周年にあたって—独立と私—	日下部淑子	創立80周年にあたって 亡き父、田口広美30回忌	田口 貴大	創立80周年にあたって 年輪	林 敬二
創立80周年にあたって 老兵独白	久保田益央	創立80周年にあたって 夏の日・雑感	竹岡 羊子	創立80周年にあたって 絵筆を持って！闘いの時だ！	早矢仕素子
創立80周年にあたって 私の応援詩	黒川 洋孝	創立80周年にあたって 美術の力を信じて	竹下 勝雄	創立80周年にあたって 絵と私	半那 裕子
創立80周年にあたって 夢を描け、心に描け	小林 正	創立80周年にあたって 初出品	田子 英長	創立80周年にあたって 若い頃…そして若い人たちへ	広田 政生
創立80周年にあたって 創立80周年にあたって	権藤 信隆	創立80周年にあたって 祭り	田中 茂	創立80周年にあたって 創立80周年にあたって	福岡 奉彦
創立80周年にあたって モナ・リザと独立展	齋藤 吾朗	創立80周年にあたって 独立80周年にあたって	田端 優	創立80周年にあたって 生きて、描いた六十年	福島 瑞穂
				創立80周年にあたって Speed of Life	福満正志郎

創立80周年にあたって ことば 堀井 克代

創立80周年にあたって 80年に想う 本田 希枝

創立80周年にあたって 初出品の頃から 前田さなみ

創立80周年にあたって 創立80周年にあたって 前畑 省三

創立80周年にあたって 青春の日、心に刻まれた教え 馬越 陽子

創立80周年にあたって 独立・絵のこと 松井 通央

創立80周年にあたって 創立80周年への想い 松永 久

創立80周年にあたって 80周年 松原 潤

創立80周年にあたって 画を描くこと 松藤 真澄

創立80周年にあたって 創立80周年にあたって 松村 浩之

創立80周年にあたって 独立美術80周年記念展に思う 松山幾三郎

創立80周年にあたって 休むことの無い情熱 松山 敏彦

創立80周年にあたって 独立創立の頃は？ 向井 隆豊

創立80周年にあたって 感謝です 森田 康雄

創立80周年にあたって 独立展とオリンピック 山内 和則

創立80周年にあたって 私の独立展 山本 恵三

創立80周年にあたって 皆さん、長生きしましょう 山本 実

創立80周年にあたって 未来のビジョン—海外へ 山本 雄三

創立80周年にあたって 私たちの手で... 湯沢 宏

創立80周年にあたって 独立の80年と時代 吉田宏太郎

創立80周年にあたって 独立80回展を迎えて 吉武 研司

## (十行)

日象展39回[日本表象美術協会]

国立新美術館

§ 作家の言葉 §

赤石 久男

〃

坂井 和子



「物故者」 ページ (401～426 ページ)

個人情報保護のため非公開

Pages of the Articles of the Deceased (pp.401-426)

Cut for protection of the personal information

印刷 平成27年3月11日

発行 平成27年3月25日

---

日本美術年鑑 ©

—平成25年版—

編集者 東京文化財研究所企画情報部

発行者 独立行政法人国立文化財機構  
東京文化財研究所  
東京都台東区上野公園13-43  
電話 (03) 3823-2241

製作 中央公論美術出版  
東京都中央区京橋2-8-7  
電話 (03) 3561-5993

---

出版助成 株式会社 東京美術倶楽部  
東京美術商協同組合



